HP『海軍砲術学校』公開史料

部内限

備品 海軍大學校
全
20冊内
第13號

米國「クラーク」海軍少將著

合衆國海軍發達小史

（全　譯）

昭和12年7月30日刊行

軍　令　部

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

序

1. 本書ハ A Short History of The United States Navy by G. R. Clark, U. S. Navy, (Retired) ノ全譯ニシテ、米國海軍兵學校生徒用參考資料トシテ 1910 年初刊、爾後 1927 年迄ニ數回版ヲ重ネタルモノナリ。

   米國海軍史ヲ概觀スルニ適當ナルモノト認ム。

2. 本書ハ海軍兵學校教官宮村教授、加藤教授、東田教授、平賀教授ノ飜譯ニ成リ、海軍大學校囑託吉田海軍大佐ノ校正ニ依ルモノナリ。

HP『海軍砲術学校』公開史料

目　　次

頁
第 1 章　獨立戰爭ニ於ケル米國海軍（其ノ 1）……1
第 2 章　獨立戰爭（其ノ 2）……17
（John Paul Jones ノ巡弋）
第 3 章　新海軍ノ開設及對佛戰爭……36
第 4 章　對「トリポリ」戰爭（其ノ 1）……54
第 5 章　對「トリポリ」戰爭（其ノ 2）……70
第 6 章　1812 年戰爭――戰因ト初期ノ事件……87
第 7 章　Guerrière 號及 Macedonian 號ノ捕獲……104
第 8 章　一勝一敗……121
第 9 章　戰役中ニ行ハレタ「スループ」艦戰闘……140
第 10 章　Erie 湖ノ戰……160
第 11 章　Essex 號ノ巡航……175
第 12 章　Champlain 湖ノ戰及戰役ノ終結……191
第 13 章　各種ノ事件……207
第 14 章　「メキシコ」戰爭、「ペリー」ノ日本遠征……227
第 15 章　南北戰爭（第 1 年）……247
第 16 章　Hampton Roads ノ戰（其ノ 1）……265
（Cumberland 號及 Congress 號ノ撃滅）
第 17 章　Hampton Roads ノ戰（其ノ 2）……282
（Monitor 號ト Merrimac 號）

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第 18 章　西部河川ニ於ケル戰 ……296
第 19 章　Mississippi 下流ノ戰 ……315
第 20 章　Mobile 灣ノ戰……335
第 21 章　Albemarle Sound ノ戰 ……351
第 22 章　外國ノ海上ニ於ケル戰 ……368
第 23 章　封鎖ト南北戰爭ノ終焉 ……389
第 24 章　平和時代ノ海軍 ……408
第 25 章　米西戰爭 「マニラ」灣ノ戰鬪……428
第 26 章　西印度作戰 ……447
第 27 章　合衆國ノ世界ノ一强國トシテノ登場 ……464
第 28 章　世界大戰（其ノ 1)……484
第 29 章　世界大戰（其ノ 2)……504
第 30 章　米國海軍ト對外政策 ……515

（目　次　終）

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

合衆國海軍發達小史

第 1 章　獨立戰爭ニ於ケル米國海軍

(其ノ 1)

◎植民地ニ於ケル海軍活動ノ原因

獨立戰爭ハ米國ガ戰ツタ大多數ノ戰爭ト同ジク、陸軍ガ過半ノ戰鬪ヲ引受ケタモノデアルガ、又一面海上兵力ガ決戰ノ要因トナツタ戰爭デアツタ。大英國ハ當時最強ノ海軍力ヲ具備シテ居リ、如何ナル公戰ニ於テモ之ニ敵シテ敗北ヲ免レル兵力ハ無カツタ。然シ英國ニハ（當時）距離ニ於テハ 3 千哩ノ遠隔地ニ於テ戰ヒ、而モ長大ナル海岸線、無數ノ港灣ニ艦影ヲ隱蔽シ得ル敵ヲ向フニ廻サナケレバナラヌ不利ガアツタ。他面植民地軍ハ英軍ト同種族ニ屬シ、艱苦ニハ英軍ヨリモ慣レテ居リ、商船ヤ英海軍ノ孤立部隊ヲ攻擊スル時ニハ必死ニナツテ戰ツタ。

「アメリカ」植民地陸軍ハ大地ヨリ發生シタ樣ナ感ガアツタガ、相竝ンデ米海軍ハ海原カラ誕生シタル感ガアツタ。1775 年 6 月 12 日「レキシントン」ノ戰報ニイキリ立ツタ「メーン」州ノ樵夫ノ一隊ハ、1 艘ノ木造「スループ」艦デ英軍ノ武裝「スクーナ」船ヲ同州ノ Machias 沖合デ拿捕シタ。而シテソノ指揮者 O' Brien ハ迅速ニ分捕ツタ砲、彈藥デソノ「スループ」船ヲ武裝シ、更ニ分捕品ヲ索メテ海

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

上ニ乗リ出シタ。委任狀モ拿捕免許或ハ何等合法的權力ヲモ有セズシテ、コノ掠奪者ハ幾多ノ戰利品ヲ捕獲シ、ソレ等ヲ Machias ヘ送ツタ。O'Brien ノ實例ハ直ニ他ノ模倣者ニヨツテ追隨サルルトコロトナツタ。即チ米國ノ海岸ハ New England ノ私掠者ノ寄集スル所トナリ、Massachusetts ノ私掠者ハ特ニ成功ヲ收メタ。

此等私掠者ノ果敢ナル行爲ト成功ヲ見テ、沿岸ニ居タ英艦隊ノ指揮官 Graves 將軍ハ激怒シ、「メーン」州ノ Falmouth (今ノ Portland) 市ヲ燒キ拂ヒ、寂寥タル New England ノ冬ノ初メ住民ヲシテ住ムニ家無キニ至ラシメタ。既ニ戰爭ヲ促進セシメタ惡政ニ憤慨シ、英國議會ノ近眼者流ノ法令ノ爲ニソノ漁業權、航海權ヲ縮減サレテ居タ新大陸ノ剛直ナル沿岸居住民ハ、コノ Graves 將軍ノ行爲ヲ俟ツマデモ無ク、軍艦建造熱ニ驅ラレテ居タ。

尙他ノ原因モ大西洋沿岸ニ新海軍兵力ノ創始ニ與ツテ力ガアツタ。植民地居住者ハソノ起原環境ノ然ラシムル所ナガラ、元來航海者デアツタ。New England 植民地ノ或地方ハ、獨立戰爭ノ勃發スル以前カラデサヘ、造船術、漁業、通商ニ於テ著シキ進歩發達ヲ遂ゲテ居タ。故ニ彼等ハ艦船ヤ勇敢ナル乘組員ヲ供給スル備ヘニハ事缺カナカツタノデアル。然ルニコノ國ハ新開ノ農業國デアルガ爲ニ、製作品、衣服、軍需品ヲ必要トシタガ、此等ノ物品ハ敵カラ分捕ルカ又ハ英艦ニヨル沒收ノ危險ヲ賭シテマデモ歐洲ノ諸國カラ取寄セナケレバナラナカツタ。仍テ「ワシントン」ハ「ボストン」行ノ英軍ノ給品船カラ自己ノ軍隊ノ必要品ヲ捕獲セントシテ、1775 年ノ秋數艘ノ小船ヲ艤裝シ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

陸軍將校ヲ指揮官トスル陸兵ヲ乗リ込マセタ。「ワシントン」ハ此ノ艦隊ヲ掌握シテ居タ。此等ノ船ノ1艘 "Lee" 號ハ艦長 John Manly ト同ジク、ソノ委任狀ハ「ワシントン」ニヨツテ署名サレタモノデアツタガ、「砲艦 "Nancy" 號ヲ拿捕シタ。同艦ハ新組立ノ一大臼砲ノ外ニ、數門ノ眞鍮砲、多量ノ小武器、彈藥及陣營、大砲ニ必要ナル無數ノ道具、什器、機械類ヲ積載シテ居タ。"Nancy" 號ヲ拿捕サレテ英國ハ大ニ怨ンダ。」(以上 1776 年「ロンドン」發行 Dodsley ノ Annual Register ニ據ル)。斯様ニシテ「ワシントン」ノ艦隊ハ總計約 35 艘ノ拿捕船ヲ手中ニ收メタ。(Paullin ノ The Navy of the American Revolution ニ據ル。)

斯ノ如クシテ暴虐政治ニ對スル酷烈ナル憤怒ノ感——之ニハ多クノ場合、戰利金カラ個人的利得ヲ擧ゲヤウトイフ動機モ附帶シテ居タガ——ノミナラズ、又植民地陸軍ノ必要カラ急速ニ雜多ノ艦船隊ガ生ジタノデアル。此ノ艦船隊ハ私掠船或ハ個々ノ植民地ニヨツテ所有サレ又委任サレタル船舶、或ハ米國議會ニヨツテ委任サレタル船舶デ編成サレタモノデアル。

◎海 軍 委 員 會

Falmouth 市ノ燒キ拂ヒヲ報道シタ「ワシントン」ノ書信ハ、1775 年 11 月 1 日米國議會デ讀マレタ。ソコデ議會ハ應急ノ處置トシテ、翌日海軍兵器ニ 10 萬弗ノ出費ヲ決シ、委員會ニ命ジテ艦船ヲ購入セシメルコトニナツタ。ソレカラ數週間後、議會ハ更ニ第2委員會ヲ任

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

命シタガ、コレハ 32 門乃至 24 門ノ砲ヲ有シ 1776 年 3 月マデニ完成スベキ 13 艘ノ艦カラ成ル艦隊ヲ提案シ、又併セテソノ艦船建造及艤装監督ニ當ルベキ第 3 委員會ノ任命ヲ勸告シタ。此ノ具申ハ議會ノ認容スルトコロトナツタ。海軍委員會トシテ知ラレテ居ル此ノ第 3 委員會ニハ、各植民地ニ對シ 1 人ノ割合デ 13 人ノ委員ガ居タ。同委員會ノ顔觸ハ第 2 委員會ト實際的ニ同一ナモノデアリ、Robert Morris ヤ、John Hancock ヤ、Samuel Chase ノ如キ歴歴タル人材ヲ集メテ居リ、彼等ハ熱誠愛國ノ情ニ燃エテ働イタノデアル。

海軍委員會ハ 1775 年 12 月カラ 1779 年 12 月ニ至ルマデ我ガ海軍ノ軍務ヲ管理シタ。コノ海軍委員會ハ今日ノ米國海軍省ノ前身トナツタノデアルガ、ソノ職能ハ遙ニ複雜デアツタ。當時ノ米國議會ト同樣ニコノ委員會ハ立法權、司法權、行政權ヲ行使シタガ、常ニ議會ノ監督ヲ受ケテ居タ。而シテ同樣ナ不備、即チ行政長官、諸州ヲ總轄スル實際上ノ權威者ガ居ナカツタガ爲ニ、議會同樣此ノ委員會ヲモ惱マセタノデアル。

此ノ海軍委員會ガ惱ンダ或難問ハ、當時海軍將校ノ任命ハ後日上院ノ承認ヲ俟ツテ大統領ニヨツテ補任サレルトイフノデハナク、次ニ擧グル諸法ノ何レカニヨツタガ爲デアルト言ハレテ居ル。即チ海軍委員會自身ニヨツテ任命スル方法、「フィラデルフィア」及「ボストン」ニ於ケルソノ從屬委員會、或ハ何レカノ海軍司令官ニヨル任命法、或ハ徵兵官ニヨル任命法、或ハ外國委員ニヨルモノ、或ハ數州ノ地方當局ニヨル任命法ノ如キモノガアツタ。尙ソノ上、軍艦ヲ建造、艤装シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

又其ノ行動ヲ指圖スル以外ニ、該委員會ハ軍法會議ヲ開キ、外國ヘ通報ヤ外交團ヲ送リ、又米國ノ產物ト歐洲產ノ軍需品トヲ交易シナケレバナラナカツタ。斯ノ如キ事情ノ下ニアツテ、而モ此ノ委員會ガアレ程ノ業績ヲ成就シタノハ驚クベキコトデアル。

海軍委員會ハ行政機關トシテハ不都合ナルコトガワカリ、1779 年「海軍本部」("Board of Admiralty") ナルモノニ取ツテ換ハラレタ。海軍本部ハ 3 人ノ委員ト 2 人ノ國會議員トデ成リ立チ、1781 年マデ實施サレテ居タ。最後ニ Robert Morris ガ海軍委員長ニ任命サレタガ、彼ハ米國海軍ニ殘サレタル仕事ヲ極メテ有效ニ處理シタ。此ノ時マデニ議會ハ、行政官廳ハ特ニ戰時ニ於テハ 1 人ノ長官ノ下ニ管轄サルベキデアル事ヲ認知シタノデアル。

◎最初ノ米國艦隊

第 1 海軍委員會ハ 2 艘ノ 24 門「フリゲート」艦「アルフレッド」號ト「コロンブス」號及 2 艘ノ「ブリッグ」船「アンドリア・ドリア」號、「キヤボット」號トヲ購入シテ艤裝ヲ施シ、此等ノ船ニ「ペンシルヴェニア」保安委員會カラ借リタ彈藥ト小銃トヲ備ヘツケタ。1775 年 12 月 22 日米議會ハ Esek Hopkins ニ艦隊司令官ノ職權ヲ與ヘ、Dadley Saltonstall ヲ Alfred 號ノ艦長ニ、Abraham Whipple ヲ Columbus 號ノ艦長ニ、Nicholas Biddle ヲ Andrea Doria 號ノ艦長ニ、又 John Burroughs Hopkins ヲ Cabot 號ノ艦長ニ任ジテ、最初ノ「アメリカ」艦隊ヲ編成シタ。John Paul Jones ハ同時ニ任命サレ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ5人ノ大尉名簿ノ筆頭ニナツタ。

1776年ノ1月末マデニ委員會ハ此ノ艦隊ニ「スループ」艦 Providence 號ト Hornet 號及「スクーナ」船 Wasp 號ト Fly 號トヲ追加シテ居タ。此等8艘ノ軍艦ニ委員會ハ13萬4千3百33弗ヲ出費シタ。此ノ小兵力ヲ以テ司令長官ハ Lord Dunmore ノ英艦隊ヲ攻撃スル爲ニ「チェサピーク」灣ヘ直行スル樣ニ命ゼラレタ。ソレカラ若シ成功スレバ、彼ハ更ニ「カロリナ」島ニ進出シテ其處ノ英軍ヲ攻撃シ、更ニ「ロード」島ニ進ンデ「見當リ次第敵海軍ヲ攻撃シ、拿捕シ擊破」スル樣命ゼラレタ。是ハ110門ノ砲ヲ搭載シ初航海ノ水兵或ハ少クモ海軍ノ訓練ヲ經ザル兵員ヲ乘組マセテ居タ8艘カラ成ル艦隊ノ身ニ餘ル大仕事デアツタ。此ノ兵力ニ抗スルニ英軍ハ「アメリカ」近海及來航途中ニアルモノヲ加ヘテ、2,078門ヲ搭載スル78隻ノ軍艦ヲ持ツテ居タ。Hopkin 代將ノ艦隊ハ9听砲以上ノ大砲ハ僅ニ40門ヲ有セザリシニ反シ、當沿岸ノ78隻ノ英艦ハ少クモ18听以上ノ砲500門ヲ持ツテ居タ。斯カル事情ノ下ニ海軍委員會ガ司令長官 Esek Hopkins ニ與ヘタル命令ハ失敗ニ外ナラナカツタノデアル。

恐ラク Hopkins 代將自身モ與ヘラレタル命令ヲ嚴守スルコトノ無益ナルヲ豫知シタコトデアラウ。何トナレバ彼ハ「チェサピーク」灣ヘハ赴カズシテ、「バハマ」群島ノ Nassan ヘ進出シテ之ヲ占領シ、多量ノ彈丸、約8門ノ大砲、15門ノ臼砲、其ノ他ノ軍需品ヲ分捕ツタ後、總督及副總督ヲ捕虜ニシテ北方ヘ進ンダカラデアル。彼ハソノ目的地 Rhode 島ニ接近シタ時、英艦「グラスゴー」(20門艦、艦長

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

Tyringnam Howe）ニ遭遇シタガ、此ノ英艦ハ獨力デ Hopkins ノ艦隊ニ大損害ヲ與ヘテ手際ヨク逃ゲテ行ツタ。英艦ノ損失ハ兵員4名ナルニ對シ、米軍ノ死者24名、其ノ中2名ハ大尉デアツタ。

僅ニ1艘ノ艦ガ艦隊ニ損害ヲ加ヘテ逸走シタトイフ事ハ、米艦隊ノ將校ニ戰術上ノ腕ガ無カツタコトヲ證明シタノミナラズ、尙 Hopkins 代將ハ與ヘラレタル命令ニ服從シナカツタ廉ニヨリ軍法會議ニ附セラレ、終ニ除免セラレテシマツタ。

Hopkins 代將ハ「海軍司令長官」ナル官職ヲ有スル唯一ノ人デアツタガ、其ノ後此ノ職名ハ大統領ノ職名ノ中ニ含マレルコトニナツタ。從テ獨立戰爭中、海軍將校ノ官階ハ Captain ト Lieutenant ノミデアツタ。然ルニ議會ハ明ニ將來ニ備ヘンガ爲ニ、陸海軍ノ相對的官階ヲ次ノ如クニ定メタ。即チ海軍大將（Admiral）ハ陸軍大將（General）ニ相當シ、海軍中將（Vice-Admiral）ハ陸軍中將（Lieutenant-General）ニ、海軍少將（Rear-Admiral）ハ陸軍少將（Major-General）ニ、海軍代將（Commodore）ハ陸軍旅團少將ニ、40門艦以上ノ大佐艦長ハ陸軍大佐ニ、20門乃至40門艦ノ艦長ハ陸軍中佐ニ、10門乃至20門艦ノ艦長ハ陸軍少佐ニ、海軍大尉（Lieutenant）ハ陸軍大尉（Captain）ニ相當スルコトニシタ。此ノ官階表ハ當時ノ英國ノ制規カラ採用サレタモノデアルガ、大體ニ於テ今日マデ繼續實施サレテ來タモノデアル。

◎獨立戰爭中ノ海軍ノ重要事件

我々ノ見解ヨリ言ヘバ、獨立戰爭中ニ於ケル小規模ノ米國海軍ノ戰

HP『海軍砲術学校』公開史料

ツタ戦闘ヲ一々枚擧スルコトハ殆ド益無キコトデアラウ。Paullin ハ其ノ著「「アメリカ」獨立戦爭ノ海軍」ニ於テ「アメリカ」議會直屬ノ艦船總數ヲ 42 艘ト算定シテ居ル。此等ノ艦船ハ戦爭ノ終局マデニ實際的ニ悉ク殲滅シテシマツタ。然シ此ノ初期ノ海軍ノ勇マシキ奮闘ハ效無キモノデハナカツタ。其等ヲ考察スルニ當テ、Champlain 湖上ニ於ケル Benedict Arnold ノ功績ヲ、英國近海ニ於ケル Wickes ヤ Conyngham ヤ、特ニ Jones ノ功績ヲ、又「アメリカ」海邊ニ於ケル Biddle ヤ Barry ヤ其ノ他ノ諸氏ノ功績ヲ略述シヤウ。尚佛蘭西ノ援助ト共ニ米海軍及私掠船ニ就テモ記述セネバナラヌ。

◎Champlain 湖ノ最初ノ戦闘

Champlain 湖及 George 湖ヲ掌中ニ收メル事ハ、戦爭ノ初期カラ戦略上重要ト考ヘラレタ。此等 2 湖ハ加奈陀カラ植民地ヘノ優秀ナ水路トナツタバカリデナク、英軍ノ計畫トシテ、Carleton ノ陸軍ガ加奈陀カラ進出シテ Albany 附近ニ集結シ、以テ南北ノ植民地ノ交通路ヲ遮斷シヤウトシテ居タノデアル。「アメリカ」ノ陸軍ハ既ニ 1775 年 9 月加奈陀ニ侵入シテ、其ノ冬 Guy Carleton 總督ヲ「ケベック」ニ封鎖シテ居タノデアル。英艦隊ガ援隊ヲ伴ツテ到着スルト同時ニ米軍ハ Crown Point ヘ後退シ、1776 年 7 月 3 日同地ニ到着シタ。ソノ昔西印度商人トシテ屢自己ノ商船ヲ指揮シタコトノアル旅團少將 Benedict Arnold ハ、直ニ英軍ニ對抗シテ湖上艦隊ノ建設ニ取リカカツタ。7 月ノ下旬彼ハ Gates カラ湖上海軍部隊ノ指揮官ニ任命サレ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。10月マデニ彼ハ「スループ」艦1艘、「スクーナ」船3艘、「ゴンドラ」船8艘、「ギャリー」船4艘ヲ集メルコトガ出來タ。此等ノ艦船ハ總計2听砲乃至18听砲94門ヲ搭載シテ居リ、700人ノ將兵ガ乘リ込ンデ居タガ、Arnold ノ言ヒ分ニ依レバ、「碌デモナイ雜色ノ乘組員デ、陸戰隊ハ各聯隊ノ落屑デアリ、水兵ニハ塩氣ノアルモノハ殆ド無カツタ。」ノデアツタ。Arnold ハ自己ノ旗艦トシテ「ギャリー」船 Congress 號ヲ選ンダガ、此ノ船ハ長サ55呎、幅13呎、1門ノ18听砲、1門ノ12听砲及2門ノ6听砲ヲ搭載スルモノデアツタ。

然ルニ熟練セル水兵ヲ多ク持チ、艤裝品ニ事缺カヌ英軍ハ、艦隊ヲ造ル競爭ニ勝ツタ。即チ敵軍ノ建艦工事擔當 Charles Douglas 大佐ハ28日カカツテ12听砲18門ヲ搭載スル全裝帆船 Enterprise 號ヲ造リ上ゲテシマツタ。此ノ Enterprise 號ハ「ケベック」デ工事ヲ始メ、St. Lawrence 河カラ Richelieu 河マデ運バレテ來タ船デアルガ、其ノ積載量ハ180噸デ、大サニ於テモ兵器ニ於テモ、Arnold ノ艦隊ノドノ艦ヨリモ遙ニ優ツテ居タ。10月早々 Sir Guy Carleton 將軍ハ Douglas 大佐ノ鋭意建艦ノ勞ニヨリ1艘ノ3檣船、2艘ノ「スクーナ」船、1艘ノ筏船、1艘ノ大型ノ「ゴンドラ」船、20艘ノ砲艦及4艘ノ武裝附屬船ヲ麾下ニ收メルコトガ出來、又「セント・ローレンス」河ニアツタ英艦隊ハ Carleton 將軍ニ700人ノ經驗アル將兵ヲ配シタ。尙敵ハ Thomas Carleton（陸軍）少佐ヲ隊長トスル土人軍ノ一隊ヲ持ツテ居タ。

Mahan ノ言ニヨレバ、「一大陸ヲ戰利品トシテ取得セントスル矮人

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

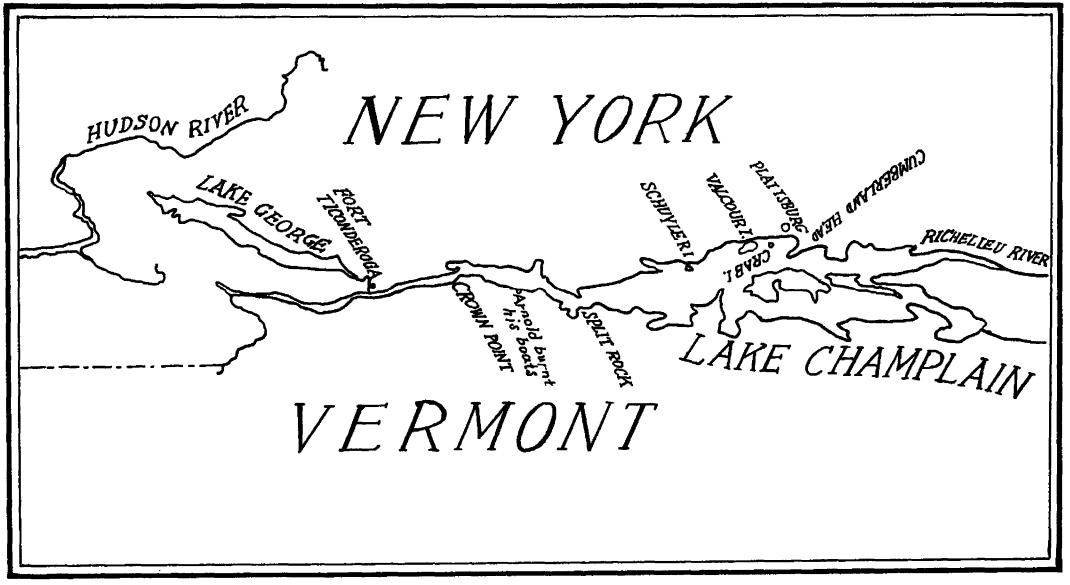
HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ戰爭」トモ言フベキ米軍ニヨツテ戰ハレタル最初ノ艦隊戰鬪ハ 1776年ノ10月11日ニ始ツタ。Arnold ハ後年（1814年9月11日）再ビコノ大水路ノ支配權ヲ獲得セントシテ起ツタ Champlain 湖ノ戰場ヨリ遠カラヌ Valcour 島ノ島蔭デ Carleton ヲ待チ伏セテ居タ。

英艦隊ハ總帆ニ順北風ヲ受ケテ南下シ來リ、其ノ先頭ハ Arnold ノ艦隊ヲ發見スル前ニ米軍ノ前ヲ通過シタ。之ガ爲ニ Carleton ノ率キル主力部隊ハ猛擊ヲ受ケテ居ル砲艦ヲ助ケル爲ニ徐々ニ反轉シナケレバナラナイ樣ナ狀況デ戰ヒハ始マリ、米軍ハ朝ノ11時カラ午後5時マデ必死ニナツテ戰ツタ。然シ其ノ先頭ハ英軍ニ攻擊サレ、後方ハ「インディアン」土人軍ニ海岸ヲ占領サレテ、Arnold ノ艦隊ハ進退兩難ニ陷ツテシマツタ。然ルニ其ノ晩、湖ノ霧ニマギレテ Arnold ハ英軍ノ戰線カラ Ticonderoga ノ方ヘ脫走スルコトガ出來タ。英軍ハ之ヲ追擊シ、ソノ後2日ニ亘ツテ戰鬪ハ續イタガ、最後ニ Arnold ハ其ノ船ヲ海邊ニ乘セ上ゲ、部下ノ兵ガ其ノ「ゴンドラ」船ヲ燒イテ森林ノ中ヘ脫走スルマデ必死ニ戰ツタ。此ノ戰鬪ノ結果米國艦隊ハ大部分拿捕サレルカ、又ハ擊破サレ、110人ノ捕虜ヲ敵手ニ渡シタ。捕虜ノ中ニハ次席指揮官 Waterbury 將軍モ含マレテ居タ。Arnold ハ殘餘ノ部下ト共ニ免レテ Crown Point ヘ脫走シタ。

斯クテ Arnold ノ艦隊ハ全滅ニ歸シタガ、此ノ戰鬪ノ爲敵將 Carleton ヲシテ南下ノ機ヲ失セシメ、米軍ハ非常ナル利益ヲ得タ。「大小ヲ問ハズ、如何ナル部隊モコレ程有利ニ力戰シ、又名譽アル戰死ヲシタモノハナイ。何故トイフニ、此ノ戰デ此ノ湖ハ其ノ1年助カツタカ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/


NEW YORK
HUDSON RIVER
LAKE GEORGE
FORT TICONDEROGA
CROWN POINT
Arnold burnt his boats
SPLIT ROCK
SCHUYLER I.
VALCOUR I.
PLATTSBURG
CUMBERLAND HEAD
CRAB I.
RICHELIEU RIVER
LAKE CHAMPLAIN
VERMONT

HP『海軍砲術学校』公開史料

ラデアル。」ト Mahan ガ言ツテ居ル。此ノ戦デ手間取ツタガ爲ニ、Carleton ハ Howe ヲ南方ニ合同セシメントスル計畫ヲ放棄シナケレバナラナクナツタノデアツタ。翌年 Burgoyue ガ New York 侵略ノ再擧ヲ計ツタ時ニハ、彼ニハ Carleton ガ 1776 年倚ルコトノ出來タ援助ガ得ラレナカツタ。故ニ此等湖水上ニ於ケル Arnold ノ功業ハ、Saratoga ニ於ケル Burgoyue ノ降服ノ緒口ヲツケタモノデアルト云フコトガ出來ル。

◎歐洲ノ海上ニ於ケル Wickes ト Conyngham

恐ラク Wickes ヤ Conyngham ヤ Jones ガ英國ノ海岸ヲ掠奪シ廻ツタコト位、或私掠船員ノ勇敢ナル行爲ハ別トシテ、米國人ノ果敢冒險心ヲ斯クモ徹底的ニ例證スルモノハアルマイ。1776 年ノ秋 16 門ノ砲ヲ有スル「ブリッグ」船 Reprisal 號ノ艦長 Lambert Wickes ハ、Benjamin Franklin ヲ佛蘭西ヘ送リ届ケル途中 2 艘ノ船ヲ拿捕シタ。翌春 Lexington 號ハ Reprisal 號ト聯合シタガ、此等 2 艘ノ船ハ約 15 艘ノ戰利船ヲ得タ。之等ヲ引キ具シテ此等巡洋艦ハ佛蘭西ヘ歸ツタガ、佛蘭西ハ表面上英國ト平和ヲ保ツテ居タカラ、此等ノ船ハ立チ退キヲ命ゼラレタ。該戰利獲得品ヲ內密ニ佛蘭西ノ商人ニ賣拂ツテ後、Lexington 號ハ艤裝ヲ改メテ 1777 年 9 月 18 日 Morlaix カラ出帆シタ。同艦ハ其ノ後間モナク Alert 號ニヨツテ拿捕サレ、乘組將兵ハ Plymouth ヘ廻サレテ、國事犯ノ廉ヲ以テ Mill 監獄ヘ投ゼラレタ。後日 Bonhomme Richard 號デ勳功ヲ立テタ Richard Dale モ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

此ノ下獄者中ノ1人デアツタ。彼ハ下獄1年後英兵ノ制服ヲ着用シ、大膽ニモ衛兵ノ前ヲ通リ抜ケテ脫走シタ。英軍ノ主張ニ基イテ Reprisal 號モ亦佛蘭西ヲ立退イタガ、同艦ハ歸國ノ途中、Newfoundland 淺瀨沖デ浸水沈沒シ、乘組員1人ダケ助ツテ、殘リ全部ハ勇敢ナル Wickes ト共ニ溺死シタ。

Conyngham 大佐ガ蠻勇ヲ振ツテ英國ノ通商船ヲ私掠シ成功ヲ收メタガ爲ニ、英佛ノ關係ヲ殆ド斷絕ニ頻セシメタ。

巴里駐在ノ「アメリカ」委員ハ代理者ヲ通ジテ旣ニ Dover デ單檣帆船1艘ヲ購入シテ居タガ、ソレヲ Dunkirk デ配員艤裝シテ之ヲ Surprise 號ト命名シタ。大統領 John Hancock ノ署名ヲ以テ議會ハ佛蘭西駐在ノ「アメリカ」委員ニ白紙委任狀ヲ發シタ。委員 Benjamin Franklin 及 Silas Deane ガ Gustavus Conyngham ノ名ヲ記入シテ、彼ニ米海軍大佐トシテ Surprise 號ニ乘組ムコトヲ認可セシメタノハ、1777年3月1日附ノ此ノ委任狀デアツタ。Surprise 號ヲ Dunkirk カラ出港セシメルノニ難問ガ澤山起ツタ。Conyngham 艦長ハ武器ヲ船カラ卸シ、諸威ノ某港行キノ商品ヲ積ミ込ムト言ツタ。此ノ言明ニ嫌疑ガカカツタノデ、保障ガ要求サレタ。Hodge 及 Allen 2人ガ Conyngham ノ責任ヲ取ルコトニナツタ。Conyngham 艦長ハ實際武裝セズ Dunkirk 港ヲ出タガ、夜ノ間ニ水兵ヤ砲ヤ彈藥ヲ同港沖合ニ居ル間ニ取リ寄セタ。ソシテ間モナク英國ノ郵船 Prince of Orange 號ヲ拿捕シタ。此ノ事ガ佛蘭西政府ノ知ルトコロトナルヤ否ヤ、保障者ノ1人 Hodge ハ捕ヘラレテ Bastille 牢獄ヘ下サレタ。カノ郵船ハ手續ヲ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

經ズシテ英政府ヘ返還サレタ。禁錮6週間ニシテ Hodge ハ釋放サレタノデアツタ。

此ノ事アツテ間モナク、Conyngham ハ Harwich ノ郵船ヲ拿捕シテ佛蘭西ノ港ヘ持ツテ行ツタ。此ノ中立國ノ公然タル違反ハ英軍ヲ激怒サセ、若シ Conyngham 及ソノ拿捕船ヲ直ニ渡サナケレバ、英國大使ハ佛蘭西ヲ引キ上ゲルト脅シタ。佛國政府ハ Surprise 號艦長及乘組員ヲ投獄シテ、船ヲ其ノ所有者ニ返シタ。然ルニ英國ガ Conyngham 及ソノ部下ヲ引取ノ爲「スループ」艦ヲ派遣シタ其ノ前ニ、既ニカノ「アメリカ」人等ハ或術策ニヨツテ釋放サレ、「アメリカ」委員ヤ部分的ニハ個人ノ出資ニ依リ裝備艤裝サレタ他ノ「カッター」船ニ乘組ミ出港シテ居タ。「フィラデルフィア」ノ商人 Hodge 及恐ラク他ノ誰カガ少クモコノ「カッター」船其ノ後ノ航行ニ金錢上ノ關係ヲ持ツテ居タモノト思ハレル。

Revenge 號ハ幾多ノ拿捕船ヲ獲得シ、2回モ變裝シテ大膽ニモ英國ノ港ニ入ツテ改裝シタ。Dean ガ 1777 年ノ8月 Robert Morris ニ書キ送ツタ樣ニ『Conyngham ノ巡弋ハ大ニ英國ヲ震愕セシメ保險ヲ昇騰セシメ、兎モ角英國ノ船デ積荷スルコトヲ英國ノ商人ヲシテ遲延セシメタノデ、數週間後ニハ佛蘭西ノ船ガ 40 艘モ「テームズ」河デ船積シテ居タ。是ハ從來前例ノ無イ事デアル。要約スレバ Conyngham ハ彼ノ第1回及第2回ノ大膽ナル遠征ニヨツテ、「イングランド」及「スコットランド」ノ全東部海岸ノ脅威者トナリ、Thurot ガ後日恐レラレタヨリ以上ニ恐レラレタ。』ノデアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

更ニ後日ノ巡弋デ、Conyngham ハ彼ノ拿捕品ノ大部分ヲ西班牙ノ Ferrol 港ヘ送ツタ。斯クシテ彼ガ英國ノ通商船ニ加ヘタ掠奪ハ、以前ノ遠征程佛蘭西及「アメリカ」ノ委員ヲ惱マサナカツタ。1778 年 Conyngham 艦長ハ捕ヘラレタガ、入獄中彼ハ非常ニ苛酷ナ取扱ヒヲ受ケタノデ、其ノ年ノ7月17日米國議會ハ決議ヲ以テ「人道ニ反シ、文明國家ノ慣習ニ悖ル」取扱ニ對シテ抗議シタ。

◎海軍捕虜拿捕品及此等ノ中立國ニ及ボセル影響

「アメリカ」ノ艦船ニヨツテ犯サレタ中立權ノ侵犯ト相竝ンデ、英國ニ於ケル海軍捕虜ノ問題ハ「アメリカ」ノ委員ニトツテハ非常ナル苦痛ノ種デアツタ。此等委員ハ佛蘭西ニ於テハ單ニ市民ノ資格ヲ持ツテ居ルニ過ギナカツタガ、佛蘭西ノ裁判所デハ禮儀ヲ盡シテ待遇サレタ。然シ未ダ彼等ハ公然ト認メラレタモノデハナカツタ。茲ニ於テ彼等ノ仕事ハ極度ノ策略ト機微ナル處置ヲ必要トシタ。英國ニ於ケルカノ海軍捕虜ハ極端ニ苛酷ナ取扱ヲ受ケタコトハ、英國ノ當局スラ之ヲ認メタ。此ノ苛酷ナル取扱ハ英國ニ於ケル獄內狀況不備ニモヨルモノデアツタガ、又實ニ 18 世紀ニ於ケル歐州ノ他ノ國々ニ於テモ同樣デアツタ。英國近海ヲ「アメリカ」ノ艦船ガ巡弋シタ理由ノ一ハ、「ポーツマス」ノ Forton 刑務所ヤ、「プリマス」ニ於ケル Mill 刑務所ヤ、「ブルックリン」ノ監獄船 Jersey 號ニ於ケル「アメリカ」人ノ待遇ニ對スル復讐トシテ、英國人ヲ捕ヘルコトデアツタ。

「英國政府ハ歐洲ノ海上デ捕ヘタ捕虜ノ交換ヲ3箇ノ理由根據ニヨリ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

斷ツタ。即チ

（1） 之ハ叛徒ニ交戰權ノ承認ヲ與ヘルコトニナルコト、

（2）「アメリカ」人ノ捕虜ヲ英國ニ留メテ置ケバ、今後彼等ヨリ禍害ヲ受ケズニ濟ムコト、英人ガ「アメリカ」ノ船ノ爲ニ捕虜トナリタル場合、佛蘭西ガ此等捕虜ヲ上陸サセテ、佛國ノ陸上ニテ投獄サレルコトヲ拒絶セル限リ、同樣ナル事情ハ英軍ノ捕虜ニハ適用出來ナカツタコト、

（3） 英國ノ水兵ハ米國ノ水兵ヨリモ遙ニ多數デアツタカラ、交換ハ前者ニ對スルヨリモ後者ニトツテ有利ナルベキコト。

此等英國ニ於ケル捕虜ハ苦痛ヲ免レル爲ニ、英國海軍或ハ捕鯨船隊ニ入籍シタモノモアツタガ、中ニハ脫獄シタモノモアツタ。Conyngham 及 60 人ノ一味ハ、1779 年 11 月大地ニ穴ヲ穿ツテ捕虜ノ身カラ脫シタ。斯クシテ彼ノ所謂「陛下ノ地ヲ通シテ謀叛」シタノデアツタ。1778 年 2 月佛蘭西ト米國トノ間ニ秘密條約ノ調印ガ出來タ後モ、「フランクリン」ガ英國側ニ捕虜ヲモツト自由ナ見解ノ下ニ交換スルコトヲ說得出來タノハ容易デナカツタ。事實 1779 年 3 月漸ク篤 1 回ノ捕交換ガ實施サレタ。米國側ハ佛蘭西トノ條約ガ出來ルマデハ、英國近海デ捕ヘタ捕虜ハ船上ニ監禁シテ置クカ、然ラザレバ放免シテヤルヨリ仕方ガナカツタ。條約締結後及 1779 年英國、西班牙間ニ戰爭勃發以後、此等ノ捕虜ハ佛蘭西及西班牙デ投獄サレタ。同樣ニ歐洲ノ海上デ拿捕サレタ捕獲品ノ處分問題モ、條約締結前ハ困難ナル問題デアツタ。多クノ拿捕船ハ佛蘭西ヘ運バレ、「アメリカ」ノ艦長ハ拿捕船ヲ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

率キテ出港スベシトイフ表向ノ命令ハアツタケレドモ、内密ニ佛蘭西デ賣却サレテシマツタ。實際 1778 年他ノ理由デ佛英ノ間ニ戰爭ガ勃發シナカツタトシテモ、中立違反ヲ佛蘭西ガ默許シタトイフ事ガ原因トナツテ、英佛ノ間ニハ戰爭ガ起ツタコトデアラウ。

HP『海軍砲術学校』公開史料

第2章 獨立戰爭（其ノ2）

—John Paul Jones ノ巡弋

◎「ジョン・ポール・ジョンズ」ノ初期ノ巡弋

「ポール・ジョンズ」ノ獨立戰爭中ノ初期ノ經歷ヲ簡單ニ述ベテ置カウ。1776年5月10日彼ハ初メテ12門艦「ブリッグ」船 Providence ノ指揮官トナツタ。此ノ船デ彼ハ軍隊及商船ヲ護送シタガ、英國ノ數多クノ巡洋艦ノ目ヲ晦マスコトガ非常ニ巧ミデアツタノデ、議會ハ8月彼ヲ正式ノ大佐ニ昇進セシメ、大西洋岸ヲ巡弋シテ拿捕ニ從事スベキ旨命ジタ。1776年9月大膽ナル行動ニヨツテ彼ハ28門「フリゲート」艦 Solebay 號カラ危難ヲ免レタ。後更ニ彼ハ英「フリゲート」艦 Milford 號カラ逃レテ16艘ノ拿捕船ヲ手中ニ入レ、又他ニ數隻ノ船ヲ擊破シタ。此ノ事アツテ後間モナク、Alfred 號指揮中「ジョンズ」ハ英「ブリッグ」船 Mellish 號ヲ捕獲シタガ、同艦ハ軍需品ヲ搭載シテ居タ。米國ヘ歸航ノ途中彼ハ再ビ Milford 號ニ追擊サレタガ、拿捕船ヲ護送シテ居タノデ、巧ミニ Milford 號ヲ夜陰ニ乘ジテ此等ノ船カラハズシテシマツタ。ソレデ一行ノ船ハ無事「アメリカ」ノ港ニ到着出來タ。ソレカラ「ジョンズ」ハ優レタル操艦術ニヨツテ敵ノ追擊カラ脫シテシマツタ。

「ジョンズ」大佐ハ1777年6月14日 New Hampshire ノ Portsmouth デ建造サレタ新式ノ18門艦 Ranger 號ノ指揮官トナリ、佛蘭西行ヲ命ゼラレタ。彼ヲ外國ノ海上ヘ送ツタノハ如何ナル動機デアツタカハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料



Paul Jones

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ渡スニハ忍ビナイモノデアル。事情斯クノ如キモノトスレバ、1776年10月10日議會ニヨッテ採決サレタ海軍ノ第2回大佐序列表ニ於テ、自分ハ13人（中2人ハ初メ自分ノ後任尉官デアリ、殘餘ハ同日米海軍ニ入ッタモノデアル。又彼等ニ優秀ナル力量ガアルニシテモ、當時ソレハ知ラレテ居ナカッタシ、又ソノ後モ立證サレテモ居ナイ。）ノ爲ニ追ヒ越サレテシマッタ今日、胸中ノ感ハ如何デアラウカ。自分ハ Whipple 大佐ヲ除イテ議會ノ任命ヲ受ケタル海軍現役將校中ノ最古參者デアル。」

「ジョンズ」ヲ歐洲ヘ派遣スル動機ガ何デアッタニシテモ、彼ハ直ニ遠航ノ爲ニソノ乘艦ノ準備ニ取リカカッタ。Ranger 號乘組ノ將校及准士官ノ選擇ハ3人ノ委員ニ委ネラレタ。即チ海軍委員會ノ New Hampshire 委員、Portsmouth ニ於ケル新大陸代理者 John Langdon 及 Ranger 號ノ新指揮官 John Paul Jones ノ3人デアッタ。是ハ此ノ種ノ選擇ガ行ハレタ種々ノ方法ノ一ヲ例證スルモノデアル。是ハ艦船指揮官ニ部下トナルベキ乘組員ヲ選擇スルニ當ッテ發言權ヲ與ヘタモノデアルカラ、確ニ惡イ方法デハナカッタ。此ノ Ranger 號ハ當時制定サレタ星條旗ヲ最初ニ飜シタ船デアルト言ハレテ居ル。

「ジョンズ」ハ 1777年12月 Nantes ニ到着シ、其處カラ 1778年2月「キベロン」灣ニ向ケテ出帆シ、「アメリカ」ノ商船ヲ護送シテ行ッタ。丁度此ノ時分米國ト佛國トノ間ニアノ秘密條約ガ締結サレタノデアッタ。「ジョンズ」ハ命令ニヨリ中立國トシテノ佛國ノ權利ニハ深甚ノ注意ヲ拂フ樣警メラレテ居タ。何トナレバ「フランクリン」ハ北米

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

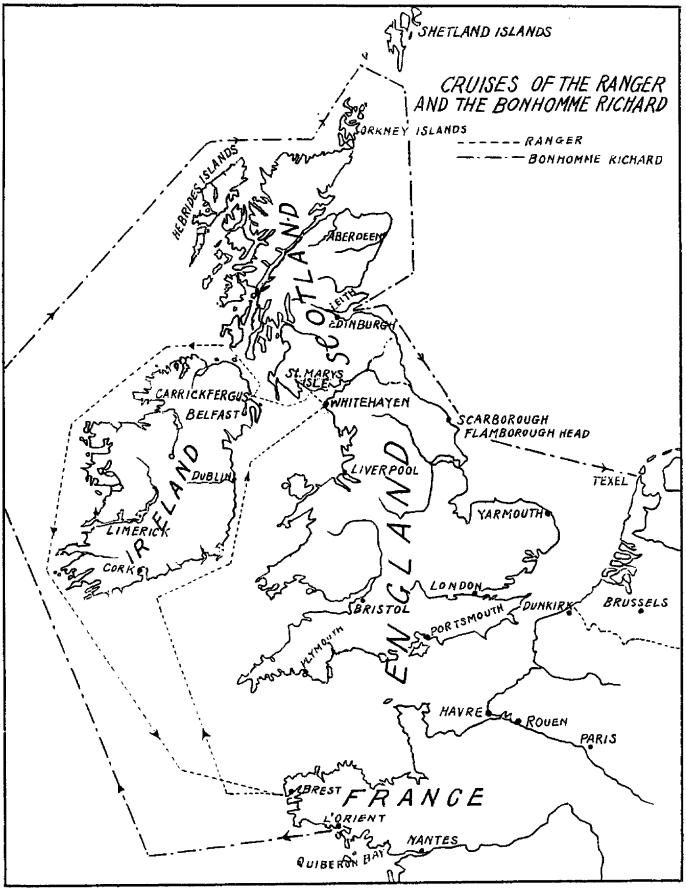
HP『海軍砲術学校』公開史料

合衆國ヲ佛蘭西ニ承認シテ貰ヘバ佛蘭西ヲモ英國トノ紛爭ニ投ズルモノト思ヒ、佛國ノ承認ニ最善ノ努力ヲシテ居タガ、併シ局外中立ガ不當ニ違背サルレバ大切ナ時ニ於テ「パリ」駐在ノ「アメリカ」委員ノ計畫ヲ損ウテシマウ虞ガアツタカラデアル。「ジョンズ」艦長ハ、Ranger 號ハ「キベロン」灣デ外國トノ禮砲ヲ交換シタ最初ノ「アメリカ」ノ艦デアツタト、1778年2月14日ソノ旨ヲ得意ソウニ報ジテ居ル。「ジョンズ」ハ佛蘭西艦隊長官トノ對等ノ禮砲ヲ交換サセヤウトシテ、使ノ船ヲ1艘佛蘭西ノ旗艦トノ間ニ往復交涉セシメタガ、結局佛蘭西側ガ2發少ナク禮砲ヲ射ツコトニ不本意乍ラ承知シタ。此ノ一事ハ「ジョンズ」ノ新歸化國ノ誇リヲ示サントシタルモノデアリ、又佛蘭西側ガ新國家承認ノ爲ニ寬大ニシテ公然タル態度ヲ示シタルモノデアル。

1776年4月「ジョンズ」ハ Brest ヲ去ツテ英國ノ海岸ヘ直行シタ。彼ガ先ヅ試ミタノハ、Whitehaven ニ在泊中ノ多數ノ船ニ放火セントシタコトデアツタ。即チ22日ノ朝早ク上陸シテ彼ハ容易ニ要塞ヲ占領シタ。然ルニ彼ノ計畫ニ故障ヲ生ジタガ爲時間ヲ空費シ、彼ガ船ニ到着スル以前ニ數千ノ群衆ガ海岸ニ押シ寄セテ居タ。ソコデ彼ハ1艘ノ船ニ火ヲ放チ、火焰ガ港內ノ200艘バカリノ船ニ延燒スルヲ期待スルヨリ外ニ致シ方ナカツタ。此ノ計畫ハ効ヲ奏シナカツタガ、ソノ大膽ナル行爲ハ甚シク英人ノ腦裡ニ畏怖ノ念ヲ與ヘタ。

此等ノ事件アツテ間モナク、「スコットランド」海岸ニ渡航シ、1艘ノ小艇ト少人數ノ1隊トヲ以テ「セント・メーリー」島ニ上陸シタ。「ジョンズ」ハ Selkirk 伯ヲ人質ニ捕ヘテ、英國內ニ於ケル「アメリ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



CRUISES OF THE RANGER AND THE BONHOMME RICHARD

HP『海軍砲術学校』公開史料

カ」人捕虜ノ待遇改善ヲ計ラウトシテ此ノ擧ニ出タノデアツタ。然ルニ Selkirk 伯ハ不在デアツタノデ、水兵等ハ城内ノ銀器ヲ沒取スルコトニ我慢シテ引揚ゲタガ、「ジョンズ」ハ部下カラ此等銀器ヲ買ヒ取リ、詫狀ニ武俠的言辭ヲ盡シテ Selkirk 伯ニソノ銀器ヲ返シタノデアツタ。

◎Ranger 號ト Drake 號トノ戰鬪

1778年4月24日ノ朝「ジョンズ」ハ Whitehaven ノ反對側ノ「アイルランド」ノ北東岸 Carrickfergus ノ沖合ニ現ハレ、英國ノ「スループ」型20門艦 Drake 號ヲ誘キ出シタ。兩艦互ニ近寄リ掛聲ヲ交換シタガ、此ノ時「Drake 號ハ Ranger 號ノ後方ニ居タノデ、自分ハ上手舵ヲ令シテ先ヅ片舷齊射ヲ行ツタ。戰鬪ハ猛烈ナル接戰トナリ、1時間4分頑強ニ續イタガ、敵ハ遂ニ降伏シタ。Drake 號ノ前檣及大檣ノ高帆桁ハ兩方トモ切斷サレテ檣頭ニ懸ツテ垂レ下リ、上檣桁及後檣斜桁ハ共ニ傾斜シテ檣ニサガリ、第2軍艦旗ハ射飛バサレテ艦尾看望臺カラ海上ニ垂レ掛ツテ居タ。又艦首三角帆モ射飛バサレテ海中ニ垂レ下リ、諸帆索具ハ全ク千々ニ切斷サレ、檣及桁ハ全部損ゼラレ、船體又甚シク擦損サレテ居タ。味方ハ唯 Wallingford 大尉ト1人ノ水兵ノ犧牲ヲ拂ヒ、6人ノ負傷者ヲ出シタノミデアルガ、敵ノ戰死負傷者數ハ遙ニ多數デ42人デアツタ。敵ノ艦長及大尉ハ負傷ヲ受ケタ。」ト「ジョンズ」ハ報告シテ居ル。

公平ニ言ヘバ Drake 號ハ表向キニハ Ranger 號ト匹敵スル艦デハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

アツタガ、不運ナル Chesapeake 號ガ Leopard 號ト會戰シタ時ト同様ニ、戰闘準備ガ充分デナカツタ。Drake 號ノ乘組員ハ新シク、ソノ乘組將校トイヘバ、艦長ト義勇兵トシテ志願シテ最後ノ瞬間ニ乘艦シタ1人ノ大尉ダケデアツタ。Drake 號ニハ砲手無ク、彈藥筒ニ裝藥セラレズ、又火藥取扱ノ準備モ出來テ居ナカツタノデアル。

◎「アメリカ」近海ニ於ケル Biddle, Barry 兩艦長

「ジョンズ」ガ英國ノ近海ニ於テ斯クノ如ク戰功赫々タリシ頃、「アメリカ」近海ノ船ハ優勢ナル英海軍ニ對シ、殆ドソノ戰績ノ見ルベキモノガ無カツタ。然シ米海軍ノ艦長連ノ中 Biddle 及 Barry ノ如キハ勝算無キ戰ニ於テ奮闘シ、ソノ功ハ特記スルニ足ルモノデアル。米議會ニヨツテ建造サレタ13艘ノ「フリゲート」艦ノ1艘、32門艦 Randolph 號ニ座乘シテ、Nicholas Biddle 大佐ハ西印度近海ニ於テ英軍ノ64門戰列艦 Yarmouth 號ト戰ツタ。惡戰1時間ニシテ Yarmouth 號カラ飛來シタ1彈ハ Randolph 號ノ火藥庫ヲ爆發シ、同艦ヲ粉碎シテシマツタ。Randolph 號ノ乘組員315名ノ中僅ニ4名ダケガ生キ殘ツタ。

John Barry 大佐ハ Lexington 號デ 1776年4月英軍ノ「スループ」艦 Edward 號ヲ拿捕シタ。其ノ後 Barry ハ Effingham 號ニ榮轉シタガ、此ノ艦ハ Delaware 河デ擊破サレタ。32門艦 Raleigh 號ニ乘ツタ Barry ハ其ノ後 1778年9月50門艦 Experiment 號ト「フリゲート」艦 Unicorn 號トニ遭遇シタ。彼ハ2日間ニ亘ツテ航走戰ヲ續

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ケタガ、風ニナツタ時、彼ハ遂ニ艦ヲ「メーン」州ノ海岸ニ乗リ上グテシマヒ、部下ノ兵ト共ニ逃亡シタ。此ノ戰闘ノ少シ前、Barry 大佐ハ部下27人ト共ニ英國ノ武裝「スクーナー」艦 Alert 號ヲ Delaware デ襲ツテ闖入シ、116人ノ將兵ヲ捕虜トシ、該「スクーナ」艦及2艘ノ運送船ヲ沈メテシマツタ。Barry ハ獨立戰爭中ノ最モ勇敢ナル海軍士官ノ1人デアツタ。然シ彼ハドチラカト言ヘバ寧ロ大膽過ギタ。トイフノハ「アメリカ」ノ「フリゲート」艦ガ英國ノ强力ナ戰列艦ト戰フナドトイフ事ハ無用ノコトデアツタカラデアル。1778年ノ終ニハ13艘ノ「フリゲート」艦中殘存スルモノハ僅ニ4艘ニ過ギナカツタ。

◎Bonhomme Richard 號ト Serapis 號トノ戰闘

斯クスル中ニ佛蘭西ト英國ハ戰爭ヲ始メ、1779年ニハ西班牙ハ米國ニ加ハリ英國ニ敵對シタ。佛蘭西、西班牙聯合艦隊ハ是ニ於テ英吉利海峽ニ進出シテ英國ノ海岸襲撃ノ氣配サヘ見セタ。

外見上ハ如何ニモ佛蘭西ハ今ヤ Paul Jones ニ有効ナル援助ヲ爲シ得ルヤウデアツタガ、Jones ハ佛國ヲシテ彼ニ新シイ指揮權ヲ與フル樣容易ニ說得スルコトガ出來ナカツタ。海相 De Sartine ハ先ニ Jones ニ特務艦ヲ與フル樣再三約束シテ居タノデアツタガ、佛海軍ノ有力ナル上層部ハ衆人ニヨツテ冒險者ト目サレルガ如キ外國人ニ De Sartine ガ約束ヲ履行スルコトヲ妨ゲタ。性急ナ Jones ハ度重ナル期待外レニ苛立チ、Franklin ヤ De Sartine ヤ國王ニサヘ度々不服ノ書ヲ出シタ。5箇月待ツテ Jones ノ勘忍袋ノ緒ガ切レタ時、彼ハ自ラ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

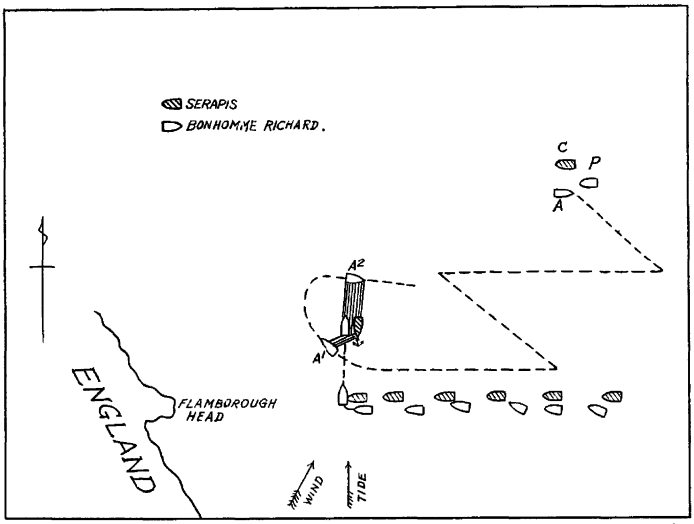
宮廷ニ出頭シテ 40 門艦ノ古船 Duras 號ヲ受取ツタ。Jones ハ Franklin ノ Poor Richard's Almanac 中ノ「仕事ヲ片付ケ様ト思フナラバ直接出掛ケテ行ケ、ソウデナケレバ使ヒヲ出セ。」トイフ金言ヲ地デ行ツタモノデアル。畏友 Franklin ニ感謝ノ意ヲ表サントシテ、Jones ハ Duras 號ニ再命名シテ Bonhomme Richard ト名付ケタ。

此ノ Bonhomme Richard 號ニ更ニ他ノ 4 艘ノ船ガ加ヘラレタ。即チ 36 門艦 Alliance 號、30 門艦 Pallas 號、18 門艦 Cerf 號及 12 門艦ノ Vengeance 號デアル。此ノ艦隊中ノ唯一ノ米艦新 Alliance 號ヲ米國議會ハ佛蘭西ニ敬意ヲ表シテ佛人 Piene Landais ニ指揮セシメタ。此ノ戰艦ハ Lorient 港デ大急ギデ準備サレタ。最近英國ト交換シタ米人ノ約 100 人ノ捕虜ハ Bonhomme Richard 號ノ米人乘組員ノ中心トナツタガ、ソレ以外ハ佛艦 Pallas 號及 Vengeance 號ノ乘組員ヲ除キ、一般將兵ハ雜種デ世界各國カラノ寄セ集メデアツタ。事實上 Landais 號ノ乘組員ガ主トシテ英人デアツタトイフ事ハ、戰鬪中"半狂"的デアツタ此ノ海軍士官ノ奇行ニ情狀ヲ酌量スベキモノアルヲ思ハセルデアラウ。他面 Jones ノ部下 Richard Dale 大尉ハ非凡ノ手腕ヲ有シ、殊勳ヲ立テタ。

米軍ノ代將トソノ艦隊トノ關係ハ奇妙ナルモノデアツタ。佛海相代理ハ Jones ニ艦隊ヲ渡スニ當ツテ書類ニ署名セシメタガ、是ニヨツテ Jones ハ上長官トハナラズ、唯部下ト同等ノ階級ニナツタノデアル。之ガ爲ニ艦隊ハ統一化セズ、寄合世帶トナツタノデアル。

遲延ニ遲延ヲ重ネテ Captain Jones ハ終ニ 1779 年 8 月 14 日

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



From Mahan's article in Scribner's Magazine, XXIV, 210, by Permission
THE BONHOMME RICHARD AND THE SERAPIS

HP『海軍砲術学校』公開史料

Lorient ヲ出帆スルニ至ツタ。彼ハ英國ヲ一周スル目的デ愛蘭土ノ西海岸ヲ北上シタ。8月26日 Cerf 號及數日前ニ艦隊ニ加ツタ2艘ノ私掠船ハ强風ニ出會ツテ離レ離レニナリ、遂ニ艦隊ニ再歸スルコトハ出來ナカツタ。巡弋中 Jones ハ戰利品トシテ拿捕シタ船モアツタガ、擊沈シタ船モアツタ。彼ハ戰利品ノ處分ニ關シテ佛人艦長特ニ Landais ト悶着ヲ起シタ。ソシテ此等同僚ト激論ヲ戰ハサナケレバ何等重要ナル擧動ニ出ル事ハ出來ナカツタ。實際 Landais ハ服從セズ、爲ニ協同動作ノ成功ニ禍ヒスル氣配ヲ見セタ。

「オークニー」諸島ヲ周航シテ「ジョンズ」ハ Leith 港ニ於ケル船舶ヲ擊破シヤウトシタガ、Pallas 號及 Vengeance 號ノ艦長ノ緩慢ナ協同動作ノ爲ニ頓座シテシマツタ。9月23日ノ拂曉「ジョンズ」ノ見張ガ1艘ノ大船ガ「フランバラ」岬ヲ廻航シテ居ルノヲ見トメタ。是ハ正午ニナツテ40艘カラ成ル「バルチック」商船隊ガ2艘ノ英國軍艦ノ護送ノ下ニ北東ニ航行シテ居ルコトガ明ニナツタ。此ノ商船ハ危險信號ヲ見テ「スカーバラ」ノ方ヘ散リ散リニ逃ゲタ。Pearson 大佐ヲ總指揮官トスル 50 門新「フリゲート」艦 Serapis 號及 20 門艦 Countess of Scarborough 號ハ海岸ニ寄ツタ「バルチック」商船隊ト敵艦トノ中間ニ位置ヲ占メタ。ソコデ「ジョンズ」ハ Serapis 號ニ向ツテ進ミ自軍ノ艦長ニ戰列ヲ構成スベシト命ジタガ、Landais ハ一向此ニ耳ヲ傾ケナカツタ。ソシテ Richard 號ノ後方ニ續カウトセズ、Alliance 號ノ優秀ナル航進力ヲ利用シテ前方ニ拔キ出テ、敵ノ兵力ヲ見定メヤウトシタ。然ル後 Landais ハ射距離外ニ出デ、戰鬪ガ開始

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

サレルマデ待機シテ居タ。Landais ハ既ニ Pallas 號ノ Cottineau ニ、若シ敵側ニ50門以上ノ裝備スル艦ガアレバ、唯ダ逃グルノ一手アルノミト報ジテ居タ。Alliance 及 Pallas 兩艦ノ乘組員ノ面前デ斯様ナ命令違反的ニシテ卑怯ナ事ヲ言フ様デハ、Landais ガ如何ナル士官デアツタカガヨクワカル。

午後6時英艦 Serapis ハ Scarborough ヲ隨ヘテ西ニ向ツタ。「ジョンズ」ハ自艦ノ艦首ヲ敵ノ方ニ向ケテ、英艦ヲシテ自己ノ砲數ヲ知ラシメナイ様ニシタ。「ジョンズ」ノ唯一ノ望ミハ接戰デアツタ。斯クシテ午後7時射距離内ニ入ツタ時、敵味方共 Flamborough 岬ノ方ニ向ツテ互ニ徐々ニ平行ナル航路ヲトルニ至ツタ。此ノ時ノ風ハ南西デアツタ。

「ジョンズ」ハ Pearson ノ呼聲ニハ曖昧ニ應ジ、イキナリ1彈ヲ發シタ。併シ Richard 號ハ第1回ノ敵砲火デ右舷18听砲3門ノ中2門マデ破壞サレ、尙上甲板ハ爆破サレ、乘組員ノ大部分ハ死傷シテシマツタ。此等ノ砲ハ全ク廢棄ノ止ムナキニ至リ、12听砲ト9听砲ダケガ殘ツタ。

此ノ戰鬪情況ニ就キ「ジョンズ」ハ報告デ次ノ様ニ述ベテ居ル。「斯クシテ始ツタ戰鬪ハ猛烈止ム所ヲ知ラナカツタ。兩軍共互ニ有利ナル位置ニ就キ、縱射シヤウト有ラユル方法ヲ講ジタ。然ルニ敵艦ハ Richard 號ヨリ遙ニ操縱シ易キガ故ニ、予ハ阻止セント努メタガ、敵艦ハ數回有利ナル位置ニ就イタコトヲ玆ニ告白シナケレバナラヌ。予ハ遙ニ優勢ナル敵ヲ相手ニ戰ハネバナラナカツタ爲ニ、必要上敵ニ接

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

近シテ敵ノ機動上我ニ優レル利點ヲ妨止シナケレバナラナカツタ。Richard 號ヲ敵ノ艦首方ニ位置セシメルコトガ予ノ計畫デアツタガ、此ノ作戰ハ帆及舵ノ巧妙ナル操縱ヲ要シ且轉桁索ガ射飛バサレテシマツタノデ、予ノ希望通リニ成功シナカツタ。然シ敵艦ノ斜檣ガ Bonhomme Richard 號ノ後部最高甲板ノ後檣附近ニ突キ出テ來タノデ、予ハ兩艦ヲソノ姿勢ノママデ密着セシメタガ、敵艦ノ帆ニアタツタ風ノ力ノ爲ニ敵艦ノ艦尾ヲシテ Richard 號ノ艦首近クニ廻シテシマツタ。ソコデ兩艦ハ互ニマトモニ寄リ添フテシマヒ、帆桁ハ全ク絡マリ、相互ノ砲ハ敵艦ノ舷側ニ接觸シタ。此ノ狀勢ガ起ツタ時ハ8時デアツタガ、是ニ先ダチ Richard 號ハ水線下ニ散々ニ18听砲彈ヲ受ケ、甚シク浸水シテ居タ。」

「ジョンズ」ハ既ニ兩艦ヲ綁リツケテ置イタケレドモ、Serapis 號ノ乘員ハ艦內闖入ニ對シテ氣ヲ配ツテ居タ。Pearson ハ明ニ自艦ノ操縱上ノ有利ヲ認メ、衝突ノ瞬間ニ投錨シ、斯クシテ潮ト風ニヨツテ艦ヲ引キ離サウトシタ。然シ兩艦ハ離レナカツタ。戰鬪ガコノ狀態ニ到ルマデ、Serapis 號ハ左舷砲バカリヲ發射シテ居タノデ、右舷ノ下方砲門ハ閉ヂテアツタ。今ヤ兩艦接觸シテ此等ノ砲門ヲ開クコトガ出來ナカツタノデ、英艦長ハ砲門ヲ貫イテ發射シタ。兩艦ハ極メテ接近シテ居タノデ、Dale ノ言フ所ニヨレバ砲員ハ砲ニ裝塡スル爲ニ敵側ノ砲門ノ中ヘ撞桿ヲ突キ通サナケレバナラナカツタ。尙 Pearson ハ砲口ハ敵艦ノ舷側ニ接觸シタト言ツテ居ル。又「ジョンズ」ハ「舵ハ船尾骨材カラ全ク切リ取ラレ、艇肋板ハ殆ド全クモギ取ラレテシマツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

特ニ下甲板ノ船材ハ大檣カラ船尾ニ至ルマデ老朽シテ居タノデ、名狀スベカラザル位ニ破損サレテシマツタ。」ト言ツテ居ル。

此ノ凄ジイ砲撃ノ間ニ「ジョンズ」ノ 12 听砲臺ハ全ク沈默サセラレ、廢棄ノ止ムナキニ至ツタ。「ジョンズ」ハ其ノ報告ニ尙次ノ如ク述ベテ居ル。

「予ハ今ヤ後甲板ニ沈默サセラレザル2門ノ9听砲ヲ持ツテ居タニ過ギナカツタ。ソシテ其ノ後ノ戰闘ニハ1門ノ重砲ヲモ發射スルコトガ出來ナカツタ。後甲板ノ砲ヲ指揮シテ居タ主計長ノ Mease 氏ハ、頭部ニ重傷ヲ負フテ居タノデ、予ハ彼ノ代リヲ勤メザルヲ得ナカツタ。辛ウジテ兵員數名ヲ寄セ集メ、風下後甲板砲1門ヲ移シ、ソノ後3門ノ9听砲ヲ敵ニ發射シタ。檣樓バカリハ此ノ小砲ノ發射ヲ助ケ、全戰闘ヲ通ジテ勇敢ニ努メタ。特ニ Stack 大尉ノ指揮シタ大檣ノ檣樓ノ如キハ力戰シタ。予ハ3門ノ砲ノ中1門ハ二重頭彈ヲ以テ敵ノ大檣目ガケテ射撃シ、他ノ2門ハ葡萄彈、霰彈ノ猛撃ニ依ツテ遂ニ敵ノ小銃火ヲ沈默セシメ、甲板ヲ掃攘スルニ奏效シタ。」

Richard 號ノ情況ハ段々絶望ニ瀕シテ來タ。ソノ船艙ハ浸水デ一杯ニナリ、船中數箇所ニ火災ガ起ツテ居タ。Richard 號ノ船艙ノ捕虜ヲ預ツテ居タ先任衞兵伍長ハ、Richard 號ガ最早最後ト思ツタモノカ、或ハ謀叛氣ヲ起シタモノカ、此等ノ捕虜ヲ放免シテシマツタ。Dale ガ巧ミニ排水「ポンプ」作業ニ捕虜ヲ從事セシメ、彼等ニ Serapis 號ノ狀況ハ一層危險ニ瀕シ彼等ノ生命ノ安全ハ一ニ Richard 號ノ沈沒ヲ救フニアルコトヲ告ゲナカツタトスレバ、此等捕虜ハ當然自國軍艦

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ援助シテ Richard 號ノ乗員ニ抗戰シタデアラウ。此ノ直前米艦ノ砲員ハ恐慌ヲ來シ、大聲デ降伏ヲ求メ將ニ軍艦旗ヲ卸サウトシタガ、其ノ時「ジョンズ」ハ其ノ砲員ニ拳銃ヲ擲ゲツケテ頭蓋骨ヲ破ツタ。其ノ後戰ノ下火ニ乘ジテ Pearson ハ敵艦闖入ヲ命ジタ。併シ此ノ號令ニ從ツテ闖入セントシタモノハ直ニ擊退サレタ。英艦長 Pearson ハ米艦ニ向ヒ、降伏シタカト質シタルニ、「ジョンズ」ハ「予ハ未ダ戰闘ヲ始メ居ラズ」("I have not yet begun to fight") ト答ヘタガ、此ノ言葉コソ爾來米海軍ノ標語ノ一トナツタモノデアル。

Richard 號ハ砲力ニ於テハ到底敵ニ及バナカツタガ、檣上ニアル小銃ト擲彈トヲ以テ遂ニ戰局ヲ一變シテシマツタ。英軍ハソノ檣上カラ追ヒ出サレテシマヒ、米兵ハ彼我兩艦ノ入リ交ツタ索具ヲ巧妙ニ攀デ廻ツテ射擊シ、遂ニ Serapis 號ノ甲板ニハ人無キニ至ラシメタ。Pearson ハ其ノ報告ニ於テ「敵ハ我ガ甲板、鎖、及事實上艦内到ル處ニ多量ノ樣々ノ燃燒物ヲ投擲セル爲艦内各所ニ 10 回乃至 12 回ノ火災ヲ起シタ。故ニ之ガ鎭火ノ爲ニハ屢實ニ非常ナル困難ヲ感ジ努力ヲ要シタ。」ト言ツテ居ル。

此ノ戰闘ニ於テ「ジョンズ」ノ旗艦ノ大檣檣樓ニアツタ海兵ハ、Serapis 號ノ昇降口ニ手擲彈ヲ投ジテ非常ニ重要ナル貢献ヲシタ。恐ロシイ爆裂ガ起リ「ソノ火焰ハ彈藥筒ヲ次々ニ後部マデ舐メ、大檣ヨリ後部ニ部署ニツイテ居タ將兵全部ヲ爆傷セシメタ。此ノ不幸ナル出來事ノ爲ニ砲ハ悉ク爾後ノ戰闘中使用ニ堪ヘナクナツタ。予ハ大部分ノ負傷者ハ生命覺束無キモノト思フ。」ト Pearson ハ言ツテ居ル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Pearson ハ勇敢ナル戦士デアツタガ、其ノ艦上ニ起ツタ此ノ不幸ナル惨事ハ最後ニ乗員ノ不統一ヲ起サシメタコトニ大ニ與ツテ力アツタニ相違無イ。

此ノ危機一髪ノ時ニ Alliance 號ガ現ハレテ來タ。Alliance 號ハ戰闘ノ初期ニ戰闘中ノ彼我兩艦ノ周圍ヲ航行シテ、入リ亂レテ闘爭中ノ兩艦目掛ケテ盲目滅法ニソノ舷側砲ヲ浴セカケタ。ソコデ敵艦ニモ損害ヲ與ヘタガ、等シク Richard 號ニモ打撃ヲ與ヘタ。第2回目ノ攻撃ニ就テ「ジョンズ」ハ『Landais ハ舷側砲ヲ Richard 號ノ艦尾ニドンドン射チ放ツタ。我々ハ彼ニ Bonhomme Richard 號ニ發射スルコトハ是非止メテクレト賴ンダガ、彼ハ艦ノ向ヒ側ヲ通ツテ發射ヲ續ケタ。敵艦ト Richard 號トハ、外見ニ於テモ構造ニ於テモ嚴然タル本質的差異ガアルノデ、彼ガ敵艦ト Richard 號トヲ見誤ツタトイフコトハアリ得ナイ。ソレニ當時十五夜ノ月夜デアリ、Richard 號ノ舷側ハ全部黑色デアツタガ、拿捕船ノ舷側ハ黃色デアツタノデアル。ソレデモ更ニ安全ノタメニ船首、船尾及中央部ニ1箇宛ノ舷燈ヲ一直線ニ吊シ出シテ、我々ノ識別信號ヲ示シタ。目標ヲ誤ツテ射ツテ居ルト皆デ叫ンダケレドモ、何ノ效モ無カツタ。Landais ハ船ノ周圍ヲ廻ツテ Richard 號ノ艏、艉、舷側ヲ射ツタ。ソシテ一齊射撃デ我ガ最モヨキ部下數人ヲ殺シ、然モ前甲板ノ優秀士官1名ニ致命傷ヲ負ハセタ。自分ノ位置ハ眞ニ悲觀的デアツタ。Richard 號ハ Alliance 號カラ水線下ニ數種ノ彈丸ヲ食ツタ。浸水ハ「ポンプ」デハ如何トモ爲シ難キニ到リ、兩艦トモ火災ハツノツテ來タ。』ト言ツテ居ル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

然シ Pearson 大佐ハ「ジョンズ」以上ニ Alliance 號ノ再出現ニ氣ヲ挫イタ。事實彼ハ最後ノ敗戰ヲ Landais ニ歸嫁シテ居ル。然シ恐ラク彼ハ佛人ノ奇行ヲ知ラナカツタラウカラ、此ノ佛人ガ「ジョンズ」ノ艦ニ如何ナル被害ヲ與ヘタカトイフ事ハワカラナカツタデアラウ。Mahan ハ最後ニ戰局ヲ一變セシメタモノハ Bonhomme Richard 號ノ上部砲火ノ優勢ノ致セルモノト考ヘテ居ル。

Serapis 號降服ノ時、同艦ノ大檣ハ舷外ニ落チタ。「ジョンズ」ハソノ大檣メガケテ先ニ1听砲ヲ發射シテ居タノデアル。敵味方共死傷ノ損害ハ特別多大デ、Richard 號ハ 116 名、Serapis 號ハ 129 名ヲ算シタ。

Pearson 大佐指揮ノ二番艦 Countess of Scarborough 號ハ1時間ニ亘ル苦戰ノ後、Pallas 號ニ捕獲サレタ。「ジョンズ」ノ麾下ノ艦ノ中眞ニ援助ノ功ヲ擧ゲタモノハ此ノ Pallas 號ダケデアツタヤウダ。Vengeance 號ハ本戰闘ニハ參加シナカツタ。「バルチック」商船隊ハ逃亡ヲ見逃ガサレタ。ソレハ「ジョンズ」モ「自分モ追撃ノ餘裕無ク又他ノ艦モ悉ク同樣デ、追撃スル氣ハ無カツタ」ト言ツテ居タ位デアツタカラデアル。確ニLandais ハ彼ノ巡弋中ノ數多クノ行動カラ明カナル如ク、此ノ「アメリカ」ノ代將ニ對シテ嫉妬心ヲ抱イテ居タノデアル。

本戰闘ノ殊勳ハ斷然「ジョンズ」ニ歸スベキモノデアツタ。「ジョンズ」ハ戰闘ノ初メニ早クモソノ18听砲ヲ破壞サレテ一層甲板艦ニ變ヘラレタ古イ艦ニ乘ツテ、表面上44門艦ニ級別サレテハ居タガ、實

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ50門ヲ搭載シテ居タ「フリゲート」艦ト戰ツタノデアツタ。Pallas 號ハ Countess of Scarborough 號トヨイ相手デアツタ。Alliance 號ハ功罪相半バシ、「ジョンズ」指揮下ノ殘餘ノ船ハ參戰シナカツタ。斯クシテ Pearson ハ遙ニ優勢ナル兵力ニ對シ「バルチック」商船隊ヲ助ケルタメ、其ノ2艘ノ艦ヲ犧牲ニ供セズ、實際上彼ノ2艘ノ優秀艦ヲ「ジョンズ」ノ艦隊ト取組マセタノデアリ、「バルチック」商船隊ノ脫走ノ如キハ Pearson ニ關スル限リ、偶然ノ事デアツタ。Pearson ハ勇敢ナル士官デ、勝利ノ望アル限リ奮戰シタ事ハ疑フ餘地ガナイガ、彼ノ相手トナツタ敵ガ不撓不屈ノ勇士デアツタノデアル。A. S. Mac-Kenzie 大佐ガ言ツテ居ル通リ『Richard 號ハ一度ナラズ負ケタ。然シ「ジョンズ」ノ戰鬪精神ハ克服サレナカツタ。』ノデアル。

本戰鬪後艦長「ジョンズ」ハ Richard 號ノ沈沒ヲ防ガウト努力シタ。同艦ハ數箇所ニ火災ヲ起シテ居リ、3臺ノ排水「ポンプ」ハ絕エズ使用サレテ居タニモカカハラズ、浸水ハ益船艙ニ增シテ來タ。火災ハ消止メラレタケレドモ、浸水增加ノ爲 Richard 號ハ遂ニ廢棄ノ止ムナキニ至ツタ。ソシテ翌25日ノ朝軍艦旗ヲ飜シツツ戰勝ヲ收メタコノ老艦ハ、水中ニ沒シテシマツタ。

今ヤ Serapis 號ニ乘ツテ「ジョンズ」ハ Texel ニ向ツテ出發シ、10月3日ニ到着シタ。英國ノ軍艦ハ「ジョンズ」ヲ捕ヘヤウト待伏セシテ居タ。然シ彼ハ時ヲ待ツテ好機ニ乘ジテ大膽ニモ碇泊中ノ英艦隊ヲ尻目ニ見テ、英吉利海峽ヲ突破シ、1780年2月 Groix ニ到着シタ。

「ジョンズ」ハソノ赫々タル戰勝ニヨリ佛國カラ勳爵士ニ叙セラレ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

國王カラ剣ヲ贈ラレタ。1781 年米國ヘ歸ツタ時、議會ハ彼ニ、感謝ノ決議ヲナシ、彼ヲ當時 New Hampshire ノ Portsmouth ニ建造中デアツタ 74 門艦「アメリカ」號ノ艦長ニ任命シタ。然シ戰爭ハ實際的ニ終了シタノデ、海軍士官トシテノ「ジョンズ」ノ勤務ハ最早不要トナツタ。1783 年彼ハ巴里ニ派遣サレ、Bonhomme Richard 號ノ戰利品ニ關スル交渉ニ當ラセラレタ。其ノ後「ジョンズ」ハ中將トシテ露西亞ノ海軍ニ勤務シタガ、露西亞ニ於ケル彼ノ經驗ハ幸福ナモノデハナカツタ。彼ハ巴里ニ歸ツテ佛人カラハ敬愛セラレ、Morris ヤ Lafayette ノ如キ人々ヲ親友トシテ晩年ヲ巴里デ送ツタ。1792 年 7 月 18 日「ジョンズ」ハ巴里デ死ンダ。獨立戰爭中ノ我ガ最モ偉大ナル海軍士官（即チ「ヂョンズ」）ニ就テ「ナポレオン」ハ「トラファルガー」ノ戰後、1805 年 Berthier ニ「Jones ガ今日マデ生キテ居タラ佛蘭西ハ一大提督ヲ得タコトデアラウ。」ト言ツタソウデアル。

◎戰 爭 ノ 終 結

米海軍ガ歐洲ノ海上デ名聲ヲ博シツツアツタ時、本國ノ海上ニハ重大事件ガ惹起シテ居タ。米國軍艦 Trumbull 號ノ Nicholson 艦長ハ苦戰ヲシタガ、1781 年同艦ハ Iris 號及 General Monk 號ニ降服シナケレバナラナカツタ。此ノ Iris 號ハ米國議會ノ 13 隻ノ「フリゲート」ノ第 1 艦デ Hancock 號ト稱ヘラレテ居タノデアルガ、英艦隊ニ拿捕サレテ Iris 號ト改稱サレタモノデアル。此ノ艦ニ同ジク議會ノ 13 隻ノ最終艦 Trumbull 號ガ降服シタノハ實ニ奇ナル運命ノ皮肉デ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

アル。偖又 Alliance 號ノ Captain Barry ハ巡弋ニ成功シ、幾多ノ戰利船ヲ捕ヘタ。同艦ハ 1783 年 3 月 10 日不明ノ一艦（恐ラク Sibylle 號ナラン）ト遭遇シテ獨立戰爭最終ノ海戰ヲ演ジタガ、戰半バニシテ 2 艘ノ英國「フリゲート」艦ガ出現シタ爲、目前ノ餌物ヲ見ス見ス棄テナケレバナラナカツタ。

尙 2 種ノ船（即チ私掠船及米國海軍）ニ就キ一言述ベテ置ク價値ガアル。戰爭ノ當初カラ英國ノ私掠船モ廣範圍ニ亘ツテ米國ノ商船ヲ襲ツタガ、米國ノ私掠船ハ大擧シテ英國ノ通商ニ甚シキ打擊ヲ與ヘタ。然シソノ戰果ニ及ボシタ影響ハ言フニ足ラヌモノデアツタ。損害ハ彼我相等シク見エタガ、米國ノ見地ヨリスレバ、惡結果ハ好結果ヨリモ多カツタ。私掠行爲ハ覇氣アリ鬪志滿々タル海軍軍人ニハ大ニ迫力ヲ持ツテ居タガ、ソレハ正規海軍ニ最モ必要トスル人士ヲ轉逸サセテシマツタ。米國海軍ハ 2 州ヲ除ク他ノ總テノ州ニヨツテ其ノ州海岸防禦ノ爲ニ維持サレタ。ソノ艦船ハ主ニ小型デ吃水淺ク、河川及港灣防禦用ノモノデアツタ。ソノ 1 艘「ペンシルヴェニア」州海軍ノ Hyder Ali 號（18 門艦、指揮官 Barney 大尉）ハ 1782 年 4 月、20 門艦タル英軍ノ「ブリッグ」船 General Monk 號ヲ花々シク拿捕シタ。

斯クシテ居ル中ニ、De Grasse 將軍麾下ノ强力ナル佛國艦隊ハ「ワシントン」ニ協力シテ陸上部隊ニ最モ重要ナル援助ヲ與ヘタ。1781 年英國ノ勢力ガ「ニュー・ヨーク」及「チェサピーク」ノ 2 中心地ニ限ラレ、中間區域ヲ米人ノ手ニ擧ゲラレタ時、英國部隊間ノ交通路ハ全ク海路アルノミデアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

De Grasse ハ彼ノ「フリゲート」船1艘ヲ通報艦ニ使ヒ「ワシントン」ト計ツテ Yorktown 協同攻撃ノ配備ヲシタ。1781年9月早々 De Grasse 麾下ノ佛蘭西艦隊ハ Graves 麾下ノ英艦隊ト戰ツタ。此ノ戰鬪ハ決勝ヲ見ナカツタケレドモ、佛將 De Grasse ハ英將 Graves ガ Chesapeake 灣ニ入リ、Cornwallis ト連絡スルノヲ阻止スルコトニハ成功シタ。斯クテ「ワシントン」ハ急激ナル進軍ニ依ツテ、英軍ノ正面ニ出ルコトガ出來、Cornwallis 軍ヲシテ飢餓ノ爲ニ Saratoga ノ降服ト同樣ナル屈辱的降服ノ止ムナキニ至ラシメタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第 3 章　新海軍ノ開設及對佛戰爭

◎新　海　軍　ノ　開　設

獨立戰爭ニ續イテ起ツタ混沌ノ爲ニ、米海軍ハソノ跡ヲ消失シテシマツタ。平和締結後間モナク完成ヲ見タ戰列艦「アメリカ」號ハ、戰爭中ニ佛蘭西ガ米國ニ援助ヲ與ヘタ感謝ノ印トシテ、合衆國ヨリ佛蘭西國王ニ献上サレタ。而シテ獨立戰爭後殘存シタ3艘ノ船 Deane 號、Washington 號及 Alliance 號ハ賣却サレタ。從テ 1785 年此等3艘ノ中、最後ノ船ヲ米國ガ處分シテシマツタ後ハ、愈合衆國ニハ唯ノ1艘ノ武裝船モ無クナツタノデアル。

國庫ハ空虛トナリ、一方山爲ス負債デ新國民ハ海軍ヲ維持出來ル狀態デハナカツタ。然シ經濟上ノ理由ヨリモ、陸海軍ハ共和國ノ自由ニハ危險デアルトイフ考ヘガ一般ニ强カツタ。我ガ國ガ議會ノ下ニ平靜秩序アル過程ニ入ツテ後、數年ヲ經テ毎年海賊ニ年貢ヲ納メタリ、船舶荷物ニ特別保險ヲ課スルヨリハ、海軍ノ費用ノ方ガ輕少デ濟ムトイフ事ガ明カトナツタ。

斯クテ獨立戰爭ノ終結後間モナク海軍ノ必要ガ感ジラレ始メタ。1785 年西班牙、「アルヂール」間ニ締結サレタ平和條約ハ、大西洋ヲ「アルヂール」ノ海賊ニ公開シタヤウナモノデアツタ。而シテ同年 7 月「アメリカ」ノ「スクーナ」船「マリア」號ノ拿捕事件トナツタ。是ヨリ5日後 Philadelphia ノ Dauphin 號ガ又拿捕セラレ、此等兩船ノ乘員ハ奴隷トシテ Algiers ニ連レテ行カレタ。當時巴里駐在米國

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

總領事 Thomas Barclay ハ「モロッコ」皇帝ト平和條約ヲ好調ニ進捗中デアツタ。此ノ平和條約ノ結果1萬弗以内ノ献金トナリ、將來ノ年貢ハ沙汰止トナツタ。ソコデ尚 Algiers ト何カ同様ニ好條件ナ條約ガ締結サレレバヨイト思ハレタ。

然シ乍ラ Maria 號及 Danphin 號ノ拿捕事件ハ情況ヲ複雜化シタ。何トナラバ條約ノ費用ニ加フルニ捕拿ハ Algiers 大守ノ言ヒナリノ身代金ヲ出シテ引取ラナケレバナラナカツタカラ。弱國民ノ船舶ヲ襲撃シ得ル前途ノ見込ニ心ヲ惹カレ、Algiers 大守ハ「アメリカ」ト平和條約ヲ別ニ急イデ締結シヤウトシテハ居ラヌコトハ明カデアツタ。合衆國ハ Algiers 大守ト3回ニ亘ツテ交渉ニ努力シタガ、悉ク失敗デアツタ。最後ノ交渉ハ John Paul Jones ニ一任サレタノデアルガ、彼ハ命令到着以前ニ死ンデシマツタ。第4人目ノ公使ガ派遣サレタ時ニハ、大守ハ同公使ヲ謁見スルコトヲ拒絶シタ。而シテ同時ニ葡萄牙、Algiers 間ノ平和條約ガ結バレテ、海賊船ノ大西洋横斷ヲ更ニ自由ナラシメタ。此ノ條約ハ 1793 年葡萄牙ヨリハ恐ラク何ノ許可モナクシテ英國ノ總領事ニヨツテ交渉サレタ。當時英國政府ハ北「アフリカ」諸國ヲ補助シテ公然ト敵國、特ニ米國ノ船舶ヲ襲撃サセテ居タ。是ハ合衆國ガ武力ニヨツテ地中海ニ於テ折合ガ出來タ時マデ維持サレタ政策デアツタ。

葡萄牙トノ條約ヲ早速利用シテ Algiers ノ海賊船ハ大西洋ニ群リ出デ1箇月ノ中ニ米國ノ船舶11艘ヲ拿捕シタ。此ノ時マデニ Algiers ハ13艘ノ米國ノ船ヲ捕獲シテ居タ。ソノ捕獲船ノ乘員ハ119名ニ達

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シ、内7名ハ捕虜期間中ニ死亡シタ。

此ノ不名譽ナル情況ハ遂ニ米國議會ヲ驅ツテ強行手段ヲ取ラシムルニ至ツタ。即チ 1794年3月27日大統領ハ Algiers ニ對スル防備ノ爲40門艦4艘、30門艦2艘、計6艘ノ「フリゲート」艦ヲ用意スル法令ニ署名シタ。然シ同法令ニハ愼重ナル態度ヲ取ツテ永久的海軍ノ創設ニハ非ザル旨次ノ如ク言明スル所ガアツタ。「合衆國ト Algiers 攝政トノ間ニ平和締結ノ場合ニハ本法令ハ爾後其ノ効力ヲ失フモノトス。」併シ事實上此ノ法律ハ米國海軍ノ永久的建設ヲ劃シタルモノデアツタ。

「フリゲート」艦建設工事ハ直ニ始ツタガ、幸ニシテコノ新艦設計ハ國内第1流ノ建艦者 Joshna Hamphreys ニ一任サレタ。1812年ノ戰役ノ終リ頃、英國ガ Joshna Hamphreys ノ設計ニ基イテ建艦サレタ大型ノ米國「フリゲート」艦ノ設計ニ全ク準據シテ英國ガ「フリゲート」艦ヲ造ツタコトハ、彼ノ技倆ニ對シ大ナル敬意ヲ表シタモノデアル。彼ノ考ニヨレバ艦船ハ持久力、帆走速力、威力ノ諸條件ヲ具備シテ歐洲列强ノ有ラユル「フリゲート」艦ニ優レルモノタルベキデアツタ。彼ノ主ナル改良ハ從來「フリゲート」艦ニ試ミラレタルモノヨリモ、ヨリ重イ砲ヲ裝備スルコト、英國ノ如何ナル「フリゲート」艦ヨリモ遙ニ厚イ寸法、優秀ナル索及長ク强靱ナル圓材ヲ備ヘル事デアツタ。例ヘバ President 號ノ如キハ、英國ノ 74門戰列艦 Hero 號ヨリモ1吋モ厚イ舷側ヲ有シ、其ノ大檣ハ英國ノ64門艦ヨリモ1呎長カツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

◎艦種及砲型

18 世紀ノ終ニ於テ "Frigate" トイフ語ガ如何ナル意味ヲ持ツテ居タカトイフ事ハ注意シテ置ク價値ガアル。Rodney ヤ Nelson ノ戰勝ハ戰列艦ノ艦隊ヲ以テ獲得セラレタモノデアツタ。此等戰列艦トイフノハ 75 門乃至 125 門ノ砲ヲ搭載スル 2 段又ハ 3 段砲裝ノ巨艦デアツタ。「Frigate」艦ハ戰列艦ト同ジク、三檣横帆裝置デアツタガ、收材甲板ノ下ニ唯 1 段ノ砲甲板ヲ有ツテ居ルコトガ違ツテ居タ。戰列艦ヨリモ高速デアツタ爲「フリゲート」艦ハ普通偵察勤務ニ使用セラレタ。即チ當時ノ巡洋艦デアツタ。

第 3 級ノ艦ハ「スループ」艦デアツタ。最小型ノ此ノ「スループ」艦ハソノ兵器ガ皆收材甲板ノ上ニアルノガ特徵デアツタ。此等ノ「スループ」艦ハ 3 檣横帆裝置ノコトモアツタガ、2 檣式「ブリッグ」型ヤ「スクーナ」型ノ事モアツタ。ソシテ噸數ハ各著シク異ツテ居タ。3 檣横帆式ノ「スループ」艦ハ屢「Corvette」艦ト稱ヘラレタ。戰列艦ト「フリゲート」艦トノ中間ニ中間級ノ「Razee」艦トイフノガアツタガ、之ハ唯甲板ヲ一層減ジタ戰列艦デアツテ、「フリゲート」艦ヨリモ大キサ、重サニ於テモ遙ニ優レル艦種デアツタ。コレハ艦型トシテハ重要ナモノデハナカツタガ、他ノ 3 種ノ艦即チ戰列艦、「フリゲート」艦及「スループ」艦ハ蒸氣、鋼鐵ノ時代ニ到ルマデ標準型トナツタ。

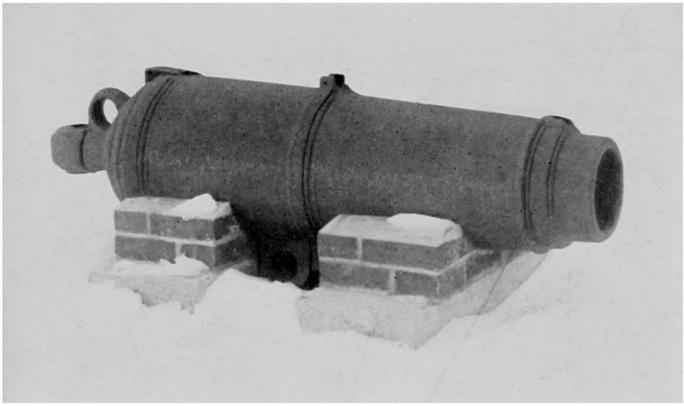
當時ノ海軍砲ハ長身砲及短身砲即チ「カロネード」砲ノ 2 種ニ分

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

類スルコトガ出來ル。此等長短身砲共鑄造ノ鐵管デ砲口ヨリモ砲尾ガ厚イ滑膛砲デアツタ。長身砲ハ重火藥ニ堪ヘ遠距離ノ目標ヲ撃ツ爲重ク長ク鑄造サレタ。一方「カロネード」砲ハ短身デ砲口大キク接戰ニ於テ少量ノ裝藥ヲ以テ巨彈ヲ發射スル樣ニ造ラレタモノデアツタ。「カロネード」砲ハ（此ノ名ハ此ノ種ノ砲ガ初メテ鑄造サレタ「スコットランド」ノ Carron トイフ村ノ名カラ取ツタモノデアル。）「ネルソン」時代ニ於テハ、接戰ニ於テハ絕大ナル破壞力ヲ發揮スルノデ非常ニ評判ガヨカツタ。一般ニ行ハレタ裝備法ハ「フリゲート」艦ノ收材甲板ニ「カロネード」砲及輕長砲ヲ置キ砲甲板ニ重長砲ヲ備ヘルコトデアツタ。此等「カロネード」砲及長身砲ハソノ發射彈ノ重量ニヨツテ級別サレタ。18 世紀ノ末期ニ於テ長身ノ 42 听砲ハ當時ノ海軍ノ最大偉力ヲ現ハシタモノデアツタガ、「フリゲート」艦ノ長身砲ハ普通 12 听砲乃至 24 听砲、短身砲ハ 24 听砲乃至 42 听砲デアツタ。此等ノ砲ハ木造ノ轢車ニ架セラレテアツタ。砲身ノ退却ノ時砲身ヲ砲尾ノ許ス限リ內側ノ方ヘ引イタガ、彈藥ガ換裝サレルト再ビ手轆デ送リ出サレタ。實際砲ノ裝塡、照準及發射ニ關スル仕事ハ悉ク手デ行ハレタ。仰角ハ砲尾ノ下ノ照準棍ニヨツテ施サレタガ、"Quoin"（楔）ト稱サレル木製ノ楔ガ希望ノ角度ニ達シタ時、其處ニ挿入サレタ。一般ニ照準器トイフモノハ無カツタ。1801 年 Nelson ガ照準器ノ問題ニ當面シタ時、彼ハ軍艦ハ常ニ接戰スベキモノデアルカラ、照準ノ誤リノ如キハ起リ得ベカラザルモノトシテ、照準器備付ニ反對シタ。此ノ正確ナル照準輕視ガ 1812 年ノ戰爭中英軍ノ砲術ノ不振ノ禍因ヲ爲シテ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

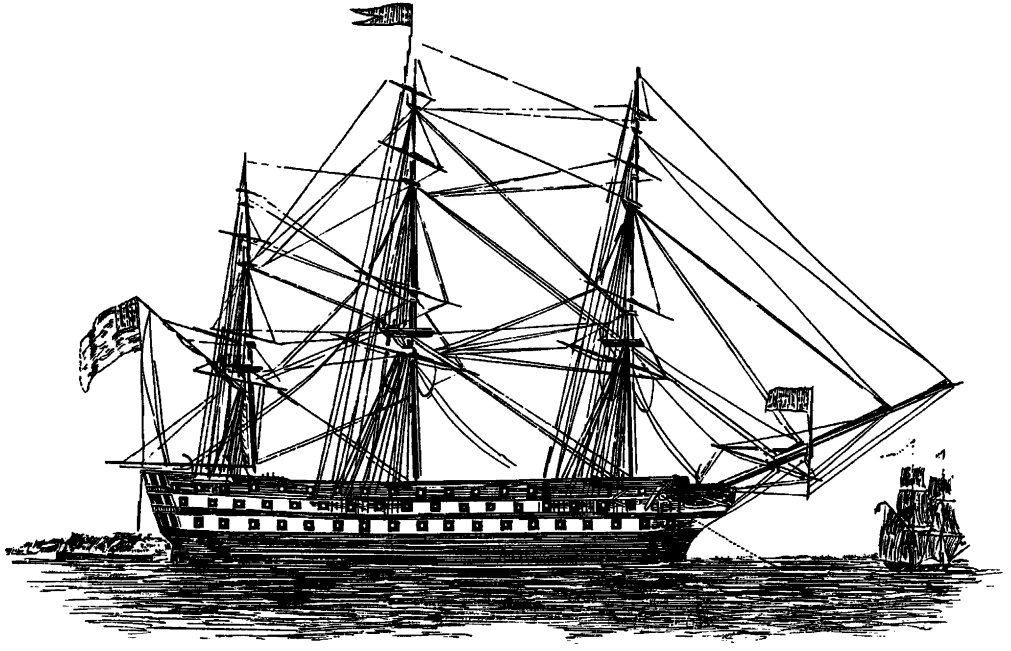


A 32-Pounder Carronade
(Taken from H. M. S. Cyane, 1815)



A 24-Pounder Long Gun
(Taken from H. M. S. Confiance, 1814. This and the carronade shown above are now at the U. S. Naval Academy.)

ＨＰ『海軍砲術学校』公開史料

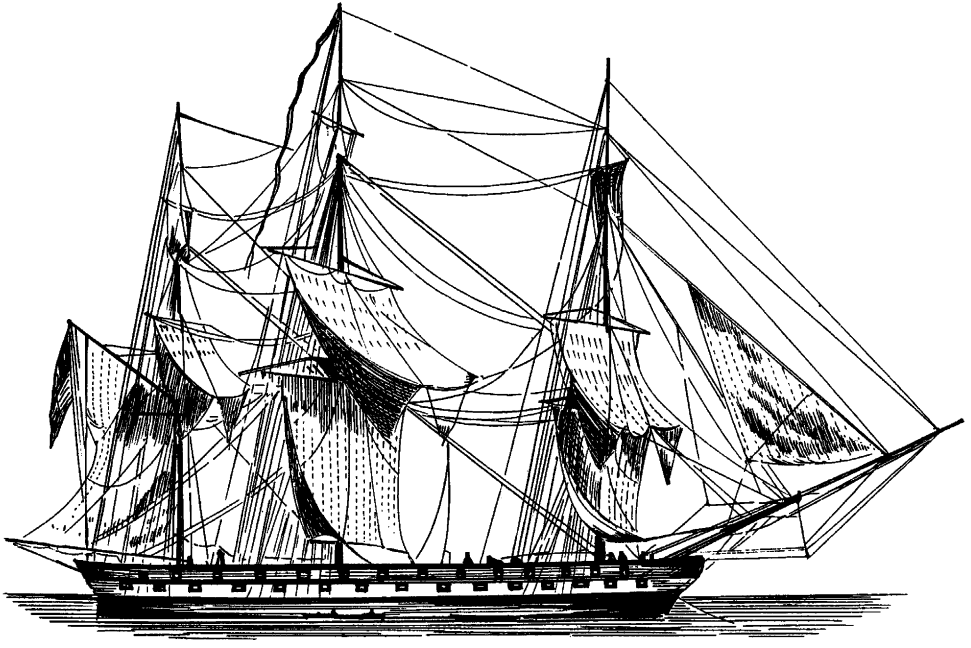


From Brady's Kidge-Anchor

UNITED STATES SHIP-OF-THE-LINE COLUMBUS AT ANCHOR

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

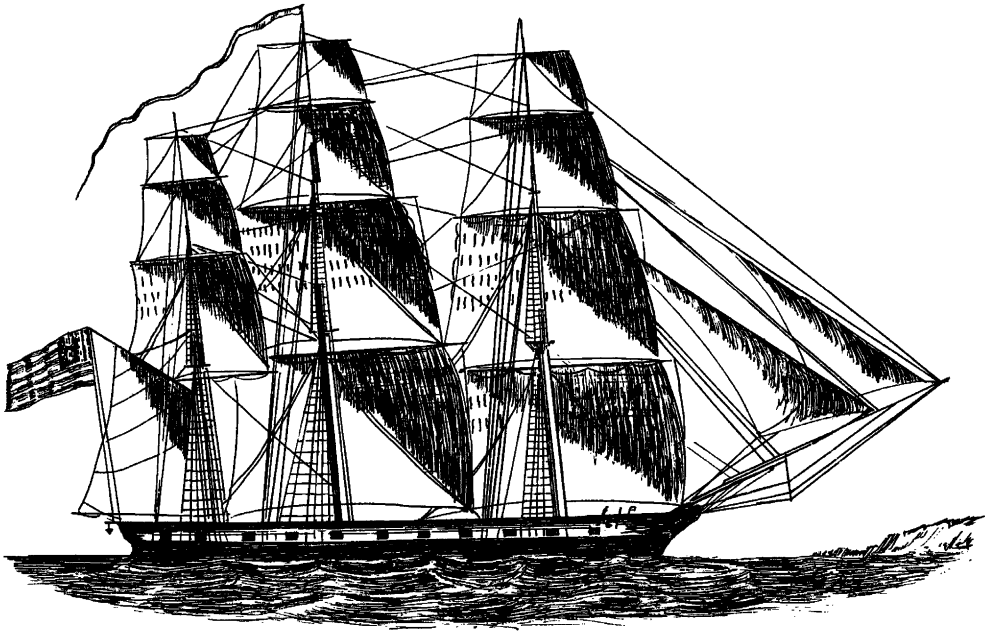
HP『海軍砲術学校』公開史料



From Brady's Kedge-Anchor
FRIGATE WITH HER SAILS LOOSED TO DRY

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料



From Brady's Kedge-Anchor

UNITED STATES SLOOP OF WAR ALBANY UNDER FULL SAIL

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

居ル。

或ル軍艦デハ發射ハ燧發機ニヨツテ行ハレタガ、此等ハ不發ノコトガ多カツタノデ、門藥導火管ガ更ニ歡迎サレテ居タ。門藥導火管トイフノハ砲ノ火門ニ挿入サレタ火藥ノ塡メテアル割闕ノコトデアル。彈藥包ハ火門ヲ貫通セル銳イ針金ニヨツテ既ニ孔ヲアケテアルノヲ砲長ノ手中ノ緩火線ガ火管内ノ火藥ヲ發火サセルト、發射ハ殆ド同時ニ起ツタ。兵員ハ全部片舷ノ砲ニ割當テラレタガ、各砲ニハ多數ノ砲員ガツキ、其ノ各員ハ夫々特定ノ任務ヲ持ツテ居タ。兩舷戰鬪ヲシナケレバナラナイ場合ニハ、各砲ノ砲員ノ半數ハ反對舷ノ相對砲ニ飛移ツタ。

艦ガ搭載シタ砲ノ數ニヨツテ ソノ艦種ノ等級ガ定ツタ。戰列艦ハ 74 門艦カラ 120 門艦マデ、「フリゲート」艦ハ 28 門艦カラ 44 門艦マデアツタガ、技術的等級ハ常ニ實際搭載砲數ヨリモ以下デアツタ。例ヘバ 44 門「フリゲート」艦ノ Constitution 號ハ Java 號ト戰ツタ時ニハ 54 門ノ砲ヲ搭載シテ居タ。

1794 年ノ 3 月 27 日ノ法令ニ基イテ 6 艘ノ「フリゲート」艦ガ次ノ如クニ建造ニ着手セラレタ。

Constitution 號	44 門	1,576 噸	建艦費	302,719 弗
			起工地	「ボストン」
President 號	44 門	1,576 噸		220,910 弗
				紐　育
United States 號	44 門	1,576 噸		299,336 弗

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

			「フィラデルフィア」
Chesapeak 號	36 門	1,244 噸	220,678 弗
			「ノーフォーク」
Congress 號	36 門	1,268 噸	197,246 弗
			「ポーツマス」
Constellation 號	36 門	2,265 噸	314,212 弗
			「バルチモーア」

此等ノ數字ヲ現代ノ戰鬪艦ノ1艘例ヘバ North Dakota (12 吋砲 10 門、20,000 噸、約 8,000,000 弗) ト比較シテ見レバ興味ガアル。

同年ノ6月5日6人ノ艦長ガ次ノ序列デ選バレタ。

John Barry, Samuel Nicholson, Silas Talbot, Joshua Barney, Richard Dale, Thomas Truxtun

此等ハ皆獨立戰爭デ殊勳ヲ立テタ人々デアツタ。然シ乍ラ Barney 大佐ハ自分ヨリ先任ノ人々ニ比シテ自分ノ序列ヲ不當ニ思ヒ、勤務ヲ肯ジナカツタ。ソレデ James Sever ガ第6席ノ Captain ニ任命セラレ、Truxtun ノ次席ニ補セラレタ。尉官ハ夫々艦長大佐ニヨツテ選バレルコトニナリ、Barry ノ大尉ハ Nicholson ノ大尉ノ次席デアツタ。以下同ジ。

此ノ間ニ Algiers トノ間ニ條約ヲ締結スル爲ニ努力ガ續ケラレタ。終ニ 1795 年ノ終リニ屈辱的條約ガ上院ニヨツテ批准サレ、合衆國ハ Algiers ニ毎年2萬1千6百弗ニ上ル海上用品ヲ獻立セネバナラヌコトニナツタ。捕虜ノ身代金ヲ合セテ此ノ條約締結ニ要スル費用ハ彼是

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

百萬弗ニ達シタ。

平和ガ結バレタル以上、「フリゲート」艦ニツイテハ今後一切工事取止メノコトニ法ハ制定シタガ、3 艘ノ「フリゲート」艦ノ建艦工事ガ餘程進捗シテ居タノデ、議會ハソノ完成ヲ認可シタ。他ノ3艦ノ消耗品ノ類ハ賣却ニ附シ、殘餘ハ將來ノ用途ニ貯藏スル樣命ゼラレタ。1797 年完成セラレタル3 艘ノ「フリゲート」艦ハ次ノ順序デ進水シタ。

United States 號	7 月 10 日	「フィラデルフィア」
Constellation 號	9 月 7 日	「ボルチモーア」
Constitution 號	9 月 20 日	「ボストン」

Captain Barry ハ United States 號ヲ、Captain Nicholson ハ Constitution 號ヲ指揮シ、又偶 Captain ノ序列デハ第 5 席デアリ 36 門艦ノ Constellation 艦ヲ指揮スル樣命ゼラレタ Truxtun ハ艦長トシテ乘リ出シタガ、彼ノ先任 Captain Talbot 及 Captain Dale ハ其ノ「フリゲート」艦ガ未完成ノ爲他ノ仕事ニ就カザルヲ得ナカツタ。此ノ點ガ後ニナツテ此等2人ト Truxtun トノ間ニ先任問題ヲ惹起スルニ到ツタ。トイフノハ當時 Talbot 及 Dale ガ退役シタノカ、一時賜暇ニナツタノカ、判然シテ居ナカツタカラデアル。

上述ノ條約ノ條件ニヨリ Algiers トノ難局ハ、毎年ノ莫大ナル獻納金ト當時現金トデ約百萬弗支拂ツテ解決サレタ。此ノ百萬弗ダケデモ 44 門ノ「フリゲート」艦3 艘ヲ建造裝備スルニ足ルモノデアリ、又更ニ之デ我ガ船舶ヲ防護シ、又尙モ Algiers ヲ封鎖シテ戰勝ノ平和ヲ結

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ブコトモ出來タコトデアラウ。

◎對 佛 戰 爭

最初ノ3艘ノ「フリゲート」艦ガ進水サレルズツト以前ニ Algiers 以外ニ敵國ガ出現シテ居タ。「ナポレオン」ト英國トノ物凄ジイ爭ヒニ於テ、佛蘭西及英吉利ノ巡洋艦ヤ私掠船ハ共ニ米國ノ商船ヲ掠奪シタ。1795 年ノ大英帝國及合衆國間ノ和親、通商、航海條約ハ一時的ニ英國ノ壓迫ノ重荷ヲ除去シタケレドモ、却テ佛蘭西ノ敵意ヲ增進スルバカリデアツタ。1797 年國務長官ハ 32 艘ノ3檣船、「ブリッグ」船及「スクーナ」船ノ拿捕ニ關スル報告書類ガ本省内ニアル旨ヲ報ジ、一方新聞ハ他ニ 308 艘ノ米船ガ悉ク佛蘭西ノ巡洋艦ニヨツテ拿捕セラレタル旨ヲ報ジタ。多クノ場合ニ於テ、此等ノ拿捕事件ガ起ル度毎ニソレ等不幸ナル乘組員ハ人道上ノ慘害ヲ蒙ツタ。終ニ 1798 年佛蘭西ノ私掠船ハ傍若無人ノ態度ソノ極ニ達シ、「アメリカ」ノ港内ニ於テサヘ拿捕ヲ行フニ至ツタ。

是ハ當時ノ議會ニ取ツテサヘ堪ヘラレザル所デアツタノデ、同年 4 月 12 艘以内ノ艦ヲ建造、購入或ハ借入レテ武裝シ艤裝シ配員スルコトヲ認可スル法令ガ通過シタ。1798 年4月 30 日海軍長官ノ職ガ創設サレ「コロンビヤ」區 Georgetown ノ Benjamin Stoddert ガ海軍長官ニ任命サレタ。他ニ猶若干ノ法令ガ續イテ制定サレテ海軍擴張ガ認可サレタ。猶特ニ 1796 年中絕サレタ3艘ノ「フリゲート」艦ノ建造及海兵隊ノ創設モ認可サレタ。更ニ進ンデ佛蘭西トノ間ニ結バレタ條

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

約ハ一切無效ヲ宣セラレ、戰利品拿捕ニ關スル法規ガ作ラレタ。此等法令ニヨツテ認可サレタル全海軍力ハ 32 門艦以上ノ 12 艘、20 門ヲ下ラズ 24 門ヲ超エザルモノ 12 艘、18 門ヲ超エザル 6 艘ノ艦及「ギャリー」船竝ニ密輸入監視用快走艇デ編成サレタ。

此ノ兵力ノ中デ 24 門艦 Ganges 號ニ座乘ノ Captain Richard Dale ハ先陣ヲ承ツテ先ヅ出港シ、續イテ數日後 Captain Truxtun ハ 36 門艦 Constellation 號ニ乘ツテ又 Captain Stephen Decatur (父) ハ 20 門艦ノ海防艦 Delaware 號ニ乘ツテ出港シタ。此等ノ諸艦ハ敵對行動ヲ採レルモノト認定サレル佛艦ノミヲ捕獲スル樣命ゼラレテ居タガ、數日ヲ出デズシテ Delaware 號ハ 14 門艦ノ佛私掠船 Croyable 號ヲ「アメリカ」ノ近海デ現行犯デ捕獲シタ。此ノ佛船ハ米海軍ニ使用セラレ Retaliation 號ト命名サレ、William Bainbridge 大尉ノ指揮スル所トナツタ。

他ノ諸艦ノ出港準備ガ出來タ時マデニ政府ハ單ニ大西洋沿岸ヲ巡邏スルノミデナク西印度諸島デ勇敢ナル攻勢作戰ヲ遂行スル事ニ決定シテ居タ。ソコデ 1798 年ヨリ 99 年ニ亘ル冬ノ間ニ艦隊ハ 3 隊ニ分タレ各隊ニ夫々一定巡弋區域ヲ割リ當テタ。「フリゲート」艦 President 號、Chesapeake 號及 Congress 號ハ未ダ完成サレテ居ナカツタ。ソレデ艦隊ノ艦ノ大部分ハ大急ギデ商船ヲ軍艦ニ改造シタモノデアツタ。然シ此等ノ艦隊ガ單ニ西印度方面ニ航行シタトイフダケデ保險率ハ低下シ、場合ニヨツテハ 50% ノ低下ヲ來シタ。何トナラバ此等軍艦ノ重大任務ノ一ハ米國商船隊ヲ安全ニ嚮導スルコトデアツタカラデア

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ル。

斯様ニシテ Charleston カラ Havana マデ商船隊ヲ護送シタ時ニ、20門「スループ」艦「ボルチモーア」號ノ Phillips 大佐ハ一事件ニ遭遇シタ。此ノ事件ノ爲ニ彼ハ官階ヲ失ヒ、又國民ハ 1812 年ノ戰爭ガ終結スルマデ英國民ニ對スル怨恨ノ念ガ鎭マラナカツタ。1798 年 9 月 16 日 Havana ニ到着スル少シ前、Captain Phillips ハ英國艦隊ノ中ヘ突入シタ。彼ハソノ護送商船隊ニ分散シテ有ラユル努力ヲシテ港ニ到着スル様命ジ、自身ハ敵旗艦ニ出會フ様艦首ヲ風下ニ落シ、敵ノ注意ヲ商船カラ外レサセヤウト努メタ。敵旗艦ニ招カレテ、彼ハ英軍ノ代將 Loring カラ冷然ト「アメリカ」ノ保護委任狀ヲ所持シナイ「ボルチモーア」號ノ乘員ハ悉ク拉致强制服役セシムル旨ヲ聞カサレタ。Phillips ハ抗議シタケレドモ、彼ハ難局ニ立ツタ。彼ハ「ボルチモーア」號ハ公船ナル旨ヲ證スル委任狀ヲ持ツテ居ナカツタ。彼ハ英艦ガ縱令米國ノ船ヲ拿捕スル現行ヲ見テモ、英艦ニ對シテ敵對行爲ヲ取ル事ハ固ク禁ゼラレテ居タ。而シテ終ニ彼ハ壓倒的兵力ノ砲下ニ屈セザルヲ得ズ屈服シタ。「ボルチモーア」號ノ乘員ノ中 55 名ハ拉致サレタガ、ソノ中 10 名ハ歸サレタ。Loring ハ艦ノ降服ヲ受入レナカツタノデ、Phillips ハ Havana ヘ續航シタ。合衆國ヘ歸着ト同時ニ彼ハ海軍省ヘ事件ノ詳細ヲ報告シタガ、ソノ結果彼ハ直ニ Stoddert 海相カラ軍職ヲ罷免サレタ。

此ノ事件直後海相ハ西印度諸島ノ米國艦隊ノ各指揮官ニ次ノ如キ調子デ命令ヲ發シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

「如何ナル口實アリトモ、貴官ハ米國國旗ノ名譽ニカケテ、外國艦船ノ暴戻ヲ擊退スベキ權限アル限リハ、猥リニ貴官指揮下ノ米國軍艦ヲ外國艦船ノ爲ニ抑留捜索セシメ、又乘組將兵ヲ拉致セシムルヲ許サザルハ米國大統領ノ絶對的命ナリ。若シ屈服ヲ强フル壓迫加ハラバ、極力之ニ抵抗スベシ。而シテ優勢ナル兵力ノ爲ニ壓倒セラレタル時ハ、旗ヲ卸シテ乘員諸兵船ヲ渡スベシ。但シ船ヲ離レテ乘員ノミヲ渡スヲ許サズ。」

「ボルチモーア」號ノ無法行爲ヨリ4日後、William Bainbridge 大尉指揮ノ Retaliation 號ハ Guadeloupe 沖ニ於テ佛蘭西ノ「フリゲート」艦 Insurgente 號及 Volontier 號ノ爲ニ臨檢ヲ受ケ降服ノ止ムナキニ到ツタ。此ノ降服アツテ間モナク、ソノ近隣ニ居合セタ米國ノ他ノ2艘ノ「スループ」船 Montezuma 號及 Norfolk 號ガ拿捕ヲ免レタノハ、Bainbridge ノ機智ニヨツタモノデアル。Insurgente 號ハ迅速ニ此等ヲ臨檢シテ居タガ、ソノ時 Volontier 號ノ艦長ガ Bainbridge ニ向ツテ此等米國船ノ兵力ヲ尋ネタ。

『3檣艦ハ 28 門ノ 12 听砲ヲ有シ、「ブリッグ」船ハ 20 門ノ 9 听砲ヲ有ス。』ト Bainsbridge ハ答ヘタ。

斯ノ如キ兵力ニ驚愕シテ Volontier 號艦長ハ Insurgente 號ヲ呼ビ戻シタガ、同艦長ガ來テ事實ヲ報告スルマデ此ノ嘘言ニハ氣ガ付カナカツタ。ソウシテ居ル間ニ、カノ2艘ノ「スクーナ」船ハ、マンマト逃ゲ失セテシマツタ。

1799年2月9日 Constellation 號ハ Nevis 島ノ近クニ於テ一大帆

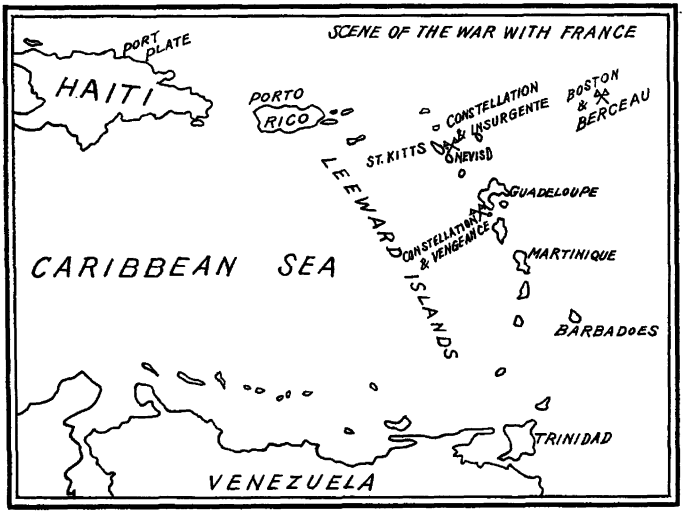
http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

船ヲ見タ。此ノ見ナレヌ船ハ Captain Truxtun ガ同船ニ接近スルニ及ンデ米國旗ヲ揚ゲタガ、彼ガ示シタ私信號ニ應信出來ナカツタ。該船ハ間モナク三色旗ヲ揚ゲテ敵艦ナルコトヲ示シ、風上ニ向ツテ發砲シタ。次ニ揚グルハ戰鬪ノ翌日、即チ2月10日 Captain Truxtun ノ海相ニ宛テタル報告カラ取ツタモノデアル。

『予ハ敵艦ニ向ツテ接近シ、風下ニ航シツツアリタリ。午後3時15分敵艦ハ我ヲ數回呼ビタリ。而シテ近距離ニ達シ各彈ノ命中距離內ニ達スルヤ否ヤ、予ハ近接有效ナル戰鬪開始ヲ以テ之ニ應ジタリ。戰鬪ハ午後4時頃マデ續キシガ、ソノ時敵艦ハ米艦 Constellation 號ニ對シテ旗ヲ卸シタルヲ以テ、予ハ直ニ敵艦ヲ捕獲セリ。同艦ハ最近佛蘭西ヲ出發シ佛海軍ノ最高速艦ト看做サルルモノニシテ、艦長 Barreant, 40門、配員409名ノ有名ナル「フリゲート」艦 Insurgente 號ナルコト判明セリ。我ガ索具及帆ハ裂ケ、前高檣ハ折損ノ爲使用ニ堪ヘザルニ至レリ。敵モ亦是ニ劣ラザル損害ヲ蒙リシコトナラン。我ガ軍ノ訓練ノ高キト將兵ノ勇敢ヲ以テスレバ、更ニ强力ナル敵ニ遭遇スル事アラバ猶之ヲ破リ、更ニ赫々タル戰勝ヲ擧ゲ得タルベシ。事情斯クノ如クナルヲ以テ、大統領及我ガ國家ガ1艘ノ優秀ナル「フリゲート」艦ヲ我ガ海軍ニ增加シテ當分滿足センコトヲ希望ス。猶此ノ詳報ヲ急ギ記スルニ當リ、予ハ Barreant 氏ニ正當ナル認識ヲ與フルコトヲ忘ルコト能ハズ。Barreant 氏ハ自己ノ指揮艦ヲ勇敢ニ防ギタリ。予ハ Barreant ノ艦ヲ數回ニ亘リ縱貫射シ、敵降服シテ旗ヲ卸セル時我ハ敵ノ船尾ヲ橫切リ、各砲ハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



SCENE OF THE WAR WITH FRANCE

HP『海軍砲術学校』公開史料

發射センバカリニナリ居タルヲ以テ、戰闘ハ我ガ方ニ於テハ慘害多カラザルモノト思惟ス。此等ノ利點無カリセバ、戰闘ハ斯クノ如ク迅速ニ終了セザリシナラン。Insurgente 號ハ將兵ノ配員完備シ居タレバナリ。』

Constellation 號ノ全損害ハ重傷2名、輕傷1名デアツタ。戰闘ノ初期1水兵ソノ戰闘部署ヲ脫走シタル廉ニヨリ少尉ニ射殺サレタ。Insurgente 號ノ損害ハ戰死29名、負傷41名ニ上ツタ。兩「フリゲート」艦共36門級デアツタガ、米國側ノ舷側砲ハ佛軍側ヨリモ完全ニ1/3重カツタ。

Insurgente 號ト戰闘中、候補生 David Porter ハ Constellation 號ノ前檣樓ノ配置ニ就テ居タガ砲火ヲクグリ、檣上ニ昇リ帆桁ノ吊索ヲ切リ放ツテ之ヲ落シ、破損セル前高檣ノ倒落ヲ救ツタ。Porter ハ戰闘後 John Rodgers 大尉ト共ニ戰利捕獲船回航員11名ヲ率キテ該戰利船獲得ノ爲派遣サレタガ、其ノ時又モヤ冷靜敢爲ノ更ニ苦キ試練ヲ受ケタ。即チ戰闘後起ツタ疾風ノ爲ニ全部ノ捕虜ガ Constellation 號ニ移サレル前ニ、此ノ2艘ノ船ハ懸ケ隔テラレテシマツタ。ソレデ此等2人ノ青年士官ハ、死傷者ガ未ダニ甲板ニ四散シ、圓材、帆、索具ハ寸斷セラレ、甲板ハ此等デ塞ガレテ居ル上ニ、更ニ暴風ノ爲ニ危機ニ瀕セル苦難ノ船ヲ航進シナケレバナラナカツタ。然シ尙最大ノ危難ハ降服ノ前ニ昇降口ノ梯子ハ舷外ニ投ゲ棄テラレテ居タノデ、士官2名及兵11名ノ戰利船回航員ハ强風中此ノ不具ノ船ヲ航行セシムルト共ニ、173名ノ捕虜ヲ警衞スベキ仕事ヲ持ツタコトデアツタ。各昇降口

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニハ武装嚴シキ番兵ヲ立テ、誰デモ甲板ヘ昇ツテ來ヤウトスル捕虜ガアレバ射殺セヨトノ命令ヲ與ヘタ。同船ガ St. Kitts ニ於テ Trxutun ニ報告スルマデ2日3晩ニ亘ツテ Rodgers モ Porter モ一睡一休モ出來ナカツタ。此等2人ノ士官ハソノ後續イテ高級指揮官ノ地位ニ昇ツタガ、爾後此ノ時程彼等ノ剛勇ト働キ振リヲ發揮スベキ試練ヲ受ケルコトハナカツタ。

1799年西印度諸島ニ於ケル米軍ノ作戰ハ、法律ニヨツテ徵兵ガ僅ニ1箇年デアツタ爲支障ヲ受ケタ。故ニ各艦ハ補充交代ノ爲、同年ソノ任地ヲ引揚ゲテ合衆國ヘ歸ラナケレバナラナカツタ。ソコデ Guadeloupe ヲ根據地トシタ佛蘭西ノ私掠船ハ、直ニ此ノ止ムヲ得ザル米軍ノ不在ヲ利用シタ。然シ全體的ニ見テ佛軍ハ一息ツケタ以外ニハ大シテ得ル所ガ無カツタ。

第2回目ノ「フリゲート」戰鬪ガ又 Truxtun 及 Constellation 號ニ起ツタ。1800年2月1日ノ午前 Basse Terre ノ西方約15浬ノ所ニ於テ Constellation 號ハ1船ヲ認メタガ、ソレハ直ニ佛蘭西ノ「フリゲート」艦 Vengeance 號ナルコトガワカツタ。Captain Truxtun ハ直ニ追擊シタガ、風ガ弱カツタ爲ニ2日ノ晩8時ニナツテ漸ク敵船ニ肉迫接近スルコトガ出來タ。佛艦ハ米艦ノ呼聲ヲ待タズシテ、ソノ艦尾砲及後甲板砲ヲ發射シテ Constellation 號ノ索具ヲネラツタ。

Captain Truxtun ハソコデ「1發ノ彈丸ト雖モ外ラサズ、能ク狙ヒヲ定メテ敵艦ノ船體ヲ直射セヨ。」ト命令ヲ下シタ。數分ノ後 Truxtun ハ Vengeance 號ノ風上艦尾ニ有利ナル位置ヲ占メタガ爲、米艦

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ應戰スルコトガ出來タ。激戰ガ起ツテ午前1時頃マデ續イタガ、Vengeance 號ハ射擊ヲ止メテ脫走スルカノ如クニ偏逸シタ。丁度 Captain Truxtun ガ横着ケニナツテ敵船ヲ捕獲シヤウト粉碎サレタ索具ヲ整ヘテ居ルト、自艦ノ大檣ガ舷外ニ落チタ。今ヤ Constellation 號ハ Vengeance 號ヲ追擊スル事ガ出來ナクナツタガ爲ニ Vengeance 號ハドンドン逃ゲテシマツタ。

Captain Truxtun ハ此ノ戰鬪報告ニ於テ米艦側ノ損害ヲ戰死14名、負傷25名トシテ居ル。士官中ノ唯一ノ戰死者ハ Jarvis 候補生デアツタ。Jarvis ハ大檣樓ノ部署ニツイテ居リ、檣ノ危險狀態ヲ警告サレタガ、命令無クシテ部署ヲ去ル事ハ出來ヌト言ツテ去ラナカツタ。Vengeance 號ノ損害ハ戰死 50, 負傷 110 ヲ算シテ居ル。同艦ハ戰敗シタガ Constellation 號ノ大檣ガ落チタバカリニ捕獲ヲ免レタノデアル。數年後 Vengeance 號ノ大尉ハ佛艦ノ三色旗ハ二、三度卸サレタケレドモ、暗クテ砲煙ガ立チコメテ居タ爲ニ確ニ Constellation ノ士官ニ認メラレナカツタト言ツタ。本戰鬪ニ於ケル佛國「フリゲート」艦ノ使用兵器ヲ正確ニ述ベル事ハ報告ガ不同デアル爲ニ困難デアルガ、ソノ道ノ權威ハ佛艦ノ兵器ハ米艦 Constellatiou 號ノ兵器ヨリモ金屬重量ニ於テ相當優ツテ居タモノトノ意見ニ一致シテ居ル。

第3回目ノ佛國軍艦トノ遭遇戰ハ28門ノ「フリゲート」艦 Boston 號及24門ノ「スループ」艦 Berceau 號トノ間ニ 1800年10月12日ニ起ツタトコロノモノデアル。佛艦ハ長時間ニ亘ル頑强ナ航走戰ノ後漸ク捕獲サレタガ、本戰鬪ニ於テ佛艦長 Senez ハ名譽アル行動ヲシタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

然シ此ノ戰ノ眞ノ目的ハ西印度諸島ノ佛蘭西ノ港カラ大擧シテ出テ來タ私掠船ヲ拿捕スル事デアツタ。ソシテ米國ノ小型艦船ト此等佛ノ私掠船トノ間ニハ、度重ナル勇猛ナル戰闘ガ演ゼラレタ。特ニ勇壯ナル功績ハ Isaac Hull 大尉ニヨツテ擧ゲラレタ。同大尉ハ白晝 Plate 港ニ突入シ、同要塞ノ砲ノ火門ヲ塞ギ、佛私掠船中裝備上最モ上出來ノ1艘ヲ奇襲シテ奪ヒ取ツタ。猶「スクーナ」船 Enterprise 號ノ有名ナ巡弋ニ就テモ一言述ベテ置カナケレバナラヌ。同船ハ John Shaw 大尉指揮ノ下ニ8箇月ノ間ニ6艘ノ私掠船ヲ捕獲シ、11艘ノ米國ノ商船ヲ取リ戻シタ。是ハ此ノ小船ノ名聲武勳ノ始リニ過ギナイ。何トナレバ同船ハ Constitution 號ニ次イデ米海軍ノ「武運芽出度キ」船ト看做サレルヤウニナツタカラデアル。

上述ノ對佛海戰ハ合計2年半ニ亘ツテ行ハレタ。此ノ年月ヲ經テ1801年2月既ニ數箇月以來進行中デアツタ平和條約ガ締結サレテ海戰ハ終ツタ。此ノ平和條約ノ條件ニヨツテ兩國ハ相手ノ國ヘ互ニ拿捕サレテ居タ官有艦船ヲ返還スルコトニナツタ。此ノ條項ハ甚シク佛蘭西ニ有利デアツタ。何トナレバ米國ノ軍艦ハ既ニ承知ノ如ク元々佛蘭西ノ私掠船デアツタ Retaliation號以外ニハ捕獲サレタモノガ無カツタカラデアル。他面佛ノ Insurgente 號、Berceau 號及小巡洋艦 Vengeance 號ハ米艦ニヨツテ捕獲サレテ居タノデアル。1800年ノ秋早々西印度ヘ派遣サレタ Insurgente 號ハ其ノ後再ビ消息不明デアツタ。他ノ2艦ハ佛國ヘ戻サレタ。此ノ戰爭ノ終結期ニ於テ、米國ノ手中ニ在ツタ84隻ノ船ノ中13隻ハ釋放サレ、1隻ハ沈メラレ、米海軍ノ手中

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニハ70隻ノ合法的戰利船ガ殘ツタ。

此ノ戰爭ハ正式ニ宣戰ヲ布告サレズニ西印度方面ニ於テノミ行ハレタケレドモ、新進米國海軍ニハ甚ダ大ナル利益ヲ與ヘタ。我ガ巡洋艦ノ與ヘタ保護ニ依リ輸出ハ增進シ、又巡洋艦ガ戰鬪ニ於テ赫々タル勝利ヲ擧ゲタノデ、軍艦ノ維持ガ多クノ人ニハ君主政體ノ脅迫ト思ハレタ時ニ必要トセラレル位置ト信望トヲ海軍ニ與ヘタ。海軍ノ人的方面ニモ亦戰時ニ於ケル實際的訓練ト自信トヲ與ヘタ。對 Tripoli 戰爭及對英第2次戰爭ニ於ケル米海軍ノ英傑ハ候補生及尉官トシテノ修業ヲ此ノ西印度戰爭ニ於テ受ケタノデアル。

猶看過スベカラザル事ハ、此等戰爭中、米國ノ軍艦ガ英艦ト協同シテ佛國ト戰ツテ居タ時、「米海軍管理法令」ガ議會ヲ通過シタコトデアル。此ノ法令ハ英國海軍ノ法規カラ殆ド逐條的ニ採用セラレタモノデアツタ。要スルニ英海軍ノ軍紀及傳統ハ米海軍ノ標準トシテ當時採用セラレタノデアル。米國ガ若シ當時佛蘭西ト組ンデ英國ニ當リ、佛海軍ノ實際ガ米海軍ノ標準トシテ採用サレタト假定スレバ、當時ノ佛海軍ノ軍紀ハ佛蘭西革命ノ平等思想ノ爲ニ頽廢シテ居タカラ嘸好マシカラザル影響ヲ受ケタデアラウ。此ノ要旨ハ Duke of Wellington ノ言葉「予ハ言論ノ自由ヲ信ズ、但シ艦內ニ於テハ然ラズ。」ノ中ニ適切ニ表現サレテ居ル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第4章　對「トリポリ」戰爭（其ノ1）

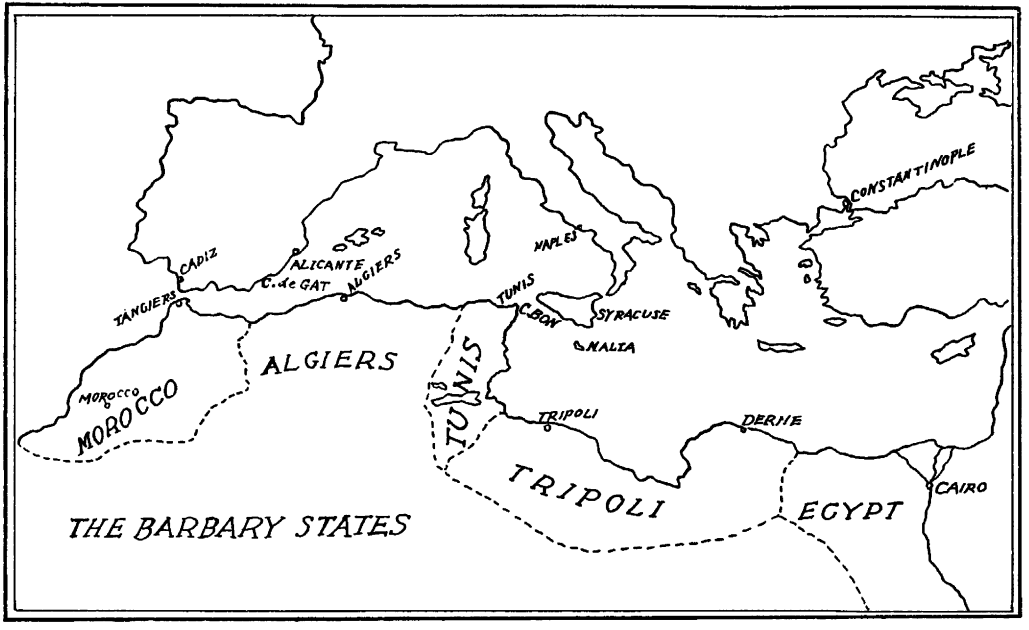
◎「アルヂェリア」ヨリ受ケタル侮辱

1786年「モロッコ」カラ、1795年「アルヂェリア」カラ、1796年「トリポリ」カラ購ハレタ平和條約ハ、決シテ米國ノ船舶ト北阿海賊船間ノ紛糾問題ヲ解決スルニ至ラナカツタ。實際一例ヲ擧グレバ、次ニ述ブル所ノ「アルヂェリア」ノ大守ガ責任ヲ有スル事件ノ如キハ、當時ノ北阿「バーバリ」國ノ支配者ノ態度ノ典型的ナルモノデアツタ。

1800年 William Bainbridge ハ僅ニ26歳ニシテ海軍生活2箇年ヲ經タダケデ、大佐ノ階級ニ昇進サセラレタ。然シ彼ノ此ノ2箇年ニ亘ル海軍生活ニ於テ、特ニ對佛戰爭中 Guadeloupe ノ牢獄ノ經驗ニヨリ世ノ認ムル所トナツタ。對佛戰爭勃發ノ時、彼ハ米海軍ノ爲ニ購入サレタ24門艦ノGeorge Washington 號ノ指揮ヲ割當テラレ、「アルヂェリア」ヘ年貢獻納送屆ケノ命ヲ受ケタ。斯クシテ Bainbridge 大佐ハ地中海ニ入ル最初ノ米國ノ軍艦ヲ指揮スル榮譽ヲ受ケタガ、ソノ名譽モ彼ノ帶ビテ行ツタ使命ノ屈從的ナ性質ノ爲ニ陰影ヲ帶ビテ居タ。是ハ面白カラヌ事デアツタガ、ソノ後續イテ起ツタ出來事ガ遙ニ惡ク米海軍史上最モ苦々シキ事件ト稱シテモ過言デハナイ。

Washington 號ガ1800年ノ9月到着シタ時、「アルヂェリア」ノ大守ハ北阿「バーバリ」ノ支配者ノ總首デアル所ノ土耳古皇帝ト紛爭ヲ起シテ居タ。其ノ原因ハ土耳古ガ「ナポレオン」ト戰ツテ居タ時ニ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



The Barbary States

HP『海軍砲術学校』公開史料

「アルヂェリア」人ガ「ナポレオン」ト平和ヲ締結シタコトデアツタ。土耳古皇帝ト和協スル爲ニ「アルヂェリア」ノ大守ハ「コンスタンチノープル」ヘ贈品ヲ獻納シヤウト思ツタ。ソシテ其ノ爲ニコノ米國軍艦ノ借用ヲ要求シタ。當然米國領事及 Bainbridge 大佐ハ拒絶シタガ、George Washington 號ハ「アルヂェリア」ノ砲壘ノ下ニ碇泊シテ居リ、脫走ノ出來ヌ位置ニ在ツタノデ、「アルヂェリア」大守ハ、若シ要求ガ應ゼラレナイ場合ハ、即座ニ宣戰ヲ布告スルト嚇シツケタ。當時地中海ニハ多數ノ米國商船ガ居リ、若シ「アルヂェリア」大守ガソノ威嚇ヲ實行シタナラバ多數ノ米國商船ガ捕獲サレル心配ガアツタノデ、Bainbridge ハ此ノ要求ニ應ジ「アルヂェリア」ノ大守ノ爲ニ使小僧ノ役目ヲシナケレバナラヌト思ツタ。「アルヂェリア」大守ハ猶モ此ノ屈辱行爲ヲ逞シウシテ Bainbridge 大佐ヲシテ大檣ニ「アルヂェリア」ノ國旗ヲ揚ゲシメタ。是ハ實際的ニ George Washington 號ヲシテソノ本來ノ使命ヲ離レテ「アルヂェリア」海軍ニ移サシメタ行爲デアツタ。然シ出港スルト同時ニ Bainbridge ハ「アルヂェリア」國旗ヲ卸シテ米國國旗ヲ揚ゲタ。

「コンスタンチノープル」ニ於テ Bainbridge 大佐ハ新國家米國ノ代表者トシテノ優遇ヲ受ケタガ、「アルヂェリア」大使ハ冷遇サレタ。此ノ土耳古訪問中、土耳古ノ海軍長官ハ Bainbridge 大佐ニ土耳古全港ニ於テ彼ニ優遇ヲ確證スル旅行免狀ヲ渡シタ。「アルヂェリア」ヘ歸還シタ時、Bainbridge 大佐ハ今度ハ注意シテ砲壘カラ射距離外ニ碇泊シ、再度「コンスタンチノープル」ヘ使セヨトノ大守ノ要求ヲ即座

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ拒絶シタ。大守トノ接見中、Bainbridge ハ土耳古ノ旅行免狀ヲ示シテ、宣戰即時布告ノ激烈ナ脅威ヲ反撃シタ。此ノ事アツテ以來、海賊的大守ハ畏レヲ爲シテ Bainbridge 大佐及彼ノ船ニ迫害ヲ加ヘナカツタ。「アルヂェリア」大守ガ土耳古皇帝ノ命令デ佛蘭西ニ宣戰ヲ布告シタ時、Bainbridge ハ、カノ旅行免狀ノ威力ヲ使用シテ大守ヲシテ市内ノ佛蘭西國民ニ、國外退去ノ爲ニ 48 時間ヲ 與ヘシメタ。此等異國在住ノ佛蘭西國民ハ他ニ「アルヂェリア」退去ノ 方法モ無ク、又奴隷ニ下サレルコトヲ免レル手段モ無カツタ様ニ見エタ爲ニ、Bainbridge ハ彼等ヲ George Washington 號ニ收容シテ Alicante ヘ護送シ、其處カラ彼等ヲ本國ヘ歸還セシメタ。此ノ功ニヨリ Bainbridge ハ「ナポレオン」ヨリ感謝ヲ受ケタ。

◎對「トリポリ」戰爭第1年

其ノ間ニ「トリポリ」ノ大守モ亦紛糾問題ヲ起シテ居タ。合衆國ト「トリポリ」トハ 1796 年既ニ條約ヲ結ンデハ居タガ、「トリポリ」ハ此ノ兩3年間ニ其ノ隣國「アルヂェリア」ヤ「チュニス」程利益ヲ擧ゲテ居ナイ事ニ氣ガツキ、今ヤ條約以上ノモノヲ要求スル時機デアルト感ジタ。合理的基礎ニヨツテ問題ヲ解決シヤウトイフ努力ハ失敗シタ。ソレデ同大守ハ段々傲慢無禮ニナツテ來タ。終ニ 1801 年ノ2月彼ハ前ノ條約ヲ否認シテソノ年ノ5月宣戰ヲ布告シタ。然シソノ間ノ交涉ハ長々續イテ居タ爲ニ、米國ノ商船ハ充分警戒ノ餘地ガアリ、「トリポリ」ノ巡洋艦ハ殆ド拿捕スル所ガ無カツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

外交的交渉ガ到底効果無キ事ガ明ニナルヤ否ヤ、5月末米國艦隊ハ Hampton Roads ニ集結サレ、北阿「バーバリ」ノ諸港ニ出動シテ宣戦ヲ布告シタル國ハ其ノ何レタルヲ問ハズ、悉ク此等ト戦闘行爲ヲ行フベク、又少クモ武力部隊ノ威力ヲ示シテ外交關係ヲ援助スベキ様命令ヲ受ケタ。此ノ艦隊ハ44門ノ旗艦、艦長 James Brown ノ「フリゲート」艦 President 號、36門ノ艦長 Samuel Barron (James Barron ノ兄弟) ノ Philadelphia 號、艦長 William Bainbridge ノ 32 門艦 Essex 號及 Andrew Sterett 大尉ノ指揮スル12門ノ「スクーナー」船 Enterprise 號ヨリ編成サレテ居タ。此等ノ諸艦ハ Richard Dale 代將ノ總指揮ヲ受ケタガ、Richard Dale トイフノハ Bonhomme Richard 號ト Serapis 號ノ戦闘ニ於テ Paul Jones ノ先任尉官トシテ勇名ヲ擧ゲタ人物デアル。

此ノ艦隊ガ出帆シテ後、漸ク「トリポリ」側ノ宣戦布告ノ報ガ米國ヘ着イタ。然シ艦隊ハ幸ニシテ將ニ掠奪ノ爲ニ大西洋上ニ出向カントシテ碇泊シテ居タ2艘ノ「トリポリ」ノ私掠船ヲ遮絶スルニ丁度間ニ合フ様 Gibraltar ヘ到着シタ。此等ノ船ヲ Gibraltar ニ封鎖スル爲ニ Philadelphia 號ヲ殘シ、Dale 代將ハ中立港ニ在泊中ノ米國船舶ヲ集メテ大西洋ヘ護送スル様 Essex 號ヲ派遣シタ。而シテ一方デハ殘餘ノ艦隊ヲ率キテ「バーバリ」ノ海岸ヲ巡戈シタ。「トリポリ」ノ大守ハ米國ノ艦隊ガ出現シテ幾分困リ平和締結ヲ希望シタガ、Dale ガ港ノ沖ニ18日間モ滞留シタニモ拘ラズ、何等和平ノ成立ヲ見ナカツタ。其ノ期間ノ終リニ Dale ハ淡水補給ノ爲ニ Malta ヘ寄港シナケレバ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ナラナクナツタガ、Malta ニ着イタノハ8月ノ中旬デアツタ。

其ノ間ニ8月1日「スクーナ」船 Enterprise 號ト Tripoli 號トノ間ニ猛烈ナ戰鬪ガ起ツタ。Enterprise 號ハ 20 門ノ砲ト乘員 94 名ヲ有シ、Tripoli 號ハ 14 門ノ砲ト 80 人ノ乘員ヲ有シテ居タガ故ニ、此等2船ハ伯仲ノ勢デアツタ。其ノ結果ガアレ程一方的ニ有勢トナツタノハ、主トシテ Sterett 大尉ノ熟練セル操船術ノ致ストコロデ、敵船ヲシテ乘込マシメズ、再三近接シテ敵ヲ縱射シタタメデアル。次ニ擧グルモノハ彼ノ Dale 代將ニ送ツタ戰鬪報告デアル。

「8月1日 Reis Mahomet Sous ノ指揮スル Tripoli ノ 14 門艦 Tripoli 號ニ遭遇セルコトヲ玆ニ報告スルノ光榮ヲ有ス。拳銃射程內ニ入テ直ニ戰鬪ハ開始セラレ、射擊ハ3時間ニ亘ツテ戰ハレタリ。其ノ後敵ハ降服セリ。艦內ハ流血凄慘ヲ極メ、敵ハ戰死者 20 名、負傷者30名ヲ出セリ。負傷者中ニハ敵艦長及大尉アリ。敵ノ後檣ハ舷外ニ落チタリ。命令ニ依リ小官ハ舊帆及圓材以外ハ總テ敵艦ヨリ取リ去リタリ。我ガ艦內ノ將兵ハ皆迅速敏捷ニ命令ニ服從シ、最モ勇敢ニ決然トシテ奮鬪セルコトヲ附記シ得ルハ小官ノ欣快トスルトコロナリ。我ガ艦ニハ1名ノ負傷者ヲモ出サズ、船體索具ニ見ル可キ損害ヲ受ケズ。」

此ノ赫々タル勳功ノ爲ニ、Sterett ハ議會ノ感謝ヲ受ケ、劍ヲ贈ラレタ。又其ノ部下ノ將兵ニハ特別賞與1箇月分ヲ授與サレタ。Tripoli 號ガ破壞サレズニ艤裝ヲ解カレテ Tripoli ヘ送還サレタ理由ハ、大統領カラ受ケタ此ノ代將ノ命令ハ戰利品ヲ捕獲スルコトヲ許サレナカツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タカラデアル。Jefferson ハ憲法ニ依レバ、戦争ハ議會ニヨツテ宣言サレルノデアツテ、從ツテ彼ガ艦隊ニ命ズルコトノ出來ルノハ唯守勢的行動ノミデアルト主張シタ。此ノ嚴重ナル憲法上ノ解釋ハ、1802年2月議會ガ大統領ニ戦争ノ全權力ヲ與ヘル法令ヲ通過スルマデ Dale ノ行動ヲ幾分拘束シタ。而モ Paul Jones ノ寵愛セル大尉カラ Tripoli 戦争ノ第1年ノ無收獲的結果ヨリ以上ノモノヲ期待サレタ。最初 Tripoli 大守ニハ頭痛ノ種デアツタ封鎖モ段々輕減シ、Dale ガ 1802 年ノ3月合衆國ヘ歸ツテカラハ有名無實デアツタ。此ノ封鎖任務ハ主トシテ Captain Samuel Barron ノ指揮スル Philadelphia 號ニ掛ツテ居タ。同艦ハ Syracuse デ冬營中デアツタガ、Dale ヨリノ命ヲ受ケテ春季ニ入ツテ Tripoli 及 Tunis ヘ時々遊弋ニ出掛ケルコトニナツテ居タ。Tunis ノ米國領事 William Eaton ノ報告ニヨレバ、同艦ハ冬季及春季僅ニ1回限リ Tripoli ノ沖ニ現ハレ、ソレモ僅ニ6時間シカソノ姿ヲ見セナカツタソウデアル。Captain Barron ハ北風ガ多ク且特別强カツタガ爲ニ、Tripoli 巡視ガ思ウニ任セナカツタト言ツテ遁辭ヲ使ツタ。

Barron ノ無能ヲ批評シタ Eaton 領事ハ、對「トリポリ」戦史中興味アル人物デアル。彼ハ獨立戦争ノ古ツハモノデアリ、1797年 Tunis ノ米國領事ニ任命サレタ當時陸軍大尉デアツタ彼ハ、彼特有ノ熱力ヲ以テ戦争ニ身ヲ投ジ、掛引腹藏スル所無ク所見ヲ赤裸々ニ述ベタ。Eaton ハ Bainbridge ガ米國國旗ヲ「アルヂェリア」大守カラ侮辱セラレタコトニ就テ、又 Captain Samuel Barron ニ就テ等シク痛イ批

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

評ヲ加ヘタガ爲ニ、Bainbridge ヤ Barrons 兄弟ノミナラズ、其ノ方面勤務ノ全士官カラ敵意ヲ受ケタ。トイフハ彼等ハ Eaton ノ酷評ハ海軍ノ名譽ニモ關スルト考ヘタカラデアル。Eaton ガ現大守 Yusuf ノ兄弟デ既ニ廢セラレタ Hamet ヲ支援センガ爲ニ兵ヲ擧ゲテ Tripoli ヲ背面カラ攻撃スルコトヲ提案シタ時ニ、彼ノ計畫ガ艦隊ノ全士官ニ反對セラレタノモ、恐ラクコノ爲デアツタデアラウ。Eaton ノ考ヘハ正當ノ支配者 Hamet ノ麾下ニ決死隊ヲ募リ、Tripoli ノ背面ヲ攻撃シ、海陸協同ノ攻撃ニ依ツテ Yusuf ヲ市カラ放逐スルカ、或ハ少クモ彼ヲ降參サセルコトデアツタ。

◎對「トリポリ」戰爭第2年

對「トリポリ」戰爭第1年ニ於テ、徵兵1箇年制度ハ對佛戰爭ノ場合ト同樣海軍ノ難問デアツタ。何トナレバ Dale 麾下ノ艦隊ハ、徵兵期間終了ノ爲本國ヘ送還セラレネバナラナカツタカラデアル。故ニ次ノ徵兵ハ1箇年ヲ止メテ2箇年ニ改メラレタ。第2回遠征艦隊ノ指揮官ハ對佛戰爭デ英名ヲ擧ゲタ Truxtun 代將デアツタ。不幸ニシテ當時大佐ガ不足シテ居タノデ、彼ノ旗艦 Constellation ヲ指揮スル人ガ任命サレナカツタ。自分ノ旗艦ノ爲ニ艦長トシテ行動スルコトハ、Truxtun ニハ官階低下ニ思ハレタノデ、彼ハソノ位置ヲ拒絶シタ。此ノ事ガ禍シテ彼ノ辭職トナツタノデ、米國ニトツテハ「トリポリ」ト戰フニハ最モ必要トセラルル型ノ人物ヲ失ツタコトニナツタ。Truxtun ノ場合、海軍省ノ意地ガソノ行動ノ背後ニアツタトイフコト

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ、彼ノ後繼者 Richard V. Morris ガ何ノ問題モナク旗艦ノ艦長代理ニ任ゼラレタ事實ニヨツテワカル。

1802 年ノ春 Morris 麾下ノ艦ハ出港準備出來次第相次デ地中海ニ向ツテ出帆シタ。出港順序ニヨル艦隊ノ艦ハ次ノ通リデアツタ。

Chesapeake 號	36 門艦、旗艦
Adams 號	28 門艦
New York 號	36 門艦
John Adams 號	28 門艦
Constellation 號	36 門艦
Enterprise 號	12 門艦

猶 Philadelphia, Boston, Essex, George Washington ノ諸艦ハ任地ニ在ツタガ、Philadelphia 及 George Washington ノ2艦ハ間モ無ク合衆國ヘ歸ツタ。

其ノ後ノ作戰史ハ複雜ヲ極メテ居ル。此ノ海軍力カラ大ナル結果ガ擧ルト期待サレ、「トリポリ」ノ大守ハ直ニ降參スルト思ハレテ居タ。トコロガ實際ニ於テハ、此ノ戰爭第2年ノ間ニ米國ハ敗レテシマツタ。封鎖ハ唯 Tunis ト Morocco ヲ憤慨サセルダケデ、何ノ効モ無カツタ。1803 年5月米軍ハ平和ヲ購ハントシテ、弱氣ノ媾和ノ申込ヲシタ。シカシ其ノ間ニ米國船 Franklin 號ガ捕獲サレ、ソノ乘員ハ足枷ヲ掛ケラレテシマツタ。此等ノ捕虜ニハ「アルヂェリア」ヲ通ジテ3萬5千弗ノ身代金ヲ投ジナケレバナラナカツタ。Eaton 領事ハ Morris 代將ト爭ツテ居タガ故ニ、ソノ計畫ヲ進捗サセル事ハ出來ズ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

又米國へ歸ツテシマツタ。1803 年ノ夏「トリポリ」ノ2隻ノ巡洋艦ガ米艦隊ノ爲ニ撃破サレ、又敵ノ砲艦ヲ相手ニ活潑ナル小ゼリ合ヒガ起リ、青年士官ハ勳功ヲ立テタガ、別ニ大シタ結果モ得ナカツタ。

9月ニナツテ Morris 代將ハ海相カラ任務ヲ解キ、歸國スベシトノ命令ヲ受ケタ。翌春不幸ニモ Morris ノ後任士官ヨリ成ル査問會ガ開カレ、Morris ハ麾下艦隊ノ操縦緩慢宜シキヲ得ザル廉ヲ以テ責ヲ負フベキ旨判決サレタ。或理由ニヨツテ軍法會議ハ開カレナカツタガ、Morris ハ Jefferson 大統領ニヨリ即決ヲ以テ軍籍カラ免ゼラレタ。

◎ Preble 代將

Morris 艦長事件デ査問會ガ開カレテ居ル間ニ、Captain Edward Preble 指揮ノモトニ新艦隊ガ準備サレテ居タ。艦隊ノ艤裝特ニ Constitution 號ノ艤裝ニ手間ガカカリ、1803 年ノ夏ノ大部分ヲ要シタノデ、新代將 Preble ガ地中海ニ向ツテ出發スル事ガ出來タノハ8月デアツタ。彼ノ艦隊ハ航行序列ニ從ヒ次ノ如クデアツタ。

Nautilus 號　(12 門艦、艦長 Richard Somers 大尉)
Philadelphia 號　(36 門艦、艦長 William Bainbridge 大佐)
Vixen 號　(12 門艦、艦長 John Smith 大尉)
Constitution 號　(旗艦 44 門艦、艦長心得 Robinson 大尉)
Siren 號　(16 門艦、艦長 Charles Stewart 大尉)
Argus 號　(16 門艦、艦長 Stephen Decatur 大尉〔子〕)
Enterprise 號　(12 門艦、艦長 Isaac Hull 大尉)

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



Edward Preble

HP『海軍砲術学校』公開史料

Enterprise 號ハ既ニ任地ニ在ツタガ、又彼ノ指揮下ニ入レラレタ。Enterprise 號艦長 Hull 大尉ハ Decatur 大尉ノ先任デアツタガ爲ニ、兩人ハ互ニ乘艦ヲ交換スルコトニナツタ。ナゼナラバ Argus 號ハ Enterprise 號ヨリモ級別トシテ上位ニアツタカラデアル。他ニ小型ノ「スクーナ」船ヤ「ブリッグ」船ガ重「フリゲート」艦ノ航行出來ナイ「トリポリ」近邊ノ淺海ヲ巡弋スル爲ニ建造サレテ艤裝サレタ。

新代將 Preble ハ前任者 Morris ト同樣獨立戰爭ノ古ツワモノデアツタ。彼ハ New England ノ出身デ、Hull 以外ノ將校全部ガ南部或ハ中部諸州ノ出身デアツタカラ、海軍部內ニハ知ラレテ居ナカツタ。彼ノ生來ノ荒々シイ氣性ハ病氣勝チノ爲改メラレナカツタ。而シテ彼ハ軍紀ニ關シテハ鐵石心ヲ持テ居タ。彼ハ部下ノ青年士官ガ彼ノ癇癖强イ所カラ「張切リ親爺」ト言ツタノニ對シテ、之ニ報ヒテ「鼻垂レ小僧」ト言ツテ靑二才振リヲ責メタ。實際彼ノ麾下ノ艦艇長ハ 20 歲以下デアツタガ、尉官ハ更ニ若カツタ。然シ乍ラ 1 年後 Preble 代將ト部下ノ靑年將校トノ折合ハ融和シテ親情ガ籠ツテ來タ。

Preble 代將ノ當面シタ情勢ハ幸先ヨキモノデハ無カツタ。宣戰布告以來 2 箇年半ノ間ニ米海軍ハ何等決定的優勢ヲ得ナカツタ。ソレドコロカ他ノ「バーバリ」國特ニ「モロッコ」ハ次ノ事件ニヨツテモ明瞭ナルガ如ク、段々不穩トナリ傲慢ノ度ヲ加ヘテ來タ。

Bainbridge ハ Philadelphia 號デ「ジブラルター」ニ到着シテ間モ無ク、2 艘ノ「トリポリ」巡洋艦ガ「ガット」岬ノ沖合ニ居ルコトヲ知ツタ。ソレ等ノ巡洋艦ヲ捜索中彼ハ「モロッコ」皇帝所屬ト稱スル

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

船ニ出會ツタガ、ソノ船ハ調査ノ結果、米國ノ「ブリッグ」船 Celia 號デ艦長及乘員7名ガ下甲板ニ幽閉サレテ居ルコトガ判ツタ。Bainbridge ガ此ノ「ムーア」人ノ隊長ヲ海賊行爲ノ廉ヲ以テ絞殺ニシヤウト脅嚇シタトコロガ、其ノ隊長ハ米國船ノ拿捕ヲ認可シタ「タンヂール」總督カラ發セラレタ命令書ヲ出シタ。Bainbridge ハソレカラ其ノ戰利船ヲ率キテ「ジブラルター」ヘ歸ツタ。ソシテ Constitution 號ガ到着スルト直ニ Preble ニ Celia 事件ニ就キ報告シタ。

Preble 代將ハ速ニ「モロッコ」ヲ處分スベキ必要ヲ感ジ、Vixen 號及 Philadelphia 號ヲ「トリポリ」封鎖ノ爲ニ派遣シ、自ラハ殘餘ノ艦隊ヲ率キテ Rodgers 代將ト本國行キノ「フリゲート」艦 New York, Boston 及 John Adams ノ3艦ト合シテ Tangiers デ示威運動ヲシヤウトシタ。此ノ海軍兵力ノ示威ハ直ニ効果ヲ擧ゲタ。「モロッコ」皇帝ハ急イデ Celia 號拿捕ノ責任ヲ Tangiers ノ總督ニ轉嫁シ、彼ヲ公然罷免シ、且贈物ヲシテ米海軍士官ヲ慰撫シヤウトシタ。此ノ交涉ノ結果、1786 年ノ舊條約ノ批准トナリ、合衆國ニハ一切支辨ノ要ナキコトニ決着シタ。

其ノ中ニ Vixen 號ト Philadelphia 號ハ其ノ配置ニ就キ 10 月 17 日「トリポリ」港ヲ封鎖シタ。ソレヨリ2週間後、Bainbridge ハ2艘ノ「トリポリ」ノ軍艦ガ地中海ヲ巡弋シテ居ルトイフ情報ヲ得タ。ソレ等ノ2艘ノ軍艦ハ、多分西航シテ海峽ノ方ヘ行クモノト察シ、Bainbridge ハ Vixen 號ヲ派遣シテ Bon 岬沖デソレ等ノ軍艦ヲ見張サセタ。秋季ノ强風ガ旣ニ吹キ始メテ居タノデ、此處ハ小型「スクーナ」船ニトツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

テハ「トリポリ」ノ海岸ヨリモ遙ニ安全ナ位置デアルト Bainbridge ハ思ツタ。

1803 年ノ 10 月末 Philadelphia 號ハ、コノ强風ノ爲ニ吹キ流サレタ。同艦ガ 31 日朝モトノ配置ニ歸ラウトシテ居ルト、1 艘ノ「トリポリ」船ガ港ノ方ヘ向テ航行シテ居ルノガ見エタ。次記ノ海相ニ宛テタ Bainbridge 艦長ノ報告ハ、ソノ後ノ不幸ナル結果ヲ描寫シテ居ル。

『不幸ニシテ小官ハ我ガ生涯中最モ悲痛ナル報道ヲセザルノ止ムナキニ至レリ。我ガ指揮下ノ Philadelphia 號ハ「トリポリ」市ノ東方 4 乃至 5「リーグ」ノ距離ニ於テ坐礁シ、遂ニ之ヲ喪フニ至リタルコトヲ報告スルハ、小官ノ衷心遺憾トスル所ナリ。此ノ不幸ナル事件ニ關スル當時ノ事情次ノ如シ。

午前 9 時「トリポリ」ノ東方約 5「リーグ」ノ所ニアリテ、小官ハ我ガ艦ヨリモ陸ニ近ク追風ヲ受ケテ西航スル 1 艘ノ船ヲ認メタリ。小官ハ直ニ追撃シタルトコロ、該船ハ「トリポリ」ノ國旗ヲ掲揚シテ航進ヲ續ケ陸地ニ接近セリ。11 時頃小官ハ水深 7 尋ニ到ルマデ陸地近クニ接近シ發砲ヲ續ケ、追風ヲ受ケ 11 時半迄航走ヲ續ケタリ。當時本艦ハ水深 7 尋以內ニ在リテ、射撃ヲ以テ敵ノ「トリポリ」港內通入ヲ阻止スルコトノ不可能ナルヲ知リ、追撃ヲ中止セリ。而シテ沖ニ向テ轉針セル所、前部 12 呎、後部 17 呎ノ水深ヲ以テ暗岩ニ坐礁セリ。仍テ直ニ艦尾ヨリ短艇ヲ卸シテ後方ノ最大深度ヲ測リ、總帆ヲ反轉シ、高檣帆ヲ揚ゲ、强風ヲ受ケテ利用シ得ル總帆ヲ揚ゲ、船ヲ後退セシムル樣試ミ、艦首ヨリ 3 錨ヲ投ジ船艙中ノ水ヲ排出シタリ。當時我

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ガ艦ヲ射撃シアリタル砲艦ニ對シ、防禦ノタメ艦尾砲ヲ除キ他ノ砲ヲ投ゲ棄テタリ。然ルニ此ノ努力モ悉ク水泡ニ歸シタリ。故ニ最後ノ手段ニ訴ヘ、艦首ヲ輕減センガ爲第3高檣諸共前檣ヲ切斷セリ。』

1805年6月開カレタル査問會議ニ於テ、證言ノ爲ニ David Porter 大尉ハ此ノ點ニ就キ Captain Bainbridge ノ陳述ニ更ニ詳細事項ヲ附陳シタ。前檣ヲ切斷スル最後ノ手段モ失敗ニ歸シ、Philadelphia 號ノ艦首ヲ離礁シ得ザルニ至リシヲ以テ、「船匠員ハ船首ニ至リ船底ニ穴ヲアケ、砲員ハ火藥庫ニ注水スル樣命ゼラレタ。然ル後敵ニ利用サレ得ルモノハ悉ク破壞スル樣命ゼラレタ。』

Captain Bainbridge ハ猶次ノ如ク述ベテ居ル。『坐礁ハ艦內ノ海圖ニヨルモ何等此ノ如キ危險ノ明示無ク、全ク不可抗力ノ出來事ナリキ。陸地ニ接近スルニ當リ、カノ「トリポリ」ノ巡洋艦ノ捕獲ヲ全カラシメンガ爲3箇ノ測鉛ヲ使ツテ注意ノ萬全ヲ期シタ。船ガ坐礁シテカラ船ヲ離礁サセンガ爲萬策ヲ講ジタリ。敵砲艦ハ我ガ射界外ニ占位シテ砲撃セルヲ以テ、本艦ハ艦尾ノ一部ヲ切リ去リ、射角ヲ增大シタルモ尙敵砲火ニ惱マサルルコト大ナリキ。然レドモ一縷ノ望ノアル限リ降參セザルベシト決心セリ。

我々ハ敵砲艦ノ砲火ニ4時間抵抗セリ。ソノ時ニ至ツテ部下ノ士官モ本職モ本艦ヲ離礁サセル見込立タズ、剩ヘ「トリポリ」ヨリ援隊ノ出動ヲ見シヲ以テ、——抵抗シテモ之ニ打撃ヲ加ヘ得ル見込ハ更ニ無カリキ。——我々ハ部下ノ勇敢ナル將兵ノ生命ヲ全フセンガ爲、旗ヲ卸シ武運ニ惠マレタル敵ニ降服スル悲痛ナル方法ヲ取ル以外ニ方法無

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

カリキ。

敵砲艦ハ砲撃スルニ當ツテ主トシテ我ガ檣ヲ目標トセリ。彼等ガ若シ我ガ船體ヲ射撃セシナラバ、恐ラク多數ノ戰死者ヲ生ゼシメシナラン。本艦ハ日沒後間モナク拿捕セラレ、其ノ夜本職ト部下ノ士官全部及乘組兵員ノ一部ハ上陸セシメラレ、知事ノ前ニ引キ出サレタリ。我々ハ着テ居ルモノノミ、然モソレスラ一部分ハ剝奪サレタルガ、他ハ全部喪失セリ。』

船ニ穴ヲアケテ沈メヤウトシタガ、失敗ニ歸シタ。何トナレバ、敵ハ2日後滿潮ニ乘ジテ離礁サセ、砲ヲ引キ揚ゲ、再ビ据エツケ、全ク從前通リニシテ「トリポリ」港ヘ曳航シタカラデアル。

Philadelphia 號ガ坐礁シタ Kaliusa ノ暗礁ハ、Bainbridge ノ言ノ通リ海圖ニハ載ツテ居ナカツタ。然シ此ノ暗礁ハ非常ニ大キナモノデアルガ故ニ、ソノ記載漏ハ由々シイ。何トナレバソノ暗礁ハ海岸ニ沿フテ數浬ニ亘ツテ處處水道ニ切ラレナガラ續イテ居ルカラデアル。若シ Bainbridge ガ風下ニ落チル前ニ今少シ前進ヲ續ケタナラバ、此等幾多ノ水路ヲ安全ニ通過シタコトト思ヘバ、Bainbridge ノ不運ハ今更ノ如クニ深刻ニ感ゼラレル。又若シ Bainbridge ガカノ敵船ノ跡ニ續イテ進ンダトシタナラバ、坐礁ヲ免レタデアラウ。

Philadelphia 號ノ乘員ノ抑留ハ長期ニ亘ツタガ、少クモ士官ニ對シテハ特ニ苛酷ナモノデハナカツタ。彼等ハ自由ニ往復スルコトヲ許サレ、丁抹ノ領事 Nissen ノ厚意ニ依リ彼等ノ書籍ヲ買ヒ戻スコトモ出來タ。此等ノ書籍ニヨツテ Captain Bainbridge ハ大尉 David Porter

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ト協力シテ、米國海軍史上最初ノ學校的教育ヲ候補生ノ爲ニ施スコトガ出來タ。又 Nissen 領事ノ手ヲ通ジテ Bainbride ハ Preble 代將ト秘密通信ヲスルコトモ出來タ。此ノ長期ニ亘ル幽囚生活中、士官ハ脫走ノハカナイ計畫ヲ立テテ物憂イ時間ヲ消サウトシテ居タ。然シ兵員ハ士官ニ示サレタ待遇ラシキモノハ一切受ケナカツタ。兵員ハ食物、住居共ニ冷遇サレ、奴隷ノ如クニ酷使毆打サレタ。然シ彼等ハ驚ク程此ノ捕虜生活ニ堪ヘタヤウデアル。此ノ捕虜生活19箇月ノ全期間中、死者6名、疾病患者極少數ヲ出シタニ過ギナカツタ。

Captain Bainbridge ノ部下士官ハ、彼ノ苦衷ヲ察シテ捕虜收容所ニ入ルヤ否ヤ、Bainbridge ニ對スル彼等ノ同情敬意ヲ確證センガ爲ニ覺書ヲ作製シタ。ソノ覺書ニハ「昨日ノ不幸ナル事件ニ就キ、吾人ハ貴官ノ行爲ニ滿腔ノ贊意ヲ表スル次第ニシテ、勇氣、力量ノ命ズル有ラユル努力、有ラユル方策ヲ盡シタルモノナルコトヲ信ズルモノナリ。」ト書イテアツタ。Preble 代將モ此ノ凶報ヲ手ニスルヤ否ヤ、Bainbridge ニ慰問狀ヲ送リ、一言モ難詰スルトコロガ無カツタ。

然シ Bainbridge ガ悄然トシタノハ無理モナカツタ。彼ノ海軍ノ經歷ハ短期間デハアツタガ、不思議ナ位ニ不運續キデアツタ。對佛戰爭デハ捕ヘラレテ投獄サレタ。彼ハ George Washington 號ノ苦々シキ事件ノ爲ニ、Eaton ヤ其ノ他ノ人々ノ酷評ヲ受ケテ猶モ心ヲ痛メテ居タガ、此ノ最後ノ災難ニ至ツテハ、「トリポリ」大守ヲ增長セシメ、從前考ヘモ及バザル擧ニ出デシメタ。

reble 代將ハ第3次遠征艦隊ノ任務ノ重大性ヲ認識シテ居ツタガ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

今ヤ Philadelphia 號ノ喪失ニヨツテ情勢ガ十倍モ困難トナツテ來タコトヲ感ジタ。「トリポリ」軍ハ Philadelphia 號ヲ手ニ入レシ爲、彼等ハ從前無カツタ一大軍艦ヲ所有スルコトニナツタガ、同時ニ一方米軍ニトツテハ此ノ喪失ノ結果、小型ノ「ブリッグ」船ヤ「スクーナ」船以外ニハ「フリゲート」艦ハ僅ニ Constitution 號ノ1艘シカ殘ツテ居ナイコトニナツタ。爲ニ兵力ノ割合ニ非常ニ大ナル損失デアツタ。コウイフ次第デ、Preble ノ作戰ハ最初カラ不備不完全ナモノデアツタ。又身代金ノ爲ニ米軍ノ捕虜300名ヲ持ツテ居タダケデ、「トリポリ」大守ハ更ニ非常ナル有利ナ立場ニアツタ。何トナレバ彼ハ特ニ捕虜中ノ士官ハ勢力アル友ヲ有シ、ソレ等ガ政府ヲ驅ツテ「トリポリ」大守ノ申入ナラバ如何ナル媾和條件デモ承諾セシメルコトヲ知ツテ居タカラデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第 5 章　對「トリポリ」戰爭（其ノ 2）

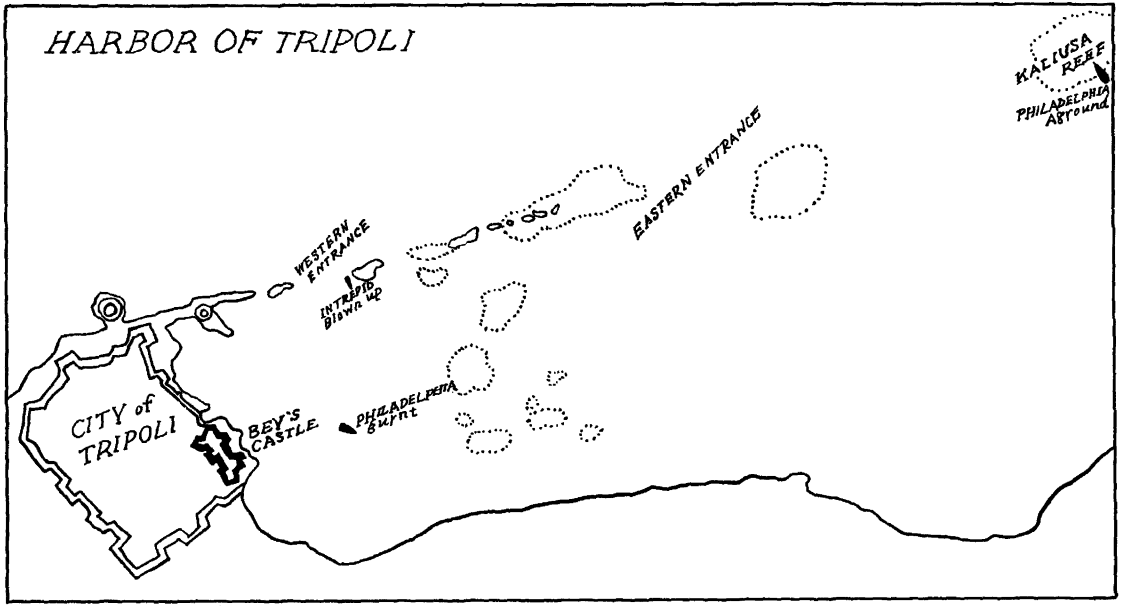
◎Philadelphia 號ノ破壞

Philadelphia 號拿捕ノ報ガ傳ハルヤ、直ニ同艦ヲ乘リ取ルカ又ハ破壞スルカ何レカノ方法ヲ取ル考ガ起ツタ。Bainbridge ハ Preble ニ宛テタ秘密書信ノ中ニ一案ノ概略ヲ述ベタ。此ノ書信ガ受取ラレル前ニ、既ニ Preble 及 Decatur ハ同樣ノ行動ニ就キ研究シテ居タ。此ノ問題ガ Preble 代將ニヨツテ唱ヘラレルヤ否ヤ、Decatur ハ其ノ乘艦 Enterprise 號ヲ以テ Philadelphia 號ヲ乘取ルコトヲ熱心ニ志願シテ出タ。ソレデ Stewart 大尉ガ Siren 號デ到着シテ、同ジク Philadelphia 號乘取リノ擧ヲ申出タ時ニ、Preble ハ彼ニ Decatur ガ既ニ此ノ名譽アル仕事ヲ約束サレテ居ルコトヲ話シタ。Preble 代將ハ Philadelphia 號ヲ助ケル事ハ不可能ト信ジ、同艦ヲ乘取ル擧ニハ出デズ、之ヲ繫留ノ儘破壞シヤウト決心シタ。此ノ計畫ハ時恰モ 1 艘ノ「トリポリ」ノ「ケッチ」船 Mastico 號ガ捕獲サレタノデ非常ニ好都合トナツタ。即チ Mastico 號ハ地中海式ノ帆裝ノ爲ニ Enterprise 號ダツタナラバ必ズ怪シマレル所ヲ、雜作無ク港内ニ入ル事ガ出來タカラデアル。

Decatur ガ Enterprise 號ノ將兵ヲ集メテ此ノ壯擧ヲ話シテ義勇志願者ヲ募ツタトコロ、將兵、見習兵 1 人殘ラズ之ニ應ジテ進ミ出タ。其者ノ中カラ 5 人ノ士官、即チ James Lawrence, Joseph Bainbridge, Jonathan Thorn, 軍醫 Lewis Herman 及候補生 Thomas MacDonough

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料



After a drawing made by Midn. De Krafft. of Preble's Squadron, Sept., 1804

HARBOR OF TRIPOLI

HP『海軍砲術学校』公開史料

ト62名ノ兵ガ選抜セラレタ。此等ノ志願者ニ Constitution 號カラノ5名ノ士官、即チ候補生 Ralph Izard, John Rowe, Charles Morris, Alexander Laws 及 John Davis ト「トリポリ」ノ港ノ事情ニ通ジテ居タ「シシリー」ノ水先案内ガ1人加ハツタ。此ノ「フリゲート」艦ノ破壊ノ前日、即チ2月15日 Stewart 大尉ハ候補生 Thomas O. Anderson ト6名ノ兵ヲ乗セテ1艘ノ短艇ヲ Intrepid 號ニ送ツタ。此ノ短艇乗組員ハ Intrepid 號ニ留ツテ Philadelphia 號破壊攻撃ニ參加シタ。次ノ武勇談ハ Constitution 號ヨリ派遣サレタ候補生ノ1人 Charles Morris ノ自叙傳カラ引用セラレタモノデアル。

『Stewart 大尉指揮ノ「ブリッグ」船 Siren 號ハ、ソノ短艇ヲ以テ襲撃船 Intrepid 號ノ乗員ヲ收容スルタメ我々ニ同伴スルコトニナツテ居タ。1804年2月3日ノ夕方指令ヲ受ケテカラ1時間以内ニ乗船シ直ニ出發シタ。之ガ爲ニ士官ハ「リンネル」着ノ着換1枚ダケヲ携帶スル樣命ゼラレ、日用品ノ支度ヲスル餘裕ガ與ヘラレナカツタ。燒討用ノ燃燒物ハ豫メ用意サレ、船ニ積込マレ 2, 3 週間ノ食糧品モ準備サレタ。同港ノ事情ニ詳シイ「マルタ」島人ガ1人水先案内トシテ我々ニ同行シタ。我々ハ10日頃「トリポリ」ノ見エル所ヘ着イタガ、西方カラノ疾風ハ暴風ノ虞アルコトヲ示シタ。(激浪ノ爲入港ハ危險ト斷定サレタ)。當分目的決行ヲ斷念シ、船ハ抜錨シテ拂曉前ニ「トリポリ」市ノ見エヌ位ナ所ヘ退イタ。急ニ強風ガツノツテ來タノデ、此處ハ相當ニ困難デアツタ。强風ハ 4, 5 日間續ケテ猛威ヲ逞ウシ、我々ヲ遙カ東方ニ吹キ流シ、又或時ハ海岸近クニ吹キ寄セテ困ラセ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。

艦内ノ居住情況ハ良好デハナカツタ。艦長ト3人ノ大尉及軍醫ハ非常ニ狭イ船室ニ居住シテ居タ。6人ノ候補生ト水先案内人ハ水樽ノ上ニ臺ヲ置キ、眠ル時ニハ之ニ敷物ヲ敷イタガ、天井ノ直グ下デアツタノデ、臺ノ上ニ坐ルト頭ガ天井ニ屈イタ。海兵隊員ハ反對側ニ同様ノ設備ヲシテ居タガ、兵員ハ船艙内ノ樽ノ上ダケガ居住設備デアツタ。此等ノ不備不便ニ加フルニ、甲板ニハ運動ヲスル餘地ガ無ク、又無數ノ南京虫ガ先ニ乘ツテ居タ奴隷ノ置土産ニナツテ我々ヲ苦シメタ。食糧品ハ腐敗シテ鼻持チガナラナカツタ。

16日ノ朝我々ハ再ビ「トリポリ」ノ視界内ニ近ヅイタガ、時ニ微風快晴ニシテ海上平穩、「トリポリ」ニ向ツテ接近シテ行ツタ。取極メニヨツテ Siren 號ハ日中ハ我々ト遠ク離レテ居タ。同船ハ變裝ノ爲外觀ハ全ク一變シテ軍艦ナルコトヲ思ハセナカツタ位デアツタ。微風ガ幸シテ日沒前ニ港ニ着カウトイフ熱望ノ體裁ヲ繕フコトガ出來タ。而モ探錨（drag）ヲ使用スル以外、別ニ變ツタ事モ無ク接近シタガ、（トリポリ）カラハ見ラレル筈ガ無カツタ。乘員ハ時ナラヌ多數ヲ露ハシテハ敵カラ疑ヲ受ケル恐レガアルガ爲ニ、上ニハ1度ニ6人乃至8人ヲ置イテ殘リハ全部下方ニ置カレタ。而モ見エル乘員ハ「マルタ」人ノ樣ナ身裝ヲサセテ置イタ。

夜ガ更ケルト共ニ探錨ハ取入レラレ、暗中我々ハ東部入口カラ2浬以内ノ所ニ、Siren 號ハ我々カラ3浬程ノ所ニ居タ。豫メ計畫サレタ手筈ニヨレバ、襲撃船ハ Siren 號ノ短艇ガ我々ノ攻撃ニ參加スル爲

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ夜ニナツテ我々ト合同スルノヲ待ツコトニナツテ居タ。然ルニ日没ト同時ニ風ハ弱クナツテ來タノデ、是レ以上短艇ヲ待ツテ居テハ目的艦ニ到着出來ナクナル心配ガ充分ニアツタ。ソコデ Decatur ハ待タズニ前進スルコトニ決心シ、「少數ヲ以テスレバ名譽愈高シ。」ト言ツテ決行ニ移ツタ。Siren 號カラノ1艘ノ短艇ハ6名ノ乘員ト共ニ數日前我々ニ參加シテ居タガ、依然我々ト行ヲ共ニシテ居タ。

最後ノ手筈取極メガ今又行ハレ、先ニ割當テラレタ數人ノ士官ノ夫々ノ任務ハ再度分擔ヲ明ニサレタ。敵兵力ニ就キ大體ノ說明ガアツテ後、各員ハ最善ノ努力ヲスルコトヲ命ゼラレタ。Philadelphia トイフ合ヒ言葉ハ識別ノ手段トシテ用ヒラレルコトニ作リ出サレタ。而シテ港內ニ入ルト共ニ、嚴ニ靜肅ヲ守ル樣ニ命ゼラレタ。然シ命令ハ不必要ノ觀ガアツタ。誰モ話ヲシヤウト思フモノ無ク、唯沈思默考シテ居ル樣デアツタ。自分ノ考ハ或ハ故國ノ友人ニ走リ、或ハ今眼前ニ迫ツテ居ル危難ニ走リ、心ハ千々ニ碎ケテ居タ。自分ハ眼前ノ危難冒險ニ善處シテ故國ノ友人ノ期待ニ副フコトガ出來ルデアラウカ。將兵ハ6人乃至8人ヲ除キ出來ルダケ身ヲ陰蔽スルヤウ命ゼラレタ。多クノ士官ハソノ服裝ノ關係上兵員ヨリモ目立ツタガ爲ニ、一層嚴ニ身ヲ陰蔽セネバナラナカツタ。幸ニシテ自分ノ服ハ或附屬品ガ無クナリ、乘員カラノ借物デ代用シテ居タガ爲ニ、乘員ト同樣ノ服裝ニナツテ居タノデ、當然眞先ニ敵艦ニ乘リ込ムト思ハレテ居タ Decatur ノ身近クニ居ルコトガ出來タ。風ハ我々ヲ徐々ニ港內ヘ進マセタ。海上ハ穩カデ新月ノ光明ルク著明ナル物標ハ辨別出來タ。一ノ砲壘ノ前ヲ通過シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タトコロガ、Philadelphia 號ハ數艘ノ小型船ノ近クニ見エ、「トリポリ」市ノ白色ノ塀壁ト砲壘トハ眼前ニ認メラレタ。我々ハ眞直ニカノ「フリゲート」艦 Philadelphia 號ニ向ツテ進ンデ行ツタガ、遂ニ同艦カラ我々ノ正體、目的ヲ尋ネル呼聲ガ聞エテ、此ノ息詰ル沈默ハ破ラレタ。ソレカラ乘組士官ノ右往左往スル頭ト、甲板ノ上ニ竝ンダ乘員ガ見エ、命令一下直ニ飛ンデ來サウナ勢デアツタガ、猶沈默ヲ守ツテ居タ。此ノ「フリゲート」艦ト「ケッチ」船トノ交涉ハ、Decatur ノ指令ニ基キ水先案內人ニヨツテ行ハレタガ、我々ハ此ノ前ノ强風ノ時錨ヲ失ツタガ故ニ、翌朝マデ「フリゲート」艦ニ船ヲ繫留サセテ貰ヒタイト主張シテ許可ヲ得タ。トコロガ將ニ「ケッチ」船ガ「フリゲート」艦ニ接觸セントスル時風ガ變リ、丁度「フリゲート」艦ノ方カラ微風ガ吹キ、ソノ側方約 20 碼ノ所デ我々ハ停止シテシマツタ。是ハ非常ニ危機一發ナ時デアツタ。我々ハ我々ノ正體ヲ顯ハサナイ樣ニ努力スルヨリ外、敵艦ノ砲臺下ニ默ツテ無力デ居ルヨリ仕方ガ無カツタ。然シ Siren 號ノ短艇ヲ曳イテ居ツタノデ、其ノ艇員ヲ以テ敵艦ニ繫留索ヲトラウトシタ。コノトキ他ノ索ヲ持ツタ敵艦ノ短艇ガ出テ來タノデ、此ノ兩艇ヲ結ビツケ、各自ハソノ船ニ戻ツタ。此ノ索ハ甲板ニ通サレ、甲板ニ居タ乘員ニヨツテ引キタグラレタ。ソレデ兩船ハ互ニ段々接近シテ來タ。將ニ接觸セントスル刹那、敵カラ疑ヒガ起ツタ樣デアツタ。ソシテ『「アメリカ」人ダ！』トイフ叫ビ聲ガ船ノ中ニ響イタ。直グ樣我々ハ近接シ、『乘リ込メ！』トイフ命令ガ下サレタ。此ノ聲ト共ニ我ガ兵ハカノ「フリゲート」艦ノ甲板ニ躍リ込ンダ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

奇襲ハ十分功ヲ奏シタ。何ノ準備ヲスル暇モ無ク、敵ハ殆ド抵抗シナカツタ。數人ノ敵ハ殺サレ、1名ハ捕虜トナリ、殘餘ハ舷外ニ飛ビ下リタガ、近クニ碇泊シテ居タ彼等ノ巡洋艦ニ泳ギ着イタコトデアラウ。

我ガ指揮官ガ豫メ立テタ襲撃計畫ハ「フリゲート」艦ヲ乘取ルタメニ共同働作ヲスルコトデアツタ。尤モ陸トノ通信交通ノ遮斷ノ爲ニ1艘ノ短艇ヲ用意シ、軍醫ト數人ノ兵員ハ「ケッチ」船ヲ「フリゲート」艦ニ固縛スルコトニナツテ居タ。愈乘取ガ確實ニナツタ時、各大尉ハ候補生ト特務兵ト共ニ用意ノ可燃物ノ分ケ前ヲ受ケ、ソレ等ヲ居住甲板ヤ艦首倉庫ノ指定場所ニ配置シ、又候補生指揮ノ小分隊ハ治療室ニ同樣ノ處置ヲ取リ、ソコデ總テノ行動ガ同時ニ行ハレ、安全ニ逃ゲラレル樣點火ノ命令ヲ待ツコトニナツテ居タ。治療室ノ分ハ自分ノ擔當デアツタ。自分ガ此ノ船ニ接近スルニ當ツテ、Decatur 大尉ノ側ニ居ヤウトシタ目的ハ、彼ノ行動ヲ注意シテオレバ、突入ノ場合彼ノ命令ヨリハ寧ロ彼ノ行動ヲ見テオル方ガ手取リ早イカラデアツタ。事實此ノ方法ヲ取ツタノハ惡クナカツタ。トイフノハ突入ノ命令ガ發セラレル前ニ、Decatur ハ敵艦ノ主靜索用舷側鈑ニ飛ビ移ツタカラデアル。自分モ彼ト共ニ飛ビ乘ツタ。ソシテ多分情況ニ惠マレタ爲ト思フガ、彼ガ手摺ニトリカカツタ時マデニ、自分ハ甲板ニ上ルコトガ出來タ。敵ハ既ニ反對側カラ飛ビ下リテ何ノ抵抗モシナカツタ。トコロガ Decatur ハ彼ガ甲板ニ上ルコトニカケテハ先登第一ト思ツテ居タタメ、自分ヲ打タウトシタ。ソノ時偶然ニモ自分ハ身ヲ轉ジ例ノ合言葉

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ト相互ノ見分ケニヨツテ、振リ上ゲタ彼ノ腕ヲ支ヘルコトガ出來タ。船室ヲ驗ベテ自分ノ部署ニ行ク途中、船首ヲ通ツタ時、我々ハ再ビ同様ナ情況ニ遭遇シタ。既ニ明ケ渡サレタ士官室ヲ通リ過ギ、自分ハ治療室デ可燃物ヲ取リニ行ツタ兵員ヲ待ツテ居タ。然ルニソレガ大變ニ遲レテ、點火ノ命令ガ發セラレタ時ニハ何ノ材料モ手中ニ無カツタ。然シ一瞬時後ニ兵員ガヤツテ來タノデ、可燃物ガ撒カレ、我々ノ部署ヲ去ル前ニ火ガツイタ。ソノ中ニ上方ノ甲板ノ火ハ非常ニ迅速ニ廻リ、我々一團ハ辛ウジテ危險ヲ冒シテ艦首昇降口近クノ收材甲板ニ出タ。他ノモノハ既ニ悉ク「ケッチ」船ニ移乘シテ居タガ、Decatur ダケハ全部ガ移乘スルマデ踏ミ留ツテ居タ。ソシテ Decatur ガ「ケッチ」船ノ索具ノ中ニ飛ビ込ンデ我々ニ加ハツタ時ニハ、「ケッチ」船ノ船首ハ既ニ敵艦カラズリ動イテ居タ。此ノ間20分以內ヲ要シタノミデアツタ。「ケッチ」船ヲ敵艦カラ離サウトシタ時、既ニ火ハ砲門カラ噴キ出シ、「ケッチ」船ヲモ包マントシタノデアツタ。

此ノ時マデ敵ハ海陸共ニ沈默ヲ守ツテ居タガ、今ヤ漸ク活動ヲ開始センバカリニナツテ居タ。「ケッチ」船ノ乘員ガ壯擧ノ成功ヲ祝シテ萬歲ヲ三唱スルト、返報ニ敵ハ一齊ニ射擊ヲ始メタ。ソノ時ノ混亂ガ恐ラク彼等ノ射擊指揮ヲ亂シタノデアラウト思ハレルガ、半時間ニ亘ツテ約100發ノ砲彈ヲ浴ビ乍ラ、蒙ツタ敵彈ハ高檣帆ヲ射貫イタ1彈ダケデアツタ。我々ニハ敵艦ガ一層危險デアツタ。トイフノハソノ舷側ガ我々ノ退路ニ向キ、ソノ舷側砲ニハ裝塡シテアリ、火熱ノ爲ニ發射サレタカラデアル。我々ハ此ノ危險ヲモ脫シタ。ソシテ「ケッチ」船

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ大櫂デ前進セシメ乍ラ、乗員ハ我々ト「フリゲート」艦ノ焔々タル火光トノ間ニ敵砲彈ノ水煙ヲ見テ、危險ヲモ忘レテソノ壯絶美ヲ賞シテ居タ。Philadelphia 艦ノ火景ハ實ニ壯大デアツタ。輕風ニ惠レテ我々ノ努力ノ結果、ヤガテ敵ノ射距離外ニ脫走スルコトガ出來タ。ソシテ港ノ入口デ Siren 號ノ短艇ニ遭ツタ。此ノ短艇ハ我々ト協同動作ヲスルコトニナツテ居タノデ、ソノ乘員ハ我々ノ成功ヲ祝シタガ、彼等ガ此ノ壯擧ニ參加出來ナカツタコトヲ無念ニ思ツタ。此ノ壯擧ノ成功ハ本國及外國ニ於ケル米海軍ノ名聲ヲ大ニ擧ゲタ。』

Morris 候補生ノ此ノ最後ノ言ヲ確證センガ爲、當時「ツーロン」ニ於テ封鎖作戰ニ從事シテ居タ Nelson ガ寬大ナル評ヲナシテ此ノ功績ヲ「當代隨一ノ勇敢剛毅ナル壯擧ナリ」ト言ツタコトヲ附ケ加ヘテ置カウ。

◎「トリポリ」ノ砲擊

1804 年ノ冬及春ニカケテ Preble 代將ハ天候ノ許ス限リ、「トリポリ」ヲ嚴重ニ封鎖シタ。ソシテ强風ヲ利用シテ脫走ノ恐レアル「トリポリ」ノ艦船ヲ搜索ノ爲、2, 3 艘ノ巡洋艦ヲシテ地中海ヲ巡弋セシメタ。ソノ中ニ Preble 長官ハ Sicily 王トノ間ニ 6 艘ノ小型平底ノ砲艦及 2 艘ノ投彈船及若干ノ大砲ト 96 名ノ「ナポリ」ノ水兵ノ使用ヲ交涉シタ。此等ノ船ガ手ニ入ルヤ否ヤ、彼ハ全兵力ヲ擧ゲテ「トリポリ」市砲擊ノ爲ニ前進シタ。其ノ兵力ハ前記ノ 1 門ノ長 24 听砲ヲ有スル砲艦及各 13 吋ノ臼砲ヲ備ヘタ投彈「ケッチ」船、「フリゲート」艦

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Constitution,「ブリッグ」船 Siren, Argus, Scourge 及「スクーナ」船 Vixen, Nautilus 竝ニ Enterprise カラ編成サレタ。然シ「スクーナ」船及「ブリッグ」船ハ短身ノ「カロン」砲ダケヲ搭載シテ居リ、眞ニ砲撃ノ目的ニ適シタ砲ハ Constitution 號及扱ヒニクイ砲艦ノ長身砲ダケデアツタ。此ノ攻撃隊ニ對シテ「トリポリ」ハ城壁ト堅固ナル要塞及大部分重砲ヨリ成ル砲115門ヲ持ツテ居タ。猶此ノ外ニ「トリポリ」軍ニハ「ブリッグ」船1艘、「スクーナ」船2艘、大型「ギャリー」船2艘及19艘ノ砲艦ヨリ成ル海軍ガアツタ。此等ノ艦船ノ定員ダケデモ、Preble ノ指揮下ノ全兵力ヨリモ多カツタ。

8月3日漸ク天候ニ惠レテ攻撃ニカカツタ。投彈及大艦カラノ射撃ノ掩護ノ下ニ6艘ノ砲艦ハ、2隊ニ分レテ港ヲ遮防スル岩礁線ノ前ニ進出シテ來テ居タ「トリポリ」ノ砲艦ノ2隊ヲ攻撃ノ爲ニ進撃シテ行ツタ。殘餘ノ敵艦船及砲臺ハ直ニ應ジテ火蓋ヲ切ツタ。米軍ノ砲艦2隊ノ中 Richard Somers 大尉ハ第1號ヨリ第3號ニ至ル第1小隊ヲ、Stephen Decatur 大尉ハ第4號ヨリ第6號ニ至ル第2小隊ヲ指揮シタ。

次ノ海軍省宛ノ Preble ノ戰鬪報告ハ攻撃情況ヲヨク物語ツテ居ル。

『忽ニシテ敵艦及砲壘ハ猛烈ナル火蓋ヲ切ツタガ、葡萄彈ノ射距離ニ達スルヤ、全艦隊ハ直ニ應射シタ。同時ニ勇敢ナル Captain Decatur ニ指揮サレタ3小艇ヨリ成ル第2小隊ハ、帆ト櫂トヲ利用シテ9艘ノ砲艦ヨリ成ル敵ノ東方部隊ニ闖入セントシテ突進シテ居タ。我ガ隊

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ前進シナガラ葡萄彈ト小銃彈トヲ敵ニ雨霰ト注イダ。然シ「トリポリ」軍ハ間モナク接近シタ。ソレデ我ガ勇敢ナル兵員ハ振ツテ「ピストル」、「サーベル」、槍、斧ヲ用ヒタ。

Somers ハ鈍イ帆船ニ乘ツテ居タノデ、大櫂ヲ出來ルダケ利用シタガ、Captain Decatur ガ出遭ツタ敵ノ同一小艦隊ト交戰スル爲ニ、遙カ風上ニ出ル事ハ出來ナカツタ。然シ彼ハ大膽ニモ自分ノ船ヲ以テ單獨ニ敵ノ西方部隊ノ5艘ヲ目ガケテ風上カラ接近シ、ソシテ拳銃彈ノ射程內デ交戰シ彼等ヲ敗リ、散々ナ目ニ遭ハセテ彼等ヲ岩堤內側ニ驅逐シ、乘員ニ多大ノ死傷ヲ與ヘタ。

〔James〕 Decatur 大尉ハ第2號船ニ乘リ、敵ノ東方部隊ノ大船ト接戰シタガ、敵ハ多大ノ死傷ヲ出シタル後、Decatur 大尉ニ掛ツテ來タ。而シテカノ勇敢ナル士官（Decatur）ハ、敵船ニ闖入セントシタル刹那、降參シタ船ノ艦長ノ爲ニ騙討サレ、頭部ヲ射ラレタ。此ノ卑怯ナル敵艦長ハ、此ノ卑劣行爲ト他ノ小艇ノ援助ニヨツテ脫走シタ。第4號艇ノ Captain Decatur ハ非常ナ剛勇ヲ以テ優勢ナル敵ノ一船ニ闖入シテ征服シ、之ヲ曳航シ、更ニ勇敢ニモ次ノ敵船ヲ目ガケテ轉針シ、凄慘ナル戰鬪ノ後此ノ船ヲモ捕獲シタ。

第6號船ノ Vixen 號坐乘ノ Trippe 大尉ハ敵ノ大艇ノ1艘ニ乘リツケテ、候補生 Henley トト兵員9名ヲ率キテ之ニ闖入シタ。彼ノ船ハ他ニ之以上ノ兵ガ闖入スル前ニ離レテシマツタ。此ノ如クシテ、彼ハ敵ノ36名ニ對シテ11名ノ劣勢ヲ以テ勝ツカ負ケルカ一六勝負ヲシナケレバナラナクナツタ。然ルニ此等「トルコ」軍ハ此ノ米軍ノ勇敢

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ナル士官トソノ部下トニ敵スルコトハ出來ズ、直ニ甲板ハ撫デ斬リニ片ヅケラレ、旗ハ卸サレタ。Trippe 大尉ハ 11 箇所ニ劍傷ヲ受ケタガ、ソノ中ニハ痛手モアツタ。彼ハ Henley ヤソノ他ノ部下ノ功績ヲ言葉ヲ極メテ賞讃シテ居ル。

Decatur 大尉ハ唯一ノ戰死士官デアツタガ、米海軍ハ爲ニ莫大ナル損失ヲシタ。敵ハ船中陸上ヲ問ハズ、多大ノ死傷者ヲ出シテ大ニ打擊ヲ蒙ツタニ相違無イ。敵船 3 艘ハ港內ニ於テ沈メラレ、砲艦數艘ハ我ガ砲火ノ爲甲板上兵員ノ姿ヲ殆ド見ヌ樣ニナリ、我ガ中空彈ハ市內及砲臺ニ破裂シテ非常ナル慘害ヲ及ボシタニ相違無イ。

ソレヨリ 4 日後 8 月 7 日戰隊ハ再度「トリポリ」ヲ砲擊シタガ、今度ハ敵船ハ 1 艘モ接戰ヲシヤウトシテ近寄ツテ來ナカツタ。此ノ攻擊中、砲艦第 9 號ハ爆破シテ乘員 18 名ノ死傷ヲ出シタ。ソノ戰死者中ニハ Caldwell 大尉竝ニ Dorsey 候補生ガ居タ。

同日「フリゲート」艦 John Adams 號ハ Philadelphia 號破壞ニ關連シテ新任ノ士官ヲ乘セ來リ、又 Preble ハ Captain Samuel Barron ト交代セヨトイフ不吉ナル報知ヲ齎シタ。是ハ海相ガ Preble 代將ニ言葉ヲ盡シテ言ツタ通リ、Barron ガ Preble ヨリモ先任デアツタガ爲、止ムヲ得ナイコトデアツタ。然シ此ノ事アツタガ爲ニ Preble ノ氣ヲ損ジ、Preble ノ部下ノ士官ノ義憤ヲ買ツタ。是ハ當然サモアルベキコトデアツタ。

其ノ中ニ Preble ハ滿身ノ元氣ヲ出シテ彼ノ作戰ヲ敢行シタ。飮料水ノ缺乏、兵員ノ不足、貯藏品ノ不充分及惡質、壞血病等幾多ノ困苦

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ凌ンデ、Preble ハソノ封鎖ヲ維持シ、猶3回全砲力ヲ以テ「トリポリ」市ヲ砲撃シタ。此ノ方策ノ爲、大守ハ大ニ困惑シ、ソノ身代金及媾和ノ條件ヲ斷然緩和スルニ至ツタ。

◎Intrepid 號ノ災厄

然シ 1804 年ノ夏ノ戰ハ陰慘ナル挿話的出來事ニヨツテ終結ヲ見タ。Preble 代將ハ海軍省宛ノ報告中ニ『自分ノ力ノ及ブ限リ、有ラユル手段ヲ講ジテ敵ヲ苦シメント欲シ、敵ノ船舶、「パシャ」ノ城及市ヲ極力破壞センガ爲、夜陰ニ乘ジテ「トリポリ」港内ヘ火船ヲ送リ込ムカネガネノ計畫ヲ遂行シヤウト計ツタ。Nautilus 號ノ Captain Somers ハコノ擧ヲ志願シ、是ヨリ以前數日ニ亙ツテ、Wadsworth 大尉及 Israel 大尉ノ助力ニヨリ、「ケッチ」船 Intrepid 號ノ準備ヲ指揮シテ居タ。火藥樽約 100 箇及 150 ノ彈藥包ガ見タトコロ程ヨク船内ニ配置サレタ。火藥ガ置カレテアツタ火藥庫ヘ導イテアル導火線ハ、15 分燃エルモノト測定サレテ居タ。

9 月 4 日 Intrepid 號ノ準備ガ整ツタノデ、Captain Somers ト Wadsworth 大尉トハ戰隊中カラ 2 艘ノ最モ快速ナ漕艇ヲ選ビ、目的地ニ到着後此ノ艇ヲ出シテ導火線ニ火ヲツケルコトニシタ。Captain Somers ノ小艇ニハ Nautilus 號カラ 4 名ノ兵員ガ乘組ミ、Wadsworth 大尉ノ小艇ニハ Constitution 號カラ 6 名ノ兵員ガ乘組ンダ。尙 Israel 大尉ハ此ノ行ニ加ツタ。其ノ夜ノ 8 時 Intrepid 號ハ航行ヲ始メ、東方カラ吹ク追風ヲ受ケテ港ノ方ヘ進ンデ行ツタ。Argus 號、Vixen 號

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

及 Nautilus 號ハ岩堤ノ所マデ之ヲ護送シタ。Intrepid 號ガ港内ニ入ルト直ニ砲壘カラ同船メガケテ數彈ガ飛ンデ來タ。數分經ツテ同船ガ目的地ニカレコレ到着シタト思ハレタ時、木片ソノ他可燃物ノ充滿シテ居ル室ヲ乘員ガ豫メ火ヲツケナイノニ同船ハ突然爆破シタ。可燃物ハ火ガ線ヲ傳ハツテ火藥庫ニ行ク間敵ヲ舷側ニ迫ラシメナイ樣ニ火焰ヲ擧ゲル爲ノモノデアツタ。此ノ爆發ノ結果、敵砲壘ハ果然トシテ沈默ニ歸シ、ソノ晩ハ1發モ發射サレナカツタ。市民ノ叫ビ聲ニヨツテ、市ハ火藥庫ノ爆發ト中空彈トガ炸裂シテ各方面ニ落下スル爲ニ、非常ナル恐怖狼狽ヲ來シテ居ルコトガワカツタ。全戰隊ハ成功ノ場合打上ゲラレルコトニ打合サレテ居タ信號ニヨリ、冒險者ノ運命如何ト片唾ヲ呑ンデ待ツテ居タ。然シ何ノ甲斐モ無カツタ。彼等ノ安全ニツイテハ何ノ印モ見エナカツタ。Argus 號、Vixen 號及 Nautilus 號ハ港ノ入口ノ周圍ヲ日出マデ廻ツテ歩イタガ、愈港全部ガ見エタ時ニハ、「ケッチ」船ヤ短艇ノ痕跡ラシイモノモ見當ラナカツタ。敵ノ大型砲艦1艘ガ行方不明ニナリ、他ノ3艘ハ非常ニ破損シテ居タガ、ソレ等ヲ敵ハ岸ヘ引キ上ゲテ居タ。

此等ノ事情カラ此等ノ船ハ敵ノ艇隊カラ派遣サレタモノデ、「ケッチ」船ヲ火船トハ知ラズニ之ヲ捕ヘントシテ出テ來タモノデアルト信ゼザルヲ得ナイ。後ニ行方不明ニナツタ船ハ「ケッチ」船ニ突然迫ツテ來タ。ソコデ勇敢ナル Somers ト彼ノ部下トハ他ノ3艇ガ自分等ヲ取リ卷イテ居ルコトヲ確メ、迚モ脫走ノ見込ハ無イコトヲ知リ、火藥庫ニ直接通ジテ居ル導火線ニ火ヲツケタ。スルト直ニ一切ガ空中ニ吹

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

キ上ゲラレテ爆破シテソノ姿ハ沒シテシマツタ。コノ出來事ニ關スル自分ノ想像ハ、Captain Somers ヤ Wadsworth 大尉ヤ Israel 大尉ガ先ニ建テテ居タ決心、即チ敵ニハ捕獲サレズ又 Intrepid 號上ニアル火藥ヲ敵ニ獲得セシメヌトイフアノ決心ニ基イテ出來タモノデアル。彼等一行ハ發見サレズニ港內ニ入ラウト思ツタガ、若シ思フ事叶ハズ、目的地點ニ到着スル前ニ敵ガ大擧シテ肉迫シ來リ、無事脫走ノ見込無キ時ハ火藥庫ニ點火シ、敵モロトモ總テヲ爆發シテシマウト明言シテ居タ。ソウナレバ互ニ捕虜ノ交換モ起ラヌガ故ニ、國家ハ爲ニ身代金ヲ拂フ要モ無ク、又敵ガ爲ニ捕獲火藥ノ供給ヲ受ケルコトモナイトイフコトニ一決シテ居タノデアル。』

Captain Bainbridge ハ翌日陸ヘ揚ゲラレタ遺骸ヲ見ルコトヲ許サレタガ、全ク誰彼ノ區別ハツカナカツタ。尙 Bainbridge ノ言フ所ニヨレバ「トリポリ」軍ニハ何等危害ハ及バナカツタソウデアルカラ、Preble ガ敵ノ砲艦ガ損害ヲ蒙ツタト思ツタノハ恐ラク間違ヒデアツタデアラウ。

Intrepid 號ノ乘員ノ犧牲ハ全艦隊ヲ通ジテ大ニ悲マレタ。特ニ Somers ハ Decatur ノ竹馬ノ友デアリ、彼ト共通ノ性質ヲ有シ、前途春秋ニ富ンダ人物ト思ハレテ居タ。戰爭後艦隊ノ士官ハ「トリポリ」ノ直前ニ於テ花ト散ツタ6名ノ勇士、即チ Somers, Caldwell, James Decatur, Wadsworth, Israel 及 Dorsey ノ記念ノ爲ニ、今ハ米國海軍兵學校ノ構內ニ在ル紀念碑建設ノ爲ニ寄金シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

◎「トリポリ」戰爭ノ末年

Intrepid 號ノ災厄事件後間モナク、Barron 代將ハ「フリゲート」艦 President 及 Constellation ノ2艦ヲ率キ、「トリポリ」大守トノ交渉全權ヲ帶ビテ居ル前「アルヂェリア」駐劄總領事 Tobias Lear ヲ乘セテ到來シタ。而シテ 12 月 Preble 代將ハ John Adams 號ニ乘ツテ紐育ニ向ケ出發シタ。新來着ノ代將ハ Preble ノ麾下ノ2倍ノ兵力ヲ持ツテ居タガ、戰爭ノ榮譽ハ Preble ガ地中海ヲ去ルト共ニ終ツテシマツタ。Barron 代將ハ當時健康ガ勝レナカツタガ、艦テ指揮ヲ取ルコトモ出來ナクナツタ。終ニ 1805 年ノ春、Barron 代將ハソノ任ニ堪ヘザルニ至リ、Rodgers 代將ガ後任トナツテ之ニ代ツタ。Rodgers 代將ハ當時麾下ニ「フリゲート」艦5艘、「スクーナ」船、「ブリッ」船 7 艘ヲ持ツテ居タガ、之ハ「トリポリ」ニ集結シタ米國戰隊中最大ノモノデアツタ。

其ノ間ニ活躍的ナ Eaton ガ、廢黜セラレテ居タ Hamet ヲ後援シ、「トリポリ」ヲ陸正面ヨリ攻撃シテ彼ヲ登極セシメント計畫シテ「ワシントン」ノ當局ヲ動カシタ。Eaton ハ「エヂプト」ニ赴キ艦隊ノ助力ニ依賴シテ、思フママニ活躍スルコトヲ許サレタ。ソコデ彼ハ「カイロ」カラ出發シテ「アラビア」人ヤ、流賊ノ如キモノノ混合軍ヲ作リ、ソノ中ニ Hamet 及 Hamet ノ役人ヲモ入レタ。彼ハ此ノ一群ヲ全ク意志ノ力ヲ以テ砂漠ノ中ヲ追ヒ立テテ「トリポリ」國境マデ進マセ、Derne 市ヲ占領シタ。Derne 市ノ攻撃ハ Eaton 自ラ陣頭ニ立ツテ指

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

導シタガ、最後ノ攻撃ニ於テ彼ハ手頸ニ貫通傷ヲ受ケタ。Derne 市陥落ハ大守ヲ極度ニ恐レサセ、Eaton ハ「トリポリ」ニ向ツテ意氣揚々ト進軍スルツモリデアツタガ、ソノ時 1805 年 6 月 10 日既ニ媾和ガ締結サレタタメニ、Derne ヲ捨テナケレバナラヌトイフ屈辱的ナ報知ニ接シタ。Lear 領事ハ Eaton ヲ嫌ヒ、彼ノ計畫ニ反對デアツタガ爲ニ Eaton ノ作戰中ニ大急ギデ「トリポリ」大守トノ間ニ和ヲ講ジ、Philadelphia 號カラノ捕虜ノ爲ニ身代金 6 萬弗ノ支拂マデ約束シテシマツタノデアル。Rodgers モ Bainbridge モ此ノ條件ニハ反對シナカツタモノラシイ。然シ乍ラ「トリポリ」ノ砲臺沖ニ大艦隊ガ存在シ、Eaton ガ一軍ヲ率キテ國ノ一大變動ヲ迫ツテ居タ時ニ、苟モ償金ガ支拂ハレタコトハ、許スベカラザルコトト思ハレル。

然シ此ノ平和條約ノ結果、將來年貢ヲ一切納入シナクテモヨクナツタ事ハ結構デアツタ。Derne デ領地ニ置カレタ Hamet ハ、其ノ後合衆國ノ扶養者トナツタ。Eaton ハ Massachusetts 州ニヨツテ表彰サレ、土地 1 萬「エーカー」ヲ授與サレタ。然シ彼ハ名譽ノ媾和ヲ獲得セントスル彼ノ努力ノ結果ニ苦思多ク、1811 年死亡スルマデ、アノ不運デハアツタガ赫々タル遠征ニツイテ論議シテ居タ。

對「トリポリ」戰爭ハ文明國ガ「バーバリ」國海賊ノ束縛ヲ脫セントスル運動ノ始メデアツタ。Preble 麾下ノ米國小艦隊ノ作戰ハ、歐洲ノ見ルトコロデハ、米國及米海軍ニ對シテ名譽ヲ與ヘタ。又同時ニ此ノ戰爭ノ爲ニ各階級ノ士官、特ニ後日 1812 年ノ戰爭ニ英名ヲ擧ゲタ當時ノ青年士官ニ戰時ニ於ケル實際上ノ訓練ヲ與ヘタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

一般ノ人心ニハ「トリポリ」戰爭ニ於ケル英雄ハ Stephen Decatur デアツタ。彼ノ赫々タル個人的勇猛果敢ノ顯著ナルコトニ就テハ何ノ問題モナイ。然シ最高ノ名譽表彰ニ價スル將校ハ Preble 代將デアツタノデアル。他ノモノガ大艦隊デ以テ失敗シタノニ、彼ハ最小艦隊ヲ以テ成功シタノデアル。Preble ハ鐵石的ナ訓練ガ我ガ海軍ニ最モ必要ナ時ニ、ソレヲ用ヒ入レタノデアル。而モ彼ハ部下ノ將兵ノ崇拜ノ的ニナツタ。トイフノハ、彼ハ自分ノ成功名聲ト同ジク部下ノ成功名聲ニツイテモ等シク尊重スルトコロガアツタカラデアル。他ノモノガ克服出來ナカツタ難關ヲ彼ハ征服シタ。而シテ彼ハ米國海軍ノ傳統精神トナツタトコロノ服從、勇氣、効率ノ理想ヲ部下ニ鼓吹シタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第 6 章　1812 年戰爭——戰因ト初期ノ事件

◎強　制　服　役

1812 年ノ戰爭ノ 原因ハ主トシテ 合衆國水兵ノ强制服役ト英國ノ勅令竝ニ「ナポレオン」大陸封鎖令ニ依テ我ガ國ノ通商ニ加ヘラレタル制限ト、北西部ニ於ケル「インディアン」トノ紛爭トデアツタガ、總テ之等ニ對スル責任ハ英國ニアリト多クノ人ガソノ非ヲ鳴シタ。

英國ハ 19 世紀末ニ於テ「ナポレオン」ト紛爭ヲ起シタガ、惡戰苦闘ノ爲、戰闘員ノミナラズ食糧、軍需品等殆ド全財源ヲ消盡セザルヲ得ナイ程デアツタ。英國ハ大海軍維持ノ爲ニハ充分ナル戰闘員補充策ニ絕エズ苦難ヲ嘗メタ。又彼等ニ課セラレタル義務ハ隨分苛酷ナモノデアツタ。ソノ上ソウデナケレバ來リ應ジタデアラウト思ハレタ者モ、多クハ興隆發展ノ途上ニアル合衆國商船ニ身ヲ投ズルノデアツタ。米國船舶ハ事實居住條件好ク、遙ニ高イ手當ヲ給與シテ居タ。我ガ國ノ船ニ乘込ンデ居タ英國生レノ船員デ、合衆國市民ニ歸化スルモノモアツタガ、又中ニハ英海軍カラ脫走シテ來タモノモアツタ。ソレハ蓋シ何レニシテモ五十歩百歩デアルガ、英國ハ彼等ヲ何處ニ於テモ發見次第逮捕シ、其ノ海軍ヘ强制服役セシムル權利ヲ主張シタ。是ハソノ當時ノミナラズ、以後引續イテ多年ニ亙ツテ「一度臣民タリシモノハ永久ニ臣民ナリ。」トイフ主義ヲ英國ガ固執シタタメデアル。コウイフ次第デ、英國軍艦ハ再三公海ニ於テ合衆國ノ商船ヲ停止セシメ、脫走兵ヲ取戻シテ行ツタ。是ハ不埒千萬ナコトデアツタガ、誤ツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

テ合衆國生レノ船員ガ拉致サレテ行ツタ時ニハ、烈シイ憤怒ヲ買ツタ。合衆國ノ「フリゲート」艦 Chesapeake 號ガ英艦 Leopard 號ノ爲ニ此ノ如クニ取扱ハレタ事件ハ、國民的屈辱ト公憤トヲ惹起シ、多年ノ禍根トナツタ。

◎Chesapeake 號對 Leopard 號事件

英國ハ其ノ法令强行ノ爲ニ我ガ國ノ數箇所ノ海港ヲ封鎖シ、此ノ任務ニ就ケル軍艦ニシテ大膽ニモ我ガ國ノ海岸ヨリ3海浬以內ニ於テスラ水兵ノ强制服役ヲ敢テスルモノモアツタ。Chesapeake 灣ニ於ケル此等ノ封鎖船ノ或モノノ如キハ、合衆國ノ副大統領搭乘ノ合衆國密輸入監視船ヲ追跡スルコトスラアツタ。然ルニ Chesapeake 灣封鎖ノ英艦 Melampus 號カラハ 1807 年2月ノ或夜5名ノ乘組員ガ脫走シ、ソノ中3名ハ後ニ合衆國ノ「フリゲート」艦「チェサピーク」號ニ兵籍ヲ入レタ。「ワシントン」駐劄英公使カラハ彼等ノ返還要求ガ發セラレタガ、談判進行中更ニ Halifax 號カラ5名脫走シ、又 Chesapeake 號デ米海軍ニ入籍シテ服務スルコトトナツタ。仍テ「ワシントン」當局ハ調査ヲシタガ、ソノ脫走兵ハ合衆國人ナリトイフ所信ノ下ニ彼等ヲ引渡スコトヲ拒絕シタ。此ノ拒絕ノ報ガ Halifax 號ノ Berkeley 中將ニ達スルヤ、同中將ハ直ニ北大西洋ノ警備ニ就テ居ル英艦ノ全指揮官ニ對シ、海上デ Chesapeake 號ヲ待チ構ヘ、脫走兵ヲ搜索スルヤウ命令ヲ發シタ。

1807 年 6 月 22 日 Chesapeake 號ガ地中海ニ於ケル Constitution

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

號ト交代ノ爲 Hampton Roads ヨリ出帆スルト、Lynnhaven ニ碇泊シテ居タ英艦 Leopard 號ハ之ヲ追跡シ、合衆國領域外ニ出タノヲ見定ムルヤ、米艦ニ信號ヲシタ。Chesapeake 號ノ James Barron 艦長ハソレヲ平和的ノモノト信ジテ停船シ、Leopard 號ヨリ Berkeley 提督ノ命ヲ持參シタル一將校ヲ其ノ艦上ニ迎ヘタ。併シ Barron 艦長ハ脫走兵ノ引渡ヲ拒絶シタ爲、英艦ハ直ニ砲火ヲ見舞フタ。米艦ハ恰モ修理直後デ、火藥入ハ空デ裝塡機ハ見付カラズ、導火線ガナカツタリシテ、少數ノ砲シカ準備出來ナカツタ。Leopard 號ヨリ散々近距離片舷齊射ヲ蒙ツタ後、Allen 大尉ハ烹炊室ヨリ燃エテ居ル石炭ヲ持ツテ來テ、漸ク應射トシテ1發射ツコトガ出來タ。其ノ中ニ Chesapeake 號ノ船體ニハ21發ノ彈丸ガ命中シ、前檣大檣ハ射飛バサレ、索具ハ臺無シニ切ラレ、戰死3名、負傷18名ヲ出シタ。ソコデ Barron 艦長ハ旗ヲ卸シタ。英國側ノ臨檢隊ハ捜査ノ結果、Halifax 號乘組員ハ只1人シカ發見出來ナカツタ。何トナレバ、他ノ者ハ Chesapeake 號出帆前ニ脫走シテ了ツテ居タカラデアル。然シ彼等ハソノ代リニ全然合衆國生レノ他ノ水兵3名ヲ連レ去ツタ。Barron 艦長ハ拿捕船トシテ自分ノ艦ヲ提供シタガ、之ガ受取ヲ拒絶サレ、止ムヲ得ズ歸航ノ途ニ就カネバナラナカツタ。

Chesapeake 號事件ハ Lexington 會戰以來其ノ例無キ位ニ國民ヲ憤激セシメタ。然シ Jefferson 大統領ハ戰爭ヲ回避シタ。其ノ後引續イテ行ハレタ談判ノ結果、英國ハ賠償ノ用意ニ應ジタガ、大統領ハソレト同時ニ水兵ノ强制徵發ノ廢棄ヲ保障シ得ルモノト考ヘテソレヲ要求

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シタ。處ガ是ガ拒絶サレタノデ、不安ナ年月ガ續イタガ、1811 年ニ至ツテ初メテ英國ハ公式ニ不法處分ヲ否認シ、先ニ捕虜トシタ4名ノ中3名ヲ合衆國ニ返還シタ。殘リノ1名ハ脫走兵トシテ桁端デ絞刑ニ處セラレタ。

◎通 商 制 限

1789 年ニ勃發シテ、次イデ英國ヲ始メ歐洲ノ大半ヲ瞬ク間ニ戰爭ニ捲キ込ンダ佛國革命ハ、幾多ノ諸國民ヲソレニ沒頭セシメタノデ、通商貿易ハ益合衆國ノ手ニ入ツテ來タ。20 箇年ノ間ニ利益ハ莫大ノ額ニ上リ、海運界ハ飛躍的ニ發展シタ。斯クシテ 1790 年ニハ我ガ國ノ輸出總額ハ 1,900 萬弗ニ上ツタ。其ノ5年後ニハ 2,600 萬弗ニ達スル商品ガ佛蘭西、西班牙、和蘭諸國領地ヨリ合衆國ニ搬入サレテ、ソレカラ又再輸出サレタ。1806 年ニ於ケル再輸出額ハ 6,000 萬弗ニ達シタ。其ノ外國貿易ノ如何ニ盛大デアツタカハ、後年ニ於ケル貿易ト比較スレバヨク分ル。1,900 年ノ人口ノ約 1/10 デ、國富ノ總額ガ後年ノ 1/40 乃至 1/50 シカナカツタ 1810 年ニハ、米國ノ外國貿易船ハ實際 1900 年ヨリ遙カニ多量ノ貿易ヲ營ンデ居タ。

此ノ時代ニ於ケル情況ハ、恰モ約1世紀以上後ノ世界大戰當初ニ於ケル事情ト近似シテ居ル。即チ其ノ時モ亦合衆國ハ中立ヲ維持シテ、船舶貨物ノ多大ナル需要ヲ受ケテ巨利ヲ占メタ。

英國ガ海上優越ノ將來ニ就キ警醒サレ、且又「ナポレオン」トノ戰爭ノ財政狀態ニ刺戟サレ、幾多ノ制限條令ヲ實施シタコトハ、敢テ異

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

トスルニ足ラヌ。

英國ノ法廷ハ輿論ノ感迫ヲ感ジテ「Essex 號事件」ノ判決ヲ下シタ。以前ノ「1756 年ノ法規」デハ、中立國船舶ハ戰時ニ於テハ平時禁ゼラレタル貿易、例ヘバ或國トソノ植民地トノ貿易ニ從事スルコトハ出來ナカツタ。然シ乍ラ合衆國ノ商人ハ佛蘭西或ハ西班牙ノ植民地ヨリ先ヅ合衆國ノ港ヘ商品ヲ持チ來リ、陸揚シテ關稅ヲ支拂ヒ、後之ヲ佛或ハ西ヘ（或ハソノ逆ニ）再輸出シテ、此ノ法規ノ裏ヲカクノデアツタ。又關稅ノ拂戻ハ之ヲ甚ダ有利ナラシメタ。「Essex 號事件」ニ於テハ、一貨物ガ Barcelona ヨリ Salem 經由デ Havana ヘ送ラレタ。然シ英國ノ最高司法權ハ其ノ貨物ハ特ニ合衆國ノ市場ヘ向ケテ送ラレタノデハナイカラ、一旦中斷サレタ運搬ハ其ノ貿易ヲ合法的ナラシムルモノニアラズト裁斷シタ。此ノ判決ノ結果トシテ、約 120 艘ノ船舶ガ拿捕サレ、數艘ハ沒收ヲ宣言セラレ、其ノ他ハ其ノ航路上ヨリ抑留サレタカ、然ラズンバ多大ナル損害ヲ蒙ラサレタ。

英國ハ次ニ佛蘭西ニ對シテ Elbe 河カラ Brest ニ到ルマデノ一般封鎖竝ニ Seine 河ヨリ Ostend ニ到ルマデノ近接封鎖令ヲ發シタ（1806 年 5 月 16 日勅令）。「ナポレオン」ハ是ニ對シテ、彼ノ有名ナル伯林勅令（1806 年 11 月 21 日）ニ依ツテ應酬シ、次ノ如ク宣言シタ。「英國ハ爾今封鎖サレタリ。英國トノ交通貿易ハ悉ク禁絕セラレタリ。英國商品ノ交易ハ禁止セラレタリ。英國ニ屬スル商品或ハ（タトヘ中立國ニ屬スルモノト雖モ）英國ノ工場或ハ植民地ヨリ發スルモノハ合法的捕獲物ナリ。」

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

英國ハ又前回ヨリ一層過激ナ第二ノ 勅令ヲ發シテ之ニ對抗シ、「ナポレオン」ハ殆ド沒收ニモ等シキ法令ヲ出シテ之ニ應ジタ。合衆國ノ通商ハ從ツテ板挟ミニナツテ苦境ニ陷ツタ。Jefferson 大統領ノ此等不當行爲ニ對スル處置ハ「平和的强制」デアツタ。1807 年彼ハ總テノ外國船舶ニ出港禁止ヲ課シ、ソレガ 15 箇月繼續シタ。是デ New England ノ商人ダケデモ 800 萬弗ノ損害ヲ蒙ラサレタ。ソレハ國內ニ於テモ極メテ 不人氣デ、歐洲ヨリモ寧ロ 合衆國ニ 甚シキ 損害ヲ與ヘタ。

英佛ハ此ノ經濟戰ニ於テ競ツテ法令ヲ矢繼ギ早ニ發シ、合衆國モ亦禁輸條令竝ニ 通商禁止條令等ヲ 出シテ之ニ加ツタ。「ナポレオン」ハ斷然最惡ノ張本人デアツタケレドモ、巧ミニ藝當ヲ演ジテヤツテノケタ爲、合衆國ノ輿論ノ鋒先ハ主トシテ英國ニ向ケラレタ。

幾多ノ英國ノ政治家ハ合衆國トノ戰爭ヲ回避スベク努力シタ。國內ノ食糧缺乏、製造工業都市ノ疲弊及既ニ大陸戰爭デ堪ヘラレナクナツタ負擔等ノ爲ニ、是レ以上戰爭行爲繼續ヲ躊躇セザルヲ得ナカツタ。攝政モ亦最善ヲ盡シタ。斯クシテ 合衆國ノ貿易ヲ 制限スル 諸勅令ハ 1812 年ノ中頃撤回サレタガ、時既ニ遲過ギタ。

◎「インディアン」トノ紛爭

「ワシントン」、「ロンドン」、「パリ」間ノ交涉進行中、移民ハ北西部ヘト押掛ケテ行ツタ。土地熱ハ上昇シテ、土地投機師ハ「インディアン」ヲ壓迫シテ土地讓渡ヲ益要求スルノデアツタ。是ニ對シテ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Tecmuseh ハコレ以上ノ土地譲渡ヲ拒絶シ、移民ノ侵入ヲ阻止スベク「インディアン」ヲ糾合シテ組織ヲ造ル事ヲ企テタ。

「インディアン」ハ加奈陀ノ英國商人ヨリ、鐵砲火藥ヲ手ニ入レテ居タ。是ヲ大ニ利用シテ土地投機師ハ「北西部」ニ平和ヲ齎ス唯一ノ途ハ加奈陀ヨリ英人ヲ追拂フニアリトイフ事ヲ彼等ノ代表者ヲシテ議會ニ於テ大ニ論ゼシメタ。議會ニ主トシテ青年代表ヲ送ツテ居タ「西部」ハ、Kentucky ノ Henny Clay ヲソノ領袖トシテ居タガ、彼等ハ強固ナル黨ヲ結成シテ居タ。Clay ハ演說ニ於テ主張シタ。「加奈陀ノ征服ハ諸君ノ掌中ニアル。……野蠻ナ戰爭ヲ照明スル炬火ヲ消スコトハ無用ナコトデアラウカ。……彼ノ國トノ毛皮貿易ヲ獨專獲得スルコトハ無意義ナ事デアラウカ。」議長ニ選擧サレタ Clay ハソノ黨員ト共ニ侵略的處置ヲ取ルコトヲ極力主張シタノデ、彼等ハ「戰鷹」ト渾名サレタ。反對黨ハ彼等ノ實際ノ眞意ハ土地占領ニアリト非難シタ。

◎President 號ト Little Belt 號

斯ル間ニ又不祥事件ガ海上ニ於テ勃發シタ。1811年5月1日 New York 港沖ニ居タ英國ノ「フリゲート」艦 Guerrière 號ハ、合衆國ノ「ブリッグ」船 Spitfire 號ニ闖入シテ來テ、合衆國生レノ一乘客ヲ强制拉致シテ服役セシメタ。直ニ President 號ノ John Rodgers 艦長ハ Guerrière 號捜査ヲ命ゼラレタ。Rodgers 艦長ハ既ニ公海ニ於テ外國武裝艦ノ妨害ヨリ凡テノ合衆國ノ船舶ヲ保護スル命令ヲ受ケテ、「フリゲート」艦及「スループ」船ヨリ成ル艦隊司令官ニ任命サレテ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

居タ。

Guerrière 號捜索中、1811年5月16日 Henry 岬沖50浬ノ所ニ彼ハ一怪船ヲ發見シタ。ソノ晩8時ニハ指呼ノ間ニアツタガ、暗闇ノ爲ニ其ノ怪船ノ正體ヲツキトメルコトハ出來ナカツタ。此ノ船ハ President 號ヨリ2度呼ビ掛ケラレテ後、1發見舞ツテ合衆國船ノ大檣ヲ擊ツタ。Rodgers 艦長ハ直ニ之ガ返禮ニ應射シタ。15分間戰闘ヲ交ヘタル後、「スループ」艦 Little Belt 號ト判明シタ。敵ノ「コーベツト」艦ハ抗シ難シト見テ屈シタ。同船ハ甚大ナル損害ヲ受ケ、9名ノ戰死者ト23名ノ負傷者ヲ出シタ。Rodgers 艦長ハ當夜中附添ヒ、翌日援助ヲ申出タガ、英艦長ハ之ヲ斷リ、自力航行ヲ續ケタ。此ノ事件ハ兩國民間ノ感情ヲ一層惡化シタ。

◎戰宣布告

Madison 大統領ハ 1811年11月4日議會ヲ召集シタ。議會ハ直ニ35,000ノ正規兵ト 50,000ノ義勇兵募集ヲ議決シタ。海軍ニ對シテハ、大統領ハ其ノ敎書ニ於テ僅カ3艦隊ヲ認メタ。議會ハ戰艦建造ノ實施檢討ノ爲委員會ヲ任命シタ。此ノ委員會ハ我ガ海岸防禦用トシテ、12艘ノ戰列艦ト20艘ノ「フリゲート」艦トノ建造ヲ建議シタ。然シ議會ハ猶 Jefferson 一派ノ海軍軍備ハ高價ニシテ且政治的自由ヲ破壞スルモノナリトイフ反對ニ支配サレテ、其ノ建議ヲバ59對62ノ投票デ棄却シタ。政治家ハ私掠船ヤ貿易ノ損失ノ方ガ、軍艦ヨリ遙ニ高價ナルコトガ分ラナカツタ。又彼等ハヨク統制サレタ海軍ハ愛國心ヲ增進

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シ、國民ノ自尊心ヲ招來スルモノデアルコトモ理解シナカツタ。議會ハ將來ノ軍艦ノ用材ノ爲ニ60萬弗ノ豫算ヲ組ムニ止ツタ。然ルニ秘密會ニ於テ1812年4月「イベリヤ」戰爭ニ於ケル英軍援助ノ爲ニ、我ガ國ノ海兵竝ニ軍需品ノ秘密流出ノ防止ヲ意圖セル禁止令ヲ通過シタ。其ノ他ノ禁輸條令ヤ交通禁止條令或ハ、ソレニ類スル法令ノ如ク此ノ法律モ亦ソノ目的ニ失敗シタ。1812年6月1日大統領ハ議會ヘ英國ガソノ諸勅令ニ依テ合衆國ノ貿易ヲ破壞シ、事實上合衆國ノ海港ヲ封鎖シ、合衆國ノ水兵ヲ强制徵發シタトイフ理由ヲ、英國ニ對シ宣戰ヲ布告スルコトノ緊急ナルヲ說ケル敎書ヲ送ツタ。議會ハ必要ナル法令ヲ通過セシメテ、1812年6月19日宣戰布告トナツタ。

以上ノ如ク戰爭ニ導イタ原因ヲ要約スレバ、(1)合衆國水兵ノ强制服役、(2)英國ノ勅令、「ナポレオン」ノ法令及之ニ對スル應酬的禁輸條令、通商禁止條令等ヨリ結果セル合衆國ノ通商ニ對スル制限デアル。之ト竝ンデ(3)「北西部」ニ於ケル「インディアン」トノ紛爭、(或人ノ主張ニヨレバ、加奈陀ノ占領ヲ正當視スルモノ)デアル。最後ノ原因(4)ハ大統領ニ依テ宣明サレハシナカツタガ、戰爭ヲ主張シテ騷イダ黨派トハ明ニ大ナル關係ガアツタ。

◎合衆國及英國ノ海軍

戰爭勃發當時ニ於テハ、吾ガ海軍ニハ役ニ立ツ軍艦ガ16艘アツタ。其ノ中ニハ、戰列艦ハ1艘モ無カツタガ、優秀ナ44門搭載ノ「フリゲート」艦 United States, Constitution 竝ニ President ノ3隻ガア

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ツテ、ソレ等ハ英國海軍ノ如何ナル「フリゲート」艦ヨリモ優秀ナルモノデアツタ。人材モ殆ド凡テノ將校ト多クノ水兵ガ對佛戰爭竝ニTripoli 戰爭ニ於テ實戰ノ經驗ヲ持ツテ居タノデ極メテ好調デアツタ。

此等16艘ノ軍艦ノ外ニ、戰爭前數年間ニ建造サレテ居タ257艘ノ砲艦ガアツタ。トイフノハ Jefferson 大統領ハ强硬ナル海軍反對論者デハアツタガ、沿岸防禦用トシテ此等砲艦ニ大ニ信賴シテ居タカラデアル。然シ乍ラ此等ハ結局何等ノ價値モ發揮シナカツタ故、我ガ國海軍ノ一部トシテ考慮スルニ足ラヌ。

是ニ反シテ英海軍ハ 1812 年ニ於テハ「未ダ曾テ又今後ト雖モ他ノ如何ナル國モ追隨シ得ザル全盛期ニアツタ」ノデアル。其ノ年ノ倫敦「タイムス」紙ニ據ルト、英國ハ「Halifax ヨリ西印度ニ亘ツテ全米海軍ノ7倍ノ兵力ガアツタ。」ノデアツテ、2年後ニ於テハ「ナポレオン」ノ廢位ト共ニ其ノ全海軍、即チ219艘ノ戰列艦ト296艘ノ「フリゲート」艦ト其ノ外多數ノ「コルベット」艦トヨリ成ル大艦隊ヲ合衆國ニ對シテ自由ニ行使スルコトガ出來タ。

◎Belvidera 號追跡事件

宣戰布告後間モナク、Rodgers 提督ハ彼ノ旗艦 President 號 (44門)、Decatur 大佐ノ United States 號 (44門)、Smith 大佐ノ Congress 號 (36門)、Master-Commandant Lawrence ノ Hornet 號 (18門) 及 Sinclair 大尉ノ Argus 號 (16門) トヨリ成ル直ニ實戰ニ供シ得ル艦船バカリノ艦隊ヲ率キテ、Jamaica ヨリ本國歸還ノ銀輸送船

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

隊捕獲ノ目的ヲ以テ 6月21日 New York ヲ出發シタ。6月23日 Rodgers 艦隊ハ英軍ノ「フリゲート」艦 Belvidera 號（艦長 Byron 36門艦）ヲ發見シタ。President 號ハ敵艦ニ追ヒツキ、射程ニ入ルヤ、艦首砲ヲ以テ9名ノ死傷者ヲ生ゼシメタ。此ノ時ニ President 號ノ中甲板ニアツタ砲ガ爆發シ、其ノドサクサ紛レニ Byron 艦長ハ逃ゲタ。President 號ハ針路ヲ逸シテ大ニ遲レ、片舷齊射ヲ行ツタガ無効デアツタ。此ノ追跡ノタメ Rodgers 提督ハ 銀輸送船隊ノ航路ヲ遙ニ逸シテ了ツタ。扨今度ハ Newfoundland ヘ進ミ、ソレヨリ大西洋ヲ横斷シテ7艘ノ全部商船ノ捕獲物ヲ手ニ入レテ、8月31日「ボストン」ニ歸ツテ來タ。

◎Hull 艦長ノ Broke 艦隊脫走

英艦 Belvidera ハ此ノ逸走後戰爭ノ情報ヲ Halifax ヘ齎シタ。此ノ報告ニ接シタ Sawyer 中將ハ 1812年7月5日合衆國艦隊擊攘ノ爲 Philip Bows Vere Broke 大佐指揮ノ下ニ1艦隊ヲ派遣シタ。此ノ艦隊ハ旗艦 Shannon 號（38門）、Byron 艦長ノ Belvidera 號（36門）、Bastard 艦長ノ Africa 號（46門）、Townsend 艦長ノ Aeolus 號（32門）、Dacres 艦長ノ Guerrière 號（38門）ヨリ編成サレテ居タ。16日英軍ハ合衆國ノ「ブリッグ」艦 Nautilus 號（14門）ヲ拿捕シタ。同日午後 Barnegat 沖ニ於テ彼等ハ北東ニ進航中ノ一怪船ヲ發見シタ。之ハ Hull 艦長ノ Constitution 號デアツタ。翌朝彼等ガソレヲ合衆國ノ「フリゲート」艦ナル事ヲ發見シタ時、彼等ハ追擊ヲ開

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

始シタ。此ノ戰ハソノ戰鬪繼續期間ト Constitution 號ノ巧ミナ操縱デ有名デアル。

當時 Constitution 號ノ先任大尉デアツタ Charles Morris ハ、此ノ追擊ニ關シ彼ノ自叙傳ニ於テ、次ノ如キ興味アル叙述ヲシテ居ル。

本艦 (Constitution 號) ハ Rodgers 提督ノ指揮下ノ他ノ艦船ニ合同ノ爲 New York ニ向フベキ命令ヲ受ケ、豫定ノ航路ニ就イタ。吾々ガ Delaware ヲ過ギ、陸地ノ視界外ニ出ヅルヤ、16日 (1812年7月) ノ午後可成ノ距離ノ處ニ北西ニ向フ4艘ノ船ト北東ニ向フ唯1艘ノ船トヲ發見シタ。其ノ時北東ヨリ軟風ガ吹イテ來タ。風ハ日沒頃南方ヘ變リ、我々ハ風上ニ立ツタ。風ハ非常ニ弱ク我々ハソノ船ニ向ツテ進ンデ行ツタ。其ノ被追跡船ハ明ニ「フリゲート」艦デアツタ。ソシテ第一印象トシテ其ノ船ハ Rodgers 提督ノ率キル艦隊ノ所屬船ト思ハレタ。午後11時頃ニハ信號圈內ニアツタガ、間モナクソレガ合衆國ノ軍艦ナラザルコトガ明瞭ニナツタ。英艦ハ一戰ヲ避ケル樣ナ氣振リガ少シモナカツタノデ、Hull 艦長ハ我々ノ新規募集デ且訓練不充分ナ水兵ガ混亂ニ陷ルノ惧レヲヨリ少クスル爲、17日ノ日ガ明ケルマデハ少シデモ接近ヲ遲ラセタ方ガ正當ダト感ジタ。ソコデ艦首ヲ南方又ハ西方ニ向ケテ航走シタ。相手ノ船モ約2浬隔テテ同樣ニシタ。非番直員ハソノ部署デ睡眠ヲ許可サレ、將校モ同樣ニシテ眠ツタ。

夜ガ明ケルト昨夜ノ相手ハ大キナ「フリゲート」艦デ丁度着彈距離內ニアリ、風下ニアルコトガ判明シタ。又1艘ノ戰列艦ト他ニ3艘

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ「フリゲート」艦ト1艘ノ「ブリッグ」船、1艘ノ「スクーナ」船トガ、殆ド眞後ニ約2浬隔テテ滿帆ノ狀態デ英國旗ヲ飜シテ吾々ノ方ニ進ンデ來ルノデアツタ。我ガ艦ノ帆モ皆間モナク張ラレタ。我々ニトツテ好都合ナ事ニハ、最寄ノ「フリゲート」艦ハ何等ノ明瞭ナ理由モナク間切ツテ直ニ再ビ追撃ノ下手廻シヲ取ツタ。ソノ操作ニ約10分間カカツテ、短クハアツタガ我々ノ安全ニ最大效果アル距離ヲ與ヘタ。日出頃我々ノ艦ハ全ク風ヲ遮ギラレ、動キガトレナクナツタノニ反シテ、後方ニアツタ敵艦ハ軟風ヲ保持シテ居テ、中3艘ノ「フリゲート」艦ハ近接シテ來テ、彼等ノ彈丸ハ我々ノ上ヲ通リ過ギタ。然シ乍ラソノ距離猶大デアツテ正確ナル照準ガ出來ズ、敵彈ハ我艦ニ中ラナカツタ。

本艦ノ短艇ハ間モナク卸サレテ、敵カラノ距離ヲ引キ離サウト懸命ニ曳イタ。是ト時々ノ微風ノ爲、敵ノ接近ヲ防止シ得タガ、敵モサルモノデ、結局我々ハ何ノ得ル所モ無カツタ。數發我ガ艦ノ艦尾砲門カラ發射サレタガ、艦尾ニ盛ニ縱射ヲ浴セラレ、砲ハ安全ニ使ヘナクナツテシマツタ。少シデモ速度ヲ增サセル樣ニ有ラユル手段ガ講ゼラレタ。吊床ハ格納所カラ外サレ、帆布類ハ邪魔ニナラヌ樣片付ケ、數千「ガロン」ノ水ハ空ケラレテ艦外ヘ「ポンプ」デカヒ出サレ、帆ハ皆帆布ノ目ヲツメル樣ニ全ク濕メサレタ。

斯ク懸命ノ努力ハシタモノノ、逃ゲル見込ハ絕望ト思ハレタ。ソノ艦ガ速度ノ鈍イコトハ定評久シキモノデアツタガ、殊ニ前回ノ巡航ノ時著シカツタ。而シテ最初ノ變化無キ微風ノ狀態デハ、最早抵抗モ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

何等ノ效果モナクナツテシマツタノデハナイカト想像サレ、我々ノ運命ハ絶望ノ様デアツタ。午前8時頃敵ノ「フリゲート」艦ノ1艘ハ全艦隊ノ端艇ヲカリ集メテ、ソレ等ニ曳航ノ用意ヲサセテカラ、帆ヲスツカリ捲キ收メタ。コレデヂリヂリ我々ニ接近シテ來タ爲ニ、我々ノ運命モ愈決スルカト思ハレタ。處ガ我々ニ都合好ク一陣ノ軟風ガ我々ノ帆ヲ孕マセテ、敵ノ艦ガ風ヲ利用スル前ニ數百碼前進サセタ。

我々ガ逃ゲ出ス最善策ヲ講ズ可ク沒頭シテ居タ時、予ハ偶我ガ老指揮官 Cox ノ小心ノ爲、他ノ者ナラ帆走サセルトコロヲ President 號ヲ港ニ出入スル際ニハ曳索デ移動サセタ時、其ノ結果我々ハ1時間ニ殆ド3浬ノ速力ヲ出スコトガ出來タコトノアツタコトヲ思ヒ出シタ。我々ハ其ノ前日測深シテ置イタガ、ソノ結果26尋アルコトガワカツタ。是ハ深過ギテ好都合デハナカツタガ、予ハ確信ヲ以テ Hull 艦長ニ曳索デ艦ヲ引張ルコトヲ試ミルコトノ得策ナルコトヲ建言シタ。彼ハ直ニ同意シ、暫クシテ（午前7時頃）「ランチ」ト第1「カッター」ヲ小錨ヤ5吋以上ノ有リタケノ大索、綱具ヲ以テ前進サセタガ、彼此1浬ノ長サトナツタ。小錨ガ投ゲラレルト、水兵ハ船ガ動キ出スマデソノ連結大索ヲ引張リ、始メノ間ハ徐々ニ注意深クサバキ、段々ニ速力ヲ增シテ、遂ニハ十分ニ速力ガ出ル様ニナリ續ケテ更ニ前方ニ錨ガ打チ込マレ、斯クシテ同様ナ操作ガ繰返シ行ハレタ。斯クシテ我ガ艦ハ間モナク敵ノ着彈距離外ニ置カレ、風ガ無クナル時ハ絶エズ工夫努力シ、帆ヲ孕マスニ足ル風ノアル時ハ出來ル限リ利用シテ、我々ハ敵ヲシテ再ビ我々ニ近接スルヲ防止シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

我々ガ最初ニ追跡シタ船ハ午前9時頃我々ノ正横ニ位置シテ數回片舷齊射ヲ見舞ツテ來タガ、彈丸ハ丁度手前ニ落チテ却テ我ガ水兵ヲ鼓舞シ、彼等ノ戲談ヲ活氣ヅケルノデアツタ。風ト南東カラノ極メテ輕イ風ト屢交互シ、後者ノ場合ニハ我々ハ艦首ヲ南西ニシテ受ケタ。風ノ方ガ索曳ヤ曳航ヨリモ速度ヲ增ス時ハ、端艇ハ固有位置ニ引揚ゲラレルカ、或ハ臨時ノ絞轆ニ依テ鎖デ圓材ニ吊下ゲラレ、又命令一下活動出來ル用意ニ乘員ヲソノ中ニ乘組マセテ置イタ。

第2日、即チ18日ノ夜明ケニ「フリゲート」艦ガ我ガ艦首ノ方ノ風下ニ當ツテ1艘、殆ド正横ニ2艘、約2浬離レテ艦尾ノ方ノ風下ニ1艘、同ジ方面ニ3浬隔ツテ戰列艦、「ブリッグ」船、「スクーナ船」ガ位置シテ居ルノガ發見サレタ。風ハ尙輕カツタガ、此ノ時可成リ一定シテ來タ。艦首ノ風下ニ居タ「フリゲート」艦ハ、午前4時頃上手廻シニ轉ジ、我々ガ同一方向ニ航行ヲ續ケテ居タナラバ、明ニ着彈距離內ニ入ツタデアラウ。我ガ艦ニ1發デモ命中スレバ、圓材ノ中ニハ故障ヲ起スモノヲ生ジ、我々ノ進路ヲ妨害スルノデ、此ノ近接ヲ避ケルノニ一生懸命デアツタ。若シ我々ガ上手廻シニ轉ズレバ、我々ハ艦尾ノ方ノ風下ニアツタ他ノ「フリゲート」艦ノ砲下ニ曝サレルノデアツタガ、此ノ船ハ小型船デアツタノデ、危險モ小サイヤウデアツタ。ソコデ我々モ直グ上手廻シニ轉ジタ。

5時、風下ノ「フリゲート」艦ノ前方ヲ通過スル際、我々ハ明ニ着彈距離內ヲ通ツテ行クノデ、片舷齊射ノ一、二ハ受ケルモノト豫想シテ居タガ、何トモ原因ハ分ラナイガ、32門搭載ノ Aeolus 號ノ Lord

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

James Townsend ハ默ツテ我々ヲ通過サセ、我々ノ航跡ヲ追ツテ針路ヲ轉ジ、續テ他ノ敵艦モ同樣ノ方向ヲ取ツタ。斯クシテ我々ヲ追跡スル船ハ皆後方ノ風下ノ方ニ位置スルヤウニナツタ。而シテ風ガ徐々ニ增シテ來タノデ、我々ノ逃走ハ帆走ノ優越性ニ依ラナケレバナラナカツタガ、ソレハ大シテアテニナル程ノモノデモナカツタ。兎ニ角手ヲ緩メズ全力ヲ盡シタ。「ランチ」ト第1「カッター」ハドウニカ失ハズニ濟ンダノデ Hull 艦長ノ指揮デ午前6時甲板上ニ揚ゲラレタ。是ハ迅速ニ、變帆操作モ殆ドセズニヤツテノケタノデ、我々ヲ監視シテ居タ敵ハ、ソレ等ノモノガドウナツタカヲ知ル事ガ出來ナカツタ。此ノ事ハ後ニナツテ敵艦隊ノ捕虜トナツタ Crane 大尉カラ聞イテ知ツタノデアル。帆ハ滲水サレ最上輕帆ガ作ラレテ取付ケラレ、其ノ他ノ帆ハ風ニ對シテ索サバキヲヨクシテ最モ有利トナル樣ニ取付ケテ釣合ヲ取ツタ。我ガ艦ノ直後ノ船ハ正午マデ徐々デハアルガ段々接近シテ來タ。然シ風ガ增シテ來タノデ、我ガ艦ハソノ時1時間10節トイフ意外ナ速力デ航行シテ居タノデアル。正午ニハ風ヲ正橫ニ受ケタガ、段々强ク吹イテ來タノデ、我々ハ追跡艦隊ヲ脫シ始メタ。午後2時頃マデニハ12節半ノ速度ニ達シタ。斯クシテ我々ノ希望ハ不安ヲ消シ去ツテ、我々ノ間ニハ一層ノ元氣ガ現レテ來タ。

元氣ヅイテハ來タガ、未ダ我々ハ敵船ガ凡テ近クニアツテ、何時ドンナ風向デ有利ナ地位ヲ占メテ來ルカモ知レヌノデ、安心ドコロデハナカツタ。午後6時雨ヲ混ヘタ一陣ノ突風ガヤツテ來テ、雨デ敵ガ見エナクナル前ニ輕帆ヲ疊ンデ了ツタガ、其ノ大部分ノモノハ又突風

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ガ軟グト共ニ元通リニサレタ。雨ガ止ンデ見ルト、我々ハ明ニソノ間ニ 1, 2 浬進ンデ居タ。尚追跡ハ續ケラレ、我ガ艦ハ全速力デ前進シタ。將兵ハ再ビ當夜ハ部署ニ就イタ儘過シタ。明ケテ 19 日ニナルト、敵艦ハ遙カ後方ニナツタノデ、最早危險無シト思ハレタ。午前 8 時遂ニ彼等ハ追跡ヲ斷念シテ、益風上ニ去ツテ行ツタ。茲ニ於テ我ガ將兵モ漸ク休息ヲ十分取ル事ガ出來タガ、將校ノ如キハ既ニ 60 時間以上モ殆ド休息スルコトガ出來ズニ居タ。

Hull 艦長ガ斯クシテ好條件ヲ備ヘテオツタ優勢ノ敵カラ困難ヲ嘗メテ脫走シタ事ニ對シテ、多大ノ賞讃ヲ博シタノハ、誠ニ當然デアル。若シ敵ガ初期ニ於テソノ中 1 艘デモ有效射擊距離內ニ入ルヤウニ努力ヲ集中シタカ、或ハソノ追擊ノ當初何時ナリトモ嘗テ我々ガ採用シタトコロノ曳索デ引張ル方法ヲ採ル用意ガアツタナラバ、彼等ハ恐ラク我々ガ最後ニドウシテモ帆ニ依ラザルヲ得ナクナツタ後、我々ノ逃走ヲ妨止スル程ノ損害ヲ蒙ラセズニハ濟マサナカツタデアラウ。此ノ結果ハ兎ニ角、運ノ有ル限リ、ドンナニ絕望的ナ狀態ニアツテモ、最後マデ頑張ルコトノ强ミノ一例證トシテ記憶セラレルデアラウ。

Isaac Hull 艦長ハ其ノ沈着、大ナル忍耐、巧ミナル操縱術、部下ノ言ヲ容ルル寬容トニ依ツテ、5 人ノ英軍ノ艦長ヲ完全ニ出シ拔イテ了ツタ。此ノ Broke 艦隊カラ脫走シタ鮮ナ離レ業ト、其ノ後間モ無キGuerrière 號トノ戰鬪ハ、Roosevelt ノ言ニ依レバ、「彼ヲ如何ナル艦長ヨリモ一頭地ヲ拔カシメタ」ノデアル。(以上ガ Charles Morris 自敍傳ノ一節デアル。)

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第 7 章　Guerrière 號及 Macedonian 號ノ捕獲

◎Constitution 號ト Guerrière 號

Constitution 號ハ Broke ノ艦隊ノ爲ニ紐育ニ入ルコトヲ妨ゲラレ、「ボストン」ニ進ミ、1812 年 7 月 27 日同地ニ到達シタ。艦長 Hull 大佐ハ直ニ紐育及「ワシントン」ヘ書信ヲ送リ、軍需品、糧食ヲ積ミ込ミ、臨戰準備ヲシタ。Hull ハ滯留久シキニ及ンデモ、紐育デ彼ヲ待テ居ル Rodgers 代將カラ何等命令ガ無イコトヲ知ルヤ、8 月 2 日出港シタ。Morris ノ言ニヨレバ彼ガ急遽出港シタノハ「敵艦隊ノ爲ニ封鎖サレル恐レガアツタ」爲デアル。然シ其ノ外ニ彼ガ英軍ト雌雄ヲ決シヤウトスル熱望ニ燃エ、又彼ノ乘艦ガ先任ノ大佐ニ讓ラレソウナ氣配ガアツタコトモ原因シタデアラウ。事實彼ハ際ドイ所デ出港出來タ。トイフノハ彼ノ出發ノ翌日「ワシントン」政府カラ命令ガ來タガ、ソレハ彼ヲ港內ニ數週間、場合ニヨツテハ數箇月モ滯留セシメルタメノモノデアツタカラデアル。彼ガ此ノ樣ナ次第デ命令ヲ受ケナイデ出發シ、歸路成功シ得タノハ幸セナコトデアツタ。

Halifax マデ事モ無ク進ミ、Race 岬沖ニ彼ハ位置ヲ占メ、「ケベック」或ハ「ハリファックス」往來ノ船ヲ捕ヘヨウトシタ。彼ハ此處デ 2 艘ノ英國ノ「ブリッグ」船ヲ奪取シ、1 艘ノ戰利船ガ取リ返ヘサレヤウトスルノヲ免レシメ、又英軍ノ爲ニ捕獲サレタ米國ノ「ブリッグ」船 1 艘ヲ取リ戻シタ。此ノ時彼ハ Broke ノ艦隊ガ Grand Banks ノ西端ニアルコトヲ聞イタ。ソコデ彼ハ Bermuda 島附近ヲ通過スルツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

モリデ南進シタ。8月18日ノ晩彼ハ1艘ノ帆船ヲ認メ、之ヲ追ウタガ、2時間タツテ追ヒツイテシマツタ。ソレハ米國ノ私掠船 Decatur 號デアツタガ、此ノ船ハ Hull ノ船ヲ敵船ト思ヒ、脫走セントシテ14門ノ中、既ニ12門ノ砲ヲ投棄シテ居タ。此ノ Decatur 號カラ Hull ハ1艘ノ英國軍艦ガ、其ノ前日南ノ方ヘ航行シテ行ツタコトヲ聞イタ。彼ハ直ニ之ヲ追擊スル決心ヲシタ。

8月19日午後1時 Constitution 號ガ 北緯 41° 42′、西經 55° 48′ (Boston ノ 東方約750浬) ニ居タトキ、檣頭ノ見張ガ南東ニ當ツテ帆船1艘ヲ認メタ。2時間後其ノ船ハ右舷開キデ一部分ノ帆ヲ揚ゲ、北西カラ吹ク疾風ニ船首ヲ向ケテオル大船デアルコトガワカツタ。Hull ハ英國ノ「フリゲート」艦ト戰フコトヲ熱望シテ居タ。彼ハ風上ニ居タタメニ急下シテ3浬以內ニ接近シタガ、ソノ時彼ハ輕帆ハ取リ收メ大帆ヲ揚ゲ、戰鬪準備ヲスル樣命令ヲ發シタ。此ノ怪シキ船ハ Guerrière 號ナルコトガワカツタガ、其ノ間ニ同船ハ大檣ノ中檣帆ヲ取リ下ゲテ敵ノ接近ヲ待チ、戰鬪ノ相手ヲスル用意アルコトヲ示シタ。米艦 (Hull ノ Constitution 號) ハ敏捷ニ是ニ應ヘテ直ニ敵ニ肉迫シヤウト掛ツタ。

Guerrière 號ノ Dacres 艦長ハ Constitution 號ガ航路ヲ持續シテ行ク時ハ、此ノ敵艦ハ自艦ノ艦尾ノ下ヲ通過シテ縱射スルコトト思ツタ。是ヲ防ガンガ爲ニ、Dacres ハ敵ガ射程內ニ入ルヤ否ヤ齊射ヲシタガ、敵ガ轉針スルヤ、下手廻ヲシテ他ノ片舷齊射ヲ加ヘタ。各檣頭ニ軍艦旗、艦首旗ヲ揚ゲタ Constitution 號モ亦時々發砲シ、縱射サ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

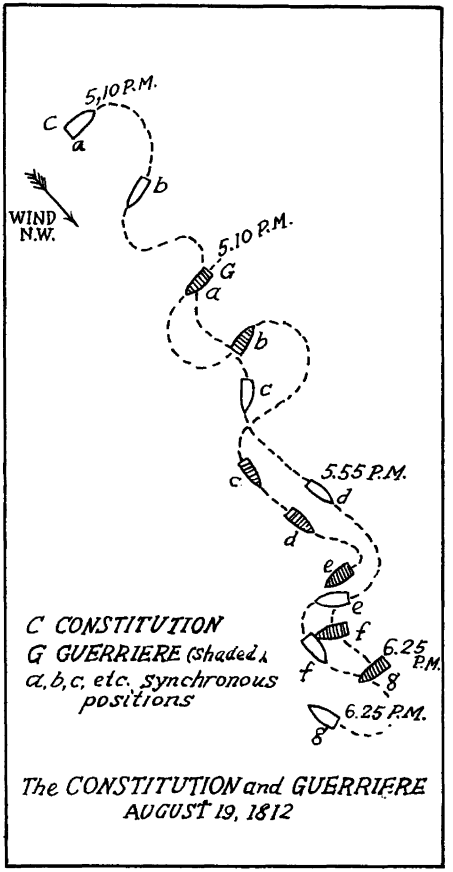
HP『海軍砲術学校』公開史料

レナイ様ニ針路カラ偏逸シタ。斯クシテ此等「フリゲート」艦ハ 45 分間ニ亘ツテ縦横ニ動キ廻ツタガ、互ニ相手ニハ勝目ヲ與ヘズ、又互ニ損害モ受ケナカツタ。其ノ後 Guerrière 號ハ艦尾ニ風ヲ受ケテ風下ニ落チ、中檣帆、船首三角帆ヲ揚ゲテ徐航シテ Constitution 號ニ接戰ノ機ヲ與ヘタ。Hull ハ Dacres ノ戰意ヲ見テ舵手ニ英艦ノ方ヘ直進スベシト命ジ、直ニ接近スル爲大檣ノ上檣帆ヲ揚ゲサセタ。ソノ上彼ハ砲手ニ擊チ方止メト令シタ。

Constitution 號ガ接近スルト、Guerrière 號ハ艦尾砲ヲ以テ猛烈果敢ニ發砲シタガ、ソレニ對シテ Constitution 號ハ接戰ヲ欲シテ艦ヲ操縱シタガ爲、有效ナル應射ハ出來ナカツタ。是ハ米艦ヲシテ直ニ接戰セシメザル行動デアツタ。Hull ノ命令ニ從ツテ砲手ハ默ツテ此ノ砲火ニ堪ヘテ居タガ、命令一下直ニ有效ナル打擊ヲ加ヘ得ル樣、有ラユル準備ヲシテ置イタ。ソシテ圓彈、葡萄彈ノ二重裝塡ヲシタ。

Captain Hull ノ報告ニヨレバ、彼ガ Guerrière 號ノ舷側ヘ拳銃ノ半射程ニ迫ツタノハ、5 時 55 分デアツタ。信號ヲ合圖ニ、各砲ガ敵艦 Guerrière 號ニ向ヒテ居ル右舷砲座カラ轟然ト發射サレタ。Hull ガ第 1 擊ヲ敵ニ加ヘルト、敵ハ其ノ强擊ニ相當ヨロメイタ。此ノ戰鬪ノ直前、米艦ノ戰鬪旗ガ揚ゲラレタ時、Constitution 號ノ乘員ハ「敵艦トノ接戰ヲ望ンデ」萬歲ヲ三唱シタ。而モ今ヤ彼ノ望ハ早クモ叶ヘラレ、氣高キ態度ヲ以テ最高ノ試練ニ臨ミ、Guerrière 號カラノ猛射ニ直面シナガラ冷靜、指揮整然タル射擊ヲ維持シタ。Hull ガ此等ノ乘員ヲ配員サセテカラ、未ダ 6 週乃至 8 週間ニ過ギナカツタ。而

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



PLAN OF THE BATTLE BETWEEN THE CONSTITUTION AND THE GUERRIERE
AUGUST 19, 1812

HP『海軍砲術学校』公開史料

モ大部分ハ、カケダシノ水兵デアツタノデアル。然シ乗組後ハ絶エズ訓練ヲ續ケラレタノデ、此ノ戰鬪早々ソノ訓練ノ功ガ現レ始メタノデアル。Guerrière 號ノ下檣桁ハ桁支持索ガ射飛バサレ、接戰後15分ニシテ後檣ハ24听砲彈ノタメニ折ラレテ落チ、右舷艦尾張出部ニ孔ヲアケテシマツタ。是ヲ見テ Hull ハ『デカシタ！コレデ敵艦ヲ「ブリッグ」船ニシテシマツタ』ト叫ンダトイフコトデアル。

其ノ檣ハ右舷ニ落チテ探海錨ノ様ナ働キヲナシ、舵ハ一杯轉ゼラレタガ、回頭ヲ停メテシマツタ。ソレカラ Constitution 號ガ前方ニ進出シテ、Hull ハ Guerrière 號ノ艦首ノ上方ニ間切ツテ出タ。「スパンカー」帆ヤ後檣第2高檣帆ガ用ヲ爲サヌ様ニナリ、轉桁索モ無クシタノデ、彼ガ望ンダ程迅速ニ廻レナカツタガ、彼ハ2縦齊射ヲ注イデ Guerrière 號ノ甲板上ヲ葡萄彈デ掃射シ、船體ノ水際ニ數個ノ孔ヲアケタ。然ル後、彼ハ其ノ有利ナル位置ヲ維持シ、又恐ラク縦射セントシテ下手廻ヲシヤウトシタガ、コノ時 Guerrière 號ノ斜檣ガ Constitution 號ノ後檣左舷索具ニ接觸シタ。

兩艦トモ今ヤ接觸突撃戰ヲ考ヘタ。英軍ニトツテハ形勢挽回ノ絶好機會デアツタ。然シ此ノ兩艦ハ Guerrière 號ノ前甲板デ接觸シテ居リ、且米艦ノ兵員ハ其ノ後甲板ニ整列サセラレテ居ルヲ見、又荒天ノ爲突撃動作ノ困難ナルヲ考ヘテ、英艦長 Dacres ハ此ノ計畫ヲ中止シタ。兩方ノ艦ガ非常ニ肉迫接近シテ居タノデ、米軍ノ一兵員ガ闖入用拳銃ヲ射ツタガ、相手ニ中ラナカツタノデ、立腹シテ拳銃ヲ投ゲツケテ相手ノ胸ニ打チツケタ。其ノ間ニ檣樓ノ射手ハ互ニ相手ノ方ヘ非常

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ナル損傷ヲ蒙ラセタ。事實上 Constitution 號ガ本戰鬪中ニ蒙ッタ損害ハ此ノ時ニ起ッタモノデアル。鬪入隊ヲ編成セントシテ Constitution 號ノ後甲板上ニ露ハレタ米軍海兵隊ノ Bush 大尉ハ戰死シタ。Morris 大尉ハ敵味方兩艦ヲ固縛セントシテ、Guerrière 號ノ斜檣ノ上ニ大檣最下桁ノ轉廻索ヲ幾巻キカ廻ハサウトシテ居タ時ニ重傷ヲ受ケタ。航海長 Alwyn 氏モ輕傷ヲ受ケタ。Hull 艦長ハ1人ノ忠實ナル水兵ガ、彼ガ武器箱ノ上ニ昇ルノヲ見テ、力强ク彼ヲ引キ下シ、Hull ノ肩章ヲ指シテソノ「Swab」(肩章 epaulet ノ俗語) ヲ取ッテシマウマデ箱ノ上ヘ昇ラナイ樣ニト賴ンダバカリニ、命拾ヒヲシタノデアル。英軍ノ死傷モ同ジク甚大デアッタ。負傷者中ニハ Dacres 艦長 (背部貫通傷)、航海長 Scott 氏、航海長輔佐 Kent 氏ガ數ヘラレタ。

兩艦ハ間モナク引離サレタガ、Guerrière 號ノ斜檣ハ Constitution 號ノ艦尾手摺ニ打チツケテ英艦ノ前方維持索ヲ弛マセテシマッタ。ソシテ左舷ノ前方靜索ガ殆ド射飛バサレタノデ、前檣ガ右舷ニ倒レテ大檣支索ニ掛ッタ。大檣ニ突然激動ガ加ッタノデ、アマリ丈夫デナカッタ大檣ヲ倒シテシマッタ。ソシテ接戰ガ始ッテカラ30分ノ後、Hull ノ陳述ニ依レバ、Guerrière ハ斜檣以外ニハ圓材ガ無クナッタ。Constitution 號ハ Guerrière 號ノ前方ニ出テ再ビ縱射ノ位置ニ立ッタ。然シ英艦ハ此ノ上戰フコトノ無用ナルヲ認メ、降服ノ印ニ風下ニ發砲シタ。

ソコデ Constitution 號ハ前檣、大檣ノ大帆ヲ揚ゲテ、損害ヲ修繕スル爲ニ少シク東方ニ航走シタ。同艦ノ轉桁索全部ト靜索、動索ノ大

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

部分ハ破損セラレ、圓材ノ中ニハ射飛バサレタノモアツタ。敵砲彈ノ塡物ノタメニ船室中ニ發シタ火災ハ鎭火シナケレバナラナカツタ。30分カカツテ充分新轉桁索ノ索通シヤ、間ニ合セノ修繕ガ出來タノデ、Constitution 號ハ再ビ下手廻ヲシテ Guerrière 號ノ方ニ向ツテ來タ。

其ノ間ニ英艦ハ全員ヲ動カシテ破損物ヲ取リ拂ツテシマツタ。彼等ハ第1斜檣縱帆ヲ裝着シテシマツタガ、Constitution 號ガ再ビ接近シテ來タトキ、第1斜縱帆桁ハ取レテ落チ、艦ハ中甲板砲ヲ下ニ轉バセテ浪ト浪ノ谷ニ落チタ。英軍ニトツテハ、得意トスル海上デ敗戰ノ憂目ヲ見ルトイフコトハ諦メ切レヌコトデアツタガ、今ハ如何トモ致シ方ガ無カツタ。Constitution 號カラ派遣サレタ小艇ニヨツテ Dacres 大佐ハ米艦ニ運バレテ玆ニ正式ノ降服ヲ見タ。

猶片舷齊射ヲ加ヘレバ、Guerrière 號ハ海底ニ沈ンダデアラウ。事實此ノ戰利艦擔任ニ當ツタ大尉ハ、翌拂曉船艙內ニハ水ガ4呎アルト叫ンダ。Guerrière 號ヲ港內ヘ曳航スルコトハ至難ニ思ハレタノデ、Hull ハ Guerrière 號擊沈ヲ決心シタ。ソレデ捕虜ヲ引キ移シテカラ Hull ハ同艦ニ火ヲツケテ、20日ノ午後爆沈サセテシマツタ。此ノ頃 Constitution 號ノ修理モ終ツタノデ、Hull ハ Boston ニ向ツテ出發シタ。

New England 諸州ハ當初此ノ戰爭ニハ反對デアツタ。ソシテ不滿ナ市民ハ戰爭中再三分離シヤウトシタ。然シ Hull ガ凱旋シテ來タ時ニハ熱烈ナ歡迎ヲシタ。「ボストン」ノ各團體ノ市民ハ等シク コノ凱旋ノ艦長及部下士官ニ對シテ盛大ナル歡迎會ヲ開イタ。他ノ諸市及士

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

官ノ出身州ハ齊シク彼等ヲ盛大ニ賞揚シ、議會ハ感謝ヲ決議シタル上ニ5萬弗ノ賞金ヲ議決シタ。英艦1艘ノ捕獲カラ得ラレタ此ノ鼓舞ハ、同週内ニ起ツタ Detroit 號ノ不面目ナ降服ノ後眞ニ必要デアツタ。

此ノ戰勝ハ亦米國ノ海軍政策ニ重大ナル影響ヲ與ヘタ。「トリポリ」戰爭後數年ニ亙ツテ多クノ著名ナル政治家ハ、獨立戰爭後ト同ジク、全ク海軍ヲ廢棄スル說ヲ主張シタ。ソシテ對英第2回目ノ戰爭ガ勃發スルヤ、米國政府ハ英國ノ壓倒的優勢兵力ニ對スル自信無ク、要塞港内ニ艦船ヲ封ジ込ンデ、ソノ捕獲サレルノヲ防グ方針ニ傾イタ。然ルニ Constitution 號ノ戰勝ハ米海軍ノ建設ヲ永久的ナルモノトナシ、政府ハ軍艦ニ戰鬪參加權ヲ與フルニ至ツタ。

米國ニ於ケル歡喜、英國ニ於ケル消沈ハ共ニ甚シカツタ。嘗テ英國ノ士官達ガ Constitution 號ヲ西印度諸島ヤ地中海デ見タ時ニ、彼等ハ Constitution 號ヲ輕蔑シテ『ナンダ「ヤンキー・フリゲート」カ』ト惡タレヲ言ツタノヲ思ヒ出ストキ、奇好ナ感ガアルノデアル。

米國艦船ノ力ヲ如何ニ輕視シタカトイフ事ハ、Dacres ガ Constitution 號ニ遭遇スル二、三日前ニ出會ツタ米國ノ「ブリッグ」船 John Adams 號ニ就テノ記錄ニ次ノ如ク記入シタコトニヨツテ明カデアル。

『44門艦ノ英國「フリゲート」艦 Guerrière 號艦長 Dacres 大佐ハ、合衆國「フリゲート」艦 President 號ノ Rodgers 代將ニ敬意ヲ表シ、Sandy Hook 沖合ニ於テ President 號艦長又ハ President 號ト同兵力ナル如何ナル他ノ米國軍艦トモ數分間ノ會談ノタメ欣然トシテ相

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

見エン。』斯クノ如キコトヲ言ヒ乍ラ President 號ノ姉妹艦ニ遭遇シテ、Dacres ハ正ニ求ムルモノヲ得タノデアル。

米國ノ「フリゲート」艦ノ劣質ナルヲ考ヘテ居タ英軍ノ意見ハ、今ヤ俄ニ一變シタ。自艦ヲ喪失シテ軍法會議ニ附サレタル Dacres 大佐ハ、米軍ノ帆走法ノ優秀ナルガ爲ニ米軍ヲシテ距離ノ選定ヲ可能ナラシメタコトヲ證言シタ。又同戰鬪後間モ無ク Guerrière 號乘組ノ一將校ハ本國ニ書ヲ送ツテ『Constitution 號ヲ見タコト無キモノハ「フリゲート」艦ニ斯ノ如キ艦アルコトヲ信ゼザルベシ。面積及噸數ニ於テ同艦ニ最モ近キ艦ハ英海軍ニ於テハ 74 門艦ノ Orion 號ナリ。』ト言ツテ居ル。

Constitution 號及 Guerrière 號兩兵力ノ比較表ヲ一見スレバ、勇氣熟練ガ苟モ甲乙無カツタトスレバ、米軍ガ負ケテハ到底何ノ口實モ設ケラレル筈ガ無イ。

	砲數	片舷彈量	乘員	戰死者數	負傷者數	計
Constitution 號…	55	736	468	7	7	14
Guerrière 號……	49	570	263	15	63	78

然シ英軍ハ曾テハ同ジク非常ナル優勢ナル佛軍及西軍ト戰ツテ勝ツタノデアル。英軍ハ英軍ノ勇氣訓練ヲ以テスレバ、數門ノ砲ノ優勢位ハ相殺シテ餘リアルモノト考ヘル樣ニナツテ居タノデアル。扨俄ニ彼等ガ覺ツタ通リ、彼等ハ思ヒモ寄ラヌ敵ト戰ツタノデアル。彼等ハ又「ローズヴェルト」ノ算定ニヨレバ、約3對2ナル兵力ノ差ハ損害ノ差ヨリモ遙ニ少ク、從テ優勢ハ斷然此ノ新シキ敵米軍ニアツタトイフ事

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

見エ實ヲモ直視シナケレバナラナカツタノデアル。

◎United States 號ト Macedonian 號

第1回ノ「フリゲート」戰ニ於テ Guerrière 號ニ就キ一言說明ヲ加ヘテ置ク必要ガアル。「ゲリエール」號ハ英國製ノ艦デハナク、6年前佛軍カラ捕獲シタモノデアリ、長途ノ巡航ヲ經タ同艦ハ、大ニ修理ヲ必要トシテ居タ。併シ第2回戰ニ於テハ、情況ハ全ク異ツテ居タ。乾船渠カラ出タバカリデ僅ニ2年前ニ建造サレタ38門艦ノ英艦「フリゲート」「マセドニヤン」號ハ、英海軍ニ於ケル同級中ノ最優秀艦ト考ヘラレテ居タ。「マセドニヤン」號艦長 John Surman Carden ハ乘員ノ訓練ト共ニ人材ニ最モ周到ナル注意ヲシテ居タ。標準以下ト看做サルルガ如キ乘員ニ對シテハ脫走ノ機會ヲ與ヘタガ、有能ノ士ト見込ンダ以上、彼ハ嚴格極ル躾ヲシタ。而シテ腕利キノ David Hope 大尉ト協力シテ、此等有能乘員ニ毎日運用術、砲術ヲ仕込ンダ。

此ノ「マセドニヤン」號ト一騎打ヲシナケレバナラナカツタ艦ハ Captain Stephen Decatur ニ指揮サレタ44門艦 United States 號デアツタ。United States 號ハ Rodgers ノ艦隊ニ加ツテ 1812年10月8日「ボストン」ヲ出發シタ。此ノ艦隊ノ President 號、Congress 號及 Argus 號ノキハ何等爲ス所無クシテ、3箇月ノ巡弋ノ後歸ツテシマツタ。Decatur ハ出航後3日ニシテ隊ト別レタノデアルガ、英艦 Macedonian 號ニ Canary 島沖合（北緯 29° 西經 29° 30′）デ遭遇シタノハ 1812年10月25日デアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Portsmouth ヲ出テ1箇月ニモナラナカツタ Carden ハ、Madeira デ米軍ノ「フリゲート」艦 Essex 號ガ附近ニ居ルコトヲ聞イテ居タ。ソシテ25日早朝檣頭ノ見張ガ風下正横12浬ノ所ニ1艘ノ船ガ見エルト報ジタノデ、Carden ハ急イデソノ方向ニ進ンデ行ツタ。トコロガ自艦ヨリハ劣勢艦ノ Essex 號デハナク、斷然優勢艦デアツタ United States 號ト出會フコトニナツタ。然シ Carden ガ若シ此ノ外國艦ガ United States 號ナルコトヲ知ツテ居タナラバ、彼ハ恐ラク之ト一戰ヲ交ヘルコトニハアマリ氣乘リガシナカツタデアラウ。「マセドニヤン」號デハ飽クマデ自信ヲ感ジテ居タガ、Carden モ其ノ部下ノ Hope 大尉モ勝目ノ有無ナドヲ氣ニ懸ルヤウナ人物デハナカツタ。Carden ハ當時未ダ Guerrière 號ノ悲運ニ就テハ何等聞キ及ンデ居ナカツタ。

「マセドニヤン」號ノ乘員中ニハ7名ノ米國人ガ强制服役サセラレテ居タ。彼等ハ英米兩國間ニ戰爭ガ起ツテ居ルトイフ噂ハ聞イテ居タガ、愈戰鬪準備ヲ見タリ、又米軍ノ「フリゲート」艦ガ接近シテ來ルノヲ見ルヤ、此等ノ中ノ1人 Jack Cand トイフ仲間ノ中デモ勇ミ肌デ知ラレテ居ル男ガ、艦長ニ呼ビカケテ、自分等ハ捕虜トシテ取扱ハレ、自國ノ旗ニ對シテ刃向フコトハ免ゼラレル樣要求シタ。Captain Dacres ハ兵員ガ足リナカツタケレドモ、是ト全ク同一ナ情況ニ於テ米人ニハ下甲板ヘ下リルコトヲ許シタモノデアル。然ルニ Captain Carden ハ乘員ニ對シテ決シテ寬大ナル態度ヲ取ラズ、此ノ男ニソノ樣ナ要求ヲ再ビスルナラバ射殺スルト嚇シツケ、戰鬪部署ニ就ケト荒々シク命ジタ。何レノ途ヲ選ンデモ Cand ニトツテハ苦シイ運命デ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

アツタ。彼ハ本戰闘中24所彈ニ中ツテ戰死シタ。

「マセドニヤン」號ハ最初 United States 號ヲ見タ時、北西微西ニ航行シテ居タガ、接近スルニ從ヒ風上ノ利ヲ得タ。風ハ南南東ノ疾風デアツタ。

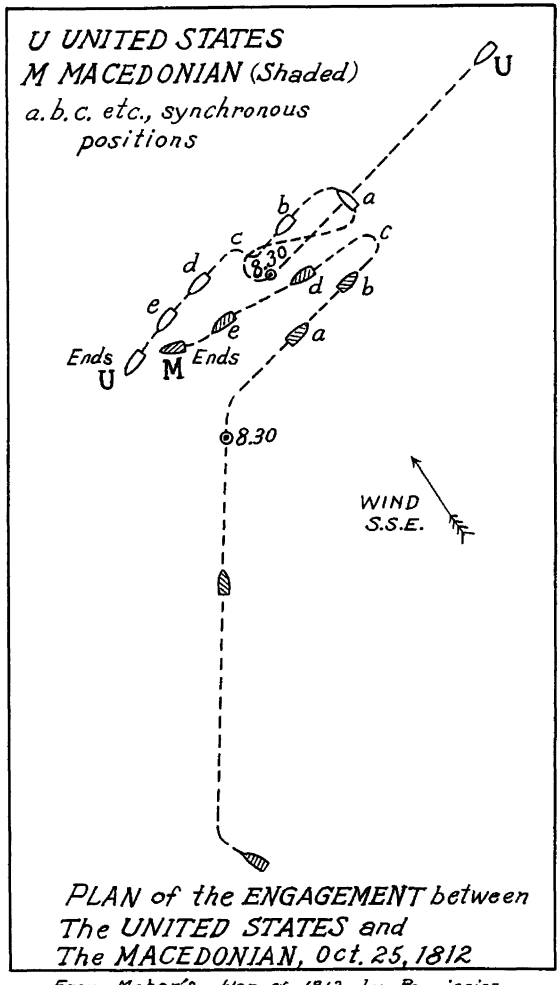
Decatur ハ射程ニ入ル前ニ有利ナ位置ヲ占メントシテ、左舷開キデ下手廻ヲシテ急停止シタ。「マセドニヤン」號ハソレマデノ航路ヲ續ケタナラバ、United States 號ノ艦首間近ク横斷シ、直ニ接戰ニ入ツタコトデアラウ。是ハ Hope 大尉ガ獻策シタコトデアツタ。然シソウスレバ「マセドニヤン」號ハ風上ノ位置ヲ棄テナケレバナラナカツタデアラウ。ソウハシナイデ、Carden ハ依然ソノ距離ヲ維持シテ艦首ヲ一層風上ニ向ケタ。當時猶彼ガ想像シテ居タ通リニ、彼ガ Essex 號ト戰ツテ居タモノトスレバ、Carden ノ決心ハ賢明デアツタデアラウ。トイフノハ、Essex ハ短砲ヲ充分ニ裝備シテアツタケレドモ、長身砲ニ於テハ劣勢デアツタカラデアル。事實アノ樣ナ次第デ、彼ハ敵ニ斷然有利ノ位置ヲ讓ツテシマツタ。ナゼナラバ United States 號ハ特別重イ長身砲ニ於テ優ツテ居タカラデアル。

兩艦ガ互ニ反航ノ針路デ行キ違ツタ時ニ、United States 號ハ發砲シタガ、距離ガ遠過ギテ損害ヲ加ヘルコトハ出來ナカツタ。既ニ遙ニ高速船ナルコトヲ示シタ「マセドニヤン」號ハ、ソノ時下手廻ヲシテ追ヒカケ、米艦ノ左舷艦尾ヨリ遠ク離レタ位置ニ到達シテ敵ニ追ヒツイタ。片舷齊射ヲ互ニ擊チ交シタル後、United States 號ハ後檣ノ第3高檣ヲ失ヒ、「マセドニヤン」號ハ斜桁張揚索ト後檣第1高檣ヲ損

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



Stephen Decatur, Jr.



From Mahan's War of 1812, by Permission

PLAN OF THE ENGAGEMENT BETWEEN THE UNITED STATES AND THE MACEDONIAN, OCT. 25, 1812

HP『海軍砲術学校』公開史料

ジタガ、後者ハ大檣樓ニ落チコンダ。此ノ損害ノタメニ「マセドニヤン」號ハ帆走ノ優利ヲ失ツテシマツタ。兩艦ガ平行ニ航行スルカ、或ハ全片舷齊射ノ爲ニ針路ヲ變ヘルノミデハ、優勢ハ射勢ノ問題デハナク、長身砲次第デアツタ。故ニ United States 號ハソノ點ニ於テ斷然優勢デアツタ。此ノ優勢ヲ乘リ切リ、自艦ノ短身砲ヲ使用シ得ル位置ニ接近センガ爲ニ、Carden ハ平行針路カラ轉ジテ敵方ニ向ツタ。之ニ對シ Decatur ハ轉舵シテ舷側砲火ヲ送ツタ。次デ英艦ノ近接スルノヲ妨止センガ爲、少シク前進シテ同樣ナ運動ヲ繰リ返シタ。「マセドニヤン」號ハ右舷艦首ヲ United States 號ニ向ケテ進ンデ來タ。茲ニ於テ United States 號ハ猛烈ナル對角射撃ニ依ツテ「マセドニヤン」號ノ後甲板及前甲板上ノ短砲ヲ全部毀ハシテシマツタ。猶同時ニ「マセドニヤン」號ノ船體ニモ損害ヲ與ヘ、多數ノ乘員ヲ損傷セシメテ戰鬪力ヲ奪ツテシマツタ。

平時「マセドニヤン」號ノ乘員ノ間ニハ訓練ノ酷烈、苛酷ナル鞭打ノ使用ノ爲相當ニ不滿ノ聲ガアツタガ、戰鬪ニ於テハ乘員ハ確ニ賞讃スベキ意氣ヲ發揚シタ。「我ガ乘員ハ全力ヲ擧ゲテ氣ヲ引キ立テテ居タ。自分モ何ノ爲カ判ラナカツタケレドモ、彼等ト一緒ニナツテ陽氣ニ元氣ラシイコトヲ言ツテ居タ。確ニ自分ノ居タ部署ニハ一向ニ元氣ヅケラレルヤウナモノガ無カツタ。何處ヲ見廻シテモ、破壞ノ跡物凄ク、屠殺所ト謂ハレタ位デアル。」ト砲員見習ノ Samuel Leech ガ記錄シテ居ル。色々凄慘ナ詳細ヲ述ベタル後、彼ハ猶次ノ如ク記錄ヲ續ケテ居ル。「我ガ乘員ハ虎ノ如クニ戰ツタ。或者ハ上衣ヲ、或者ハ上

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

衣ト「チヨッキ」ヲ引剝イダ。又更ニ思ヒ切リノヨイ者ハ襯衣マデ脫イデ、「ヅボン」ノ腰帶ニ「ハンケチ」ヲ結ビツケ英雄サナガラノ如クニ戰ツタ。」Hope 大尉ハ彈丸ノ爲ニ釣床カラ引キチギラレタ鐵輪ノ爲ニ負傷シタ。「彼ハ乘員ニ頑張ツテ戰ヘト叫ビツツ、下ヘ降ツテ行ツタ。負傷ノ箇所ニ繃帶ヲシテ貰ツテ、彼ハ又上ツテ來テ、聲ヲ張リ上ゲテ一生懸命デ戰ヘト叫ンダ。」此ノ大尉ハ訓練ノ强行ニカケテモ、又僅カナ罪科ニ對シテモ非常ニ苛酷デアツタ。ソコデ此ノ砲員見習ハ一寸止ツテ、若シモツト何カ大キナ物ガコノ小暴君ニ打チ當ツタラ、艦內ノ者ハ皆嘸喜ンダコトデアラウト述ベテ居ル。

10時15分 United States 號ガ半時間乃至45分間ニ亙ツテ有效ナル砲火ヲ浴セカケテ居タ時、Decatur ハ大檣高帆ヲ揚ゲ、「マセドニヤン」號ヲシテ接戰サセル樣ニシタ。然シ時既ニ遲ク、何等英軍ニトツテ利スル所無ク、英軍ニハ中甲板砲ダケシカ殘ツテ居ラズ、運動ヲ續ケレバ唯兵力ノ差ヲ增スバカリデアツタ。11時少シ過ギ「マセドニヤン」號ハ後檣ヲ射飛バサレテシマツタ。前檣及大檣ノ高檣モ檣帽ヲ射飛バサレ、下檣ハ破損サレ船體ニハ百彈以上ヲ受ケタ。最早帆ニヨツテ針路ハ保テナクナリ、「マセドニヤン」號ハ中甲板砲ヲ橫轉サセテ居タガ、一方 United States 號ハ帆ハ無ク後檣ノ高檣帆ダケヲ揚ゲテ居タガ、完全ニ針路ハ保タレテ居タ。

英軍ニハ最後ニ盲目滅法ナ死ニ物狂ヒノ機會ガ殘ツテ居ルダケデアツタ。ソレデ英軍ハ面舵一杯ヲ取ツテ米艦ニ突擊シヤウトシタ。Hope 大尉ハ後ニナツテ「當時各員悉ク甲板上ニ居タ。片腕ヲ失ヘル

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

モノモ數人居タ。各員口ヲ揃ヘテ“勝タズンバ死ネ”ト叫ンダ。ト記錄シテ居ル。然ルニ丁度ソノ時前檣桁旋廻索ガ射飛バサレ、帆桁ハ旋廻シテ船ヲ風上ニ進メテシマツタ。United States 號ハ敵艦ガ絶望的ナ情況ニアルノヲ見テ、修理ノ爲少シク退イタ。ソコデ不屈ノ「マセドニヤン」號ハ是ハ米艦ガ別ノ英艦ガ救助ノ爲來援スルノヲ見タ爲ダラウト勘違ヒヲシテ、最後ノ萬歳ヲ唱ヘタ。

米艦ハ正午引キ返シテ敵艦艦尾ヨリ離レテ位置ヲ占メタ。既ニ「マセドニヤン」號ノ後甲板上デハ會議ガ行ハレテ居タ。Hope 大尉ハ再度負傷シタガ、而モ今度ハ頭部ニ重傷ヲ負ヒ乍ラモ猶戰意ニ燃エ、「只敵艦ト刺シ違ヘアルノミ」ト主張シタ。然シ人命ヲ更ニ重ンジタ人々ノ意見ガ勝ツタ。

Carden ガ降服シテ敵將ガ舊友 Decatur ニ會ハネバナラヌコトヲ知ツタ時ニハ、嘸驚イタコトデアラウ。Carden ガ自分ノ劍ヲ提出シヤウトシタ時ニ、Decatur ハ「斯クマデ勇敢ニ自艦ヲ防ギシ勇士ノ劍ヲ受ケルコトハ出來ヌ。」ト言ツテ斷ツタ。猶モ義俠心ヲ振起シテ Decatur ハ英軍ノ士官ノ私有品ハ依然私有品トシテ取扱フ樣命ジタ。又 Madeira デ仕入レタ多量ノ葡萄酒ヲモ同樣ニ取扱ヒ、代價トシテ 800 弗ヲ彼等ニ與ヘタ。猶ソノ上 United States ノ艦上ニソノ直前マデノ敵ヲ引キ取ツテ居ル間、貴賓ニ對スル慰安歡迎ヲ與ヘル爲有ラユル手段ヲ盡シタ。

Decatur ノ幸運ハ此ノ捕獲ダケデハ終ラナカツタ。彼ハ其ノ戰利艦ヲ伴ツテ歸ラウト決心シタノデ、2 週間ヲ修理ニ費シタ。大西洋及米

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

國沿岸ニハ多數ノ英艦ガ散在シテ居ルノデ、本國マデノ長途ノ航海ニハ其ノ捕獲物ヲ取戻サレル危險ガ濃厚デアツタ。然シ1艘ノ英艦ニモ會ハズ、此ノ2艦ハ New London ニ到着シ、ソレカラ New York ヘ向ツタ。「マセドニヤン」號ハ修理ヲ加ヘラレ、再ビ艤裝ヲ施サレタ。ソシテ米國海軍ニ編入サレテ、爾後長年ニ渡リ名譽アル經歷ヲ積ンダ。

次表ハ此等2艦ノ比較兵力ヲ示ス。

	砲數	片舷彈量	乘員	戰死	負傷	合計
United States 號 …	55	786	478	5	7	12
Macedonian 號 …	49	547	292	36	68	104

速力ニ於テハ Macedonian 號ハ斷然優勢デアツタ (United States 號ノ綽名「老車力」ハ同艦ノ重々シイ足取リヲ暗示シテ居ル。是ハソノ後少シハ直サレタラシイ)。其ノ他ニ於テハ、何レノ點カラ見テモ United States 號ニ勝目ガアツタ。United States 號ノ方ガ大型デ、船體各部厚ク、乾舷高ク (荒天ノ場合重要)、砲ハ重ク數多ク、最後ニ乘員ハ優秀デアツタ。其ノ上 Decatur ハ Carden ヨリモ艦艇操縱術ニ於テ優レテ居タ。Macedonian 號ノ Captain Carden ト Constitution 號ノ Captain Hull トノ接戰法ヲ考ヘレバ、有益ナル比較ヲ見ルデアラウ。各戰鬪ノ初メニハ風上ノ利ヲ得タ。Hull ハ敵ガ下手廻ヲシタ時ニ偏逸シテ、敵ニ縱射ノ機會ヲ與ヘナカツタ。Hull ハ蛇行針路ヲ取リ、英艦ノ航跡ニ入ツテ敵ガ手向ヒスルマデニハ拳銃射程內ニ入ツテ居タ。Carden ハ頑强ニ風上ニ就カウトシタ。ソシテ彼ハ接敵運動

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

ニ専念シタ爲、不幸ニモ自艦ヲ敵ノ對角射撃ニ暴露シ、遂ニ接戰距離ニ到達シナイ中ニ實際的ニ負ケテシマツタ。

奇妙ニモ24听砲ト18听砲トノ優劣竝ニ各自艦ノ優秀性ハ此ノ戰爭ノ數箇月前 Carden ト Decatur トノ間ニ交ハサレタ。即チ當時兩艦トモ Chesapeake 灣ニ碇泊シテ居タノデ、兩艦長ハ各自ノ優越性ニ就テ議論シテ居タノデアル。

兵力ノ差異ハ彼是 Constitution 號ト Guerrière 號トノ差ニ同ジク、即チ3對2デアツタガ、損害ノ差異ハ殆ド1對9デアツタ。然シ David Hope ガ後年舊艦長 Carden ニ「英海軍中如何ナル艦ニ於テモ貴官ガ Macedonian 號ノ乘員ニ對シテ施シタ程砲術訓練ニ甚大ナル注意ヲ拂ハレタルコトナシ。」ト書キ送ツテ居ル。若シ是ガ眞實ナラバ、此ノ戰鬪ノ成果ハ Decatur ノ麾下ノ乘員ガ眞ニ優秀デアツタコトノ證據デアル。又恐ラク此ノ成果ハ Port Hudson ニ於テ Farragut ガ明言シタ「敵砲火ニ對スル最上ノ防禦ハ、我ガ砲ヨリ發セラルル優秀ナル射撃指揮下ノ砲火ナリ。」トイフ原則ヲモ實證シテ居ルモノデアル。此ノ捕獲事件ヲ論ジタ法外ナル討論ヤ、新聞論說ヲ讀ンデ見テモ、我ガ國ハ建國日淺ク、勝利ニハ慣レテ居ナカツタコトハ明カデアル。然シ Macedonian 號ノ大キサヤ、兵裝ヲ誇大視セズ、又 United States 號ノソレラヲ過小視シナクテモ、此ノ勝利ハ Constitution 號ノ勝利ト同樣、米海軍及米國史上著明ナル偉業デアツタ。

世界ノ第一流海軍國ハ、斯クシテ1艦ヲ喪失シタノデアルガ、ソノ「フリゲート」艦ニ就キ United States 號ノ一士官ハ Macedonian 號

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

ノ兵力ノ劣勢ヲ認メテハ居ルガ、進ンデ次ノ如クニ言ッテ居ル。

「然レドモ Macedonian 號ハ英軍ガ以テ有ユル單艦戰闘ニ於テ勝利ヲ得タリトスル艦ナリ。Macedonian 號ハ噸數、乘員、砲ニ於テ英軍ガ他ノ如何ナル艦ヨリモ依倚シ、又 Guerrière 號ノ喪失マデハ海上ニ存在スル如何ナル單甲板ノ艦トモ匹敵シ得ルモノト常ニ考ヘ來リシ艦ナリ。」

HP『海軍砲術学校』公開史料

第 8 章　一 勝 一 敗

◎Constitution 號ト Java 號

1812 年戰役ニ於テ、英國通商破壞ヲ目的ニ巡航ヲ命ゼラレタ第3次遣歐艦隊ハ、Captain W. Bainbridge ノ指揮下ニ置カレ、3隻ノ艦カラ編成サレテ居タ。即チ 44 門艦 Constitution 號ヲ旗艦トシ、32 門艦 Essex 號艦長 Captain D. Porter, 他ノ1隻ハ Commander J. Lawrence ヲ艦長トスル Hornet 號ト云フ 18 門「スループ」艦デアツタ。其ノ中ノ Hornet 號ト Constitution 號トハ、共ニ Boston ヲ 1812 年 10 月 26 日ニ出港シタガ、Essex 號ハ Delaware 河デ艤裝シテ居タタメニ遲レテ、同月 28 日漸ク出港スルヲ得タ。

此ノ小艦隊ノ受ケタ命令ハ、先ヅ Cape Verde Island ニ向ヒ、ソコデ給水ノ後、11.月 27 日迄ニ Fernando Noronha ト云フ Brazil 國海岸約 200 浬沖合ニ在ル島ニ向ヒ、更ニソコカラ海岸傳ヒニ Rio de Janeiro ニ向カフベシトイフノデアツタ。Rio de Janeiro カラ後ノ針路ハ南大西洋ヲ横斷シテ St. Helena 附近ニ向ケル事ニナツテヰタ。此處ハ本國ヘ歸ル英國ノ東印度通ヒノ船舶ガ屢寄港スル港デアツタ。然シ以上ノ計畫ハ遂ニ決行サレナカツタ。

先ヅ第一ニ Essex 號ハ Porter ガ『我ガ海軍ニ於ケル第一等ノボロ「フリゲート」艦』ト折紙ヲツケタ程デ、速力遲ク僚艦2隻ニ追隨スル事ガ出來ズ、後レテ Fernando ニ到着シタ時ニハ、Constitution 號モ Hornet 號モ既ニ Bahia ヘ行ツテ了ツタ後デアツタ。然シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Bainbridge ハ Porter ニ Rio ヘ向フベシトイフ命令ヲ遺シテ置イタ。處ガ Rio ニ來テ見ルト、此處ニモ司令官ノ影モ見エナイノデ、Porter ハ獨斷的ニ計畫シテ、例ノ有名ナ太平洋漂浪巡航ヲ開始シタノデアル。他方 Constitution 號ハ Java ヲ相手ニ、Hornet 號ハ Peacock 號ヲ相手トシテ交戰シ、ソノタメ止ムナク兩艦ハ計畫サレテヰタ巡航ヲ取止メテ、米本國ヘ引返シタ。

12月13日 Constitution 號ト Hornet 號トハ Bahia ニ到着、ソコニ英國ノ「スループ」艦 Bonne Citoyenne 號ガ多量ノ香料ヲ積載シテ碇泊シテヰルノヲ發見シタ。米兩艦ハ英艦ヲ暫時封鎖シタ。ソノ間ニ Lawrence ハ英艦長ニ對シテ Bainbridge ハ決シテ之ニ手ヲ出サナイトイフ誓言ノ下ニ、自艦トノ一騎打ヲ挑戰シタ。然シ英國側ハ誓言通リニ默シテ拱手傍觀スルヤウナ事ハ信ゼラレナイトイフ事ヲ理由ニ、此ノ挑戰ヲ拒否シタ。ソコデ Bainbridge ハ Bonne Citoyenne 號ヲ誘キ出シテ Hornet 號ト一戰交ヘサセタイト思ツテ、終ニソノ月ノ 26 日港ヲ出テ行ツタ。

出港シタ Bainbridge ハ 29 日ノ朝 9 時北東ニ方ツテ 2 隻ノ艦ヲ發見シタ。之ハ英國ノ「フリゲート」艦 Java 號ト米國カラ捕拿シタ船 1 隻トデアル事ガ分ツタ。英國側デハコノ米國「フリゲート」艦 Constitution ヲ見ツケルヤ、同伴ノ捕拿船ヲ Bahia ヘ向ハシメ、自カラハ此ノ米艦ニ追ヒ付カント滿帆ヲ揭ゲテ之ニ向ツタ。Captain Bainbridge ハ是ニ應ヘテ變針南東ニ向ツテ相手方ヲ中立領海外ノ安全ナ距離マデ誘ヒ出サントシタ。Java 號ハ 10 節ノ速力デ之ニ向ツテ來テ急速

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ Constitution 號ヲ追ヒカケ、1時30分頃ニ至ツテ Bainbridge ハ自艦ヲ回頭シ、縮帆シテ敵艦ニ向ツタ。Java 號ハ此ノ時遲滯シテ相手ヲ縱射スル機會ヲ待ツタ。スルト Constitution 號ハ變針シ、南東ノ針路ニ復シテ之ヲ避ケタ。半時間ノ後、Java 號ヲ半浬ノ風上ニ見テ、Bainbridge ハ敵艦ニ其ノ軍艦旗ヲ揭揚セシメンガタメ、其ノ前方ニ發砲シタ。ソレニ應ジテ敵ハ直ニ軍艦旗ヲ斜桁ニ揭ゲ、續イテ片舷齊射ヲ行ヒ、此處ニ愈戰ノ火蓋ガ切ラレタ。

此ノ戰鬪ノ初期ハ、Java 號ガ縱射ノ位置ヲ占メントシテ行ツタ運動ト、之ヲ避ケントシテ Constitution 號ガ同時ニ行ツタ回頭ト、是ニ伴フ兩艦ノ激シイ砲擊ガ行ハレタ。Java 號ハ Constitution 號ニ比シテ優秀ナ帆走船デアツタガタメニ、Bainbridge ハ同艦ノ行動ニ追隨スルノニ手一杯デアツタ。殊ニ2時30分 Java 號カラ圓彈ガ飛ンデ來テ Constitution 號ノ舵輪ヲ打チ碎イテ後ハ、2甲板下ニアル應急裝置ニ依ツテ操舵ヲセネバナラナクナツタノデ、益苦戰トナツタ。此ノ戰鬪開始後間モナク、司令官 Bainbridge ハ腰ニ小銃彈ヲ受ケテ居リ、今マタ自艦ノ舵輪ヲ粉碎シタ彈丸ノタメニ、螺釘ヲ其ノ大腿部ニ打込ンダ。此ノ痛マシイ負傷ニモメゲズ、彼ハ戰ノ終ルマデ甲板ニ頑張ツタ。

舵輪ヲ粉碎サレテ間モナク、彼ハ縱射サレル危險ヲ冒シテ迄敵艦ニ肉薄セント決シ、敵ノ風上ニ出タ。然シ何ウシタコトカ、Java 號ハ Constitution 號ノ後方ヲ過ギル時縱射ノ機會ヲ逸シテ了ツタ。即チ9「ポンド」砲ヲ1門發射シタダケデアツタ。ソレカラ風上ニ變針シテ

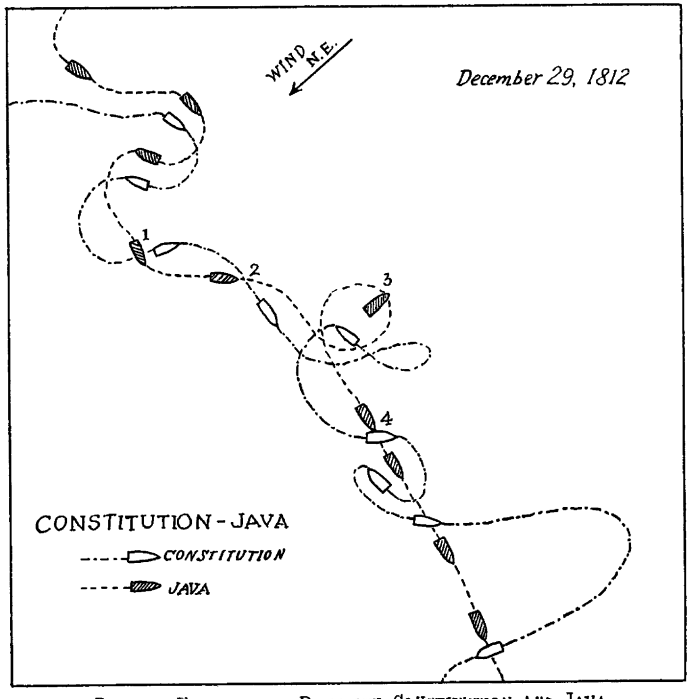
http://navgunschl.sakura.ne.jp/

再ビ Constitution 號ノ通ツタ後方ヲ横切ツテ半縦射砲撃ヲ浴ビセタノデアルガ、距離ノ加減デ有効デハナカツタ。スルト Bainbridge ハ此ノ輕快ナ敵艦ニ肉薄セントシテ針路ヲ定メ、再ビ風上ニ出タ。此ノ時 Java 號ハ第1斜檣ノ先端ヲ船首三角帆及第2斜檣ト共ニ敵彈ノタメニ打チトラレタ。ソシテ此ノ船首ノ帆ヲ急ニ失ツタタメニ、船ハ風上ノ方ニ船首ヲ向ケテシマヒ、暫時如何トモスル術モナク、其ノ儘トナツテヰタ。スルト Constitution 號ハ直ニ下手廻シヲシテ Java 號ノ船跡ヲ横切ツテ之ヲ縦射シ、大ニ効ヲ收メタ。米艦ハ再度下手廻シヲ行ツタ。スルト英艦ハ相手ノ船ニ横付ケシテ、敵船闖入ニヨリ敗北ヲ免カレヤウト試ミタ。ケレドモ此ノ運動ノ當初ニ前檣ヲ失ヒ、僅ニ第1斜檣ノ根元ヲ Constitution 號ノ後檣ノ支檣索ノ中ニ突込ミ得タダケデアツタ。

此ノ時以後 Java 號ハ勇敢ニ防禦ヲ持續ハシタガ、最早精根ツキタ態デアツタ。Constitution 號ハ Java 號ノ周圍ヲ廻リナガラ、正確ナ近距離砲撃ヲ浴ビセ、大檣ヲ除イテ他ノ檣ヤ桁、或ハ圓材ハ悉ク打チ落シ、其ノ大檣モ降服數刻前ニハ海中ニ倒レ落チタノデアツタ。

此ノ間ニ米艦ノ砲員等ハ Java 號ノ甲板ニ斜砲撃ヲ加ヘ、且檣樓カラハ海兵ガ必殺ノ猛射ヲ以テ之ヲ援助シタ。彼我兩艦ガ接觸シテ間モナク、Lambert 大佐ガ致命傷ヲ受ケタノハ、實ニ彼等ノ小銃カラ發シタ一彈ニ依ツタノデアル。彼ノ戰死後指揮ハ一番分隊長 Chads ニ移ツタガ、彼ハ此ノ絶望ノ戰ヲ元氣ニ續ケタ。

4時過ギルコト5分ニ Java 號カラノ砲撃ハ ピタリト止ミ、檣ノ影



Plan of Engagement Between Constitution And Java

HP『海軍砲術学校』公開史料

モナク、單ナル船體トナツテ海上ヲ搖レテヰタ。ソシテ其ノ甲板ハ落チタ圓材ヤ帆ヤ支索等ガ山積シテヰタ。軍艦旗ヲ揚グテヰナイノデ、Captain Bainbridge ハ降服シタモノト考ヘタ。ソコデ自艦ヲ風下ニ變針シテ、散々切斷サレタ索具ヲ修理セント ソノ場カラ離レタガ、5時30分頃再ビ元ノ處ニ歸ツテ 見ルト、敵ハ軍艦旗ヲ 靡カセテヰタ。然シ其ノ船首ニ Constitution 號ガ近ヅキ縱射ノ姿勢ヲ取ルヤ、直ニ旗ヲ下シテ降服シタ。

Constitution 號ハ其ノ備砲ノ總威力ニ於テ、Java 號ニ對シテ、丁度前 Guerrière 號ニ對シタト略同程度ニ優勢デアツタ。然シ Guerrière 號トノ戰鬪ニ於ケルト同樣、兩艦ノ被害程度ヲ比較シテ見ルト、其ノ兵裝ニ全然正比例シテヰナカツタ。Java 號ハ其ノ優勢ナ速力ニ可ナリノ有利ナ一點ヲ有シテ居タ事モ亦記憶シナケレバナラナイ。此ノ英「フリゲート」艦ハ徹底的ニ砲撃ヲ受ケタタメニ、Bainbridge ハ之ヲ擊沈スルヨリ外ニ仕方ガナカツタ。是ニ反シテ Constitution 號ハ修理モセズ、米本國マデノ長航海ニ堪ヘ得ル狀態ニ在ツタ。此ノ戰鬪ニ於テ米國側ノ被ツタ損失ハ、死者9名、傷者25名、致命傷者3名デアツタ。英國側ノ死傷ハ Chads ノ報告書ニ依ルト死者22名、傷者102名デアツタ。

Captain Lambert ハ 1804年猛裂ナ近接戰鬪ニ於テ、自艦ノ 99「ポンド」ノ側砲ヲ以テ佛國ノ 240「ポンド」ノ側砲ヲ有スル艦ニ對抗シ、之ヲ擊退シテ 名ヲ現ハシタ。然シ此ノ時ノ彼ノ部下ハ砲術ノ「氣違ヒ」トシテ知ラレテヰタ一艦長ノ下ニ訓練サレタ連中デアツタノデ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

Lambert ハ此ノ前任艦長ノ仕事カラ利益ヲ受ケタノデアル。即チ彼ハ Java 號ノ艦長ヲ勤メタ6週間ニ唯1度ノ射撃訓練ヲ行ツタダケデ、ソレモ空放デアツタ。運用術ニカケテハ、多分彼ニ敵スル者ハナカツタデアラウ、ソレハ此ノ時ノ Java 號ノ操縦振リニ依ツテ分ルコトデアル。然シ他ノ士官ノ御多分ニモレズ、彼モ亦砲術ニハアマリ興味ヲ有ツテ居ナカツタ。戰鬪ガ進行スルニツレテ、Java 號ノ砲撃ハ狂ヒ勝チトナツテ來、是ニ反シテ Constitution 號ノ砲撃ハ着々ト良クナツテ行ツタ。

米國側ノ負傷者中ニ Lieutenant Alwyn ガ居タガ、彼ハ Guerrière 號トノ戰鬪ニ於テ肩ニ貫通銃創ヲ受ケテ居タ。Java 號ノ斜檣ガ Constitution 號ノ大檣支索ニ引掛カツテ敵艦突入ノ令ガ下サルルヤ、彼ハ眞先ニ立ツテ釣床格納所ノ上ニ跳ビ上ツタ。其ノ時、以前負傷シテ居タ肩ニ貫通銃創ヲ負ツタ。非常ナ痛手デアツタニモ拘ラズ、彼ハ敵ガ降服スルマデ、克ク其ノ部署ヲ守リ通シテ米國ヘノ歸航ノ途中遂ニ世ヲ去ツタ。

Constitution 號ハ戰終ツテ Bahia ニ入港シタガ、ソコデ Bainbridge 司令官ハ自身モ重傷ノ身デ瀕死ノ Lambert ト會見シテ、當時ノ厚イ儀禮ヲ以テ此ノ敵將ノ佩劍ヲ返シ、同時ニ快復ヲ祈ルトノ厚イ言葉ヲ述ベタノデアツタ。當時 Java 號ニ乘艦シテヰタ Hyslop 將軍カラ Bainbridge ニ送ツタ手紙ガ數通アルガ、ソレニ依ツテ如何ニ此ノ戰勝ノ司令官ガ武士道的ナ行爲ニ對シテ感謝ノ念ヲ持ツテ居タカガ分ル。後ニ至ツテ Hyslop 將軍ハ Bainbridge ニ感謝ノ印ニトテ黃金造リノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ一振贈ツタ。

Java 號トノ此ノ戰鬪ニ就テ、Mahan 提督ハ次ノ樣ニ述ベテ居ル。

「此ノ海戰ハ Constitution 號ト Guerrière 號又ハ Wasp 號ト Frolic 號トノ間ニ夫々行ハレタ海戰ノ樣ニ、單ナル砲擊戰デハナカツタ。又 United States 號ト Macedonian 號トノ戰鬪ニ見ル樣ニ、艦ノ操縱ガ砲擊ニ決定的ナ効果ヲ與ヘテ、戰鬪ヲ勝利ニ導ク程ノ重大ナ役割ヲ演ジタ戰デモナカツタ。ツマリ此ノ戰鬪ニ於テハ、上述ノ二ノ素因、即チ砲擊ト艦ノ運動トノ結合サレタモノデアツタ。ソレハ恰モ擊劍或ハ拳鬪ニ於テ試合ヲスル者ガ、試合場ヲ縱橫ニ馳ケメグリ、前進後退秘術ヲツクシテ渡リ合フニモ似タ運動ノ連續デアリ、此ニ伴ツテ其ノ一騎打ノ突擊ヤ打擊ニ應ヘテ、砲擊ガ絕エズ行ハレタ。」

此ノ勝利ニ就テ一言云ヒ添ヘネバナラナイト思ハレルコトハ、ソレガ Bainbridge 司令官ニトツテ個人的意義ヲ有スルコトデアル。彼ガ優秀ナ士官デアツタ事ハ萬人ノ認メルトコロデアルガ、此ノ時マデノ彼ノ海軍士官トシテノ經歷ハ、指揮官トシテ最モ苦シイ不幸ガソコニ印セラレテヰタノデアル。即チ彼ハ佛國トノ戰爭ニ於テ優勢ナル敵ニ敗レテ捕ハレノ身トナリ、彼ノ乘艦ガ敵ノ三色旗ニ對シテ降服シタ唯一ノ米國軍艦デアツタ事ガ腦裡ヲ去ラナイデ、非常ニ思ヒ惱ンデヰタ。ソノ後再ビ指揮官トシテ立ツヤ、間モナク Algiers ノ太守ノタメニ米國海軍士官トシテ到底耐ヘラレナイ侮辱ヲ受ケタノデアル。即チ Tripoli トノ戰ニ於テ、米國ニトツテ最モ大キナ痛手ハ、彼ノ乘艦 Philadelphia 號ヲ失ツタ事デアツタ。彼ノ同僚士官達ハ夫々勳功ヲ樹

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

刀テ賞讃ヲ博シタノデアツタノニ對シテ、彼自身ハ捕ハレノ身デアツタ。鋭イ批評ノ的トナツタ事一再デナカツタ。彼ノ部下デサヘ、以前 Hull ノ下ニアツテ Broke 艦隊ノ攻撃カラ逃レ最近 Guerrière 號ヲ打破シタ連中デアツタノデ、新シク自分達ノ指揮者トナツタ Bainbridge ニ對シテハ、殆ド信賴ノ念ヲ抱イテヰナイ樣ニ見エタ。ソレハ軍紀違反ノカドデ、盛ニ懲罰ヲ被ツテヰルトコロカラ見テモ分ルコトデアル。斯樣ナ凡テノ批難ト不信ニ對シテ、Java 號トノ戰鬪ニ於ケル Bainbridge ノ奮鬪ハ充分ナル答辨トナツタノデアル。

◎Chesapeake 號ト Shannon 號

司令官 Bainbridge ガ Hornet 號ヲ後ニ殘シテ去リ、之ニ Bonne Citoyenne 號ノ單獨封鎖ヲサセタニモ拘ラズ、英國「スループ」艦艦長 Greene 大佐ハ、Lawrence トノ一騎打ノ挑戰ヲ拒否シタ。是ヲ Lawrence ハ卑法ナリト考ヘ、又ソレヲ遠慮ナク口ニモ出シタ。英艦長 Greene ニ對スル此ノ時ノ彼ノ憤激ガ、6箇月後位置全ク轉倒シテ、彼ガ Chesapeake 艦長トシテ 英艦 Shannon ニ單獨封鎖サレタトキニ、彼ヲ非運ニ終ラシメタノデアル。

Lawrence ハ Bonne Citoyenne 號ヲ封鎖シテ居タ時、一戰列艦ノ出現ニヨリ急ニソノ關係ハ絶タレ、而モソノ爲ニ追ハレテ港ニ逃ゲ込ンダガ、然シ直グ夜陰ニ乘ジテ出港シ、此ノ新手ノ敵カラ逃レテ北方ヘ向ツタ。此ノ巡航中ニ、彼ノ有名ナ「スループ」艦 Peacock 號拿捕ガ行ハレタノデアル。145日間ノ巡航ノ後、1813年3月24日ニ New

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

York ニ到着、捕虜ヲ放免シタノデアルガ、此ノ巡航中ニ三檣帆船1隻、「ブリッグ」船2隻、「スクーナ」船1隻、軍艦1隻ヲ捕獲シテ居ル。是ハ他ノ士官ノ追隨ヲ許サナイ立派ナ「レコード」デアツタ。

Lawrence ハ既ニ全海軍ノ人氣ヲ一身ニ集メ、一躍國民ノ崇敬ノ的トナツテヰタ。彼ハ依然續ケテ「スループ」艦 Hornet 號ノ艦長デ居タイト願ツテヰタケレドモ、此ノ頃ニハスデニ進級シテヰテ、ソノ階級ノ關係上ソレハ許サレズ、海軍省ハ彼ヲ「フリゲート」艦 Chesapeake ノ艦長ニ補シタ。此ノ艦ハ當時 Boston ノ海軍工廠ニ於テ修理中デアツタ。Lawrence ニスレバ Constitution 號ノ方ニ行キタカツタデアラウガ、命令ハ動カス事ハ出來ズ、1813年5月20日 Chesapeake 艦長ニ就任シタ。

Lawrence ハ出來ルダケ早ク機ヲ見テ出港シ、北進シテ Banks ニ於ケル英國ノ漁場ヲ攻撃スル命ヲ受ケテヰタ。此ノ巡航ノ途中 Cape Breton デ Hornet 號ヲ指揮スル Biddle 中佐ニ會ヒ、2隻合シテ通商破壞巡航ニ活躍スルコトニナツテ居タ。開戰當初暫クハ、英國海軍省ハ New England ノ海岸ニハ手ヲツケテヰナカツタ。ソレハ其ノ地方ニ反戰氣分ヲ唆ル爲デアツタガ、1813年ノ春ニハ此ノ方針ヲ棄テ、New York カラ Nova Scotia マデノ封鎖ヲ開始シテ居タ。4月初旬 Shannon 號及 Tenedos 號ハ Boston Light 沖ニ現ハレ、天候狀態ノ許ス限リ近接封鎖ヲ維持シタ。Lawrence ノ到着直前「フリゲート」艦 President 號及 Congress 號ハ修理中ノ Constitution 號ト殆ド出航用意ノナツタ Chesapeake 號トヲ後ニ殘シテ、霞ノ中ヲ封鎖ヲ突破シテ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

逃レタ。

着任ト同時ニ、Lawrence ハ海軍省ニ Chesapeake 號ハ「出港用意ナレリ」ト認ム、唯乗員ト糧食トニ多少不足アリト報告シタ。ソレカラ10日後ノ5月30日、彼ハ Long Wharf ヲ離レテ Roads マデ出タ。「ソノ意圖ハ 2, 3 日其處ニ碇泊シテ、出港前ノ休養ヲトル事ニアツタ」。翌日ノ午後 Boston デ友人ト會食中、英國ノ「フリゲート」艦唯1隻港外ニ見エルトノ報告ガ來テ、彼ハ直ニ歸艦シ、戰鬪準備ニカカツタ。翌朝、即チ 1813年6月1日午前8時ト9時トノ間ニ件ノ英「フリゲート」艦ガ再ビ發見サレタノデ、Lawrence ハ出カケテ之ト應戰スル準備ヲ直ニ行ツタ。問題ノ英艦ハ、38門「フリゲート」艦 Shannon 號デアツタ。Lawrence ガ私カニ錨地ヲ去ラント準備中、Shannon 艦長 Captain Philip B. V. Broke ハタマタマ「何處ニテモ貴下ニトツテ最モ好都合ノ場所ニテ」單艦戰鬪ヲ誘フ長文ノ然シ慇懃ナ挑戰狀ヲ Lawrence ニ宛テテ書イテヰタ。此ノ挑戰狀ハ放免シタ1名ノ捕虜ニ持タセテヤツタノデアルガ、ソレガ Boston ニ着イタ頃ニハ、既ニ Chesapeake ハ戰ニ敗レテ Halifax ヘ向フ途中デアツタ。

此ノ米艦長ハ敵ノ通商ノ行ハレル地方ヲ何處カ撰ンデ之ヲ攻擊スル樣命ヲ受ケテヰタノデアルガ、然シ Bonne Citoyenne ノ事ガ未ダ記憶ニ鮮ヤカニ殘ツテヰタノデ、單艦戰鬪ノ此ノ好機會ニ直面シテハ、一時モ躊躇出來ナイ彼デアツタ。單艦デ以テ此ノ封鎖ヲ維持セネバナラナイト云フ事ダケデモ、錨ヲ上ゲ帆ヲ張リ次第、出カケ度クナルニ充分デアツタ。Chesapeake ハ然シ海戰ニ習熟シタ敵ニ對抗スルニハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

最良ノ狀態ニハナカツタ。即チ部下ノ一番分隊長 Octavius Page ハ肺ヲ病ツテ陸上ノ病院ニ入院シテヰテ、戰後 2, 3 日シテ 病院デ亡クナリ、他ノ2人ノ士官ハ休暇ヲトツテ上陸中デアツタリシテ、ソノ爲ニ當時僅カ 31 歳ノ Ludlow 大尉ハ一番分隊長 トナリ、候補生 Cox ト Ballard 2 名ハ大尉心得トナツタ。彼等ハソノ任務及部下ニ對シテ不慣レデアルシ、乘員モ亦未ダ統制サレズ、訓練モ不充分デアツタ。

是ニ對シテ、ソノ相手方ノ Shannon 號ハト云ヘバ、乘員ハ老練デアリ、中ニハ Rodney ヤ Nelson ノ如キ名提督ノ下ニ嘗テ戰ツタモノモアリ、同一艦ニ於テ同一艦長ノ下ニ約7年間訓練ヲ受ケタ連中デアツタ。其ノ艦長ハ Lawrence ヨリ僅カ5年丈ノ年長者デアツタガ、候補生時代カラズツト現役ニアツタ人、又有名ナ St. Vincent ノ戰ニ於テハ大尉デアリ、25 歳ニシテ Post Captain トナツタ人デアル。

1806 年ニ彼ハ Shannon 號ノ艦長ニ補セラレ、ソシテ間モナク「立派ナ」艦トシテ有名ナモノニシタ。大部分ノ英國士官ガ Nelson ニ做ツテ、砲ノ照星ニ對シテ 悔蔑的言辭ヲ吐イテ居タ當時ニアツテ、彼 Broke ハ自費ヲ投ジテ 自艦ノ砲ニ1門殘ラズ照星ト射角器トヲ取リ付ケタ。各砲ノ後方甲板上ニ圓弧ヲ彫リツケ、之ニ度盛ヲツケ燒イタ鉛ノ粉末ヲ之ニツメ、之デ以テ片舷ノ一齊砲火ヲ悉ク同一目標ニ正確ニ集中スル事ガ出來ルヤウニトノ爲デアツタ。此ノ工夫ハ決シテ無駄デハナカツタ。毎週土曜日曜ヲ除イテ其ノ他ノ日ハ、毎日2回非番直ヲ砲ニツカセ、「サイド・テイクル」ヲ用ヒテ大砲ノ操縱訓練ノ他ニ 3, 4 百「ヤード」ノ海面ニ樽ヲ浮ベテ、之ニ對シテ實彈射擊ノ訓練ヲモ行ツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。

開戦當時、Broke ハ英國遣米艦隊ノ先任士官デアツタ。戰爭ノ早期ニ於テ、敵艦 Constitution 號ヲ回收シテ之ヲ Halifax ヘ連行スル爲ニ、自艦 Shannon 號カラ拿捕艦回航員ノ派遣ヲ命ジテ置イタノデ、大丈夫デアルト思ツテヰタ矢先、密カニ逃ゲラレタノヲ見テ、無念ノ涙ヲ飲ンダ。是ニ續イテ Guerrière 號、Macedonian 號、Frolic 號、Java 號竝ニ Peacock 號等ノ諸艦ガ捕獲サレテ、而モ其ノ際英國側ハ其ノ復讐ヲ幾度カ試ミタケレドモ、一度モ成功ヲ見ナカツタ。彼ハ自艦ト其ノ乘員トニ多大ノ信賴ヲ抱イテ居タノデ、Boston 封鎖ニ參加シテ居タ Tenedos 號ヲ他處ヘ移シタ。ソレハ Chesapeake 號ト單艦戰鬪ヲ行ヒ、之ヲ破ツテ英國海軍ノ威信ヲ回復センガ爲デアツタ。

彼ノ敵手 James Lawrence ハ此ノ時 32 歲ノ壯年、1812 年戰役ニ戰ツタ海ノ英雄ノ大抵ノ人達ガソウデアツタヤウニ、彼モ亦候補生トシテ 1798 年佛國トノ開戰當時海軍ニ入ツタノデアツタ。ソシテ最初ノ海軍敎育ヲ Ganges 號ニ於テ Tingey 大佐ノ下ニ受ケタ。彼ハ Tripoli ノ戰ニ於テ名ヲ表ハシ、特ニ Philadelphia 號燒却事件ニ於テハ、Decatur ヲ助ケテ活躍シタ。ソノ後ハ Peacock 號捕獲ニ輝ヤカシイ武勳ヲ立テ、大ニ名聲ヲ博シタ。美丈夫デアリ、慓悍ナ、ソシテ人ヲ惹キツケル性質ヲ有ツタ人デ、恐ラク彼ハ Decatur ヲ措イテハ、米國全海軍ニ於ケル最モ浪漫的ナ人物ト云ヘヤウ。

Shannon 號相手ニ戰ハンタメ拔錨セントスルニ當ツテ、Lawrence ハ乘員ヲ後甲板ニ集メ、例ノ如ク戰鬪前ノ憂國的訓示ヲ行ツタ。ソレ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ガ終ルト、2名ノモノガ前ニ進ミ出デ、當然給與サレル事ニナツテ居テ長イ間未濟ノママニナツテ居タ捕獲賞金ヲ請求シタ。ソコデ Lawrence ハ此ノ2名ノ者ヲ主計官ノ許ヘ小切手ヲ受取リニヤツテ、ソレカラ自分ハ室ニ退イテ妻トソウシテ海軍長官ヘ宛テテ最後ノ手紙ヲ認メタ。

正午頃ニハ已ニ Chesapeake號ハ Shannon 號ヘ向ケテ進航シテ居タ。Broke ハ Lawrence ガ愈決戰ノ意志アリト知ツテ、先キニ沖合ヘ出カケ、暫ク行ツタ處デ停船シテ彼ノ到來ヲ待ツタ。英艦ノ方デハ別ニ運動スルデモナク、Lawrence ノ攻撃ノ出方ニ任セタ。又米艦側トシテハ Shannon 號ノ後方カラ縱射ノ位置ヲ占メル機會ヲ拒否シテ船首ヲ風上ニ向ケテ竝航ノ位置ヲトリ、「桁端相接シテ」戰フ戰法ニ出タ。

5時50分 Chesapeake 號ノ艦首ガ Shannon 號ノ右舷艦尾ニ廻ツタ時ニ、英艦ノ砲員ハソノ初彈ヲ放ツタ。Shannon 號ノ各砲ガ一齊ニ Chesapeake 號メガケテ向ケラレルヤ發砲ガ令セラレ、ソシテ迅速ニ再ビ裝塡セラレ、再度發砲セラレタ。近接シテ居タノデ、ソノ効果ハ強大ナモノデアツタ。然シ米艦砲員モサルモノ、敏捷ニ之ニ應戰シテ5, 6分ノ間兩艦ハ竝航シツツ約50「ヤード」ノ距離デオ互ニ相手ヲ砲撃シテ居タ。

然シ Lawrence ハアヤマツテ進航シ過ギテ居タ。ソシテ此ノ儘デアルト、ヤガテ遠ク離レ過ギテシマフト氣ガツイタ。ソレデ彼ハ艦首ヲ風上ヘ向ケヤウトシタ。然シ其ノ帆ガ敵艦ノ帆ノ風ヲ奪ツタ爲ニ益進

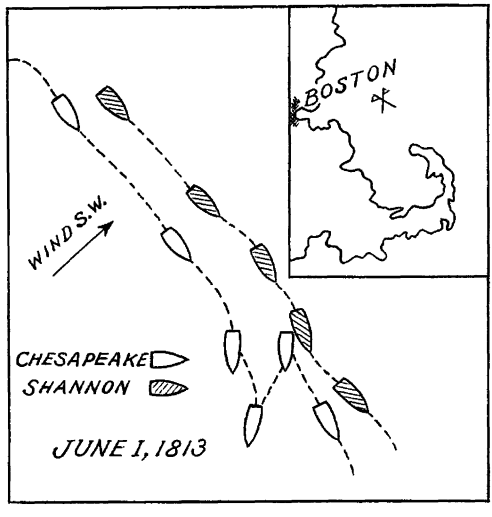
http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

行シテ、遂ニ其ノ爲ニ敵艦 Shannon 號ノ風上艦首マデ來タ。此ノ危機ニ艦ノ運命ヲ雙肩ニ荷ツテヰル主要人物２人マデガ戰闘不能ノ狀態トナツタ。即チ Lawrence ハ傷キ航海長ハ戰死シタノデアツタ。ソレカラ矢繼ギ早ニ色々ナ災害ヲ被ツタ。前檣上檣帆揚用絞轆索ガ敵彈ノ爲ニ切斷サレ、其ノ爲ニ桁ガ落チ、ソノ結果前檣帆ハ用ヲナサナクナツタ。ソレト同時ニ舵輪ハ使用不能トナリ、ソシテ後檣斜桁帆ノ絞索ト船首三角帆ノ下隅索モ砲彈ノ爲ニ切斷サレタ。ソレコレノ結果、Chesapeake 號ハ前方部ノ帆ヲ全部失ツタ爲ト、舵輪ガ使用不能トナツタ爲トデ、艦首ヲ風上ニ向ケテ了ツタ。ソウシテ想像モツカナイ程ノ危險狀態ニアツテ、而モ如何トモ手ノ下シヤウガナカツタ。即チ艦尾ヲ僅カ 70「ヤード」バカリ離レテ敵艦ノ側砲ニ曝露シテヰタノデアル。Shannon 號ハ此ノ有利ナ機會ヲ逸速ク摑ンデ、猛烈ナ斜擊ヲ Chesapeake 號ニ浴ビセカケタ。此ノ恐慌ニ加ヘテ、是ト殆ド時ヲ同ジウシテ Shannon 號ノ大檣桁カラ投ゲタ手榴彈ガ、Chesapeake 號甲板上ノ兵器箱ヲ爆破シタ。

Chesapeake 號ハ今ヤ後進シツツアリ、ヤガテ Shannon 號ニ衝突スルモノト見テ、Lawrence ハ敵艦闖入員ノ召集ヲ令シヤウトシタガ、之ヲ傳ヘル役目ノ黑人喇叭手ガ恐怖ノ餘リ何レヘカ身ヲカクシテ姿ヲ見セナイデ、致シ方モナク漸ヤクノ事デ口頭傳令ガ行ハレタ。Lawrence ハ兩艦ガ接觸スル直前、二度目ノ、而モ致命的ノ傷ヲ負ツテ下ヘ運バレタ。Java 號ニ於ケル Lambert ト同樣、彼モ亦敵ノ海兵ノ一人ニ狙ヒ擊チサレタノデアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



THE CHESAPEAKE AND THE SHANNON

HP『海軍砲術学校』公開史料

Chesapeake 號ノ艦尾ガ Shannon 號ノ舷側ノ鐵帶ニ引掛ツタ時、英軍側デハ兩艦ヲ括リツケテシマツタ。ソシテ直ニ米艦ニ闖入シテ、之ヲ捕獲セント準備シタ。其ノ間 Chesapeake 號ノ乘員ハ Lawrence ノ命ニ應ジテ敵艦闖入ノ爲直ニ集マツタノデアルガ、之ガ1人ノ指揮者モ居ナカツタ。Lawrence ハ下ニ運バレ、收材甲板ニ居タ士官中、一番分隊長、航海長、海兵大尉及掌帆長ハ既ニ夫々致命傷ヲ負ツテ居テ、殘ルハ僅カ數名ノ候補生デアツタ。

二番分隊長ハ砲甲板ノ先端ニアツテ、後甲板ノ此ノ樣子ヲ全然知ラナカツタ。四番分隊長ハ最初ノ砲撃ヲ受ケタ時ニ、既ニ致命傷ヲ負ツテ居リ、三番分隊長ハ敵艦闖入員整列ノ命令ヲ聞イテ、部下ヲ率キ上甲板ニ出タガ、傷イタ艦長ヲ見テ之ヲ助ケテ下ニ降リ、再ビトツテ返シタ時ニハ、已ニ敵ノ闖入員ノ爲ニ昇降口ガ閉鎖サレテヰタ。

乘員ハ1人ノ指揮者モナク見放サレタ貌デアリ、又近接シテ亂射ヲウケテ既ニ氣モ挫ケテヰタ爲ニ、英軍ノ闖入員ニ抵抗シヤウトシテモ無益ノ業デアツタ。多數ノモノハ秩序ヲ亂シテ、船艙ノ中ヘ逃ゲ込ンデシマツタ。海兵ハ然シナガラ軍曹ノ指揮ノ下ニ勇敢ニ防戰シタ。總勢44名ノ中、12名戰死シ、20名ガ負傷シタ。

Broke 艦長竝ニ其ノ部下ノモノガ Chesapeake 號ノ後甲板ニ闖入シタ直後、同艦ハ充分ニ風下ニ轉ジテ風ヲ受ケルヤウニナツタ。兩艦ヲ括リツケタ索ハハヅレテ、Chesapeake 號ハ敵ノ闖入者ヲ乘セタママ離レテ行ツタ。米軍側ニトツテ是ハ戰運ヲ盛リ返スノニ絕好ノ機會デアツタノデアルガ、恐慌ヲ來シテヰル乘員ヲ呼集シ指揮スル士官ガヰ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

ナカツタ。前甲板ヲ死守奮戦之努メテ居タ二番分隊長 Budd ハ二度ノ重傷ヲ負ヒ、下ニ倒レ落チテ居タ。數分後ニハ最後ノ防衛モ力ツキ、遂ニ斷念サレタ。

此ノ前甲板ノ白兵戦ニ於テ、Captain Broke 自身モ頭部ニ刀傷ヲ受ケタガ、之ハ致命傷ニ近イモノトナリ、ソノ爲ニソノ後ハ終生再起不可能トナツタ。一方彼ノ一番分隊長デアツタ Watts ハ誤ツテ落命シタ。即チ彼ハ Chesapeake 號ニ闖入シテ間モナク、同艦ノ軍艦旗ヲ降シテ英國軍艦旗ヲ之ニ代ヘテ掲揚セントシタ際、興奮ノ餘リ自國軍艦旗ヲ米國軍艦旗ノ上ニスベキトコロヲ、ソノ下方ノトコロデ止メテシマツタノデアル。Shannon 號ノ乗員ハ是ヲ見テ、米軍側ガ再ビ後甲板ヲ奪回シタモノト思ヒ、主甲板ノ大砲ヲ1門發砲シ、ソノ爲味方ノ Watts ト 4, 5 名ノ彼ノ部下トヲ殺シテ了ツタ。

開戦第1彈ガ放タレタソノ時カラ、米軍最後ノ敗北ニ至ルマデ、僅カ15分ノ時間デアツタガ、ソレヨリ數箇月前ニ Lawrence ガ Peacock 號ヲ撃沈シタ時ニ要シタ時間ト、ソレハ同ジデアツタ。Chesapeake 號闖入ノ際若イ英國士官トソノ部下トノ演ジタ慘虐ナ行爲ハ、前記 Peacock 號ノ場合ニ Lawrence ガ示シタ雅量トハ、不幸ナ事ニ全ク比較ニナラナイモノデアル。是ハ折角ノ Shannon 號ノ勝利ニ暗イ影ヲ投ゲル最モ不名譽ナ一事デアル。然シアノ勇敢ナ Broke ハ此ノ時既ニ負傷シテ意識不明トナツテ居タノデアルカラ、彼ヲ責メルコトハ出來ナイ。

乗員ノ中ニハ最後ノ指揮者ヲ失ツタ時ニ恐慌ヲ來シ、臆病風ニ吹

HP『海軍砲術学校』公開史料

カレタモノガ多數アツタ事ハ事實デアルガ、然シ敵艦ニ衝突シタ時ニハ、自カラ萬歳ヲ三唱シ Shannon 號カラアノ最初ノ猛烈ナ片舷一齊射撃ヲ受ケナガラ、堂々各自受持ノ砲側ニツイテ居タノデアツタ。實ハアノ6分間兩艦ガ竝航シテヰタ間ニ Shannon 號ニ出來タ死傷者ハ、Chesapeake 號ニ於ケルト同樣多カツタラシイノデアル。此ノ6分間ニ Chesapeake 號ノ砲撃ニ仆レタ Shannon 號ニ於ケル死傷者ノ數ハ、Chesapeake 號ヨリ遙ニ大型ノ「フリゲート」艦 Constitution 號ガ Guerrière 號ヲ 30 分間ニ亙ツテ砲撃シテ殺傷シタ數ヨリモ多カツタノデアル。米軍ノ損害ガ不釣合ナ程大キクナツタノハ、同艦ガ謂ハバ手枷ヲハメラレタ狀態デ Shannon 號ノ斜撃ニ應戰出來ナクナツタガ爲デアツタ。

Lieutenant Budd ハ此ノ戰鬪ニ關スル報告書ノ中デ、死者 48 名、傷者 97 名ト記シ、傷者ノ中ニハ戰鬪終了後死亡セルモノ 14 名ト記シテ居ル。英軍側ノ損害ハ死者 43 名（內戰鬪終了直後死亡セルモノモ含ム）、傷者 29 名ト發表サレテヰル。此ノ短時間ノ戰鬪ニ於テ勝者ノ被ツタ損害ハ、前ニ Guerrière 號ヤ Macedonian 號ガ敗北シテ受ケタ損害ヨリモ大デアル。「Chesapeake 及 Shannon 兩艦ノ死傷者總數ハ英佛兩艦隊ガ合計 42 隻ヲ以テ St. Vincent 岬沖ニ於テ戰ツタ時ノ死傷者總計ニ比シテ、少キコト僅カ 45 名ニ過ギナイ。」

此ノ敗北ハ半バ次ノ樣ナ事實ニ起因シテヰル。即チ「Chesapeake 號ハ Shannon 號ニ比シテ遙ニ劣ツタ船デアリ、陸軍デ云ヘバ新兵バカリノ聯隊ト、ソシテ訓練ヲ受ケテ來タ聯隊ノ比デアツタ。一度事ガ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

大キク狂フト到底挽回ハ不可能デアツタ。」然シ又「戦運」トデモ云ツタモノニモ歸スルコトガ出來ル。即チ開戦當初カラ Chesapeake 號ノ多數士官ノ戰死ニ加ヘテ、同時ニ起ツタ舵輪ト前部ノ三角帆トガ破損シタ事デアル。然シ此ノ戰闘ハ正當ナル勝負デアリ、勝利モ堂々立派ナモノデアツタコトハ承認サレルデアラウ。

セメテ Lawrence ガ英雄的立派ナ最後ヲ遂ゲタ事ハ、彼自身ニトツテ幸ヒデアツタ。トイフノハ此ノ敗戰ハ我ガ國家ノ誇ニハ大キナ打撃デアツタカラデアル。實ハ三番分隊長心得デアツタ Cox 候補生ハ艦長ヲ助ケテ下ヘ連レテ降リタノガ失策トナリ、敗北ノ責任ヲ負ハサレテ免職トナツタノデアルガ、最後ノ砲ヲ操縦シテ之ヲ放チ、軍艦旗ヲ守ツタノハ、實ニ彼デアツタノデアル。

Lawrence 大佐ガ出カケテ行ツテ Shannon 號ト戰ツタソノ判斷是非ニ關シテハ、大ニ論議サレテ來テ居リ、又彼ノ行動ヲ以テ輕擧盲動ナリトスル意見モ廣ク行ハレテ居ル。勇敢デハアツタガ、判斷力ニ缺ク處ノアツタノハ許スベカラザルモノトシテキル。然シ勇敢デアレバコソ、他ニ取ルベキ手段ガアツタトモ思ハレナイノデアル。何箇月モ敵ノ「フリゲート」艦2隻ノ爲ニ封鎖サレテキタノデアルシ、Lawrence ノ知ツテ居タ限リデハ、何時マタ2隻ハオロカ3隻ノ「フリゲート」艦デ以テ封鎖ガ更ニ新シクサレナイトモ限ラナカツタノデアル。ソレガ Shannon 號1隻デ封鎖シテ居タトイフ事ハ、Chesapeake 號ニトツテハ封鎖カラ脫出シウル機會デアル上ニ、之ト戰ツテ勝利ノ榮冠ヲ贏チ得ル機會デモアツタノデアル。海軍長官ニ送ツタ彼ノ書簡ニ依ツテ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

モ明カナ様ニ、彼ハ自艦ノ出港準備全ク整ヒタリト見、ソシテ1週間或ハ1日デモ2日デモ單ニ乗員ノ訓練ヲ行ツテグヅグヅシテ居タラ、危ク出港ノ機會ヲ遂ニ再ビ得ルコトノ出來ナイ事ヲ知ツテ居タ。偶 Constitution 號ハ Java 號ト戰ツタ後、當時修理ヲ行ツテ居タノデアルガ、遂ニ 1814 年ノ終リ頃迄封鎖サレ、而モ其ノ時ニハ戰爭モ殆ド終了シテヰタノデアル。Chesapeake 號モ同様ニグヅグヅト港ニ留ツテヰタナラバ、Constitution 號ト同ジ運命ニ會ツテヰタカモ知レナイ。Lawrence ノ名譽ノタメニ附言シテ置キタイコトハ、彼ガ挑戰ニ際シテ訓練不充分ナ乗員ニ最モ適シタ戰法、即チ近接戰鬪法ヲ撰ンデ居ル事デアル。又彼ハ飽ク迄降伏シナカツタ。如何ニ嚴シイ批評家ト雖モ、彼ノ英雄的立派ナ戰死ヲ思フ時頭ガ下ガル筈デアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

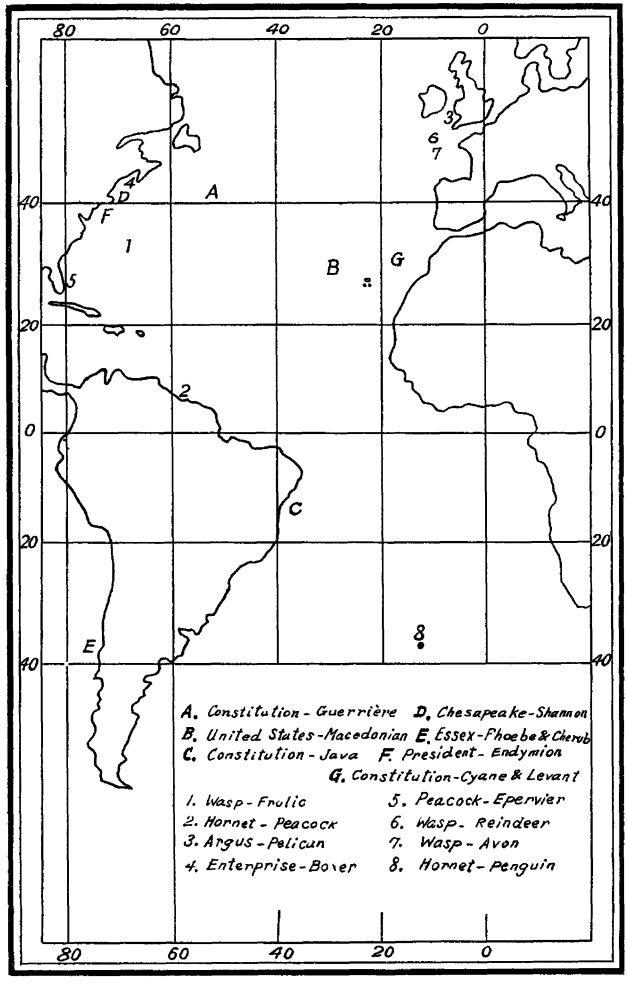
HP『海軍砲術学校』公開史料

第 9 章　戰役中ニ行ハレタ「スループ」艦戰鬪

此ノ戰役ニ行ハレタ「フリゲート」艦戰鬪ニ於ケル合衆國ノ成績ハ3勝1敗デアツタ。ソシテ此等ノ戰鬪ハ悉ク開戰1年ノ內ニ起ツタノデアル。トイフノハ此ノ種ノ戰ニ數回敗北ヲ喫シテ英國海軍省ハ氣ヲ腐ラシ、以後各艦長ニ英艦ノ 18「ポンド」砲ヲ以テ米艦ノ 24「ポンド」砲ニ對抗シナケレバナラナイ場合ニハ戰ヲ避ケルヤウニ、又2艦編隊主義ニ依ツテ更ニ安全ヲ計ルヤウニト示達シテアツタカラデアル。英國ガ其ノ海軍力ヲ合衆國近海ニ增大シ、其ノ封鎖ヲ New England ニ迄及ボスニツレテ、米軍「フリゲート」艦ノ活動ハ益阻マレルニ到ツタ。米國ノ「フリゲート」艦ガ港ニ入ツテヰルト知レバ、英國側ハ必ズ艦隊ニ其ノ附近ヲ徘徊セシメテ、サウシタ大型艦ノ出港ヲ不可能トシタ。コンナ風デ Congress 號ハ 1813 年 Portsmouth ニ歸ツテ來テソノ儘封鎖サレ、Constellation 號ハ戰役勃發當時 Chesapeake 河ニ於テ修理中デアツタノガ、矢張リソノ儘戰役終了迄出港出來ズ了ヒデアツタ。ソレカラ United States 號ハ Macedonian 號トノ戰ニ勝ツテ漸ク New York カラ New London 迄ノ間ヲ以前拿捕シタ敵艦ヲ率ヰテ行ク事ハ出來タガ、ソコデ2艦共ニソノ儘戰役ノ終ルマデ一寸モ動ケナクナツテ了ツタ。

「スループ」艦ハ「フリゲート」艦ヨリモ吃水ガ淺ク、非常ニ輕快デアル關係上、容易ニ封鎖ヲ逃レタ。ソシテソノ活動ハ終始少シモ變

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



THE FRIGATE AND THE SLOOP ACTIONS OF THE WAR OF 1812

HP『海軍砲術学校』公開史料

ルコトナク續ケラレタ。此ノ型ノ艦ハ敵ノ通商ニ多大ノ損害ヲ與ヘタ外ニ、ソノ同型艦ヲ相手ニ凡テデ8回ノ單艦戰鬪ヲ行ヒ、ソノ中只1回、即チ3回目ニ敗ケタ丈デ、後7回ハ凡テ我ガ米「スループ」艦ノ勝利ニ歸シタ。

◎Wasp 號ト Frolic 號

1812年10月18日米ノ「スループ」艦 Wasp 號（砲18門、艦長 Jacob Jones 中佐）ハ、英ノ「ブリッグ」艦 Frolic 號（砲22門、艦長 Thomas Whinyates 大佐）ヲ相手ニ戰ツタ。Wasp 號ハ10月13日 Delaware 河ヲ出テ、ソレカラ2日後非道イ嵐ニ會ヒ、「ジブ」斜檣ト2名ノ乘員ヲ失ツテ居タ。17日ノ夜11時半 Chesapeake 灣東方約500浬（北緯37度、西經65度）ノ處ニ Wasp 艦長 Jones ハ商船ノ一隊ヲ發見シタ。然シソノ中少クトモ2隻ハ大船ト見エタノデ、彼ハ用心シテ近寄ラズ、夜ガ明ケテソノ勢力ノ分明スルヲ待ツタ。商船隊ハ6隻カラ成リ Honduras カラ歸航中デ、Frolic 號ガ之ヲ警護シテヰタ。Wasp 號ヲ損傷シタ大嵐ハ、此ノ英艦 Frolic 號ニモソレニ劣ラヌ大損害ヲ與ヘテ居タ。即チ上檣帆ハ勿論大檣下桁モ失ヒ、大檣上檣ヲ捻ヂ曲ゲテヰタ。

夜ガ明ケテ敵ノ狀勢ヲ見定メルト Jones ハ之ヲ攻擊セント風上ヨリ駛セ近ヅイタ。Whinyate ハ相手ノ意圖ヲ見テトリ商船隊ニ順走ヲ命ジ、自艦ハ最後方ニ占位シテ西班牙ノ國旗ヲ揭ゲタ。即チ此ノ作略ニヨツテ相手ヲ欺キ、之ヲ遲ラセヤウト考ヘタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

戰鬪ハ兩艦ガ互ニ 50「ヤード」ノ距離ニ接近シテ漸ク開始サレ、ソレモ竝航シテヰタ爲艦ノ運動ハ少カツタ。又コンナニ2艦ガ兵力伯仲シテヰタコトハ、ソレマデノ海戰ニハ殆ドソノ例ヲ見ナイトコロデ、Wasp 號ハ相手方ノ 110 名ノ乘員ニ對シテ 135 名トイフ優勢ヲ示シテ居タガ、Frolic 號ハソレヲ相殺スル意味デ米艦ノ 250「ポンド」ノ砲威力ニ對シテ 274「ポンド」ノ優勢ヲ示シテヰタ。而シテ兩艦共ニ嵐ノタメニ同程度ノ損害ヲ被ツテヰタノデアル。

海ハ荒レテ屢甲板ニ浪ヲ打チ上ゲ、或ハ艦ガ搖レテ大砲ノ砲口ガ下ニ下ツタリシタ。然シソレニモ拘ラズ、砲術ハ成績極メテ良好デアツタ。Wasp 號ハ圓材ヤ索具ニ多大ノ損傷ヲ被ツタ。4, 5 分ノ中ニ大檣上檣ハ打チ取ラレ、前檣轉桁索及前檣ノ中檣轉桁索ハ大檣上帆桁ト共ニ左舷側ニ落下シテ、ソノ爲ニ前檣桁ハ運用不能トナツタ。其レカラ4分シテ斜桁及後檣ノ上檣トガ倒レ、更ニ 20 分間戰鬪ノ後全動索ト索具ノ大部分ヲ敵彈ノ爲ニ失ツテ了ツテ居タ。ソノ間ニ兩艦ノ距離ハ漸次縮メラレテ Wasp 號ハ相手ノ前方ニ進ミ出デ、艦首前ノ有利ナ位置ヲ占メタ。Captain Whinyates ハソノ報告書ノ中ニ次ノ樣ニ書イテヰル。

「砲擊ニ關シテハ我ガ軍優秀ニシテ、何レノ方面ヨリ見ルモ勝利ハ速ニ我ガ手ニ歸セント期待スル理由アリタレド、敵彈ノ爲斜桁動索ヲ失ヒ且大檣ニ帆ナクシテ本艦ハ操縱不能トナリ、加之敵ハ本艦ヲ縱射スル位置ヲ占ムルニ成功シ、是ニ反シ本艦ハ1門ノ砲ヲモ之ニ向ケルコト能ハザリキ。」

HP『海軍砲術学校』公開史料

Frolic 號ハ今ヤ Wasp 號ニ接觸シテソノ第1斜檣ヲ相手ノ大檣竝ニ後檣ノ索具ノ間ニ突込ンデ了ツタ。是ハ Jones ニトツテ不利デハナカツタ。ト云フノハ自艦ノ索具モ非道ク切斷サレタノデ、檣モヤガテ倒レルモノト見テトリ、彼ハ既ニ敵艦突入ニヨツテ敵ヲ降伏セント決心シテ居ツタノデアル。然シ先ヅ彼ハ縱射スル機會ヲ摑ンダ。ソレカラ更ニ釣瓶打チニ砲撃セントシタガ、此ノ時部下ハモツト肉迫シテ戰ハンコトヲ望ミ、ソノ熱心ナルコト之ヲ抑ヘル事ハ殆ド不可能デアツタ。嘗テ無法ニ徵發サレテ英海軍ニ服役シタ事ノアツタ Jack Lang ハ、短刀ヲ手ニシテ受持チノ大砲ノ上ニ飛ビ上リ、ソコカラ敵艦 Frolic 號ニ跳リ込ンダ。Lieutenant Biddle ハ之ヲ呼ビ戻サントシタガ、熱ニ燃エル乘員ノ樣子ヲ見テ思ヒ返シ、却ツテ自カラ彼等ノ先登ニ立ツタ。トコロガ足ヲ索具ニ引掛ケタソノ時、1名ノ候補生ガ仆レントスル自分ノ身ヲ支ヘンガタメニ、大尉ノ服ヲ摑ンダノデ、大尉ハ Wasp 號ノ甲板ノ上ニ仆レタ。然シ直ニ起キ上ツテ既ニ敵艦ノ第1斜檣ノトコロマデ乘リ込ンデ居タ Lang ト、今1人ノ兵トヲ驅ケ越エテ、眞先ニ後甲板ノ方ヘ行ツタ。後甲板ヘ來テ見ルト、意外ニモ艦長 Whinyates ト外2名ノ士官ト而シテ操舵員ヲツトムル兵ノ僅カ4名ノ生存者ガ居タ丈デアツタ。Biddle ノ近寄ルノヲ見ルト、負傷シラヰタ士官達ハ劍ヲ捨テテ降服ノ意ヲ示シタ。軍艦旗ヲ降下スル者ガナカツタノデ、Biddle ハ自カラ索ヲ登ツテ之ヲ降下シタ。

Wasp 號ガ Frolic 號カラ離レテ數分スルト、Frolic 號ノ大檣ハ根本近ク前檣ハ 12—3 呎ノアタリカラ倒レタ。戰鬪時間 43 分デアツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

タ。此ノ戰鬪ニツイテ最モ意外トスル事柄ハ、兩艦同等ノ兵力ヲ以テ戰ツテ居ナガラ、ソノ結果被ツタ損害ニ大キナ開キガ出來タコトデアル。米艦ハ死者5名、傷者5名、合計10名デアルニ對シテ、英艦ハ負傷ヲ免ガレタ者ハ20名トナク、死傷合セテ90名デアツタ。是ガ說明トシテ次ノ樣ナ事ガ報ゼラレテ居ル。即チ激浪航走ノ場合デアツタタメニ、Frolic 號ハ丁度波頭ニ乘ツタ時ニ發砲シテ居ルノデ、擊ツタ彈丸ハ殆ド全部圓材ヤ索具ヲ損傷シ、是ニ反シテ Wasp 號ハ浪ト浪ノ間ニ下ツタ時ニ發砲シタタメニ敵艦ノ甲板ヲ掃射シ、或ハ船體ヲ擊チ拔ク結果トナツタノデアル。Whinyates ガ英艦ノ「砲威力ハ敵ヨリモ優勢」ト云ツタ意味ハ、發砲速度ノ優レテヰル事ヲ云ツタノデアラウ (Cooper ニヨレバ3對2ノ割合)。何故ナラ佛海軍ノ Vice-Admiral Julien de la Gravière ガ云ツテヰルヤウニ、當時ノ狀況不良ナルニモ拘ラズ、米艦ノ砲擊ノ正確デアツタ事ハ驚クバカリデアツタ。

Frolic 號ノ斷乎トシテ行ツタ頑强ナ抵抗ハ、假令萬事上乘ニ運バナイ落目ノ場合デモ、最後マデ持チ耐ヘヤウトスル努力ガ如何ニ大切ナコトデアルカト云フ事ヲ例證スルモノデアル。Whinyates ハ從テソノ艦ト部下ニ大損傷ヲ被ラシメタノデハアルガ、ソノ結果ニ於テハ效果ガナイコトハナカツタ。何故ナラ同艦ガ降伏シテ間モナク、水平線上ニ新シイ1隻ノ船ガ現ハレタノデアル。Jones ハソレヲ Frolic 警衞ノ商船隊ノ1隻ダト思ツタ。商船隊ノ中デ數隻ノモノハ充分ニ兵裝ヲシテ居タノデ、彼ハ各砲ニ裝塡シテ戰鬪準備ヲ令シタ。トコロガ問題ノ船ハ Beresford 大佐ヲ艦長トスル英ノ74門戰列艦 Poictiers

HP『海軍砲術学校』公開史料

號デアルコトガ分ツタ。ソコデ Wasp 號ハ逃ゲル事モ出來ズニ居タトコロヲ Beresford ハ之ヲ捕ヘ、Frolic 號ヲ奪還シ、兩艦ヲ伴ツテ Bermuda ヘ向ツタ。

◎Hornet 號ト Peacock 號

James Lawrence ガ Hornet 號ノ艦長トシテ Brazil 海岸沖デ Bonne Citoyenne ニ對シ、同ジ條件ノ下ニ一騎打ヲ挑戰シテ拒否サレタ話ハ前章ニ於テ之ヲ試ミタトコロデアルガ、彼ハ遂ニ英ノ 74 門戰列艦 Montague 號ノ出現ニ依ツテ餘儀ナク他ニ新シイ巡航活動海面ヲ撰バナケレバナラナクナツテ、米ノ私掠船ガ好ンデ巡航スル英領 Guiana ヘ向ケテ 海岸ニ沿ツテ 進航シタ。ソノ途中デ 彼ハ英ノ 10 門「ブリッグ」艦デ 2 萬 3 千弗ノ現金ヲ積込ンダ Resolution 號ヲ拿捕シタ。

1813 年 2 月 24 日英領 Guiana ノ Demerara 河口ノ沖ニサシカカツタ時ニ、Lawrence ハ風上艦尾ニ當ツテ交戰意圖ヲ示ス 1 隻ノ「ブリッグ」船ヲ發見シタ。ソレハ Peacock 號デアツタ。同艦ハ Frolic 號ノ姉妹艦デアリ、從ツテ Hornet 號トモ殆ド同ジ位ノ大キサデアツタ。只ダ側砲ハ Hornet 號ノ $^2/_3$ シカナカツタ。トイフノハ 32 听ノ短砲ハ船體各部ノ寸法輕少ノ爲ニ全部 24 听砲ニ代ヘテキタノデアル。

兩艦相接近スルニツレテ Lawrence ハ風上ヘト進ンデ占位シタ。5 時 25 分兩艦ハ反航デ通過シナガラ 拳銃距離ノ半分ノトコロデ片舷齊發ヲ交ヘタ。ソレカラ Peacock 號ガ風下ニ方向ヲ轉ゼントスルノヲ見テ、艦首ヲ轉ジテ風下ニ駛リ、相手ノ右舷齊發ヲ受ケナガラソノ右

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

舷艦尾ニ近クセマリ、ソコデ正確ナ照準ヲ以テ猛烈ナ砲火ヲ浴ビセ、コノ「ブリッグ」艦ヲ撃破シタ。此ノ砲撃ニ依ツテ英艦長 William Peake 大佐ハ戦死シ、Peacock 號ハ間モナク絶望狀態トナツタ。戰鬪開始後15分モ經過セヌ中ニ Peacock 號ハ降伏シ、遭難ノ印トシテ軍艦旗ヲ倒サニシテ掲ゲタ。艦ハ既ニ海水6呎モ浸水シテ急速度ニ沈ミツツアツタ。

米水兵ノ一小部隊ヲ伴ツテ Peacock 號ニ派遣サレタ Conner 大尉ハ、捕虜トナツタ同艦ノ乘員ヲ移シ得ル迄艦ノ沈沒ヲ必死トナツテ防イダ。大砲ヲ海中ニ投ジ、水ノ洩レル穴ヲ塞ギ、又「ポンプ」デ水ノ汲ミ出シヲ行ツタ。然シ艦ハ依然沈ンデ行ツタ。ソシテソノ沈ミ方ガアマリニ急デ、乘員ノ中9名ト米兵3名ヲ遂ニ海底ノ藻屑トシテ了ツタ。

Peacock 號ノ死傷者ハ艦長モ加ヘテ死者5名、傷者33名、Hornet 號ハ死者1名、傷者4名（內2名ハ藥包ノ爆發ニヨル）ヲ出シタ。Hornet 號ノ索具ハ切斷サレタケレドモ、船體ハ無事デアツタ。乘員ノ數及備砲ノ總威力ノ點ニ於テ米軍ガ優勢デアツタ事ハ認メネバナラナイガ、シカシ是ハ兩艦ノ行ツタ砲撃ノ効果ニ大キナ差異ガアツタコトノ說明ニハナラナイ。一評論家ガ言ツタ樣ニ、「タトヒ Peacock ノ砲ガ最大型ノモノデアツタトシテモ、ソノ結果ヲ變ズル事ハ出來ナカツタデアラウ。彈丸ガ如何ニ强大デアツテモ、命中シナケレバ何ニモナラナイノダカラ。」

別ニ今1隻 Peacock 號ト略同程度ノ戰鬪力ヲ有スル英ノ「ブリッ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

グ」艦 Espiegle 號ハ、上記ノ交戰ガ行ハレテヰタ間ハ6浬離レタ地點ニ投錨シテ居タノデアル。此ノ戰鬪ガ終ルヤ、Lawrence ハ直ニ索具ヲ修理シテ間モナク今一戰挑戰サレルモノト考ヘテヰタノデ、之ニ備ヘタ。然シ Espiegle 號ハ依然港ニ碇泊ヲ續ケテ無關心ノ樣子ダツタノデ、Lawrence ハ其ノ場カラ去ツテ行ツタ。

◎Argus 號ト Pelican 號

1813年6月18日 Commander William H. Allen ヲ艦長トスル米ノ「ブリッグ」艦 Argus 號ハ、新任ノ駐佛公使 Crawford 氏ヲ乘セテ Lorient ヘ向カツタ。23日間ノ此ノ航海デハ、Allen ハ只1回拿捕ヲ行ツタ丈ダガ、ソノ後英海峽ノ入口附近ヲ巡航31日間ニハ英國商船19隻ヲ拿捕或ハ擊破シタ。此ノ前ノ時トノ相違ニ對スル說明トシテハ、天下ノ公道タル定規ノ行通路ニ於テハ警護艦附ノ商船隊デナケレバ航行ヲ許サレナカツタノニ反シテ、本國近ク英國及愛蘭ノ附近デハ、商船ハ平時ト變リナク無數ノ航路ヲ往來シ、而モ軍艦ガ之ヲ警護シテヰナカツタカラデアルト云フ事ガ云ヘル。Argus 號ハソノ後間モナクソノ經歷ノ幕ヲ閉ヂルコトニナツテヰタノデアルガ、兎モ角敵國海岸ノ無防禦部分ヲ攻擊スルノ有利ナ事ヲ例示シタモノデアツタ。

1813年8月14日ノ早朝 Argus 號ハ Wales ト Ireland 南部トノ間デ1隻ノ船ヲ拿捕シテ之ニ放火シタ後、英ノ「ブリッグ」艦 Pelican 號（艦長 Maples 大佐）ト遭遇シタ。同艦ハ米艦ト應戰スルタメ特ニ Cork カラ派遣サレタモノデアツタ。此ノ時風ハ南カラ吹イテ居リ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Pelican 號ハ風上ニ位置シテヰタ。Allen ハ之ヲ過ギテ風上ニ出ヤウト試ミタガ、出來ナイト判ツテ縮帆シテ Pelican 號ノ接近ヲ待ツタ。戰鬪ハ午前6時ニ開始サレタ。即チ Argus 號ハ艦首ヲ風下ニ向ケテ回リ、葡萄彈ノ屆ク距離内ニ入ルト左舷齊發ヲ行ツタ。スルト之ニ對シテ Pelican 號ハ直ニ右舷齊發ヲ以テ之ニ應酬シタ。戰鬪早期ニ於テ Allen ハ圓彈ノタメニ片足ニ重傷ヲ負ツタガ、之ニ屈セズソノ任務ニ頑張ツタケレドモ、遂ニ甚ダシイ出血ノタメニ氣絕シタ。是ハ實ニ命ヲ賭シタ勇敢ナル行爲デアツタ。ソレカラ數分シテ 第一分隊長 W. H. Watson ガ葡萄彈ヲ頭部ニ受ケテ 氣絕昏倒シタ。ソコデ艦ノ指揮ハ二番分隊長 W. H. Allen Jr. ニ移ツタ。

Argus 號ノ索具ハ 此ノ時大部分 損ジテヰタガ、丁度敵艦ガ 次第ニ離レテ自艦ノ艦尾ヲ通過セントシタノデ、二番分隊長 Allen ハ大檣上帆ヲ裏帆ニシテ艦首ヲ風上ニ向ケテ巧ミニ之ヲ阻止シ、同時ニ片舷齊發ノ縱射ヲ行ツタ。Argus 號ノ動滑索ハ勿論ノコト、舵索マデモ敵彈ノ爲ニ切斷サレテ操縱不能トナツタ。敵艦ハ輕微ノ損傷ヲ受ケテ居タ丈デ、ソノ時思フママノ位置ヲ撰ブ事ガ出來タ。

6時半 Watson 大尉ガ意識ヲ恢復シテ 再ビ甲板ニ上ツテ來テ見ルト、敵ハ Argus 號ノ艦尾ノ方カラ縱射ヲ行ツテ居タ。此ノ際自艦ヲ接近セシメテ敵艦乘込ノ策ニ出ナケレバ米軍ノ敗北ハ明白デアツタ。然シ此ノ戰法ハ轉桁索全部ガ損ジテヰタ爲、實行不能トナツタ。戰鬪ハ尙數分續イテ Argus 號ハ敵ノ十字砲火或ハ縱射ニ曝サレ、之ニ對シテ僅ニ小銃ヲ以テ應酬シ得ルノミデアツタ。遂ニ6時47分、即チ戰

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

闘約45分ニシテ Argus 號ハ降伏シタ。

米軍ハ死者6名、傷者17名ヲ出シ、内5名ハ重傷デ數日ヲ經ズシテ死亡。英軍ハ死者2名、傷者5名デアツタ。艦ノ大キサハ英ノ方ガ2割方大型デ、ソノ側砲ハ1割7分方優勢デアツタ。然シ是ハ米軍側ノ近距離射撃ノ敵ニ與ヘタ損害ガ少ナカツタ理由ヲ説明スルモノデハナイ。Argus 號ハ縦射シ得ル位置ニ在ツタ時デモ、ソレヲ有利ニ行フコトハ出來ナカツタ。砲術ガ極メテ拙劣デアツタノデアル。Lieutenant Watson ハソノ報告書ノ中デ、乗員ハ當時ソノ前ノ「連續的ニ行ツタ拿捕作業」ノタメニ長期ニ亘ツテ努力ガ過ギテ居タノダト云ツテ居ル。

◎Enterprise 號ト Boxer 號

1813年9月5日米ノ14門「ブリッグ」艦 Enterprise 號（艦長 William Burrows）ハ、Maine 州ノ Morhegan 島附近ニ在ツタ時、英ノ Samuel Blyth 大佐指揮ノ14門「ブリッグ」艦 Boxer 號ト遭遇シ、交戰40分ノ後之ヲ決定的ニ破ツタ。

兩艦共ニアマリ香シカラヌ帆裝艦デ、Enterprise 號ノ方ガヤヤ砲力ニ於テ優リ又乗員モ多カツタ。然シナガラ同艦ハ出港シタバカリノ處デアツタニ反シテ、Boxer 號ノ方ハ既ニ6箇月間巡航ヲ續ケテヰタガ、確ニ是ハ訓練ニハ羨ヤマシイ程好機會デアツタ。

米軍側ノ損害ハ死傷14名デ、英軍側ハ報告サレテヰナイガ、確ニ米軍ヨリモ多カツタ。Enterprise 號ハ敵艦ノ船體ニ可ナリノ損傷ヲ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

與ヘナガラ、自艦ハ殆ド損害ヲ受ケナカツタ。圓材ト索具ハ兩艦共ニ損害ヲ受ケテ居タ。Enterprise 號ノ方ガ操艦運動ガ巧ミデアツタヤウデアル。英國側ノ軍法會議ノ判定書カラ引用シテ見ルナラバ、同艦ハ「射撃指揮ノ技倆ニ於テ優ツテ」居タ。殆ド最初ノ片舷齊發ニ Boxer 艦長 Blyth 大佐ハ戰死シ、殆ドソレト同時ニ Enterprise 艦長 Burrows 大尉ハ敵ノ小銃彈ニ仆レタ。Lieutenant Edward R. McCall ガソノ後ノ指揮ヲ執リ、此ノ戰鬪ヲ勝利ニ導イタ。而モ彼ハソレマデ戰爭ヲ見タ事サヘナカツタノデアル。

◎Peacock 號ト Epervier 號

政府ハ新シク「フリゲート」艦ヲ仲々建造シナカツタノデ、新造艦ハ1隻モコノ戰役ニハ參加シナカツタノデアルガ、然シ 1813 年ノ後半ニ至ツヲ3隻ノ新シイ「スループ」艦ガ竣工シヤウトシテヰタ。ソレハ Peacock 號、Frolic 號及 Wasp 號デ Lawrence 及 Jones ノ華々シイ戰勝ヲ記念シテツケタ名前デアツタ。1814 年 4 月 29 日 Lewis Warrington 中佐指揮ノ 14 門「スループ」艦 Peacock 號ハ Florida 東南海岸沖ヲ航行中、Wales 大佐ヲ艦長トスル英ノ 14 門「ブリッグ」艦 Epervier 號ト遭遇、之ト交戰シタ。兩艦共ニ名目上ハ兵力同等デアツタケレド、詳細ニ至レバ米艦 Peacock 號ノ方ガヤヤ優勢デアツタ。然シ交戰 45 分ノ後 Epervier 號ガ降伏シタ時、兩艦ノ被ツタ損傷ノ差異ハ、勝利ノ原因ガ優勢ナル砲力ヨリ以外ノモノデアツタ事ヲ、ソレマデノ戰鬪ニ於テハ見ラレナイ程判然明示シタノデアル。

Peacock 號ハ死者ハ1名モ出サズ、唯2名ノ輕傷者ヲ出シタニ過ギヌガ、Epervier 號ハ8名ノ死者、15名ノ傷者ヲ出シタ。彈丸ハ1發モ Peacock 號ノ船體ニ觸レモシテ居ナイシ、檣ト圓材ハ依然トシテ完全デアツタ。然ルニ敵艦ハト見ルト、檣ハヒドク切リ裂カレ、船體ニハ45發ノ彈丸ヲ受ケテ居リ、ソノタメ5呎ノ浸水ヲ見タ。

修理ノ後 Warrington ハ此ノ 戰利艦ヲ Savannah ヘ連行セント決シタ。途中2隻ノ英「フリゲート」艦ニ追跡サレタガ、巧ミニ運動シテ之ヲ逃レ、首尾ヨク目的ノ港ニ安着スルヲ得タ。

◎Wasp 號ト Reindeer 號

Enterprise 號ガ Boxer 號ト戰ツテ大勝ヲ博シタソノ裏ニハ、Commander Johnston Blakely 中佐ノ力ガ働イテヰタ。此ノ「ブリッグ」艦ヲ艤裝シ且乘員ヲ新兵カラ敎育訓練シタノモ實ニ彼デアツタ。從ツテソノオカゲデ若クテ未經驗ナ Burrows 竝ニ McCall 兩大尉ハ、出港間モナク Enterprise 號ノ名聲ヲ高メ得タノデアル。Blakely 自身ハ丁度他ニ榮轉シタバカリノ處デアツタノデ、同艦ニハ乘ラナカツタ。彼ハ出港用意殆ド成ツタ新「スループ」艦 Wasp 號ノ艦長ニ補セラレタノデアル。此ノ Wasp 第二世號ハ大勝ヲ博セル輕快果敢ノ一巡洋艦トシテ物語ヲ殘シタ。

1814年5月1日 Blakely ハ New Hampshire ノ Portsmouth ヲ出テ密カニ封鎖線ヲ脫ケ、自分ノ考ヘニ從ツテ、ソノ活動舞臺ヲ英國海峽ノ入口丁度 Allen ガソレヨリ1年前 Argus 號デ多數ノ商船ヲ拿捕

HP『海軍砲術学校』公開史料

シタ海面ヲ撰ンダ。Blakely ノ乗艦タルコノ「スループ」艦ハ、恐ラク全歐洲ノ海面ニテハ之ニ優ル艦ハ他ニナイ程ノ優秀艦デアツタ。乗員ハ 173 名デ殆ド全部 New England 出身ノモノデアツタ。ソノ平均年齢ハ僅カ 23 歳デアリ、且ソノ中多クハ前以テ海上訓練モ受ケテヰナカツタガ、元氣ガアリ覇氣滿々トシテヰタ。Blakely ノ如キ敏腕ナル指揮者ガ教育スレバ、立チ處ニ最優秀ノ乗員トナリ得ル程ノ良イ素質ヲ有ツタ者バカリデアツタ。

出港後 32 日ニシテ漸ク彼ハ 1 隻拿捕シタガ、之ハ多分此ノ時ハ海峽ニ於ケル彼ノ根據地附近ニ居タ爲デアラウ。ト云フノハ次ノ 35 日間ニハ更ニ 5 隻ヲ捕獲シタノデアル。彼ノ見付ケタ船凡テガ必ズシモ合法的ニ捕獲シ得ルモノトハ限ラナカツタ。1814 年 7 月 8 日ノ書簡ニ於テ彼ガ云ツテヰル如ク、「測鉛ノ屆クヤウナ海面ニ來テカラハ、中立國船舶ノ通過ガ頻繁デ、吾々ハ絕エズ追跡ニ忙殺サレテヰタ」。彼ガ當時ノ仕事ハ實ニ大膽ナルモノデアツタ。トイフノハ彼ハ更ニ筆ヲ續ケテ次ノ樣ニ云ツテ居ル、「余ニハ一地點ニ占位シテソノ儘ニシテ居ルナドトイフ事ハ大凡出來ナイ事デ、追跡スル爲ニ引キヅラレテ思ヒガケナク海峽ヲ遠ク入リ込ム事サヘアツタ。」

1814 年 6 月 28 日早朝 Blakely ハ自艦ノ正横風下ニ 2 隻ノ帆船ヲ發見シテ之ガ追跡ニ向ツタ。トコロガ程ナク風上ノ方ニ 1 隻ノ帆船ヲ見タノデ、變針シテ之ニ向ツタ。此ノ新來ノ船ハ Captain William Manners ヲ艦長トスル「ブリッグ」艦 Reindeer 號デアツタノデアルガ、同艦ハ交戰ヲ避ケヤウト思ヘバ容易ニ出來タノデアリ、ソレニ米

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

海軍ノ「スループ」艦ノ優秀ナル事ハ當時既ニ周知ノ事實デアツタノデ、Manners トシテモ相手ハ強敵ダト云フ事ハ知ツテ居タニ相違ナイノデアル。然シ彼ノ部下ハ Plymouth ノ誇リト云ハレテ居タ程ノ連中デアリ、ソレニ彼自身勇氣ト手腕ニカケテハ竝ブ者モナイ程ノ立派ナ指揮者デモアツタ。ソコデ彼ハ戰ヲ避ケルコトハ止メテ艦ヲ回頭シ、風ヲ殆ド眞後ニ受ケテ相手ニ向ツテ進ンデ行ツタ。

風ハ極メテ輕ク、船ハタメニ殆ド船體ヲ水平ニシテ進ンデ行ツタ。1時15分ニナツテ始メテ Blakely ハ皷手ニ命ジテ乘員ハ部署ニツクヤウ令セシメタ。更ニ2時間ヲ經テ戰鬪ハ開始サレタ。Blakely ハ針路ヲ轉ジテ敵ノ風上ニ出デントシタ。Manners モサルモノ無用ニ敵ニ利益ヲ與ヘルヤウナ愚ハシナイ。Blakely ト同時ニ變針シテ彼カラ遠ザカリ、ソノ計略ノ裏ヲ掻イタ。Blakely ハ敵ガ彼ノ風上ヲ航サウトスルモノト見テトリ、反對ニ變針シテ帆ヲ大部分疊ンデ相手ノ接近ヲ許シタ。

英艦ハ Wasp 號ノ風上艦尾後方約 60「ヤード」ノ位置ニ來テ、丸イ葡萄彈ヲ塡メタ 12「ポンド」短砲ヲ先ヅ最初發砲シタ。此ノ砲撃ハ Wasp 號乘員ノ軍紀ニ對シテ耐ヘ難イ試練デアツタニ相違ナイ。何故ナラ Reindeer 號ハ此ノ時マダ Wasp 號ノ正横ニマデハ來テ居ナカツタノデ、之ニ對シテ砲ヲ向ケヤウニモ向ケル事ガ出來ナカツタノデアル。Blakely ハ然シナガラ速カニ舵柄ヲ風上ニヤツテ此ノ不利ナ位置カラ脫シテ、先ヅ後方ノ砲カラ始メテ漸次敵艦ニ向ケ得ラレルニツレテ片舷ノ砲全部ヲ順次發射シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

Reindeer 號ハ此ノ砲撃ノタメ可ナリ戰闘力ヲ殺ガレ、今ハ Wasp 號ノ艦尾ニソノ左舷艦首ヲ接觸サセテ來タ。ソコデ Wasp 號ハ此ノ位置デ Reindeer 號ニ縱射ヲ浴ビセ多大ノ効果ヲ收メタ。ソノ間ニ米ノ海兵及狙撃兵ハソノ定評アル技倆ヲ發揮シテ、英艦上ニ曝露シタ士官ヤ兵員ヲ多數狙撃シタ。Manners 艦長ハ負傷シナガラモ尙甲板上ニ踏ミ止マリ、戰闘ヲ指揮激勵シタ。2 度目ノ負傷ハ兩股ノ貫通銃創デ、ソノ爲彼ハ膝マヅイテ了ツタ。然シ直ニ再ビ立上ツテ居タ。流血甚ダシカツタガ、彼ハ傷ヲ氣ニモ止メテ居ナカツタ。遂ニ彼ハ Wasp 號檣上カラノ小銃射撃ニ氣付イタノデ、「續ケ者共、敵艦突入ダ。」ト叫ンデ索ヲ昇リ、先導セントシタ時、Wasp 號ノ大檣頭上ヨリ 2 個ノ彈丸ガ飛ビ來ツテ頭蓋骨ヲ射抜キ、ソノ爲彼ハ即死シタ。

今度ハ米艦ノ方デ敵艦闖入ヲ用意シタ。英艦デハ兵員ハ半數、士官殆ド全部モ戰死或ハ再起不能ノ狀態ニアツテスツカリ痛メツケラレ、僅カニ抵抗シタ丈デ間モナク降伏シタ。

此ノ戰闘ニ 19 分ヲ要シタ。Wasp 號ハ船體ニ圓彈ヲ 6 發、24 听砲彈ヲ前檣ノ中央ニ受ケテ、帆ヤ索具ニ損傷ヲ被ツタ。Blakely ノ報告ニ依ルト Reindeer 號ハ「舷窓ト一直線ニ文字通リ片々ニ粉碎サレタ。」Wasp 號ハ死者 5 名、傷者 21 名、Reindeer 號ハ死者 25 名、傷者 42 名デアツタ。此ノ勇敢ナル戰闘ニ對シテハ、兩軍共ニ殆ド同等ノ名譽ヲ與フベキデアル。此ノ場合ノ樣ニ撰リ抜キノ英軍ニ對シテ、コレモ撰リ抜キノ米軍ガ而モ共ニ優秀ナ訓練ヲ受ケ、共ニ最モ立派ナ艦長ノ指揮ヲウケタ者同士ガ相闘ツタ場合ニハ、勝利ハ決意ト勇氣デハナ

HP『海軍砲術学校』公開史料

ク、ソレ以外ノモノニ起因スルモノデアル。即テ此ノ戰闘ニ於テハ、兵力ノ優勢ニ起因シタモノト結論シテ差支ナイ。Wasp 號ハ 32 听短砲 20 門ト長砲 2 門ヲ有シ、是ニ對シテ Reindeer 號ハ 24 听砲 16 門ト長砲 2 門ヲ有シ、又 Wasp 號ノ乘員モ砲力ト同ジ程度ニ英艦ヨリ優ツテヰタ。從ツテ少クトモ 3 對 2 ノ割合デ米艦ノ方ガ優勢デアツタ。

◎Wasp 號ト Avon 號

負傷者ノ最良ナル治療手當ヲ得ンガタメ、又同樣ニ船體ノ修理ヲナサンガ爲ニ、Blakely ハ Lorient ヘ向ツタ。ソコニ 8 月 27 日マテ碇泊シ、ソレカラ出港シテ 1 箇月モ經ヌ中ニ更ニ 6 隻ノ船ヲ捕獲シテ、素晴ラシイ功績ヲ樹テタ。彼ノ行動ノ實ニ自由ニシテ大膽デアツタ事ハ、英「ブリッグ」艦 Mary 號ヲ捕獲シタ時ノ樣子カラ見テモ知ラレルデアラウ。此ノ Mary 號ハ大砲ソノ他ノ軍需品ヲ搭載シ、他ノ 9 隻ノ船ト共ニ Bombship ト 14 門戰列艦 Armada 號トニ護衞サレテヰタ。Wasp 號ハ單ニ Mary 號捕獲ニ成功シタバカリデナク、護衞艦ノ目前デ之ヲ燒キ拂ツタ上ニ、更ニ今 1 隻捕獲セント試ミタノデアル。然シ Armada 號ノ爲ニ追ヒ拂ハレテ、之ヲ遂行シ得ナカツタ。

同日即チ 1814 年 9 月 1 日ノ夕刻、見張リガ 4 隻ノ船ヲ 2 隻宛左右ノ艦首ニ當ツテ發見シタ。Blakely ハ直ニ右艦首ニ當ツテ風上ニ位置シタ方ノ船ヲ追跡ニト向ツタ。コノ追跡ヲ受ケタ船ハ James Arbuthnot 大佐指揮ノ「ブリッグ」艦 Avon 號デアツタ。交戰 45 分ノ後英艦ハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

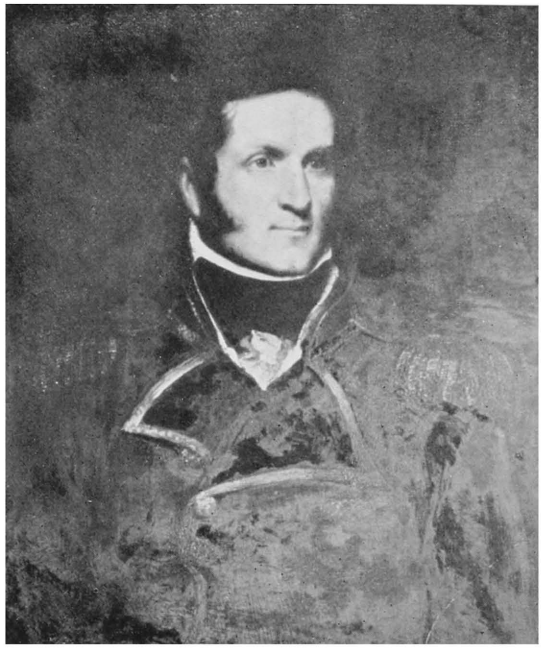
死者9名、傷者33名ヲ出シテ降伏シタ。Wasp 號ハ死者2名、傷者1名デ、Reindeer 號ト戰ツタ時ト比較シテソノ損害ハ約1/8乃至1/9デアツタ。Avon 號ハ32「ポンド」砲ヲ搭載シテ居テ、Reindeer 號ノ24「ポンド」砲ニ比シテ優勢デアツタノデアルカラ、是ニヨツテ Manners トソノ部下ガ相當ナモノデアツタ事ガ分ル。

Blakely ガ將ニ拿捕船ヲ回收セントシテ居タ時、別ノ18門「ブリッグ」艦 Castilian 號ガ彼ノ方ヘ向ケテ進ンデ來ルノヲ發見シタ。ソシテ彼ノ後方ニ來ルヤ、彼ハソレカラ片舷齊發ヲ受ケタ。更ニ別ノ2隻ガ近ヅイテ來ルノヲ見テ、Blakely ハ切角ノ拿捕艦ヲソノ場ニ捨テテ新シク轉桁索ヲ結ビ換ヘル爲ニ沖合ヘ向ヒ、是ニヨツテ Castilian 號ヲソノ後援軍カラ引キ離シテ誘キ寄セント企圖シタガ、コノ時 Avon 號ガ遭難信號ノ大砲ヲ打ツテキタノデ、之ヲ聞キツケタ Castilian 號ハ之ガ救助ニ向ツタ。Avon 號ハ最後ノ1人ヲ他ヘ移乘セシムルヤ否ヤ、沈沒シテ行ツタ。

ソレカラ Blakely ハ南方ヘ向ヒ、Madeiras 諸島沖デ「ブリッグ」船 Atlanta 號ヲ拿捕シタ。之ハ非常ニ貴重ナ拿捕艦デアツタガ爲ニ、彼ハ公式派遣部隊ヲツケテ Savannah ヘ送ツタ。3週間經テ Wasp 號ハ更ニ南方900浬ノ地點ヲ航行シテキタガ、是ガコノ立派ナ艦長ト勇敢ナ乘員ノ最後ノ消息デアツタ。ソノ後何ウナツタカ、ソノ最後ハ全ク神秘ノ中ニ閉サレテ了ツテキル。

◎Hornet 號ト Penguin 號

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



Thomas Macdonough

1815年1月20日 James Biddle 中佐指揮ノ Hornet 號ハ、New York 沖ノ英國封鎖艦隊ノ目ヲカスメテ脫出シ、南大西洋ヘト向ツタ。ソコデ同艦ハ喜望峰ノ西方1,500浬ニ當ル Tristan de Cunha トイフ孤島ニ集合スル事ニナツテヰタ他ノ數隻ノ船ト共同シテ、英國ノ商船攻撃ヲ行フヤウ計畫サレテヰタ。

1815年3月23日到着將ニ投錨セントスル時、丁度見張リハ南東ニ當ツテ1隻ノ船ガ島ノ後方ヲ通過セントシテヰルノヲ發見シタ。ソコデ Hornet 號ハ直ニ出港、暫ク運動ヲ行ツタ後、Dickinson 大佐指揮ノ英ノ「スループ」艦 Penguin 號ト一騎打ノ砲撃戰ヲ開始シタ。Hornet 號ヲ風下ニシテ兩艦ハ竝航シタ。兵裝ハ Penguin 號ガ32听砲16門、12听長砲2門及12听砲1門ヲ有シ、之ニ對シテ Hornet 號ハ32听砲18門、12听長砲2門ヲ有シテ居タ。是ニ由ツテ Hornet 號ハ砲威力ニ於テハ極ク僅カ優勢デアツタニ過ギナイ事ガ分ルデアラウ。

此ノ戰鬪モ他ノ多クノ戰鬪ト變ルトコロハナイ。Penguin 號ハ漂流シナガラ漸次接近シ、砲戰ニ於テ旣ニ敗北ノ形ニアツタノデ、艦長 Dickinson ハ急ニ上舵ニシ、敵艦闖入ヲ意圖シテ Hornet 號ニ衝突シテ來タ。然シ米艦ハ是ニ備ヘテ相手ヲ寄セツケズ、他方小銃兵ハ猛烈ナ砲火ヲ之ニ浴ビセタ。Penguin 號ハソノ斜檣ト前檣トヲ失フヤ、全ク拉ガレタ形トナツテ遂ニ降伏シタ。コノ戰鬪ハ繼續22分。英軍ノ砲ハ大ニ活躍シタニモ拘ラズ、Hornet 號ガ1發ノ彈丸モソノ船體ニ受ケズ、ソノ圓材ニモ大シタ損害ヲ被ラナカツタトイフ事ハ、彼等ノ

HP『海軍砲術学校』公開史料

射撃ガ不正確デアツタ事ヲ示スモノデアル。Hornet 號ノ損害ハ死者1名、傷者11名。是ニ對シテ Penguin 號デハ死者艦長ヲ入レテ14名、傷者28名ヲ出シテ居ル。是ガコノ戰役中ノ最後ノ戰闘デアツタ。實ハ平和條件ガ大統領ニヨツテ裁可サレ、上院デ批准サレテカラ數週間後ニ起ツタ戰闘デアツタ。

◎「スループ」艦戰闘ノ重要性

大英帝國ノ海軍ノ様ナ大海軍カラ「スループ」艦7隻失ツタトコロデ、ソレガ直接此ノ戰爭全體ニ及ボス影響ハ少ナカツタガ、我ガ小型巡洋艦ノ活動ハソノ影響スルトコロ極メテ廣汎ナモノデアツタ。我ガ「スループ」艦ノ勇敢ナル行動、嚴重ナ封鎖ニ直面シテモ殆ド思ヒノママニ行動シ得ルソノ性能、之ガ操縱ノ技術、要スルニ世界第一ノ海軍ヲ向フニ廻シテ殆ド他カラ妨ゲラレル事ナク成功ヲ收メタ事ハ、我ガ國内ニソノ必要ヲ痛感サレテ居タ國民自尊ノ精神ヲ涵養シタ。尤モ是ハ以前ニ「フリゲート」艦戰闘ニヨツテ早クモ刺戟サレテハヰタガ、是ハソノ上又全歐洲ノ人達ノ心ニ嘆賞ノ念ヲ起サシメタ。

更ニ少ナカラザル重要性ヲ有スルモノハ我ガ「スループ」艦ノ英國通商攻撃ニ於ケル活躍デアツタ。Argus 號、Peacock 號（二世）及 Wasp 號（二世）ハ實ニ大膽デアツタ。彼等ノ捕ヘタ拿捕船ノ數ハ私掠船ノ中デモ最モ華々シイ活躍ヲナシタモノノ捕ヘタ數ト比ベテ、敢テ遜色ハナカツタ。「スループ」艦ノ活躍ニヨツテ、大海軍國ハソノ一角ニ破レ易イ弱勢ナル一點ヲ生ジタ形トナツタノデアツタ。ソノ攻

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

撃ハ規模ニ於テハ違フガ、戰略ノ上ハソレカラ1世紀後ノ歐洲大戰ニ於ケル獨逸ノ潜水艦ノソレニ相似シテヰル。1814年8月ニ株式取引所及「ロンドン」ノ保險諸會社ガ海軍省ヘ宛テテ送ツタ下ニ掲ゲルヤウナ文書ハ、戰爭ノ終結ヲ早メル有力ナル論據トナツタノデアル。

『敵ノ我ガ通商攻撃ガ繼續サレルナラバ、商人及貿易業者ハ愛蘭、英國間ヲ通フ船舶ニ莫大ナ保險金ヲカケル場合ヲ別トシテ、御用會社ノ手カラモ個人ノ保險業者ノ手カラモ、保險ヲカケル事ガ出來ナクナルデアラウ。平常デアレバ百分率ニシテ15志9片ト記サレル危險ニ對シテ、今日 5「ギニー」ノ金額ガ要求サレテヰル點カラ云ツテ、コノ主張ガ如何ニ切實ナモノデアルカヲ證明スルモノデアル。』

HP『海軍砲術学校』公開史料

第10章　Erie 湖 ノ 戰

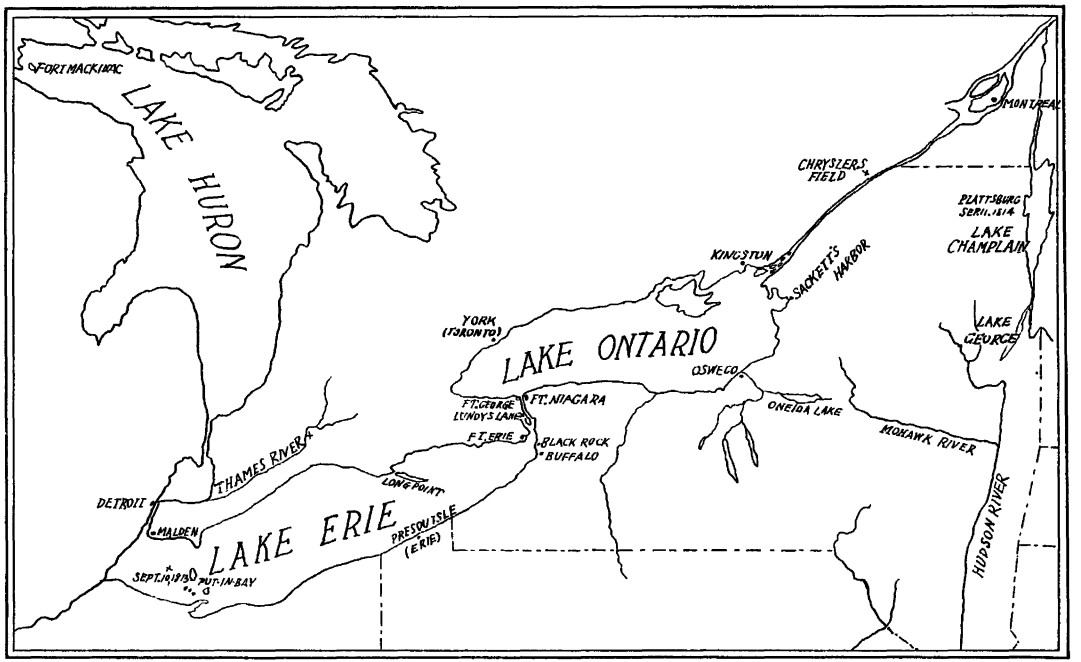
◎五大湖ノ戰略的重要性

合衆國ハ戰爭ガ始ツテカラ漸ク起ツテ、五大湖ニ海軍ヲ持ツ事ニシタノデアツタガ、英國ハソノ戰爭ガ始ルズツト前カラ既ニ此等湖水ノ有スル戰略的重要性ヲ認メテ居タ。實ハ英國ハ佛國ガ加奈陀ヲ占有シタソノ時代カラズツト國境ニアルコノ內陸大洋ヲ軍隊輸送、物貨運送及交通連絡ニ用フレバ、如何ニ迅速ニ事ガ運ンデ利益トナルカヲ夙ニ十分知ツテ居タノデアル。此等水路ヲ支配スル國ハ又利益ノ多イ毛皮ノ商賣ヲモ行ヒ、ソレト同時ニ其ノ地方ノ土人ト交涉ヲ持ツテ彼等カラ諸種ノ權益ヲ與ヘラレタ。湖水ヲ挾ンデ加奈陀米國兩側ノ森林地帶ハ殆ド通過不可能デアツタ。英國ノ海洋海軍ハソノ大ナル勢力ヲ Montreal マデ伸バス事ガ出來タノデアルカラ、若シ更ニ五大湖ノ制覇ガ實現スレバ、英國ハ此等水路ニ沿フ土地一帶ハ、Mackinac ニ到ルマデ、容易ニ其ノ支配圈內ニ入レル事ガ出來タデアラウ。Kingston, Detroit, Mackinac ハ大西洋カラ北西部地方ヘノ交通連絡上重要ナル地點デアツタ。中ニモ Detroit ト Mackinac ハ狹水道ニ位置シテ居タ關係上、更ニ防禦作戰上要害ノ地點ヲナシテヰタ。

我ガ政府トシテハ北部國境ニ於テ攻勢ニ出ルコトヲソノ政策トスベキデアツタノニ、事實之ニ反シテ政府ハソノ沿岸地帶ニ防禦態度ヲ維持セントシタ。此ノ五大湖制覇ニ對シテハ、戰爭ノ10年前カラ準備スベキデアツタ。然ルニ經費ヲ理由ナク吝シム政府ハ、自然海軍ニ反對

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料



THE LAKE CAMPAIGNS, 1812–1814

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シテ海上ニ於ケル軍艦配備ノ必要性スラモ豫見シナカツタ。況シテ湖上ニ於テハ尚更デアツタ。又 Hull ト Dearborn ヲシテ Champlain 湖及北西部制覇ヲ目ザス攻撃戦ニ於テハ、眞ノ目標トスベキ Montreal ヲ無視シテ直接北西部ニ彼等ノ努力ヲ集中セシメ様トシタノモ、同様先見ノ明ヲ缺イタ政策デアツタ。Hull ノ Michigan 湖ニ於ケル慘澹タル戦及 1812 年ノ夏ニ於ケル Detroit ヤ Mackinac ノ陥落ニ我ガ國民ハ憤起シテ能ク努力シ、ソノ極遂ニ Ontario 湖ノ局部的制覇ト Erie 湖ニ於ケル Perry ノ勝利トヲ見ルニ至ツタ。ソノ前ニ我ガ國ガ五大湖ノ制覇ヲ成就シテヰタナラバ、Detroit 及 Mackinac ハ決シテ陥落ハシテヰナカツタデアラウ。事實 Erie 湖ノ英國艦隊ヲ Perry ガ捕獲シテ間モナク、Detroit ト Michigan ノ領土トハ再ビ我ガ手ニ歸シタノデアル。

◎Chauncey 大佐及 Elliott 大尉ヲ五大湖ヘ派遣

1812 年 9 月 3 日 Isaac Chauncey 大佐ハ海軍省ノ命ニヨリ Erie, Ontario 兩湖上ニ艦隊ヲ建設シテ、同湖上ニ於ケル英國ノ覇權ヲ奪取セン目的ヲ以テ、此處ニ指揮ヲ執ル事トナツタ。彼自カラハ Ontario 湖上ノ任務ヲ擔當シ、9 月 7 日ニ Jess D. Elliott 大尉ヲ海軍根據地建設ノタメ Erie 湖ヘ派遣シタ。Elliott ハ 9 月 14 日 Buffalo ニ到著シ、假ノ造船所デアル Black Rock ニ於テ彼ガ最近購入シタ數隻ノ「スクーナー」船ノ艤裝ニ忙殺サレテ居タ。スルト 10 月 8 日彼ハ 2 隻ノ武裝シタ英「ブリッグ」船ガ Erie 要塞沖ニ投錨シタトイフ報ニ接

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シタ。ソレハ以前米國軍艦 Adams 號ト云ツタ Detroit 號ト今1隻ハ Caledonia 號デアツタ。

Elliott ハ丁度其日ニ New York カラ到著シタ90人ノ水兵ト約50人ノ陸軍兵トノ援助ヲ藉リテ是等英「ブリッグ」船ノ撃破ヲ決意シタ。彼ハ Caledonia 號ヲ捕獲シテ Black Rock ニ持チ歸ルコトニハ成功シタガ、Detroit 號ハ Squaw 島沖デ擱坐シ、英米兩國ノ要塞カラ射チ出ス砲火ノ下ニアツテ、ソノママ燒却セラルルヨリ他ニ道ガナカツタ。Caledonia 號ハ價格20萬弗ノ毛皮ヲ積ンデ居リ、Detroit 號ハ砲ヲ多少持ツテ居タガ、後デ米國水兵小數ノモノガ夜間 Detroit 號ヘ行ツテ12听砲4門ト彈丸多少ヲ持チ歸ツタ。

Elliott 大尉ハ逸ハヤク機ヲ見テ之ヲ捉ヘタ。即チ彼ハ上記2隻ノ船ヲ己ノ戰隊ニ加ヘルナラバ、英國カラ上湖（Upper Lakes 即チ Erie 湖ノ西方ニ在ル諸湖）制覇ノ權ヲ奪取スル事ガ出來ルト豫テ考ヘテ居タ。然シ Detroit 號ハ何ウシテモ破毀サレネバナラナカツタノデ、英軍ハ依然强大ナル海軍力ヲ有シ、Elliott ニハ到底之ニ對抗スルコトハ覺束ナカツタ。ソレデモ英軍司令官 Brock 將軍ハ「ブリッグ」船2隻ノ損失ヲ非常ナ痛手ニ感ジタ。加奈陀總督ヘ送ツタ書翰中ニ、彼ハ次ノ樣ニ書イテヰル。「此ノ度ノ事件ハ誠ニ不幸事ニ有之、或ハ此ガタメ我ガ軍ハ計リ知レヌ危怡ニ遭遇セヌトモ限ラズ候。敵ハ兩湖ニ優勢ナル海軍力ヲ保持センタメ凡ユル努力ヲ續ケ居リ、彼等ニシテ若シ之ヲ完成センカ、我等ハ如何ニシテ此ノ地ヲ守リ得ルカ誠ニ心許ナキ限リニ候。Squaw 島ノ彼方ニ於テハ、戰ニ備ヘントテ更ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

多數ノ艦船ヲ艤裝致シ居リ候。余ハ之ニ對シテ若シ閣下ノ控ヘヨトノ再三ノ訓令ナカリセバ、之ガ撃滅ヲ試ミシモノヲト誠ニ殘念ニ存候。今ヤ彼等掩護ノタメ一部隊集結サレ居リ、當方ヨリ之ニ作戰ヲ仕向ケナバ、悉ク危キモノト相成ルベク候。」Elliott ハ冬ガ來テ湖ガ航行不可能トナル迄ソノ仕事ニ精勵シタ。ソシテ彼ノコノ努力ハ翌年ノ Perry ノ成功ノ基ヲ築イタノデアツタ。

◎Perry Erie 湖上ニ指揮ヲ執ル

1813年3月27日 Oliver Hazard Perry 海軍中佐ハ Erie 湖ニ於ケル任務ニ就イテ、Black Rock カラ Presquisle ヘ艇隊ヲ移シ、此處ニ根據地ヲ設ケタ。今ヤ米國側ニ Perry、加奈陀側ニ英國海軍中佐 Barclay ガ夫々陣取ツテ、ソノ間ニ建艦競爭ガ開始サレテ居タ。兩人共若クシテ元氣一杯デアツタ。何レモ非常ナル困難ノ下ニ仕事ヲシナケレバナラナカツタ。加奈陀人ハ Barclay ニ殆ド援助ヲ與ヘナカツタ。北岸ハ餘計ニ寒サガ酷シイシ、又土地モ開ケテヰナカツタノデ、仕事ガ一層困難デアツタ。假令英國ノ海洋艦隊ガ人ト武器ヲ運ンデ Montreal 迄ハ來ラレタトシテモ、肝心ナ人ガ無ク、政府ハ歐洲戰爭ニ參加セシムベキ水兵ニ非常ニ窮シテ居タ。Ontario 湖ニ指揮ヲ執ツテ居タ敏腕ナル若イ英國海軍大佐 Sir James Lucas Yeo ハ、Erie 湖ニアル彼ノ部下ヲ Barclay ニ多少融通ハ出來タガ、ソレモ極ク少數ノ者ニ過ギナカツタ。トイフノハ Chauncey ニ對抗シテ湖上ノ主權ヲ握ランガタメ、彼自身兵員ヲ差シ迫ツテ必要トシテ居タカラデアル。他

HP『海軍砲術学校』公開史料

方 Perry ハトイフト、彼ハ New York ニ在ツテ相手ヨリ開ケタ土地デ仕事ヲシテ居タ譯デアルガ、然シ彼モ亦同ジク上官 Chauncey ヲ說イテ人ト糧食ヲ融通シテ貰フ事ノ困難ナル事ヲ知ツタ。ソコデ職工ト水兵ヲ大部分 500 哩モ離レタ New York 市カラ連レテ來ナケレバナラナカツタ。Perry ハソノ造船作業ヲ防護センガ爲ニ、主トシテ國民軍ト黑人ニ依ラネバナラナカツタ。是ニ對シテ Barclay ハ加奈陀人ト「アメリカインド」人ヲ用ヒタ。加奈陀人ノ多數ハ本來 New England ト New York 出身ナノデ、北部諸州ノ人達ト同樣、最初カラ戰爭ニ反對デアツタ。從ツテ信賴出來ナカツタ。Roosevelt ハ加奈陀人ハ流石ニ生來ノ湖上水兵ダケニ、Erie 湖ノ戰ニ於テハソレカラ 1 年ノ後、英國水兵ガ Champlain 湖ニ戰ツタ時ト比シテ、見事ナ戰ヒ振リデアツタトイフ意見ヲ抱イテヰル。然シ Barclay ハ英國人將兵ヲ充分ニ持チ得ナカツタ事ヲ大ニ歎イタ。

Ontario 湖上ニ一時制覇ヲ握ツテヰタノヲ幸ヒ、Chauncey ハ Dearborn 將軍ト協力シテ 1813 年 4 月 York、即チ今ノ Toronto ヲ占據シタ。ソレカラ 1 箇月後彼ハ Niagara 河上ノ George 要塞占領ニ助勢シタ。ソノ爲英國ハ餘儀ナク此ノ河上カラ退去シタ。仍テ Perry ハ同河ヲ Presquisle 迄「ブリッグ」船 Caledonia 號及新シク購入シタ「スクーナー」船 Somers 號、Tigress 號、Ohio 號、ソレニ「スループ」船 Trippe 號ヲ曳イテ溯ル事ガ出來タ。强イ流ニ逆ツテ是等ノ船ヲ曳航スルハ誠ニ骨ノ折レル仕事デアツタ。此ノ外 Perry 艦隊ノ殘餘、即チ 2 隻ノ 20 門「ブリッグ」船 Lawrence 號ト Niagara

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



Oliver H. Perry

HP『海軍砲術学校』公開史料

號及3隻ノ「スクーナー」船 Ariel 號、Scorpion 號及 Pounpine 號ハ Presquisle ノ工廠ニ於テ建造ヲ急イデ居タ。

Barclay モ亦ソノ艇隊ノ造船及艤裝ニ忙殺サレテ居タ。此ノ艇隊ハ Detroit 號（以前ノ Detroit 號ノ名ヲ受ケ繼イダ新造船）、Queen Charlotte 號、「ブリッグ」船 Hunter 號、「スクーナー」船 Lady Prevost 號及 Chippewa 號ト「スループ」船 Little Belt 號デ編成サレテ居タ。Barclay ハ麾下ノ船ガ大部分用意ナルヤ、直ニ出港シテ Perry ヲ Presquisle ニ封鎖シタ。此ノ時 Perry ハ非常ナ窮地ニ在ツタ。トイフノハ彼ハ率キル「ブリッグ」船ヲ砲ヲ搭載シタママデ Erie 港口ニアル砂洲ヲ通過セシムル事モ出來ズ、又 Barclay ノ艇隊ガ附近ヲ徘徊シテキル此ノ際砲ヲ降スコトモアマリニ無鐵砲デ出來ナカツタ。Barclay ハ 8 月 2 日迄嚴重ナ封鎖ヲ續ケテ居タガ、此ノ日彼ハ何等明確ナ理由モナク西方へ姿ヲ消シタ。Perry ハ此ノ時ト事ヲ急イデ、4 日ニ砂洲ノ最モ深イ個所へ Lawrence 號ヲ曳行シテ速ニ其ノ砲ヲ除キ、其ノ夜砂洲ヲ通過スルヲ得タ。Lawrence 號ノ砂洲通過ノ作業ニ Perry ノ取ツタ方法ニ就テハ、Cooper ガ次ノ如ク述ベテ居ル。『此ノ目的ノ爲ニ 2 隻ノ大型平底船ヲ横付ニシテ問題ノ「ブリッグ」船引キ揚作業ハ迅速ニ進行シタ。前後ノ砲門ニ巨大ナ丸太ヲ數本通シテ置キ、平底船ヲ水線迄沈メテ丸太ノ端ヲ之ニ固縛シテ此シ浮臺デ以テ之ヲ支持シタ。次ニ平底船ニ栓ヲ施シテ中ノ水ヲ唧筒ヲ以テ汲ミ出シタ。此ノ作業ニ依ツテ「ブリッグ」船ハ 2 呎モ浮キ上ツタガ、砂洲ノ上ニ來タ時尙マダ吃水ガ深スギル事ガ分ツタ。ソコデ全部ノモノヲ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

包ミカクシテ新ニ平底船ヲ沈メ、丸太ヲ固縛シ直スコトガ必要トナツタ。此ノ作業ハ一晩中掛ツタ。』

5日朝8時丁度 Lawrence 號ガ安全ニ砂洲ヲ越シタ時、Barclay ハ再ビ姿ヲ現ハシタ。然シ時已ニ遅ク、仕方ナク米ノ「スクーナー」船ト數彈ヲ交ヘタ後、ソノ根據地 Malden (Amhesstburg) ヘ退キ、彼ノ最モ有力ナル船 Detroit 號ノ竣工ヲ待ツタ。其ノ後間モナク Perry ハ Niagara 號ノ砂洲通過ニ難ナク成功シタ。Perry ハ Malden ヘ向ケテ西行シテ、後糧食積込ノ爲 Erie 港ヘ引キ返シ、8月10日ソノ必要ヲ痛感サレテ Lieutenant Elliott ガ丁度連レテ來テ居タ援兵 102名ノモノヲ受ケ取リ、之ヲ自艦隊ニ配員シタ。ソシテ Elliott ハ次席指揮官トシテ Niagara 號ノ指揮ヲ執ツタ。茲ニ於テ Perry ハ自由ニ湖水ヲ巡航スルヲ得ルニ至ツタ。彼ハ Malden ノ南西30哩ノ處ニ在ル良港 Put-in Bay ニ根據地ヲ置キ、其處デ彼ハ Barclay ノ動靜ヲ監視シ、彼ガ Long Point ニ於ケル英軍ノ兵站基地トノ連絡ヲ阻止スルヲ得タ。行路ハ塞ガレ又封鎖突破モ實行不可能デアツタノデ、Barclay 大佐ハ糧食補給ノタメ何ウシテモ出テ來ナケレバナラナカツタ。戰後 Sir James Yeo ヘ宛テタソノ報告書ノ中ニ、彼ハ次ノ如ク書イテ居ル。「Malden 港ニハ小麥粉1日分ノ貯藏モナク、全ク食料品ハ缺乏シテ居タ。本職指揮下ノ艦隊乘員ハ、多クノ給與品ニ就テ半分給與ノ狀態デアツテ、コレガ終レバ後ニハ何モナカツタ。」此ノ爲ニ此ノ地方ノ土人ハソノ家畜ヲ盛ンニ殺シテ居タ。ソシテ此等土人兵士トソノ家族總勢 14,000 人ノモノハ英軍ノ手ニ依ツテ給與ヲ受ケテ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

居タガ、食料缺乏ノタメ反抗的ニナツテ居タ。

◎Erie 湖 ノ 戰

1813年9月10日ノ日出頃、Lawrence 號ノ檣上見張ハ Malden 港カラ進ンデ來ル英國艦隊ヲ發見シタ。此ノ日風ハ最初南西デ、ソノ爲 Barclay ハ風上ニ在ツタ。然シ Perry ガ出カケテカラ風ハ南東ニ變リ、從ツテ彼ニトツテハ有利トナツタ。Barclay ハソノ報告ノ中デ次ノ如ク云ツテヰル。「敵艦隊ハ風上ニアツテ非常ニ有利デアツタ。例ヘバ敵ハソノ爲ニ位置ノミナラズ、距離ノ撰擇モ出來タ。事實彼ハ之ヲナシテ Queen Charlotte 號及 Lady Prevost 號ノ短砲ノ効力ヲ殺イダ。之ニ反シテ敵ノ長砲ハ充分ニ威力ヲ發揮シ、Queen Charlotte 號砲撃ニハ特ニ功ヲ奏シタ。

兩軍指揮官ハ各ソノ最優秀艦ヲ中央ニシテ艦隊ヲ縱陣隊形ニ作ツタ。此ノ隊形ハ全線ニ强度ノ凝聚力ヲ與フルモノデアツタ。Perry ハ中デモ優秀ナル艦ヲ各敵ノ之ト同威力ノ艦ト竝行シテ相對セシメント豫メ考ヘテ居タノデアル。ソレハ Barclay ガソノ艦列ノ中央ニ Detroit 號、Hunter 號、Charlotte 號ノ順ニ配置シテヰルノニ氣付イテ後ニ、Perry ハ之ニ對スルヤウ Lawrence 號、Caledonia 號、Niagara 號トイフ順ニ配列シ直シタ處カラ見テモ分ル、彼ノ最初ノ計畫トシテハ英國艦隊ハ Queen Charlotte 號ヲ先頭ニシテ來ルデアラウト考ヘテ、味方ハ Niagara 號ヲ Lawrence 號ノ前ニ配スルトコロデアツタ。コノ隊形ノ變更ハ戰後持上ツタ Perry 對 Elliott ノ論爭

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

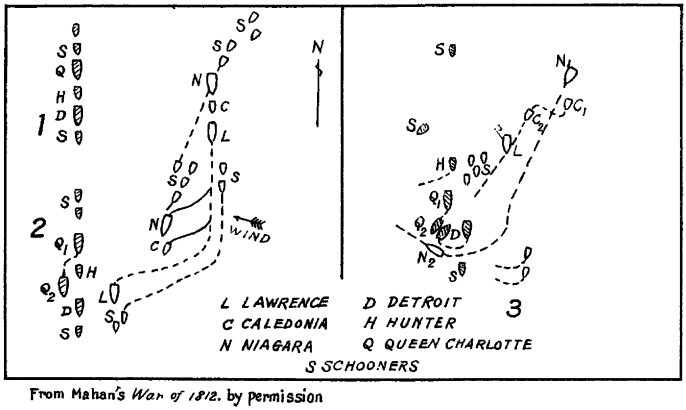
HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ重要ナル關係ヲ持チ、且是ニ依ツテ我ガ國民ハ兩者ヲ支持シテ、夫々二派ニ分レテ對立スルニ至ツタノデアルカラ、特ニ注意スベキデアル。

戰ハ11時45分ニ開始サレ、3時迄續イタ。英軍側ガ先ヅ火蓋ヲ切ツテ後間モナク、Perry ハ敵ノ縱陣ニ平行デアツタ最初ノ隊形ヲ放棄セント決意シタ。彼ハ Lawrence 號ガソノ搭載スル短砲ノ有効射程內ニ無イト云フ事ヲ知ツテ、「スクーナー」船 Ariel 號及 Scorpion 號ト先頭ニアル旗艦 Lawrence 號トヲ以テソノ隊形ヲ梯陣ニトツタ。同時ニ彼ハ風力弱キ爲ニ後方ニ於テ列ヨリ外レテ居タ殿ノ諸艦ニ對シテ密集セヨト云フ命令ヲ與ヘタ。何カノ理由デ Elliott ハ指揮官ノ先導ニハ從ハズニ速力ノ遲イ Caledonia 號ノ後ニ從ツタ。ソシテ Niagara 號ノ搭載砲中、4/5 ハ短砲デアツタノデ、Elliott 指揮ノ同艦ハ自然ソノ射程外ニ出タ。兎角スル中ニ同艦ガ相手トシテ戰フ事ニナツテ居タ敵艦 Queen Charlotte 號ハ Caledonia 號ノ長砲ヨリ受ケツツアル損害ノ大ナルヲ知ツテ、既ニ Lawrence 號ニ集中セラレテ居タ猛烈ナル砲戰ニ參加セント前進シタ。Elliott ガ命令ヲ誤解シタノカ、或ハ其ノ判斷ガ不十分デアツタ爲カ、Caledonia 號ト先頭ノ諸艦トノ間ニ著シイ間隙ヲ生ジタ。

Lawrence 號ハ斯クシテ12時カラ2時半迄ノ間、此ノ戰鬪ノ難局ニ當ラナケレバナラナカツタ。英米兩軍トモソノ先頭ニ在ツタ大艦ハ、何レモ大損傷ヲ被ツテ居タ。戰鬪第1期ノ終リ、即チ2時30分ニハ Lawrence 號ハ難破ノ狀態ニ在ツテ、其ノ乘員ノ 4/5 ハ死傷シ、遂ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



From Mahan's *War of 1812*. by permission

THE BATTLE OF LAKE ERIE

HP『海軍砲術学校』公開史料

軍醫官ヤ負傷兵ニサヘモ戰鬪ニ從事セシメナケレバナラヌ有様デアツタ。Perry 自身モ亦主計官ト牧師ノ應援ヲ得テ最後ノ1發ヲ放ツテ効果ヲ收メタ。然シ Detroit 號モ亦 Barclay ノ報告ニ依レバ「全損ノ難破船」デアツタ。Queen Charlotte 號ハ敏腕ナル艦長 Finnis ヲ戰鬪ノ早期ニ於テ失ヒ、コノ時ハ無經驗ナ加奈陀出身ノ士官ノ拙劣ナル指揮下ニ置カレテヰタ。

Perry ハソノ乘艦 Lawrence 號ガ全ク手ノ下シヤウモナイ狀態トナツテ戰列外ヘ流レテヰル間ニ、短艇ヲ降シテ之ニ乘リ、旗艦カラ Niagara 號ヘ移乘シタノデアルガ、此ノ有名ナル話ハ、實ニ危急ノ時ニ於テ行ハレタ事デアツタ。Niagara 號ハ損傷一ツ受ケズ全ク完全ナル狀態ニアツタ。Perry ハ之ニ移乘スルヤ、直ニ Elliott ヲ遣ツテ後方ニ後レタ諸艦ヲ急ガシメタ。ソシテ自ラハ Niagara 號ヲ英ノヒドク痛メツケラレテヰル旗艦ニ向ケタ。ソノ途中ニ於テ、彼ハ左舷砲ヲ敵ノ小艦艇ニ向ケ、右舷砲ヲ Detroit 號、Queen Charlotte 號及 Hunter 號ニ向ケテ發射シタ。此ノ時 Detroit 號及 Queen Charlotte 號ノ2艦ハ下手廻シヲ行ヒ、新シク片舷齊射ノ戰法ヲ取ラウトシテヰタ。然シ兩艦共ニソノ轉桁索及帆脚索ヲ全部敵彈ノ爲ニ失ツテヰタ爲ニ、互ニ衝突シタ。此ノ爲ニ Niagara 號ハ拳銃射程ノ半分ノ近距離デ縱射スル絶好ノ機會ヲ獲タ。Caledonia 號竝ニ丁度此ノ時後方カラ追ヒ付イテ來タ「スクーナー」船等ノ應援ヲ得テ敢行シタ Niagara 號ノ猛烈ナ砲擊ハ、急速ニ此ノ戰鬪ヲ終結ニ導イタ。

Perry ハソレカラ再ビ Lawrence 號ヘ司令旗ヲ移シタ。ソレハ英軍

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

指揮官等ノ降伏ノ挨拶ヲ元ノ旗艦艦上ニ於テ受ケンガ爲デアツタ。Chippewa 號ト Little Belt 號トハ砲煙ト混亂ニ紛レテ全帆ヲ揭ゲ逃亡セントシテ居タガ、直ニ Trippe 號及 Scorpion 號ノ爲ニ捕ヘラレ、ソノ士官達モ Lawrence 號ヘ出向イテ行ツテ、ソノ劍ヲ渡サナケレバナラナカツタ。降伏ノ儀式モ濟ンデ間モナク、Perry ハ西北地方ノ米軍前司令官 Hull ノ後ヲ繼イデ指揮ヲトツタ。William Henry Harrison 將軍ヘ『我等ハ敵ニ遭遇セリ。而シテ彼等ハ我等ノモノトナレリ。——軍艦2隻、「ブリッグ」船2隻、「スクーナー」船及「スループ」船各1隻。』トイフ彼ノ有名ナ通信ヲ送ツタ。

此ノ戰鬪ニ於ケル兩軍ノ兵力ハ甚ダシク不均等ナモノデアツタ。米軍側ハ9隻、片舷齊發總威力 896 听、之ニ對シテ英軍側ハ6隻ト砲 459 听デアツタ。Perry ノ方ハ相手ニ對シテ長砲總威力ハ3對2デ、短砲總威力ハ2對1ノ割合デアツタ。Barclay 側ノ射擊技倆ハ鍵索ガナカツタタメ、火門ニ拳銃ヲ發火サセテ發砲シタノニモ拘ラズ、仲々見事ナモノデアツタ。米軍ノ總勢ハ 532 名ヲ數ヘ、ソノ中任務ニ間ニ合フモノハ 416 名ノミデアツタ。英軍ハ 440 名デアツタ。以上ヲ全體的ニ比較シテ見テココニ記憶シナケレバナラナイ事ハ、米軍ハソノ艦船ノ隻數及ソノ艤裝ニ於テ優勢デアツタニモ拘ラズ、戰鬪漸ク終リ近クトナリ、Elliott ノ指揮スル Niagara 號ガ後方カラ駛セ參ジタ頃迄ハ、ソノ優勢ヲ利シテ大ニ力ヲ發揮シ得ナカツタトイフ事デアル。

此ノ戰鬪ニ於テ Elliott ガ取ツタ行動ハ、說明スルニ難イモノデアル。彼ハ司令官ノ命令ヲ誤解シタヤウニ思ヘル。Perry ハ戰鬪早期ニ

HP『海軍砲術学校』公開史料

於テ隊形密集ノ信號ヲ再度喇叭ヲ以テ送ツタノデアツタガ、Elliott ガ果シテ此ノ命令ヲ受ケ取ツタカ如何カハ、之ニ對スル非難攻撃ト反駁ノ議論ガ遂ニ入念嚴密ニ檢討サレナカツタ爲ニ、今日デハ斷定スル事ハ出來ナイ。Elliott 大尉ハ Erie 湖ニ於ケル早期ノ仕事ニハ大ニ力ヲツクシタノデアルガ、此ノ戰鬪ニ於テハ Perry ニ追隨シテ近迫戰鬪ニ加ハラナカツタリ、又本ノ計畫ニ從テ Queen Charlotte 號ト交戰シナカツタリシテソノ判斷ヲ誤リ、進取ノ意氣ニ缺クルトコロガアツタヤウニ思ヘル。之ニ對シテ彼ノ釋明シタトコロハ、彼ハ列中 Caledonia 號ノ後方ニ占位スルモノト解釋シテ居リ、又風ガアマリニ弱クシテ自艦ヨリモ快速ノ Queen Charlotte ニ追隨出來ナカツタト云フノデアツタ。

此ノ戰鬪以前ニ於テハ、米軍士官ハ嘗テ殆ド否全然艦隊戰鬪ナルモノノ經驗ガナカツタ。ソレ迄ノ海戰ハ凡テ單艦戰鬪デアツタ。18 世紀中葉ノ傳統ニ從ヘバ、陣列ハ如何ナル事ガアツテモ必ズ彼我兩隊竝行進路ヲトルコトニ在ツタ。1782 年 4 月 12 日西印度諸島海面ニ於テ De Grasse 相手ニ行ハレタ有名ナ Saints ノ戰ニ於テ、Rodney ハソノ參謀長ノ提案ヲ入レテ敵ノ陣列ヲ破ル新戰法ヲ初メテ採用シタ。此ノ方法ニ依ツテ、彼ハ麾下ノ多數ノ艦船カラソノ砲撃ヲ敵ノ小數ノ艦船ニ集中セシメタ。ソシテ敵ガ死物狂ヒノ抵抗ノ後力盡キテ降伏スルニ至ルマデ、斷乎之ヲ攻メ立テタ。是ハ又 Trafalgar ノ海戰ニ於テ Nelson ガトツタ戰法デモアツタ。ソシテ顯著ナ成績ヲ擧ゲテ此ノ戰術ノ正當ニシテ誤リナキコトヲ更ニ一層確定的ニ證明シタ。集中ノ原

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

理ハ、ソノ實行方法ハタトヒ異ツテキテモ、Rodney 及 Nelson ノ時代ト同樣、今日ニ於テモ適用サレル。

Perry ノ採ツタ攻撃方法ハ最初ハ敵ト竝行ニ縦陣トナツテ進ム更ニ古イ傳統ニ從ツタモノト思ヘル。ソシテ Elliott ガ Caledonia 號ノ後方位置カラ去ラウトシナカツタ事ハ、偶彼ガ期待シタ戰法ハ、即チコノ戰法デアツタ事ヲ示スモノデアル。彼ガ陣列中ノ位置カラ離レル事ヲ肯ンジナカツタ事竝ニ Queen Charlotte 號ガ Lawrence 號、Ariel 號及 Scorpion 號攻撃參加ノタメ前進シタソノ運動トハ、スンデノ事デ Barclay ヲシテソノ相手ノ優勢艦隊ノ見事ナル各個撃破ヲ達成セシメルトコロデアツタ。然シ Perry ガ Niagara 號ニ移乘シテカラハ、從來ノ陣列隊形ヲ捨テテ敵ノ艦隊ニ突入シ、是ニ依テ敗北ヲ轉ジテ勝利トスル事ヲ得タ。

Barclay 大佐ハ年 32、立派ナ閲歷ノ人デアツテ、Nelson ノ下ニ Trafalgar ニモ戰ツテ居ル。Erie 湖ノ戰ニ於テハ 2 回ニ亙ツテ負傷シ、最初ノ時ニハ甲板ヲ去ラズニ頑張ツタ。然シ 2 回目ノ負傷ハ非常ニ重傷デ、當時ノ狀況ヲ後彼ノ軍法會議ニ列シタ士官達ガ聞イテ居テ、目ニ涙ヲ浮カベタ程デアツタ。Barclay ハ此ノ戰鬪ニ於テ實ニ勇敢ニ戰ツタ。然シ Presquisle ノ封鎖ヲ捨テテソノ爲ニ Perry ノ湖上進出ヲ許シタ事ハ、彼ノ犯シタ大キナ誤デアツタ。Barclay ハ ソノ報告ノ中デ死者ノ數ヲ 41 名、負傷者ヲ 94 名トシテ居ル。Perry ハ死者 27 名、傷者 96 名ヲ擧ゲテ居ル。

兩軍ノ兵力ニハ差異ガアツタガ、此ノ差異コソ Perry ノ榮譽ヲ增

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

スモノデアル。何故カナラバ、斯クモ速カニ優勢ナル艦隊ヲ建設シ得タノハ實ニ彼ノ目覺マシイ活動ノ賜物デアツタカラデアル。Roosevelt ハ之ヲ評シテ、Perry ハ米國史ニ於テハ Hull ヤ MacDonough ヨリモ高ク評價サレテ上位ニ据エラレテヰルガ、彼ハ劣勢ト戰ツテ勝ツタノデアルカラ、此ノ位置ハ不當デアルト云ツテ居ル。然シ更ニ語ヲ續ケテ、「Erie 湖上ニ斯ノ如キ有力ナル艦隊ヲ造ル程我々ガ進取的デアツタ事ハ、我々ノ大ニ名譽トスル所デアツテ、コノ爲ニ Perry ハ最高ノ賞讃ヲ受ケテヨイ。」ト云ツテ居ル。尙此ノ Erie 湖ニ於ケル思ヒ切ツタ仕事ヲ Ontario 湖ニ於ケル仕事ノ不結果ニ終ツタ事ト比較スル時、Perry ガ實ニ驚異ノ業ヲ遂行シタ事ヲ吾人ハ認メザルヲ得ナイノデアル。彼ノ大ナル力ニ依ツテ艦隊ガ編成サレ、之ニ依ツテ數箇月ヲ出デズシテ米國ハ Lake Erie, Upper Lakes 及附近一帶ノ地ヲ支配スルニ到ツタノデアル。是ニ反シテ Lake Ontario ニ於テハ、Yeo ト Chauncey ノ間ニ行ハレタ建艦競爭ハ持續ハサレタケレド、何等ノ効果ヲモ收メズ、戰役ノ終結ト同時ニ之モ終ツタニ過ギナイ。Roosevelt ガ批判シテヰルコノ米國史ニ於ケル法外ナ Perry 禮讃ノ由ツテ來ルトコロハ、何カト云ヘバ、此ノ戰鬪ノ「メロドラマ」的ナ點、例ヘバ Lawrence 號ノ壯烈ナル抵抗、Perry ガ短艇デ Niagara 號ヘ移乘シタ事及局面ガ勝利ヘト急轉換シタ事ナドガ大ニ國民一般ノ想像力ニ訴ヘタ事デアル。然シ Perry ノ名聲ハソレヨリモ寧ロ、彼ガ後ニ率ヰルコトニナツタ艦船ノ船材ガ、マダ林ノ中ニ生ヒ立ツテ居タ時代ニ カカツテ 居タト 云フベキデアル。一言ニシテ 云ヘバ、彼ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Lake Erie ニ於ケル仕事ハ、士官トシテノ生涯ニ於テ重要ナルモノガ民衆ノ喜ブ華々シイ戰闘デハナクテ、靜カナル而モ撓マザル氣力ト、正シキ判斷ト、ソシテ戰勝ニ常ニ先立チ、時トシテハソノ後ニ迄續クトコロノ先見ノ明ナル事實ヲ證明スルモノデアル。

◎戰　　果

Lake Erie ノ戰ノ結果ハ ソノ影響スルトコロガ廣汎デアッタ。Detroit ト Michigan ハ我ガ手ニ歸リ、續イテ Thames ノ勝利ヲ見タ。此ノ戰闘デ「アメリカ・インディアン」ノ大酋長 Tecumseh ガ戰死シテ、ソノ部下ハ英軍ノ手カラ離レタ。ソレ以來、西北部地方ニ於ケル米國移民ハ枕ヲ高クシテ眠ル事ガ出來ルヤウニナッタ。此ノ地ニ於ケル米國領土ヲ奪取シテ、ソコニ Indian 獨立國ヲ建設シテ之ヲ英國ノ保護ノ下ニ置キ、ソシテ我ガ合衆國ニ對スル緩衝地帶トナサントシタ英國ノ計畫ハ、此處ニ一度ニ、而モ永久ニ終焉ヲ告ゲタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第11章　Essex 號ノ巡航

第8章ニ於テ32門「フリゲート」艦 Essex 號ガ Constitution 號ト Hornet 號トヲ見失ツタ後、南方海面ニ當モナク巡航ニ向ツタ事ヲ述ベタガ、僚艦ト離レテ斯ウシタ獨立行動ニ出タ事ニ對シテハ、Captain Porter ニハ理由ガアツタ。第一ニ Bainbridge ト會合セントテ Cape Frio (Rio de Janeiro ノ近ク) 沖ニ空シク待ツ事2週間、ソノ中糧食ガ段々缺乏シテ行クノニ氣ガツイタ。ソコデ彼ハ約束シテアツタ次ノ會合地點ヘ急航シタ。ソレハ矢張リ Brazil 海岸ニアル St. Catherine 島デアツタ。ソコヘ行ツテ見ルト、Constitution 號モ Hornet 號モ居ナカツタ。然シ Java 號ガ拿捕サレタ事ヲ聞イタ。ソレト同時ニ Hornet 號ガ戰列艦 Montague 號ノ爲ニ捕獲サレタトイフ噂ヲ耳ニシタ。ソシテ英國ノ大艦ガ數隻コノ方面ニ間モナク出向イテ來ル豫定ナル事ヲ知ツタ。斯ル大軍ノ爲ニ港ニ封鎖サレルカ、或ハ攻撃サレル事ヲ恐レテ、Captain Porter ハ直ニ出港シタ。

彼ハ日記ニ次ノヤウニ書イテ居ル。『當時糧食ガ缺乏セントシテ居タノデ、速カニ自艦ノ行動ヲ決スル必要ガアツタ。主計官ニ報告ヲ求メタトコロ、半減給與トシテ「パン」3箇月分アル事ヲ知ツタ。此ノ沿岸デハ、糧食ヲ補給シ得ル港ハナカツタ。アツテモ吃度拿捕サレルカ、封鎖(之ハ拿捕同樣有難イモノデハナイト思ツタ)サレルカニ相違ナカツタ。ソレカト云ツテ、本國ノ海岸ニハ敵ノ巡洋艦ガ多數徘徊スルコノ時季ニ、其處ヘ歸ラウトスル事ハアマリニ冒險デアラウシ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

又自分ノ受ケテ居タ命令ニ全然相反スル行動トモナル。司令官ハ Bahia 沖碇泊中、ソノ本來ノ意圖ヲ捨テテ別ノ行動ニ移リ、ソシテ既ニ3箇所ノ會合地ニ於テ姿ヲ見セズ、3度マデモ自分ヲ失望サセテ居ルノデ、彼ヲ何處ニ探シテヨイノカ、此ノ時全ク途方ニ暮レタ。當時ノ糧食ノ狀況デハ、歸航ノ印度諸島通ヒノ船舶ヲソノ途中ニ捕ヘント St. Helena ヲ出テ行ク譯ニモ行カナカツタシ、自艦ノ兵力デハソレモ許サレナカツタラウ……ソコデ余ハ敵ヲ傷メルニ最良ト考ヘラレモシ、又自艦ノ巡航ヲ經續シ得ルヤウナ方法手段ヲ構ズル事ニ決メタ。之ガ遂行ニハ封鎖サレル危險モナク、糧食補給ガ出來ルヤウナ好意ヲ持ツテ呉レル港ニ入ルヨリ外ニ道ハナカツタ。最初ニ心ニ浮ンダノハ Chile ノ沿岸ニアル Concepcion 港デアツタ。Cape Horn ヲ廻ルニハ成程季節ガ遲スギルシ、糧食モ乏シク、ソノ他ノ點ニ於テモ斯ル長航海ニハ物資ガ充分デハナカツタノデアルガ、然シコレ以外ニハ余ニ殘サレタ道ハナク、之ヲ擇バナケレバ拿捕カ飢餓カ封鎖ノ何レカニ遭遇スルバカリデアル樣ニ思ヘタ。』

ソコデ彼ハ乘員ノ1日分食量ヲ半減シテ Cape ヘ向ツタ。約3週間 Cape Horn ニ名ダタル暴風荒海ト戰ツタ後、Essex 號ハ再ビ北ヘ轉ジタ。米海軍ノ軍艦デ Horn ヲ廻リ太平洋ニ入ツタノハ、之ガ最初ノ艦デアツタ。不思議ナ暗合トデモ云フカ、Cape of Good Hope ヲ廻ツタ最初ノ米軍艦ガ矢張リ此ノ小艦 Essex 號デアツタ。

1813年3月13日 Captain Porter ハ Valparaiso 港ニ投錨シタ。ソシテ直ニ物資ノ補給ヲ行ツタ。Chile 政府ハ彼ヲ款待シタ。トイフノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



David Porter

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ同政府ハ當時既ニ Spain ニ對シテ叛逆シ、同國竝ニ Portugal ノ依然忠實ナル殖民地ノ如ク英國ト結ブヤウナ事ハシナカツタ。例ヘバ Peru ノ如キハ熱心ニ英國ノ肩ヲ持チ、ソノ結果當時米國ノ捕鯨船ノ本國ヘノ歸途ヲ擁シテ、之ヲ攻撃スル許可ヲ數隻ノ私掠船ニ與ヘテ居タ。

Valparaiso 碇泊中 Captain Porterハ、Ecuador カラ西方約500浬ノ處ニアル捕鯨船集合地トシテ名高イ Galapagos 諸島附近ニ、英國ノ捕鯨船ガ多數居ルラシイトイフ事及 Essex 號ガソノ附近ニ遊戈シテ居レバ、開戰ヲ未ダ知ラヌ歸航ノ米國船舶ニ警戒保護ヲ與ヘル事ニナツテ仕合セスルトイフ事ヲ1隻ノ米國捕鯨船カラ聞イテ知ツタ。コレニ基イテ Porter ハ物資補給ヲ終ルヤ、(3月20日)直ニ Valparaiso ヲ出テ Galapagos ヘ向ツタ。ソノ途中彼ハ米國捕鯨船2隻ヲ拿捕シタト聞イテ居タ。Peru ノ私掠船ヲ探シナガラ、Chile ト Peru ノ海岸ニ沿ツテ航走シタ。數日シテ件ノ私掠船ヲ首尾ヨク發見シテ、之ヲ捕獲シタ。ソノ船長ハ要求ニ應ジテ、該海面ニ於テ彼ノ知ル全部ノ英國捕鯨船ノ一覽表ト說明トヲ Porter ニ與ヘタ。ソレカラ2日經テ、彼ハ此ノ私掠船ノタメニ捕獲サレタ米船ノ1隻 Barclay 號ヲ奪還シタ。此ノ後、彼ハ眞直ニ Galapagos 諸島ヘ向ヒ、4月17日其處ニ到着シタ。

此ノ附近ヲ遊戈シテ居ル間ニ Essex 號ハ6隻ノ船ヲ捕獲シ、ソノ備砲合計80門、乘員340名ヲ數ヘタ。捕獲シタ船トソノ乘員トヲ連レテ居テハ足手マトヒトナル事ヲ感ジ、ソレカト云ツテ之ヲ米本國マ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

デ送ルニハ遠イシスルノデ、Porter ハ最寄リノ海岸ヘ趣キ捕虜ヲ上陸セシメ、拿捕船ノ一部ヲ處分スル事ニシタ。先ヅ彼ハ Tumbez (Ecuador ノ Guayaquil 灣ニ注グ Tumbez 河ノ河口ニアル町)ニ寄港シテ拿捕船ノ中最大ノ Atlantic 號（輕砲 20 門搭載）ヲ先任士官タル Master-Commandant Downes ニ指揮セシメル事ニシ、Essex 號第二世ト改名シタ。今 1 隻ノ拿捕船 Greenwich 號ニハ捕獲シタ物資ヲ全部移シテ、爾後之ヲ糧食船トシタ。

是等ノ手筈ヲ全部了シテ後、Porter ハ Essex 號デ Greenwich 竝ニ拿捕船 16 門 Greenwich 號ヲ從ヘ、Galapagos ニ歸ツタ。殘リノ拿捕船ハ Essex 號第二世ニ警護セシメテ Valparaiso ヘ送ツタ。彼ノ拿捕シタ船ハ此ノ頃ニハ既ニ多數ニ上ツテ居テ、ソノ爲回航員長ニ士官候補生ヲ命ジネバナラナイ始末デアツタ。Tumbez カラ Valparaiso ノ間ヲ航行シタ際ニハ、拿捕船ノ一ツ Barclay 號ヲソノ前船長ヲ航海士ノ樣ニシテ ソノママ乘セ、全指揮ヲ當時僅カ 12 歳ニモナツテ居ナカツタ Farragut 候補生ニ執ラセタ。少年 Farragut ハソノ頭初カラ指揮ノ問題デ前船長ト衝突シ、之ヲ解決シナケレバナラナカツタ。即チ前船長ハ Barclay 號ヲ Valparaiso ヘ回航シナイデ New Zealand ヘ向ケヤウト主張シタ。ソシテ下ヘ拳銃ヲ取リニ降リテ行ツタ。此ノ時他ノ艦船ハ何レモ遠ク離レテ居テ通信不能ノ狀況トナツテ居タ。然シ Farragut ハ回航員ノ中デ右腕トナル者ニ事ノ次第ヲ話シタ後、階段口カラ船長室ノ方ヘ向ツテ若シ拳銃デモ持ツテ上ツテ來ヤウモノナラ、海中ニ投リ込ムゾト大聲デ叫ンダ。スルト前船長ハ乘員全部コノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

年少指揮者ノ味方ニツイテヰルト知ツテ、降參服從セネバナラナカツタ。斯クシテ爾後ハ Farragut ノ言フガママニナリ、Barclay 號ハ無事 Valparaiso ヘ廻航スル事ヲ得タ。

Captain Porter ハ Galapagos 附近ノ海面デ貴重ナ捕獲ヲ續ケタ。ソシテ9月ノ末 Essex 號第二世ト再ビ會合スル頃迄ニハ、南方海岸ニ於ケル英船ハ殆ド1隻殘ラズ捕獲シテ居タ。Master-Commandant Downes ハ Valparaiso カラ到着シテ英ノ36門「フリゲート」艦 Phoebe 號及「スループ」艦 Cherub 號ト Raccoon 號トガ Horn ヲ廻ル途上ニアル旨ノ報道ヲ齎シタ。Porter ハ自艦 Essex 號デ以テ Phoebe 號相手ニ一戰ヲ試ミンモノトソノ機會ヲ待ツテ居タガ、彼ノ艦ハ修理ノ必要大ニアツタノデ、彼ハ艦隊ヲ率ヰテ Marquesas 諸島ヘ向ヒ、英艦カラ攻擊ヲ受ケル心配モナク艤裝ヲ解ク事ガ出來タ。

艦隊ガ Marquesas 諸島ノ一島 Nukahiva ニ碇泊シテ進メテヰタ修理工作ハ、陸上ニ於ケル戰鬪ノタメニ中斷サレタ。之ハ大ニ艦隊歡迎ヲヤツテ居タ海岸族ヲ保護シテ奥地ニ於テ彼等ニ敵意ヲ燃ヤシテ攻擊シテ來タ種族ニ對シテ行ツタ防禦戰デアツタ。Essex 號ノ修理ハ1813年12月12日ニ完了シタ。Captain Porter ハ海兵隊ノ Lieutenant Gamble ニ3名ノ候補生ト26名ノ兵ヲ附シテ後ニ殘シ、小サイ一砲臺守備ニ當ラセタ。此ノ砲臺ノ下ニハ4隻ノ捕獲船ガ繫留サレテヰタ。Porter 自身ハソレカラ Essex 號第二世ヲ伴ツテ Valparaiso ヘ向ツタ。彼ハ自艦ト同等ノ兵力ヲ有スル英艦ト一戰ヲ交ヘ「フリゲート」艦1隻ノ捕獲ヲ最後トシテ商船破壞ノ巡航ヲ終リ度イト思ツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

此ノ有名ナ巡航ノ成果ニ就テハ、Captain Porter ガ海軍長官ニ宛テタ報告ノ中デ次ノ様ニ概要ヲ述ベテ居ル。

『余ハ太平洋ニ於ケル英國船舶ヲ完全ニ粉砕セリ。余ノ手ニ捕獲サレザリシ船舶アリトセバ、ソハ安全ナル場所ニ引キ籠リテ敢テ出デ來ラザリシモノナリ。余ノ麾下ノ艦船ニ對シテハ充分ナル防備ヲ施セリ。之等ハ余ノ着任當時ハ隻數多カレド、防備ヲ有セザルモノナリキ。彼ノ方面ニ於ケル貴重ナル捕鯨漁場（英國ノ）ハ全滅ノ狀態ニテ、我々ノ直接之ニ與ヘタル損害ハ、余ヲ捜索スル爲ニ派遣セル船舶ノ費用ヲ別トシテ 2百50萬弗ト計上セラルベシ。彼等ハ帆、索具、錨鎖、錨、糧食、藥品、ソノ他凡ユル種類ノ需品ヲ余ニ豊富ニ供給シ、又ソノ船内ニアリシ兵員用被服寢具其ノ他身廻品ハ我ガ兵員ノ使用ニ當ツルヲ得タリ。事實我々ハ該海面ニ到着以來、常ニ敵ノ軍需品ニ依リテ生活シ來レリ。即チ余ノ捕獲セル敵ノ船舶ハ何レモ皆余ノ爲ニ完備セル糧食船給品船トナリタルナリ。余ハ未ダ一品ニ對シテモ海軍省ヘ請求書ヲ發送スルノ必要ヲ感ジタル事ナシ。又コノ爲ニ余ハ將兵ニ俸給ノ前渡シヲ可ナリノ程度ニ爲スヲ得タリ。前例ナキ程長期ニ亙ツテ海上ニ出デ居リシニモ拘ラズ、我ガ乘員ノ健康狀態極メテ良好ナリキ。』

本土ヘ向フ途中、Captain Porter ハ英艦 Phoebe 號トノ遭遇戰ヲ豫期シテ、毎日盛ニ兵員ニ砲術訓練ト劍道教練ヲ施シタ。1814 年 2 月 3 日 Essex 號及 Essex 號第二世ハ Valparaiso ニ到着シタ。ソレカラ 5 日ノ後 Phoebe 號ト Cherub 號トガ相携ヘテヤツテ來タ。Raccoon 號ハ是ヨリ前ニ僚艦 2 隻ト別レテ、單獨北上シタノデアツタ。英米兩

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

艦隊ノ間ニ行ハレタ此ノ時ノ戰闘ニツイテハ、Farragut ノ筆ニ依ツテソノ日誌ノ中ニ次ノ如ク躍如トシテ描カレテヰル。

1814年1月我々ハ Chile 海岸沖合ニ到着。Concepcion 港ヲ覗イタ後、Valparaiso ヘ急ギ下ツタ。ソコニ英國「フリゲート」艦 Phoebe 號ト「スループ」艦 Cherub 號ノ到着スル迄碇泊シタ。是ハ2月上旬ノ事デアツタ。Phoebe 號ハ 18 听長砲 30 門、32 听砲 16 門、榴彈砲1門、尙檣樓ニ3听砲6門ヲ搭載シ、乘員 320 名ノ艦デアツタ。Cherub 號ハ 32 听砲 18 門、24 听砲 8 門、7 听長砲 2 門及 180 名ノ乘員ヲ有シテヰタ。

港ノ沖合ニ上記ノ2艦ガソノ姿ヲ現ハシタ時ニハ、我ガ乘員ノ 1/3 ナル非番直ノ全員ハ休暇ヲ得テ上陸中デアツタ。當時此ノ港ニ在泊中デアツタ英國商船ノ運轉士ハ早速 Phoebe 號ヘ趣キ、艦長 Hillyar ニ我ガ乘員ノ半分ハ上陸中ナルコト、又 Essex 號ハ容易ニ彼等ノ餌食トナルコトヲ告ゲタ。ソコデ敵ノ2艦ハ詰メ開キデ以テ港內ヘ進入シテ來タ。Phoebe 號ハ我ガ左舷艦尾ヘ向ツテ來タガ、Cherub 號ノ方ハ約半浬風下ヘ偏逸シテ行ツタ。我ガ艦尾ニ迫ルト、Phoebe 號ハ下手舵ヲシ、詰メ開キデ以テ我ガ右舷艦首ヘ迫マリ、10 呎乃至 15 呎以內ニ接近シタ。

此ノ處デ一言述ベネバナラナイ事ハ、最初敵艦現ハルト知ルト、1發大砲ヲ打チ、圓錐形標識ヲ揭揚シテ短艇竝ニ上陸員歸艦ノ信號ヲシタ。15分後ニハ各員ハ夫々ソノ部署ニ就イテヰタ。唯1名丈未ダ少年デアツタガ酒ニ醉ツテ居タモノガアツタ。前述ノ通リ、Phoebe 號

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

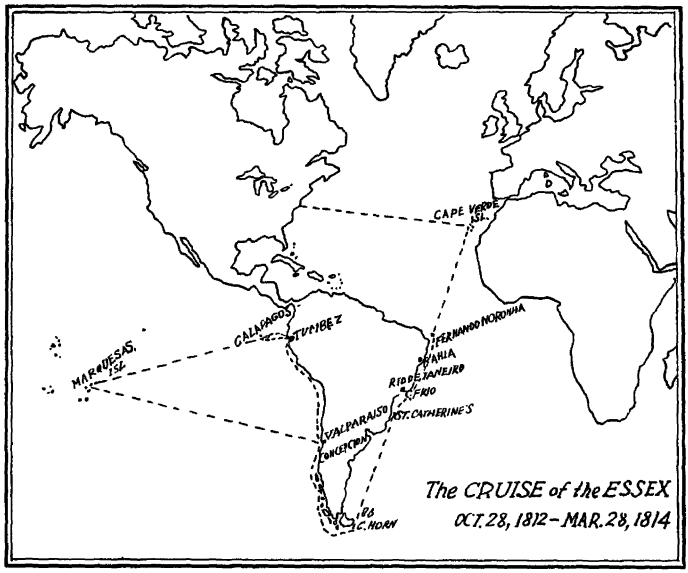
ガ我ガ艦近クニ迫ツテ來テ、我ガ全員ハ部署ニ就イテ居リ、裝藥裝塡手ハ何レモ緩火線ヲ手ニシテ何時デモ發射シ得ル姿勢ニアリ、肉薄戰闘ノ際ニ於ケル我ガ習慣ニ從ツテ 敵艦闖入隊員ハ 手ニ手ニ 短劍ヲ握リ、砲煙ノ中ヲ敵艦ヘ乘リ入ラント夫々待機ノ姿勢ニアツタ。コノ時件ノ酒ニ醉ツテヰタ若イ兵員ハ、砲門カラ Phoebe 號ノ一員ガ彼ニ向ツテ齒ヲムキ出シテ笑ツテ居ルノヲ見タカ、或ハ見タト思ツタカ、「コノ野郎！貴樣ノ馬鹿ゲタ面ヲシテ笑フ奴ヲ止メサセテ呉レルゾ。」ト叫ンデ將ニ砲ヲ發射セントシタ所ヲ見タ Lieutenant McKnight ハ、コノ若者ヲイキナリ毆倒シタ。コノ時若シ發砲シテヰタラ、Phoebe 號ハ我ガ手ニ歸シテ居タダラウト自分ハ確カニ思フ。然シ事實ハサウ巧クハ行カナカツタ。我々ハ全員ソノ部署ニ就キ、戰闘準備ハ全ク成ツテ、今ハ只 Captain Porter ノ口カラ敵艦乘入ノ命ガ發セラレルノヲ、今ヤ遲シト固唾ヲ呑ンデ待ツバカリデアツタ。スルト此ノ時厚羅紗服ヲ著タ英艦長 (Hillyar) ガ後方ニアル砲ノ上ニ立チ現ハレ、ハツキリ聞エル聲デ次ノ樣ニ叫ンダ。

Hillyar 艦長カラ Porter 艦長ヘ御挨拶ヲ申述ベ、貴艦長ノ御健康ヲ祈ル。

之ニ對シテ Porter ハ「健在デアル。有難ウ。然シアマリ近寄リ過ギナイデ頂キ度イ。貴官ニトツテ不愉快ナ事件ガ起ルトイケナイカラ。」ト答ヘテ、手ニシテ居タ喇叭ヲ一振リ振ツタ。スルト之ヲ合圖ニ小錨ガ桁端ニ揚ゲラレ、敵ト組打ノ用意ガ出來タ。

Hillyar 艦長ハ自艦ノ桁ヲ元ニ 轉ジテ Porter ニ向ツテ、若シ衝突

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



The Cruise of the Essex, Oct. 28, 1812—Mar. 28, 1814

HP『海軍砲術学校』公開史料

スル事ガアレバ、ソレハ全クノ偶然デアル事ヲ承知シテ貰ヒ度イト云ツタ。

Porter ハ之ニ對シテ「ヨロシイ。ダガ貴下ガソコニ居ラルルハ全ク無用デアル。若シ貴艦ガ本艦ノ小綱一本ニデモ觸レルヤウナ事ガアツタラ、余ハ即時襲撃スル。」ト答ヘ、ソシテ Essex 號第二世ヲ呼ビ、Downes 艦長ニ敵艦撃退ノ用意ヲ命ジタ。

然シ我々ノ交戰ノ望ミハ此時未ダ滿スコトハ出來ナカツタ。Phoebe 號ハ後退シテソノ桁ハ我ガ艦ノ桁ノ上方ヲ過ギテ、索一本ニモ觸レナカツタ。ソシテ我ガ後方約半哩ノ地點ニ投錨シタ。斯ウシテ敵艦ト交戰スル機會ヲ逸シタノデアルガ、然シ此ノ樣ナ差シ迫ツタ情勢ニアツテ尙能ク我々ハ同港ノ嚴正中立ヲ遵守シタノデアル。

彼我共ニ同港內ニ留ルコト數日、此ノ時英艦ハ糧食及清水ノ補給ヲ了シテ出港シ、我ニ對シテ本格的ニ封鎖ヲ開始シタ。或夜我々ハ短艇全部ヲ降シテ之ニ乘リ込ミ、港外ノ敵艦ニ乘入ヲ企テタ。艦長ハソノ艇ニアツテ櫂ノ音ヲシノバセ、敵艦 Porter ニ眞近ク忍ビ寄ツテ見ルト、艦首甲板デ兵員等ノ話シテ居ルノヲ耳ニシタ。是ニ依ツテ敵モ我ニ備ヘテ合戰準備ヲシテ居ル事ヲ知リ、ソコデ敵艦乘入ハ斷念シテ自艦ニ引キ返シタ。

或ル日艦內デ Porter 艦長ガ Hillyar 艦長ニ、若シ彼ガ自艦 Cherub 號ヲ港ノ風下ノ地點ニ移スナラバ、我ガ方カラ出向イテ交戰スル旨ヲカネテ言ヒ送ツテアツタ事ガ了解サレタ。此ノ條件ハ受諾サレルモノト我々ハ皆信ジタ。ソコデ萬端出港ノ用意ヲシタ。スルト間

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

モナク、Phoebe 號ガ神ト我ガ祖國！英國海軍軍人ノ最善ノ權利！トイフソノ標語ヲ印シタ旗ヲ揭ゲテ進ンデ來ルノガ見エタ。因ニ此ノ標語ハ Porter ノ自由貿易ト海ヲ行ク者ノ權利トイフ旗印ニ對スルモノデアツタ。Phoebe 號ハ風上ニ發砲シタ。ソシテ Cherub 號ハト見ルト風下ヘ向ツテ行ツタ。5分ノ後、我ガ艦ハ錨ヲ揚ゲ、上檣帆ト艦首三角帆ヲ揭ゲテ合戰準備ヲシタ。——實ハ我々ハ常ニソノ用意ハアツタノデアル。Phoebe 號ハ我ガ艦カラ2浬以內ニ入ツテ來ルト、上手舵ヲ取ツテ艦首ヲ風下ニ落シ、「スタヂングスル」(註、橫帆船デ大檣帆ヨリ前方ニ小杠ヲ以テ張出シタ補助帆デアツテ、船ノ操縱ニ影響多シ)ヲ揭ゲタ。之ハ Hillyar 艦長ノ爲シタ2度目ノ背任行爲ダト自分ハ考ヘタ。何故ナラバ2度ナガラ彼ノ行ツタ艦ノ運動カラ見テ、彼ハ本來ノ意圖ヲ遂行スル勇氣ニ缺ケテヰタカ、或ハ强イ任俠ノ精神ニ缺ケテ居タカ、何レカデアツタ事ガ明白デアツタカラデアル。然シ彼ハ後ニ一再トナク勇敢ナル行爲ヲ示シテヰルカラ、余ハ彼ニ海軍士官通有ノ特質デアル勇氣ナシトスルモノデハナイ。彼ノ兩度ノ背任行爲ハ之ヲ余ハ彼ノ誠實缺如ニ歸シタ。彼ノ相手ハ彼ヨリ遙ニ劣勢デ、而モソノ劣勢ノ敵トノ單艦交戰ヲ何等ノ理由モナク逃避シタノハ實ニ卑劣極マルモノデアツタ。

1814年3月28日風ハ漸次南風トナツテ來タノデ、我ガ艦ハ左舷ノ錨鎖ヲ切斷シ、右舷ノ錨ヲ風下ヘ引キナガラ、間モナク出港ノ帆ヲ揚ゲタ。敵ノ2艦ハ灣ノ最風上ノ地點ニ集ツテ居タ。然シ Porter 艦長ハ彼等ノ風上ニ出ル事ガ出來ルト考ヘタノデ、ソノ心算デ船ヲ停止

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シ、最大限ニ縮帆シタ 中檣帆ノ 上部ニ 掲ゲテヰタ 上檣帆ヲ取リ入レタ。トコロガ 上檣帆ノ 下隅ヲ 引下ゲルヤ否ヤ、突風ガ船ニ 吹キツケタ。ソシテ此ノ時上檣帆ノ張揚索ヲハヅシタノデアルガ、桁ハ動カナクナツテ如何シテモ下リテ來ナカツタ。艦ノ舷側ガ殆ド水面スレスレニナツタカト思フト、大檣ノ高檣ハ折レテ海中ニ落チ、同時ニ大檣ノ最上檣桁ニ昇ツテ居タ數名ノ兵員ハ海中ニ墜落溺死シタ。我々ハ直ニ艦ヲ下手廻シニシテ再ビ港内ニ復サント試ミタガ、然シ如上ノ慘害デハソレモ出來ナカツタ。ソコデ我々ハ或ル小サイ入江ノ海岸カラ約1/4浬、例ノ小砲臺カラ3/4浬ノ地點ニ投錨シタ。

然シ敵ガ準備ヲ急イデヰタ點カラ判斷スルト、我ガ艦ヲ攻撃シヤウトシテ居タ事ハ明白デアツタ。ソコデ我ガ方モ出來ル丈充分ニ應戰ノ準備ヲシタ。轉向索ヲ錨鎖ニ附ケテ艦ハ合戰準備全ク成ツタ。

敵艦2隻ガ近寄ツテ來ルノヲ見タ時、畏怖ノ念ヲ 身内ニ感ジタノヲ今デモヨク記憶シテ居ル。此ノ戰闘我ニ利アラズト云ツタ樣子ガ周圍ノ人達ノ顔ニ現レテ居ルノガ、此ノ余ノ若イ心ニモハツキリト分ツタ。同時ニ又誰モガ皆敵ニ降伏センヨリハ、寧ロ己ノ砲ヲ守ツテ仆レン覺悟デアツタ事モ明白デアツタ。是ガ全員1人ニ至ルマデ固イ決心デアツタト余ハ信ジテ居ル。カネテ彼我乘員ノ間ニハ、或ハ手紙デ或ハ歌デ互ニ揶揄ヲ交シ、上陸シタ場合ニハ必ズ短艇員間ノ喧嘩ガアリ、ソンナ風デアツタノデ、非常ナ敵慨心ガ起ツタノデアル。我ガ艦デハ檣毎ニ旗ヲ揭ゲ、敵モ大攻撃ヲ行フニ際シテ軍艦旗、艦首旗、標語ヲ印シタ旗等ヲ揭ゲテ居タ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

午後3時54分彼等ハ射撃ヲ開始シタ。Phoebe 號ハ我ガ艦ノ艦尾後方ニ Cherub 號ハ我ガ右舷艦首ニ當ツテ位置シタ。然シ後者ハ我ガ艦ガ砲ヲ之ニ集中シテ居ルノヲ間モナク見テ、前者同樣我ガ艦ノ後方ヘ向ツテ航走シタ。我々トシテハ此ノ樣ナ勢力不均等ナ不利ナ戰鬪デアツタノデ、長砲3門ヲ艦尾砲門カラ巧ク取リハヅシテ之ヲ自由ニ用ヰ、出來ル限リ正確ナ射撃ヲ續ケタ。

半時間ノ後敵2艦ハ兩方共ニ損傷修理ノ爲退却ノ止ムナキニ至ツタ。此ノ半時間ノ戰鬪中ニ、我々ハ3度轉向索ヲ錨鎖ニ附ケル事ニ成功シタノデアルガ、毎回ソレヲ一杯ニ張リ合ハスト、敵彈ノタメ 切斷サレタ。敵カラハ間斷ナク砲撃サレタニモ拘ラズ、敵ノ二ノ片舷齊發ニ對シテ、我ガ艦ハ僅カ3門ノ砲ヲ之ニ向ケ得タニ過ギナカツタ割ニ、ソレマデニ受ケタ損害ハ案外輕少デアツタ。最初ノ5分カ10分ノ間敵ノ行ツタ砲撃ノ爲ニ我ガ方ハ多數ノ死者ヲ出シタガ、實ハソレ迄トイフモノ艦尾砲ヲ敵ニ向ケル事ガ出來ナカツタノデアル。

敵ハ間モナク修理ヲ完ヘテ新シク攻撃シテ來タ。兩艦トモ我ガ左舷艦尾後方ニ位置シ、而モソレハ我ガ短砲ノ射程外デアツタ。ソノ上我ガ艦尾砲ヲ向ケ得ラレナイ方向デアツタ。彼等ハソレカラ猛射ヲ續ケタ。是ニ對シテハ我ハ全ク返ス力モナカツタ。此ノ時艦長ハ錨鎖ノ切斷ヲ命令シタ。我々ハ無駄ナ試ミヲ幾度カヤツタ後、最前部三角帆ノ張リ揚ゲ索ガ帆ヲ揚ゲ得ル狀態ニアルノヲ發見シタノデ、首尾ヨク帆ヲ揚ゲル事ガ出來タ。此ノ索ダケガ敵彈ニ切斷サレナイデ殘ツテ居タノデアツタ。斯樣ニシテ我々ハ敵艦ニ近ヅイタ。ソシテ彼我兩方ノ

HP『海軍砲術学校』公開史料

砲撃ハ猛烈トナツタ。Cherub 號ハ退却ヲ餘儀ナクサレ、再ビ近接戰闘ニハ加ハラナカツタケレドモ、遠距離カラ我ガ艦ヲ完全ナ標的トシ、長砲ヲ打ツテ大ニ我ガ方ヲ惱マシタ。Phoebe 號モ亦ソノ帆ノ狀態ノ良好ナルヲ利用シテ、自艦長砲ノ彈着距離マデ遠ノイテ、ソコカラ手ノ下シ樣モナクナツタ我ガ艦メガケテ尙破壞セズンバ止マズト云ツタ底ノ猛射ヲ浴ビセ續ケタ。

Captain Porter ノ云フ如ク「Phoebe 號ヲ追ツテ之ニ迫ル事ハ不可能ト見テ」、彼ハ自艦ヲ擱岸シテ之ヲ破壞セントト決意シタ。ソコデ我ガ艦ハ陸岸ヘ向ツテ進ンデ行ツタ。トコロガ斷岸カラ距ルコト半浬ノ處ニ來ルト、風ガ急ニ變ツテ完全ニ裏帆トナリ、ソノ爲艦首ハ元來タ沖ノ方ヘ向ツテ了ツタ。斯樣ニシテ我々ハ再ビ Phoebe 號ノ猛射ニ曝サレタ。此ノ時 Essex 號第二世ノ Captain Downes ハ敵ガ盛ニ縱射ヲ浴ビセ、我ガ方ハ1門ノ砲モ之ニ向ケ得ズ、又 Essex 號第二世モ我ガ艦ニ何等ノ援助モ爲シ得ナイ狀態ニアツタノデ、我ガ艦ハ間モナク捕獲サレルモノト思ヒ、指圖ヲ乞ハントト我ガ艦ニヤツテ來タノデアツタ。

Captain Porter ハ今度ハ大索ヲ副錨ニ結ヘテ之ヲ投ズル樣命ジタ。是ニ依ツテ我ガ艦首ハ廻リ、ソシテ殆ド無風狀態ダツタノデ、Phoebe 號ハ射程外ニ徐々ニ出テ行クデアラウト云フ望ガ出テ來タ。トコロガ大索ガ切レテ、再ビ我々ハ敵ノ思フママニ委セル狀態トナツタ。此ノ時艦ハ火災ヲ起シタ事ガ報ゼラレタ。ソシテ下カラ乘員ガ急ギ走リ上ツテ來タガ、見ルト燃エテ居ル着物ヲ身ニツケタママノモノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ガ多カツタ。燃エテ居ル着物ハ速カニ引キハガシ、是ガ出來ナイモノハ海中ニ飛ビ込ンデ火ヲ消ス様ニ命ゼラレタ。兵員ノ多クハ、又士官ノ一部ノ者迄モ海中ヘ飛ビ込メノ命令ヲ聞イテ、是ハ火ガ火藥庫ニ廻リ、艦ハ將ニ爆破スルノダト思ヒ込ンデ水中ニ飛ビ込ミ、3/4 浬アル海岸ヘ泳ギ着カウトシ、中ニハ途中デ溺死シタモノモアツタ。

艦長ハ是以上抵抗ヲ續ケルノ可否ヲ相談センモノト、高級士官全部ヲ呼ビニ遣ツタ。然シソノ前ニ先ヅ火藥庫ノ貯藏量ヲ確カメニ行ツタ。甲板ニ歸ツテ見ルト、Lieutenant McKnight ガ居タ。彼ハ此ノ時任務ニ就イテ居タ唯一ノ士官デアツタ。殘リノモノハ何レモ全部戰死カ負傷ヲシテ居タ。艦ハ沈沒狀態ニアツタノハ充分明白デアツタノデ、負傷者ヲ救フ意味デ遂ニ降伏スル事ガ決議サレタ。ソシテ午後 6 時 30 分軍艦旗降下ノ悲痛ナ命令ガ下サレタ。(以上ガ彼ノ日誌デアル)

此ノ戰鬪ニ於テ、Essex 號ハ死者 58 名、傷者 66 名、行衞不明 31 名ヲ出シタ。此ノ行衞不明ノ大部分ハ陸岸ヘ泳ギ着カウトシテ、多分溺レタモノデアラウ。此ノ行衞不明者ノ數マデ入レルナラバ、米艦ノ中デ此ノ艦ノ被ツタ損傷ガ本戰役中ニ於テ一番大キイモノデアツタ。英國側ノ報告ニ依レバ、Phoebe 號ハ死者 4 名、傷者 7 名、Cherub 號ハ死者 1 名、傷者 3 名デアツタ。Phoebe 號ノ死者ノ中ニハ、Captain Hillyar ノ下ニ一番分隊長ヲ務メタ Ingram モ居タガ、彼ハ艦長ニ遠距離カラ米艦ヲ標的ニシテ砲撃スルコトハ、彼等ノ方カラハ遠スギテ砲撃ヲ返セナイノデアルカラ、マルデ我々ハ謀殺ヲ行ツテキルヤウナモノダト云ツテ、Essex 號相手ニ近接戰鬪ニ出ル様願ツタトイフ事デ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

アル。然シ Hillyar トシテハ、當然自分ノ方ニハ出來ル丈犧牲ヲ少ナクシテ、捕獲ヲシタカツタノデアル。

此ノ結果カラ結論サレタ事ハ、「フリゲート」艦ノ中、甲板ヲ短砲ヲ以テ兵裝スル事ノ愚ナル事デアツタ。是ニ對シテハ、Porter 自身艦長就任ニ際シテ抗議シ、長砲ヲ以テ之ニ代ヘン事ヲ許サレ度イト願ツタノデアルガ、海軍省ハ是ヲ許サナカツタノデアル。國家ハ Essex 號ノ損失ハ此ノ不許可ニ起因シタ事ヲ認メテ、ソノ責ヲ負フベキデアルト云ツテヨイデアラウ。

英艦ノ艦長 Hillyar ガ Captain Porter 及米艦乘員ノ生存者ニ對シテ、凡ユル心ヅカヒヲ示シタ事ハ Porter モ認メタトコロデアルガ、然シ中立海面ニ於テ攻擊ヲ遂行シタ事ニ對シテハ、大キナ憤リヲ感ゼザルヲ得ナカツタ。殊ニ是ハ Phoebe 號ガ Essex 號ヲ不意打チセントスル明白ナ意圖ヲ以テ港ニ入ツテ來タ時、Porter ハ手出シヲ差控ヘテ居タ後ノ事デアツタノデ、實ニ忍ビ難イ事デアツタ。Captain Hillyar ノ此ノ行動ハ然シ當時ノ政策トシテハ當然ノ事デ、Napoleon ヤ英國政府ノ常套手段デアツテ、當時ハ中立權ナルモノハ都合ノ好イ時ニノミ之ヲ認メタノデアル。

彼ノ南北戰爭ニ於テ通商破壞ニ活躍シタ有名ナ南軍ノ巡洋艦 Alabama トト同樣ニ、Essex 號ハ散々ニ暴レ廻ツタ揚句ニ捕獲サレタノデアル。太平洋ニ於ケル英國ノ通商ヲ散々ニ破壞シタ事ハ、「フリゲート」艦1隻ノ捕獲ヨリモ遙ニ大キイ打擊ヲ敵ニ與ヘタノデアル。何故ナラ 1814 年ニハ「フリゲート」艦ハ英國ハ餘分ニ之ヲ所有シテ居タ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

ノデアルガ、商船ハ實ニ英國ノ生命ノ綱デアツタカラデアル。

HP『海軍砲術学校』公開史料

第12章　Champlain 湖ノ戰及戰役ノ終結

◎Lake Ontario ニ於ケル作戰

Lake Ontario ニ於テハ、既述シタ如ク Sir James Lucas Yeo ト Captain Isaac Chauncey トノ間ニ建艦競爭ガ續ケラレテ居タ。1814年初夏ノ頃ニハ、彼等ハ各々4隻ノ三檣艦ト4隻ノ「ブリッグ」艦ヲ有シテ居タ。此ノ競爭ハ數學ノ問題ノ樣ニ精密ニ續イテ行ツタ。一方ガ少々優勢ヲ示スト、他方ハ相手ヲ凌駕スル迄ハ港ニ引込ンデ居リ、反對ニ此方ガ出カケルト、今度ハ彼方ガ港ニ引キ籠モルト云ツタ調子デ、兩者共ニ餘リニモ用心深イ所ヲ見セテ居タ。

前年ノ春 Yeo ハ Chauncey ヨリ稍先ダツテ出港ヲ果シ、直ニ Oswego ヲ攻撃シテ（5月5日）成功ヲ收メタ。此ノ時彼ハ兵營ヲ破壞シ、重砲ト必需品ヲ積ンダママ Growler 號ヲ拿捕シ去ツタノデアル。英軍ハ然シ此ノ成功ノ圖ニ乘ツテ更ニ利益ヲ追求スル事ヲセズ、ソノ方ハ止メテ、今度ハ別ニ Chauncey ガ全力ヲ盡クシテ新造艦ニ裝備スル重砲ノ鑄造ヲ急イデ居タ Sackett's Harbor ニ彼ヲ封鎖シタ。6月5日 Yeo ハ此ノ封鎖ヲ解イタ。ソシテ Chauncey ハ7月31日出カケテ見ルト、英軍ノ司令官ハ Kingston ニ閉籠ツテ當時建造中デアツタ戰列艦ノ竣工ヲ待ツテ居タ事ヲ知ツタ。

Major-General Brown ハ加奈陀ニ對スル攻撃戰ニ Chauncey ノ協力ヲ乞フタノデアルガ、前年 George 及 York ノ要塞攻撃ニ貴重ナ援助ヲ與ヘテ居ルニモ拘ラズ、今度ハ「敵艦隊ノ捕獲ト撃破」ヲ企圖

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シテ居ルノデ、手一杯デアルトノ理由デ、彼ハ Brown ノ乞ヲ拒絶シタ。此ノ方ガ彼ノ直接任務デアツタ事ハ無論デアル。而モ若シ之ヲ遂行シテ居タラ、Niagara 半島ニ於ケル General Brown ノ使命ニ最モ必要トサレタ援助ヲ與ヘタ事ニ自然ナツタノデアラウガ、然シ Chauncey ノ要心深イ緩慢ナ戰術ハ何等自軍ヲ利スル處無カツタバカリデナク、全米軍ノ爲何處ニモ利益ヲ與ヘナカツタノデアル。若シ英軍ガ自由ニ此ノ湖ニ接近スル事ガ出來ナカツタラ、Lundy's Lane ノ戰ハ引分ケ勝負トハナラナイデ、決定的ナ勝利ヲ博シ、ソノ結果、戰役ノ全局ニ大變化ヲ與ヘテ居タカモ知レヌト Winfield Scott ハ意見ヲ述ベテ居ル。間モナク米軍ハ加奈陀ニ對スル攻擊ハ斷念シテ、Lake Champlain ヲ經テ行ハレサウナ敵ノ侵入ニ餘儀ナク備ヘナケレバナラナクナツタ。

◎Lake Champlain ノ戰

1814 年ノ1年間ニハ、Great Lakes ニ於ケル狀勢ニ何等變化ハナカツタガ、Lake Champlain ニ於テハ、最モ重要ナ事件ガ起ツテ居タ。此ノ湖ハ重要地點ヲ占メテヰル割ニ、此ノ戰ニ於テハ ソレマデノ處何等ノ役割ヲモ演ジテ來テ居ナカツタ。同湖水ハ Lake George ト River Hudson ト共ニ、New York ニ於ケル米軍ノ兵站本部カラ Canada 領域ニ於ケル攻擊戰ノ眞ノ目標デアツタ筈ノ Montreal マデノ間ヲ連絡スル一聯ノ水路ヲ形成シテ居タ。英軍ハ自然加奈陀側ニアツテ守勢ヲ取ツテ居タノデアルガ、戰爭ノ早期ニ於テハ、此ノ水路ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

注意ヲ拂ツテ居ナカツタ。又米軍ノ方デモ、Hull 及 Dearborn ノ指揮ノ下ニ、シキリニソノ注意ヲ Noutwest 地方ニ集中シヤウトシテヰタ爲ニ、此ノ水路利用ノ機會ヲ無視シテヰタ。斯ウ云フ譯デ 1813 年6月マデトイフモノハ、餘リ否全然、Lake Champlain ノ事ガ云々サレナカツタノデアル。此ノ湖上ニハ英軍ノ「スループ」船1隻ニ對シテ米軍ハ3隻ヲ有シテ居タノデ、何處デモ自由ニ航行出來タガ、是ニ反シテ英軍ハ下手ノ狹部ニ位スル Isle aux Noix ニソノ根據ヲ置イテ、ソコカラ一歩モ出ナカツタ。1813年6月2日米ノ「スループ」船 Eagle 號ト Growler 號トノ2隻ハ、狹部ニ於ケル英ノ根據地ニ餘リニ近寄リ過ギタ爲ニ、陸上カラ縱射ヲ受ケテ遂ニ捕獲サレタ。是ニ味ヲ占メタ英軍ハ、更ニ進ンデ事ヲ爲サウトシタ。即チ Quebec ニ碇泊中デアツタ英ノ「スループ」船 Wasp 號ノ艦長 Captain Everard ハ、自カラ進ンデ部下若干ヲ從ヘテ Lake Champlain ヲ襲撃シタ。彼ハ Plattsburg ノ廳舍ヤ Saranac ノ兵營ヲ撃破シ、小艇若干ヲ捕獲シタ。此ノ湖上ニ於ケル米軍指揮官タル Macdonough ハ全ク不意ヲ打タレ、且曩ニ麾下ノ船2隻ヲ失ツテ居タ爲ニ、徒ラニ拱手傍觀ノ外ナカツタ。Everard ハソレカラ急ギ歸ツテ、Captain Pring ト共ニ當局ヲ動カシテ、直ニ Lake Champlain ニ於テ建艦ニ着手シタ。

此ノ時カラ Great Lakes ニ於ケルト同樣ノ建艦競爭ガ始マリ、ソレガ 1814 年ノ秋マデ續イタ。Macdonough ハ既ニ Plattsburg ヲ根據地トシテ、Eagle 號ヲ除イタ全部ノ艦船ヲ5月下旬迄ニスツカリ整備シタ。今ヤ彼ハ湖上到ル所思フ儘ニ航行スル事ガ出來、又 Burling-

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ton カラ軍需品ノ輸送モ出來ル樣ニナツタ。他方英軍ハ當時マダ建造中デアツタ最強力ナル三檣艦 Confiance 號ノ竣工ヲ待ツテ居タ。之ハ8月25日ニ漸ク進水ヲ見タ。Captain Downie ハ9月2日英艇隊ノ司令官トナツタ、ソシテ加奈陀總督ノ激勵ニ應ヘテ麾下艦艇ノ整備ヲ急ギ、以テ Prevost ノ指揮スル侵入軍ト共同作戰ニ出ヤウトシタ。此ノ頃ニハ米ノ艇隊ハ26門三檣艦 Saratoga 號、20門「ブリッグ」艦 Eagle 號、17門「スクーナー」艦 Ticonderoga 號、7門「スループ」艦 Preble 號、ソノ他ニ約10隻ノ撓漕艇、即チ今日ノ砲艦等カラ成リ、ソノ數總テ14隻、乘員882名、砲86門及片舷齊射總彈量 1,194斤、中短砲714斤、長砲480斤デアツタ。

是ニ對シテ英軍ハ24斤長砲27門、ソノ中1門ハ旋回砲デ、從ツテ兩舷ニ使用可能ノモノデアツタガ、之等ト短砲10門トヲ搭載スル Confiance 號（之ハ我ガ海軍ニ捕獲後ハ「フリゲート」級トサレタ）ヲ有シ、他ニ16門「ブリッグ」艦 Linnet 號、11門艦 Chub 號、同ジク11門艦 Finch 號、ソシテ約12隻ノ砲艦ヲ有シテ居タ。ソノ總數16隻、乘員937名、砲92門、片舷齊發彈總量 1,192斤、中短砲 532斤、長砲 660斤デアツタ。從ツテ優勢ハ英國側ニ在ツタ。Confiance 號ハソノ噸數 Saratoga ノ 734噸ニ對シテ 1,200噸近クアツタ。「英軍ノ2隻ノ最大艦 Confiance 號及 Linnet 號ハ米軍ノ Saratoga 號ト Eagle 號ニ比シテ側砲ノ總威力ニ於テハ稍劣ツテハ居ルガ、然シ1813年 Lake Ontario ニ於ケル General Pike 號ノ如ク、Confiance 號ハソノ長砲ニ於テ優勢デアツタノデ、何等障碍物ノナイ廣イ湖上ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

アッテハ、1人ノ艦長指揮ノ下ニ殆ド米艦隊全部ヲ相手ニ能ク戰フヲ得タデアラウ。況シテ Saratoga 號1隻相手デアレバ尚更ノ事デアル。但シ是ハ Linnet 號ガ Eagle 號ヲ相手ニ相當戰フモノトシテノ話デアル。」

Wellington 麾下ノ古兵ノ中カラ最近加奈陀ヘ派遣サレタ4箇旅團ノ一部デアル11,000ノ英軍ノ一隊ガ、加奈陀總督 Sir George Prevost 指揮ノ下ニ Lake Champlain ノ西岸ヲ徐々ニ進軍シテ居タ。米ノ Izard 將軍ハ Plattsburg ニ於ケル軍隊ノ大部分ヲ率キテ、Sackett's Harbor マデ軍ヲ進メル樣命ヲ受ケテ居タ。ソノ爲ニ General Macomb ハ後ニ殘リ、2,000 足ラズノ兵ヲ以テ侵入軍ト應戰シナケレバナラナカッタ。Prevost ハ Downie ト共同作戰ヲ以テ Plattsburg 攻擊ヲセンガタメニ、ソノ湖上進出ヲ頻ニ勸メテキタ。總督ハ Macomb ヲ Plattsburg ヲ流レル Saranac 河ノ彼方マデ追ヒヤリ、ソコデ先ヅ追擊ヲ止メテ Downie ノ來ルノヲ待ッタ。斯クシテ Downie ハ Macdonough ニ對シテ早メニ挑戰スル必要ニ迫ラレタ。然シ英國艦隊ハコノ早急ノ開戰ノ故ニ多少不利ノ立場ニ立ツワケデアッタガ、米國艦隊ノ方モ同樣未ダ充分ニ準備ガ出來テ居ナカッタ。英米兩艦隊ノ乘員ハ何レモ必要ナ部署敎練ヲ行フ時間ヲ殆ド持タナカッタ。Confiance 號ノ砲ノ中ニハ、一部ノ銃機ガ用ヲ爲サナイモノガアッタシ、又同樣ナ困難事ガ米艦ノ方ニモ起ッタ。然シ斯ウシタ不利ナ狀況ニアッテ相對峙シタ兩艦隊ハ、ソノ不利ノ條件ハ同程度ノモノデアッタ。

Macdonough ハ年齒僅カ30歲デアッタガ、彼ノ爲シタ戰備ハモット

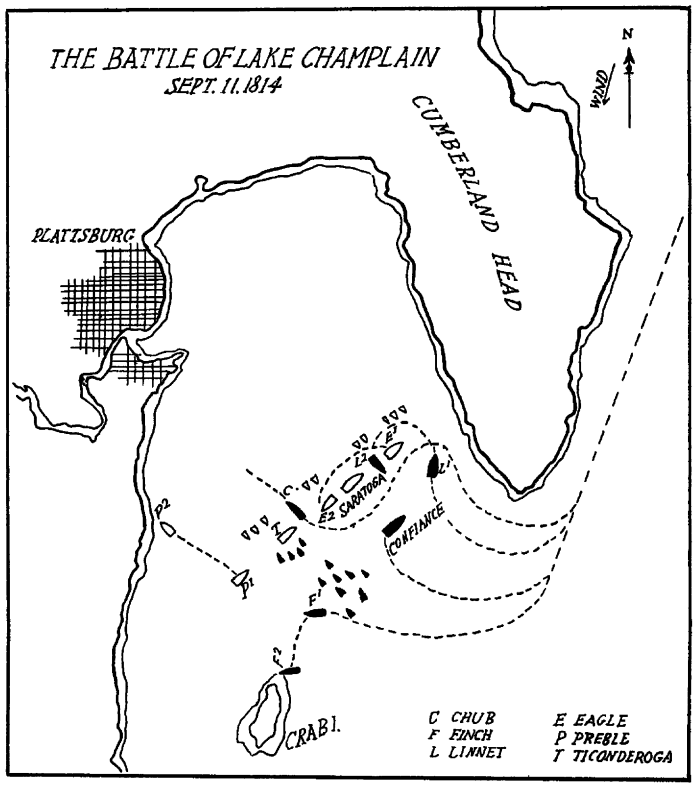
http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

年ノ行ツタ經驗家ノ行ツタモノニ應シイ立派ナモノデアツタ。會戰ノ行ハレタ Plattsburg ノ灣口ハ、Cumberland Head カラ西南ヘ Crab Island ノ砂洲マデ續イテヰル。Downie ノ艦隊ガ9月11日早朝北東ノ風ニ帆ヲ揚ゲテ出テ行ツタトイフ事ヲ知ルヤ、Macdonough ハ Plattsburg ノ灣口附近ニ諸艦ヲ一列ニ投錨セシメタ。此ノ中比較的大艦ハ Cumberland Head ノ沖合ニ Eagle 號、Saratoga 號、Ticonderoga 號、Preble 號トイフ順ニ投錨シ、砲艦ハ之ヲソノ 40 碼後方ニ配列シタ。斯樣ニ Cumberland Head ニ大型艦船アリ、Crab Island ニ砂洲アリトイフワケデ、自然 Macdonough ノ側面ヲ廻ツテソノ背後ニ出ヤウトスル事ハ到底出來ナイ事デアツタ。敵ハ水道ガアマリニ狹クテ之ヲ越スノハ難シイノデ、詰開キデ縱陣トナツテ近ヅク外仕方ナク、他方米艦隊ハ運動ヲ容易ナラシムル爲、風上ニ位置シテ居タ。ソノ上 Macdonough ハ無風狀態ノ場合ヲ豫期シ、或ハ同ジ地點カラ即座ニ新シイ片舷齊射ヲ見舞フ爲ニ、諸艦ニ繫留索ノ整備ヲ命ジテアツタ。

英艦隊司令官ハ Cumberland Head ノ瀨戶ヲ通シテ Macdonough ノ編隊ガ明カニ見エタノデ、ソレニ從ツテ自己ノ艦隊陣形ヲ計畫シタ。Confiance 號ハ此ノ岬ヲ廻ツテ陣列上方ノ先端ニ位置シタ Eagle 號ニ向ツテ片舷齊射ヲ向ケ、ソレカラ Saratoga 號トハ斜ノ位置ニ投錨スル事ニナツテヰタ。ソシテ Chub 號ト Linnet 號トハ Eagle 號ノ艦首ト艦尾カラ少シ離レタ所ニ之ヲ狹ンデ碇泊スル事、ソレカラ Finch 號ハ砲艦ノ援助ヲ受ケテ Ticonderoga 號及 Preble 號ニ相對シテ位置スル事トナツテヰタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



The Battle of Lake Champlain, Sept. 11, 1814

HP『海軍砲術学校』公開史料

Downie ハ Cumberland Head ヲ廻ツタ時、豫テ約束ノ Prevost カラノ協同作戰ガナイノヲ知ツテ驚イタノデアルガ、ソレデモ自分受持ノ攻擊ニ勇敢ニ邁進シタ。Confiance 號ハ苦心シテ米國艦列ノ上方先端目ガケテ進ンダガ、然シ Macdonough ノ諸艦カラノ集中砲火ト風向ノ變化ノ爲ニ敵陣ノ先登ヲツクト云フ最初ノ計畫ヲ餘儀ナク斷念シナケレバナラナカツタ。ソシテ Saratoga 號ノ東方約 500 碼ノ地點ニ投錨シタ。ソノ間ニ此ノ英軍旗艦ノ左舷艦首錨ハ二トモニ敵彈ノタメニ落サレ、Saratoga 號ノ 24 听長砲カラ Macdonough 自カラ打テ放ツタ彈丸ハ Confiance 號ノ錨鎖孔附近ヲ擊チ、數人ヲ殺傷シタ。Downie ハ慌ハテズ落チツイテ發砲前ニ艦ヲ確然ト繫留シテ置イテカラ、午後 9 時頃猛烈ナ片舷齊射ヲ浴ビセタ。コノタメニ Saratoga 號ノ死傷ハ乘員ノ 1/5 ニ達シタト云ハレテ居ル。一方 Linnet 號ト Chub 號トハ Eagle 號ヲ相手ニ交戰シテ居タ。Chub 號ハ投錨モ出來ナイ中ニソノ帆ヤ索具ニ可ナリノ損害ヲ被ツタ。ソシテ艦長ハ負傷シ、同艦ハ打チ捨テラレタ貌デ米軍ノ艦列ノ間ヲ漂流シ、遂ニソコデ米軍ノ一候補生ノ捕ヘルトコロトナツタ。Linnet 號ハ Eagle 號ノ風上ニ錨ヲ入レテ盛ニ斜擊ヲ此ノ米艦ヘ浴ビセ續ケタ。Linnet 號カラノ片舷齊射及 Confiance 號カラノ砲擊ノ一部ニヨリ耐ヘタ後、Eagle 號ハ 10 時 30 分遂ニ錨鎖ヲ切斷シテ脫出シ、Saratoga 號ト Ticonderoga 號トノ間ニ占位シタ。カクシテ同艦ハ Confiance 號目ガケテ、而モ Confiance 號及 Linnet 號カラノ砲火ニハ自艦ヲ曝露シナイデ、新シク片舷齊射ヲ浴ビセタ。Eagle 號ガソノ錨地ヲ變ヘタタメニ、Linnet 號

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ米軍ノ砲艦ト一寸小競合ヲ行ツタ後、Saratoga 號ノ艦首前方縦射ノ位置ヘ錨地ヲ變ヘル機會ヲ得タ。

米艦隊陣列ノ南端ニ於テハ、英軍ノ Finch 號及砲艦ノ若干ハ Ticonderoga 號及 Preble 號ヲ攻撃シテ居タ。Finch 號ハ充分詰開キニシテ居ナカツタ爲ニ、Ticonderoga 號ト竝ンダ指定位置ニ就ク事ガ出來ズ、又ソノ後モ風ガ落チタタメニ、ソノ場所ヘ行ク事ガ出來ナカツタ。同艦ハ米ノ「スクーナー」艦カラ 2, 3 回片舷齊射ヲ受ケテ、スツカリ參ツテソノママ Crab Island ノ砂洲ノ上ニ漂流シタ。ソシテソコデ陸上ニ据エラレタ 6 听砲ノ砲撃ヲ受ケテ、遂ニ降伏ノ止ムナキニ至ツタ。英砲艦ノ中ニハ敵ノ長砲ノ射程外ニ敬遠シ、後ニハ不名譽ニモ逃亡シタモノモアツタガ、4 隻ハ向フ見ズナ勇氣ヲ出シテ攻撃ニ當ツタ。小艦ハ Preble 號ハ止ムナクソノ錨鎖ヲ切斷シテ Platts-burg ノ米軍ノ砲臺ノ下ニ難ヲ避ケタ。米ノ砲艦ハ餘リニ弱勢デ大シタ助ケニハナラナカツタ爲、Ticonderoga 號ハ殆ド無援ノ狀態ニ放置サレタ。然シソノ艦長 Lieutenant Cassin ハ自艦ヲ實ニ巧ニ操縦シタ。銃火ヤ葡萄彈ガ飛ンデ來テ非常ニ危險デアツタガ、ソレヲ物トモセズ、彼ハ艦尾手摺カラ戰闘ヲ指揮シタ。ソシテ肉薄シテ來ル砲艦ニ多數ノ霰彈ヲ喰ラハセテ、遂ニ彼等ヲ撃退シタガ、中ニハ一艇身ノ距離マデモ近寄ツテ來タモノモアツタ。

艦列ノ先端デハ主力戰闘ガ行ハレテ居タノデアルガ、次第ニ小サクナツテ、遂ニ米軍側ノ Saratoga 號ト Eagle 號、英軍側ノ Confiance 號ト Linnet 號トノ交戰トナツタ。此等 4 艦ハ各自ヲ停止セル標的ト

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シテ直射距離デ、而モ穏カナ海上デ砲火ヲ交ヘテ居タ。斯ウ云フ状況デアレバ、假令無經驗ノ兵員デモ、相手ニ大損害ヲ與ヘル事ガ出來タデアラウ。Downie ハ此ノ交戰ノ初メ頃戰死シタガ、彼ノ死ハ英軍ニトツテ大キナ損失デアツタ。段々兵員ノ無經驗ト長時間訓練ノ不足ノタメニ、双方共ニ混亂狀態ガ現レテ來タ。米艦ノ兵員ハ士官ガ戰死或ハ負傷シテ指揮者ガ無カツタタメ、短砲ニ裝藥シ過ギテ砲ノ威力ヲ大ニ殺グ結果トナツタ。Confiance 號ニ於テハ、照尺ガ猛射ノ爲ニ徐々ニユルンデ照準ガ狂ヒ、之ヲ矯正スル事モ出來ズ、彈ハ次第ニ高メニナツテ行ツタ。英ノ旗艦ニ於テハ、時々大狼敗ヲ來シ、砲手ハ火藥ヲ忘レテ彈丸丈ヲ裝塡シタリ、或ハ彈丸ヲ忘レテ彈藥筒丈ヲ裝塡シタリシタ。Captain Downie ノ戰死前、Confiance 號ノ行ツタ最初ノ片舷齊射ハ、ソノ照準ガ實ニ正確ナモノデアツタノダガ、ソノ後ノ混亂ハ戰鬪ニ於テ將率ヲ一體ニナラシムル要素タルアノ組織ト協同トガ必要ナル事ヲ例示シタモノデアル。

Saratoga 號ノ被ツタ損害モ亦大デアツタ。右舷側砲ハ殆ド全部用ヲ爲サナクナツタ。然シ Macdonough ノ先見ノ明ト周到ナ用意トガアツタ爲ニ、同艦ノ是マデ使用シテ居ナカツタ砲ヲ用フル事ガ出來タノデアルガ、ソレガ實ニコノ危機ニ際シテノ事デアツタ。斯ウ云フ時モアラウカト、前以テ用意シテアツタ轉向索デ以テ、彼ハ艦ヲ廻シテ非戰側砲ヲ新ニ敵ニ向ケタ。英軍側モ同樣ノ行動ヲ取リ、Confiance 號ノ艦尾錨ガ敵彈ノタメニ擊チ落サレテ居タノデ、Lieutenant Robertson ハ艦首ノ轉向索ニ依ツテ艦ヲ反對ノ方向ニ廻サウトシタガ、是

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ成功セズ、艦首ヲ風上ヘ向ケタママ何レトモ決セズ行悩ミノ態デアツタ。是ハ Saratoga 號ニトツテハ相手ヲ縦射スルニ絶好ノ機會デアツタ。英艦ハ船艙ノ一部ガスツカリ浸水シテヰタシ、兵員ハモハヤ砲ヲ操縦シヤウトハセズ、而モ敵ニ曝露ノ狀況ニアツタノデ、Robertson ハ降伏ノ止ムナキニ到ツタ。時間ハ 11 時頃デアツタ。Macdonough ハ直ニソノ轉向錨索ニヨツテ再ビ自艦ヲ廻シテソノ側砲ヲ Linnet 號ヘ向ケタガ、15 分ノ後 Captain Pring ヲ降伏セシメタ。丁度此時 Ticonderoga 號ハ砲艦相手ノ交戰ヲ終ラウトシテ居タ。

此ノ戰鬪ニ英米兩軍共最モ頑强ニ鬪ツタガ、Saratoga 號ハ圓彈ヲ 55 回モソノ船體ニ受ケ、Confiance 號ハ 105 回モ受ケタ。Eagle 號モ Linnet 號モ非道クヤラレテヰタ。米軍ノ死傷約 200 ヲ數ヘ、英軍側ハ 300 ニ達シタ。此ノ大勝利ニ對シテハ、Macdonough ニ最大ノ稱讃ヲ與フベキデアル。彼ハ愼重ニソノ占位位置ヲ選ンダ事、又完全ナル戰備ニ非常ナル手腕ト正シイ判斷ヲ示シタノデアル。此等ノ優レタ才能ニ加フルニ Macdonough ハ不屈ノ勇氣ヲ有シテ居タ。「南北戰爭時代マデノ我ガ海軍史ニ於ケル最モ偉大ナル人物デアル。」

Champlain 湖ノ戰ノ結果ハ極メテ重要ナルモノデアツタ。Prevost ノ軍ハ直ニ加奈陀ヘ這這ノ體デ逃ゲ歸ツタ。斯シテ英國政府ノ攻勢的戰爭政策ハ斷念サレタ。此ノ戰爭ハ英國ガ米國領土ニ對シテナセル權限要求ヲ放棄セシメヤウトスル當時未解決ノママデアツタ媾和談判ノ上ニモ亦決定的影響ヲ與ヘタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

◎戰爭終末期ニ於ケル諸事件

Champlain 湖ノ戰ハ此ノ戰役ヲ殆ド終了セシメタト云ツテ好イ。Ghent 條約ハ 1814 年 12 月 24 日ニ調印サレタ。然シ當時ハ通信機關ガ遲カツタ爲ニ、我ガ政府ガ之ヲ批准シタノハ漸ク 1815 年 2 月 17 日ノ事デアツタ。戰爭ハ批准ガ行ハレル迄ハ中止セズトノ約定ガ特ニ設ケラレテアツタ爲ト、平和克復ノ報道ヲ遠隔ノ海上ニ巡航中ノ艦船ニ屆ケルノハ困難デアツタ爲ニ、條約ノ調印ハ勿論ソノ批准ガ行ハレタ後マデモ數度ノ重要ナ戰鬪ガ行ハレテ居ル。ソノ中ノ一ハ New Orleans ニ於ケル陸戰デアツテ、ソノ他ニ 2, 3 ノ海戰、即チ New York 沖ニ於ケル英國封鎖艦隊ノ President 號ノ捕獲、Constitution 號ト Cyane 號及 Levant 號トノ戰、竝ニ Hornet 號ト Penguin 號トノ「スループ」戰鬪等デアツタ。

New Orleans ノ戰ニ於ケル海軍ノ演ジタ役割ハ全ク端役デアツタ。然シ 1814 年 12 月 23 日 Carolina 號ガ侵入軍攻擊ニ對スル援助ヲ與ヘタ事及 1815 年 1 月 1 日敵ノ軍隊ヲ縱射スル爲ニ、Louisiana 號ノ兵員ガソノ海軍砲ヲ陸上ニ移シテ援助ヲ與ヘタ事ハ、假令輕微ナ海軍力デモ、如何ニ役立ツカヲ示シタモノデアル。

◎President 號ノ喪失

New York ニ碇泊中デアツタ「フリゲート」艦 President 號ハ、1814 年 5 月 Captain Stephen Decatur ノ指揮スルトコロトナツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

彼ハ前自分ガ艦長ヲシテヰタ船デ當時 New London ニ封鎖サレテ脱出ノ見込モナカツタ United States 號カラ、ソノ兵員ヲ引キ連レテ赴任シタノデアツタ。當時 Admiral Cochrane 及 General Ross ノ率ヰル强力ナル一部隊ガ我ガ海岸ヲ威嚇シツツアツタノデ、New York 及 Philadelphia 兩市ノ市民ハ、ソノ附近ニ Decatur ノ駐在ヲ熱望シテヰタ。

此ノ爲ト、ソレカラ目ヲ光ラセテ封鎖怠リナイ艦隊ガ港外ニヰル爲ニ、President 號ハ New York カラ一歩モ出ラレズ、ソノママ 1815 年1月4日マデ此處ニ留マラザルヲ得ナカツタ。處ガソノ日ハ强イ西北風ガ吹イテヰタノデ、コレ幸ト秘カニ港ヲ脱出シタ。スルト、不運ニモ水道デ坐礁シテ了ツタ。隨分骨折ツタ揚句、ヤツト離礁ハシタガ、ソノ損傷ハ大キク、以前ノ速力ハ全ク失ツテ了ツテヰタ。此ノ不運ニ加ヘテ、同艦ハ翌朝5時 razee 艦（甲板ノ一部ヲ切リ縮メテ低ク艦裝ヲ變更シタ軍艦） Majestic 號（56門）、「フリゲート」艦 Endymion 號、Pomone 號及 Tenedos 號（何レモ 38 門艦）カラ成リ Captain Hayes 指揮ノ件ノ封鎖艦隊トブツカツタノデアル。此ノ大風ニアツテ英艦ハ四散シ、Captain Hayes ハ此ノ時マダ麾下ノ諸艦ヲ纏メル事ハ出來ナカツタ。

Captain Hayes ガ南方ニ後デ自分麾下ノ「フリゲート」艦 Tenedos 號ト分ツタノダガ、怪シゲナ 1 隻ノ船ニ注意ヲ向ケテ居ル中ニ、Endymion 號ハ President 號追跡ヲ開始シテ、15日ノ眞夜中近クマデ續イタ。Decatur ハ針路ヲ東ヘ向ケ、Long Island ノ海岸ト竝行ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

航走シタ。Endymion 號ハ絶エズソノ針路カラ偏逸シテハ、而モ相手ニ遅レズニ其ノ片舷斉射ヲ之ニ向ケル事ガ出來タ。Decatur ハ此ノ砲火ヲ半時間ハ堪ヘテヰタガ、ヤガテ急ニ面舵ニトツテ南方ヘ向ケテ進ンダ。ソノ目的ハ Endymion 號ノ艦首ニ對シテ丁字形ヲ畫クニ在ツタ。然シ Endymion 號ハ此ノ運動ヲ眞似テ兩艦ハソノ爲ニ竝行トナツテ、互ニ片舷斉射ヲ交ヘ、其ノ結果遂ニ Decatur ハ目的通リ此ノ追跡艦ノ帆ヲ圓材カラ撃チ落シ、斯クシテ是以上ノ追跡ヲ阻止スル事ヲ得タ。President 號ハ今度ハ補助帆マデモ揚ゲテ、ソノママ進航ヲ續ケタ。然シ Endymion 號ハ非道イ損傷ヲ受ケテ戰闘不能トナツタガ、ソノ僚艦 Pomone 號ト Tenedos 號トハ、Decatur ノ操艦宜シキヲ得ナカツタ爲ニ、之ニ追ヒ付ク事ガ出來、再ビ砲火ヲ交ハス事ナク、(午後 11 時) 米ノ指揮官ハ遂ニ降伏シタ。

◎Cyane 號及 Levant 號ノ捕獲

Captain Stewart 指揮ノ Constitution 號ハ長ク Boston 港內ニ封鎖サレテ居タガ、1814 年 12 月漸ク出港スルヲ得タ。ソシテ 1815 年 2 月 20 日同艦ハ Madeira ノ北東約 200 浬ノ地點ニ 2 隻ノ船ヲ發見シタ。ソレハ後ニ 32 門「フリゲート」艦 Cyane 號ト 20 門「スループ」艦 Levant 號トデアル事ガ分ツタ。初メ發見シタ時ハ、此等英艦ハ互ニ 10 浬離レテ居タガ、輕イ東寄リノ風ガ吹イテ居タニモ拘ラズ、兩艦ハ次第ニ合シテ Constitution 號攻撃ノ際ニハ僅カ 100 碼離レテ居タ丈デアツタ。午後 6 時 5 分、米艦ハ風上 300 碼ノ距離カラ砲撃ヲ開

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

始シタ。風ガユルヤカデアツタ爲、砲煙ガ仲々去ラズ、ソレガ擴ガル中デ、彼我互ニ相手ノ位置ヲ見定メル爲ニ時々砲撃ヲ一時中止シナケレバナラナカツタ。Stewart ハ實ニスバヤク敵カラノ縦射ヲ避ケルバカリデナク、Costitution 號ヲ巧ニ下手廻シスルヲ得テ、英兩艦ヲ數度縦射シタ。Cyane 號ハ6時50分降伏シタ。Stewart ハ次ニ Levant 號追跡ニ向ツタ。同艦ハ捕獲船回航員ガ Cyane 號ノ回收ニ當ツテ居ル間ニ退却シテ了ツタノデアツタ。然シ午後8時50分小艦ナガラ勇敢ニ下手廻シヲ行ツテ反航シ、互ニ片舷齊射ヲ交ヘタ。Stewart ハ更ニ今一度速カニ回頭ヲ行ツテ、Levant 號ノ艦尾カラ之ニ縦射ヲ浴ビセタ。英艦ハココデ逃亡シテ危險ヲ脫シヤウトシタガ、午後10時 Constitution 號ハ之ニ追ヒ付イテ捕獲シタ。此ノ交戰ニ於テ、敵ガソノ兵力ヲ分散シタ事ハ Constitution 號ニトツテハ好都合デアツタガ、然シ此ノ戰闘ヲ勝利ニ導イタノハ特ニ Captain Stewart ノ迅速且巧ナ操艦ニアツタ。Constitution 號ト Cyane 號トハ後ニ英艦隊ノ進撃カラ逃レテ、無事本國ヘ歸ツタガ Levant 號ハ奪還サレタ。

◎私　掠　船

米國ノ私掠船ハ嚴密ニ言ヘバ我ガ海軍ニハ籍ハ無カツタノデアルガ、此ノ戰役ニ於ケル彼等ノ活躍ハ重要ナル意味ヲ持ツモノデアツテ、少クトモ一言此處デ述ベルノガ當然デアラウ。私掠船行動ハ殊ニ戰役末期近クニナツテハ、英國ノ通商ヲ荒ラスニ好ンデ行フ手デアツタ。多數ノ水兵ガコノ方面ヘ轉向シタ爲ニ、正規海軍ノ兵力ヲ弱メ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。ソノ成績ハ軍艦ニ期待シ得ル成績ニ比シテ遙ニ劣ツテ居タノデ、我々ノ見地カラ云ヘバ、私掠船行動ガ有利カ否カハ疑問ニ思ヘル。ソレデモ我ガ國ハ開戰當初ハソノ戰備ガ甚ダ貧弱デアツタノニ氣ヅイテ、此等私掠船ノ援助ヲ歡迎シタ。ソノ行動ハ成功シタ場合ニハ、利益ノアル商賣デアツタ。ダカラ愛國心モ加ハルノデアルガ、同時ニマタ商賣氣モソノ動機トナツテ居タ事ヲ認メネバナラナイ。私掠船ノ數ハ500隻アツテ、ソノ捕獲或ハ擊破シタ英國船舶ハ1,350隻ニ上ツタ。

◎戰　　果

1814年12月24日 Ghent ニ於テ調印サレタ條約ハ、此ノ戰役ノ二大問題、即チ海兵强制徵募ト勅令ニ依ル不法掠奪トニ就テハ觸レテ居ナカツタ。此ノ勅令ノ方ハ米國ノ宣戰布告前ニ取消サレテ居タ。ソシテ英國ハ時効ニ依ツテ得タ海兵强制徵募ノ權利ヲ頑强ニ主張ハシタケレドモ、ソノ後此ノ强制徵募ハ續ケナカツタ。ソレドコロカ、英國ハ條約ニ於テ爲シ難イ讓歩ヲ爲シタ。1814年英國ハ Mackinac, Niagara 兩砲臺及 Penobscot 河ノ東ニアル地方ヲ領有シテ居タ事ヲ强ミニ思ツテ、最初ハ我ガ領地ノ一部讓渡ヲ强要シテ居タ。又 Great Lakes ヲ軍事的障壁ニシヤウトシテ居タ。ソレハ之ヲ英國ノ支配下ニ置キ、米國ハ之ヲ商用ニノミ使用スベキヲ定メルモノデアツタ。更ニ彼等ハ Northwest 地方ニ於ケル我ガ領地ノ一部ヲ Indian 獨立州トナス事ヲ主張シテヰタ。然シ或ハヒヨツト起ルカモ知レナイ歐洲戰爭ヲ目前ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

控へ、ソレヨリモ特ニ Prevost ガ急ニ加奈陀ヘ退却シタタメニ、英國側ハ上述ノ領土要求ハ斷念シ、米國ノ地位ハ何等土地讓渡ノ事モナク條約ノ中ニ入レラレタ。尙將來ノ紛糾ヲ避ケル爲ニ、條約ニ於テ國境ヲ調整シテ Minnesota ノ Lake of the Woods マデトシタ。兩國ハ又奴隷賣買ノ根絶ニ凡ユル努力ヲ向ケル事ヲ誓ツタ。

此ノ戰役ハ建國日尙淺イ我ガ國民ノ中ニ愛國精神ヲ新シク燃ヤシ、中外ニ尊敬ヲ高メタ點ニ於テ、極メテ良好ナル結果ヲ齎シタ。商人階級ノ多數ノモノガ抱ク狹隘ナ自己中心主義及此ノ戰役ニ對スル New England ノ持シタ敵對的態度ハ失ハレテ、從來ヨリモ强力ナ國民ノ團結及廣イ愛國心ガ生レタ。此ノ結果ヲ生ムニ海軍ハ少カラザル貢獻ヲ爲シタ。陸戰ニ於テハ、敗北ガ續イテ居タガ、海軍ノ樹テタ素晴ラシイ功績ニヨリ、我ガ國民ハ勇氣ヲ保持シテ居タ。英國ハ幾千トイフ多數ノ艦船ヲ擁シテ、少々ノ「フリゲート」艦ヲ失ツタトコロデ大シタ痛痒ハ感ジナカツタノデアラウガ、此ノ戰役ニ於ケル單艦戰鬪ハ米國海軍、延イテハ我ガ國家ニ世界列國ノ稱讃ヲ齎シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第13章　各種ノ事件

◎Algiers　ト　ノ　戰

Tripoli　ト　ノ戰ノ結果、米國ハ此ノ小國ヘノ貢ヲ拂フ事ハセズトモヨクナツタノデアルガ、1795 年ノ條約締結以來ズツト我ガ國ハ、Algiers ノ太守ヘ毎年貢ヲ送ツテヰタ。1807 年 Hornet 號ガ地中海カラ歸國シタタメ、同海面ニハ米國軍艦ハ 1 隻モソノ影ヲ見ナカツタ。ソシテ 1807 年ノ Leopard 號事件以來、米國海軍ハ英國トノ戰爭未了ノ爲ズツト本國領海内ニ釘付ケサレタ觀デアツタノデ、米國ノ巡洋艦ハ Algiers ノ近海ニ姿ヲ現ハサズ 1 年ハ 1 年ト過ギテ行ツタ。太守ハ此ノ情勢ニ大ニ力ヲ得、1807 年モ晩ク 3 隻ノ米商船ヲ 捕獲シタ。是ニ對スル口實トシテハ、彼ノ受クベキ海軍軍需品ノ貢納入期限ガ切レテ居ルト云フノデアツタ。此ノ 3 隻ノ中、1 隻 Mary Ann 號ノ乘員ハ Algiers ノ捕獲船廻航員ヲ殺シテ之ヲ奪回スルヲ得タ。然シ後ノ 2 隻ハ港ヘ連行サレタ。此ノ事件ガ滯納ノ貢ニ對シテ現金支拂ヲ行ツテ解決サレルヤ、太守ハ更ニ Mary Ann 號ノ廻航員デアツタ 9 名ノ Algiers 人ニ對スル賠償金 18,000 弗ヲ要求シタ。Lear 領事ハ即時ノ宣戰布告ヲ避ケルタメニ之モ支拂ハナケレバナラナカツタ。

1808 年此ノ太守ハ暗殺サレタ。彼ノ後繼者モ翌年同樣ニ暗殺サレタ。1812 年早々時ノ太守ハ英國政府カラ攝政皇太子ノ友好的親書ヲ携行スル特使ノ派遣ヲ受ケタ。是ニヨリ彼ハ英國政府ノ援助ヲ得ラレル事ト思ヒ、米國ニ對シ對敵態度ヲ執ツテモ大丈夫ダト決シタ。貢ト

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シテ海軍モ需品ヲ積ンデ Alleghany 號ガ7月到着スルヤ、彼ハ直ニ之ニ云ヒガカリヲツケタ。未ダ滯納ノ貢ノ金 16,000 弗足ラズノモノガアツタガ、彼ハ回教ノ數ヘ方デ(1年ヲ354日トスル)スルト、1795年ノ條約以來經過シタ年數ハ17年デナク17年半デアルトイフ理由デ、27,000弗ヲ要求シタ。彼ハ Lear 領事ニ對シテソノ支拂猶豫ノ期間ヲ5日間與ヘタ。ソシテ若シ支拂不能ノ際ニハ、在留米人全部及 Alleghany 號乘員ト共ニ領事自カラモ奴隷トナルベシトイフノデアツタ。領事ハ遂ニ Algiers 在留ノ一猶太人カラ該金額ヲ年利2割5分デ借リ、ソシテ他ノ3人ノ在留米人ト共ニ Alleghany 號デ退去歸國シタ。

英國トノ開戰ガ期待サレテヰタノデ、地中海ニハ幸ヒ1隻ノ米商船モ居ナカツタ。ソコデ太守ガソノ巡洋艦數隻ヲ派遣シタケレドモ、僅カ1隻ノ「ブリッグ」艦 Edwin 號ヲ捕ヘタ丈デアツタ。Edwin 號10人ノ乘組ハ奴隷ニ賣ラレタ。彼等ノ救出ニ對シテハ、英國トノ戰爭中努力ガ拂ハレタケレドモ、成功ヲ見ナカツタ。

英國トノ媾和條約締結ト同時ニ、米國ハ Algiers ニ對シテ自由ニ行動スル事ガ出來ル樣ニナリ、國會ハ早速行動ヲ起シタ。即チ 1815年3月2日對 Algiers ノ宣戰布告ガ行ハレ、2箇艦隊ノ地中海遠征ガ發令サレタ。Boston ニ集合スルコトニナツテ居タ1艦隊ハ、Commodore Bainbridge ノ指揮ノ下ニ置カレ、他ノ1艦隊ハ New York ニアツテ、Commodore Decatur ガ指揮スル事トナツタ。Decatur ノ艦隊ガ先ヅ5月20日ニ出港シタ。ソノ編成ハ旗艦44門「フリゲート」艦 Guerrière

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

號、36門ノ Constellation 號、38門ノ Macedonian 號及 18門「スループ」艦 Epervier 號、16門ノ Ontario 號及各14門「ブリッグ」艦 Firefly 號、Spark 號及 Flamdeau 號デアツタ。此ノ中 Firefly 號ハ嵐ノタメニ大損傷ヲ被ツタノデ、New York ヘ止ムナク引返シタ。

地中海ニ入ル前ニ Decatur ハ Cadiz 及 Tangiers 駐在ノ米國領事ニ Algiers ノ巡洋艦所在ニ就テ訊ネタトコロ、Algiers ノ提督 Rais Hammida ノ指揮スル一艦隊ガ丁度海峽ヲ入ツタ處ダト云フ事ガ分ツタ。Decatur ハ米國領事ト話シスルニ要スル時間丈一寸 Gibraltar ニ寄港シテ後、直グ Algiers 軍不意打ノ目的ヲ以テ之ガ追跡ニ出港シタ。

7月17日 Constellation 號ハ Cape de Gat 沖ニ大型ノ「フリゲート」船1隻ヲ發見シテ、敵艦見ユノ信號ヲ發シタ。Decatur ハ相手ヲ欺瞞センタメ直ニ英國旗ノ掲揚ヲ命ジタトコロガ、Constellation 號ノ信號員ガ間違ヘテ米國旗ヲ掲ゲタ爲ニ警戒ヲ與ヘタ貌トナリ、同船ハ滿帆ヲ掲ゲテ逃亡セントシタ。Constellation 號ハソコデ砲火ヲ開イタ。スルト Algiers ノ船ハ自國ノ港ニ入ル事ヲ斷念シタラシク、急ニ下手廻シヲ行ツテ Spain ノ中立國領海ヘ入ラウトシタ。コノ下手廻シノ爲ニ、同船ハ Guerrière 號ニ接近シタノデ、Decatur ハソノ舷側ニ迫ツテ2回ニ亙ツテ片舷齊射ヲ見舞ツタ。此ノ砲撃ハ非常ナ効果ヲ收メタ。トイフノハ此ノ爲ニ敵艦ノ乘員ノ生存者ハ唯檣樓ニ在ツタ銃兵ヲ除イテハ、全部下甲板ニ逃ゲ降リ、Rais Hammida 自身ハ戰死シタ。Decatur ハ相手ガ抵抗シナイノヲ見ルト砲撃ヲ止メテ、少シ離レ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

テ行ツタ。然シ Captain John Downes 指揮ノ小艦 Epervier 號ハ、此ノ時逃亡セントシテ居タ敵艦ノ右舷艦尾ニ迫リ、巧ニ操艦シテ常ニ此ノ位置ヲ保チナガラ9回ニ亙ル片舷斉射ヲ浴ビセタ。コノタメ敵艦ハ止ムナク風上ニ向ヒ、遂ニ降伏シタ。同艦ハ Algiers 艦隊ノ旗艦 44門 Mashuda 號デアツタ事ガ分ツタ。

2日ノ後米艦隊ハ Algiers ノ一「ブリッグ」艦ヲ擁座セシメタ。ソシテ 28日ニ Algiers ニ到着シタ。Decatur ハ直ニ太守ニ條約條件ヲ送ツテ即座ニ批准スルコト、若シ之ガ遅滞ヲ見レバ Algiers 入港船舶ハ悉ク捕獲セント威嚇シタ。太守ハ Mashuda 號ヲ捕獲サレ、提督 Hammida ヲ失ヒ、是ガ非常ニコタヘテヰタ。此ノ時丁度 Algiers ノ一巡洋艦ガ附近ニ現ハレ、之ガ Decatur ノ爲ニ捕獲サレルハ僅カ數分ノ問題デアルノヲ見テ、太守ハ急據短艇ヲ出シテ承諾ノ言葉ヲ送ツタ。

斯ク Decatur ノ大膽ナル手段ニヨリ、艦隊ノ New York 出港以來僅カ6週間タラズシテ Algiers トノ平和條約ガ締結サレタ。同條約ハ將來貢ハ送ラヌ事、米人捕虜ノ即時釋放、太守ニヨリテ沒收サレタ米國財産ノ返還、「ブリッグ」艦 Edwin 號ニ對スル賠償金 10,000弗ノ支拂、米軍艦ヘ逃亡スル基教信者タル奴隷ヲ悉ク解放スルコト、及將來萬一戰爭ヲ行フ場合ニハソノ捕虜ヲ奴隷トセズ、戰爭ノ捕虜トシテ待遇シ、之ニ勞働ヲ課セザル事等ヲ條項トシテ、定メタモノデアツタ。

斯様ナ堂々ト有利ナ條件ヲ以テ Algiers トノ戰爭ヲ解決シタ Deca-

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

tur ハ、ソレカラ Tunis 及 Tripoli ヘ向ケテ進航シタ。ソレハ豫テ此等ノ國ガソノ領海ニ於テ英國ノ軍艦ニ對シ、米國ガ拿捕シタ船舶ヲ奪還スル許可ヲ與ヘテ居タノヲ聞キ及ンデヰタカラデアル。彼ハ Tunis カラハ其ノ近海デ奪還サレタ拿捕船ノ見積額 46,000 弗ヲ得、Tripoli カラハ 25,000 弗ト他ニ基敎徒奴隷 10 名ノ解放トイフ條件ヲ之ニ加ヘタ。此ノ中 2 名ハ Denmark 人デ、之ハ Decatur ガ Denmark ノ領事 Nissen ヘノ感謝ノ意味デ選ンダモノデアツタ。ト云フノハ此ノ領事ハ軍艦 Philadelphia 號カラ捕虜ヲ出シタ時非常ナ親切ヲ盡シテ呉レタ事ガアツタカラデアル。

話變ツテ一方 Commodore Bainbridge ハ、7 月 3 日麾下艦隊ヲ率キテ Boston ヲ出港シ、Gibraltar ニ到着シテ見ルト、僅一足違ヒデ己ヨリモ後任ノ Decatur ガ必要ナ仕事ハ全部シテ了ヒ、ソノ榮譽ヲスツカリ一人デ持チ去ツテ了ツテ居タ。彼ニトツテ實ニ不運デアツタ。然シ尚彼ハ Decatur ノ殘シタ印象ヲ更ニ强メヤウト北「アフリカ」諸國ノ港ヘ艦隊ヲ動カシタ。英國ハ Algiers ニ補助金ヲ與ヘル事ハモハヤ無益ノ事トナツタノデ、翌年 Lord Exmouth 指揮ノ大艦隊ヲ派シテ同市ヲ砲撃セシメタ。是ニ由ツテ北「アフリカ」諸國ハソノ海賊行爲ト基敎徒奴隷貿易ニ於ケル特殊權利ノ主張ヲ放棄スルニ至ツタ。

◎西印度諸島ニ於ケル海賊行爲ノ抑壓

18 世紀ノ末葉、佛國ノ私掠船ガ西印度諸島ハ無論、我ガ領海ニ於テマデ米國船舶ヲ襲撃シタソノ程度ガ甚ダシク、ソノ極遂ニ佛國ト戰

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

端ヲ開クニ至ツタ事ハ既ニ述ベタ所デアル。此等ノ私掠船ハ如何見テモ海賊船デアリ、Guadeloupe ノ佛領殖民地ヲソノ根據地トシテ居タモノデアツタ。西印度諸島ニ於ケル對佛戰爭中、此等海賊ハ英米兩國軍艦ニ依ツテソノ活動ハ阻止サレテ居タノデハアルガ、之ヲ根絶シタワケデハ決シテナカツタ。1810年英軍ノ Guadeloupe 占據ニ依ツテ彼等ハソノ根據地カラ追放サレタガ、「メキシコ」灣岸ニ又別ノ集合地ヲ見付ケテ、ソコデ或者ハ密輸入ヲ行ヒ、或者ハ海賊行爲ヲ續ケタ。

Louisiana ニ於ケル彼方此方ノ入江ハ特ニ彼等ノ商賣ニ當テラレタ。有名ナ Lafitte 兄弟ハ此處ヲ根據トシテ沿岸貿易船ヲ襲撃シテ居タ。米國ハ英國相手ニ戰ツテヰタノデ、彼等ニ干渉スル機會ハナカツタガ、1814年9月ニナツテ Master-Commandant Patterson ハ6隻ノ砲艦ヲ率ヰ、ソシテ「スクーナー」艦1隻ニ軍隊輸送船ヲ數隻曳航サセ、海賊船ヲ攻撃シテ10隻ヲ撃破シタ。Lafitte 兄弟ハ部下ノ一部ト共ニ New Orleans ニ逃レ、ソコデ妙ナ事ニ彼等ハ General Jackson ノ部下ニナツテ仕ヘ度イト申出デ、ソノ指揮ノ下ニ1815年1月アノ有名ナ同市ノ防禦戰ニ戰ツタ。兄弟ノ中一人ハ後ニ Texas ヘ行キ、其處デ元ノ職業ニ立チ戻ツタ。ソノ後1822年頃ニハ彼ノ名ハ「メキシコ」灣ヲ航行スル凡テノ船長カラ恐レラレテ居タ。

戰後10年間ハ此ノ地方デハ Lafitte 兄弟ガ唯一ノ海賊デハナク、他ニモ佛國及 Spain ノ私掠船員モ居タシ、ソレニ多少米國ノ私掠船モ居タ事モ認メネバナラナイ。彼等ニハコノ商船掠奪ノ仕事ガ面白ク

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

テ、平和克服ノ後モ止メラレナカツタノデアル。彼等ノ殆ド全部ノモノハ Spain 殖民地ノ中デ叛逆ヲ起シテ居タモノ、例ヘバ Venezuela アタリカラ拿捕免許狀ノ下附ヲ受ケテヰテ、軍艦ニ捕獲サレナイヤウニ之ヲ使用シテヰタ。此ノ濫用ガ甚ダシクナツテ、遂ニハ Mexico 灣或ハ Caribbean 海ヲ通ル船デ少クトモ一度ハ所謂私掠船ノ御厄介ニナラヌモノハ殆ドナカツタ。

1819 年合衆國ハ行動ヲ起シテ、先ヅ Mexico 灣ヘ一艦隊ヲアノ Lake Erie ノ英雄 Commodore Oliver H. Perry ニ指揮セシメテ派遣シタ。彼ハ直ニ Venezuela ノ Angostura ヘ Venezuela 發行ノ拿捕免許狀問題ニツイテ談判スベク赴イタノデアルガ、其處デ急ニ黃熱ニトリツカレ、Trinidad ヘ行ク途中ニ仆レタ。彼ノ此ノ死ノ爲ニ、此ノ遠征ハ何等結果ヲ見ズシテ終ツタ。

1821 年カラ 22 年マデノ間ハ、Commodore James Biddle 指揮ノ艦隊ガ更ニ此ノ方面ノ仕事ヲ承ケ繼イデ、最初ハ仲々ノ好成績デアツタ。一小砲艦 Shark 號ハ 5 隻ノ海賊船ヲ捕獲シ、6 隻目ノ捕獲ニハ援助ノ役デ大ニ功績ヲアゲタ。ソノ艦長ハ Oliver H. Perry ノ弟 Matthew C. Perry デアツテ、後日本ヘノ使節トシテ有名デアル。此ノ事業ヲ續行スル爲ニ、政府ハ翌 1823 年 2 月更ニ別ノ艦隊ヲ Commodore David Porter 指揮ノモトニ派遣シタ。彼ハ軍艦 Essex 號時代ト同樣彼ノ養子 David G. Farragut ヲ伴ツタ。

西印度諸島ニ於ケル此ノ仕事ニハ多クノ困難ガアツタ。海賊討伐ニハ彼等ノ堡壘ヲ陸上攻撃スル必要ガアツタ。附近ニハ道ガナク、通

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

過不可能ノ場合ガ屢アリ、米軍ガ進軍スル場合常ニ伏兵ノ危險ガアツタ。ソノ上ニ最近奴隷ガ西印度諸島ニ持ツテ來タ黄熱ナルモノハ、海賊ソノモノヨリモ遙ニ危險極マルモノトナツタ。其ノ戰ノ眞中、Commodore Porter ハ此ノ流行病ノタメニ一時ソノ全艦隊ヲ Key West マデ退却セシムルノ止ムナキニ至ツタ。又此ノ疫病デ優秀ナル部下ノ一人 Lieutenant Watson ヲ失ツタ。彼自身數日病臥シテ死生ノ間ヲ彷徨シタノデアツタ。然シ恐ラク最モ大キナ障碍ヲナシタモノハ、Spain ノ役人ノ中デ大部分トハ云ハヌマデモ多數ノ者ガ、此等海賊ト密カニ款ヲ通ジテ居タ事デアツタ。彼等ハ當時モソノ後モ、奴隷業者トモ結ンデヰタノデアル。

此ノ表裏アル行動ノ一例トシテ、例ノ有名ナ「Fajardo 事件」ヲ擧ゲル事ガ出來ル。1824 年 10 月「スクーナー」艦 Beagle 號ノ艦長 Lieutenant Platt ハ St. Thomas ニ於ケル米國領事ガ價格 5,000 弗ノ貨物ヲ盜マレタト云フ報告ヲ受ケタ。盜賊ハ船デ Port Rico ノ Fajardo ヘ向ツタト云フ情報ガアツタノデ、Lieutenant Platt ハソノ地ヘ向ツタ。自分ノ使命ヲ說明セント上陸スルト、彼ハ Fajardo ノ役人カラ侮辱ヲ受ケタ上投獄サレタ。

悠々ト時間ヲカケテ盜品ヲ安全ナ場所ニ取リ片ヅケタ後、「アルカルデ」(「スペイン」及「スペイン」領「アメリカ」ニテイフ治安判事、町奉行) ハ Lieutenant Platt ヲ釋放歸艦ヲ許シタ。Commodore Porter ハ此ノ事件ヲ聞クト大軍ヲ率キテ Fajardo ヘ進ンダ。Spain 人ハ豫ネテ防禦準備ヲシテ居タガ、米國ノ水兵及海兵隊ノ上陸進軍ノ前ニ銃ヲ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

捨テテ逃亡シタ。Porter ハ道路ニ急造サレタ砲臺ヲ使用出來ナクシテ置テ、町ノ郊外マデ進ンダ。彼ハ町ノ役人連中ニ直ニ Lieutenant Platt ニ對シテ公式謝罪ヲ申述ベルヤウトノ要求ヲ休戰旗ヲ掲ゲテ申送ツタ。是ヲ彼等ハ即座遂行シテ今後米國士官ニ對シテハ、凡テ慇懃ナル態度ニ出ル事ヲ叮重ニ約シタ。ソコデ Porter ハ3時間足ラズデ事件ヲスツカリ片附ケテ自艦ニ歸ツタ。

Porter ノトツタ此ノ衝動的ナ處置ニ對シ Spain ハ何等抗議ハシテ居ナカツタケレドモ、米國海軍長官ハ之ヲ以テ中立權侵害デアルトシテ立腹シ、1824年12月 Porter ニ彼ノトツタ行動ヲ釋明ノタメ歸國ヲ命ジタ。然シ此ノ頃ニハ已ニ彼ニ委任サレタ難事業ハ徹底的ニ遂行サレテ居タノデ、1824 年ヲ最後ノ年トシテ爾後西印度諸島ニハ最早海賊船ノ黒旗ハ見ラレナクナツタ。

Porter ガ歸國シテ見ルト、Fajardo 事件ノ爲ニ軍法會議ニ附セラレル事ニナツテ居ル事ヲ知ツタ。不幸ニモ會議ノ判士ノ中ニハ Porter ニ對シテ個人的ニ敵意ヲ抱イテ居ルト云フ噂ノアツタ人ガ若干居タ。殊ニ判士長 James Barron ハソノ尤ナルモノデアツタ。少クトモ Porter ハ Barron ガ自分ニ遺恨ヲ抱イテ居ルノハ先年 Barron ニ對シテ Chesapeake 號竝ニ Leopard 號ノ事件デ停職ヲ決シタ軍法會議ノ一判士デアツタ故ダト信ジタ。ソレハ何ウアラウトモ、兎ニ角此ノ時ノ軍法會議ハ Commodore Porter ヲ「命令違反及士官ニアルマジキ行爲」ノ故ヲ以テ有罪ト決シ、6箇月ノ停職トナツタ。然シ同會議ハ被告ノ「非難スベキ行爲」ハ「國家竝ニ海軍ノ利益ヲ增進セントス

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ル彼ノ熱意」ニ因レルモノナリト云フ事ヲ附言シタ。

嚴密ニ云ヘバ、Spain 領土ニ軍隊ヲ上陸セシメル事ハ、實際ニ海賊ヲ追跡シテ上陸シタノデナケレバ Spain ニ對スル敵對行爲トナリ、而カモ合衆國政府ノ認メザルトコロデアル事ハ無論デアル。然シ西印度諸島ニ於ケル官憲ノ腐敗行爲ヲ知ツテヰタ者ニハ、當時ノ事情ハ全ク無理カラヌモノデアツタ。Porter ハ勿論此ノ判決ハ不當ナリト考ヘタガ、然シ仕方ガナイト諦メタ。ソノ後間モナク彼ハ Mexico 海軍ノ指揮ヲ引キ受ケタガ、3年間勤メタ後嫌惡ヲ感ジテ之ヲ去リ、歸國シタ。Jackson 大統領ハソコデ彼ヲ Algiers 駐在ノ總領事ニ任命シ、後土耳古ノ辨理公使トシタ。ソシテソノ職ニアルママ 1843 年死去シタ。

Commodore Porter ノ名ハ主ニ Essex 號ニ乘ツテ行ツタ有名ナ彼ノ巡航ト關連スルモノデアルガ、然シソレヨリモ遙ニ困難且危險ナ仕事、即チ根强ク行ハレテ居タ Mexico 灣及 Caribbean 海ニ於ケル海賊行爲絕滅ヲ僅カ1年間ニ成シ遂ゲタ事ヲ記憶スベキデアル。

◎奴 隷 賣 買

1808 年以前ニアツテハ、憲法ハ合衆國ニ對スル奴隷賣買ヲ許可シテ居タノデアルガ、國會ハ 1794 年ノ昔國外ヘノ賣買ハ之ヲ禁ジ、合衆國ヘ持チ運バレル奴隷ニ對シテハ、船中慈悲ヲ以テ待遇スベキ事ヲ規定スル法令ヲ通過セシメタ。1800 年ニハ是ヲ罪惡トシ、米人ニシテ奴隷賣買ニ從事セルモノハ、何人ト雖モ、2年ノ入獄ト 2,000 弗ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

罰金ニ處セラレタ。1808 年ニハ全然禁止サレ、1820 年ニハソレハ海賊行爲デアッテ、ソノ罪ハ死ニ當ルト宣言サレタ。我ガ軍艦ハ奴隷輸送船ヲ見ツケ次第之ヲ捕ヘル事ヲ命ゼラレ、捕ヘタ者ニハ奴隷1人ニツキ 25 弗ノ賞金ガ提供サレタ。

斯ウシタ嚴重ナ防止手段ガ講ゼラレテヰタニモ拘ラズ、奴隷賣買ハ益盛大トナッテ行ッタ。是ハ二ノ主ナル理由ガアッタ。第一ハ收益ノ大ナルコト、第二ハ政府當局ノ不注意デアッタ。第一理由ノ例トシテハ、1835 年 Baltimore ノ「スクーナー」船 90 噸ノ Napoleon 號ハ一航海ニ 350 名ノ奴隷ヲ輸送シタガ、Africa デ1人 16 弗デ買ッタモノガ Cuba デ賣ル時ニハ1人 360 弗トナッタ。第二ノ理由ノ例トシテハ、此ノ奴隷賣買ハ海賊行爲ナリト宣告サレテハヰタガ、南北戰爭前 10 年間トイフモノ殆ド毎週1隻ノ奴隷貿易船ガ New York ノ港カラ出ナイ事ハナカッタ。米人デ此ノ商賣ニ從事シテヰタ者ガ海賊トシテ初メテ死刑ニ處セラレタノハ南北戰爭開始後ノ 1861 年 11 月ノ事デアッタ。

我ガ海軍ガ奴隷賣買ヲ抑壓セントシタ努力ハ、種々ナ條件ノ爲ニソノ活動ガ弱メラレタ。數年間ハ英米ノ法廷デハ、奴隷貿易船ヲ處罰シタノハ黑人ガ現ニ船中ニ乘ッテ居タ場合ニ限ラレテ居タ。カウシタ裁定ノ結果ハ、ソノ實例ヲ奴隷貿易船 Brilliante 號事件ニ見ル事ガ出來ル。即チ 1831 年同船ガ航行中停止ヲ命ゼラレ、船長ガ見ルト4隻ノ英國巡洋艦ノ爲ニ包圍サレテヰタ。風デモ起ラナケレバ逃亡ノ見込モナク、結局彼等ガ乘船シテ來ルモノト思ッタノデ、錨鎖ヲ取リ出シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

テ之ヲ一直線ニ甲板ノ上ニ置キ引掛カルモノノナイヤウニシテソノ先端ヲ錨ニ連結シ、イツデモ投入サレルヤウニシタ。ソレカラ之ニ 600 人ノ奴隷ヲ索デ縛リツケテ置イテ、風ノ出ルノヲ待ツタガ、ソノ前ニ英艦カラ短艇ガ下サレテ、ソノ橈ノ音ガ間近ク聞エテ來タ。ソコデ船長ハ止メ金ヲ切ツテ錨ヲ落シタ。スルトソレニ引キズラレテ鎖ガ人間貨物ヲ附ケタママ海中ニ落チテ行ツタ。英人達ハ此ノ痛マシイ犧牲者ノ鋭イ悲鳴ヲ聞キ、且彼等ノツケテヰタ手錠ガマダ甲板ニ落チテヰルノヲ見タニモ拘ラズ、現ニ奴隷ハ 1 人モ船中ニ居ナイト云フ理由デ、英國士官達ハ船長ヤ乗組ノ者ノ嘲弄ヲ聞キナガラ、空シク引キアゲテ行カネバナラナカツタ。

此ノ事件アツテ間モナク、此ノ非常識ナ法規ハ常識ガ勝ヲ制シテ廢サレタ。奴隷貿易ノ抑壓ニ更ニ大キナ障害トナツタモノハ、合衆國ガ心カラ英國ト協同工作ニ出ヤウトシナイ事デアツタ。1824 年英國國會ハ是ヲ海賊行爲ナリト宣告シタ。尤モ Liverpool 市ノ商業上ノ繁榮ノ基礎ハ遂ヒ先頃ソノ奴隷貿易船ノ收益ニヨツテ築カレタバカリデアツタノデアルガ、英國ハ間モナク更ニ一歩ヲ進メテ、歐洲諸國ニ說イテソノ各殖民地ヘノ奴隷輸送ノ根絶ニ協同工作ノ賛成ヲ得タ。然シ英米兩國ノ巡洋艦ガ Middle Passage (註、阿弗利加奴隷ヲ米國ニ送致シタ當時ノ西印度諸島ト阿弗利加トノ間ノ航路) ヲ通航中ノ英米ノ商船ニ對スル捜索權ヲ相互ニ附與スルコトヲ米國ニ訴ヘタ時ハ、米國ハ怒ツテ之ヲ拒絶シタ。奴隷貿易ニ財政的利害關係ヲ有スル者ハ「船乗ノ權利」ヲ叫ビ、ソシテ 1812 年戰役ノ道義ニ訴ヘタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

此ノ愛國的ナマヤカシハ成功ヲ收メタ。ソノ結果英國ノ取調ベヲ受ケナイデ濟ムノハ米國船丈トイフ事ニナツタノデ、奴隷貿易船ハ殆ド全部米國旗ノ保護ノ下ニ往來シタ。合衆國ハ 1842 年英國トノ條約ニ於テ阿弗利加沿岸ニ砲 80 門ヲ下ラナイ一艦隊ヲ置ク事ニ同意ハシタガ、海軍長官ガ同艦隊司令官ニ與ヘタ指令ノ中デハ、奴隷船ノ捕獲ヨリモ英國軍艦ノ米國船搜索ヲ抑止スル必要性ニ強調ヲ置イタ。從ツテ同艦隊司令官 Commodore Matthew C. Perry ハ諸所ヲ巡航シタガ、ソノ間 1 隻ノ奴隷船モ發見シナカツタ。他方英國士官ガ奴隷船搜索ニ赴イテモ、船長ガソノ眞僞ハ別トシテ、米國ノ書類ヲ提示スルト皆陳謝シテ引キ揚ゲネバナラナカツタ。

1850 年代ニ入ツテ早々、Lieutenant Commandor Andrew H. Foote ハ阿弗利加沿岸ニ於テ 2 隻ノ奴隷船ヲ捕獲シタ。歸國後彼ハ「阿弗利加ト米國國旗」ト云フ本ヲ書イタ。此ノ本ハ奴隷賣買トソレガ米國國旗カラ保護ヲ受ケテヰルソノ忌ハシク惡ムベキ狀況ヲ書イテ居タ爲ニ、此ノ惡弊ヲ抑止スルノニ米國ノ全艦隊ヲ一緒ニシテ之ニ當テタヨリモ効果ガアツタ。此ノ本ニ依ツテ、米國民ハ彼等ノ國旗ガ奴隷貿易ノ旗印トナツテヰタコトニ氣ガ附イタノデアル。

Buchanan ノ大統領時代、政府ハ密カニ Cuba 併合ノ實現ヲ希望シテヰタ。國民殊ニ奴隷制度反對方面ヘ訴ヘルノニ、ソノ基礎トナル輿論ト云ツタヤウナモノヲ造リ出ス爲ニ、海軍長官ハ軍艦ヲ Cuba 海面ヘ派シテ、ソノ方面ノ奴隷貿易船ノ捕獲ヲ命ジタ。西班牙ハ英國ニ押サレテ奴隷賣買ニ對スル正式否認ヲ行ツタニモ拘ラズ、Cuba ハ世界

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

デ最モ收益ノアル奴隷市場デアツタ事ハ周知ノ事實デアツタ。トイフノハ Cuba ノ役人ニ支拂フ賄賂ガ非常ニ低額デアツタノデ、奴隷賣買ノ莫大ナ收益ニハ何等影響ハナカツタカラデアル。1860 年ノ年丈デ云ツテモ、我ガ軍艦ノ捕獲シタ Cuba ノ奴隷船ハ 12 隻デアツタガ、沿岸各地デ黒人ヲ上陸サセテ居タ奴隷船ノ實數ニ比ベレバ、取ルニ足ラナイ數デアツタ。一大困難ナ事ハ、此等奴隷船ハ普通米國建造ノ快走帆船デアリ、時ニハ「ヨット」ヲ改造シタモノデ、何レモ速力ニ於テ我ガ軍艦ヨリモ遙カニ優レテ居タ事デアル。然シ何ト云ツテモ、此ノ奴隷賣買ハ南北戰爭前ノ 5 年間ニ於ケル程隆盛ナコトハナカツタ。

其ノ頃奴隷制度賛成ノ人達ハ、此ノ制度ヲ禁止スル當時ノ法律ヲ廢止セシメヤウト積極的ニ肩ヲ入レテヰテ、此ノ種ノ法律ノ大部分ハ明カニ空文トナツテヰタ。其ノ後政府ガ變リ、戰爭トナツテ狀況モ變ツタ。曩ニ英國ガ懇請シタ限定的捜索權ニ對シテ、1862 年米國ハ快諾ヲ與ヘタ。ソレガ 1863 年ニハ擴大サレ、1870 年ニハ更ニ擴大サレタ。合衆ガソノ海軍ノ英海軍トノ協同工作ニ對シテ深甚ノ希望ヲ表明シテカラ、最早此ノ奴隷貿易ノ運命ハ盡キタノデアツタ。

◎Somers 號ニ於ケル隱謀

1842 年ノ秋 10 門「ブリッグ」艦 Somers 號ハ、Commodore Perry ノ艦隊ニ急書ヲ傳達スル任務ヲ帶ビテ、阿弗利加海岸ヘ派遣サレタ。任務終了後、New York ヘ向ケ歸航中、11 月 26 日主計室給仕ガ、艦長 Commander Alexander Slidell Mckenzie ニ、Acting-Midshipman

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Philip Spencer ハ本艦ヲ占領シテ、士官全部ト乗員ノ中無用ノ人物ヲ殺シテ海賊船ニ轉身シヤウト陰謀シ、之ニ加盟スルヤウ彼カラ誘ハレヤウトシタ旨ヲ註進ニ及ンダ。

最初ハ Commodore Mackenzie ハ此ノ話ヲ子供ノ冗談ダト一笑ニ附シテ居タガ、Madeira 出帆ノ時カラ兵員ノ態度ガ不柔順トナツテ居タノデ、他ノ士官ハ此ノ問題ヲ重大視スル傾向ガアツタ。ソコデ Spencer ヲ捕縛シテソノ持物全部ヲ取調ベタ結果、「ギリシャ」語デ書イテアル紙片ガ發見サレタ。偶 Spencer 以外ニ「ギリシャ」語ノ「アルファベット」ノ解ル者ガ1人 (Midshipman Rogers) 同艦ニ居ツタノデ、彼ニ命ジテ飜譯サセテ見ルト、ソレハ乘組員ノ名簿デ、名前ニ夫々「確カ」トカ「疑ハシ」トカ印サレテアリ、仲間ノ者トノ遂行ノ方針ニツイテ二、三書カレテアル事ガ判明シタ。

Spencer ノ捕縛後兵員ノ態度ハ益ムツツリシテ反抗的トナツテ來タ。ソノ日ノ午後不思議ナ事ニ突然大檣ノ高檣ガ落チテ來テ、ソノ片付ケニ不必要ナ混亂狀態ガ起キタ。兵員ハ此處彼處ニ群ヲナシテ私語シ合ヒ、ソシテ Spencer ハ捕縛サレテ坐ツテ居ル後甲板カラ、彼等ニ向ツテ信號シテ居ルノガ見ラレタ。

主計室給仕ノ證言デ Cromwell トカ云フ掌帆長屬ト Small トカ云フ水兵トガ發頭人トシテ捕縛サレタ。兵員ノ氣質カラ云ツテ事態極メテ重大ナ事ガ明カデアツタノデ、艦長ハ士官全部ヲ召集シテ査問會議ヲ開カシメ、彼自身ハ候補生1名ト共ニ全責任ヲ以テ艦ノ保安ニ任ジタ。約1日半ノ間熟議シタ結果、士官達ハ被告等ハ「本艦ニ於テ最モ殘忍

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

非道ナル叛亂ヲ起サント固ク決意セル」罪明カナリ、又「兵員一般ノモノト如何ナル程度マデ彼等ガ關係シテヰルカニ就イテハ不確カデアリ、又1日或ハ1時間ノ後ニ突發的ニ事件ガ今後起ラヌトモ限ラズ、之ガ防止ノ不可能ナル事」等ニ鑑ミテ、「我々ハ彼等ヲ本國マデ連レ歸ル事ノ不可能ナル事及公共財產ト我等自身ノ生命及我等ノ監督下ニアル人達ノ生命ヲ保證スル爲ニハ、彼等ヲ死刑ニ處斷スル事ノ必要ナル事ヲ確信スルモノナリ。」ト云フ報告ヲ提出シタ。

艦長 Mackenzie モ此ノ意見ニ同意シ、12月1日上述ノ首魁3名ヲ桁端カラ吊シテ絞罪ニ處シタ。判決ガ云ヒ渡サレタ時、Spencer トSmall トハ有罪ヲ認メタガ、Cromwell ハ最後マデ身ニ覺エナシト主張シタ。此ノ死刑執行ハ兵員ノ上ニ非常ニ良イ結果ヲ齎シテ、彼等ハ直ニ前トハ全ク打ツテ變ツタ態度デ敏活ニ夫々任務ニ就クヤウニナツタ。

Somers 號ガ New York ニ到着スルヤ、此ノ處刑ガ報告サレテ、殊ニ Spencer ガ陸軍長官ノ息デアツタ爲ニ、未曾有ノ興奮ノ渦ヲ卷キ起シタ。Mackenzie ハ直ニ査問會議開會ヲ要求シタ。然シソノ決定ノ報告ヲ見ナイ內ニ、彼ハ急遽軍法會議ニ廻サレタ。兩法廷共ニ立派ニ無罪ヲ宣シタノデアルガ、Spencer ノ父ハソノ後長イ間 Mackenzie ヲ殺人罪デ民事裁判所ニ起訴シヤウト努力シタ。然シ遂ニ不成功ニ終ツタ。新聞ハ勿論此ノ事件ヲ大々的ニ報導シテ、當ノ Mackenzie ハ無論海軍ノ非ヲ鳴ラシタ。ソシテ Fennimore Cooper ノ如キ立派ナ著述家マデガ「パンフレット」ヲ發行シテ、軍法會議ノ證據

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ再檢討シ、ソシテ Commander Mackenzie ノ取ツタ處置ニ對シテ峻烈ナ比判ヲ與ヘタ。實際此ノ感情ガ一般ニ高マツテ、遂ニハ海軍士官ノ間デハ、此ノ Somers 號ノ叛亂事件ヲ口ニシナイ事ガ禮儀トナツテ了ツタ。

理論的ニ云ヘバ、死刑宣告ハ當時モ今日ト同樣、大統領ノ裁可ガナケレバ與ヘル事ハ出來ナカツタノデアル。然シ艦長トシテノ第一ノ義務ハ、ソノ艦ト部下ノ生命トヲ救フ事ニアル。當時ノ事情ヲ眞ニ理解スル爲ニハ、Somers 號ガ略今日ノ舟遊「ヨット」程度ノ大キサデアツタ事ヲ知ラネバナラナイ。即チ士官居住區域カラ甲板ニ通ズル口ハ僅ニ小サイモノデアツテ、叛亂者ガ甲板ヲ占領シテ、ソコニ上ツテ來ル士官ヲ1人宛次々ト殺シテ行クノハ容易ノ業デアツタラウ。實際3人ノ者ガ捕縛サレタ後、尙指揮者ガ1人デモ居テ決意シテ居タラ、兵員ガ一擧ニドツト押シ寄セテ、即坐ニ士官全部ヲ征服シテ居タデアラウ。更ニ場所ガ狹溢デアル爲ニ、捕縛シタ3人ヲ後甲板ニ留置シナケレバナラナカツタガ、ソコハ他ノ兵員達ニ見エル場所デアリ、從ツテ彼等ニソノ氣ガアレバ救助奪還ノ誘惑ガ絕エズアツタワケデアル。Somers 號ノ此ノ時ノ艦位ハ St. Thomas カラ 500 浬ノ地點デアツタノデアルカラ、New York ヘ向ツタトシテモ、何日歸着出來ルカ全ク見當ガツカナカツタノデアル。シカモ叛亂ハイツナンドキ火蓋ガ切ラレルカ分ラナカツタ。ソシテ最後ニ Spencer ノ死刑前ノ自白ニ依ツテ極惡ナ叛亂ノ計畫ガ現ニ進行中デアツタ事、ソノ爲ニ Commander Mackenzie 及士官達ノ懸念ガ急ニ臆病風ニ取ツ附カレタ事ニ起因シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タノデハナイ事ガ明カトナツタ。此ノ事件發生當時、Commodore Mackenzie ハ海軍軍人トシテ部内ニ於テ他ノ士官ト變ラナイ立派ナ名聲ヲ有シテヰタ人デアル。ソシテ非常ナ難局ニ際會シタノデアルガ、彼ハ他ニ施ス術ナク、唯一ノ適宜ノ處置ニ出タノデアルトイフ同僚士官達ノ意見ニ贊同シテ差支ナイ。

此ノ事件ハ當時考ヘラレテヰタヨリモ更ニ深イ意味ヲ持ツテ居タ。ソレハ當時盛ニ行ハレテ居タ一常習手段ノ弊害ヲ急ニ海軍士官ヤ、一般社會ガ注意スルヤウニナツタコトデアル。即チ陸上ニ於テ監獄ノ厄介ニナリサウナ罰當リノ青年ヲ皆海軍ヘ投リ込ンダ事デアル。Philip Spencer モ恐ラク此ノ型ノ最惡ノ標本デアツタノデアラウ。ソシテ彼ノ場合モ御多分ニ洩レズ、根强イ政治的威光ヲカサニ着タト云フ事實ニ依ツテ辷ヲカケタモノデアル。彼ハ大學カラノ札附デ、練習艦 North Carolina 號ヘ來タ。ソシテ間モナク惡戲ヲ仕出カシタ。ソコデ一番分隊長ノ Craney ガ之ヲ處罰セントシタ時、Philip ノ父ハ自已ノ政治的勢力ヲ用ヰテ氣ノ毒ニ此ノ士官ヲ迫害シタ。ソノ爲彼ハ遂ニ辭職シテ、ヤウヤク脫ガレル事ヲ得タノデアル。其ノ後 Spencer ハ John Adams 號乘組トナツテ暫時 Brazil 管區ニ巡航シタガ、「恥ヅベキ醜行」ノ故ヲ以テ辭職ヲ餘儀ナクサレタ。然シ父親ノ威光デ再ビ Somers 號乘組トナツタラシイ。實際 Spencer ハソノ死刑直前、Mackenzie ニ向ツテ叛亂ト海賊ヘ轉身トノ計畫ハ彼ガ初メテ海軍ニ入ツタソノ時カラズツト懷イテ居タト告白シテ居ル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

◎海軍兵學校ノ創立

ソレ迄陸軍士官學校ニ相當スル海軍ノ學校ヲトノ考ヘハ屢持チ出サレテ來テ居タノデアルガ、イツモ不結果ニ終ツタ。國會ハ當時現在以上ノ經費ヲ海軍ニ使ヒ度クナカツタ。ソレニ士官達ハ中デモ殊ニ年寄リ連中ハ、「船乘ヲ陸ノ上デ教育スル」トイフ考ヲ一笑ニ附シテ居タ。然シ上述ノ Spencer 事件ハ何等ノ訓練モ資格モ有シナイ不規律ナ無賴ノ青年ヲ海軍ニ採ル事ガ、如何ニ軍律ヲ亂ス結果トナルカヲ充分明カニ示シタモノデアル。更ニ軍艦ニ蒸汽力ヲ用フル事ハ、此ノ時ニハ既ニ實驗時代ヲ過ギテ必要ナリト認メラレテ居タ。ソノ結果、史家 George Bancroft ガ 1845 年 3 月海軍長官ノ就任ヲ受諾シタ時、已ニ海軍兵學校創立ノ決心ヲ抱イテ居タ。ソノ途上ニハ種々ノ障碍ガ横ハル事ヲ心得テ居タノデ、彼ハ萬全ノ策ヲ以テ仕事ニ着手シタ。彼ハ學校設立ノ發議ガ直接士官側カラ出サレタト見エルヤウニ巧ニ計ラツタ。彼ハ先ヅ年長士官カラナル審査委員會ニ對シテ、學校ノ最適敷地位置ニ關スル報告ヲ求メ、又同ジ問題ヲ少壯士官カラ成ル別ノ委員會ニ諮ツテ同樣彼等ノ贊意ヲ得タ。第一ノ委員會ニ依ツテ Annapolis ノ Fort Severn ガ最適ノ場所ナリトスル推薦ハ、第二ノ委員會ニヨツテ正式ニ贊成ヲ受ケ、斯クシテ全海軍ハ此ノ考ヘニ贊シタノデアル。

ソレカラ Bancroft ハ國會ガ費用ヲ出サナイト云フノヲ說キ伏セタ。先ヅ Fort Severn ヲ陸軍省カラ海軍省ヘ移管スル事、次ニ海軍

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

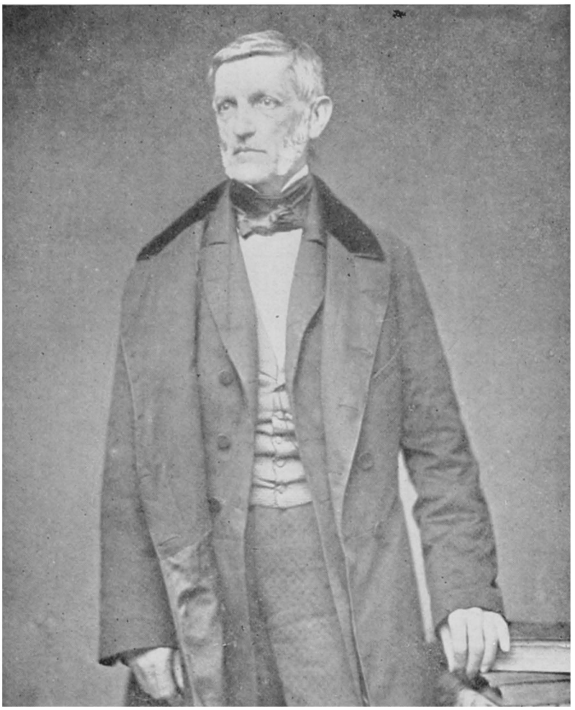
HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ「先生」ハ小數ヲ除イテ他ヲ全部待命トシ、ソノ俸給ニ當テラレタ金ヲ新設學校ニ必要ナ費用ニ用フル事ニシタ。

斯ウシタ手段ニ依ツテ彼ハ長官就任後數箇月ニシテ首尾ヨク海軍兵學校創設ヲ完成シタノデアル。是ヲ海軍人事方面ニ與ヘタ影響カラ見ルト、兵學校創設ハ 1812 年戰役ト南北戰爭トノ間ニ起ツタ最モ重大ナ事件ト見ル事ガ出來ヤウ。

海軍兵學校ハ 1845 年 10 月 10 日正式ニ 開校サレタ。當時ノ生徒數ハ 55 名、敎官 7 名デアツタ。Commander Franklin Buchanan ガ初代校長トナツタ。學校ハ設備竝ニ資金共ニ不充分デアツタ爲、不利ナ狀況ニアツテ、15 年ノ間苦難ヲ 重ネナガラ 經營サレテ來タ。南北戰爭トナツテ、初メテソノ存在ノ理由ガ立ツタ。即チ此ノ時第 1 學年生徒ヲ除イタ殆ド全部ノ生徒ハ直ニ艦隊ニ移サレタ。ソレハ士官ノ需用ガ急ヲ告ゲテヰタカラデアル。此ノ國家危急ノ場合ニ當ツテ、彼等青年士官ノ目覺マシイ活躍ニ依ツテ、人々ハ新シイ關心ヲ兵學校ニ對シテ持ツニ至ツタ。ソシテ戰爭終了ト同時ニ學校長トシテ任命サレタノハ、全米海軍第二位ニアツタ Porter 海軍中將デアツタ。米西戰爭ハ兵學校卒業生ニ依ツテ指導サレタ最初ノ戰爭デアツテ、此ノ爲ニ兵學校ハ國家ノ一機關トシテノ確乎タル地歩ヲ占メルニ至ツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



George Bancroft

HP『海軍砲術学校』公開史料

第14章　Mexico 戰爭　Perry ノ日本遠征

◎Mexico 戰　爭

Polk 大統領ガソノ統治早期ニ於テ（1845—49）、Oregon（之ハ北西部最端ノ廣汎ナ地ニ與ヘラレタ名デアル）ニ對スル統治權ヲ確立スル爲ニ英國ト條約締結ヲ接衝シナガラ、他方ニ於テ、又太平洋沿岸デ南方ヘ下ツタ領域ヲ何トカシテ得ンモノト考ヘテ居タ。ト云フノハ彼ハ此ノ時早クモ California ハ San Francisco ノ港ヲ擁シテ、將來非常ニ有望デアルソノ價値ヲ認メテ居タカラデアル。此ノ地ハ Mexico ノ領地デ未開ノ土地デアツタガ、之ヲ Polk 大統領ハ相當ノ値デ購入シ度イ希望デアツタ。處ガ Mexico ハ Texas ヲ合衆國ニ併合サレテ感情ヲ害シテ居リ、且國內ノ軋轢等アツテ不統一狀態ニ在ツタ爲、何ウシテモ之ヲ肯ンジナカツタ。然シ拒絕サレテモ一旦決意シタ大統領ハ、之ニ依ツテ失望ハシナカツタ。

1846年5月13日 Texas 關係ノ問題ガ緊迫シテ來テ、遂ニ國會ハ滿場一致 Mexico 及合衆國兩國間ニ戰爭狀態ノ存在ヲ認メタ。ソレヨリ1年近ク前、Commodore Sloat ハ太平洋艦隊ヲ指揮シテ萬一 Mexico ガ「飽クマデ戰爭ヲ決意セル」事ヲ明ニシタ場合ニハ、直ニ行動ヲ開始スルヤウ、內密ニ指令ヲ受ケテヰタ。彼ハ開戰ノ報ヲ得テ北上シ、1846年7月7日 Monterey ヲ占領シタ。ソレカラ2日シテ彼ノ命ヲ受ケテ Captain Montgomery ハ San Francisco ヲ占據シタ。ソシテ Commodore Sloat ト交替シテ指揮ヲ執ツテ居タ Stockton ガ、翌月

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Los Angeles ニ入ツタ時ニハ、我ガ國旗ガ California ノ各所目抜キノ場所ニ飜テ居タ。

極西部地方ニ於テモ亦戰鬪ガ陸軍ノ手ニ計畫サレテヰタ。Brigadier-General Kearny ハ7月早々太平洋沿岸ヘ向ケ進軍ヲ開始シテ居タ。ソシテ途中 Santa Fé ノ手前デ久シク停マツテ、自軍ヨリモ3倍ノ兵力ヲ有スル Mexico 軍ヲ追拂ヒ、同市ヲ占據シタ。California ノ東部國境ニ着クト、海軍側ガ大イニ彼ノ到着ヲ待望シテ居ルト云フ事ヲ聞イタノデ、彼ハ大部分ノ軍隊ヲ引キ返サセタ。然シ此ノ時既ニ Mexico 軍ハ Los Angeles ヲ奪還シテ居タ。Kearny ノ部隊ハ此ノ時龍騎兵ト乘馬銃隊トヲ合セテ僅カ110名トナツテ居タ。然シ Stockton 麾下ノ水兵及海兵ガ多數加ハツタノデ、兩人協同作戰ヲトリ、Kearny ハ San Diego カラ Los Angeles ヘ進軍シ、2日間ノ戰鬪ノ後 California ニ於ケル合衆國ノ主權ヲ永遠ニ確立シタ。ソノ他ノ戰鬪ハ Mexico ノ東部、即チ Mexico 灣側デ行ハレタ。

此ノ戰爭ノ初期ニ於ケル一般情勢ハ多クノ點ニ於テ半世紀ノ後、即チ合衆國ガ Mexico デナク、ソノ母國西班牙ヲ相手ニ戰ツテ居タ時ノ情勢ト相通ズル所ガアツタ。遠ク西部ニ戰ツタ Commodore Sloat 及 Commodore Stockton ハソレカラ半世紀後、米西戰爭ニ於テ極東ニ戰ツタ Admiral Dewey ノ如ク斷乎タル行動ニ出デ、敵ノ分遣隊ノ整備不充分ナルニ乘ジテ之ヲ襲撃シ、直ニ廣汎ナル土地ヲ占領シタ。從ツテ此ノ兩戰爭ニ於ケル海軍省ノ計畫ハ、主トシテ本國近クニ於ケル比較的緩慢ナ且、廣汎ニ亙ツタ作戰デアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

其レ故海軍擔當ノ主ナル任務ハ Mexico 灣側ニ於ケルソノ諸港、即チ北カラ南ヘ Tampico, Tuxpan, Vera Cruz, Alvarado 及 Frontera 等ヲ封鎖スル事デアツタ。ソノ後陸軍ノ計畫ガ變更サレテ、最初 General Taylor ガ Rio Grande カラ內陸部ヲ通ツテ長途ノ進軍ヲ爲ス事ニナツテ居タノガ General Scott ノ Vera Cruz カラ City of Mexico ヘ向フ短距離進軍ニ變ツタ爲ニ、海軍ノ協同作戰ガ必要トナツタ。即チ海軍ハ Vera Cruz ヘ軍隊ノ輸送ト同市ノ攻擊ヲ援助スル事ニナツタ。

此ノ任務ヲ負ツタ「本國艦隊」ハ、開戰當初 Commodore David Conner ノ指揮ノ下ニ置カレテアツタ。ソノ早期ニ於ケル仕事ニ成果ノ見ルベキモノガナカツタガ、ソレニハ二ノ理由ガアツタ。第一ノ理由ハ諸河ノ河口ニアル砂洲ヲ通過シ得ルヤウナ吃水ノ淺イ砲艦ヲ有シテ居ナカツタ爲、不利ナ狀態ニ在ツタ事、第二ノ理由ハ艦隊ノ司令官ガ多クノ優レタ才能ヲ有スル立派ナ人デハアツタガ、此ノ時要求サレテヰタ任務ノ遂行ニハ不適任デアツタ事。Captain W. H. Parker ハ司令官ニツイテ次ノ樣ニ述ベテ居ル。「余ハ暫時 Commodore Conner ノ下ニ副官ヲシタ事ガアルノデ、彼ヲヨク知ツテ居タ。彼ハ 1812 年戰役ニ勳功ヲ樹テタ。又 Penguine 號ヲ捕獲シタ時ハ Hornet 號ニ乘ツテ居テ、重傷ヲ負ツタ事モアル。敎育ハアリ勇敢ナ軍人デハアツタガ、戰爭中彼ハ常ニ部下ヲ危險ニ曝ス事ヲ餘リニ恐レテ居タ樣ニ思ヘタ。即チ彼ニハ道德的勇氣ガ缺ケテ居テ、指揮者トシテ責任ヲ飽クマデ自カラ負フトスル氣ヲ有シテ居ナカツタノデアル。ソノ爲彼ハ失敗

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シタノダ。」

Vera Cruz 沖ニ於ケル海軍作戦ハ自然他ノ場合ト比ベテ最モ大規模ノモノデアツタ。諸艦ハ陸軍ノ上陸ヲ掩護シ、極メテ巧妙ナル方法ニヨリ10,000ノ軍隊ヲ1日デ上陸セシメタ。ソレカラ海軍ハ艦カラ大砲ト砲員トヲ持チ出シテ砲列ヲ敷キ、Vera Cruz 攻撃ニ活躍シ大ニ功績ヲ擧ゲタ。

此ノ灣ニ於ケル作戦ニ端役デハアツタガ參加シタ士官ノ中ニ、Farragut ト Porter トガ居タ。彼等ハ後ニ名聲ヲ擧ゲル事ニナツタガ、此ノ時ハ未ダ無名ノ士デアツタ。兩名トモ戰爭勃發當時海軍省ニ從軍ヲ願出テ居タガ、Vera Cruz 附近ノ勤務ニハ十二分ノ資格ヲ有シテ居タニ拘ラズ、數箇月待命ノ狀態ニ置カレテ居タ。

Farragut ハ以前嘗テ Gulf (Mexican Gulf) ニ5箇年勤務シタ事ガアルシ、又 20 年近クモ前、佛軍ガ Vera Cruz ノ主要防禦陣地デアツタ San Juan de Ulloa ヲ占據シタ時、丁度米國軍艦 Erie 號ニ乘ツテソノ地ニ居タ關係上、Vera Cruz ヲヨク知ツテ居タ。彼ガ海軍省ヘ書ヲ送ツテ、開戰間モナク艦隊ハ此ノ城砦ヲ砲撃スルカ、或ハ夜間 escalade (城壁登攀) ニ依ツテ之ヲ襲撃スベキデアルト建言シタノハ、同市ニツイテノ自己ノ知識ヲ確信シテ居タカラデアル。Mexico 人ノ性格ヲ知ツテ居タノデ、彼ハ此ノ手段ハ何レモ成功スルモノト確信ヲ持ツテ居タ。ソレニ彼ハ海軍ニ名ヲナサセ度イト望ンデヰタノデアツタ。

彼ハ當時佛軍ノトツタ作戦カラ大ニ學ブトコロガアツタ事ニ就テ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

其ノ後次ノ様ニ述ベテ居ル。「余ハ同地攻撃ニ際シテ有利トナルベキ陣地ニツキ知リ度イト思ツテ非常ニ苦心シテ居タ。ソレデ、ソノ要塞附近ノ水深ヲ測リ、又佛艦カラ撃ツタ砲彈ノ穿徹狀況ヲ注意シテ見タリシタ。……カウシタカラトテ、當時余ハ何モ Mexico トノ戰爭ヲ豫期シテ居タ譯デハナク、唯余ハ常日頃物事ヲ觀察スルノニ、イツモ將來ノ萬一ニ備ヘテト考ヘテスル事ヲ、余ノ人生要諦ノ一トシテヰタノデアル。」彼ヲシテ遂ニ將旗ヲ飜ヘス事ヲ得シメタノハ、實ニ彼ノ此ノ用意周到ノ精神ノ賜物デアル。然シ Mexico 戰爭ニ於テハ、此ノ精神ヲ發揮スル機會ハ與ヘラレナカツタ。漸クニシテ一艦ノ指揮ニ任ゼラレタカト思ヘバ、Tuxpan 港ノ封鎖ヲ命ゼラレタ。其處ニ彼ハ 5 箇月半ト云フモノ何事モ起ラズ無爲ニ過シタ。彼ガ唯一ノ相手ノ敵ハ黃熱デアリ、而モソノ爲ニ スンデノ事ニ命ヲ取ラレルトコロデアツタ。

Porter モ亦 14 歲ノ少年ノ頃、彼ノ父ガ Mexico 海軍ノ司令長官ヲシテ居リ、共ニ暫時ノ間實ニ上述ノ問題ノ城 San Juan 城ニ住ンダ事サヘアツタノデ、Vera Cruz ノ樣子ニハ精シカツタ。然シ彼ノ現役志願ガ容レラレタノハ開戰後 10 箇月近クモ經ツテカラノ事デアツタ。ソノ間彼ハ海軍省ニ Farragut ノ建言ト多クノ類似點ヲ持ツタ建策ヲ行ツタ。其ハ火藥ヲ詰メタ數個ノ裝藥框ヲ Captain Taylor (Submarine Engineer) ノ手デ城ノ稜堡ノ下ニ置イテ、之ヲ爆發サセル仕組デアツタ。ソシテ Porter ハ 50 名ノ選拔隊員ヲ率ヰテソノ爆發ニ依ツテ崩レタ處カラ乘込ンデ、城ノ頂上ヲ占據シヤウト自カラ志

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

願シテヰタノデアル。之ハ異狀ナ計畫デ、遂行ニハ幾多ノ困難ヲ思ハセルモノデアツタガ、Porter ニハソレ丈ノ膽力モアリ、又 Mexico 人相手ノ戰爭ニハ奇襲ト大膽ナ所業トガ極メテ有効デアル事ヲ知ツテ居タ。然シ Porter ノ此ノ建策モ、Farragut ノ場合ト同樣、當局ノ本氣ニ取上ゲル所トハナラナカツタ。

然シ Porter ハソノ後 Vera Cruz ヘ遣ラレテ攻撃參加ニ間ニ合ヒ非常ニ滿足デアツタ。彼ハ「Mosquito Fleet (豆艦隊)」ノ一艦デ Captain Josiah Tattnall 指揮ノ Spitfire 號ニ一番分隊長トシテノ任務ヲトル事トナツタ。Commodore Conner ノ後ヲ襲ツテ司令官トナツタ Commodore M. C. Perry ハ、陸軍軍隊ノ上陸ガ終ルト、今度ハ敵軍ノ砲陣ノ位置ガ知リ度イト思ツタノデ、豆艦隊ニ命ジテ敵ノ砲火ヲ誘ハセタ。Porter ハ前夜一晩短艇ニ乘ツテ敵ノ砲臺下ヲ漕ギ廻リ、水深ノ測定ヲ行ツタ。ソコデ翌朝彼ハ水先案內トナツテ夫々2隻ノ砲艦ヲ曳航スル Spitfire 號ト Vixen 號ヲ案內シ、San Juan 及 Santiago 兩城ノ中間ニ進ミ出テ、之等ニ砲撃ヲ加ヘタ。スルト是ニ應ジテ兩城塞ノ巨砲ガ猛烈ナ砲撃ヲ開始シタ。若シ照準ガ正確デアツタナラバ、此等小艦艇ハ立チドコロニ海底ニ葬ラレテヰタカモ知レナカツタ。實彈榴彈ハ彼等ノ周圍ニ水音立テテ落チタ。然シ信ジラレナイヤウニ思ハレルカモ知レナイガ、殆ド何等損傷ヲ與ヘナカツタ。海陸兩軍共ニコノ樣子ヲ仰天息ヲコラシテ眺メタ。Commodore Perry ハ心配シテ退却ノ信號ヲ送ツタ。然シ Spitfire 艦長 Tattnall ハ Copenhagen ニ於ケル Nelson ノ有名ナ故實ニ倣ツテ、信號員ニ旗艦ナドニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

見向キモスルナト命ジテ置イテ、相變ラズ砲撃ヲ續ケタ。遂ニ Perry ハ參謀長 Mayor ヲ Spitfire 號ニ送ツテ、退却ノ嚴命ヲ傳達セシメタ。ソコデ Tattnall ハ澘々之ニ服從シタ。

戰爭ハ 1848 年 2 月 2 日ニ終リ、此ノ時締結シタ條約ニ依リ合衆國ハ Texas ハ勿論現在ノ California, New Mexico, Nevada, Arizona, Utah ノ諸州及 Wyoming ト Colorado ノ各一部ノ尨大ナ地域ヲ所有スルニ至ツタ。ソノ代リニ Mexico ヘ 15,000,000 弗ヲ與ヘ、又米國市民ガ Mexico ニ對シテ有シテヰタ 3,000,000 弗ニ達スル債權ノ支拂義務ヲ免除シタ。

我ガ海軍ノ將兵ガ數箇月ニ亙ツテ勇敢ニ大膽ニ秘術ヲ盡シテ戰ヒ續ケタノデハアルガ、然シ此ノ Mexico 戰爭ハ我ガ海軍ノ歷史ニ於テ重要ナル位置ヲ占メルモノト考ヘル事ハ出來ナイ。敵ハ我ガ海軍ニ對抗スル丈ノ海軍力ヲ有シテ居ナカツタノデアルカラ、此ノ戰爭ニ於テ遙ニ顯著ナ役割ヲ演ジタノハ陸軍デアツタ。然シ同時ニ海軍ハソノ勇敢ナル協同作戰ニ依ツテ陸軍ヲ援ケ、ソノ勝利ヲ幾度カ得サセテヰル。中デモ最モ顯著ナルモノガ Vera Cruz ノ戰デアツタ。ソシテ之ニ依ツテ海軍ハ大ニ認メラレタ。

◎Perry ノ日本遠征

合衆國ハ California ヲ獲テ、將來ソノ東洋トノ通商開始ノ道ガ開カレタ譯デアツタ。米國ノ商人ハ既ニソレニ手ハ着ケカケテ居テ、コノ數年間我ガ捕鯨船ガ日本近海ニマデ出カケテ廣ク活躍シテヰタ。合

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

衆國ハ日本トノ修好ヲ熱望シテ居タガ、ソレニハ三ノ理由ガアツタ。第一ニ我ガ國船舶保護ノタメデアツタ。時化等ニ遭ツタ場合、外國船舶ハ日本ノ港ニ避難スル事ハ許サレテ居ナカツタ。ソシテ日本海岸ニ難破シタ場合、乗組員ハ投獄サレタ。第二ニ亞細亞トノ通商ヲ容易ナラシムルタメデアツタ。日本ハ產業ガ盛ンデアリ且支那ヘノ交通途上ニアツテ、長航海ヲナス汽走船舶ニトツテ最重要ナル石炭ヲ藏シテ居タ。第三ニハ英國、佛國、蘭國及露國ガ長年日本ト通商ヲ開カウト何レモ苦心シテ成功ヲ見テ居ナカツタノデ、彼等ノ失敗シテ居ル所デ成功シ度イ爲デアツタ。

日本ヲシテ遂ニソノ門戸ヲ解放セシムルニ至ツタニハ幾ツカノ踏石ガアツタ。ソノ中第一ニ擧グベキハ Commodore Kearny ガ支那ニ於テ成功ヲ收メタ事デアツタ。我ガ國ハ支那トハ正式ニハ通商ヲ營ンデヰナカツタガ、1842 年 Commodore Kearny ガ Constellation 號及 Boston 號ノ兩艦ヲ率ヰテ Macao ニ着クト、英國ガ支那ト有利ナ條約ヲ締結シタト聞イテ、直ニ行動ヲ開始シタ。即チ彼ノ國皇太子ノ傅ノ一人デアリ兩江都督デアツタ耆英ニ對シテ、直接友好的ナ書狀ヲ送ツテ、合衆國市民モ「最恵國ノ商人ト同等ノ位置ニ置イテ貰ヒ度イ」ト賴ミ入レタ。更ニ之ヲ追求シテ恐レモナク廣東マデ船ヲ進メテ回答ヲ待ツタ。承諾ノ回答ガ來タガ、更ニ彼ハ合衆國ハ自國商人ガ阿片密輸デ捕ヘラレタ場合、之ヲ保護シナイ旨ノ證言ヲ與ヘタノデ、既ニ相手ガ懷イテヰタ好感情ヲ益良クシタ。斯クシテ先ニ英國ニ與ヘタト同樣ノ商業上ノ利益ヲ合衆國及他ノ諸國ヘモ與ヘル旨ノ聲明ガ數箇月ノ後

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ發セラレタガ、之ニ大ニ與ツテ力アツタノハ、此ノ Commodore Kearny デアツタ。

ソレカラ4年ノ後、Commodore Biddle ハ Columbus 號ト Vincennes 號ヲ率キテ江戸灣ニ入港シタ。ソレヨリ9年前ニ兵裝ノナイ Morrison 號ガ日本人デ難船シタモノヲ救助シ、之ヲ本國ニ届ケテ上陸セシメヤウトスルト、砲臺カラ砲撃サレタ事ガアツタガ、Biddle ハ之トハ異ツテ大ニ款待ヲ受ケタ。日本人ハ大ニ氣前ヲ見セテ彼ニ必需品ヲ供給シタガ、然シ上陸ハ1人モ許サウトハシナカツタ。ソシテ修好ヲ提唱シタニ對シテ、日本ハ「去ツテ又ト再ビ來ルナ」ト答ヘタ。1849年 Commander Glynn ハ Preble 號デ長崎ヲ訪レ、前年米國ノ船員數名ガ難破シテ投獄サレテヰタモノノ釋放ヲ强イタ。此ノ交渉中、彼ハ日本國民ガ最近ノ Mexico 戰爭ノコトヲ知ツテ居リ、米國ガ勝利ヲ博シタト云フ事ニ大ニ感動シテ居ル事ヲ知ツタ。ソコデ彼ハ歸國スルヤ、合衆國ガ軍事的示威ニ依ツテ日本ニ精神的影響ヲ與ヘルハ今ガ極メテ好適ノ時機デアル事ヲ報告シタ。ソコデ政府ハ一大遠征軍ノ組織ヲ認可シ、1852年4月24日之ガ指揮官トシテ Commodore Matthew Calbraith Perry ヲ任命シタ。

Perry ハ彼ノ艦隊ヲ編成スルノニ幾度モ思フニ任セズ非常ニ遲滯シタ。彼ニ約束サレテヰタ 12 隻ノ船ノ揃フノヲ待ツテヰタナラ、恐ラク日本ノ國ヲ永久ニ彼ハ見ナカツタカモ知レナイ。然シ待ツ間ノ數箇月ヲ全然爲ス事モナク過シタワケデハナカツタ。ソノ間ニ日本近海ノ海圖ヲ 30,000 弗出シテ和蘭カラ手ニ入、New York 及 London ノ書

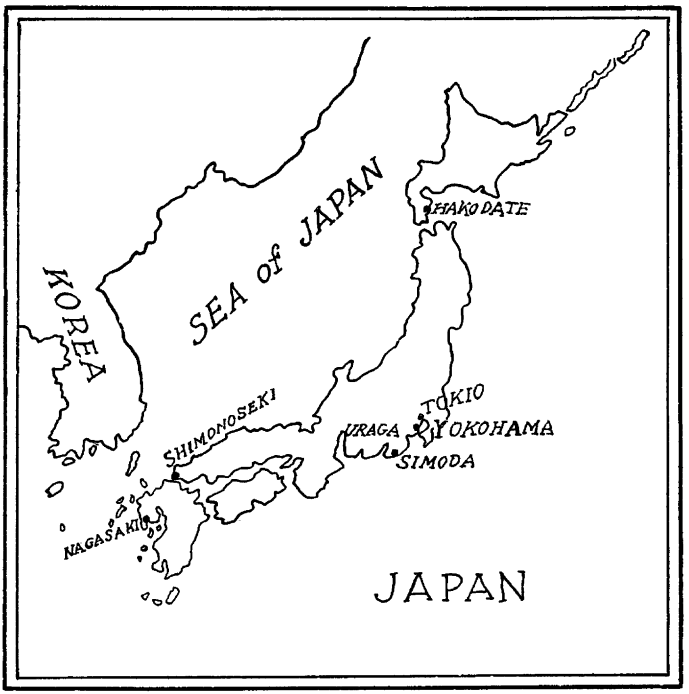
http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

物蒐集家ノ手ヲ經テ日本ニ關スル凡ユル貴重ナ文獻ヲ集メタ。斯ウシタ、或ハソノ他ノ方法デ以テ、Perry ハ入念ニ日本ノ歷史風俗習慣ヲ研究シタ。

Commodore Perry ハ 1852年11月24日 Norfolk ヲ出帆シタ。支那ニ着イテカラモ研究ト準備ヲ續ケタ。終ニ萬端ノ用意ガ成ツタ處デ、ソノ針路ヲ日本ノ心臟部ヘ向ケタ。1853年7月8日「フリゲート」艦 Susquehanna 號及 Mississippi 號ヲ率キ、之ニ「スループ」艦 Saratoga 號及 Plymouth 號ヲ曳航セシメテ、彼ハ靜々ト江戸灣ニ進ミ、首府江戸（東京）カラ 27 哩離レタ浦賀ノ沖合ニ錨ヲ降シタ。之ガ江戸灣ニ姿ヲ現ハシタ最初ノ蒸汽船デアツタ。風ヲ眞正面ニ受ケテ巨大ナ船ガ近ヅイテ來ルノヲ見テ、土地ノ人達ノ驚キハ非常ナモノデアツタ。多數ノ小船ガ哨兵線ヲ張ツテ、ヤガテ我ガ諸艦ヲ取リ圍ミ、奇妙ナ國人ガ錨鎖ニ攀マツテ乘艦シヤウトシタ。此ノ種ノ自由ノ振舞ヲ外國船ハ過去ニ於テ許シテ來テ居タガ、此ノ時ハ日本人ニ近寄ツテハナラナイ事ヲ强ク思ヒ知ラシメタ。Perry ハ排他的ナ國ニ來タ上ハ、彼等ニ劣ラヌ排他主義ヲ振リカザシテ差支ナカラウト決心シタ。ソシテ旗艦以外ニハ、一切日本人トハ通信ヲ禁ズル命令ヲ發シタ。浦賀副奉行ガ小船ニ乘ツテヤツテ來、ソシテ通譯ガ彼ノ地位ヲ述ベタ時デサヘ、何故奉行ガ來ナイデ彼ガ來タカ、ソノ理由ヲ說明スルマデハ待タサレタ。ソシテ舷梯ガ降サレテ、ソノ役人ガ船ニ上ツテ來タ時モ、Commodore Perry トノ會見ハ何ウシテモ許サレナカツタ。Perry ハ大統領派遣ノ大使トシテノ位故ニ、「帝國ノ參議官」（國務大臣）以

http://navgunschl.sakura.ne.jp/


SEA of JAPAN
KOREA
HAKODATE
SHIMONOSEKI
TOKIO
YOKOHAMA
URAGA
SIMODA
NAGASAKI
JAPAN

HP『海軍砲術学校』公開史料

外ノ者ニハ何人ニモ會フトハシナカツタ。ソコデ Lieutenant Contee ガ Perry ヲ代表シテ此ノ副奉行ニ會ヒ、米國カラ友好的使命ヲ帶ビテ來訪シタ事、又大統領カラ皇帝陛下ヘノ親書ヲ Commodore Perry 自カラ相當ノ儀禮ヲ以テ捧呈スル旨ヲ傳ヘタ。スルト是ニ對シテ折返シ、副奉行ハ「日本ノ法律ニ依リ外國トノ交渉ハ一切長崎ニ於テノミ之ヲ取リ行フノデアルカラ、米國艦隊ハ長崎ヘ赴クヲ要ス。」ト述ベタ。之ニ對シテ此方カラハ「Commodore ハ江戸ニ近イカラ故意ニ浦賀ヘ來タノデアル事、ソレデ長崎ヘ行ク謂ハナイ事、又國書ハ現在彼ガ居ル所デ相當ナ儀禮ヲ以ラ受ケ取ラルベキ事ヲ期待シ居ル事、ソシテ彼ノ意圖ハ飽クマデ友好的ナル事、然シ侮辱的待遇ハ決シテ許サザル事」ヲ此ノ役人ニ告ゲタ。

Perry ハ武力ハ最後ノ手段トシテノミ使用スル事ヲ決意シテヰタ。然シ萬一ノ場合ノ用意トシテ既ニ戰鬪準備ヲナシ、乘員ノ戰時訓練ヲ開始シテヰタ。此ノ時ハ全ク ドツチトモツカナイ不安定ナ時デアツタ。艦上ニ在ツテハ、ソノ夜ハ四圍全ク靜カデアツタガ、陸上ニ在ツテハ到ル處、丘ノ上ニハ篝火ガアカアカト燃エ、警鐘ガ打チ鳴ラサレテヰタ。是ハ日本人達ノ間ニ大キナ興奮ノ渦巻ガ急速ニ廣ガツテヰルノヲ示スモノデアツタ。

翌朝7時2隻ノ大型船ガ Susquehanna 號ニ橫附ケサレテ浦賀奉行ガ來訪シタ。再ビ Commodore Perry ハ排他的ニ出デ、自分ヨリ下位ノ役人トハ如何シテモ面會シヤウトシナカツタ。ソレデ代リニ Captain Buchanan 及 Captain Adams ノ兩名ヲ代理ニ立テテ彼ト會

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

談セシメタ。此ノ新シク來訪シタ會見者ノ口カラ出タ最初ノ提案ハ「長崎」デアツタ。之ハ再度強ク拒絶サレタ。代表ノ兩艦長ハ提督ハ「如何ナル事ガアツテモ此ノ地ニ於テ國書ヲ渡サウト云ツテ居ル。ソシテ若シ日本政府ガ然ルベキ人ヲ任命シテ皇帝陛下ヘ捧呈スベキ書類ヲ受取リニ來サセル事ヲ不適當ト認メルナラバ、彼提督ハ此等書類ヲ捧呈スルノガソノ使命デアルガ故ニ、如何ナル結果ガ發生シヤウト構ハズ、充分ナル兵力護衞ノ下ニ上陸シテ、自カラ捧呈セン。」ト述ベタ。奉行ハソコデ江戸ヘ請訓スル機會ガ欲シイガ、之ニハ4日カカルト云ツタ。提督ハ3日丈待ツ旨ヲ告ゲタ。艦ヲ去ル時奉行ハ明ケ方カラ忙ガシク灣ヤ港ヲ測量シテ居タ短艇ヲ見テ、一體何ヲシテ居ルノカト尋ネタノデ、ソレヲ告ゲルト、彼ハ斯様ナ調査ヲ許スノハ國法違反ダト云ツテ強硬ニ抗議シタ。スルト、ソレニ對シ即答シテ「米國ノ國法ハ之ヲ命ジテ居ル。ソシテ日本人ガ日本ノ國法ニ服從スル義務ガアル樣ニ、米國人ハ米國ノ國法ニ從フ義務ガアル。」ト云ツタ。

Perry ハ「彼ガ排他的ニナリ、又公言シタ意圖ヲ强情ニ主張スレバスル程、形式ト儀禮トヲ尊ブ日本國民ハ、益相手ニ尊敬ヲ與ヘル氣持ニナル事」ヲヨク心得テ居タ。ソコデ奉行ガ來訪シタソノ翌日、即チ日曜日 Perry ハ子供ノ時カラ安息日ヲ守ルヤウ躾ケラレテ育ツタ故ニ、數人ノ役人ガ非公式ニ訪ネテ來タノヲ乘艦セシメナカツタ。若シ彼等ニ英語ガ分ツテ居タラ、此ノ朝ノ禮拜ニ歌ハレタ Isaac Watts 作ノ讃美歌ノ一「アヤニカシコシヤ、我ガ神ノミイツ、萬ノ國民御前ニヒレ伏セ。」ナル文句ヲ聞イテ、精神的ニ大ニ高メラレタ事デアラウ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

容易ニ想像シ得ルヤウニ、浦賀奉行ガ江戸ヘ携ヘタ通信ハ地震ノ如キ影響ヲ與ヘタ。即チ日本國民ハ外人ニ對シテ抱イテ居タ偏見ヲ Perry ノ親善ノ意圖ニヨツテガラリト捨テル事ハ假令無カツタトシテモ、彼等ハ Perry ノ此ノ强硬ナ態度ト威力トニ大ニ困惑シタノデアツタ。彼等ハ拔カリナク若シ强硬ニ抵抗スレバ Perry ハ上陸シテ一刻デモ足ヲ踏ミ入レテ、此ノ神聖ナル國土ヲ汚スカモ知レナイト云フ事ヲ認識シタ。彼等ガ殊ニ之ヲ恐レタノハ、政府ハ當時既ニ不安定ノ狀態ニアリ、叛亂ガ今ヤ起ラン情勢ニアツタカラデアル。

此ノ國內的紛亂ニ就テハ Perry ハ何モ知ラナカツタ。ソレヨリモ彼ハ、奉行ガ約束ノ期日ニ回答ヲ携ヘテ歸ツテ來タ事ヲ喜ンダ。ソレニ依ルト、大統領ヨリノ親書ハ高位ノ役人ガ出向イテ相當ノ儀禮ヲ以テ受ケ取ルト云フノデアツタ。ソコデ殆ド時ヲ移サズ奉行ハ Buchanan, Adams 兩艦長ト時日、場所ハ無論、國書ノ正式受ケ渡シニ關スル委細ノ事マデ打チ合セニ取リカカツタ。

ソレカラ2日ノ後（7月14日）8時少シ前、Susquehanna 號及 Mississippi 號ハ灣ヲ下ツテ海岸近ク日本人ノ手ニ急造サレタ大キナ、ソシテ立派ニ裝飾サレタ應接所ノ方ヘ向ケテ進航シタ。Susquehanna 號ノ信號ニ依リ、300名ノ士官水兵海兵等ハ15隻ノ「ランチ」ヤ「カッター」ニ分乘シテ行列ヲ整ヘ堂々ト海岸目ガケテ進ンデ行ツタ。距離半バマデ至ルト、Susquehanna 號カラ 13 發ノ禮砲ガ轟キ始メ山々ニ木魂シタ。是ハソレマデ日本人ガ未ダ見ル恩典モ與ヘラレテ居ナカツタ大提督デ、大統領派遣ノ大使節ガ、今ヤソノ乘艇ニ歩ヲ移サント

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

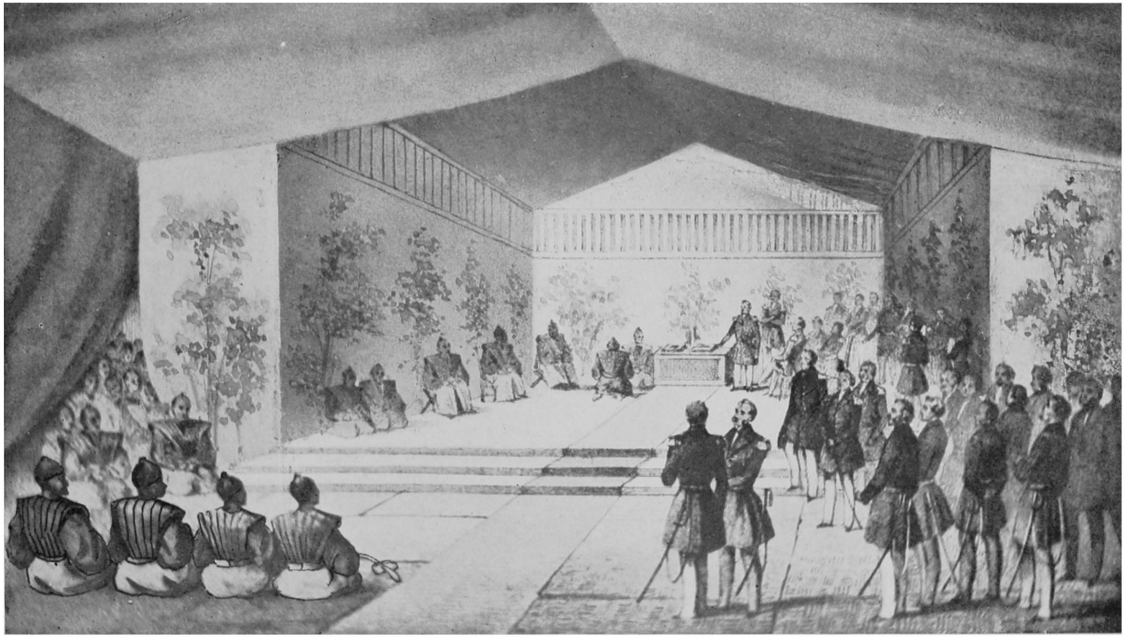
HP『海軍砲術学校』公開史料

シツツアツタ事ヲ知ラセルモノデアツタ。

『提督ガ到着スルヤ、供奉ノ士官達ハ上陸場2列ニ竝ビ、ソノ間ヲ提督ガ通リ過ギルト、ソノ背後ニ列ンダ。行列ガ整ツタ處デ發進シテ、應接所ヘ向ツタ。香山榮左衛門（浦賀奉行）ト其ノ通譯ガ先導シタ。行列ノ先頭ニハ海兵隊、之ニ水兵ノ1隊ガ從ツテ、提督ハ護衛ヲ受ケテ濱邊ヲ滯リナク進ンデ行ツタ。合衆國國旗ト司令旗ヲ選リ拔キノ逞マシイ體格ヲシタ2人ノ水兵ガ持ツテ進ミ、彼ノ信任狀ト國書トノ入ツタ二ノ箱ヲ眞紅ノ布ニ包ンダモノヲ持ツタ特別着飾ツタ少年ガ2名提督ノ前方ヲ行ツタ。此等ノ書類ハ最大判ノ大キサデ犢皮紙ノ上ニ書カレテアリ、ソシテ之ヲ折疊マズ青色ノ絹天鵞絨デ裝釘サレテアツタ。印璽ハ夫々金銀織リ交ゼノ紐ガツキ、ソノ端ニ金ノ總ガ垂レテキルモノヲ直徑6吋、深サ3吋ノ純金總造リノ圓函ニ入レテアツタ。書類ハ一ツ一ツソノ印璽ト共ニ長サ約1呎ノ紫檀ノ木造リノ箱ニ入レテアツタ。コノ箱ハ錠前ト蝶番ガ金製デ、ソノ他種々ノ飾リノ附イタモノデアツタ。提督ノ兩側ニハ長身ノ骨格逞マシイ一寸ノ隙モナク武裝シタ黑人ガ1人宛附イテ歩ミ、警護ノ役ヲ努メタ。』此等ノ黑人ハ艦隊カラ選リ拔イタ巨大ナ體格ノ者デ、ソレマデ黑人ヲ見タ事ノナイ日本人ノ注意ヲ非常ニ惹イタ。効果ヲ收メント入念ニ計畫サレタ此ノ豪勢華飾ノ行列ハ非常ニ成功デアツタ樣ニ思ヘル。

菫色ノ絹ト美シイ綿布ノ幕デ美シク飾ラレタ立派ナ應接所ニ Perry トソノ隨員ガ入ルト、左側ニ坐シタ2人ノ國守ハ立上リ禮ヲシテ再ビ席ニ着イタ。彼等ハ政府カラ任命サレテ書類受取リニ來テ居ルモノデ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



Delivery of the President's Letter

HP『海軍砲術学校』公開史料

アツタガ、ソノ威嚴振リハ驚クバカリデ、此ノ會見ノ間終始彼等ハ像ノ如ク端然ト儀式張リ、一言モ發セズ身動キ一ツシナイデ坐ツテ居タ。

儀式ハ僅カ半時間デ終ツタ。提督ガ着席後數分ノ間ハ水ヲ打ツタ様ニ靜カデアツタ。遂ニソノ靜肅ヲ破ツテ日本ノ通譯ガ米國ノ通譯ニ向ツテ問題ノ親書ハ渡サレルバカリトナツテ居ルノカト質問シ、ソシテ日本側ノ委員ハ之ヲ受ケ取ル用意ガアルト述ベタ。

『此ノ旨ガ提督ニ傳ヘラレルト、彼ハ一段低クナツテ居ル方ノ室ニ立ツテ居ル2名ノ少年ヲ招イタ。スルト彼等ハ大統領ノ親書竝ニ他ノ書類ノ入ツタ美シイ函ヲ持ツテ前ヘ進ミ出タ。2名ノ屈强ナ黑人ハ直グソノ後ニ跟イテ緋色ノ受ケ箱（之ハ日本側ノ手ニヨリ書類ヲ受ケル爲ニ準備サレタモノ）ニ進ミ寄リ、捧持者ノ手カラ篋ヲ受ケ取リ、之ヲ開イテ中カラ書類ヲ取リ出シ、ソシテ之ヲ擴ゲ、文面ト印璽ヲ現ハシテ日本側ノ箱ノ蓋ノ上ニ載セタ。以上ハ全ク無言ノ中ニ取リ行ハレタノデアツタ。』

ソレカラ提督ハ通譯ニ命ジテ彼ハ二、三日中ニ出發スル事、ソシテ再ビ翌年ノ春回答ヲ聞キニ日本ヘ歸ツテ來ル事ヲ日本側ニ通ゼシメタ。日本側カラ彼ニ翌年春再來ノ節ハ矢張リ4隻ノ船全部ヲ率キイ來ルカ否カヲ訊ネルト、彼ハ言下ニ「4隻共全部、或ハソレヨリ多クナルカモ知レナイ、此ノ4隻ハ艦隊ノ一部ニ過ギナイノダカラ。」ト答ヘタ。更ニ押ヘ付ケル様ナ沈默ガ續イテ、ソレカラ會見ノ始マタ時ト同様ノ儀式ノ辭儀ヲ幾度モ繰リ返シタ後、Perry ハ退場シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

江戸灣出港前、Susquehanna 號ハ浦賀奉行榮左衞門ノ再度ノ訪問ヲ受ケタ。彼ハ船内ヲ案内サレ、更ニ誘ハレテ機關ノ運轉スル處ヲ見タガ、非常ニ興味ヲ覺エタ。是ハ慥カニ米人ノ驚クベキ發明ノ才ニツイテ好印象ヲ與ヘタモノデアツタ。Perry ハ灣ヲ江戸カラ西ヘ 10 哩離レタ海岸ノ方マデ終始水深ヲ測量シナガラ航行シタガ、是ハ再ビ日本人ノ心ニ明カニ不安ヲ與ヘタ。ソレカラ引キ返シテ支那ヘ向ツタ。

香港ニ冬ヲ過シテ居ル間ニ、Perry 提督ハ附近ニ矢張碇泊中ノ佛國及露國ノ船ガ常ナラヌ行動ヲ見セルノデ、疑ヲ持チ始メタ。ソシテ彼等ハ密カニ江戸灣ヲ訪問シテ、彼ガ先ニ獲タ利益ヲ横取リニ及ボウト計畫シテ居ルノデハナイカト云フ懸念ヲ持ツタ。デ彼ハ佛露ニ先ヲ越サレマイト考ヘテ、此ノ近海ノ冬季航海ハ非常ニ危險ダト思ハレテキタノデアルガ、彼ハ 1854 年 1 月 14 日 日本ヘ向ケ出帆シタ。3 隻ノ汽走「フリゲート」艦ト 4 隻ノ「スループ」艦ヲ率キテ江戸灣ニ入リ、浦賀カラ更ニ 12 浬行ツタ處マデ進ミ、2 月 13 日江戸カラ 20 浬ノ地點ニ錨ヲ下シタ。

Perry ノ前回ノ日本訪問ノ後、間モナク 日本皇帝陛下ハ 崩御サレタ。日本政府ハ此ノ報知ヲ米國艦隊ガマダ香港碇泊中ニ送リ、ソシテ此ノ際同艦隊ノ日本再訪問ハ困亂ヲ來ス恐レガアルカラ之ガ延期ヲ懇請シテ來タ。Perry ハ此ノ報知ノ眞僞ヲ疑ツタ。少クトモ彼ハ新シイ友邦ノ不幸ヲ聞イテ日本國民ニ哀悼ノ意ヲ表ス爲ニ出向イテ行ツテイケナイ理由ガ解ラナカツタ。日本ニ着イテ見ルト歡迎ヲ受ケタ。然シ麾下ノ艦長等ト（Perry ハ依然排他的態度ヲ故意ニ續ケテキタ）種々

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

會談シタ日本ノ役人達ハ、米艦隊ノ應接ト大統領親書ニ對スル回答ノ準備トハ浦賀ニシテアルカラ、其處マデ引キ返ス様ニ賴ンダ。Perry ハ1回デ承諾ヲ與ヘルノハ危險ダト考ヘ、艦長ヲ通ジテ浦賀ハ船舶ニトツテ安全デナク、又不便デモアリ、且又首府デ應接スルノガ文明國民ノ慣例デアル旨ヲ返事シタ。役人ハシキリニ浦賀說ヲ主張スルシ、兩艦長ハ之ヲ拒否シ續ケテ無益ナ會談ニ數日ヲ徒費シタノデ、Perry ハ此ノ難問題ヲ特異ナ方法デ以テ解決シタ。即チ彼ハ何等ノ豫告モセズ江戸ノ見エル地點マデ艦隊ヲ進メタ。是デ以テ日本側ノ調子ガ直ニ協調的ニ變ツテ來テ、應接地トシテ横濱ヲ提案シテ來タ。之ハ艦隊錨地ノ殆ド眞向ヒデアツタノデ、直ニ此ノ提案ヲ受諾シタ。

交涉開始ノ日トシテ定メラレタ3月8日 Perry ハ 500 名ノ部下ト軍樂隊3隊ヲ引具シテ上陸、此ノ時特別ニ建テラレタ「條約館」ヘ向ツタ。交涉初期ニ於テ、日本ハ合衆國ト友好關係ヲ喜ンデ結ブ旨ヲ申述ベタガ、ソレ以上ハ何等許容シナイ決心ニ見エタ。其ノ後會談ハ3週間續イタ。提督ハ依然ソノ後モ既ニ威信ヲ克チ得タソノ根源ヲナス斷乎タル態度ト威嚴トヲ示シ、又兵員ノ紀律ヲ嚴ニシテ居タ爲ニ、日本側ハ米國側ニ對シテ段々認容ノ態度ヲ示スヤウニナツタ。

會談ヲ行ツテ居ル中ニ、Perry ハ最近糧食船ガ米本國カラ積ンデ來タ特ニ日本人ノ爲ニ工夫シタ種々ノ贈物ヲ日本ヘ贈ツタ。ソウシテ士官ヤ職工ヲ上陸セシメテ、贈物ノ展覽ヲ準備セシメタ。ソノ中ニハ種々ナ農具、時計、電信器械2臺、Trancis 式救命艇3隻及小型鐵道一式ガアツタ。小型鐵道ハ機關車、炭水車、客車、線路ト揃ツタモノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

デアツタガ、小サクテ6歳位ノ子供スラ之ニハ殆ド乗レナイ位デアツタ。「然シ日本人ハ何ウシテモ之ニ乗ルト云ツテ聞カナカツタ。ソシテ車ノ中ナドニハ幾ラ身體ヲ縮メタトコロデ入レルワケハナイノデ、仕方ナク屋根ニ乗ツタ。嚴メシイ役人ガ時速 20 哩デ、アノユルイ日本着物ヲ風ニハラハラ吹カセ乍ラ……屋根ノ端ニ懸命ニシガミツイテ面白サウニ齒ヲムキ出シテ圓形ノ線路ノ上ヲ廻ツテ居ル光景ハ、トテモ可笑シナモノデアツタ。」此等贈物ニ對スル返禮ニ日本ハ漆器類、紬、傘、人形、其ノ他種々ナ物ヲ澤山、又米 200 俵ト鷄 300 羽等ヲ呉レタ。此ノ樣ニ何等敵意ノナイ事ガ實證サレテカラハ、彼等ハ恐ロシク肥ツタ筋肉逞マシイ角力取リノ試合ヲ見セ等シテ、遠來ノ客ヲ大ニ歡待シタ。其ノ後米國側デハ Powhatan 艦上ニ 70 名ノ日本人ヲ招待シタ。料理人ハ此ノ時トバカリ腕ニヨリヲカケ、庖丁ヲ揮ツテ山海ノ珍味ヲ食卓ニ上セタ。日本人ハ之ヲ食スルノニ餘リ順序ニハ構ハナイ爲ニ、ソノ樣子ヲ描イテ最モ「雜然ト魚肉、牛肉ト鷄肉、「スープ」ト「シロツプ」、果物ト「フリカセー」、焙ツタモノアリ、煮タモノアリ、ソノ他鹽漬ヤ砂糖漬等ガゴツタ返シテ置カレテアツタ。」トアル。之ヲ悉ク日本人ハ平ゲテ了ヒ、ソシテ「フンダンニ出サレタ Champagne, Madeira 及 Punch 等ヲ旨サウニ大ニ飮ンデソレニ醉拂ラヒ、大騷ギヲ演ジタ。」

1854年3月31日金曜日 Perry 提督及4名ノ日本委員ハ英語、和蘭語及支那語デ書カレタ條約ニ署名シタ。之ニヨツテ今後米人デ難破シタ者ガアツタ場合ニハ、之ヲ救助シ保護ヲ與ヘル事、遭難船ハ日本

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ何レノ港ニ避難入港スルモ之ヲ許ス事、下田及函館ヲ開港シテ米國人ガ水、木材、石炭、及糧食ヲ手ニ入レラレルヤウニシ、又多少ノ制限ハ置イテモ貿易ヲ爲シ得ルヤウニスル事等ガ保證サレタ。

其ノ後 1857 年及 1858 年ノ兩條約ニ依リ更ニ特典ガ附ケ加ヘラレタ。英國モ Perry ヨリ 6 箇月遲レテ 1854 年 9 月米國ニ早速倣ツテ貿易權ヲ得タ。ソシテ露國及和蘭ハソレカラ僅カ二、三箇月遲レタ丈デアツタ。從ツテ若シ Perry ノ遠征ガ我ガ自國丈ノ商益ノ爲ニ計畫サレテキタナラ、失望ニ遭遇シテ居タカモ知レナイ。然シ Perry ハ天晴外交官トシテモソノ腕ヲ大ニ揮ヒ威信ヲ築キ上ゲ、又日本ヲシテ鎖國主義ヲ捨テシメテ、大ニ我ガ國ノ名譽ヲ高メタ事ハ充分ナル償ヒトナツタノデアル。

是ニ優ルトモ劣ラナイ位ノ手腕ト忍耐トヲ必要トスル同ジ樣ナ業績ガ、而モ同樣ニ米國海軍士官ニ依ツテ爲サレテキル。ソレハ Commodore Robert W. Shufeldt ノ韓國ノ開國デアル。其ノ前ニ Rear-Admiral John Rodgers ガ計畫シタガ、之ハ開戰トナツテ韓人 350 ノ死傷者ヲ出シタ。ソレデモ韓國政府ハ何等ノ會談ヲ行フトハシナカツタ。Shufeldt ハ 4 年ノ間努力シテ最初ハ日本ヲ通ジ、次ニハモツト

〔註〕 Perry 遠征ノ際持チ歸ツタ興味アル記念品ガ米國海軍兵學校ニ保存サレテアル。ソレハ古代ノ銅鐘デ、1168 年ノ鑄造ト云ハレテ居ル。日本ノ屬領琉球諸島ノ一島那覇ノ執權カラ Perry ニ贈ツタモノデ、外側ニハ華麗ナ文句ガ幾ツモ印刻サレテアツテ、ソノ一ニ若シ國民ガ正シク眞實ニ振舞フヤウ心掛ケ、ソシテ大名モ大臣モ一體トナツテ正義ヲ行ヘバ、蠻人ハ決シテ彼等ノ國ヲ侵スコトハナイデアラウトアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

友好關係ニアツタ支那ヲ通ジデ韓國王ニ接近ヲ計ツタ。遂ニ北京ニ於ケル支那要人等ハ若シ韓國ガ西洋諸國ト條約關係ヲ結ンダナラバ、ソノ結果自國ニモ利益ガ及ブ事ヲ確信シタノデ、之ニ援助ヲ與ヘタ。ソノ結果長年望ンデヰタ條約ガ遂ニ成立シ、入念ナ儀式ヲ經テ調印サレタ（1882年）。ソレハ最初支那ヤ日本ト締結シタモノヨリモ遙カニ廣汎ナ條約デアツタ。英國、獨乙及其ノ他ノ諸國ハ之ヲ眺メテ居タ形デアツタガ、間モナク積極的ニ出テ、同樣ノ條約ヲ結ンダ。ソノ都度米國ノ草案ガ手本トナツタ。

HP『海軍砲術学校』公開史料

第15章　南北戰爭（第1年）

先ニ英國トノ戰爭ニ存在シタ或ル狀況ハ、南北戰爭ニ於テハ逆トナツタ。即チ英國トノ場合ニハ米國海軍ハ劣勢デアツタノガ、南北戰爭ノ場合ニ於テハ斷然優勢デアツタ。然シ海軍ノ双肩ニ掛ツテ來タ種々ナ任務ハ危險ト困難トニ滿チタモノデアツタ。ソシテ屢極度ノ忍耐ノ試練ヲ伴ツタ。

南方海軍ハ小數ノ單艦戰鬪ニ於テ勇敢ニシテ天晴見事ナ奮戰振ヲ示シ、且獨創的ナ甲鐵艦ヲ造ツテ木造艦隊ヲ全滅セントシタバカリデナク、其ノ上北方海軍ハ亦河港ヲ防護スル强固ナ要塞ヲ向フニ戰ハネバナラナカツタ。又延々 3,000 哩モアル海岸線ヲ封鎖シナケレバナラナカツタノデアル。而モ陸軍ト協同シテ Mississippi 河トソノ支流流域ニ廣範ナ水路系統ヲ開ク任務ガ課セラレテアツタ。

◎海　軍　ノ　不　備

斯ウシタ點ニ於テハ、何レノ海軍ニシテモ困難ハアツタ。而モソレガ開戰當時ニ於ケル北方海軍ハ慘メナ狀態ニアツタ爲ニ、餘計ニ困難ハ大キカツタ。1861 年 3 月 4 日 Lincoln ガ大統領ニ就任シタ時、就役艦ハ給糧船及附屬船ヲ合セテ 42 隻アツタ。其ノ中汽走ノモノデ實力アリト云ヒ得ルモノハ、僅カ 23 隻ニ過ギナカツタ。當日ハ本國艦隊ヲ構成スル 12 隻ノ中、僅カ 4 隻ノモノガ北部聯邦ノ港ニ使用不能ノ狀態デ在泊シテヰルノミデアツタ。他ノ艦隊ハ地中海、太平洋、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

「ブラジル」沖、東印度諸島及阿弗利加ニ在ツタ。命令ノ傳達ト歸航トニ要スル時間ヲ考ヘルト、此等諸艦隊ヲ使用シ得ルニ至ルマデニハ數箇月ヲ要シタ。開戰ズツト前カラ頻ニ戰雲ガ動イテ居ルノガ見エテヰタノデアル。ソレニ愈危機到來トナツテ、何故ニ海軍ハ斯クモ全ク不備ノ狀態ニアツタノカ。

第一ニ Buchanan 大統領（1857—1861）ハソノ四圍ノ狀況ノ犧牲トナツタ事デアル。彼ノ援助者タルベキ閣僚ノ中3人ハ如何ニ控ヘ目ニ云ツテ見テモ、北部聯邦ニ對スル忠順ノ情ガ微溫的デアリ、ソシテ今1人海軍長官 Toucey 氏ハ Connecticut 出身ニモ拘ラズ、南方ニ對シテ非常ニ强イ同情ヲ抱イテ居テ、始メ頃ハ上院ニ再選サレナカツタ程デアツタ。第二ニハ國會ガ內閣ト全ク同樣ニ冷淡デアリ、盲目デアツタタメニ、海軍ハ紊亂ノ狀態ニアツタ。1857 年以來ノ廣汎ナ財政的疲弊ノ爲ニ國家ノ收入ガ減ジ、ソノタメ國會ハ節約ヲ行ハントシテ海軍ノ活動力ヲ大ニ弱メテ居タ。

軍艦ノ建造ハ無論ソノ修理ニ對シテマデ反對ガ南部バカリデナク、北部ノ方カラモ起ツタ。Ohio 及 Illinois 選出ノ議員ハ率先シテ海軍竝ニ海軍豫算案ヲ攻擊シタ。國會全體ガ冷淡デアツタ。今カラ見レバ不思議ニ思ヘルカモ知レナイガ、開戰數箇月前デモ北方議員ハ此ノ大戰爭ガ近ヅイテ居ルノニ對シテ、餘リ危惧ヲ抱イテ居ナカツタノデアル。國會外ニ在ツテハ、James Russell Lowell ノ如キ明敏ナ具眼ノ士デサヘ、Lincoln ノ大統領選擧ノ間際ニ於テ、南北分離ノ凶兆ヲ輕視シテ筆ヲ執ツテ居ル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Lincoln ガ大統領ニ選擧サレ南北分離ガ遂行サレタ時、Buchanan 大統領ハ依然拱手傍觀ノ態デアツタ。斯様ニ大事ニ直面シテ何等ノ對應策ガ爲サレナカツタ當時ノ事態ニ關シテ、Admiral Chadwick ハ巧ニ述ベテ曰ク、「政府ハ擧ゲテ非道イ無氣力狀態ニ在ツタ。僅カニ陸軍ト云フ中心ガアルバカリデアツタ。海軍ハ瀕死ノ狀態ニ在ツタ。海上ニハ 70 歳ノ艦長ガ指揮ヲ執リ、Norfolk ノ海軍工廠長ハ 68 歳、Pensacola ノ司令官ハ、67 歳ノ夫々老人デアツタ。陸軍ノ總司令官ハ 74 歳デアツタ。政府ニハ何等ノ確信モナク、定見モナカツタ。共和黨新聞ノ中デモ、指導的立場ニアリ、北部聯邦ニ一勢力ヲ有シテ居タ New York Tribune 紙ハ、「若シ南部諸州ニシテ北部聯邦ト分離スル方良シト確信スルニ於テハ、吾人ハ分離スルヲ許シテソノ平安ヲ祈ル事ヲ主張スルモノデアル」ト發表シテ居タ。ソシテ又「ソノ過半ハ優勢ナル民族デアル 5 百萬ノ國民ハ、ソノ中少クトモ 50 萬ハ能ク銃ヲ執ツテ進ンデ戰ハントスルモノデアルガ、彼等ハ自家ノ爐石ヲ守ツテ戰フ限リ、決シテ屈服スル事ハナイデアラウ。」トモ述ベテ居タガ、之等ノ記事ハ南部聯邦全面ニ強大ナル惡影響ヲ及ボシタモノデアツタ。南部聯邦ハ決シテ屈服ハサレマイト云フ意見ハ、北方ニ於テモ到ル處デ口ニサレ、又歐洲ニ於テモ一般ニ信ゼラレテヰタ。

◎初期ニ於ケル作戰計畫

1861 年 4 月 12 日 Sumter 要塞ノ砲擊ニ戰爭ハ開始サレタ。ソシテ手腕家ノ新海軍長官 Gideon Wells ハ強硬政策ニ出タ。彼ニハ次官デ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

Gustavus V. Fox ト云フ有能ナル右腕ガアツタ。Fox 氏ハ海軍ニ 18 年間ノ經驗ガアリ、1856 年大尉ニナルト、ソノ年ニ辭職シテ實業界ニ入ツタ人デアツタ。彼ノ受ケタ海軍教育トソシテ稀有ノ才幹カラ見テ、彼ハ實ニ適任者デアツタ。次官ノ職ハ新シイ役デアツテ、海軍省内ノ種々ノ局ヲ統一シテ行クニ必要ガ感ゼラレテ出來タモノデアツタ。Fox ハ相談役專門デ作戰ノ計畫、指揮官ノ選擇及老朽無能ノ士官淘汰等ニ最大ノ責任ヲ課セラレテ居タ。最後ノ事項ハ開戰當時海軍ノ最モ大キナ弱點デアツタ。Lincoln ノ閣僚ノ 1 人ハ Fox ヲ「政府内ノ切レ者」ト評シタ。

海軍省ハ早ク海軍大軍備ノ計畫ヲ立テタ。前國會ガ決裁シタ海軍歲費約 13,000,000 弗ハ 43,500,000 弗ニ增加サレタ。Wells 氏ガソノ 1861 年 12 月ノ報告ニ概略述ベテ居ル樣ニ、3 通リノ作戰ガ決定サレテ居タ。即チ 1. 海軍ニヨル Potomac 河占領及南部聯邦ノ諸港封鎖、2. 南部聯邦海岸及 Mississippi 流域ニ於ケル諸地點攻擊ノ陸海聯合遠征軍ノ編成、3. 南部聯邦ノ巡洋艦及私掠船ノ積極的追擊トイフノデアツタ。

北部聯邦ノ海軍工廠ハ何レモ戰前數年間ハ仕事ヲ殆ド中止ノ狀態デアツタノガ、大活動ヲ開始シテ來タ。Sumter 砲擊後數箇月ヲ出デズシテ、北方デハ 11,000 名ノ人ガ艤裝ヲ取リ除イテアツタ古船ノ再艤裝ニ、又外國領海カラ歸ツテ來ル船ノ修復ニ、又各種必要ナル任務ニ特ニ適スル新艦ノ建造ニ夫々從事シテ居タ。是ト同事ニ又海軍省ハ凡ユル手段ヲ盡シテ商船ヲ買收シテ、之ヲ改造シテキタ。

HP『海軍砲術学校』公開史料

新シク加ヘラレタ艦ニハ配員ガ必要デアツタガ、其ノ年ノ暮マデニハ兵員 7,600 カラ 22,000 ニ増加シテヰタ。他方戰前ノ海軍ニ於ケル士官全部ノ 1/5 (全階級及部隊ヲ含メルナラバ 322 名) ハ分離諸州ニ合シテヰタ。此ノ危急ニ應ジテ兵學校ノ上級生徒ハ現役ニ充テラレタ。ソシテ進級モ非常ニ早ク行ハレ、候補生ノ中ニハ 19 歳ニモ達シナイ内ニ大尉トナツタモノガ多數アツタ。志願士官モ亦要求サレタ。ソシテ戰爭中ニ 7,500 名ノ志願士官ガ任命サレタ。

Lincoln 大統領ハ 4 月 19 日及 27 日ニ南部諸州ノ全海岸ヲ封鎖スル意圖ヲ公式ニ宣言シタ。然シ 1856 年 Paris 宣言ニ於テ規定サレタ國際法ニ從フト、「封鎖ガ充分認メラレル爲ニハ實効的デナケレバナラナイ、即チ實際ニ敵國海岸ニ中立國船舶ノ接近ヲ阻止スルニ充分ナ兵力ニ依ツテ維持サレネバナラナイ。」ノデアル。Virginia 州ノ Alexandria カラ Rio Grande 迄 3,549 浬、ソノ間 189 ノ港或ハ河口ヲ有スル海岸線ヲ一度ニ封鎖スル事ハ、北方海軍ヲ以テシテハ不可能ナ仕事ナル事ガ判明シタ。1 箇月カカツテモ數箇月カカツテモ出來ナイ事デアツタ。然シ宣言發表後手始メニ Hampton Roads ノ封鎖ガ行ハレタ。ソシテ買收ヤ建造ニヨツテ船ガ次々ニ艤裝サレルト、此ノ長イ海岸線ノ各所ニ配置サレタ。

◎Potomac 艇　隊

Washington ハ首府デアル事ト南部聯邦線ニ近イトイフ爲ニ、作戰ノ重要中心地點トナツタ。ソシテ最モ近接シテ居タ Maryland 州ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

開戰當時北部ヘノ忠順ガ不確定デ動搖シテ居タ時分ハ、北部ハ非常ナル不安ニ心ヲ痛メタ。Baltimore 市民ハ北軍軍隊ノ市中通過ヲ阻止セントシタ。而モ此等ノ軍隊ハ國都ノ防衞ニハ不可缺ノモノデアツタ事ガ分ツテ居タノデアル。斯ク種々ナル理由ヲ以テ北軍ハ Potomac 河ヲ掌握シテ、Washington ノ水路連絡ヲ維持スル事ガ極メテ重要デアツタ。

此ノ任務遂行ノタメ Commander J. H. Ward ハ 1861 年 5 月小艇隊ヲ組織シタ。南軍ハ Potomac 河カラ既ニ浮標ヲ大抵取リ除キ、兵及軍需品ハ頻リニ Maryland カラ Virginia ヘ渡シデ以テ持運バレテ居タ。同時ニ又彼等ハ Aquia Creek 近クノ高地ニ要塞ヲ築造シ始メテ居タ。Ward ハ之ヲ 5 月 31 日及 6 月 1 日ニ砲撃シタガ、大シタ効果ハ收メナカツタ。之ガ南北戰爭ニ於ケル最初ノ海戰デアツタ。

此ノ艇隊ハ大ニ活躍シ又功績モアゲタガ、ソノ任務ハ時ノ經過ト共ニ益困難トナツタ。再ビ元ニ置カレタ浮標ガ又取リ除カレタ。燈臺守達ハ脅迫サレテ燈火ヲ消シタ。又渡河ニ便利ナ地點ガ非常ニ多カツタノデ、Virginia ヘ入ツテ行ク兵ト物資ノ一部ナラマダシモ、ソレ以上ヲ阻止スル事ハ不可能デアツタ。遂ニ南軍ハ Norfolk ノ海軍工廠ヲ占據シテ巨砲ヲ手ニ入レタノデ、河ノ沿岸彼方此方ニ強力ナ要塞ヲ構築シタ。ソノ爲ニ艇隊ノ防備不完全ナ外輪船ハ之ニ對抗シ得ベクモナカツタ。10 月 15 日 Commander T. T. Craven ハ同艇隊ハ最善ノ努力ヲ爲シタルニモ拘ラズ、同河ノ航行ハ殆ド途絶シテ了ツタト報告スルノ止ムナキニ至ツタ。然シ翌年ノ春ニハ Potomac ニ於ケル陸軍

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ Richmond 攻撃ノ作戦ニ依ツテ南軍ハソノ戦線ヲ縮小シ、Potomac 河沿岸ノ要塞ヲ放棄シナケレバナラナカツタ。

◎Hatteras Inlet ニ於ケル砲臺ノ占領

海軍省ノ見タトコロデハ、戦争續行及封鎖維持ノ爲ニハ、何ウシテモ南大西洋沿岸ニヨク起ル大暴風ニ對スル避難ニ便利ナ海軍根據地竝ニ港ガ必要デアツタ。ソコデ海軍カラハ Captain Samuel F. Du Pont ト Commander Charles H. Davis ノ2名、沿岸測量部ノ Major John G. Barnard ガ之ニ加ハツテ委員會ガ任命セラレ、「海岸及灣港トソノ攻防狀況ヲ徹底的ニ調査シ」即時行動ノ計畫ヲ建言スル事ニナツタ。ソノ結果、海陸聯合ノ遠征部隊ガ 1861 年ノ晩夏及秋ノ2回ニ組織サレタ。

第1回ハ Hatteras Inlet ヲ目標トスルモノデアツタ。此ノ地ハ Pamlico Sound ヘ通ズル重要地點デアリ、又南軍ハ此處ニ Clark 及 Hatteras ノ二ノ要塞ヲ構築シテ居タ。8月 26 日 Flag-Officr Silas H. Stringham 指揮ノ 14 隻ノ軍艦ハ、Major-General Benjamin F. Butler ノ率キル 860 ノ兵ト共ニ一遠征部隊ヲ編成シテ Hampton Roads ヲ出港シタ。要塞カラノ抵抗ハ案外微弱ナモノデアツタ。2日ニ亘ル砲撃ノ結果、南軍ハ降伏シ、捕虜ハ將兵共ニ 615 名ヲ數ヘ、南方海軍ノ司令官 Samuel Barron モソノ1人デアツタ。此ノ人ハ以前 50 年近クモ米國海軍ニ奉職シテ來タ人デアツタ。北方海軍ニ於テハ1名ノ死者モ出サズニ濟ンダノデアルガ、是ハ砲臺近クニ在ツタ時

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Stringham ノ艦隊操縦ガ巧ミデアツタ事ニ半バ起因シタモノデアル。即チ彼ハ要塞ノ前面ヲ往復通過スルニ、ソノ都度進路ヲ變更シテ敵ノ測距ヲ惑亂セシメタノデアツタ。

◎Port Royal ノ 略 取

第二ノ攻撃地點トシテ海軍省ハ South Carolina 州ノ Port Royal ヲ選ンダ。ソシテ最近南大西洋封鎖艦隊ノ司令官トナツタバカリノ Captain Samuel F. Du Pont ヲ此ノ遠征部隊ノ指揮官ニ任命シタ。Port Royal ハ陸路 Savannah カラ 30 哩、Charleston カラ 50 哩ノ所ニ在リ、餘リ注意ハサレテ居ナカツタガ、南部諸州ノ海岸ニ於テハ最良ノ自然港デアツタ。

10 月 29 日 50 隻ヨリ成ル艦隊 (Brigadier-General Thomas W. Sherman 指揮ノ約 13,000 ノ兵ヲ運ブ陸軍輸送船ヲモ含メテ) ハ Hampton Roads ヲ出タ。其ノ目的地ヲ秘密ニセント大ニ苦心シタケレドモ駄目デアツタ。當ノ艦隊ノ大部分ノ士官ヨリモ早ク南軍ノ方ガ此ノ計畫ヲ聞キ知ツタ位デアツタ。

出發當時晴天ヲ豫想サレテヰタ天候ハ、Hatteras 沖通過ノ頃ニ强風ニ變リ、一時ハ颶風トマデナツタ。艦隊ハ全ク四散シ、11 月 2 日 Wabash 號ノ甲板カラ見エタノハ唯 1 隻ノミデアツタ。餘リノ必要ニ迫ラレテ買收シタリ、或ハ雇ツタリシタ船ノ中ニハ、斯様ナ强風激浪ニハ全ク堪ヘ得ヌモノモアツタ。斯クシテ 2 隻ヲ失ヒ、——乘員ハ漸クノ事デ救助ハシタガ、——ソシテ今 1 隻ハ浸水沈沒ヲ避ケル爲ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

大砲ヲ海ニ投入シナケレバナラナカツタ。然シ強風ノ猛威モ減ズルニ從ツテ前途ハ明ルクナリ、4日ノ朝 Du Pont ハ麾下24隻ノ艦ヲ率キテ Port Royal ノ門洲ノ沖合ニ投錨シタ。ソシテ殘餘ノ艦モ此ノ時水平線上ニ姿ヲ見セテ居タ。

Port Royal ノ前面ニアル長イ砂洲ヲ通過スル水路ヲ示ス浮標ハ取リ除カレテアツタ。然シ艦隊參謀長 Commander Davis 及沿岸測量部 Boutelle 氏ノ手ニ依ツテ再ビ浮標ハ置カレタ。ソノ爲砲艦ト輕輸送船ハソノ夕方碇泊所ニ入ルヲ得タ。Du Pontハ旗艦 Wabash 號ガ此ノ砂洲ヲ越ストナルト、ソノ吃水ガ深イ爲ニ海底カラ餘ス處僅カ 1, 2 呎ニ過ギナイノデ、非常ニ心配シタ。然シ翌朝之ヲ試ミテ成功シタ。ソレカラ直グ「フリゲート」艦 Susquehanna 及大型輸送船モ其ノ後ニ續イタ。

Port Royal ノ入口ニハ二ノ强固ナ砲臺ガアツテ、之ヲ守護シテ居タ。兩砲臺ノ相互ノ距離ハ2哩 5/8 デ Beauregard 砲臺ハ北側ノ Bay Point ニアツテ砲20門ヲ据エ、Walker 砲臺ハ南側ノ Hilton Head ニアツテ23門ヲ据エテヰタ。此等ノ砲臺ヲ木造船ヲ以テ陷落セシメヤウト云フノガ、司令官 Du Pont ノ豫ネテ心ニ決メテヰタ所デアツタノダ。此ノ遠征ニ伴ツタ 13,000 ノ軍隊ハ砲臺攻撃ニハ參加シナカツタ。コノ計畫變更ハ、暴風ニ遭遇シタ際、上陸用具ヲ過半失ツテ居リ、又軍隊上陸場所トシテ最モ便利ナ唯一ノ地點ヽ此等輸送船ノ錨地カラ 5, 6 哩離レテヰタト云フ二ノ事ニ起因シタノデアツタ。ソコデ海軍力ノミヲ以テ攻略シヤウト決定シタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

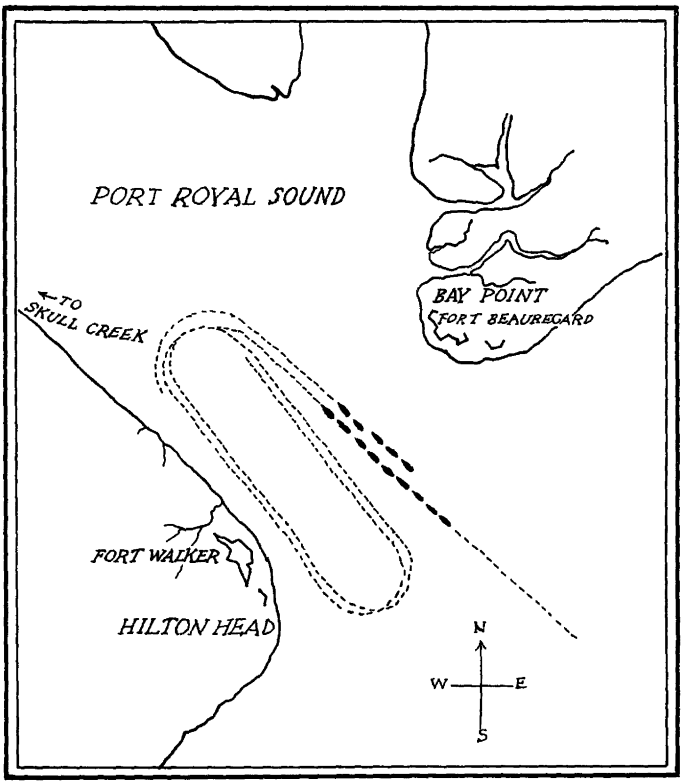
HP『海軍砲術学校』公開史料

Du Pontハ麾下ノ各艦長ヲ Wabash 號ニ招集シテ敵陣地ノ強點弱點ニ就テ說明シ、次デ彼ノ攻撃計畫ト戰則ノ概略ヲ注意深ク話シタ。艦隊ハ分レテ「主力ハ單縱陣ヲ制リ、側防部隊ハ離レテ港內北部海面ニ位置シ、敵ノ艇隊ト交戰シテ主力ガ南ニ回頭シタ時、ソノ後方ヲ縱射シタリ、或ハ戰鬪不能トナツタ艦ヲ割中シタリサセナイ樣ニスル」トイフノデアツタ。主力艦隊ハ最大「フリゲート」艦、「スループ」艦及砲艦ノ9隻ヨリ成リ、Du Pont ノ旗艦 Wabash 號ガ之ヲ先導シタ。ソレカラ側防部隊ハ5隻ノ砲艦ヨリ成リ Bienville 號ガ之ヲ先導シタ。

「攻撃計畫ハ Walker, Beauregard 兩砲臺ノ中間ヲ交戰シナガラ進行シ、Beauregard 砲臺ノ北方約2哩半ノ距離ノ處マデ至リ、此ノ地點ニ於テ陣列ハ南ヘ回頭シ、更ニ西ヘ廻ツテ Walker 砲臺ニ接近シ、最モ弱勢ナ側面ヲ突キナガラ同時ニ殆ド直射ヲ以テ海正面2箇所ヲ縱射スル……同砲臺ト竝行シタトコロデ機械ノ回轉數ヲ減ジテ丁度潮流ニ押流サレヌ程度ニ速力ヲ落シ、次々ト徐々ニ砲臺下ヲ通過シテ序列ヲ維持シ、敵ノ砲火ノ個定標的トナラナイ樣ニスル。Hilton Head ノ先端マデ來ルト……艦列ハ北ト東ヘ回頭シ北方ヘ進ンデ、最初トツタ針路ヨリ更ニ Walker 砲臺ニ近ヅイテ左舷砲列ヲ以テ之ヲ砲撃スル。ソシテ此ノ艦隊運動ヲ幾回モ繰リ返ストイフ事ニナツテヰタ。」

Captain Du Pont ハ非常ニ巧妙ナ計畫ヲ樹テ、之ガ何等ノ手落モナク全ク計畫通リニ遂行サレタ。11月7日午前8時司令官ハ發進ノ信號ヲ發シタ。半時間ノ後艦隊ハ側防部隊ヲ右ニシテ2列トナツテ、砲

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



Battle of Port Royal

HP『海軍砲術学校』公開史料

臺目掛ケテ進ンダ。ヤガテ艦ハ相互ノ間隔ヲ縮メテ密集隊形トナツタ。9時26分 Walker 砲臺カラ閃光ガ見エタト思フト轟音ガ聞エタ。スルト之ニ直グ續イテ Beauregard 砲臺カラモ起ツタ。此ノ挑戰ニ先ヅ Wabash 號ガ應ジ、之ニ續イテ他ノ諸艦モ砲ノ方位ガ定マルト砲撃ヲ開始シタ。10時ニハ主力艦隊ノ先頭ハ兩砲臺ノ上手2哩半ノ地點ニ達シテ居タ。ソコデ艦隊ハ回頭シタガ、ソノ時 Walker 砲臺ト竝行トナル場合、砲臺トノ距離ガ800碼トナル樣ニ變針シタ。更ニ近接密集シタ此ノ隊形デ以テ徐々ト南進シタ。

豫テ偵察シテアツタ爲、Du Pont ハ Walker 砲臺ノ北側面ガ防備不充分ナル事ヲ知ツテ居タ。ソコデ各艦ハ射程距離ニ入ルヤ、此ノ點ヲ目ガケテ前部旋回砲ヲ以テ砲撃シタ。南軍ハ此ノ方面ヲ攻撃サレルトハ豫期シテヰナカツタノデ、此ノ縱射ノ爲ニ損傷ヲ受ケ、砲 2, 3 門ヲ砲架カラ外サレテ終ヒ、大ニ困却ノ態デアツタ。ソシテ北軍艦隊ノ後方部隊ガ此ノ時依然繼續シテ居タ此ノ縱射ニ加ヘテ丁度砲臺ト竝行トナツタ前方部隊ノ諸艦ハ、ソノ片舷齊射ヲ以テ砲臺ノ胸壁ヲ掃射シタ。

話變ツテ Commodore Tattnall ノ指揮スル砲艦4隻ノ南軍小艦隊ハ河ヲ下ツテ來テ、大ニソノ存在ヲ知ラセヤウト努メタ。此ノ Tattnall ハ戰前ノ海軍ニ長ク活動シタ沈勇ノ武人デアツタ。彼ハ北軍艦隊ガ最初砲臺目ガケテ進航シタ時、全艦隊ヲ向フニ廻シテ交戰センズ勢デ前進シテ來タ。ソシテ縱射ノ位置ニ來ルヤ、Wabash 號目ガケテソノ片舷齊射ヲ數回浴ビセタガ、効果ハ收メナカツタ。然シ Wabash 號ガ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

射程ニ入ツテ來タノデ、彼ハ急イデ Skull Creek ヘ逃ゲ込ムダノハ賢明デアツタ。其處ニ入ツテ戰鬪ガ出來ナカツタガ、彼ハ「DuPont 司令官ノ大袈裟ナ挨拶ニ對シテ、モツト滿足ナ應答ガ出來ナイノヲ殘念ガツテ」3度ソノ青旗ヲ上下シテ意氣ノアル所ヲ示シタ。

側衞部隊ハ主力ノ環狀針路ノ北端ニ停止シテヰテ、Tattnall 艦隊ガ Skull Creek カラ出テ來ルノヲ防止シ、他方又 Walker 砲臺ノ縱射ヲ續行シタ。

主力艦隊ハ午前 11 時ニ ソノ發進地點ニ 達シテ、更ニ今 1 回楕圓針路ヲ開始セントシタガ、今度ハ 南方ヘ 回頭スル時ニ更ニ Walker 砲臺ニ接近シテ、600 碼足ラズノ處ニ針路ヲトツタ。

此等砲臺ハ堅固デ整備充分ト考ヘラレタガ、ソノ防備ハ此ノ艦隊ノ砲擊ニ崩壞シタ。同砲臺指揮官達ハ 種々樣々ナ釋明ヲ Richmond 政府宛ノ報告ノ中ニ述ベテ居ル。例ヘバ軍艦ニ對シテ使用シ得タ砲ハ其ノ一部ニ過ギナカツタトカ、彈丸ノ中ニハ砲ニ合ハナイモノガ多量アツテ用ヲ爲サナカツタトカ、彈丸ガ不足シテヰタトカ、或ハ砲員ガ疲勞シテ居タノダトカト云ツタヤウナ事ガ擧ゲラレルガ、之等ハ凡テ準備ト軍紀ノ缺如ヲ物語ルニ他ナラナカツタ。然シ假令充分ナ配員ト設備ガ爲サレテヰタトシテモ、艦隊ガ被ツタ輕微ナ損失カラ見ルト、矢張リ艦隊ガ成功ヲ收メテ居タカモ知レナイト考ヘラレルフシガアル。假令配員ヲ增加シタリ砲彈ヲ更ニ供給シタトシテモ、砲臺構築ノ缺點ニ對シテ補ヒトハナラナカツタデアラウ。砲列ハ正海面ヲ俯瞰スル樣ニ据エラレテアツテ、砂洲內カラノ攻擊ニ對シテノ防備ハ無カツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

砲ハ殆ド凡テ露砲塔式、即チ胸壁ヨリ上ニ出シテ据エラレテアツタ。從ツテ射程ヲ大キクスル利益ハアツタガ、ソノ代リ砲員ニ對スル防備不充分トイフ不利ナ點ガアツタ。ソノ爲砲臺ノ砲1門ハ艦砲4門ニ匹敵スルト云フ見積リデアツタガ、ソノ優勢ハ艦隊ガ縱射位置ヲトツタ殆ドソノ時カラ失ハレテ了ツタ結果トナツタ。何故トイフニ、艦カラノ砲撃ハ砲臺ノ砲其ノモノニハ大シタ損害ヲ與ヘナカツタケレドモ、砲員ヲ避難所ヘ追ヒ込ンデ了ツタノデアル。

Walker 砲臺ノ守備隊ノ1人 Major Huger, C. S. A. (南部聯邦陸軍) ハソノ報告書ノ中デ述ベテ居ル樣ニ、砲臺ノ弱點ヲ認メテ居タ。「ソノ (北軍軍艦) 中3隻ハ我ガ砲臺ヲ北西ノ側面カラ縱射スル位置ヲトリ、此ノ時未ダ戰闘ニ入ツテ居ナカツタ他ノ艦ハ、我ガ南東ノ正面ニ相對スル方向ヲトツタ。ソシテ一番大型ノ艦 (Wabash 號) ハ……我ガ砲臺正面ニ再ビ位置シテ短距離デ以テ實ニ正確ナ砲撃ヲ加ヘテ來タ。ソシテカナリ遠距離カラハ他ノ大型艦2隻ガ之ニ對シテ援助砲撃ヲ行ツタ。敵艦ニ依ツテ斯ウシタ位置ガ確保決定スルヤ、我ガ方ハ砲臺ヲ守ツテ體面上戰ツタニ過ギナカツタ。何故ナラソノ瞬間カラ我々ハ天祐ニ依ツテ救ハレナイ以上、敗北ヲ喫シテ居タノデアルカラ。」

主力艦隊ガ3度目ニ楕圓針路ノ北端ニ達シテ南針路ニ出テ、更ニ今一度砲撃ヲ將ニ開始セントシタ時、Ottawa 號ハ Hiltan Head ノ砲臺ガ放棄サレタ事ヲ信號シタ。Commander John Rodgers ガ命ヲ受ケテ休戰旗ヲ持テ上陸シタ。見ルト要塞ハ事實放棄サレテ居タノデ、午後2時20分ソコニ國旗ヲ揭揚シタ。ソレカラ輸送船ガ來テ夜ニ入ラ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヌ中ニ軍隊ハ上陸シテ要塞ヲ占領シタ。日沒時ニ Beauregard 砲臺ガ最早南軍旗ヲ掲ゲテ居ナイ事ガ分リ、翌朝早クソノ砲臺モ北軍ノ占據スルトコロトナツタ。

此ノ戰勝ハ極メテ重要ナルモノデアツタ。之ニヨツテ South Carolina 州ハ恐慌ヲ來シ、Virginia 州ヘ向ハントシテヰタ軍隊ハソノマヽ其處ニ留マツテ自州ノ防備ニ當ツタ。北軍ハ是ニ依ツテ優秀ナル港ヲ手ニ入レタワケデアル。此ノ港ハ沿岸要塞攻略ノ遠征軍ヲ整備スル事ト封鎖ヲ防護スル爲ニハ最大ノ利益ヲ有シテ居タ。是ニ附隨シテ此ノ戰鬪ハ蒸汽力ノ價値ヲ證明シ、又强固ニ兵備シタ砲臺ノ攻擊ニマデモ軍艦ヲ使用シ得ルト云フ事ヲモ示シタ。最後ニ此ノ戰勝ハ 1861 年ノ後半、即チ各處ニ打續ク陸戰ノ敗北カラ北部ノ空ハ暗雲ニ閉サレテ居タ折柄ノ事ナノデ、大ニ元氣ヲツケ、又激勵トモナツタ。斯クテ最先ニ分離ヲ斷行シタ州タル South Carolina ニ於テソノ要塞ガ一北軍ノ手ニ攻略サレタノデアツタ。

◎Trent 號 事 件

北軍ノ旗ガ Beauregard 砲臺ノ上高ク飜ヘサレタソノ同ジ日ニ、處ヲ異ニシテ最初ハ海軍ノ大手柄トシテ稱讃ヲ博シナガラ、間モナク一大危險トナツテ合衆國ヲ歐洲戰爭ニアハヤ引込マウトシタ一事件ガ起ツタ。之ガ所謂 Trent 號事件ナノデアル。

南部聯邦ハ逸早ク歐洲主要諸國ノ承認ヲ得ントシタ。ソノ代表者ハ英國其ノ他ニ於テ歡迎ハ受ケタケレドモ、ソレハ單ニ私人トシテ迎ヘ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ラレタニ過ギナカツタ。次ニ Davis 大統領ハ前回ノ失敗ヲ之ニヨツテ取リ戻サンモノト英佛兩國ヘ最モ手腕アル人物ヲ委員トシテ派遣スル事ニ決シタ。ソコデ彼ガ選ンダノガ Virginia 州ノ James M. Mason ト Louisiana 州ノ John Slidell, ソシテ之ニ J. E. Macfarland ト George Eustis ヲソノ秘書トシテ附ケタ。前兩者ハ共ニ南部諸州ガ離脫シタ時ニハ合衆國上院ノ議員デアツタ。又ソノ前ニハ共ニ外務省ニ重要ナル位置ヲ占メテ居タ人物デアツタ。ソコデ此等ノ委員ハ封鎖ヲ脫シテ Charleston ヲ出デ Nassau ニ到リ、ソレカラ Cuba ノ Cardenas ヘ行ツタ。11 月 7 日一行ハ英國ヘ向フ途中、Havana, St. Thomas 間ノ英國郵船 Trent 號ニ乘船シタ。全歐洲及米國ヲ震駭セシメタノガ Trent 號ニ於ケル此等委員ヲ米國ノ一軍艦ガ逮捕シタ事件ナノデアル。

西印度諸島近海勤務ノ San Jacinto 號ノ艦長 Charles Wilkes——此ノ人ハ以前南極探險ニ名ヲ現ハシタ人デアルガ——ハ此ノ南部聯邦ノ委員一行ヲソノ途中ニ於テ逮捕セント決意シタ。委員等ハ Cuba 到着後ハ最早努メテ秘密ヲ守ラウトハシナカツタノデ、自然 Captain Wilkes ハ彼等ガ Trent 號デ出港スル意圖ナル事ヲ知ツタ。ソコデ彼ハ Old Bahama Channel ニ赴キ、此處ニ一行ヲ待ツタ。11 月 8 日午前 11 時 40 分汽船ノ煙見ユト報告サレタガ、推測通リソレハ Trent 號デアツタ。ソレカラノ樣子ハ Captain Wilkes ガソノ報告書ノ中ニ次ノ如ク述ベテ居ル。

我々ハ全員戰鬪部署ニ就イテ Trent 號ヲ今ヤ晩シト待ツタ。ソシ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

テ同船ヲ臨檢シ Slidell, Mason, Eustis, Macfarland ノ4氏ヲ捕ヘテ我ガ艦ニ即時連レ來ル爲、2隻ノ短艇軍裝ノ命令ガ Lieutenant D. H. Fairfax ニ向ツテ下サレタ。……

船ハ近ヅイテ來テ英國國旗ヲ揭ゲタ。我ハ軍艦旗ヲ揭ゲテ實彈ヲ同船船首前ニ放ツタ。然ルニ尙モ速力ヲ維持シテ停止ノ意圖ヲ示サズ、依テ今度ハ榴彈ヲ放テバ、ソレニ依ツテ停止シタ。余ハ短艇ヲ同船ヘ差シ向ケル旨ヲ傳ヘタ。ソシテ本艦ノ第二「カッター」ヲ指揮セシメテ Lieutenant Fairfax ヲ差遣シタ。事ガ困難トナツテカ、彼ハ短艇員ノ一部ノモノト共ニ同船ニ留マリ、短艇ヲ返シテ更ニ應援隊ヲ要求シテ來タ。同船船長ガ書類及船客名簿ノ提示ヲ拒否シタタメニ、武力ヲ以テ船內搜索ガ必要トナツタノデアツタ。直ニ軍裝シタ第三「カッター」デ Lieutenant James A. Greer ガ派遣サレタ。

Slidell, Mason, Eustis 及Macfarland 4氏ハ發見サレテ本艦ヘ移乘ヲ告ゲラレタガ、彼等ハ是ニ反對シタ。然シ遂ニ武功ヲ以テ强制サレタ。武力モ多少用ヒタガ、主ニ說得ニ說得ヲ重ネテ遂ニ2時頃彼等ハ本艦ニ運バレ、余ハ彼等ヲ迎ヘタ。別ニ2隻ノ短艇ガ差シ向ケラレテ彼等ノ荷物及多少ノ糧食ノ運般ニ從事シタ。ソレガ濟ムト、同汽船ハ Trent 號ト判明シ釋放サレテ、ソノ航海ヲ東ヘト續ケテ行ツタ。ソシテ午後3時30分我ガ艦ハ回頭シテ北ヘ、ソレカラ西ヘ向ツタ。是ニ要シタ時間全體デ2時間ト半デアツタ。

搜索ニ對シテ抵抗シ、又船長ガ彼等4名ノ船客ノ性質及ソノ目的ヲ熟知シナガラ乘船セシメタ廉デ、余ハ Trent 號ヲ捕獲シ拿捕船ト

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シテ Key West ヘ送ラウト決意シテ居タノデアツタガ、ソノ爲ニ我ガ艦ノ士官兵員ノ數ヲ減少シ、又歐洲行ノ船客ガ多數アツテ彼等ニ大キナ迷惑ヲ與ヘル事ニナルノデ、遂ニ余ハ決意ヲ飜ヘシテ同船ヲ釋放シタノデアツタ。(以上ガ彼ノ報告ノ一部デアル)

捕ヘラレタ4名ノモノハ Boston ニ連行サレ、Warren 砲臺ニ檻禁サレタ。Captain Wilkes ハ一躍英雄ニ祭リアゲラレタ。彼ハ Boston 及 New York ニ於テ熱烈ナ歡迎ヲ受ケタ。新聞ハ彼ノ爲ニ稱讃ノ筆ヲ執リ、議會ハ上下兩院合同シテ感謝ヲ決議シタ。內閣マデモ遞信大臣ヲ除イテ全員此ノ逮捕ヲ喜ンダ。然シ全國擧ゲテ斯ク熱狂シテ居タ時、Lincoln 大統領ハソノ稀有ナ慧眼ヲ以テ、ヤガテ起ラン紛糾ヲ洞察シテ居タ。彼ハ云ツタ。「彼等叛逆ノ徒ガ我等ノ持テ餘ス厄介物トナラン事ヲ余ハ恐レルノデアル。我等ハ中立權ニ關シテ米國ノ主義ヲ固ク守ラネバナラナイ。我等ハ先ニ丁度 Captain Wilkes ガ此ノ度行ツタト同ジ事ヲ爲サントスル權利ヲ英國ガ理論的ニモ實際的ニモ主張シタガ爲ニ同國ト戰ツタノデアツタ。此ノ度若シ英國ガ之ニ對シ抗議シテ彼等ノ釋放ヲ要求スル事アラバ、我等ハ之ヲ釋放シ、此ノ度ノ行爲ニ對シテ我等ガ主義違犯ノ行爲トシテ陳謝ヲシナケレバナラナイ。斯クシテ英國ヲシテ永久ニ中立諸國トノ平和關係ヲ保持セシメル樣義務ヅケ、而シテソノ 60 年來ノ過誤ヲ認メシメネバナラナイ。」

英國ハ正シク抗議シテ來タ。ソシテ英國公使 Lyons 卿ハ、若シ逮捕サレタ委員ノ引渡ヲモ含ム賠償ガ7日以內ニ行ハレナイ場合ニハ、「公使館ニ於ケル公文書ヲ携ヘ……直ニ本國ヘ引キ揚グベシ。」トノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

訓令ヲ受ケテ居タ。ソノ間英國政府ハ事件ガ如何ニ展開スルカソレモ待タズ、Halifax ヘ向ケ軍隊ヲ乗船セシメ、London Tower カラ銃ヲ運ビ出シテ船ニ積ミ、而シテ凡ユル種類ノ軍需品ヲ用意シタ。

此ノ問題ハ主トシテ英國ノミニ關係シテ居タニモ拘ラズ、佛國皇帝、「プロシヤ」王及墺國皇帝ハ此ノ報道ヲ受ケテ1箇月モ經タヌ間ニ英國ノ外務省及華盛頓駐在ノ各自國ノ使臣ト連絡通信ヲ行ヒ、此ノ事ニ於ケル英國ノ態度ニ賛意ヲ表シタ。要スルニ歐洲諸國ハ合衆國ガ Wilkes ノ行爲ヲ熱狂的ニ稱讃シタ程度ニ之ヲ非難シタノデアツタ。

然シ合衆國ガ此ノ行爲ヲ非認シテ 1862年1月1日檻禁シテアツタ4名ヲ釋放シテ之ヲ英國ノ手ニ預ケタ爲ニ、戰爭ハシナイデ濟ンダ。此ノ事件ハ國際法ノ重要問題トナルノデ、ソノ後多クノ論文ガ之ニ關シテ書カレテ來テ居ル。近年ニ於ケル斯界ノ權威者達ハ、Captain Wilkes ノトツタ行動ヲ非トスル事ニ一致シテヰル。彼ニハ Trent 號ヲ停船シテ之ヲ捜索スル權利ハアツテモ、同船ヲ拿捕船トシテ港ヘ連行セズニソノ乗船客ヲ逮捕スル事ハ出來ナカツタノデアル。此等委員及ソノ携行シタ公文書ハ何レモ軍事的性質ヲ有シナイノデアルカラ、戰時禁制ノモノト看做ス事ハ出來ナカツタ。ソレ故ニ同汽船ハ捜索ニ對スル抵抗ノ理由以外デハ、之ヲ捕獲スル事ハ許サレナカツタノデアル。捜索ニ對スル妨害ガ Trent 號ノ船長ニ依ツテ行ハレタノデアルカラ、Wilkes ハ同船ヲ港ヘ連行シテモ、ソノ行爲ハ正當視サレタデアラウ。尤モ法廷ガ此ノ抵抗ヲ以テ同船ニ過失アリトスルニ充分ナルモノト看做ナシタカ何ウカハ推測スルノ外ハナイ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第16章　Hampton Roads ノ戰（其ノ1）
Cumberland 號及 Congress 號ノ擊滅

◎Norfolk 海軍工廠ノ放棄

南軍ガ Hatteras, Port Royal 及後ニナツテ New Orleans, Port Hudson, Vicksburg 附近デ使用シタ大型ノ大砲ノ內ニハ、Norfolk 海軍工廠デ捕獲サレタモノガアル。1861年4月下旬ニ此ノ工廠ヲ失フタコトハ戰爭中海軍ノ蒙ツタ最大ノ損害デアツタ。ソレモ敵ノ軍備ノ絕對優勢ナル威力ニヨルモノデハナク、當時ノ消極政策ト恐慌トノ結果デアツテ、政府モ海軍省モ陸海軍ノ首腦部モスベテ責任ガアツタ。

Sumter 砲擊前ノ Virginia ノ情勢ハ極メテ微妙デアツタ。Virginia 州ハイヅレニ味方スベキカ動搖シテヰタタメニ、Norfolk 海軍工廠ニ深イ注意ヲ拂ツテヰタ南軍側ノ者ハ、政府ニ工廠內ノ財產ヲ保護スル手段ヲ講ジナイ樣ニ勸告スル事ガ容易デアルコトヲ知ツテ、ソンナ事ヲスレバ不信行爲トナリ、同州ヲ離レシムルモノデアルト論ジタノデアツタ。

陸軍長官 Scott 將軍ハ Virginia 州出デアリ、年齡カラ云ツテモ（75歲ニ近カツタ）保守的デアツタノデ、Norfolk ニ出兵スル事ヲヨシトシナカツタ。工廠長 C. S. McCauley 代將（68歲）ハ4月10日ニ「一般ノ利益ト財產ノ監視保護ニツイテ充分警戒セヨ」トノ指令ヲ受ケタ際ニモ、何モシナカツタ。彼ハ南軍側ノ助言者ノ言ニ迷ツテ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

活動力ヲ全ク缺イテヰルヤウニ見エタ。知ラルル限リデハ、彼ハ工廠防備ノ計畫ヲ立テルコトモシナカツタノデアル。

Virginia ガ州ノ分離ノ法令ヲ通過スル(4月17日)1週間前、政府ハ憂慮ノ餘リ、Norfolk 工廠ノ Merrimac 號始メ他ノ艦船ヲ移動セシムル秘密命令ヲ發シタ。4月12日 Isherwood 機關長ハ特ニ Merrimac 號ヲ移動サセルタメニ派遣セラレタ。彼ハ來テ見テ同艦ノ機械ノ狀態ノ惡イコトヲ知ツタガ、到着ノ翌日ノ月曜日ノ朝、多數ノ人員ヲ作業部署ニツカセ、晝夜兼行ノ手段ヲ講ジ、水曜日午後ニハ汽釀準備完了ノ旨報告シタ。ソコデ木曜日朝汽釀シ、拔錨ノ上 Germantown ヲ曳航シテ同艦ヲ安全地帶ニ移スベク、工廠長ノ命令ヲ待ツバカリニナツタ。所ガ工廠長ハ躊躇シタ。然シコノ重大時機ニ於テ躊躇ハ致命的デアツタ。遂ニ Isherwood ガ艦ヲ移動サセル政府ノ强制命令アルコトヲ注意スルト、工廠長ハ同艦ヲ殘留サセル決意ヲ語リ、消火スル樣命ジタ。

McCauley 工廠長ノ愛國心ハ決シテ本心カラ疑フベキデハナイ。併シ彼ハコノ危機ヲ處理スル力ガナカツタノデアル。困惑シ憂慮シタ擧句、ソノ後間モナク南軍ニ加ハツタ部下ノ言葉ヲ信ジテ Merrimac 號ヲ移動サセル事ハ、工廠外ニ集ツテヰル民衆ヲ刺戟シテ暴動ヲ起サセルト考ヘタ。彼ハ軍艦ノ大砲ヲ以テスレバ、大砲ノナイ民兵ノ數聯隊ニ對抗シ得ル兵力ヲ持ツテヰタノデアルガ、工廠ノ安全ハ決裂ヲ避ケルカ否カニヨルモノデアルト說得セラレタ。又南軍ガ海峽ニ裝置シタ防害ガ、ソレハ實際ハ取ルニ足ラヌモノデアツタガ Merrimac 號ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

通過ヲ妨ゲルト信ゼサセラレタ。

Isherwood 機關長ト Alden 中佐 (Merrimac 號艦長トナル筈デアツタ人) ハ既ニ何等爲スベカラザル事ヲ知ツテ Washington ニ赴キ、ソノ旨ヲ報告シタ。直ニ Hiram Paulding 代將ハ Pawnee 號ニ坐乘シ、分遣隊 500 名ヲ率キテ McCauley ニ交代シ、諸艦救援ノタメニ派遣セラレタガ、併シ時既ニ遲カツタ。

McCauley 部下ノ士官ノ大部分ハ辭任又ハ脫走シタ。機械工ヤ見張兵ハ外部ノ諸所ニ集結シテヰタ分離派ノ者ニ與シタ。不幸ナ工廠長ハ意氣沮喪シ、州軍部隊ガ Richmond 及 Petersburg ヨリ到着シツツアルトノ報ニ接シテ當惑シ、Cumberland 號ヲ除ク工廠內ノ全艦船ヲ破壞スル決心ヲシタ。ソコデ 4 月 20 日土曜日ニ Merrimac 號、Germantown 號、Plymouth 號、Dolphin 號ヲ穿孔シタ。

破壞作業ガ始マツタ恰度其ノ頃、Monroe 要塞マデ進ンデヰタ Paulding 代將ハ Massachusetts 州ノ民兵ノ一隊ヲ乘艦セシメテヰタ。彼等ハ僅カニ 12 哩ヲ隔テルノミデ、Pawnee 號ノ全速力ヲ以テ諸艦ヲ救フタメニ急行シツツアツタ。

Paulding ガ到着スルト、McCauley 代將ハ勇氣ヲ取リ戻シ、彼ハ留マツテ工廠ヲ守ル事ヲ諒トシタ。既ニ進軍中ノ援兵ガナクトモ數週間堪ヘ得ル事ハ疑ヒガナカツタ。Paulding 代將ハ全部デ 1,000 名ノ强兵ヲ率キテヰタ。工廠ノ周圍ノ城壁ニハ信賴ガ置ケナカツタガ、屯兵艦 Pennsylvania 號、Cumberland 號、Pawnee 號ノ砲ハ全工廠ヲ守リ、Norfolk 及 Portsmouth ヲモ砲擊スル事ガ出來タ。コレニ反シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

テ南軍ハ僅カ數中隊ノ兵ヲ有スルノミデ重砲ヲ持タナカツタ。

Paulding 代將ガ何ヲナシ得タニセヨ、彼モ McCauley ノ轍ヲ踏ンデ明カニ恐慌ノ犧牲トナツテヰタ。到着後1時間ヲ經ズシテ彼ハ工廠放棄ヲ決意シタ。コノ決意ヲ固メルト直ニ準備ニ着手シタ。100名ガカリデ大鎚ヲ以テ砲耳ヲタタキトツテ、工廠内ノ砲ヲ破壞スル事ニナツタ。彼等ハ大鎚ヲ振ツタガ、併シ結局何ヲモナシ得ナカツタ。他ノ者ハ大砲ヤ砲彈ヲ河中ニ轉スコトニ取リカカツタ。又他ノ者ハ艦ト建築物ニ火ヲツケル準備ヲスル事ニナツタ。唯1隻救ハレタ Cumberland 號ハ、Pawnee 號ニ曳航サレテ少シ引キ出サレタ。ソシテ午前4時カ5時頃ニナルト、Pawnee 號カラノ火箭ハ發火セヨトノ信號ヲ發シタ。

併シ破壞作業スラ恐慌ノタメウマク行カナカツタ。明カニ計畫ガ拙カツタ。北軍ガ退散スルヤ否ヤ、工廠外ノ民衆ガ押シ入ツテ來タ。乾船渠ヲ破壞スルタメニ地雷ニツケテアツタ遲動信管ハ彼等ニ消サレテ事無キヲ得タ。同時ニ他ノ者ハ建築物ノ火ヲ消シタ（實際ニ火ヲ放タレタモノハ僅カデアツタ）。ソシテ重要ナ工場ハ大部分無事デアツタ。大砲ノ破壞セラレタモノハ極メテ少數デアツタノデ、南軍ハアラユル種類ノ殆ド3,000ニ近イ砲ヲ獲得シタ。ソノ内300ハ最新型ノ Dahlgren 砲デアツタ。

Pensacola 工廠ノ事件ハコレト似タ話デアル。是ヨリ前、1月12日ニ工廠長ノ James Armstrong 大佐ハ脆クモ Florida 州ノ民兵ニ降伏シタ。Porter 提督ガ後デ述ベタ所信ニ從フト、Pensacola 及 Norfolk

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ於テ占領シタ大砲ガナカツタナラバ、南軍ハ自ラ大砲製造工場ヲ作ルカ、又ハ歐洲ヨリ購入スルカシナケレバ、即チ開戰後殆ド1箇年ヲ經過シナケレバ、要塞ヲ固メル事ハ出來ナカツタデアラウ。

北軍ノ Norfolk ニ於ケル損害ハ蒸氣「フリゲート」艦 Merrimac 號、備砲40門、「スループ」型軍艦 Germantown 號、22門、同 Plymouth 號 22門、「ブリッグ」艦 Dolphin 4門、此等ハ全部航行準備完了セルモノデアツタ。他ニマダイクラカハ役ニ立ツ舊艦、Pennsylvania 號、United States 號、Columbus 號、Delaware 號、Raritan 號、Columbia 號ガアリ、最後ニ未完成ノ戰列艦 New York 號ガアツタ。併シ「艦船ノ損失……モ大キカツタガ、大砲ノ損失ニ比ベレバズツト僅少デアツタ。」

◎砲熕及艦船ノ進歩

南北戰爭ハ我ガ海軍ノ艦船、大砲ニ一新時期ヲ劃シタ。Norfolk 工廠ノ損失後ノ事件ガコノ革新ヲ齎シタノデアルカラ、ココデ暫ラク、ソノ以前半世紀間ニ起ツタ變化ニ注意スル事モ無用デハナイ。

實彈ヲ使用スル滑膛砲ハ初期ノ 18 及 24 听砲ヨリ 32 听砲ヘ擴大シタ。1812 年戰役及南北戰爭ニ使用サレタ Columbiad 砲ハコノ型ノ大砲デアツタ。尤モ南北戰爭以前ニ型ガ少シ變ツテ砲膛ガ長クナリ、强裝藥ヲ使用シ得ルヤウニ金屬ノ重量ガ增シタノデアル。改良サレタ大砲ガ所期ノ威力ヲ發揮シナカツタノデ、コレハ榴彈使用砲級ニオイテ裝藥ヲ減ジテ發射サレタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

1850 年代ニ Dahlgren 提督ノ考案シタ Dahlgren 砲ハ、南北戰爭當時最モ進歩シタ型ノ滑膛砲ト考ヘラレテヰタ。コレハ口徑ガ大キク鑄鐵デ作ツテアツタ。ソノ特色ハ「膛壓曲線」ニ從ツテ、砲尾デ重ク砲口デ輕クナツテヰタ。即チ最小ノ重量ヲ以テ大キナ威力ヲ發揮スル事トナリ、海軍用トシテ殊ニ適シタモノデアツタ。

滑膛砲ハスベテ前裝砲デアツタ。コレラノ砲ハ圓形彈、鐵筒彈、通常彈及榴霰彈ヲ使用シタ。最初ノ旋條砲モ前裝砲デアツタ。後裝旋條砲ガ一般ニ使用セラレタノハ、1875—80 年ニナツテカラデアツタ。

旋條砲ノ實驗ハ 1836 年頃露西亞デ初メテ行ハレタ。「クリミヤ」戰爭デハコノ砲ハ餘リ成功シナカツタ。併シ南北戰爭ノ始マル頃マデニハ、モハヤ實驗ノ域ヲ脫シテヰタ。裝甲艦ノ出現ト共ニ、コレハ必需品トナツタ。旋條砲ハ侵徹力ガ更ニ大イ事、着彈距離ガ大イ事、正確サガ更ニ增大シタ事ニ長所ヲ持ツテヰタ。

此ノ戰爭デ廣ク用ヒラレタ大砲ノ內デハ、Parrott 旋條砲ガ恐ラク最モスグレテヰタデアラウ。コレハ鑄鐵ノ旋條砲身デ、砲尾ノ所デ收縮サレタ鍛鐵ノ環デ卷管ニシテ强力ニシテアツタ。Parrott 砲ハ 100; 200; 300 听砲デアツタ。

建艦ノ點デハ 1812 年戰役以來重要ナ改良ハ唯一ツデアツテ、ソレハ推進力ニ、蒸氣ヲ用フル樣ニナツタ事デアル。艦船ハ依然トシテ、「フリゲート」艦、「スループ」型軍艦ノ系統ヲ引キ、全裝帆船デアツタガ、コレハ艦船ハ通常蒸氣ヲ單ニ補助力トシテ用ヒルト考ヘラレテヰタカラデアツタ。舷側外輪船 (side-wheeler) モ若干アツタガ、Mer-

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

rimac 號及 Hartford 號ノ如キ合衆國デ作ラレタ最新式ト定評ノアル艦船ハ螺旋推進器ヲ持ツテヰタ。此ノ方ガ交戰ニ破壞サレル事ガ遙ニ少ナイ事ハ明カデアル。斯ル艦船ハ蒸氣ノミデモ 8 乃至 12 節ノ速力ヲ出ス事ガ出來タ。最初ニ進水シタ蒸氣戰艦ハ 1814 年ノ米國軍艦 Fulton 號デアリ、最初ノ螺旋推進器附軍艦ハ 1843 年ノ米國軍艦 Princeton 號デアツタ。合衆國海軍ハ艦船ノ數ニ於テハ劣ツテハヰタガ、カク世界海軍ニ率先シテヰル點著シイモノガアツタ。

原動力トシテ蒸氣ヲ使用スル事ニナツテカラ、艦船ハ速度ヲ增シタノミデナク、風ヲ顧慮セズニ操縱スル事ガ出來タ。ソノ結果、港灣ヤ河川ニ面シテヰル要塞ヲ攻擊シ、通過スル事ガズツト容易ニナツタ。更ニコレハ新シイ攻擊法、即チ衝擊ニ適スル樣ニナツタ。コノ戰鬪法ハ事實上、「ギリシャ」、「ローマ」ノ「ガヤリー」船ノ戰術ヘノ復歸デアリ、河川ヤ狹イ灣ナド限ラレタ區域內デハ、非常ニ有利ナルモノトナツタ。

南部聯邦海軍省ハ艦船モ造船官モ水兵モナイタメニ、何カ新シイ優秀ナ武器ニヨラザル限リ、北軍海軍ニ勝ツ望ミガナイ事ヲ夙ニ認メテヰタ。ソコデ水雷ヤ裝甲艦ヲ研究シ始メタガ、コノ兩者ノ原理ハ海軍部內デハ克ク知ラレテヰタノデアル。

本章デ述ベヨウト思フ裝甲艦ハ「クリミヤ」戰爭デ「フランス」軍ガ用ヒタノガ最初デアツタ。1855 年 10 月 17 日、Lave 號、Tonnante 號、Dévastation 號ノ 3 ノ所謂浮砲臺ハ、木材ノ船體ヲ 4 吋ノ甲鈑デ掩ツテ、Kinburn ノ攻擊ニ向ツテ猛擊ヲ浴セタ。戰列艦、「フリゲー

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ト」艦、臼砲装備艇ノ砲撃ト相俟ツテ、「ロシア」ノ要塞ヲ3時間ノ抵抗ノ後降伏セシメタノデアル。ソノ戰爭ノ重要ナル特色ハ、浮砲臺ハ砲壘ヨリ僅カニ數百「ヤード」ノ位置ヲ占メ、猛烈ナ砲撃ヲ受ケタニカカハラズ、何等ノ損害ヲ受ケナカツタ事デアル。此ノ事ハ海軍ノ進歩的ナ造船官ヲ考慮セシメ、「フランス」ハヤガテ英國ヲシテ憂慮セシメタ幾多ノ海軍ノ改革ヲ企テタノデアル。

◎Merrimac 號ノ改造

1861年6月23日、南部聯邦ノ海軍長官 Mallory 氏ハ、William P. Williamson 機關長、John M. Brooke 大尉、John L. Porter 海軍造兵官ヲ以テ裝甲艦設計ノ會議ヲ開催シタ。南軍ハ裝甲艦購入ノ計畫ニ失敗シタノデ、自給自足シナケレバナラナカツタ。1846年ニ既ニ合衆國ノ海軍省ニ裝甲艦建造案ヲ提出シタ Porter 氏ハ、コノ會議ニ吃水ノ淺イ、乾舷ハスベテ傾斜セル裝甲舷側デ包マレタ模型ヲ持參シタ。併シ斯カル艦船ノ建造ニハ1年ヲ要スルシ、尙幾多ノ困難ガ伴ツタ。何トナレバ、南軍ハ機械ヲ造ル能力ガナカツタシ、機械工モ殆ド居ナカツタガ、Norfolk 工廠ガ役ニ立ツコトニナツタ。

Paulding 代將ガ Norfolk 工廠ヲ撤去シタ時、彼ハ放棄シタ艦船ニ火ヲ放ツタ。併シ Merrimac 號ハ既ニ穿孔サレテヰタノデ、火ハ唯乾舷ヲ燒イタノミデ、居住甲板デ鎭火シ、機關部ハ何等損傷ヲ受ケナカツタ。時間ノ節約ト Merrimac 號ノ機械ヲ利用スルタメニ、Richmond デノ會議ノ結果、前記ノ設計案ヲ、既ニ乾船渠ニ入渠中デアツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ同艦ニ適用スル事トナツタ。

南軍ハ Meraimac 號（後南軍ニヨツテ Virginia 號ト名ヲ改メラレタガ、Merrimac 號ノ名デ云ヒナラサレテヰル。）ノ改造ニ邁進シタ。士官竝ニ造船官ハ全力ヲ擧ゲテ作業ヲ急イダ。鍛治工、機械工、螺旋工ニ至ルマデ、意氣ニ感ジテ、特別ノ手當ナシニ毎晩8時マデ働クトイフ自發的ノ契約ニ署名シタ。

Merrimac 號ハ元來積載量 3,500 噸ノ推進力器附「フリゲート」艦デアツタ。長サ 263 呎ノ船體ハ、中央部 178 呎ノ防舷材デ掩ハレテヰテ、ソノ舷側ハ 35 度ノ角度ニ傾斜シ、合戰準備整備ノ狀態デハ水上7呎デアツタ。防舷材ハ厚サ 14 吋ノ黃松（Yellon pine）ノ桁デ作ラレ、ソノ上ニ4吋ノ松ノ板ガ縱ニ走リ、更ニソノ上ニ4吋ノ槲ノ板ガ上下ニ置カレタ。木材ノ上ニ幅8吋、厚サ2吋ノ展ベタ鐵ノ棒ノ層ガ縱ニ走リ、ソノ上ニ同ジ大キサノ層ガ上下ニアツタ。全體ハ嚴重ニ螺釘デ止メラレテヰタ。從ツテ船體ハ舷側傾斜面ニ垂直ニ測レバ、22 吋ノ木材ニ支ヘラレタ4吋ノ鐵デ裝甲サレタ事ニナルガ、水平ニハ厚サハモツト大キイ事ニナル。甲鈑ガ船體ニ聯結シテヰル船尾稜緣ハ裝甲シテナイ。艦首尾ハ2呎ノ深サニ沈ンデヰタノデ、コノ部分ハ安全デアツタ。舵ト推進器ハ重イ堅イ甲板、即チ fan tail デ保護サレタ。裝甲ノ上部ハ、幅、厚サ各 12 吋ノ鐵棒ノ用ヒテアル2吋平方ノ網目ニナツタ格子ガアツテ落下スル砲彈ヲ防イダ。

Merrimac 號ノ兵裝ハ砲 10 門ヨリ成ツテヰタ。舷側砲ヲ含ム8門ノ內、6門ハ元カラアツタ大砲ノ一部、滑膛9吋 Dahlgren 砲デアリ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

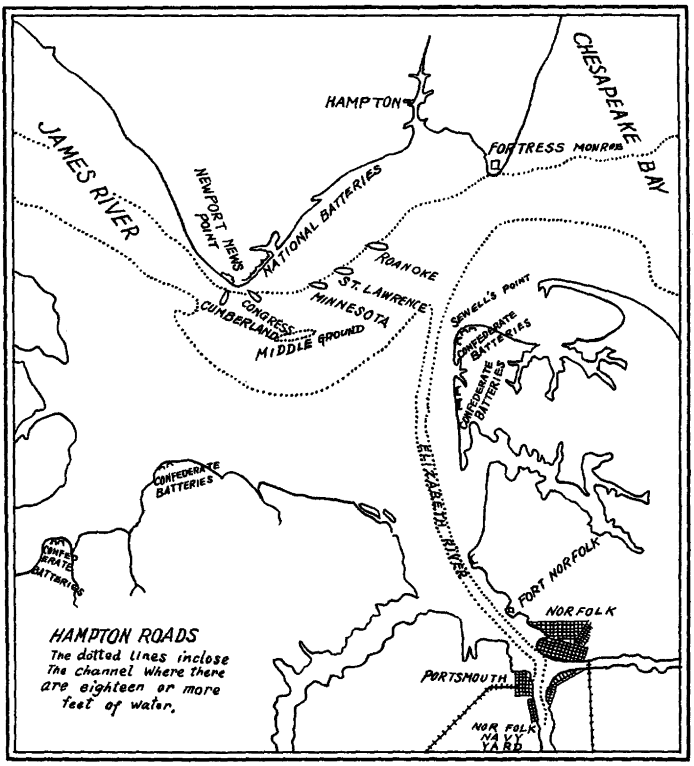
2門ハ 6.4吋旋條砲デアツタ。他ニ艦尾ニ、2門ノ7吋旋回旋條砲ガアツタ。旋條砲ハ Richmond ノ Trèdegar 鐵工場デ作ラレタモノデ、同工場デハ又 Brooke 大尉監督ノ下ニ甲鈑ガ作ラレタ。Merrimac 號ハソノ他 1,500 封度ノ楔形ノ鑄鐵ノ鐵嘴ヲ備ヘテヰタ。

Virginia 號、即チ我々ノ云フ Merrimac 號ハ、一刻ノ猶豫モナク、1862年3月8日正午頃、同時ニ合戰準備ヲシナガラ Elizabeth 河ヲ徐々ニ下降シタ。職工ノ多クハ未ダ艦内デ工廠カラ出ル際最後ノ仕上ゲヲ急イデヰタ。機關科士官ハ、21日マデ推進器ヲ廻轉サセタ事ハナカツタノデ、注意深ク運轉シテヰタ。士官達ハ部下ノ間ヲ廻ツテ職務ニ慣レサセル樣ニ努メタ。乘組員ハ大部分陸軍ノ義勇兵デアツタノデ、タシカニ敎育ガ必要デアツタ。Norfolk ノ人々ノ多クハ Merrimac 號ニ萬歲ヲ唱ヘル時、唯試運轉ニ行クノダト想像シタノモ無理ハナカツタ。

◎Cumberland 號ノ衝撃

24門艦 Cumberland 號ノ George U. Morris 大尉ガ Elizabeth 河ヲ下ツテ、Sewell 岬ニ向ツテ汽走中ノ3隻ノ艦船ヲ發見シタノハ、12時頃デアツタ。當時北軍ニ漲ツテヰタ平和ト安全感トハ索具ヲ飾ツテ無風ニタレ下ツテヰタ水兵ノ洗濯物ニヨツテモ知ラレタ。Cumberland 號ノ艦長 William Radford 中佐ハ査問會ニ出席ノタメ Roanoke 號ニ赴イテヰテ不在デアツタ。50門艦 Congress 號ハ Cumberland 號ト 1/4 浬ヲ隔テテ共ニ Newport News ニ近ク碇泊シ、又艦隊ノ他ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



HAMPTON ROADS

HP『海軍砲術学校』公開史料

艦 Roanoke 號、Minnesota 號、St. Lawrence 號ハ 8 浬ヲ離レタ Monroe 要塞沖ニ碇泊シテヰタ。Cumberland 號ト Congress 號ハ突然平和ヲ破ラレタガ、合戰準備ヲシ、近ヅイテ來ル奇妙ナ敵ヲ研究スル充分ノ餘裕ガアツタ。

Merrimac 號ハ進行ガ緩慢デアツタ。工廠ガマダ政府ノ手ニアツタ1年前ニ、古クテ用ヲナサヌト宣告サレタ機械ガ、ソノ後火ト水ニ會ツテヨクナツタ譯ガナイ。セイゼイ1時間5節モ出ナカツタ。Merrimac 號ノ巨體ト深イ吃水ノタメ、操縱困難デアツタ。前部デ 21 呎、後部デ 22 呎ノ吃水デアツタ。當日及翌日ノ合戰ニ於テ、幾度モ龍骨ガ泥ニ入ツタ。艦首ヲ轉ズルニハ半時間以上モカカツタ。

Merrimac 號ノ指揮官ハ Franklin Buchanan 大佐デアツタ。彼ハ合衆國海軍ニ 46 年勤務シ、戰爭勃發當時、Washington 工廠長ヲシテヰタ。此ノ戰爭中ニハ、ヨクアツタコトデアルガ、彼ノ愛弟ハ同艦ノ敵デアル Congress 號ノ主計官デアツタ。

Merrimac 號ガ Sewell 岬ノ南軍砲臺前ヲ通過スル時、ソノ海岸ニ竝ンダ部隊ノ歡呼ヲ浴ビタガ、ソコカラ South Channel ヲ進ミ、Newport News ニ艦首ヲ向ケル樣ニ見エタ。ソコニ碇泊シテヰタ2隻ノ北軍艦隊ハ Merrimac 號ガ 3/4 浬ノ距離ニ來タ時ニ砲撃ヲ開始シ、先ヅ Cumberland 號ガソノ重旋回砲ヲ發射シ、次デ Newport News ノ海岸砲臺モ亦砲撃ヲ開始シタ。

多クノ砲彈ハ Merrimac 號ニ命中シタガ、跳返ツテ効果ガナカツタ。コノ戰鬪行爲ニハ、コノ奇妙ナル怪物ハ何ノ注意モ拂ハズ、默々

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

トシテ非常ニ緩慢ニ前進ヲ續ケタ。遂ニ近距離ニ達シタ時、Charles Simms 大尉ハ注意深ク前部旋回砲ノ照準ヲ定メタ。砲彈ハ命中シテ Cumberland 號ノ後部旋回砲ノ砲手ヲ全部掃射シタ。Congress 號ノ近クヲ通過スル際、Merrimac 號ハ右舷ノ砲ヲ以テコノ古イ「フリゲート」艦ニ猛烈ナ片舷齊射ヲ加ヘタ。コノ際猛射ヲ受ケタガ、何ノ被害モナカツタ。停止シテ砲撃ヲ繰返スコトヲシナイデ同艦ハ次ニ Cumberland 號ニ艦首ヲ眞直ニ向ケ、右舷ノ前部靜索留用舷側鈑ノ下ヲ衝撃シタ。

Merrimac 號ノ衝角ハ水中ニアツタガ、Cumberland 號ノ舷側ヲ突破シタ時、其ノ木材ノ壞レル音ガ砲聲ノ中ニモヨク聞エタ。Merrimac 號デハソノ衝動ヲ殆ド感ジナカツタガ、Cumberland 號ハ致命傷ヲ受ケタ。Merrimac 號ハ潮流ニ廻サレ始メ、ソシテ艦首ヲ離シテ後進中ノ時衝角ガ折レタ。Cumberland 號ニアイタ穴ハ人1人ガ入レル位デアツタ。

衝撃ノ直前 Merrimac 號ノ前部旋回砲ハ再ビ發射サレ、2度目ニモ多大ノ損害ヲ與ヘタ。一方 Merrimac 號乘組員ノ1人ガ熱狂ト興奮ノ餘リ、膓中ヲ掃除シヨウト、ウツカリ砲門ニ飛ビ出タタメニカ銃彈デ直ニ頭ヲ打拔カレタ。

Cumberland 號ハ衝撃サレタケレドモ、乘組員ハ立派ナ訓練ノ下ニ統制サレ、戰ノ見込ナイ事ヤ、甲板デ味方ガ殺サレルノニモヒルマズ、砲手ヲ再ビ整ヘテ戰ヲ續ケタ。砲彈ハ甲板ヲ穿ツ事ハ出來ナカツタガ全然無力デアツタ譯デハナイ。即チ兩艦ガ舷側ヲ接シテ、偶然同時ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

發砲シタ時、砲彈ハ Merrimac 號ノ2門ノ砲口ヲ粉碎シ、使用不能ナラシメタ。大砲ト砲彈ノ破片ノタメ Merrimac 號ノ1人ハ死ニ、又「16名ガ火藥ノタメ火傷ヲシタリ、碎片ノタメニ擦過傷ヲ受ケタ。」(Merrimac 號 Phillips 軍醫)

Merrimac 號ハ敵艦カラ離レテ Congress 號ヲ攻撃スルタメニ懸命ニ方向ヲ變ヘヨウトシタ。ソノ間 Cumberland 號ノ乘組員ハ Morris 大尉ノ指揮ノ下ニ勇敢ナ戰ヲ續ケタ。艦ガ沈ミ始メタ時、兵ハ最下甲板ヨリ出サレタガ、收材甲板ノ砲ヲ以テ戰ツタ。又砲ガ水上ニアル間、即チ衝撃ヲ受ケテ45分經ツマデ、艦ヲ去ラナカツタ。艦ガ傾イテ沈ンダ時、負傷者ノアルモノハ架臺ヤ食器箱ニノセテ救ケラレタ。併シ損害ハ大キカツタ。全乘組定員376名ノ內、翌日ノ點呼ニ應ジタモノハ255名ニ過ギナカツタ。他ハ殆ド全部戰死又ハ溺死ヲトゲタ。

Cumberland 號ハ淺瀨ニ沈ンダタメ稍水平ノ位置ヲ保ツタ。檣頭ハ水上ニ現ハレテヰテ、「アメリカ」國旗ガ依然トシテ靡イテヰタ。カクテ Monroe 要塞ヨリ騎乘デ駈付ケ、ヤツト艦ノ最後ヲ見屆ケルニ間ニ合ツタ Radford 艦長ハ軍艦旗ガ尙ナビイテヰルノヲ見テセメテモノ慰メトシタ。

◎Congress 號ノ撃沈

Cumberland 號ヲ離レテ James 河ニ艦首ヲ向ケテヰタ Merrimac 艦長ガ取舵一杯ニシテ轉回シテヰル間、後部旋回砲ヲアヅカツテヰタ J. T. Wood 海兵大佐ハ、Congress 號ニ3發ノ縱射砲火ヲ浴ビセタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Congress 號指揮ノ Joseph B. Smith 大尉ハ艦首帆ヤ高檣帆ヲ懸ケ、ソシテ海岸砲臺ノ掩護下ニ在ツタ曳船 Zouave 號ノ援助ニヨツテ此ノ危難ヲ遁レヤウトシタ。併シ Congress 號ハ間モナク淺瀬ニ坐礁シタ。ソコハ Merrimac 號ノ艦首ハ屆カナカツタガ、砲火ヲ逃レル事ハ出來ナカツタ。ソノ後ノ出來事ハ副長 Pendergrast 大尉ガ報告書ニ次ノ如ク述ベテヰル。

『3 時 30 分頃 Merrimac 號ハ本艦後方約 150「ヤード」ニアツテ、縱射砲撃ヲ加ヘタ。又小型汽船ノ 1 隻ハ我ガ右舷艦尾ニ砲撃ヲ續ケタ。

ソノ間、敵汽船 PatrickHenry 竝ニ Thomas Jefferson〔Jamestown〕ハ James 河上流ヨリ我ニ接近シ、正確ナル砲撃ヲ以テ多大ノ損害ヲ與ヘタ。

我ガ防禦武器ハ艦尾砲 2 門ノミデ、コレモ直ニ使用不能トナツタ。一ハ砲架ヨリ落チ、他ハ砲口ヲ粉碎サレタ。砲手ハ敵ノ猛烈ナ砲火ニ一瞬掃蕩サレタ。

4 時 30 分頃、約 10 分前ニ Smith 大尉戰死ノ旨ヲ知ツタ。Minnesota 號ハ Hampton Roads ヨリ本艦ニ達スル途中既ニ擱坐シ、敵ニ 1 發ノ砲火ヲモ酬ヒル事ガ出來ズ、ソノ上艦ハ數箇所ニ火災ヲ起シ、最早ヤ救助ノ見込ハナク、一方我ガ兵ノ戰死ハ增ス許リデ、コレ以上ノ生命ヲ損ゼナイ內ニ、軍艦旗ヲ卸ス事ヲ適當ト考ヘタ。

ヤガテ Merrimac 號ヨリ一士官ガ本艦ニ來、本艦占領ノ旨ヲ述ベタ。ヤガテ彼ハ去ツタガ、小曳船ガ舷側ニ來、船長ハ本艦ヲ直ニ燒却

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

スルツモリデアルカラ、降伏シテ艦ヲ去ル事ヲ要求シタ。

我ガ海岸部隊ハ小銃ト大砲ヲ以テ曳船ニ猛烈ナル射撃ヲ續ケ、同船ヲ追ヒ拂ツタ。ソコデ Merrimac 號ハ再ビ、本艦ガ戰鬪力ナキ事ヲ示ス白旗ヲ斜桁外端ニ掲ゲタニモカカハラズ、砲撃ヲ開始シタ。』

南軍ハ砲彈ノ一部ガ敵艦カラ來ルモノト思ツタノデ、非常ニ憤慨シタノデアル。Buchanan 大佐ハ性來興奮性ノ人デアツタノデ、部下カラ騎銃ヲモギ取ツテ Merrimac 號ノ楯ノ上ニ殆ド全身ヲ現ハシテ射撃シタ。併シ彼ノ激怒ト無謀ハ報ヒラレル所大キク、海岸カラノ小銃彈ニ腿ヲクダカレテ、指揮ヲ部下ノ Catesby ap R. Jones 大尉ニ讓ラネバナラナカツタ。南軍汽船ハ海岸カラノ旋條砲ニヨツテ退ケラレタケレドモ、灼熱彈（red-hot shot）ヲ以テ北軍軍艦ニ火災ヲ生ゼシメタ。之ガ爲 Congress 號ハ夜半スギマデ燃エ續ケ、火ガ火藥庫ニ達スルト共ニ爆發シタ。

合戰ノ始メ Minnesota 號、Roanoke 號、St. Lawrence 號ハ Monroe 要塞カラ出テ來テ Roads ヲ溯リ、戰鬪ニ加ハラウトシタ。併シ午後ノ半バ過ギマデニ引潮トナリ、且吃水ガ大キカツタタメニ、3隻共擱坐シタ。3隻ノ內最モ進ンデヰタ Minnesota 號ハ Newport News ノ1浬半以內ニ達スル事ガ出來タガ、Cumberland 號ガ沈ミ、Congress 號ガ降伏スルノヲ見ルノミデ、援助スル事ガ出來ナカツタ。併シ Minnesota 號ガ猛進シテ Merrimac 號ト交戰スル事ガ出來ナカツタトシテモ、同樣ニ Merrimac 號モ亦淺瀨ヲ通過シテ Minnesota 號ヲ攻撃スル事ガ出來ナカツタノデ、ソノタメニ Minnesota 號ハ難ヲ免レタノデア

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ル。

Merrimac 號ノ砲撃ハ餘リ正確デハナカツタ。ソシテ1浬ノ距離デ砲手ハ敵ノ艦首ニ僅カ1發ヲ命中サセタノミデアル。併シ Jamestown 號及 Patrick Henry 號ハ Minnesota 號ノ左舷艦首及艦尾方向ニ位置ヲ占メ旋條砲ヲ以テ多大ノ損害ヲ與ヘタガ、北軍艦船ハ重砲ヲ向ケテコレヲ撃退シタ。

此ノ頃 St. Lawreuce 號ハ Minnesota 號ニ接近シテ再ビ擱坐シタガ、ソコカラ Merrimac 號ニ數度ノ片舷斉射ヲ加ヘタ。合戰ハ6時30分頃終リ、Merrimac 號ノ水先人ハ若シソノママ現在ノ地點ニ止マルナラバ、引潮ノタメニ擱坐スルト告ゲタ。同艦ハソコデ Lewell 岬ニ引キ返シ、ソノ夜ハソコデ碇泊シタ。

南軍ハ斷然勝利ヲ占メタ。戰ハ南軍側歷史家 Scharf ノ言葉ヲ借リレバ「ソノ內100門ハ何時デモ、何レノ地點ヘデモ發砲シ得ル全部デ300門以上ノ兵裝ニ對スル27門〔Merrimac 號及小型汽船ノ砲ノ合計〕デアツタ。」Merrimac 號ハ北軍艦船ノ撃破ニ思フママ動キ廻ル事ガ出來、唯 Roads ノ淺瀨ト操縱性ヲ缺ク爲ニ妨ゲラレタダケデアツタ。北軍艦船ノ重砲竝ニ海岸砲臺ハ、其ノ甲板ヲ掃射シ、「ダビット」、錨、旗竿ヲ打チ拂ツタ。ソノ煙筒ト蒸氣管ハ蜂巢ノ如ク穿孔サレタ。鐵嘴ハ折レ去リ、艦首ハネヂレタ。砲2門ハ砲口ヲ粉碎サレタ。併シ甲鈑ハ殆ドヘコム事サヘナカツタノデ、損害ハ取ルニ足ラヌモノデアリ、南軍ハ敵艦隊撃滅ニ唯夜明ケヲ待ツバカリデアツタ。

Merrimac 號ノ戰勝ノ報ハ早速各方面ニ擴マツタ。南軍ガ狂喜シ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

北軍ガ憂慮ニ充チタノモ當然デアツタ。翌朝（日曜日）ソノ報ガ Washington ニ達スルト直ニ閣議ガ開カレタ。集ツテ來ル閣員ハスベテ驚キヲ明カニアラハシテヰタ。カクテ熟慮ヲ重ネテヰル間ニモ、封鎖ガ今ニモ破ラレ、Richmond ノ戰ヒガ失敗ニ終ルトイフ興奮シタ恐怖ガ口ニ出タ。更ニ New York ニ軍稅ガ課セラレ、Washington ガ燒キ拂ハレナイト誰ガ云ヒ得ヨウ！

一體北軍ノ無力ノ艦船ハ何處デ援助ヲ見出ス事ガ出來ルノカ、然ルニ彼等ノ方デ求メモシナイ救ガ、最モ軍艦ラシクナイ奇妙ナ艦 Monitor 號トナツテ現ハレタ。此ノ艦ハソノ夜9時ニ Hampton Roads ニ到着シタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第17章　Hampton Roads ノ戦 (其ノ 2)
Monitor 號ト Merrimac 號

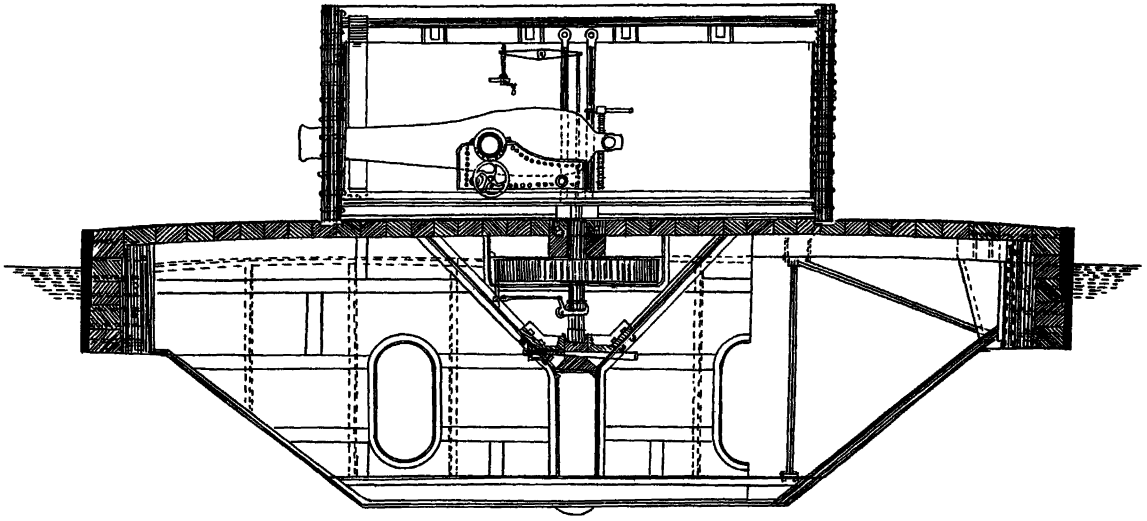
◎建 艦 競 爭

南軍ノ最初ノ裝甲艦ガ、カク華々シク 門出ヲシテカラ、8時間トタタヌ内ニ北軍ノ、コレモ一ノ種ノ最初ノモノデアル裝甲艦ガ同ジ場面ニ登場シタ事ハ一見不思議ナ一致デアツタガ、ソノ一致ニツイテハ說明スベキ事ガ殘ツテヰル。

南軍ハ軍艦ヲ建造シ配員スル力ノナイ事ヲ認メテ、事實止ムヲ得ズ裝甲艦ヲ試ミタノデアリ、前章ニ述ベタ樣ニ、戰爭開始2箇月後、Merrimac 號ノ改造ニ着手シタノデアル。此ノ報道ハ北軍ヲ驚カシ、3, 4 箇月ノ後本省ハ3隻ノ裝甲艦ノ契約書ニ調印シタ。コノ内最少ノ Monitor 號ハ 100 日トイフ未曾有ノ短期間ニ出來上ル事ニナツタ。南北兩聯邦ノ海軍ハ相手方ノ進步ヲ相互ニヨク知ツテヰタノデ、ココニ重大ナル建艦競爭ガ始マツタ。此ノ競爭デハ北軍ハ勝ツタ工場ヤ機械ヲ有スル點ニ於テ優リ、南軍ハ着手ガ早カツタ事ト、敵ガ絕エズ出現スルタメニ刺戟サレル强烈ナル意氣ニ於テ優ツテヰタ。カク敵ガ近クニヰル事ガ南軍ノ今一ノ重大ナル利益トモナツタ。最初ノ決定的打擊ヲ與フルノニ Monitor 號ガ數日ヲ要スル所ヲ、Merrimac 號ハ數時間デヨカツタノデアル。

南軍ハ半日ダケ競爭ニ勝チ、カクテ2隻ノ堅固ナ古イ帆走艦船ヲ擊滅シ得タノデアル。コレモ陸軍ノ受ケタ損害ニ比ブレバ、トルニ足ラ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



TRANSVERSE SECTION THROUGH TURRET OF ORIGINAL MONITOR

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヌモノデアル。併シ海軍ハ一般ニ戰爭ノ衝ニ當ラナカツタトハ云ヘ、艦船ニ依存スル點モ多カツタ。Monitor 號ガモシ Hampton Roads ニ到着スルノガモウ1週間遲カツタトシタラ、戰爭ノ全局面ハ變ツタカモ知レナカツタ。

1861年8月初旬、臨時議會ハ召集サレ、「裝甲艦ノ完成」ニ 1,500,000弗ヲ充當シタ。Joseph Smith 代將、Hiram Paulding 代將、Charles H. Davies 中佐ハ依託サレタ計畫及設計書ノ調査委員ヲ命ゼラレタ。初期ノ海軍ニ關スル事ニハ通ゼザルハナシトイフコレラノ老練ノ士官達モ、ソノ報告書中ニ、「造艦ノコノ方面ニハ經驗モナク、知識モ乏シイタメ、コノ問題ニ對シテハ自信ガナイ」旨ヲ述ベテヰル。併シ彼等ハ責任ヲ回避セズ、細心ノ調査ノ後、Monitor 號、Galone 號 New Ironsides 號ノ設計案ヲ是認シ、直ニ建造ニ着手シタ。實際海軍省ノ書記ガ正式契約書ヲ作成シテヰル時ニハ、既ニ Monitor 號ノ龍骨材ハ展鐵工場ニ廻ハサレテヰタ。Monitor 號ハ 1862年1月30日ニ進水シ、2月19日政府ニ引渡サレタ。

Monitor 號ノ設計書ハ John Ericsson トイフ 1803 年 Sweden 生レノ人デアツタ。彼ノ奇才ハコノ裝甲艦建造ニ天才トナツテ現ハレタ。同艦ハ淺イ灣ヤ南部諸州ノ河川ノ航海ニ適スルタメ吃水ガ小サカツタ。吃水ガ小サイタメニ裝甲舷側ヲ高クスル事ハ出來ナカツタノデ、ソノアラハレテヰル部分ハ少ナク、ソレハ嚴重ニ裝甲サレ、當時ノドノ砲ニ對シテモ安全デアツタ。操縱ガ不可能ナ狹イ河川デ、少數ノ大砲ヲ使用シ得ル樣ニ旋回砲塔ガ用ヒラレタ。水線下部ノ機械ハ廣

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

イ張出ニヨリテ保護サレタ。推進器及舵モ亦有力ナ武器デアツタ。艦首尾竝ニ舷側ノ張出ハ荒海ニ於ケル安定ヲ増大シタノミナラズ、衝撃及水線部ヘノ砲撃ニ對スル防備トモナツタ。

Monitor 號ノ原型ハ簡單ニ云ヘバ、筏ノ上ニ砲塔ヲ乘セタモノデアリ、全體ヲ平底船ノ上ニ置タモノデアル。同艦ハ積載量 776 噸、全長 172 呎、幅 41 1/2 呎、吃水 10 1/2 呎、砲塔ノ內徑 20 呎、砲塔ノ高サ 9 呎デアツタ。砲塔ハ各厚サ 1 吋デ、シツカリ螺釘デトメタ 8 枚ノ厚イ鍛鐵板デ出來テヰタ。水面上殆ド 2 呎モ出テヰナイ船體ノ舷側ハ 5 吋ノ甲鈑ニヨツテ保護サレ、甲板ノ厚サ 1 吋ノ被板デ掩ハレタ。兵裝ハ 11 吋 Dahlgren 砲 2 門、ソノ砲口ハ相竝ンダ砲門カラ突キ出テヰタ。砲ガ引込メラレルト、砲門ハ振子ノ如ク運動スル重イ鐵ノ「ストッパー」デ閉サレタ。

Monitor 號ガ進水シ、懷疑論者——ソノ數ハ多カツタガ——ニ少ナクトモ同艦ガ浮キ得ル事ヲ信ゼシメタ後デモ、同艦ノ勤務ハ危險ダト考ヘラレタノデ、乘組員ハ選拔ノ上配員サレタノデハナク、志願者ヲ募ツタノデアル。J. L. Worden 大尉ガ艦長トナリ、S. O. Greene 大尉ガ副長デアツタ。

◎Hampton Roads ヘノ難航

Monitor 號ハ Long Island ノ Green Point デ建造サレタ。ソシテ 2 回ノ短期間ノ不滿足ナ試運轉ノ後、Hampton Roads ニ向ツタ。曳船 Seth Low ニ引カレテ、3 月 6 日木曜日ニ New York ヲ出發シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ソノ危險デアツタ航海ニツイテハ、Greene 大尉ガ 1 週間後、母ニ宛テタ手紙ニ次ノ様ニ書イテヰル。

「正午頃（金曜日）風ガ加ハツテ海ガヒドク荒レマシタ。午後ニナルト波ハ猛烈ニ甲板ニ碎ケ、洪水トナツテ前部錨鎖孔筒ニ入リマシタ。居住甲板昇降口ハドンナニシテモ水ガ入リ、司令塔ノ下ニハ瀧ノ様ニ落チマシタ……更ニ操舵室ノ小サナ覗キ孔カラ猛烈ニ侵入シマシタノデ、舵手ガ舵輪ノ傍ニ打チ倒サレタ程デシタ。」

Monitor 號ノ乘組員ハアラユル種類ノ困難ニ直面シナケレバナラナカツタ。水ハ潮ノ如ク甲板ヲ越エタノデ、送風機ヤ煙筒カラ侵入シタ。機關科士官モ火夫モヤツト窒息ヲ免レタ。機械ガトマツタ時ハ「ポンプ」モ用ヲナサナクナリ、船艙内ノ水ハ刻々增加シタ。風ハ西風デアツタノデ曳船ニ海岸ニ接近スルヤウ信號シテ、稍穩カナ海上ニ出テ、乘組員ハ救ハレタ思ヒデアツタ。午後 6 時ニハ機械ガ動キ出シ深更マデハ萬事好都合デアツタガ、淺瀨ヲ過ギル時、再ビ荒海ニ出タ。此ノ時舵索ハ舵取裝置カラトビ去リ動カナクナツタ。艦ハモウ少シデ浸水シテ沈沒スル所デアツタ。併シ勇敢ナ忍耐ヲ以テ Worden ヲ始メ部下ハ暴風ヲ凌ギ越ス事ガ出來タ。翌日午後 4 時 Monitor 號ハ Cape Henry ヲ通過シ、日沒後間モナク、Monroe 要塞ニ到着シタ。既ニ本省カラ所在先任將校 Roanoke 號ノ Marston 艦長ニ發セラレテヰタ命令ニヨレバ、Monitor 號ハ同地着後直ニ Washington ニ向フ事ニナツテヰタ。併シ Hampton Roads ニ於ケル危機ニ鑑ミテ Marston 大佐ハ命令ヲ無視シ、艦隊防禦ノタメ同艦ヲ引止メル決心ヲ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シタ。

◎兩裝甲艦ノ交戰

1862年3月9日（日曜日）朝日出後間モナク Merrimac 號ハ Patrick Henry, Jamestown ノ2艦ヲ從ヘテ航行ヲ開始シ、Monroe 要塞ニ針路ヲ向ケ、次イデソノ前日 Minnesota 號ガ難航シタ水道ニ達シ、徐ニ方向ヲ變ヘテ北軍軍艦ニ向ツテ來タ。尙1浬ヲ隔テテヰル時 Merrimac 號ハ砲撃ヲ開始シ、水線部近クノ艦尾突出部ノ下ニ命中サセタ。併シ大シタ損害ヲ加ヘナイ內ニ Monitor 號ガ Minnesota 號ノ影ヨリ現ハレ勇敢ニ Merrimac 號ト交戰スルタメ進ンデ來タ。同艦ノ妙ナ形ハ Merrimac 號ノ見張員ヲ不審ガラセ、南軍ノ Davidson 大尉ハ「Minnesota 乘組員ハ筏デ艦ヲ去リツツアリ」ト言ツタト傳ヘラレル、ヤガテ新艦ハ Ericsson ノ發明シタモノト分カリ、コノ奇怪ナ『中央ニ巨大ナ「チーズ」箱ノツイタ、海ニ浮ベル大キナ石』ニツイテ色々ナ事ガ云ハレタ。

一見極メテ不吉ナ場合デアルノニ Monitor 號ノ士官及乘組員ハ異常ナ勇氣ヲ以テ挑戰シタ。其ノ前夜彼等ハ懸命ニ合戰準備ニ努メタ、其ノ前ノ2日1晩ハ命ガケノ目ニアヒ、ヤツト難破ヲ免レタ事モ2度アツタノデアル。斯クテ48時間彼等ハ殆ド不眠不休デアツタ。北軍艦隊ヲ包ンデヰル不吉ナ豫感ヲ物トモセズ、小サナ、初メテノ艦ニ乘ツテ、事實上無敵トイフ事ガ分ツテヰル敵ニ向ツテ行ク事ハ普通ノ意氣デハ出來ナイ事デアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

8時30分頃 Monitor 號ガ敵ニ近接スルヤ、艦長 Worden 大尉ハ Merrimac 號ノ正横ヲ通過スル様ニ針路ヲ變ヘ、砲撃開始ヲ命令シタ。砲門ハ開カレ、砲ハツキ出サレテ巨彈1發 Merrimac 號ヲ見舞ツタ。之ニ對シ Merrimac 號ハ片舷齊發ヲ以テ應戰シタ。次イデ兩艦ハ行キ過ギタガ、更ニ方向ヲ變ヘ再ビ稍接近シテ來タ。砲撃ハ規則的ニ行ハレタ。Monitor 號ハ 7, 8 分毎ニ發砲シ充實彈ヲ使用シタ。Merrimac 號ハ數ニ於テ勝ル大砲ヲ以テモツト頻繁ニ發砲シタガ、中空彈ノミヲ使用シタ。Merrimac 號ノ打チ出ス彈丸ハ初メ的ヲ外レタ。ソレハ前日ノ「フリゲート」艦ニ比シズツト標的ガ小サカツタ爲デアル。後ニナツテ彈丸ハ命中シタガ、Monitor 號ノ砲塔ハ無事ニ、自由ニ廻轉シツヅケタ。コノ事實ハ砲塔内ノ者ニハ初メテ實地ニ實驗サレタノデ、非常ナ安心ヲ與ヘタ。併シ3度アツタ事デアルガ、砲塔ニ敵彈ガ命中シタ時、其ノ内壁ニ少シデモ、モタレテヰルト打チ倒サレテ氣絶シタ。砲塔調節機械ヲ アヾカツテヰタ砲塔長 Stodder ハ 10 時頃負傷シテ運ビ下サレネバナラナカツタ。幸ヒ監督官トシテ乘艦シテヰタ機關長 Stimers ハ戰爭參加ヲ熱望シ、ソシテ艦員ノ誰ヨリモ砲塔ノ機械ヲヨク知ツテヰタノデ、大ニ役立ツタ。

Monitor 號ハ艦首ニ錨入レガアルタメニ衝撃スルニハ適シテヰナカツタ。錨入レハ人ヤ機械ヲ敵ノ砲火ニ曝ス事ナク 錨ヲ艦底カラ 上ゲ下ゲスル事ノ出來ル様ニ Ericsson ノ工夫シタモノデアツタ。併シ Worden 大尉ハ味方ノ 11 吋重砲彈ガ Merrimac 號ノ傾斜セル舷側ヲカスメテヰルノヲ見タノデ、有利ナ地點ヲ占メテ敵艦ノ舵ト推進器ト

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ破壊スル目的デ衝撃ヲ試ミタ。3 呎目標ヲ誤ツテ Monitor 號ハ Merrimac 號ヲソレテ通過シタ。

Merrimac 號トノ交戰ニ於テ Monitor 艦長ノ戰闘計畫ノ一ハ味方ノ Minnesota 號ヨリ少シ隔ツタ地點デ砲戰シテ Minnesota 號ヲ掩護スル事デアツタ。併シ Merrimac 號ハ Minnesota 號ト餘リ離レテ居ナカツタノデ、合戰中 Monitor 號ガ暫時後退シタ間ニ、Merrimac 號ノ指揮官 Catesby ap. R. Jones 大尉ハコノ木造艦ニ注意ヲ集中シタ。之ニ就テ Minnesota 號ノ Van Brunt 大佐ハ次ノ樣ニ述ベテヰル。

「敵艦ガ再ビ接近シタ時、余ハ全部ノ舷側砲ト 10 吋旋回砲ヲ以テ砲火ヲ開イタ。木造艦ナラバドレテモ水上ヘ吹上ゲテシマフ程ノ片舷齊發デアツタ。敵艦ハコレニ應ズルニ艦首旋條砲ニヨリ中空彈ヲ以テシ我ガ船體中央部ノ機關長私室、機關科食堂ヲ貫キ、掌帆長室ニ炸裂シソノ通過ノ際 4 室ヲ貫通シ、2 發分ノ裝藥ヲ爆發セシメタノデ我艦ハ火ヲ發シタガ、一番分隊長ノ指揮スル一隊ニヨツテ直ニ消シ止メタ。敵艦ノ第 2 發ハ曳船 Dragon 號ノ汽罐ヲ貫通シタ。」

Merrimac 號ガ第 3 發目ノ榴彈ヲ發スル時マデニ Monitor 號ハ再ビ攻勢ヲトツテ Minnesota 號ト Monitor 號ノ中間ニ入リ敵艦ヲシテソノ位置ヲ變ヘシメタ。其ノ際敵艦ハ擱坐シタガ 15 分ノ後浮キ上リ、Monitor 號ニ追ハレテ灣口ノ方ニ向ツタ。然シ Merrimac 號ノ策略ニ過ギナカツタ。即チ深海ニ達スルト、注意深イ運動ノ後 Monitor 號ニ衝撃ヲ企テタ。併シ小サイ方ノ Monitor 號ハ小サイダケニ遙ニ敏捷デアツタノデ舵輪ヲ轉ジテ僅カニ擦過打撃ヲ受ケタダケデアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Cumberland 號ト共ニ沈ンダ Merrimac 號ノ重イ鐵嘴ハマダ補充出來テヰナカツタ。ソコデ艦首ノ輕イ鐵製ノ「シユー」(shoe) ハ Monitor 號ノ鋭イ縁デ切ラレタ。其ノタメニ、前日假ニ一時的ニトメテアツタ漏洩箇所ガ破レタ。觸接ノ瞬間 Greene 大尉ハ Merrimac 號ノ前部砲廓ニ 180 听ノ實彈ヲ打チコンダ。彼ハ戰ノ終ル頃旋回砲ヲ離レルマデ Monitor ノ砲撃全部ヲ自分デヤツテヰタノデアル。此ノ彈ハ鐵板ヲ破ツテ木材ヲ曲ゲタ同一箇所ニ後1彈打チ込メバ多分穿孔シ得タデアラウ。本省ノ命令ニヨツテ裝藥ニハ 15 听ノ火藥ダケガ用ヒラレテヰタ。後ニナツテソレデモ大キスギナイ事ガ分ツタガ、モシ 30 听ノ火藥ガ用ヒラレテヰタラ、數發ノ砲彈ハ裝甲ヲ貫イタト思ハレル。Merrimac 號ノ砲手ハ激動ノタメ口ヤ耳カラ出血シタガ、ソレ以上ノ被害ハナカツタ。

Monitor 號ハ2時間ノ交戰ノ後砲塔ノ彈藥ガ缺乏シ始メタ。ソシテソレハ砲塔ノ穴ヲ昇降口ノ眞上ニ持ツテ行ク事ニヨツテノミシカ補給ノ道ハナカツタノデ、同艦ハ、Merrimac 號ガ追ツテ來ル事ガ出來ナイ淺瀬ニ退イタ。15 分後又引返シテ交戰ノ準備ガ出來タ。

此ノ時交戰ハ3時間續イテヰタガ敵味方何レガ優劣トモ分ラナカタ。共ニ防禦ニ強ク、オ互ニ攻撃ニ骨折ツタ。Merrimac 號ハ嵩張ツテ扱ヒニククク其ノ 22 呎ノ吃水ハ Hampton Roads ニハ不適當デアツタ。煙筒ハ前日ノ戰ニ蜂ノ巢ノ様ニ穿孔サレテ火ガウマク燃エズ、鍮點ノアル機械ハ殆ド動カナイマデニ蒸氣ハ弱クナツタ。Monitor 號ハ遙カニ小サク、12 呎ニ足リヌ吃水デアツタノデ舵ハヨクキイタ。又敵

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

艦ノ2倍ノ速力ヲ有シテヰタノデ操縦ニハ著シク優ツテヰタ。同艦ハ敏捷ニ動キ廻ツテハ Merrimac 號ガ暫クハ砲ヲ向ケル事ノ出來ナイ地點ヲ占メ、敵ニ脅サレル時ニハ敵ノ巨艦ガ追フ事ノ出來ヌ淺瀬ニ退却スルノデアツタ。併シ Monitor 號ノ砲塔ノ操作ニ臨ミ困難デアツテ、動カシ難ク、一旦動カスト停止サセルノガ更ニ困難デアツタ。從ツテ其ノ結果砲ハ「飛翔中ニ」發砲シナケレバナラナカツタシ、又砲塔內ノ砲手ガ見得ル外界トイフノハタダ砲ト砲門トノ間ノ狹隙間ヲ通シテ見得ル範圍ダケデアツタノデ、之ヨリ照準スル事ハ決シテ容易ノ業デハナカツタ。砲塔ノ轉回ニヨツテ砲手ハ方向ガ分ラナクナツタ。下部ノ固定臺ニ描カレタ白色ノ目盛ハ間モナク煤デ見エナクナツタノデ、操舵室カラ敵艦ハ今右舷ニ當ルトカ、左舷艦首ニ當ルトカノ傳令ガ來テモ、砲手ハ標準トスルモノガ殆ド無カツタノデアル。煙ハ混亂ノ中デ Monitor 號ノ砲ガ自艦ノ操舵室ノ方ニ旋回シハシナイカト Greene 大尉ハ氣ニ病ンデヰタ。操舵室ハ艦首ノ殆ド先端ニアツタノデ、船體ノ長サノ 1/3 バカリ砲塔カラ離レテヰタ。操舵室ト砲塔トノ通信ハ通報筒デ行ハレタ。之レガ交戰後間モナク使用不能ニナツテ、主計少佐ト船長秘書トガ傳令ニ用ヒラレタ。彼等ハ海上訓練ヲ受ケテヰナカツタノデ命令ハ時々正シク了解サレナイ事モアツタ。

11時半頃 Merrimac 號ノ砲手ハ Monitor ノ砲塔ヲ損傷スル事ヲ斷念シテ操舵室ニ砲火ヲ向ケタ。操舵室ハ甲板上ニ4呎出テ居リ、隅ノ所デ鳩尾ヲ止メテアル厚サ9吋、深サ12吋ノ鍛鐵ノ梁デ出來テヰタ。人員ヲ一パイニ乘セテ、ソコニハ Worden 大尉、操舵員、水先人ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

3人ガ入ツテヰタ。鐵ノ梁ノ中間ニアル、覗キ穴ノ役目ヲスル長イ狹イ隙間カラ Worden ガ覗イテヰル間ニ僅カ數「ヤード」離レタ Merrimac 號カラ發射シタ中榴彈ガスグ外側デ爆發シタノデ、彼ハ火藥ノ鐵ノ細片ノタメ顔ト眼トニ重傷ヲ負フタ。其ノ炸裂ハ螺釘デハ止メズニ溝ニ嵌メテアツタ司令塔ノ重イ鐵ノ蓋ヲ少シ引キ上ゲタ。痛ミガ激シク一時的ニ視力ヲ失ツタケレドモ、Worden ハ落着キヲ失ハナカツタ。上部カラ流レ込ム光ニ氣ガツイテ彼ハ操舵室ガ破壞サレタト思ヒ、變針スル樣ニ命令シタ。ソシテ艦ハ Monroe 要塞ニ向ヒ、淺瀨ニ入ツタ。

Worden ヲ船室ヘ運ンデカラ、指揮ヲ命ゼラレタ Greene 大尉ハ Monitor 號ハ Merrimac 號ノ行カレナイ所ヲ漂流シテヰルケレドモ、依然トシテ交戰可能デアル事ヲ知ツタ。操舵室ハ殆ド損傷ヲ蒙ラズ、舵取裝置ハ無事デアツタ。ソコデ15分乃至20分ノ後 Monitor 號ハ再ビ Merrimac 號ニ向ツタ。併シ敵ハ退却シテ Norfolk ニ歸ル所デアツタ。Monitor 號ハ暫ク追擊シ交戰ノ意志アル事ヲ示シテ數發發砲シタ後、Minnesota 號ノ所ヘ引キ返シタ。コレハ12時少シ過ギデアツタ。合戰ハ約4時間續イタガ兩裝甲艦トモ1人モ失ハナカツタ。

Merrimac 號ガ退イタ事ニツイテ敵味方トモ後ニナツテ驚キヲ示シテヰル。Minnesota 號ノ Van Brunt 大佐ハ、ソノ報告書ニ Worden ノ負傷後 Monitor 號ノ退クノヲ見テ、彈藥ノ缺乏ノタメカ、或ハ大キナ損傷ヲ受ケタタメデアラウト考ヘタト云フテヰル。更ニ彼ハ Minnesota 號ハ擱坐シテ動ケナイシ、彈ハ殆ド使ヒツクシタタメニ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

若シ Merrimac 號ガ引返シテ攻撃スレバ、自ラ艦ヲ沈メル決心ヲシタトモ云ツテヰル。

Catesby Jones ハ手嚴シク批評ヲ受ケタガ自分ノ行動ニ就テ次ノ如ク辯護シテヰル。

「我艦ハ Monitor 號ニ衝撃シテ漏洩箇所ヲ生ジ、敵ノ1彈デ殆ド機械ヲ駄目ニスル所デアツタガ、敵艦ガ淺水地ニ入ルマデ交戰ヲ續ケタ。Minnesota 號ノ損害ハ甚シク、再ビ活動スルトハ信ゼラレナカツタ。水先人ハ同艦ニ是レ以上接近スル事ヲ拒ンダ（彼等ハ前ニ我艦ヲ擱坐サセタ）。12時頃水先人ハ今 Norfolk ニ行カナケレバ翌日マデ行ク事ガ出來ナイト言明シタ。」此ノ辯明ガ充分滿足ナモノデナイトスレバ南軍海軍士官 Davidson 大尉ノ書簡ガ更ニ參考トナラウ。「我ガ乘組員ハ2日1夜ノ最モ猛烈ナ砲撃ニ因テスツカリ疲勞シテヰタ。」

交戰中 Monitor 號ハ41發ノ鑄鐵實彈ヲ發射シタ。射撃ガウマク行ツタ證據ハ Merrimac 號ガ乾船渠ニ入ツタ時ニ分ツタ。其ノ甲板ノ凹ミ100箇所ノ內21箇所ハ Monitor 號ノ砲彈ニヨルモノト認メラレタ。又 Merrimac 號ノ外側鐵板ノ6枚ハ破レテ取リ換ヘネバナラナカツタガ內側ハ無事デアツタ。Monitor 號ハ22回敵彈ヲ受ケタ、砲塔ノ甲鈑ハ1箇所 2 1/4 吋凹ンダガ鐵板ハイヅレモ破レナカツタ。併シ既ニ述ベタ樣ニ操舵室ノ鍛鐵梁ノ一ハ68所彈ノタメ破碎サレタ。

◎戰　　果

兩裝甲艦ニ直接關スル限リ Monitor 號ト Merrimac 號ノ交戰ハ3

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

月9日正午ニ終了シタ。併シ机上ノ研究ニ依ルニ、此ノ戰ハイヅレガ勝者デアルカハ結局不明デアツタ。敗北デアレ、勝者デアレ、引分ケデアレ、兎ニ角北軍ハ最大ノ憂慮ヲ取リ除カレタ。Minnesota 號ハ其ノ著シイ防禦力ニヨツテ Minnesota 號、Roanoke 號竝ニ St. Lawrence 號ヲ救助シタ。又北軍ノ重大地點デアル Hampton Roads ノ封鎖ハ破ラレナカツタ。同艦ハ海上ニ於ケル優越ヲ北軍ニ保證シタ。前日ノ絶對的敗北ニヨツテ北部政府ノ感ジタ恐怖ト落膽ハ和ラギ、南軍ノ狂喜ハ止ンダ。

此ノ戰ノ結果ハ極メテ重大デアツテ、其ノ戰局ヘノ影響ハ Gellysburg 竝ニ Vicksburg ノソレト竝ビ稱セラルベキデアル。其ノ名聲ハ他ノ理由モ同樣ニアルケレドモ、海外ヘ響イタ。「恐ラク世界史上 Hampton Roads ニ於ケル Monitor 號對 Merrimac 號ノ海戰程多クノ注意ヲ惹イタモノハナイデアラウ。ソレハ世界ノ海軍ニ革命ヲ齎ラシ、今マデ長ラク制海權ヲ握ツテキタ木造船舶ハ、モハヤ戰時ニハ役立タヌ事ヲ明カニシタ。」

保守的ナ London Times 紙ハ海戰ノ報ヲ受ケテ曰ク、「我々(英國)ハ直ニ使用シ得ル149隻ノ一流艦船ヲ有シテキルガ今ヤ2隻シカ持タナイ事ニナツタ。ソレハ Warrior 號トソノ姉妹艦 Ironside 號デアル。此ノ2隻以外英國海軍ニハカノ小艦 Monitor 號ニ常識ヲ以テ對抗セシメ得ルモノハ1隻モナイ。」

北軍ハ直ニ更ニ改良サレタ「モニター」艦ノ建造ニ着手シタ。之ガ爲英佛兩國ガ南部聯邦ノタメ武力干涉ヲスル危險ハ實質的ニ減ジタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

◎Monitor, Merrimac 兩艦ノ其ノ後

兩軍ハ爾後ノ海戰ニ於テ敵ノ裝甲艦ヲ襲撃又ハ衝撃スル細密ノ計畫ヲ立テタ。併シ兩軍共敗北ノ悲慘ナル事ヲ思ツテ、決定的勝利ヲ約束スル條件ニヨラザル限リハ戰フ事ヲ避ケテヰタ。

Merrimac 號ハ修理後 Roads ニ2度現ハレタガ北軍艦隊ヲ攻撃スル事ナク、其ノ後合戰ハナカツタ。1862年5月10日南軍ガ Norfolk, Portsmouth カラ撤退シタ時、Merrimac 號ヲドウ處置スルカノ問題ガ起ツタ。同艦ノ指揮ヲ繼イダ Tattnall 代將ハ同艦ノ吃水ガ大キイタメ、計畫通リ Richmond 防備ノタメ James 河ヲ溯ル事ヲ斷念シ、火ヲ放ツテ5月11日ニ同艦ヲ破壞シタ。

Monitor 號ノ經歷モ亦簡單デアツテ、其ノ相手艦ヨリ半年ト少シヲ生キ延ビタニ過ギナカツタ。同艦ハ再ビ戰ニ活躍シタ。ソレハ 1862年5月15日 Monitor, Galena, Aroostook, Nangatach, 及 Port Royal ノ諸艦ニヨル Richmond ノ下流7哩ノ Dreury's Bluff 砲撃デアツタ。裝甲艦 Galena 號ハ敵彈ニヨリ 18 回貫通サレ 13 名ノ死者ト 11 名ノ負傷者ヲ出シタ。Monitor 號ハ3度敵彈ヲ受ケタガ損害ハナカツタ。近代史デ最モ有名ナ同艦ノ最後ハ 1862 年ノ年末ノコトデアツタ。12月29日 Rhode Island 號ニ曳カレ South Carolina ノ Charleston ニ向ツテ Hampton Roads ヲ出港シタ。30日ノ夕刻マデ萬事好都合デアツタガ、Cape Hatteras Shoals ノ南約15哩ノ所デ荒天ニ遭ヒ、ヒドク針路カラソレタ。風ハ南風デアツタ。Rhode Island 號ガ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

曳索ヲ以テ早ク針路ヲ變ヘ疾風ニ順走スレバ、Monitor 號ハ助カッテヰタデアラウガ、Rhode Island 號ハ斷乎トシテソノ針路ヲ變ヘナカッタ。夜8時頃波ハ益荒レ其ノ頃ヨリ深更マデ J. P. Bankhead 中佐ハ Monitor 號乘組ノ部下ト共ニ勇敢ニ波ト闘ッタ。波ハ幾度モ甲板ヲ洗ヒ、多クノ隙間カラ浸水シテ、機械ノ運轉ハ次第ニ困難ニナッタ。深更少シ前 Rhode Island 號ノ2隻ノ短艇ハ此ノ難破船ノ乘組員ヲ運ビ始メタ。Monitor 號ハ殆ドズット水ニ浸ッテヰタノデ、荒レル海デノ此ノ作業ハ極メテ困難デアッタ。Monitor 號ノ士官4名、兵 12 名ハ行方不明トナッタ。Bankhead 中佐ガ Rhode Island 號ニ乘リ移ッテ間モナク、Monitor 號ノ砲塔ノ赤燈ガ消エタ。波ガ同艦ヲ呑ンデシマッタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

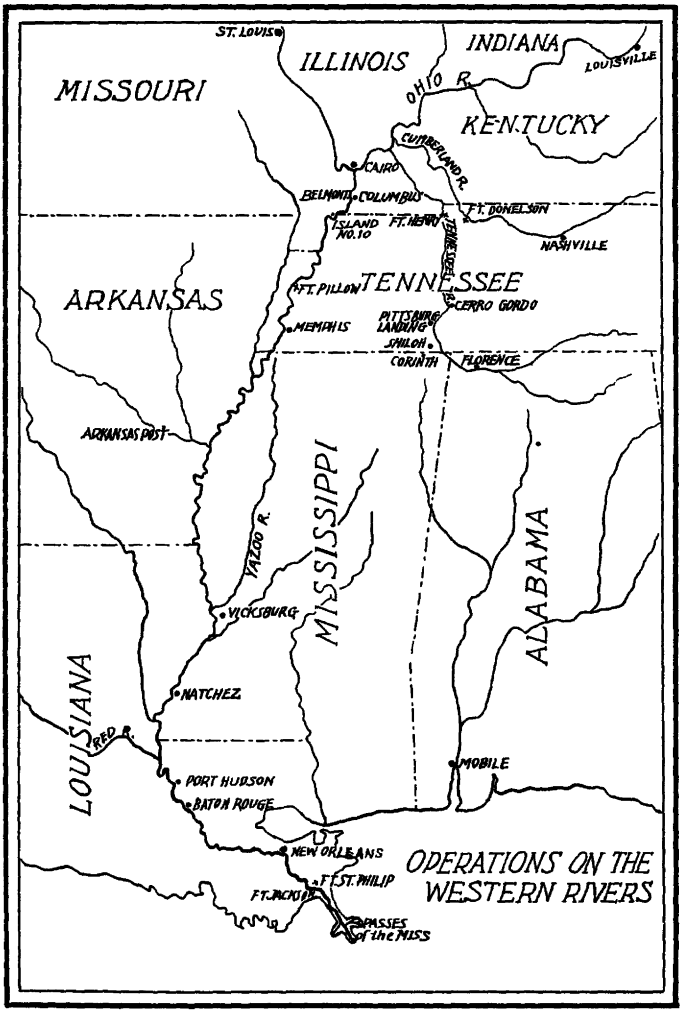
第18章　西部河川ニ於ケル戰

Mississippi 河及其ノ支流ノ制覇ノタメ陸海軍協同作戰ノ計畫ハ、戰ノ始マツタ頃海軍長官ノスヽメタ3綱要ノ1ツデアツタ。是ハ北部中央諸州ノ人民ニ殊ニ直接訴ヘル所ガアツテ、彼等ハ若シ北部聯邦ガ分裂スル時ハ水路、通商路ガ無用ニナル事ヲ知ツテヰタ。彼等ハ又 Mississippi ヲ抑ヘタ方ノ軍ハ容易ニ敵地ニ進擊シ得ル事ヲ知ツテヰタ。

2大河及3州ノ接觸點ニ當ル Illinois 州ノ Cairo ハ戰略地點ヲ占メ、北軍艦隊ニトツテノ造兵廠トモ需品庫トモナツタ。Cairo ヨリ南部ノ Mississippi 流域水路 1,097 哩、直線ニシテ 480 哩ハ 1861 年ニハ南軍ニ抑ヘラレテヰタ。南軍ハ亦 Kentucky 州ノ Columbus (Cairo ノ下流 21 哩) ヨリ東方 Henry 要塞、Donelson 要塞、Cumberland 山脈ニ至ル强力ナ砲壘線ヲ築イテヰタ。北軍ハコノ砲壘線ヲ攻擊シテ 1862 年ノ初メ數度ノ重要ナル勝利ヲ占メタ。ソシテ海軍ハ必ズシモ重要素デナカツタガ、確ニ缺クベカラザルモノデアツタ。

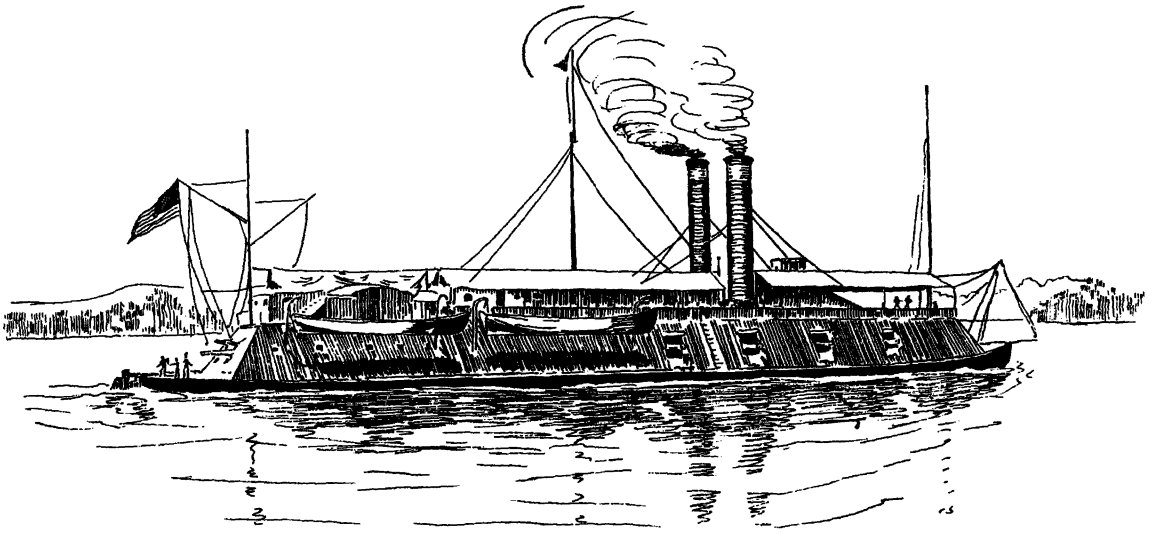
防禦力大ニ、淺イ河川デノ行動ニ適シタ砲艦ガ直ニ必要トナツタノデ政府ハ 1861 年 8 月 St. Louis ノ James B. Eads ト 7 隻ノ裝甲艦ヲ契約シタ。之等ノ艦ハ大キサ、形ガ等シク、長サ 175 呎、幅 51 1/2 呎、吃水 6 呎デアツタ。各 13 門ノ重砲ヲ備ヘ、35 度ノ傾斜ヲ有シ其ノ前端部ハ機械ト竝行シテ 2 吋半ノ鐵板ガ張ツテアル砲廓ヲ有シテヰタ。艦尾ノ前部ノ孔ニ 1 ツノ大キナ推進車ガアツテ、ソレハ砲廓ト舷側ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



OPERATIONS ON THE WESTERN RIVERS

HP『海軍砲術学校』公開史料



U. S. S. LOUISVILLE

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



Andrew H. Foote

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヨツテ敵彈カラ防護サレテアツタ。契約書ニ記サレタ速力ハ1時間9浬デアツタ。斯クテ 1862年1月砲艦 St. Louis, Carondelet, Cincinnati, Louisville, Mound City, Cairo, 及 Pittsburg ノ7隻ガ建造サレ實戰ニ備ヘラレタ。此等ノ諸艦ト政府所有 Snagboat Benton 號（强力ナ裝甲艦ニ改造）ガ戰爭中河川艦隊ノ中核ヲナシタ。

艦隊ハ陸軍省ノ統轄ノ下ニ準備サレタ。併シ海軍省モ士官ノ1人ヲ特派シテソノ仕事ニ協力シタ。John Rodgers 中佐ガ建設ニ着手シ、1861年9月6日ニ彼ト交代シタ Andrew H. Foote 大佐ガ完成シタ。Foote 大佐ハ眞ノ海軍軍人デアツタノデ海上ノ指揮ヲ好ンダデアラウ。何トナレバ、彼ニ與ヘラレタ特別ノ任務ハ河川ノミナラズ陸地、沼澤地ノ作戰ヲモ含ミ、彼ノ長イ海軍生活ニ會ツタ事ノナイヤウナ問題ニ遭遇シタ。砲艦ノ性能スラモ分ラヌ樣ナ陸軍將校ノ命ヲ受ケ、陸軍省ノ指揮ニ從ツテヰル事モ少ナカラヌ困難ヲ伴ツタ。艦隊ヲ艤裝スルノニ材料、金錢、信用ノ缺乏ニ度々惱ンダガ、立派ナ忍耐ト決意ヲ以テ仕事ヲ進メタ。彼ハ後此ノ艦隊ヲ以テ收メタ成功デ高名ヲ博シタガ、戰爭ハ第二次的デアリ、艦隊ノ完成ガ彼一生ノ最大ノ仕事デアルト考ヘテヰタト傳ヘラレル。

◎Belmont ニ於ケル合戰

河川艦隊ガ立テタ最初ノ重大ナ功績ハ 1861年11月7日ノ事デアツテ、此ノ日ハ Du Pont ガ Port Royal ヲ占領シタ日デアツタ。Grant 將軍ハ 3,000 ノ部隊ヲ以テ Columbus カラ Mississippi ノ對岸

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ當ル Missouri 州 Belmont ニ於テ 2,500 ノ南軍部隊ヲ奇襲シタ。北軍陸軍ハ Walke 中佐ノ Tyler 號ト Stembel 中佐ノ Lexington 號ニ護衛サレテ輸送船デ河ヲ下ツタ。兩艦ハ Conestoga 號ト共ニ前年ノ夏 Rodgers ガ購入シ木造ノ砲艦ニ改造シタ河用船デアツタ。

北軍陸軍ハ進ミナガラ前面ヲ掃蕩シタ。併シ決定的優越ヲ收メタ後、退却命令ニ從フ事ガ遲スギタ。其ノ結果彼等ハ Columbus カラ渡ツテ來タ南軍ノ大部隊ノ援兵ニ壓倒サレヨウトイフ焦眉ノ危險ニ陷ツタ。Belmont ニ面スル Columbus 上流ノ南軍重砲砲臺ト既ニ3度戰ヲ交ヘテヰタ砲艦隊ハ今ヤ有利ナ地點ヨリ、正ニ輸送ノ途ニアル北軍ヲ攻擊セント前進中ノ南軍部隊ニ向ツテ砲火ヲ開始シタ。葡萄彈、鐵筒彈及5秒信管榴彈ヲ以テ南軍ヲ縱射シ、多大ノ損害ヲ與ヘテ退却セシメタ。兩艦ハ輸送船ガ航行中モ援助スル機會ガアツタ。其ノ上河ヲ數浬モ溯ツテカラ McClernand 將軍ガ部隊ノ一部ガ殘ツテヰル事ヲ氣附イタ時ニ、砲艦ハ引キ返シテ負傷セル40名ノ捕虜ヲ ツレタ部隊ヲ乘艦サセテ Cairo ニ歸ツタ。此ノ事件ハ海軍史上重要デナイ樣ニ見エルカモ知レナイガ、Tyler 號ト Lexington 號ノ働キガナケレバ、北軍ノ大部分ガ捕虜ニナル事ハ避ケラレナカツタデアラウ。若シソンナ慘事デモ起レバ Grant ノ不信ヲ引キ起コシ、彼ガソノ材ヲ示ス機會ヲ與ヘラルル事ヲ長ク妨ゲタカモ知レナイ。

◎要 塞 ノ 占 據

1862年1月 Grant ガ麾下ノ軍隊ノ訓練ヲ終ヘ、Foote ガ7隻ノ裝

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

甲艦ヲ整備スルト、彼等ハ南軍防備線ノ攻撃ヲ考ヘタ。地ノ利ト重砲砲臺ヲ有スル Columbus ハ長期間攻撃ニ堪ヘル事ガ豫想サレタガ、Henry ト Donelson ノ兩要塞ハソレ程堅固デハナカツタカラ、モシソレガ陷落スレバ北軍ハ Tennessee, Alabama, Mississippi ニ接近スル事ガ出來、Columbus ノ撤退ヲ餘儀ナクサセル事ガ出來タ。

ソコデ Foote ハ Henry 要塞攻撃ノ許可ヲ Halleck 將軍ヨリ受ケ、4隻ノ裝甲艦ト3隻ノ木造砲艦トヲ率キテ2月2日 Cairo ヲ出發シタ。Tennessee 河ヲ上ルノハ機雷ニ妨グラレテ遲々トシテヰタ。艦隊ハ水道ヨリ8個ノ機雷ヲ採收シタ。同ジ頃 Grant ノ軍ハ砲艦ノ護衞ヲ受ケ輸送船デ河ヲ溯リ、要塞數哩以內ニ上陸シタ。ツマリ作戰ハ艦隊ガ河ヨリ要塞ヲ反撃スル間、陸軍ハ迂廻シテソノ背面ヲツク事ニナツテヰタノデアル。南部聯邦陸軍ノ西方部隊ノ Chief Engineer J. F. Gilmer ノ報告書中 Henry 要塞ハ「優秀ナ稜堡ノ前面ヲ有スル堅固ナル野外堡壘」デアリ、「……防禦ニ惠マレタ狀態ニアツタ。」「堅牢ナル臺上ニ砲17門ヲ備ヘ、內12門ハ河ノ方ヲ充分砲撃出來ルヤウニ置カレテ居ル」ト述ベラレテヰル。12門ノ砲ハ10吋 Columbiad 砲1門、63听旋條砲1門、42听砲2門、32听砲8門デアツテ、「砂囊ヲ丁寧ニ積重ネテ砲ト砲トノ間ニ胸壁ヲ築キ其ノ間ニ作ラレタ砲眼カラ發射スル樣ニ裝置シテアツタ。」

2月6日朝約束通リニ Foote ハ砲臺ニ向ツテ進ミ 12時30分、1,700「ヤード」ノ距離ニ於テ砲火ヲ開イタ。「3隻ノ古イ木造ノ砲艦ハ、大ニ活躍シタ。〔4隻ノ〕裝甲艦ノ後方、向岸ノ位置ヲ占メ、一方裝甲艦

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ航行ノ第一列ニ置カレ、一線ニナツテ要塞ニ接近シタ」ト Foote ハ書イテヰル。Foote ノ計畫ハ艦ノ最モ安全ナ部分デアル艦首ヲ敵ニ向ケ、裝甲艦ニ合計 11 門アツタ艦首砲ニヨル事、次イデ前進シテ南軍砲手ヲシテ絕エズ照準點ガ變ルノデ砲ノ操作ヲ困難ナラシメル事デアツタ。

砲艦ノ砲撃ハ要塞ノ激シイ應戰ヲ呼ビ、艦隊ガ除々ニ 600「ヤード」以內ニ接近スルヤ、兩軍ノ砲撃ハ一層ノ速度ト精度ヲ增シタ。開戰後約 1 時間デ裝甲艦 Essex 號ハ敵彈ニ砲廓ヲ貫カレタ。此ノ時死者 1 名ヲ出シ、後退中ニ汽罐ヲ爆發シ、28 名ヲ火傷セシメタ。其ノ中ニ W. D. Porter 中佐モ入ツテヰタ。Essex 號ハ戰鬪力ヲ失ヒ、後方戰列外ニ出テ水流ノタメニ要塞ヨリ下流ニ流サレタ。他ノ砲艦モ亦數度敵彈ヲ受ケタ。特ニ旗艦 Cincinnati 號ハ敵ノ目標トナリ、其ノ砲廓ノ多クノ鐵板ハ破レ、又煙筒、後部船室、短艇ハ完全ニ蜂巢ノ如ク穿孔サレタ。シカシ死者ヲ出シタノハ只 1 彈デアツテ、是ハ左舷前部砲廓ヲ貫通シテ死者 1 名、負傷者數名ヲ出シタノデアル。

其ノ間ニ南軍ハ堡壘ヲ防禦スル事ヲ益困難ト感ジテヰタ。彼等ノ砲手ハ「前進スル敵ヨリ猛烈ナ砲撃ヲ受ケ、敵ハ着々ト絕エズ接近シテ來タ。」

交戰ノ初メ彼等ノ旋條砲ガ破裂シ砲手 3 名ハ戰死シ、他ノ多數ハ負傷シタ。次ニ 32 听砲ノ一ツハ重砲彈ヲ受ケテ使用不能トナリ、砲手ハ全部傷イタ。次イデ 10 吋 Columbiad 砲ガ沈默サセラレタ。導火線ガ動カナクナツテ火門內デ切レ、ソレヲ取除カウトシタガ駄目デアツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。午後1時45分要塞司令官ノ Tilghman 將軍ハ殘ツテヰル砲ガ僅カニ2門ニ過ギズ、コレ以上抵抗スル事ハ無益ダト考ヘテ、1時間15分ノ交戰ノ後遂ニ旗ヲ下シテ Foote ニ降ツタ。

1時間ノ後 Foote ハ捕虜ト共ニ要塞ヲ Grant ニ引渡シタ。陸軍ハ殆ド通行不能ノ道路ト水嵩ノ益シタ河川（戰前2日間ノ豪雨ノ結果）ニ妨ゲラレテ攻撃ニ參加スル事ガ出來ナカツタ。砲艦トソノ司令官ニヨツテナサレタ素晴シイ功績ヲ認メ、占領シタ要塞ハ直ニ「Foote 要塞」ト名ヲ改メラレタ。

Henry 要塞ガ降伏スルト Phelps 少佐ハ3隻ノ木造砲艦ヲ以テ Tennessee 河ヲ25哩溯リ、ソコデ橋梁ヲ破壞シ、重要ナル Memphis, Charleston 間ノ鐵道ノ直通ヲ不能ナラシメタ。其ノ橋梁附近デノ彼ノ奇襲ノ爲ニ南軍ハ軍需品積載ノ3隻ノ船ヲ破壞スルノ止ムナキニ至ツタ。彼ハ更ニ Tennessee 州 Cerro Gordo マデ航續シ、ソコデ大汽船 Eastport 號ヲ捕獲シタ。コレハ砲艦ニ改造中ノモノデ非常ニ大切ナ捕獲船デアツタノデ Tyler 號ハソレヲ護ルタメニ止マリ、同船改造ノタメニ集メラレテヰタ材料ヲ積込ンダ。後同船ハ海軍ニ編入サレ、2年間河川ノ戰爭ニ從事シタ。

Conestoga 號及 Lexington 號ハ更ニ上流ニ溯航シ、更ニ2隻ノ汽船ヲ捕獲シタ。其ノ1隻ハ Richmond 向ケノ鐵ヲ積載シテヰタ。Alabama 州 Florence デ3隻ノ汽船ヲ發見シタガ之等ハ接近スルト火ヲ放ツタ。Muscle Shoal ノタメ Florence ヨリ上流ヘハ行ケナカツタ。持チ歸ル事ノ出來ナイ沿岸ノ軍需品ハ之ヲ破壞シタ後、同砲艦ハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Cairo ニ歸リ、Donelson 要塞砲撃ニ丁度間ニ合ツタ。

◎Donelson 要塞攻撃

北軍陸軍ガ Henry 要塞ノ後方地點ニ到着スルノガ遲レタタメ、南軍陸軍ノ大部分ハ脫走シタ。Tilghman 將軍麾下ノ 100 名ガ砲艦ノ砲撃ニ應ジテヰル間ニ其ノ主力部隊ハ北軍陸軍ノ横ヲ通リ拔ケテ、12 哩ヲ隔テテヰル Cumberland 河上ノ Donelson 要塞ニ去ツタ。ココデ南軍ハ部隊ヲ集結シ、Floyd, Pillow, Buckner 等ノ麾下約 18,000 名ヲ集メタ。要塞ハ Cumberland ノ西岸ノ斷崖ヲ占メ河川ノ通航ヲ見下シテヰタ。コレハ Henry 要塞ヨリ、ズツト堅固デ、南軍ハソノ重要性ヲ知ツテヰタ。此ノ要塞ハ高潮水面上各約 30 呎ノ堅牢ナ 2 基ノ砲臺ニヨツテ守ラレテヰタ。下流側ノ砲臺ハ 10 吋 Columbiad 砲 1 門、32 听砲 8 門、計 9 門ヲ備ヘ、上流側砲臺ハ 6 1/2 吋旋條砲 1 門、32 听「カロネード」砲 2 門、計 3 門ヲ備ヘテヰタ。

Henry 要塞占領後 Grant 將軍ハ、南軍ガ Donelson ノ兵力ヲ增スベクアラユル努力ヲツクス事ヲ知ツテ、北軍ハ直ニ移動シ海陸協同攻撃ヲナス事ヲ勸告シタニ對シ、Foote ハ艇隊ノ準備ニ時間ガカカル旨ヲ述ベテ反對シタガ、Halleck 及 Grant ハ共ニ即時行動ヲ軍事上必要デアルト認メタノデ彼モコレニ從ツタ。彼ノ有スル兵力ハ裝甲艦 4 隻以上ニ配置スルニ足リナカツタノデ最近ノ戰鬪デ最モ被害ヲ蒙ツタ 2 隻ノ砲艦ニ代フルニ Cairo ニ殘ツタ他ノ 2 隻ヲ以テシ、3 月 12 日 Cumberland ヲ溯航シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

14日午後3時 Foote ハ Donelson 要塞ノ水際砲臺ヲ攻撃シタ。彼ノ計畫ハ Henry 要塞ノ時ト似通ツテヰタ。裝甲砲艦 St. Louis 號、Carondelet 號、Louisville 號、Pittsburg 號ヲ一線ニ竝ベテ、徐々ニ敵堡壘ニ進ミ、1哩ノ距離デ攻撃ヲ開始シ 400「ヤード」以内ノ地點ニ達シタ。第二小隊ノ木造砲艦 Tyler 號及 Conestoga 號ハカナリ後方ノ地點ヨリ砲臺ヲ攻撃スル事ニナツテヰタ。要塞カラノ砲彈ヲ少シデモ防グタメニ鎖、石炭囊、木材ノ如キ艦上ノアラユル堅イ物質ヲ上甲板ニ竝ベタ。

戰鬪ハ猛烈デ1時間半繼續シタ。砲臺ノ攻撃ハ極メテ正確デアリ、裝甲艦ノ檣樓ヲ掃射シテ顯ハレテヰルモノヲ殘ラズ破壞シタノミナラズ、時々砲廓又ハ砲門ヲ貫通シタ。Foote ハ旗艦ニ就テ「St. Louis 號ノミデモ59發ヲ受ケタ。4發ハ水線部ニ、1發ハ操舵室ニ命中シテ水先人及他數名ヲ重傷セシメタ」ト述ベテヰル。

St. Louis 號ノ操舵室ニ當ツタ敵彈ハ舵輪ヲ飛バシタ。同ジ頃南軍ノ砲彈ハ Louisville ノ舵柄索ヲ損傷シタ。應急操舵ニヨツテ操縦シヨウトシタガ、急流ノタメ失敗シ此ノ2艦ハ操縦不可能トナツテ下流ニ流レ、戰域外ニ出タ。Carondelet 號デハ水先人2名ハ既ニ負傷シ更ニ3番目ノ水先人モ傷イタ。舵輪ハ破壞シ遂ニ右舷ノ舵ハ Pittsburg 號ガ衝突シタ時壞レタ。他ニトルベキ道ハナク——砲艦ハコノ攻撃任務ニ耐エズ退却シナケレバナラナカツタ。

コノ攻撃ニ就テ Mahan 提督ハ云ツテヰル、「コノ戰鬪ニ於テ艦隊ハ失敗シタケレドモ、其ノ強力ナル戰鬪性能ハ Henry ノ勝チ戰ニ於

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ケルヨリモ此ノ戰ニ於テ著シク示サレタ。艦隊ハ前回ヨリモ一層烈シク砲彈ヲ受ケ、〔旗艦ハ 59 回、20 回以下ノモノハ 1 隻モナイ〕。ソシテ敵ノ砲力ハ前ト略同一デアツタガ、Donelson ノ壘ノ高サト其ノ土質ハ艦隊ヲ非常ナ不利ニ置イタ。上方カラノ砲彈ハ傾斜セル裝甲鈑ニ對シ殆ド直角ニ落下シ、アラユル弱點ヲネラハレタ。…… 此等ノ損害ヲ受ケ、54 名ノ死傷者ヲ出シタニモカカハラズ、艦隊ハ操舵機ヲ損傷サレルマデハ威力ヲ失ハナカツタ。シカシコノ損傷ヲ受ケタ後大砲ハ照準スル事ガ出來ナカツタ。

Foote ハ報告書ニ、操舵機ガ駄目ニナラナケレバ、ソシテ戰ガモウ 15 分繼續シタラ、砲艦ハ兩砲臺ヲ占領シタデアラウト自信ヲ以テ述ベテヰル。併シ守備側ノ要塞デ云ツテヰル事ハ、彼ノ自信ヲ裏書スルモノデハナイ。A. S. Johnston 將軍ハ戰ノ終リニ報告シテ「我砲臺ニハ損害ナク 1 名ノ死者モナイ」ト云ツテヰルシ、Gilmen 機關長モ同樣ノコトヲ云ツテヰル。砲艦ハ接近スレバ砲臺ノ高度ノタメニ不利デアツタ。Foote ハ遠距離カラ堡壘ヲ砲擊スルコトニスレバ、モツト均等ナ條件デ戰フ事ガ出來タカモ知レナイケレドモ、後 Island No. 10 及 New Orleans 下流要塞攻擊ノ經驗ニ徵シテ見テ、安全ナ距離カラノ砲擊ハ毎日繼續シテモ殆ド損害ヲ與ヘ得ナイ事ヲ示サレテヰル。Foote ハ速戰即決ヲ求メテヰタ。若シ要塞ノ防備ガカク完全ナモノデナカツタナラバ、彼ノ猪突攻擊法ハ成功シタデアラウ。

南北兩陸軍ノ間ノ激戰ハ翌日續イタ。合戰中最初ハ南軍ガ優勢デアツタガ、後ニナツテ追ハレテ味方ノ砲壘マデ退却シタ。後 2 月 16 日

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ早朝ニナツテ Donelson 要塞ハ降伏シタ。Henry 要塞占領直後行動ヲ開始シタ事ハ Grant ノ賢明ナ策デアツタ。砲艦ハ軍隊ヲ安全ニ運ブノニ必要デアツタ。ソシテ河川ノ攻撃ハ頓挫シタガ、海軍ハ最後ノ成功ニハナクテナラヌモノデアツタ。

◎Island No. 10 ニ於ケル戦

Donelson 要塞占領後1週間ヲ經ズシテ南軍ハ Columbus ノ軍需品兵ヲ更ニ南方ノ地點ニ輸送シ始メタ。併シ其ノ輸送ハ非常ニ巧妙ニ行ハレタノデ、Foote ハ絶ヘズ偵察ヲ行ツテヰタノデアルガ、氣ヅカナカツタ。次ノ抵抗ヲ南軍ハ Cairo ノ南ノ一ツヅキノ島ノ中デノ數字的位置ニヨツテソノ名ノアル Island No. 10 デ行ツタ。同島ハ Cairo ヨリ 50 哩隔タリ、Kentucky ト Tennessee ノ境界ニ近イ Missouri ノ對岸附近ニアツタ。同島ハソノ後崩レテ河モ稍變ツテヰルガ、其ノ當時ココハ S 字ノ逆ノ形（∽）ニ非常ニ彎曲シテヰテ、12 哩ノ流レヲ以テ南方僅カ 3 哩下ツテヰルダケデアツタ。幅 2/3 哩、長サ 2 哩ノ同島ハソノ彎曲部ノ底部ハ右方ニアツテ、Tennessee 側ノ砲臺ト相俟ツテ防禦ニ絶好ノ位置ヲ占メテヰタ。南軍ハ前面ニ河ヲ控ヘ、後方（東方）ニ大キナ通行不能ノ沼澤地ヲ有シテヰタ。ソノ沼澤ガアルタメ、防禦軍ガ河ヲ抑ヘテヰル限リ、陸軍ニ攻撃サレル事ハナカツタ。併シコノ位置ハ非常ナ孤立デアツタ。軍需品ノ供給ハタダ南カラ河川ニヨツテノミ得ラレ、ソノ方面ノ交通ガ絶タルレバ無援トナリ、シカモ退却スル事モ出來ヌ狀態ニアツタ。

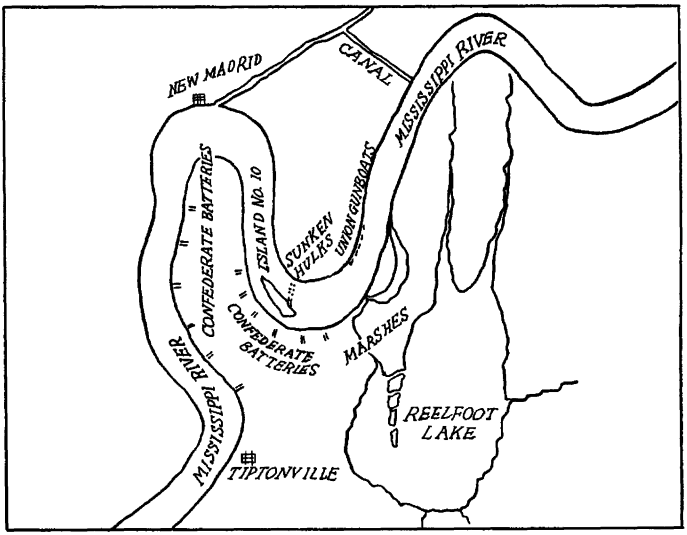
http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

1862年3月15日 Foote ハ砲艦6隻、臼砲装備艇10隻ヨリ成ル艦隊ヲ率キ、1,200名ノ部隊ヲ率キル Buford 大佐ノ援助ヲ受ケ、同島攻撃ノタメ河ヲ下ツタ。此ノ隊ガ到着スル前、行動ヲ開始シタ Pope 將軍ハ上部ノ環狀部 Island No. 10 ノ北西部ニ當ル New Madrid ヲ占領シテキタ。ソシテ南軍砲艦ニ妨グラレテ河ヲ渡ル事ハ出來ナカツタガ南方 Tiptonville〔New Madrid ヨリ下流15哩ノ對岸〕ニ至ルマデノ西岸ニ砲臺ヲ設ケ、ソレニヨツテ南軍輸送船ガ軍需品ヲ受ケルノヲ妨害シタ。16日 Foote ノ臼砲装備艇ハ戰鬪位置ニツキ、砲火ヲ開始シテ島上ノ數ケ聯隊ヲシテ野營場所ヲ變ヘシメタ。翌正午、砲艦ハ Tennessee 側最上部ノ要塞攻撃ニ參加シタガ、2,000「ヤード」以上ノ安全距離ヲ保ツテキタ。此ノ包圍攻撃中 Foote ハ細心ノ注意ヲ拂ツタ。彼ハモシ砲艦ガ戰鬪能力ヲ失ツタ場合ニハ Henry 及 Donelson ニ於ケル如ク水流ニヨツテ戰域外ニ出ル譯ニハ行カズ、直ニ敵砲臺ニ掃射サレルデアラウ事ヲヨク知ツテキタ。更ニ島ノ下流 Pillow 要塞附近ニ味方ト同ジ位ノ勢力ヲ有スルト傳ヘラレテキル南軍聯隊ガ配置サレテキル事ヲ考慮ニ入レネバナラナカツタ。何トナレバモシ味方ノ艦ノ數隻ガ失ハレタナラバ南軍聯隊ハ殘リノ艦船ヲ捕獲シ、河川ヲ溯ツテ Cairo ニ猛撃ヲ加ヘルカモ知レナカツタカラデアル。

16日及17日ノ砲撃ハ其ノ後ノ砲撃ト同ジク敵ヲ惱マシ、時ニハ一時的ニ砲臺ノアルモノヲ沈默セシメタ。併シ敵ニ與ヘタ損害ハ少ナイ樣ニ見エタ。St. Louis 號ノ旋條砲ハ17日ノ交戰中ニ破裂シ死者2名負傷者13名ヲ出シタ。是ハ恐ラク 砲艦及臼砲装備艇ノ聯合攻撃デ南

http://navgunschl.sakura.ne.jp/


NEW MADRID
CANAL
MISSISSIPPI RIVER
ISLAND NO. 10
SUNKEN HULKS
UNION GUNBOATS
CONFEDERATE BATTERIES
CONFEDERATE BATTERIES
MARSHES
REELFOOT LAKE
MISSISSIPPI RIVER
TIPTONVILLE

Island No. 10

HP『海軍砲術学校』公開史料

軍ノ受ケタヨリモ遙ニ大キナ損害デアツタ。Foote ガ後デ言ツテヰル様ニ曰砲裝備艇ハ要塞ガ廣地域ニ分レ、目標トシテハ小サカツタタメニ効果ガナカツタ。タトヘ北軍艦隊ガ2倍3倍ニ増大サレテ直接攻撃ニヨツテハ占領出來ナイ程、南軍ノ位置ハ實際堅固デアツタ。島ニハ砲23門ヲ備フル4ツノ砲臺ガアリ、Tennessee 側ニハ砲32門ヲ備フル6ツノ砲臺ガアリ、更ニ他ニ9吋砲9門又ハ10門ヲ有スルト傳ヘラレル浮砲臺ガ島ノ中央部ニ繫留シテアツタ。

3月半バヨリ末ニカケテ艇隊ガ要塞攻撃ヲ繼續シテヰル間 Pope 將軍ハ敵ノ全堡壘ノ存在スル彎曲部ヲ回避スルタメニ運河ヲ開鑿中デアツタ。是ニ依テ4月4日ニハ彼ハ南軍堡壘ノ上部ヨリ New Madrid マデ Island No. 10 ヲ通過セズニ輕運送船ヲ通ス事ガ出來タ。併シ砲艦ハ吃水ガ大キイタメ運河ヲ通過スル事ハ出來ナカツタ。ソレデ Pope ハ砲艦ノ保護ヲ受ケテ部隊ガ Missouri ヨリ Tennessee ヘ渡ルマデハ、Island No. 10 ノ丁度對岸ノ南軍堡壘ヲ後方ヨリ砲撃スル事ガ出來ナカツタ。

3月20日 Foote ハ作戰會議ヲ開キ彼ノ艦隊ノ一部ヲ以テ砲臺ヲ襲撃スル事ヲ考ヘタ。麾下ノ士官ハ Walke 中佐ヲ除イテ全部コノ計畫ニ反對シタ。其ノ危險ハタシカニ大キカツタガ砲艦ガ New Madrid 下手ノ陸軍ト協力スベキ必要ガ逼迫シテヰタノデ、3月30日ニハ Foote ハ其ノ命ヲ待チウケテヰタ Walke 中佐ニコノ危險ナル計畫ヲ用意スル様命令ヲ發シタ。

艦隊ヨリ50名ト Roberts 大佐麾下ノ陸軍ノ50名ヨリナル決死隊

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ此ノ危險ナ任務ヲ遂行シタ。即チ4月1日ノ夕方遲ク一隊ハ5隻ノ艇ニ分乘シテ Kentucky ノ岸ニ沿ヒ、「第一要塞」トシテ知ラレテヰル最モ近クノ砲臺ニ向ツテ密カニ河ヲ下ツタ。發見サレナイ樣ニ細心ノ注意ヲ拂ヒナガラ一隊ガ 10「ヤード」以內ニマデ進ンダ時、砲臺ノ見張兵ガ發見シ警報ヲ發シタ。彼等ハスバヤク上陸シ、敵ノ抵抗ヲ受ケズニ全部ノ砲ノ火門ヲ破壞シタ後1名モ失ハズニ歸ツタ。

此ノ頃北軍ハ將ニ砲艦ヲ下流ニ派遣シヨウトシテヰタトキデアツタノデ、此ノ功績ハ一シホ時宜ヲ得タモノデアツタ。北軍ハ3日後ニ更ニ一ノ功ヲ立テタ。即チ艦隊ハ砲擊ニヨツテ、島ノ重要ナル防禦デアツタ浮砲臺ノ繫留ヲ切斷スル事ガ出來タ。流レガ强カツタタメ南軍ハソレガ3哩下流ニ流レルマデ止メル事ガ出來ナカツタ。

4月4日 Walke ハ彼ノ乘艦 Carondelet 號ガ封鎖ヲ破ル準備完了セル旨ヲ Foote ニ告ゲタ。彼ハ巧ミナ便法ヲ案ジテ艦ヲ敵ノ砲火ニ對シテ防備シタ。汽罐ト機械室ノ周圍ハ重イ木材ト固定シテヰナイ鐵デ防塞ヲ作リ、鐵板ノツイテヰナイ舷側ノ部分ハ乾草ヤ木材ヤ錨鎖ノ梱ニヨツテ堅固ニシタ。ソシテ左舷艦尾ニハ火藥庫及彈藥室ヲ一層ヨク防備スルタメニ石炭艀舟ヲ縛リツケタ。上甲板ハ木材、石炭囊、錨鎖、索具等デ掩ツタ。操舵室ノマハリハ12乃至18吋ノ厚サニ錨鎖ト繩ヲ卷キツケタ。

マダ有利ナ條件ハ得ラレナカツタガ、其ノ夜砲臺ヲ攻擊スル作戰デアツタ。午後ノ樣子カラ夜ハ晴レル事ガ豫想サレタ。所ガ日沒頃カラ空ハ霧ガカカリ、10時 Carondelet 號ガ航行ヲ始メル頃ニハ雷雨ガ起

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

リサウデアツタ。——條件ハ斷然有利デアツタ。

最初ノ半哩ハ萬事都合ヨク Carondelet 號ハ燈火ヲ隱蔽シテ音ヲ立テズニ航行シテヰタノデ、敵ニ知ラレズニ砲臺ヲ通過スル望ミガアツタ。所ガ丁度第一砲臺ニ竝行シタ時焔管ガ燃エ、火焔ヲ發シテ船體ヲ曝露シタ。火ハ直ニ消サレタガ、第二要塞カラ5回ノ火箭ニ續ク1發ノ砲聲ニヨツテ警報ハ發セラレタ。同艦ノ安全ヘノ唯一ノ道ハ敏捷ナル行動ニアツタノデ Walke ハ全力運轉ヲシテ急イデ砲臺ヲ通過シタ。

偶雷雨ガ猛烈ニ起リ稻妻ノ閃光ニヨツテ南軍ガ砲臺ニ走リ、裝塡スル樣子ガ見エタ。ヤガテ雷ノ轟キト瀧ノ樣ナ雨ニ交ツテ砲聲ガ響キ、砲彈ヤ小銃彈ガ降ツテ來ル。無用ノ曝露ヲ避ケルタメニ Carondelet 號ノ乘組員ハ大部分掩ヒノ下ニアツタ。併シ Walke 中佐、第一航海長 Hoel（第1水先案內）及 Wilson 竝ニ Gilmore（共ニ船首ノ測鉛手）ハ見事ナ沈着ト勇氣トヲ示シテコノ二重ノ嵐ノ中デ甲板ノ持チ場カラ離レナカツタ。

水流ガ早イタメニ厄介ナ石炭艀舟ヲツケタママ同艦ノ針路ヲ保ツ事ハ困難デアツタ。ソシテ1度ハ珍シク長イ間稻妻ガトダエテヰタ後、折ヨク仄メイタ電光ニヨツテ同艦ガ敵砲臺ノ直下ニアル門洲ニ今シモ乘セ上ゲル事ニ氣ガツイタ。直ニ彼ハ「面舵一杯」ノ命令ヲ下シテ事無キヲ得タ。殆ド同時ニ南軍ハ發砲シタガ充分ニ俯角ヲカケナカツタノカ、ソレトモ照準セズニ發射シタノカ、砲彈ハ何ノ効果モ收メナカツタ。Carondelet 號ハ30分間島ノ先ニアル砲臺及 Tennessee 側ノ砲

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

臺カラ殆ド絶間ナイ砲撃ニ會ツタ。ソシテ此等ノ砲臺ヲ通過シテモ尚下流3哩ノ浮砲臺ヲ考慮ニ入レネバナラナカツタ。甲板ニ燃エテヰル火ニ依テ、南軍ガソコデ砲艦ヲ待チ受ケテヰル事ガ分ツタガ、Carondelet 號ハソレト戰フ準備ガナカツタ。何トナレバ要塞通過ノ際甲板及船艙ノ物ハ殘ラズ防備ニ適スル樣ニ置イテアツタカラ。ソコデ同艦ハ Missouri 側ニ向ツテ針路ヲ變ヘタ爲ニ6回砲撃ヲ受ケタノミデ眞夜中頃 New Madrid ニ到着シ、Pope 將軍ノ部隊ニ喜ビ迎ヘラレタ。

6箇所ノ砲臺ト50門以上ノ砲火ノ下ヲクグツテ Carondelet 號ガ有ユル損害ヲ免レタ事ハ殆ド信ジ得ナイ事ニ思ハレル。北軍士官ノ大部分ハ此ノ計畫ガ危險デ贊成出來ヌト信ジテヰタノミナラズ、要塞ヲ守ツテヰタ南軍モ斯カル行動ハ不可能デアルト信ジテヰタ。危險ハ確ニ稍過大視セラレテヰタト云フノハ、2日後ニ Pittsburg 號ガ同ジ行動ヲ繰返シタノデアル。併シサウダト云ツテ、Walke 中佐及其ノ部下ノ勇氣ヲ減損スル事ニハナラヌ。

Mahan ハ云ツテヰル、「Carondelet 號ノ行動ハ我軍中ノ最モ勇敢ナ最モ劇的ナ事件ノ一デアツタノミデナク、是ハ又南軍ノコノ地點ノ防備ニ對スル致命的打撃デアツタ。」戰ハ續々ト行ハレタ。4月6日ニハ Granger 將軍ガ Walke 中佐ヲ從ヘ Carondelet 號デ Tiptonville ニ至ルマデノ Tennessee 側ノ堡壘ノ偵察ヲ行ツタ。歸ル前ニ北軍ハ堡壘ノ一ト交戰シソレヲ沈默セシメ、上陸シテ砲ヲ破壞シタ。7日 Carondelet 號及 Pittsburg 號ハ次々ニ東岸ノ南軍砲臺ヲ占領シ、Pope

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ軍ヲ無事ニ渡河セシメタ。既ニ南軍ハ是以上 Island No. 10 ヲ保持スル事ハ不可能ダト信ジ、大部分ハタダ100名ノ砲手ヲ殘シテ退却シテヰタ。之等ノ砲手ハ4月7日夕刻遲ク Foote 司令官ニ要塞ヲ明ケ渡シタ。併シ南軍ノ退却開始ハ時既ニ遲カツタ。東方ノ通行不能ノ沼澤地ノタメニ、彼等ノ唯一ノ安全ナ道ハ Tiptonville ヲ經過スルコトデアツタ。其ノタメニ極メテ敏捷ニ軍ヲ渡河セシメタ Pope ハ、敵軍全部ヲ捕獲シタノデアル。北軍ノコノ行動ニハ Carondelet 號、Pittsburg 號ハ絶對的ニ缺クベカラザルモノデアツタ。ソシテ Pope モ同艦ガ此ノ成功ニ重要ナ役割ヲ果シタ事ヲ認メタ。Pope 及 Foote ノ得タ捕虜ハ全部デ 7,273 名デアツタ。Pope ノ4月9日ノ報告ニハ『將官3名、中佐7名、7聯隊、砲兵數箇大隊、砲兵5中隊、重攻城砲100門以上、野砲24門、彈藥、軍需品多數、小銃ソノ他隨身兵器數千組、天幕、軍馬、馬車等多數、ガ我軍ニ歸シタ。Island No. 10 ヲ放棄スル前、敵ハ砲艦 Granpus 號及輸送船6隻ヲ沈メタ。輸送船ハ目下引上ゲ中デ數日中ニ使用シ得ルモノト思ハレル。有名ナ浮砲臺ハ穿孔サレテ、砲ヲノセタママ切リ離サレタガ、之ハ New Madrid ニ於ケル我軍ニ捕獲サレ淺瀨ニ引キ上ゲラレタ。』ト云ツテヰル。

Mississippi 河ノ砲艦ガ Pope ト協力シテ斯ク成功ヲ收メテヰル一方ニ、Tennessee 河ノ Tyler 號ト Lexington 號ハ Pittsburg Landing ニ於テ Prant ニ對シ、ソレニモ劣ラナイ重要ナ援助ヲ與ヘタ。4月6日 A. S. Johnston 將軍ハ不意ニ北軍ニ遭遇シ、1日中繼續シタ激戰ノ結果、北軍部隊ヲ其ノ野營地ヨリ河ノ方へ半分程退却セシメタ。午

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

後戦ハ特ニ北軍ノ左翼ニ限定サレ、Johnston ハ迂回シテ ソノ背後ヲツキ、上陸場ト輸送船ヲ占領シヤウトシタ。コノ左翼ヲ指揮シテヰタ Hurbbut 將軍ハ窮地ニ陥リ援兵ガ ナケレバ1時間モ持チコタヘラレナイト思ツタ。其ノ時 Tyler 號ハ正確ナル急射ニヨツテ 敵砲臺ヲ沈默セシメタノミデナク、南軍ノ前進ヲ防イダノデアツタ。午後遅クナツテ Tyler 號ト Lexington 號ハ上陸場ノ上流 3/4 浬ニアル南軍砲臺ヲ砲撃シ、30分ニシテ 沈默セシメタ。5時30分、敵ハ殆ド至ル所デ勝利ヲ收メ、北軍左翼ニ對シテ有利ナ地點ヲ占メル事ニ成功シテヰタガ、砲艦ハ北軍野砲ト相俟ツテ此ノ敵ヲ潰走セシメタノデアル。其ノ夕方早ク Nashville カラ前進セル Buell ノ軍ガ粉碎サレタ左翼ノ援護ニ赴イタ。カクテ悲慘ナ敗北ヲ免レ、Pittsburg Landing 及 Shiloh ニ於ケル戰爭ハ翌日局面ノ轉回ヲ見テ北軍ノ勝利ニ終ツタ。

◎Pillow 及 Memphis 要塞ノ占領

Island No. 10 ノ降伏後4日 Foote 司令官ハ河ヲ下ツタガ、途中一寸シタ小戰以外ニハ何等抵抗ヲ受ケズニ Tennessee 側 New Madrid ヨリ 80 浬下流ノ Pillow 要塞ニ到着シタ。コヽデ Pope 將軍ハ 20,000 名ノ部隊ヲ以テ彼ニ加ハツタ。Pillow 要塞ハ堅固ナ陣地デアツタガ聯合軍ハモツト早クソレヲ占領シタデアラウ、若シ Pope ガ Halleck ニ敗レテ 1,500 名ノミヲ殘シテ退却スル事ガナカツタナラバ。

艦隊ガ遭遇シナケレバナラナカツタ敵ノ中ニハ、所謂「河川防備艦隊」ガアツタ。之ハ河川用汽船ヨリ成ツテヰタガ、船首ニ取リ付ケタ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

鐵製ノ鑄物ト機械部ニ施シタ一時的保護物ニヨツテ、衝撃艦トシテ働ク事ニナツテヰタ。指揮官ハ Mississippi 河ノ船長ヤ水先人デアツテ、彼等ハ陸軍長官ニ屬スルモノト考ヘラレ、從ツテ海軍長官ノ命令ハ受ケナイデモヨカツタ。彼ノ Farragut ハ New Orleans ノ下流デコノ艦隊ノ若干ト遭遇スルコトニナツタ。此ノ艦隊ニ屬スル8隻ハ Pillow 要塞砲臺下ニ碇泊シテヰタ。

5月9日 C. H. Davis 大佐ハ Foote 司令官ガ休養ヲ必要トシ、Donelson 要塞デ受ケタ傷ガ癒エナイタメ、一時交代シテ艦隊ヲ指揮スルコトニナツタ。其ノ翌朝南軍衝撃艦ハ臼砲裝備艇ヲ從ヘテ要塞砲撃ノタメ下ツテヰタ Cincinnati 號ヲ突然攻撃シタ。信號ガウマク通ジナカツタノデ、北軍砲艦7隻中僅カ4隻ガ戰ニ參加シタ。南軍ハ砲艦ノ2隻ヲ衝撃スルコトニ成功シ、此ノ2隻ハ沈沒ヲ免レルタメ岸ニツケナケレバナラナカツタ。一方南軍衝撃艦ノ3隻ハ破損シタ。

南軍ハコノ攻撃ニ際シ素晴シイ勇氣ヲ現ハシ、其ノ受ケタ損害モ短時間デ修理ノ出來ル性質ノモノデアツタ。併シ河川防備艦隊ガ特ニ價値アル任務ヲ果シタノハコノ時只1回デアツタ。彼等ハ統制ニ缺ケ、永續シテ勇敢ニ戰フ事ハ出來ナカツタ。

Pillow 要塞ノ砲撃ハ6月4日ノ夜、敵ガ退却スルマデ續ケラレタ。翌朝艦隊ハ Memphis ニ下リ、同市ノ前面デ南軍衝撃艦ト交戰シタ。敵艦ノ數8隻、之ニ對スルノニ Davis 大佐ハ5隻ノ砲艦ト2隻ノ衝撃艦ヲ有シテヰタ。一方的ノ戰ガ續キ、南軍ハ4隻ヲ失ヒ、北軍衝撃艦ノ1隻ヲ僅カニ損傷セシメタニ過ギナカツタ。殘リノ4隻ハ河ヲ逃

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ゲ下ツタ。之ハ追撃サレ航行中ノ戰闘デ1隻ハ破壞シ2隻ハ捕獲サレタ。同ジ日 Memphis ハ 降伏シタ。カクシテ既ニ New Orleans ヲ占領シテヰタ Farragut ガ其ノ艦隊ヲ率キテ遡航シ、Vicksburg 堡壘ヲ通過シタトキ、Davis ノ艦隊ハコレニ合スル事ガ出來タ。

4箇月間陸海軍ハ協力シテ西部河川ニ作戰シ、Kentucky ノ南部境界ニ沿フ南軍ノ防禦線ヲ破ツタ。ソシテ Mississippi 州 Corinth (Pittsburg Landing ノ附近) ノ第二線ヲ突破シタ。尙モ Vicksburg ニ至ル Mississippi ノ全堡壘ヲ占領シ、カクテ Kentucky ヲ救ヒ Tennessee ヲ大部分奪回シタ。

Donelson 要塞及 Shiloh ノ戰ハ南軍陸軍ノ最初ノ大敗北デアツタ。之ガ爲今迄無敵ト信ゼラレテヰタ南軍ノ威信ハ甚ダシク失墜シタ。北部ノ人民モ、殊ニ McClellan ガ Potomac ノ優勢ナル軍隊ヲ率キテ、Peninsula 戰爭デ敗北ニ次グ敗北ヲ重ネテヰタ時ニハ、南軍ヲ無敵ト信ジテヰタカモ知レナカツタノデアル。此ノ戰ト殆ド同時期ニ西部ニ於テ Grant 將軍ヤ Foote 司令官ノ收メタ勝利ハ著シイ對照ヲ示シ、以テ北部ノ落膽ヲ防止シタノデアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第19章　Mississippi 河下流ノ戦

◎New Orleans 下流ノ要塞通過

海軍省ニ Port Royal 攻撃成功ノ報ガ達スルト、直ニ Fox 次官ハ New Orleans 占領ノタメノ攻撃ヲ計畫シタ。

New Orleans ハ南部聯邦中ノ最大ノ都市デアツテ人口ハ 1860 年ニ 168,675、Richmond ト Charleston ヲ合シタモノノ 2 倍以上デアツタ。同時ニ又最モ裕福ナ都市デアリ、Louisiana 及 Texas ニトツテ自然ノ通商中心地ヲナシテヰタノデ、南軍陸軍ニ多量ノ食糧品ヲ送ツテヰタ。

南方ノミナラズ北方ノ一般意見ハ、New Orleans ノ攻撃ハスベテ Mississippi 河ヲ除々ニ下航シツヽナサレルモノト考ヘテヰタ。併シ海洋艦隊ヲ指揮シ New Orleans マデ溯航シタ事ガアリ、Mississippi 下流事情ニ通ジテヰル Fox 氏ハ Gulf カラ行動ヲ開始シテ同市ヲ占領スル事ハ可能デアルト信ジテヰタ。

此ノ計畫ヲ堅ク胸ニオサメテ Fox 氏ハ閣僚ノ他ニ McCellan 將軍及 David D. Porter 中佐ヲ加ヘテ會議ヲ開イタ。Porter ハ躊躇セズ計畫ニ賛意ヲ表シタガ、他ノ者ハ疑念ヲ抱キナガラ同意シタ。

此ノ攻撃ノ指揮者トシテ海軍省ハ Fox 氏ノ推薦シタ、比較的無名ノ David Glasgow Farragut 大佐ヲ用ヒル事ニ、暫ク躊躇シタ後意見ガ一致シタ。彼ハ 1801 年 Tennessee ノ Knoxville 近クニ生レ、僅カ 9 歳 5 箇月デ少尉候補生ニ任命サレタ。前述ノ如ク彼ハ 1812 年戰

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

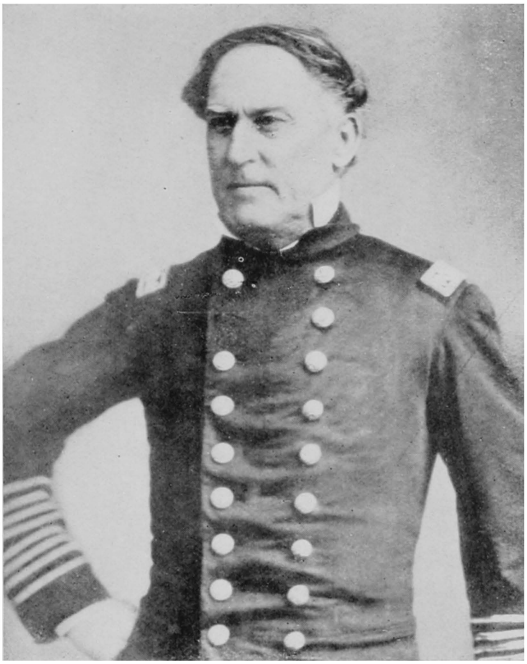
爭ニ從軍シタ事ガアリ、West Indian ノ海賊鎭壓ニ參加シタ事ガアリ又「メキシコ」戰爭ニ加ハツタ事ガアツタ。併シ此等ノ戰ハ何レモ彼ノ非凡ノ才能ヲ示ス機會ヲ與ヘナカツタ。ソシテ 61 歲ニ近クナツテマダ無名デアツタ。

南北戰爭ノ勃發シタ時 Farragut ハ 40 年間彼ノ故鄕デアツタ Virginia 州ノ Norfolk デ命ヲ待ツテヰタ。彼ノ忠誠ハ搖ガナカツタ。Virginia ノ分離ト同時ニ彼ハ直ニ北ニ走リ、指揮ヲ仰イダ。併シ政府ハ彼ヲ數箇月間待機セシメタ。ソレハ數回ノ不祥事ニヨツテ南部聯邦出身者ハ信賴出來ナカツタカラデアツタ。併シ Farragut ノ拂ツタ犧牲ハ全然無視サレタ譯デハナイ。Fox 氏ノ注意ヲ惹イタノハ彼ガ直ニ自分ノ州ヲ去ツテ勤務ヲ志願シタソノ精神デアツタ。コノ事ガ證據トナツテ Fox ハ彼ニ「人格ノ卓越ト明確ナル義務觀念ト及ソレヲ遂行スル固イ決意」ヲ認メル樣ニナツタ。

1861 年 12 月 Farragut ガ Washington ニ呼バレ、攻擊計畫ヲ告グラレタ時、彼ハ躊躇ナクソノ成功ヲ信ズル旨ヲ述ベ、彼ガソノ指揮ニ當ルト聞イテ子供ノ樣ニ狂喜シタ。彼ハ自分デ必要ダト述ベタヨリ多數ノ艦船ヲ指揮スル事ニナツタ。此ノ討伐ハ純粹ニ海軍ノモノデアリ、成否ノ責任ハ海軍ノ指揮官ニカヽツテヰタ。併シ海軍ノ占領シタモノヲ保持スルタメノ陸軍ノ協力ハ約束サレ、從ツテ Butler 少將ノ麾下 18,000 ノ部隊ガ後カラ送ラレタ。

1862 年 2 月ノ半バ過ギ Farragut ハ Mississippi ノ河口ニ到着シタ。彼ハ Hartford 號ニ乘組ミ、同艦ヲズツト旗艦トシタ。同艦ハ 1

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



David G. Farragut

HP『海軍砲術学校』公開史料

時間8節デ動カシ得ル補助蒸氣ヲ有スル「スループ」型軍艦デアツタ。同艦ハ 1859 年支那ヘ處女航海ヲシタ新艦デアツタ。「スループ」型軍艦デハアツタガ噸數ハ普通ヨリ多ク、1812 年戰爭ノ戰利艦ヨリモ强力デアツタ。Farragut ハ餘地ノアル限リ砲ヲ備ヘル事ヲヨイト信ジテ、9吋 Dahlgren 砲22門ヲ備ヘタ。同艦ハ同型ノ多クノ巡洋艦ノ2倍ノ兵裝ヲ有シテヰタ。

Hartford 號ガ Gulf ニアル封鎖艦隊ニ加ハツテカラ2箇月ノ準備ガ續イタ。大艦ヲ Mississippi 河口ノ Passes ノ前面ノ門洲ヲ通過セシメル事ハ技倆ト忍耐トヲ要スル仕事デアツタ。例ヘバ Pensacola 號ヲ泥洲ヲ通シテ內側ノ深海ニ曳航スルニハ2週間ヲ要シタ。遂ニ4月7日 Farragut ハ艦隊ヲ河ヘ入レ實戰ノ準備ヲ終ツタ。同艦隊ハ Porter 中佐麾下ノ臼砲裝備艇ヲ除イテ、蒸氣「スループ」型軍艦7隻大型外輪附軍艦1隻、砲艦9隻ヨリ成リ、合計17隻、154 門ノ大砲ヲ備ヘテヰタ。

此ノ艦隊ノ進行ヲ阻止スル爲ニ南軍ハ New Orleans ノ下流 80 哩ト Passes 先端ノ上流20哩ノ所ニ2箇ノ堅固ナ砲臺ヲ有シテヰタ。砲42門ヲ有スル St. Philip 要塞ハ下流ニ向ツテ左岸ニアツタ。コレハ河ノ彎曲部ニアツタタメニ、前面ノ河ヲ扼スルノミナラズ、接近スル敵艦ヲ縱射スル事ガ出來タ。58門ヲ有スル Jackson 要塞ハ下流ノ右岸ニアツテ、コノ方ガヨリ堅固デアツタ。併シ Mahan ニ從ヘバ要塞ノ砲ノ約半數ハ舊式ノ24听砲デアツタト云フ事デアル。コレハ南軍ハ Mississippi ノ占領計畫ハ必ズ北方ヨリトノ考ヘヲ持ツテヰタタ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

メ、New Orleans ノ陸海軍將校ノ警告ニハ注意ヲ拂ハナカツタカラデアル。要塞ノ他ニ南軍ハ15隻ノ砲艦、内2隻ハ裝甲衝撃艦、ヨリ成ル艦隊ヲ有シ、Jackson 要塞ノ砲臺下ニハ廢船ヲ一列ニ竝ベテ其ノ間ニ2條ノ重イ鎖ヲ河ヲ横切テ引渡シテアツタ。

4月18日 Porter ノ臼砲裝備艇ハ Jackson 要塞ノ下流約 3,000「ヤード」ノ地點ヲ占メ、要塞ノ砲撃ヲ開始シタ。Farragut ハモシ本省カラ相談ヲ受ケタナラバ、臼砲裝備艇ノ援助ニ反對シタデアラウ。何トナレバ堅固ナ堡壘ヲ征服スル力ガ彼等ニナイ事ヲ信ジテキタカラ。併シ彼ハトニカク彼等ニヤルダケヤツテ見ル機會ヲ與ヘタ。6晝夜ノ間臼砲ハ主トシテ Jackson 要塞ニ約 600 ノ砲彈ヲ以テ繼續的ニ砲撃シタ。照準ハ正シイ樣ニ見エタガ要塞ニ與ヘタ損害ハ極メテ微少デアツタ。

此ノ艇隊ガ3日間砲撃ヲ續ケタガ、タイシタ効果ヲ擧ゲ得ナイノヲ見テ Farragut ハ艦隊ヲ交戰セシムベキ時期ガ來タト感ジタ。ソコデ20日ノ夜艦隊參謀長 Henry H. Bell ヲ派遣シ2隻ノ砲艦ヲ以テ、河ニ引渡シタ鎖デツナイデアル木材ト「スクーナー」船トノ障碍ヲ破壞セシメタ。砲艦ノ乘組員ハ要塞ノ砲撃下ニ作業シ、其ノ1隻ガ坐礁シタ時ハ非常ナ窮地ニ陷ツタガ、ソレデモ、最大艦船ヲ通過サセ得ルニ充分ナ間隙ヲ作ル事ニ成功シタ。

其ノ後ノ2日間ハ艦船ヲ要塞攻撃ニ備ヘルタメニ費サレタ。各艦ハ水底ニ接觸シテモ下流ニ振レマハラヌ樣ニ艦首吃水ヲ數吋後部ヨリ深クシタ。副錨ノ錨鎖ヲ機械室ニ竝行シテ舷側ニ上下ニトリツケタ。ソ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シテ吊床、石炭、砂嚢等ヲ積重ネテ前部及後部ヨリ來ル敵彈カラ汽罐ヲ保護シタ。アル艦ハ船體ニ泥ヲ塗ツテ夜間見エ難イ様ニシ、又他ノ艦ハ大砲ヤ彈藥ヲ見分ケ易クスルタメニ甲板ヲ白ク塗ツタ。攻撃ノ前日ノ午後 Farragut ハ各艦ヲ巡視シテ、艦長ガスベテ準備ヲ整ヘ、命令ヲ了解シテヰル事ヲ確メタ。Farragut ハソノ敏捷ト戰鬪實力トデ一般ニ知ラレテヰタガ、更ニ同様ニ準備ニ際シテノ智ト周到サニ於テモ卓レテヰタ。

1862年4月24日午前2時ガ攻撃艦隊ノ航行開始ノ時間デアツタ。艦隊ハ二列デ進行スル様ニナツテヰタ。一ハ右ニ針路ヲトツテ St. Philip 要塞ヲ攻メ、他ハ左ニ針路ヲトツテ Jackson 要塞ヲ攻メル事ニナツタ。二列ヲ相竝ベテ前進サセル最初ノ作戰ハ後デ變更サレ、Cayuga 號ノ Bailey 大佐ノ指揮スル軍艦3隻、外輪船1隻、砲艦4隻ノ第一戰隊ヨリナル右列ヲ先ニシ、其ノ後ニ Farragut 提督ノ率ヰル「スループ」型軍艦3隻ノ第二戰隊、Bell 大佐ノ率ヰル「スループ」型軍艦1隻、砲艦5隻ノ第三戰隊ヨリナル左列ヲ進メル事ニナツタ。此ノ變更ノタメ艦隊ノ集團威力ハ弱クナツタガ、艦船ガ鎖ノ堰間ノ狹イ間隙ヲ通過スル際衝突ノ危險ガ少クナツタ點デ、上ノ不利ヲ補ツテ餘リアツタ。

豫定ノ時刻ニ旗艦ノ2赤燈ハ各艦ニ航行開始ヲ命ジタ。數分ニシテ錨鎖ノ鳴ル音ガ艦隊中ニ聞エタガ、種々ノ遲延ノタメ、第一戰隊ガ堰ニ達シタノハ3時30分デアツタ。Cayuga 號ハ南軍ノ砲撃開始前ニ殆ド要塞ノ正横ニ達シタガ、强敵ヲ相手ニスル力ガナイノデ急イデ通過

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

シタ。併シ後ニ續イタ「スループ」型軍艦 Pensacola 號ハ重砲23門ヲ備ヘテヰタノデ、St. Philip 要塞通過ノ際ハ屢停止シテ應戰シ、除々ニ進行シタ。其ノ間臼砲裝備艇隊ハ兩要塞ヲ砲撃スルタメ前進シテヰタ。

Cayuga 號ガ砲撃ヲ開始シテカラ25分、第二艦隊ノ先頭ノ Hartford 號ハ堰ヲ通過シ、艦首砲デ Jackson 砲臺ヲ攻撃シ始メテヰタ。闇ト煙ハ要塞カラノ猛烈ナ砲撃ト一緒ニナツテ北軍艦隊ガ針路ヲ保チ、又敵味方ヲ區別スルノヲ困難ナラシメタ。突然闇ト混亂ノ中カラ火ノツイタ筏ガマツスグニ旗艦ニ向ツテ來ルノヲ見、Farragut ハ之ヲ避ケルタメ轉ジタガ、コノ際旗艦ハ St. Philip 要塞附近ノ淺瀬ニ擱坐シタ。要塞カラノ猛射ヲ浴ビテ同艦ハ窮地ニ陷ツタガ、更ニ惡イ事ニハソノ時マデ見エナカツタ南軍ノ曳船ハ同艦ニ火ノ筏ヲ流シテ來タ。瞬時ニシテ Hartford 號ノ左舷艦尾ハ火焰ノ塊トナリ、火ハ塗料ヲナメテ檣樓半バマデ燃エ上ツテ來タ。運命ノ決スルノハカヽル瞬間デアルガ、Farragut ハ此ノ危機ヲ處理スル力ヲ持ツテヰタ。彼ノ沈着ハ部下ヲ安心サセ、各員ハ敏活ニ其ノ命ニ從ツタ。同艦ノ砲撃ハ敵曳船ヲ遠ザケ、更ニ一方要塞砲撃ヲモ中止シナカツタ。整備セル防火隊ハ大ニ努メテ火ヲ消シタ。機械ハ艦ヲ淺瀬ヨリ後退セシメ、再ビ同艦ハ河ヲ溯航シタ。

Hartford 號ニ續イタ Craven 大佐ノ Brooklyn 號モ亦苦イ經驗ヲ嘗メタ。闇ト、眼ヲ掩フ煙トノ中ニ Brooklyn 號ハ Hartford 號ヲ見失ヒ、ソノ內突然鎖堰ヲ作ツテヰル船ノ上ヲ通ツテヰル事ガ分ツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Craven 大佐ハ次ノ様ニ書イテヰル。『暫時我艦ハカラマツテ流レニ横倒シニナリ、艦首ハ河ノ左岸ヲ擦ツタ。此ノ狀態デ St. Philip 要塞ノ猛射ヲ受ケタ。艦ガ筏ヲ離レルヤ直ニ艦首ヲ上流ニ向ケタガ、其ノ數分ノ後、有名ナ衝撃艦 Manassas 號ノ弱イ衝撃ヲ受ケタ。敵艦ハ我右舷舷門ヲ衝撃シヨウトシ、先ヅ我艦ト約 10 呎以内ノ距離ニ來タ時、我ガ煙筒ニ向ツテ射撃シタ。敵彈ハ水線部約 5 呎上ノ所ニ命中シ蒸氣「ドラム」ヲ保護シテヰル砂嚢ニ留ツタ。本艦ガ堰ヲ乘リ越エテヰルトキニ、岸ニ近ク碇泊シテヰルコノ妙ナ外觀ヲシタ敵艦ヲ發見シタノデアル。2 度目ニ敵ガ現ハレタ時ハ餘リニ接近シ過ギテヰタノデ敵ハ全速力ヲ出ス機會ヲ得ズ、本艦ノ錨鎖ノ裝甲ガ舷側ヲ完全ニ保護シテヰタノデ、我艦ヲ破壞セントスル敵ノ努力ハ全ク挫折シ、直ニ敵艦ヲ離レテ闇ニ姿ヲ消シタ。其ノ後暫クシテ、ソレ迄ズツト Jackson 要塞ヨリ縱射ヲ受ケタノデアルガ、大型ノ敵汽船ニ攻撃サレタ。僅カ 50 乃至 60「ヤード」ノ近距離デ、我右舷ノ片舷齊射ハ殆ド同時ニ敵ヲ爆沈セシメタ。

闇ト、火ノ筏カラ發スル黒煙ニ包マレテ尙モ進路ヲサグツテヰル内ニ突然我艦ハ St. Philip 砲臺ノ正横ニ來テオツタ。シカモ右舷側測鉛手ガ水深 13 呎ヲ報ジタ程接近シテヰタ。我艦ハ全部ノ砲ヲ照準スル事ガ出來タノデ、暫ク葡萄彈及鐵筒彈ヲ打チコミ、同堡壘ヲ完全ニ沈默セシメタ。——櫓樓ニヰタ我兵員ハ敵ノ炸裂スル榴散彈ノ閃光中ニ、敵軍ガ羊ノ如ク逃ゲルノヲ目撃シタ。

要塞通過ノ後、我艦ハ敵ノ砲艦數隻ト交戰シタ……我艦ハ約 1 時

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

間半敵ノ砲火ヲ受ケテヰタ。』(以上ガ Craven 大佐ノ手記デアル)

第一戰隊ハ要塞ヲ通過シ終ヘタ後モ尙戰ヲ續ケネバナラナカツタ。即チ南軍ハ裝甲衝撃艦2隻ノ他ニ砲艦13隻ノ艦隊ヲ以テ待チ受ケテヰタ。Cayuga 號ハ上述ノ如ク St. Philep ノ砲臺際ニ安全ニ到達スル事ヲ主ナ任務トシテヰタ。併シ Pensacola 號ハソレト交戰スルタメニ除々ニ下航中デアツタ。次ニ續イタ Mississippi 號ト Oneida 號ハマダ列中ノ位置ヲ保ツテヰタノデ、Cayuga 號ハ煙ノ中カラ現ハレルト全ク孤立ノ狀態ニアツタ。

水先ヲナシタ Cayuga 號ノ George H. Perkins 大尉ハ次ノ如ク書イテヰル。『最後ノ砲臺ヲ通過シテコレデ障碍物ガナイト思ツタ時、自分ハ振リカヘツテ味方ノ艦船ヲサガシタ。其ノ時1隻モ見エナイノデ全ク驚イタ。彼等ハ敵砲臺ノタメニ撃沈セラレタト思ツタ。次ニ前方ヲ見ルト敵ノ砲艦11隻ガ我艦ニ向ツテ來ル所デアリ、我艦ハ明カニ駄目ニナツタト思ハレタ。敵ノ3隻ハ我艦ヲ襲撃スルタメ突進シテ來タガ、我ガ11吋砲ノ猛撃ハ敵ノ1隻 Governor Moore 號ヲ撃沈シタ。衝撃艦 Manassas 號ハ衝撃ヲ試ミテ我艦尾ニ當リ損ネタ。我艦ハヤガテ第三隻目ノヲヤッツケタ。丁度其ノ時要塞ヲ通過シタ味方ノ砲艦數隻ガ接近シテ來タガ、コヽデスベテガ混亂シ、アタリハ最モ激シイ興奮ニ滿チタ。即チ Varuna 號ハ味方ノ本艦ニ片舷齊射ヲ行フシ、味方ノ砲艦ノ他ノ1隻ハ Cayuga 號ノ拿捕艦ノ1隻ニ攻撃ヲ加ヘタ。——自分ハ叫ンダ、「其ノ艦ヲ砲撃スルナ、ソレハ降伏シタンダ!」敵ノ3隻ハ味方ノ他艦ガ現ハレナイ內ニ旣ニ降伏シテヰタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

併シ我全艦ノ到着スルヤ、直ニ總攻撃ヲ開始シ、約20分間ニ11隻ノ敵艦ヲ撃沈シテシマツタ。』

第一戰艦ノ5番艦 Varuna 號ハ北軍ノ失ツタ唯一ノ艦デアツタ。同艦ハ兩舷ニ砲戰ヲ交ハシツツ南軍艇隊ノ中ヲ通航シタガ、其ノ時前方ヲ逃ゲテ行ク小汽船ヲ認メテ之ヲ追撃シタ。併シ此ノ時同艦ハ、嘗テ合衆國海軍ニ勤メ當時ハ南軍ノ Governor Moore 號ヲ指揮シテヰタ Beverly Kennon ニ眼ヲツケラレテヰタ。Kennon ハ大型艦ニハ何等ナス術ノナイノヲ知ツテ混戰カラ抜ケ出シテ Varuna 號ノ追撃ニ移ツタ。彼ハ自分ノ見タ北軍艦隊ノ信號燈ト同ジ様ナノヲ掲ゲタノデ、サトラレズニ Varuna 號ニ接近スルコトガ出來タ。ソコデ艦首砲ヨリ2發ノ致命的彈丸ヲ Varuna 號ニ加ヘタ。Varuna 號ハ應射ノタメ面舵一杯トツタガ、コノ時敵ニ衝撃サレタ。尙同艦ハ數分後ニ南軍砲艦 Stonewall Jackson 號ニモ砲撃サレ沈沒ノ狀態デ岸ニ向ツタ。併シ其ノ砲火ハ Cayuga 號ノソレト相俟ツテ、ヤガテ Moore 號ニ損傷ヲ蒙ラセ之ヲ戰域外ニ落伍セシメタ。岸邊ニ沈ンダ Varuna 號ハ尙モ砲撃ヲ續ケ、遂ニ敵砲艦ハ火ヲ發シ、恰度ソコヘ到着シタ Oneida 號ニ降伏シタ。

第三戰隊ノ Itasca 號、Winona 號、Kennebec 號ハ艦列ノ最後ニ續キ大艦ノ援助ヲ受ケナカツタノデ、要塞ヲ通過スル事ガ出來ナカツタ。砲臺ノ守備兵ハ艦隊ノ砲撃ノ爲砲側カラ追ヒ拂ハレテヰタガ、又引キ返シテ夜ノ明ケル頃、コレラノ小艦ニ全注意ヲ集中シタ。Itasca 號ハ汽罐ヲ貫通サレ戰鬪力ヲ失ツテ退却シナケレバナラナカツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Winona 號ト Kennebec 號ハ鎖堰ニカラマリ、漸クソレカラ拔ケ出シテ前進シヨウトシタ時ハ、要塞ノ集中砲撃ニ堪ヘ得ナカツタノデアル。

◎New Orleans ノ占領

Farragut ガ要塞ノ上流5哩ノ Quarantive ニ艦隊ヲ集合シタ時、總テデ13隻アツタ。ソコデ彼ハ陸軍ト協力スベキ時期ガ到來シタト信ジテ Butler 將軍及 Porter 司令官ノ所ヘモ使者ヲ送ツタ。Wissalrickon 號ト Kiveo 號ハ、陸軍カラ最早安全デアツタ Quarantine Bayon ヲ經由シテヤツテ來ル場合ニ、ソノ上陸擁護ノタメニ同地ニ殘シ、殘リノ艦船ヲ率キテ Farragut ハ New Orleans ニ向ツテ除々ニ航行シタ。

翌朝10時30分頃艦隊ハ New Orleans ノ下流5哩ノ、嘗テ 1815年ニ英軍ノ攻撃ガ失敗ニ終ツタ English Turn ニ到着シタ。ココデ艦隊ハ舊堡壘線上ニ新シク築カレタ堡壘カラノ砲撃ヲ受ケタガ、隊ハ直ニ單縱陣ヲ制ツテ、同砲臺ヲ沈默セシメタ。

Farragut ハ次ノ様ニ書イテヰル。『午前中自分ハ New Orleans ノ人民ガ恐慌ヲ來シテヰル證據ヲ豊富ニ見タ。綿ヲ積載シテ火ヲ發シタ船ガ流レテ來タリ、有ユル種類ノ、例ヘバ造船所デ用フル様ナ道具モ流レテ來タ。財產ノ破壞ハ夥シイモノデアツタ……。New Orleans ノ沖積堤ハ一面破壞ノ場面デアツタ。船、汽船、綿、石炭等スベテガ一塊ニ燃エテ、コレ等流レ來ル燃燒物ヲ避ケルノニ骨ヲ折ラネバナラ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ナカツタ……。

サテ我艦ハ New Orleans ニ到着シテ直グ其ノ前面ニ投錨シ、Bailey 大佐ヲ上陸サセテ當局ニ降伏ヲ求メタ。市長ハ是ニ對シテ同市ガ戒嚴令下ニアルタメ、自分トシテハ何トモ出來ナイ事ヲ返事シタ。其ノ時一緒ニキタ Lovell 將軍ハ同市ヲ明ケ渡ス事ハシナイケレドモ、同市ヲ窮地ヨリ救フタメニ戒嚴令ヲトキ撤兵スル旨ヲ述ベ、實際撤兵シタ。」

市長ハ其ノ後ノ交渉ニ於テモ、回避的ナ返答ヲ續ケタノデ Farragut ハ我慢出來ナクナツタ。Louisiana ノ州旗ハ依然トシテ公會堂ニ飜ツテキタ。同市ヲ占領スルタメニ陸軍ノ到着ヲ待ツニハ時日ヲ要スル事デアツタ。Farragut ハ艦隊ノ威力ヲ以テ同市ヲ制壓スルコトハ出來タガ、財產ヲ破壞シ婦人子供ノ生命ヲ損フ事ヲ欲シナカツタノデ苦シイ立場ニアツタ。彼ハ常ニ直截ヲ好ム司令官デアツタケレドモ、武人デアルト同時ニ政治家デモアツタ。彼ハドコニデモ自分ノ主張ヲ通シテ目的ヲ達シタ。合衆國國旗ガ公會堂及政府ノ建築物ニ揭揚サレ、市ノ役人ハ北軍ノ權限ヲ認メタ。

29 日夕、Bailey 大佐ハ Jackson 及 St. Philip 要塞ガ降伏シタトイフ快報ヲ齎シタ。直ニ開城ヲ迫ル必要ハナカツタガ New Orleans ハ軍需供給ノ中心地デアツタノデ、同市ノ占領ハ要塞ノ占領ヲ早晩免レ難イモノトシタ。要塞ニ勃發シタ叛亂ハソノ最後ヲ早メタ。ソノ防備兵ノ大部分ハ外國人デアツタト傳ヘラレテキル。

New Orleans 下流ノ要塞ヲ通過シタノハ驚クベキ勇敢ナ行動デアツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。成功スル前ニハ數名ノ士官ハ Farragut ノ計畫ニ反對シテヰタ。即チ艦隊ガ供給ノ中心地カラ離レル事ハ愚策デアルト考ヘ、又木造艦船ガカク堅固ナ2箇ノ要塞下ヲ通過スル事ノ可能性ヲ疑ツタノデアル。南軍モコノ要塞ニハ絕對ノ信賴ヲ置キ、砲ノ着彈距離內ニ來ル艦隊ハスベテ擊滅スル自信ヲ持ツテヰタノデ、ソノ他ノ防備ハ急ガナカツタ。

Porter 中佐ハ他ノ別ノ作戰法ヲ提出シタ。即チ艦隊ヲ以テ攻擊シテ、要塞ヲ降伏サセテカラ進ンデ行ク方法ト、艦隊ト陸軍トヲ以テ聯合攻擊ヲナス方法トデアツタガ、Farragut ハ其ノイヅレニモ應ジナカツタ。ソレラハ必然的ニ時機ヲ失スルカラデアツタ。決定的行動ヲ延引スル事ハ南軍ニ防備ヲ固メル機會ヲ與ヘル事ニナリ、又味方ハ臼砲ノ彈藥ガ缺乏シツヽアツタノデアル。陸軍ノ援助ヲ受ケテ利益ヲ收メル事ニハ反對デハナカツタガ、聯合行動ハ下流ヨリスルヨリモ上流ヨリスル方ガ、ズツト有利デアルト信ジテヰタ。

戰ノ始マル前、南軍裝甲艦 Menassas 號、Louisiana 號、Mississippi 號ニ關シテ大ゲサナ流言ガ擴ツテヰタ。併シ若シ Farragut ガ攻擊ニモツト手間取ツテヰタラ、其ノ流言モ餘リ誇張サレテハヰナイ事ニナツタカモ知レナイ。Mississippi 號ハ未完成デアツタノデ、彼ガ到着前 New Orleans デ燒キ沈メラレタ。Louisiana 號ハ要塞防護ノタメ下航シタガ、機械ガマダ運轉狀態ニナカツタタメ無能デアツタ。2隻ノ他ハ Mississippi 河ノ汽船船長ガ指揮ヲトツテヰタ。要塞上流ノ砲艦隊ハ河川防備艦隊ニ屬シテヰタ。同艦隊ノ他ノ一部ハ Foote 及 Davis

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ト Pillow 及 Memphis ノ要塞デ交戦中デアツタ。彼等ハ只弱イ統制ノナイ戦ヒブリヲ示シタニ過ギナカツタ。尤モ彼等デモ北軍ガモツト緩慢ナ行動ヲトレバ、モツト大キナ破壊力ヲ持ツテヰタニ違ヒナイ。Farragut ハ機ヲ見ルニ敏デアツテ、攻撃力ノ増大ハ、攻撃ニ伴フ危険ヲ少クスル事ニヨツテ得ラレルトイフ主義ヲ奉ジテヰタ。

◎New Orleans ヨリ Vicksburg ヘ

New Orleans ニ於ケル Farragut ノ戦ニ意ヲ強ウシタ本省ハ、コレデ Mississippi 河全部ノ制覇ヲ妨ゲルモノハナイト信ジタ。ソコデ艦隊ト共ニ Memphis ノ上流ニ居タ Davis 司令官ハ河ヲ下航スル命ヲ受ケ、Farragut 提督ハ河ヲ溯航スル様ニ命ゼラレ、兩艦隊ハ河川ノ全障碍ヲ拂ツテ合同スル事ニナツタ。

Farragut ガ其ノ小艦艇ノ1隻ヲ派遣シテ Baton Rouge ト Natchez ノ降伏ヲ確保スル事ハ容易ノ業デアツタ。併シ Vicksburg ガ頑強ニ降伏ヲ肯ンジナカツタノデ、其ノ結果、Farragut ハ可及的速カニ艦隊ヲ以テ溯航シ、William 大佐麾下ノ 1,500 ノ陸軍ト合同シタ。海陸協同攻撃ガ考ヘラレタガ、砲臺ノアルモノガ水面ニ近ク、アルモノハ200呎ノ斷崖ニアルトイフ地ノ利ト、南軍ガ殆ド1時間ノ豫告ニヨツテ優勢ナル部隊ヲ得ル事ガ出來ルトイフ Vicksburg ノ便利ナ鐵道連絡トノタメニ、北軍ハ殆ド手ヲ下セナイトイフ事ガ明カデアツタ。William ノ部隊ハ僅カ數日分ノ糧食ヲ持ツテヰルノミデ、艦船ノ方デモ供給ハ不足シテヰタシ、河ハ減水シ始メテヰタ。之等ノ理由ダケデ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

モ Farragut ガ猶豫セズ艦隊ヲ New Orleans ニ下ラシメルニ充分デアル様ニ思ハレタ。

併シ本省ハ依然トシテ Mississippi ヲ掃蕩スル決意ヲ變ヘズ、艦隊ニ Vicksburg ニ引キ返ス様ニ命令シタ。Farragut ハ石炭ト軍需品ヲ受ケルトスグニ命ニ從ツタ。併シ New Orleans ノ攻撃ヲ開始シタ時ノ様ナ自信ト熱意トハナカツタ。時ハ6月デアル。彼ハ Hartford 號ノ如キ航洋艦船ヲ以テ Mississippi 河ヲ 500 哩モ溯航スル際ニハ船底ガ泥土ニ引ツカヽツテ敵ニ捕獲セラレ易イ事ヲ憂ヘテヰタ。各艦ハ絶エズ沈木ニ衝突シタ。ソレハ Farragut ガ Welles 長官ニ書キ送ツタ様ニ「敵ノ砲彈ヨリモツト破壞的デアツタ」ノデアル。ソレニ亦機械ハ休止ト修補ノ暇ガナク激シイ活動ヲシタノデ磨損ノ徵候ヲ表シテヰタ。ソレデ河ヲ溯ツテ、艦隊ニ石炭ヤ糧食ヲ供給スル事モ並々ナラヌ困難ナ事デアツタ。河岸ノ南軍ノ優秀ナ射手ハ絶エズ乘組員ヲ奪ツテ行ツタ。隱蔽サレタ砲臺ガ茸ノ様ニ現ハレ運送船ガ砲艦ノ護衞ヲ受ケナイ限リハ安全ニ航行スル事ガ不可能デアツタ。ソシテ砲艦ヲ送ルトナルト Vicksburg ニ於ケル兵力ガソレダケ弱クナルノデアツタ。

準備ガ出來タ時 Porter ハ臼砲ヲ以テ砲撃ヲ開始シ、2日間 Vicksburg ヲ砲撃シタ。次イデ Farragut ハ砲臺ヲ通過シ、本省ノ要求スル通リ上流ノ Davis ノ艦隊ト合シヨウト決心シタ。ソコデ砲艦ト小艦ヲ左ニ、岸ノ砲臺ヨリ遠ザケテ、艦隊ヲ2列ニ編成シ 6 月 28 日午前 2 時拔錨シテ 4 時ニ砲臺ト交戰シタ。

Farragut ハ書イテヰル。『Hartford 號ハ徐々ニ愼重ニ砲撃シテ効

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

果ヲ收メタ――自分ノ豫期シタヨリハズツト効果ヲ收メテ頂上ノ砲臺ニモ着彈サセタ。艦隊ト〔臼砲裝備〕艇隊トノ聯合攻撃ニヨツテ、敵ハヤガテ沈默シ、時ニハ數分間何等應戰シナカツタリ、又ハ應戰シテモタダ砲1門ヲ以テスル樣ナ事モアツタ……。

本省ハ此ノ報告書ニ依ツテ 要塞ハ通過シ得ベク、事實艦隊ハ通過シ終リ、今後幾度デモ要求アル毎ニ通過ハナシ得ル事ヲ認メルデアラウ。併シナガラ敵ガ丘ノ背後ニ我ガ上陸ヲ阻止シ、陣地ヲ確保スル大部隊ヲ有スル場合ニハ、我々ガ砲臺ヲ暫時沈默サセル程度ヨリ以上ノ事ヲスル事ハ容易デハナイデアラウ。』

6時 Farragut ハ Davis 艦隊ノ一小隊ヲ率キル海兵中佐 Ellet トー緒ニナリ投錨シタ。彼ノ艦船ノ7隻ハ Vicksburg 通過ニ成功シタ。併シ二列ノ殿ヲシテヰタ Brooklyn 號、Katahdin 號及 Kennebec 號ハ他艦ト離レ、猛撃ヲ受ケタ後同市ノ下流ニ退イタ。

Farragut ハ今ヤ 命令ヲ文字通リニ遂行シタノデアル。彼ハ河川ヲ少ナクトモ一時的ニ掃蕩シ、上流ノ艦隊ニ合シタ。併シ自分デモ承知シテヰタ樣ニ、實質上ナシ得タ事ハ餘リナイノデアツタ。3,000 名ヲ輸送船ニ載セテ彼ニ從ツタ Williams ハ高所ノ Vicksburg ヲ攻撃スルコトガ出來ナカツタ。南軍ハ Island No. 10 ト Memphis ヲ失ツタノデ尙彼等ノ手ニ殘ツテヰルコノ地ヲ防グノニ集結シテヰタ。本省ガ Halleck 將軍ヲシテ艦隊ト協力スルヤウニ送ラセタ部隊ヲ、彼ハ供給スル事ガ出來ナカツタ。本省ハ遂ニ眞ノ事情ヲ認メテ Farragut ニ New Orleans ヘ引返ス 命令ヲ下シタ。彼ガ其ノ命ニ從ハウトシテヰ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ時、彼ヲ大ニ殘念ガラセタ事件ガ勃發シタ。

Memphis ガ占領サレルト南軍ハ建造中ノ裝甲艦 Arkansas 號ヲ至急 Yazoo 河上流ニ廻航シテ難ヲ免レタ。Yazoo 河ハ Vicksburg ノ近クデ Mississippi ニ注ギ、其ノ河口ヨリ下流僅カ4浬ノ所ニ Farragut ト Davis ノ聯合艦隊ハ7月1日以來碇泊シテヰタノデアル。

7月19日 Davis ハ Farragut ノ提督ニヨツテ3隻ノ艦船ヲ以テ Ellet 海兵大佐ヲ派遣シ Arkansas 號ヲ如何ニナシ得ルカヲ探ラシメタ。Ellet ガ Yazoo 河ヲ上流ヘ6浬溯ツタ時、Arkansas 號ガ下ツテ來ルノニ出會ツタ。航行中ノ戰ガ續キ、北軍ノ小裝甲艦 Carondelet 號ハ執拗ニ敵ニツキマトツタガ、却ツテヒドイ目ニアツタ。非裝甲艦ノ Tyler 號ハ數發ヲ發射シタ後、全速力デ河ヲ下ツテ艦隊ニ急ヲ告ゲタ。

艦隊ハ全部埋火シテ碇泊シテヰタ。ソシテ Arkansas 號ガ現ハレタノデ之ヲ砲撃シタケレドモ、ソノ Vicksburg 到着前ニ汽釀スルコトハ出來ナカツタ。Carondelet 號ノ砲火ハ既ニ Arkansas 號ノ煙筒ヲ蜂巢ノ如ク穿孔シ、其ノ速力ヲ1節ニ減ゼシメタ。併シ水流ニ助ケラレテ敵艦ハ戰列ヲ通過シ、猛烈ナ砲撃ヲ受ケタガ、致命傷ハ受ケズニ Vicksburg ニ到着シタ。

直ニ Farragut ハ同艦ヲ追躡シ Vicksburg カラノ砲火ヲ受ケテモ同艦ヲ撃滅シヨウト決意シタ。此ノ夕方早ク艦隊ハ要塞ヲ通過シテ下流ニ移サレタ。併シ Arkansas 號ハ闇ニカクレテ安全地點ニ移サレタノデ難ヲ免レルコトガ出來タ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

7月末日 Farragut ハ艦隊ヲ New Orleans ニ引キ歸シタ。多數ノ士官及兵ガ「マラリヤ」ニ罹ツテヰタノデ、コノ時期ハ止ムヲ得ナカツタ。Arkansas 號ガマダ捕獲サレナイノデ彼ハ依然トシテ困ツテヰタガ、ソノ心配ハ8月9日南軍ガ Baton Rouge 攻撃ノ際 Arkansas 號ガ援助ノタメ下航シタ時ニ除カレタ。同艦ノ機械ハ依然トシテ調子ガ惡ク、W. D. Porter 中佐ノ Essex 號ガ交戰シヨウト突進シタ時、南軍ハ同艦ニ火ヲ放ツテ退却シタ。

其ノ後 1862年中ニハ Mississippi ノ艦船ニヨル重大ナ仕事ハナカツタ。ソノ間南軍ハ Vicksburg デ決死的ノ抵抗ヲスル準備ヲシ、Baton Pouge ノ北12哩ノ Port Hudson ニ、今一ツ堅固ナ堡壘陣地ヲ作リ始メタ。

1862年10月 David D. Porter ハ選バレテ、マダ Vicksburg 上流デ行動シテヰタ Mississippi 艦隊ヲ指揮スルコトニナツタ。彼ハ、其ノ任務ノ煩雜ナタメニ Foote 及 Davis ヲ疲勞サセタ職務ヲ繼イダ。此ノ時以前ニハ彼ノ勇猛果敢ナ戰ヒ振リハ、彼ガ下ノ地位ニヰタタメ、未ダ充分ニ効ヲアラハス機會ヲ得ナカツタ。併シ Lincoln ハ彼ノ隱レタ力ヲ認メ80名ノ上官ヲ越エテ彼ヲ少將心得トシ、艦隊ヲ指揮サセタノデアル。

1863年1月初旬、Porter ハ McClernand ト 協力シ、Arkansas 河ノ左岸、河口50哩ノ堡壘 Arkansas Post ノ攻撃ヲ行ツタ。此地ニ於ケル2日間ノ戰鬪ノ大部分ハ砲艦ニヨツテナサレ、敵砲臺ヲ沈默セシムルコトニ成功シタ。ソシテ丁度 McClernand ノ軍ガ攻撃ニ有利ナ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

地點ヲ確保シタ時ニ、6,000 名ノ守備部隊ヲ有スル要塞ヲ降伏セシメタノハ Porter 提督デアッタ。コノ勝利ノ結果トシテ Vicksburg 上流ノ艦隊ト輸送船ハ Arkansas 竝ニ White Rivers カラノ妨害ヲ完全ニ免レルコトニナッタ。

1863 年 1 月 Grant ガ自ラ Vicksburg 攻撃ノ指揮ニ當ッタ時、彼ハ直ニ Porter ヲ求メタ。其ノ後ノ長期ノ激戰ニ陸軍ト艦隊トノ協力ハ目立ッテ圓滿ニ確執ナク行ハレタ。此ノ事ニツイテ Grant 將軍ハ云ッテヰル。「Porter 麾下ノ海軍ハ全戰ヲ通ジテ理想的ノモノデアッタ。其ノ援助ナクシテハ、タトヘ 2 倍ノ兵ヲ以テシテモ成功シナカッタデアラウ。ドレ程ノ兵力ヲ以テシテモ、此ノ援助ナクシテハ、アレ程ウマクユクモノデハナイ。最モ完全ナ調和ガ陸海軍ノ間ヲ支配シタ。將官ノ要求モ、部下ノ要求モ、何一トシテ直ニ同意サレナカッタモノハナイ事ヲ自分ハ知ッテヰル。」Porter ノ功績ノ詳細ハ複雜デ概略シテ述ベル事ハ出來ナイガ、北軍ガ下流ノ河川ヲ安全ニ渡リ得テ、突然南部及東部ヨリ南軍堡壘ヲ攻撃シ得タノハ、Porter ノ艦隊ノ大部分ガ Vicksburg ヲ通過シタ事ニヨッタモノデアル事ハ注意スベキ事デアル。Grant ハ自ラ其ノ後ノ激戰ヲ指揮シ 1863 年 7 月 4 日ニ Vicksburg ヲ占領シタ。

Vicksburg 降伏ニ先立ッ事半年、Grant ト Porter ガマダ同市ノ上流ニヰタ間、Farragut ハ、Butler ニ代ッテ New Orleans ノ艦隊ヲ指揮シテヰタ Banks ニ提議シテ陸海軍協力シテ Port Hudson ヲ攻撃スル事ヲ申述ベタ。陸軍ノ準備不足ノタメ、其ノ攻撃ハ 1863 年 3

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

月14日ニナツテ行ハレタ。其ノ時デスラ殆ド全部海軍ノ手デ行ハレ、艦隊力ヲ非常ニ必要トシタ Port Hudson ノ上流ニ7隻ヲ送ル計畫ガ主ナ仕事デアツタ。此ノ地點ノ堡壘ハ Farragut ガヨク知ツテヰタ樣ニ當時非常ニ强大デアツテ、是ハ極メテ危險ナ仕事デアツタ。艦列ノ先頭ノ2艦 Hartford 號及 Albatros 號ノミガ砲臺通過ニ成功シタ。Mississippi 號ハ堡壘下ニ擱坐シ、敵ノ手ニ渡ルノヲ防グタメ火ヲ放タネバナラナカツタ。他ノ4隻ハ敵ノ砲火ニヨリ甚シイ損害ヲ受ケ退却シナケレバナラナクナツタ。

Port Hudson 上流ノ兵力ハ僅カデアツタガ Farragut ハ彼ノ目的ノ大部ヲ達スル事ガ出來タ。彼ハ絕エズ Port Hudson ヨリ Vicksburg ニ至ル Mississippi 河ヲ哨戒シタ——Porter モ其ノ時マデ Vicksburg 下流ノ艦隊ノ僅カ2隻、Queen of the West 號、Indianola 號ヲ送リ得タノミデ、其ノ2艦モ捕獲サレテヰタ。Farragut ハ又 Red River ヲ封鎖シ Vicksburg 及 Port Hudson ヘノ供給路ヲ絕チ、其ノ陷落ヲ早メタノデアツタ。

◎河 戰 ノ 結 果

1862 年乃至 63 年ノ Mississippi 河戰ノ重要サハ極メテ重ク評價サレルデアラウ。戰ガ終ツテ河ガ北軍制覇ノ下ニ歸シタ時、南軍ハ二分サレタ。Louisiana, Arkansas, Texas ノ富ンダ豊穰ナ州ハモハヤ Mississippi ヲ渡ツテ Virginia 及他ノ州ニ殘ツテヰル陸軍ニ軍需品ヲ供給スル事ガ出來ナクナツタ。殊ニ戰場トナツタ州ハ殆ド供給スル

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

事ガ出來ズ、糧食ト被服ノナイ軍隊ハ亡ビルノデアル。

New Orleans 占領ハ今一ツノ重要ナ結果ヲ有シテヰル。即チ「フランス」ガ合衆國ニ敵對行爲ヲトル事ヲ躊躇シタコトデアル。Louis Napoleon ハ既ニ英國ニ對シ、南部聯邦ヲ承認スルコトノ得策デアルコトヲ提議シテヰタ。ソシテ丁度 Farragut ガ正ニ Jackson 竝ニ St. Philip 要塞ヲ攻撃セントシテヰル時、Napoleon ハ南部聯邦ニ好意ヲ有スル英國ノ國會議員 Lindsay ト協議中デアツタ。「Lindsay ハ北軍ノ封鎖ガ無效デアリ、巴里會議第4條ニ觸レルト云ヒ、彼ノ意見ヲ裏書スル事實ヲ例示シタ。」皇帝ハ Lindsay 氏ノ意見ニ全ク贊成シ、「彼ハ最初カラ北米合衆國ノ舊態復歸ヲ不可能デアルト考ヘ、其ノ理由ニ基イテ、南北分離以外ノ結果ニハ至ラナイ爭ノ繼續ヲ不可トシタ」ト言ツタ。更ニ彼ハ Lindsay ニ「若シ英國ガ同等ノ兵力ヲ送ルナラバ、余モ亦直ニ Mississippi 河口ニ强力ナル艦隊ヲ派遣シ、貨物ヲ積ミ、世界ニ必要ナル綿ヲ供給スル我々ノ商船ガ自由ニ出入スル事ヲ要求シヨウ」ト約束シタ。北軍部隊ガ New Orleans ヲ占領シテヰタ時、政府ハ同市ノ商業ガ恢復スル事ヲ望ンダガ、併シ南軍港灣ノ封鎖ヲ放棄スル事ハ戰ヲ有利ニ終ラセルニ致命的デアツタデアラウ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第20章　Mobile 灣ノ戰

New Orleans ノ占領後、1862年ノ春ト夏トノ2回 Vicksburg ニ無益ノ攻撃ヲスル代リニ、モシ Farragut ガ自由ニ次ノ攻撃地點ヲ選ブ事ガ出來タトシタラ、彼ハ Mobile ヲ攻メタデアラウ。其ノ當時彼ノ麾下ノ艦隊ヲ以テ Mobile ヲ占領スル事ハ容易デアツタト思ハレル。併シ2年後本省ガ同地ノ攻撃ヲ命ジタ時ニハ南軍ハ既ニ防備ヲ固メテヰタタメニ容易ナラヌ業デアツタ。

1863年7月 Port Hudson ノ降伏ト共ニ Farragut ハ New Orleans 上流ノ全 Mississippi 河ノ指揮ヲ Porter ニ讓ツテ、8月1日ニ New York ニ向ツタ。彼ハ休養ヲ必要トシ、Hartford, Brooklyn, 及 Richmond ノ3艦モ大修理ガ必要デアツタ。此ノ二ノ目的ヲ達シテ同提督ト彼ノ艦船ハ、更ニ Gulf 封鎖ノ任務ヲ遂行スルタメ1864年1月ニ歸ツテ來タ。

New Orleans ノ陷落後 Mobile ハ綿ノ積込地トシテ南軍ノ最モ重要ナ港トナツタ。2大河ガ注ギ鐵道ノ連絡ノヨイ、長サ30哩ノ灣首ニ近ク位置ヲ占メテヰルタメニ、南軍ガコノ地ヲ保有スルコトハ極メテ重要デアツタ。1864年ノ Farragut ノ歸還ニ先立ツ殆ド2年間ハ一般的ノ封鎖ガ專門的ニ見テ効ヲ奏シテヰルト考ヘラレテヰタ。其ノ時デモマダ、敏速ナ破封鎖船ガ闇夜ニ岸ニ沿ツテ大膽ナ脫出ヲ試ミ、北軍艦船ノ近ヅカナイ內ニ、灣ノ入口ヲ擁シテヰル要塞ノ掩護下ニ走ル事ガ絕エズアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

此等ノ要塞ハ其ノ力ト重要サノ順ニ Morgan, Gaines 及 Powell デアッタ。Mobile Point ノ南端、主水道ノ東側ノ Morgan 要塞ハ厚サ4呎8吋ノ全煉瓦内壁ヲ有スル5角形ノ稜堡デアッタ。砲86門ヲ備ヘテ640名ノ守備兵ヲ有シテヰタ。水道ハソノ砲ノスグ下ニ在ッタノデ、灣口ノ最良防備トナッテヰタ。Gaines 要塞ハ Morgan ノ北西3哩 Dauphin 島ニ在ッタ。ソシテ Powell 要塞ハ同方向更ニ6哩ノ所ニ在ッテ、小汽船ノミ通航可能デアル河口ノ一ヲ擁シテヰタ。今カラ述ベヨウトスル戰ハ Gaines モ Powell モ加ハッテヰナイカラ、コレラノ要塞ハコレ以上考ヘナイ。Gaines ノ南東ニ當ル平灘ニハ長イ1列ノ杭ヲ打チコンデ小艇ノ通航ヲ防ギ、杭ノ終ル所ニハ2列ノ機雷ガ Morgan ニ向ッテ敷設サレテヰタ。

更ニ要塞ヲ強化スルタメ、南軍ハ Farragut ノ攻撃開始ノ數箇月前ニ既ニ Merrimac 號ト大體同型ノ裝甲艦 Tennessee 號ヲ準備シテヰタ。Merrimac 號程長クハナイガ Tennessee 號ハソレヨリモ稍堅固ナ裝甲鈑ヲ持チ、更ニ14呎トイフ淺イ吃水ノ點ニ優ッテヰタ。其ノ鐵嘴ト6吋砲4門、7吋旋條砲2門トイフ強力ナ兵裝ハ木造艦ニトッテハ恐ルベキ敵デアッタ。實ニ同艦ハ一般ニ最強ノ軍艦ト考ヘラレテヰタ。Tennessee 號ヲ援助スル2, 3隻ノ木造砲艦ガアッタガ、コレモ逃亡者ヤ避難者ガヤハリ裝甲艦ダト Farragut ニ傳ヘテヰタ。

Mobile 沖ニ到着シテ偵察ヲ行ッテカラ、Farragut ハ要塞ヲ陷落スルタメニ、裝甲艦竝ニ部隊ノ必要ヲ本省ニ報告シタ。7月末ニナッテヤット部隊ハ派遣セラレ、8月4日ニ彼ノ麾下ニ入ルベキ4隻ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Monitor 艦ガ全部到着シタ。ソコデ其ノ翌日 Farragut ハ攻撃ヲ開始シタ。

彼ガ要塞通過ニ細心ノ準備ヲシタコトハ New Orleans ノ戰ノ場合ト同様デアツタ。14隻ノ木造艦ノ大部分ハ砲艦級ニ過ギナカツタノデ、彼ハ Port Hudson デ試ミタ如ク艦船ヲ2隻宛組合セテ進撃セシメル策ヲトツタ。即チ各大艦ノ左舷ニ小艦ヲ横附曳航シ、小艦ヲ Morgan 要塞ノ砲火カラ保護シタ。此ノ戰ハ Farragut ガ Essex 號乘組時代以來ノ最モ決死的ナ戰トナツタ。彼ハコレヲ豫知シテヰタラシク、8月4日附ノ手紙ニハ殆ド憂愁トモ思ハレル、彼ラシカラヌ沈痛ナ眞面目サガ見ラレル。

『最愛ナル妻ヘ、私ハ此ノ手紙ヲアナタノ爲ニ書キ殘シテ置ク。神樣ハ私ヲ導イテ下サルト思フガ、サウデアルナラバ、其ノ導キニヨツテ私ハ今朝 Mobile 灣ヘ出カケル。私ハ神樣ヲ信賴シテヰル。此ノ場所ガ私ノ死場所デアルト神樣ガ思召シニナルナラバ、私ハ他ノ事同樣ニ、ソノ點デモ御心ニ從フ用意ヲシテヰル。

愛スル夫、一瞬時モ最愛ノ妻ヘノ愛ト義務ト貞節ヲ忘レタコトノナイ夫、D. G. Farragut ヨリ』

彼ハコノ攻撃ニ2箇ノ有利ナ條件ヲ望ンデヰタ。即チ漲潮ト、艦船ノ砲煙ヲ Morgan 要塞ニ吹キヨセル西風トデアツタ。8月5日金曜日ノ早朝、此ノ2箇ノ條件ガ揃ツタ。

未明ニ Farragut ハ艦隊ニ進撃用意ノ命令ヲ下シタ。5時30分、朝食後ノ茶ヲ喫シナガラ、彼ハ艦隊參謀長ニ向ツテ靜ニ云ツタ。「トコ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

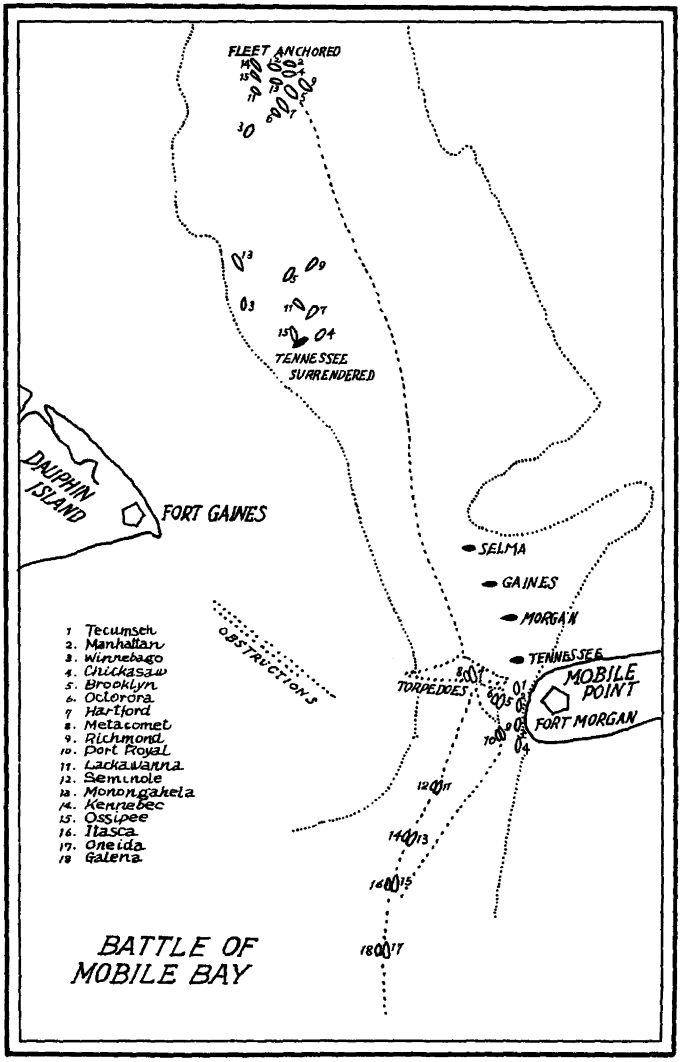
HP『海軍砲術学校』公開史料

ロデ、Drayton, モウ航行シテモヨカラウ。」1分ノ内ニ待チウケテヰル艦長達カラノ返事ノ信號ガ來、1對ヅツ横附曳航デ艦船ハ豫定位置ニツイタ。

艦列ノ先頭ハ James Alden 大佐ノ Brooklyn 號ト Charles Green 少佐ノ Actorora 號デアツタ。ソレニ續イテ Percival Drayton 大佐ノ旗艦 Hartford 號、James E. Jonett 少佐ノ Metacomet 號ガ進ンダ。Morgan 要塞ニ接近スレバ縦射砲撃ヲ受ケルデアラウシ、又要塞ト同一線ニナラナケレバ極メテ少數ノ砲シカ發砲スル事ガ出來ナイカラ、ドノ方向ニモ砲撃シ得ル「モニター」艦 Tecumseh 號、Manhattan 號、Winnebago 號及 Chickasaw 號ハ艦隊ノ右舷前方ニ1列ヲ作ツテ艦隊ヲ保護シツツ要塞ヲ砲撃スルコトニナツタ。葡萄彈ト榴霰彈トノ砲撃ニヨツテ Morgan 要塞ノ砲手ノ意氣ヲ沮喪セシムルタメニ、艦隊ハ赤色浮標ノ東方ヲ、要塞ニ接近シテ通過スルコトニナツタ。浮標ハ機雷線ノ限界ヲ記シテヰルト云ハレタ。從ツテコノ順序ハ二重ノ意味ヲ持ツテヰタ。

T. A. M. Craven 中佐ノ Tecnmsseh 號ガ6時47分戰端ヲ開イテ第一彈ヲ發射シタ。ソノ間南軍艦隊 Tennessee 號、Morgan 號、Gaines 號及 Selina 號ハ要塞ノ背部ヨリ現ハレ、水道ニ梯陣ヲ敷キ、右舷砲ヲ前進シ來ル敵艦隊ニ向ケタ。Tennessee 號ハ左端ニアツテ、赤色浮標ノ稍西ニ位置シタ。此ノ衝撃艦ニハ Farragut ハ特ニ Tecumseh 號ト Manhattan 號ヲ以テ當ラシメヤウト企テテヰタガ、Tecumseh 艦長 Craven モコレト交戰スルコトヲ非常ニ希望シテヰタ。ソコデ第一

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



Battle of Mobile Bay

HP『海軍砲術学校』公開史料

發ヲ放ツタ後、Craven ハ各砲ニ62听ノ裝藥ト鋼鐵彈ヲ裝塡シテ用意シテヰタ。

Morgan 要塞ハ7時ヲ少シ過ギル頃近接スル艦隊ニ砲火ヲ開始シタ。30分間、艦隊ガ僅ニ艦首追撃砲デ應戰シ得ルノミデアル間、縱射ヲ行ツタ。30分ノ後 Brooklyn 號ト Hartford 號ハ要塞ト竝行シ片舷砲ヲ發射シタ。Farragut ハ左舷大檣維持索ノ所カラ、砲手ガ露砲塔ヤ水上砲臺カラ追ヒ拂ハレルノヲ見テヰタ。併シ彼ノ此ノ滿足ハ永ク續カズ、突如形勢ガ一變シタ。

Tecumseh 艦長 Craven 中佐ハ Brooklyn 號ノ右舷前方約 300「ヤード」ニ在ツタガ、赤色浮標ニ接近シタ時、水先人ニ『提督ハ自分ニ浮標ノ內側ヲ〔東側〕ニ進ム樣ニ命令サレタガ、間違ヒニ違ヒナイ』ト言ツタ。丁度其ノ時敵艦 Tennessee ハ少シク西ニ向ツテ前進シタ。之ヲ見タ Craven ハ其ノ針路ニ關スル疑念ト、Tennessee ト交戰スル熱望ト相俟ツテ全速力ヲ以テ此ノ衝撃艦ニ突進シタ。此ノ行動デ Tecumseh 號ハ浮標ノ稍西方ニ出タ。

Tennessee 號ノ艦首砲ハ「モニター」艦ヲ迎ヘ撃ツタメニ重裝藥ヲ裝塡シタ。コノ兩裝甲艦ガ將ニ交戰セントスル瞬時、突如爆音ガ聞エテ、Tecumseh 號ハヒドク傾キ、見ル見ル內ニ沈ンデ了ツタノデ、乘組員135名中113名ハ艦ト運命ヲ共ニシタ。コレハ同艦砲塔ノ下デ機雷ガ爆發シタノデアル。ソシテ2分ト經タヌ內ニ、同艦ノアツタ所ニハ只渦巻シカ殘ツテヰナカツタ。Craven 中佐モ戰死シタ。爆發ノ際司令塔ノ中デ彼ト一緒ニヰタ水先人ノ Collins 氏ハ、2人共本能的ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

唯一ノ逃ゲ場所デアル梯子ニ向ツタ時、Craven ハ「水先人、オ前カラ先ニ行ケ」ト言ヒナガラ引キ返シタト言ツテヰル。司令官ノ立派ナ禮讓ガ彼ノ生命ヲ奪ツタノデアル。

木造艦列ノ先頭デアツタ Brooklyn 號ノ Alden 大佐ハ此ノ慘事ヲ仔細ニ目撃シテヰタガ、コノ時カ或ハ僅カニソノ前ニ、彼ノ見張兵ハ殆ド同艦ノ艦首ノ下ニ機雷浮標ノアルコトヲ告ゲタ。Alden 大佐ハ直ニ機械ヲ後進シテ艦ヲ停メタ。コノトキ長官カラハ前進セヨトノ信號ガアツタ。併シ彼ハ其ノ信號ヲ見ナカツタノカ、或ハ前面ニ機雷ガアリ、右舷近クニ「モニター」艦ヲ控ヘテ、ドウ處置シテイイノカ分ラナカツタノカ、兎ニ角彼ハ停止シタママデアツタ。其ノ間他ノ艦船ハ前進ヲツヅケテヰタノデ、艦列ハ Morgan 要塞ノ直下デ亂レテ收拾スベカラザル狀態ニ陷ル危險ガアツタ。既ニ守備兵ハ此ノ混亂ヲ見テ一層激シク砲撃シタ。

Farragut 提督ハ Hartford 號ノ索具ノ所カラ、「モニター」艦ノ撃沈サレルノヲ見タ。彼ハ又 Brooklyn 號ガ理由ハ分ラナイガ後進シテ停止シタノモ見タ。カクテ旗艦ノ右舷艦首ニハ水道ニ横倒シトナツテ Brooklyn 號ト Octorora 號トガ停止シ、右舷正横ニハ「モニター」艦 Winnebago 號及 Chickasaw 號ガアリ、一方艦隊ハ迅速ニ集結シツツアツタノデ、後1分モスレバ退ク事スラモ出來ナクナリサウデアツタ。Mahan ガ言ツタ樣ニ「彼ノ一生ノ究極ノ瞬間」デアツタ。彼ノ長イ海軍生活ノ最後ノ勝利ハ迅速ナ正シイ決斷ニ懸ツテヰタ。ココデ判斷ヲ誤レバ北軍ノ大敗北トナリ、多年ノ彼ノ準備モ、Mississippi

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ於ケル輝カシイ勲功モ悲劇ニ終ツテ了フ事ニナルノデアツタ。後日 Farragut ハ此ノ瞬間ノ混亂ヲ見テ、計畫ハスベテ挫折シタト感ジ、進ムベキカ退クベキカモ分ラナカツタト語ツタ。此ノ窮地ニ、彼ノ一生ヲ支配シ、常ニ彼ノ信書ニ現ハレテヰル崇高ナル精神ガ神ニ導キヲ求メタ。彼ハ祈ツタ、『神ヨ、人間ヲ創造シ、理性ヲ與ヘタ神ヨ、自分ノ行動ヲ導カレンコトヲ、自分ハ前進スベキモノデアラウカ。』サウスルト恰モ「前進セヨ」ト命ズル聲ガ聞エルカノ様デアツタト提督ハ語ツタ。

前進命令ノ信號ガ Brooklyn 號ニハ無效デアツタノデ、Farragut ハ自ラ先頭ニ立ツ決意ヲシタ。ソシテ彼ハ右舷ヘノ安全ナ針路ヲトルコトガ出來ナカツタノデ、左舷ノ方向ニ進マウトシタ。ソコデ Hartford 號ニハ前進ヲ命ジ、横附曳航ヲシテ來タ Metacomet 號ニハ後進ヲ命ジテ、稍旋回シ Brooklyn 號ノ艦尾ヲ通過シテ機雷線ニ向ツテ直進シタ。Brooklyn 號カラ前面ニ機雷ノアルコトヲ知ラセル警報ガ來タ。

「機雷ガ何ダ！」ト自分ノ目的ノミヲ考ヘテヰル提督ハ叫ンダ。ソシテ「四點鐘（全速信號）、Drayton 艦長、前進！ Jonett, 全力運轉！」ト命ジタ。カクテ Hartford 號ト Metacomet 號ハ機雷線ヲ突破シタ。艦員ハ火管ガ「カチツ」ト音ヲ立テルノガ聞エタト云ツタガ、機雷ハ1箇モ爆發シナカツタ。Brooklyn 號ト Octorora 號ハソノ後ニ續キ、斯クテ艦列ハ魔力ニカカツタ様ニ一線ニ延ビタ。

一方、Farragut ハ其ノ時マダ沈沒シタ Tecumseh 艦ノ附近デ、モ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ガイテキル生存者ノコトモ忘レナカツタ。ソコデ Jonett ニ短艇ヲ卸ス様ニ指圖シタ。Henry C. Nields 少尉心得ハ少年デアツタガ短艇ヲ指揮シ、敵味方ノ砲火ニ曝サレテキル要塞ノ數百「ヤード」以内ニマデ漕イダ。彼ハ10名ヲ救助シ艦隊ニ漕ギ歸ツテ Oneida 號ニ着キ、彼ハ戰ガ終ルマデ同艦ニ居タ。

先導艦ガ機雷ノ危險外ニ出ルト、南軍艦隊ガ待チ受ケテキルノヲ發見シタ。3隻ノ南軍木造艦ハ徐々ニ退却シ乍ラ發砲シタ。之ガ爲 Hartford 號ハ可成ノ損害ヲ被ツタ。同艦ハ狹イ水道ノタメニ砲ヲ敵艦ニ照準スル事ガ出來ナカツタノデ、15分間敵砲火ニ曝サレタ。

ソシテ Tennessee 號ノ指揮官 Buchanan 提督ハ Hartford 號ニ衝撃ヲ試ミタガ、併シ Hartford 號ノ速力ガ優ツテキタノデソレヲ避ケ、之ニ應射シツツ灣ノ溯航ヲ續ケタ。Buchanan 提督ハ注意ヲ次々ニ Brooklyn 號、Richmond 號及 Lackawanna 號ニ向ケ、各艦ト砲火ヲ交ヘタガ大キナ損害ヲ與ヘルコトハ出來ナカツタ。Monongahela 號ハ Tennessee 號ニ衝撃ヲ試ミタガ單ニカスツタダケデアツタ。

此ノ時既ニ Hartford 號ハ同艦ヲ苦メテキタ3隻ノ砲艦ヲ照準シ得ル地點ニ達シ、直ニ之ヲ驅逐シタ。Gaines 號ハ大損害ヲ受ケ、Morgan 要塞ニ達スルマデ、ヤツト沈沒ヲ免レタ位デアツタ。一方 Metacomet 號ハ Selma 號ヲ追撃中デ遂ニコレヲ捕獲シタ。Morgan 號及少シ遲レテ Tennessee 號ハ共ニ要塞砲下ニ逃避シタ。

8時少シ過ギニ3隻ノ北軍「モニター」艦及 Farragut ノ木造艦船凡テデ14隻ハ、Oneida 號ヲ除ク他、比較的損傷ヲ受ケズニ、無事要

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

塞ヲ通過シタ。此ノ Oneida 號ハ列ノ殿ニ曝サレタ位置ヲ占メテヰタノデ Morgan 要塞ノ砲火ニヨツテ汽罐ヲ貫通サレ、完全ニ運轉不能トナツタ。ココニ於テ艦船ヲ1對ヅツ組合ハセテ進撃シタ Farragut ノ策ノ賢明デアツタコトガ明白ニナツタ。Oneida 號ノ僚艦 Galena 號ハ潮流ノ助ケヲカリテ同艦ヲ灣内ニ曳航シタ。

北軍艦船ガ1隻ヅツ Morgan 要塞ノ上流4浬ニ在ル地點ニ達シタ時何レモ投錨ヲ命ゼラレタ。ヤガテ厨宰ハ朝食ノ準備ヲシ、乗組員ハ緊張ガスンデ氣ヲ弛メテヰタ。Hartford 號ノ後部最上甲板デ Farragut ハ艦隊參謀長 Drayton ト話シテヰタ。Drayton ハ戰ハ終ツタケレドモマダ最大ノ强敵 Tennessee ト戰フ事ガ殘ツテヰルト語ツタ。同ジ考ヘガ Farragut ノ頭ニアツタ。彼ハ自ラ Manhattan 號ニ乗ツテ他ノ「モニター」艦ヲ率キ、其ノ夜要塞下ノ敵艦ヲ攻撃スル決意ヲシタ。彼ハ南軍砲手ガ發砲スルニシテモ、敵味方ヲ區別スル事ノ出來ナイ様ナ夜闇ニ乗ジテ敵艦ヲ襲撃スル事ヲ企テタ。併シコノ決死的手段ヲ講ズル事ハ不必要トナツタ。ソレハ午前8時45分全艦船ガマダ投錨シ終ラヌ内ニ Tennessee 號ガ現ハレタノ報告ガアリ、續イテソレハ北軍ノ旗艦ニ向ツテ來ルト報ゼラレタ。

白晝、單身デ全艦隊ト決戰スベク、カク勇敢ニ前進シタ Buchanan 提督ノ勇氣ハ多トセザルヲ得ナイガ、併シ此ノ行爲ハ無謀ニ過ギズ、ソレニヨツテ彼ノ保持シテヰタ明白ナ優勢ヲモ烏有ニ歸シタ。彼ハ北軍艦隊ノ砲ノ大部分デアル滑膛砲ヨリモズツト着彈距離ノ大キイ重旋條砲ヲ持ツテヰタノデアルカラ、遠距離カラ木造艦ヲ砲撃スレバ損害

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

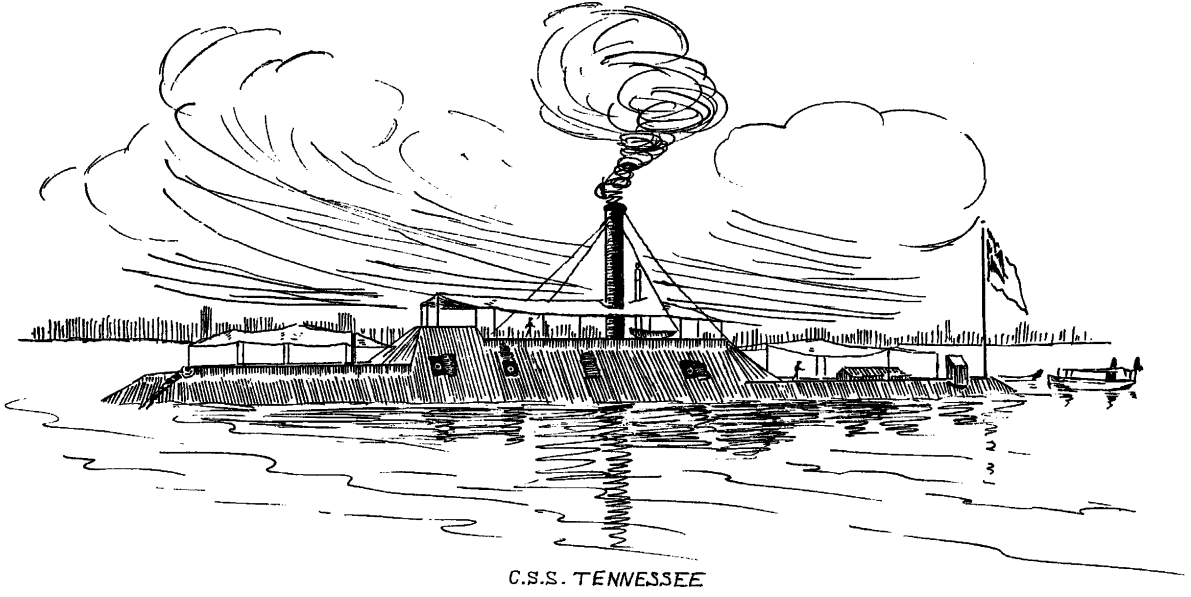
ヲ受ケル事ナク、敵ヲ破損スル事ガ出來タデアラウ。若シ敵艦隊ガ同艦ノ攻撃ヲ企テテモ、要塞ニ退イテ淺瀬ニ位置ヲ占メ、Farragut ガ大艦ヲ使用出來ナイ樣ニスル事モ出來タデアラウ。Tennessee 號ハ衝撃艦トシテ活躍スルニハ速力ガ遲スギタ。ソコデ近距離戰ニナルト不利ヲ免レナカツタ。併シ Buchanan ハ水ノ深イ、水道ノ廣イ北軍艦隊ノ中ニ突進シテ、敵ニ非常ニ有利ナ條件デ挑戰シタノデアル。

北軍艦隊デハ食卓ヲ急イデ片附ケ、コノ一戰ヘノ準備ガナサレタ。强力ナ木造艦ハ「砲ニヨツテノミデナク全速力デ敵艦衝撃セヨ」トノ命令ヲ受ケタ。艦隊軍醫長ノ Palmer 博士ハ回診中偶旗艦ニ居テ、「ランチ」ニ乘リ移ル所デアツタノデ、「モニター」艦ニ Farragut ノコノ攻撃命令ヲ傳ヘタ。

北軍ノ裝甲艦ハ既ニ速力ガ遲ク、操縱シ難イ事ガ分ツテヰタ。ソレデ此ノ第二戰ヲ開始シタノハ、マダ投錨シテヰナカツタ木造艦 Monongahela 號デアツタ。同艦ハ Tennessee 號ヲ衝撃シタガ却ツテ艦首ト艦首水切〔既ニ要塞通過ノ際衝撃ヲ試ミテ破損シテヰタ〕ヲモギトラレテ、敵艦ニハ何ノ損害モ與ヘナカツタ。Lackawanna 號ハスグ後ニ續キ Tennessee 號ニ全速力デ衝撃シタ。コノ時モ損害ヲ受ケタノハ攻撃シタ方ノ艦デアツタ。同艦ノ艦首ハ水線部附近ノ板張ノ所マデ粉碎サレタノニ反シテ、Tennessee 號ニ與ヘタ唯一ノ目ニツイタ結果ハ、ソレヲグツト傾斜セシメタダケデアツタ。Lackawanna 號ハ艦首ニ2彈ヲ貫通サレタガ、離レル時9吋彈ヲ1發カヘシテ敵艦左舷ノ遮光裝置ノ一ヲ破壞シ、ソノ破片ヲ砲廓內ニ飛散セシメタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料



http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Hartford 號ハ第三番目ニ敵艦ヲ衝撃シタガ、併シ擦過的デアツタ。同旗艦ガ接近スルト敵ガソノ方ニ方向ヲ變ヘタノデアル。Hartford 號ハ擦レテ過ギル時、9吋砲ノ片舷齊射ヲ行ツタガ彈丸ハハネ返ツテ効果ガナカツタ。Tennessee 號ハコレニ應ジテ只1發ヲカヘシタノミデアツタガ、ソレハ Hartford 號ノ居住甲板ヲ貫キ死者5名、傷者 8名ヲ出サシメタ。兩艦ガ衝突シタ時、後甲板ニ立ツテヰタ Farragut 提督ハ左舷後檣索具ヲ傳ツテ、丁度敵艦ノ上ニナツタ手摺ニ飛ビ降リタ。參謀大尉 Watson ハ彼ノ危險ヲ憂ヘテ、身體ニ網ヲ卷イテ索具ニユハヘツケタ。コノ方法ハ前ニ灣ヲ入ル時、Drayton 大佐ガ檣樓ニ近イ大檣維持索ニヰル提督ヲ認メテ墜落シナイヤウニ操舵員 Knowles ニ命ジテサセタ事ガアツタ。

Hartford 號、Lackawanna 號兩艦ハ再ビ敵衝撃艦ヲ攻撃スル位置ニツクタメ旋回シタ。併シコノ操縦中 Lackawanna 號ハ旗艦ノ後檣ヨリ僅カ前方ノ所ニ衝突シ、二ノ砲門ヲ破壞シ、「ダールグレン」砲ヲ砲架カラ落シ、水線下2呎ノ舷側ヲ破壞シタ。Farragut ハ損傷ノ程度ヲ見ルタメ直ニ舷側ヲ飛ビ越エタ。Drayton 大佐ハ云ツテヰル、『「直ニ提督ヲ艦外ヘ救ヒ出セ」ト云フ皆ノ叫ビガシタ。ソシテ附近ノスベテノ者ノ注意ハ彼ヲ安全ナ場所ニ移ス事ニアツタ。』併シ Farragut ハ Hartford 號ヲ去ラウトハシナカツタ。同艦ガ尚沈マナイ事ヲ知ルト、衝撃艦ニ向フ命令ヲ繰返シタ。併シ再ビ操縦ガ混亂シ、旗艦ハ辛ウジテ Lackawanna 號トノ2度目ノ衝突ヲ免レタ。

其ノ間「モニター」艦ハ敵艦ニ接近シテ攻撃中デアツタ。Manhattan

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

號ノ大砲ノ一ハ使用不能トナツタガ、別ノ大砲デ15吋砲彈ヲ命中サセ、砲塔ノ裝甲鈑ト木材部トヲ貫通シテ內部ノ網ニトマツタ。Winnebago 號ノ砲塔ハ回轉セズ、發砲スルニハ艦ヲ向ケカヘネバナラナカツタノデ、其ノ結果攻擊力ハ大ニ減ジタ。併シ二ノ砲塔ヲ持ツタ「モニター」艦ノ Chickasaw 號ハ Perkins 少佐〔Farragut 麾下ノ艦長中ノ最年少者〕ノ巧ミナ操縱ニヨツテ、Tennessee 號ノ艦尾ノ位置ヲ占メ、南軍ノ水先人ガ云ツタ樣ニ「蛭ノ樣ニ」ソコニ附イテ離レナカツタ。

Tennessee 號艦上デハ交戰中 Buchanan 提督ガ砲ノ操作ヲ監督シタ。Hartford トノ衝突ノ後、漏洩ガヒドイ事ヲ機關科士官ガ報告シタノデ彼ハ直ニ操舵室ノ J. D. Johnston 中佐ニ命ジテ Morgan 要塞ニ向ハシメタ。Chickasaw 號ガ艦尾ノ位置カラ離レズ衝擊艦ヲ苦シメタノハ其ノ時デアツタ。

建造中ノ大失錯ノタメニ甲板ニ露出シテヰタ Tennessee 號ノ舵鏈ハ打チ飛バサレタ。次ニ砲門蓋ガ Chickasaw 號ノ11吋砲彈ヲ受ケタ。此ノ爲ソコニヰタ機關兵曹長ハ即死シ、鐵ノ破片ハ砲手ノ1人ニ致命傷ヲ負ハセ、Buchanan 提督ノ足ヲ膝ノ上部デ折ツタ。Buchanan ガ指揮ヲ讓ツタ Johnston ハ懸命ニ難ヲ免レヨウトシタガ殆ド無爲ニ終ツタ。艦ヲ操縱スルニ用ヒタ應急舵索ハ砲彈ノ爲飛ビ、舵柄ハ舵頭カラモギトラレタ。煙筒ハ蜂巢ノ樣ニ穿孔サレテ、Tennessee 號ガ木造船ニ衝擊サレタ時ニ倒レ、蒸氣ハ急速ニ壓力ヲ降下シタ。後部ノ二ノ砲門ハ破壞サレ取リ除クコトモ出來ズ、片舷ノ砲門蓋ノ二ハ艦隊ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

砲火ニヨツテ完全ニ取リ拂ハレタ。コノ損害ノタメ戰ノ最後ノ30分即チ Hartford 號トノ衝突ノ後、Tennessee 號ハ1發ヲモ發砲スル事ガ出來ナイ事ニナツタ。コノ間 Chickasaw 號ハ敵ノ艦尾ヨリ 50「ヤード」ト離レズニ執拗ナ砲撃ヲツヅケ11吋砲彈52發ヲ放ツタ。同艦ノ砲撃ニツイテ Johnston ハ其ノ報告ニ「砲彈ハ防舷材ノ後端ニ雨ト命中シ、完全ニ粉碎シタノデ數分ノ後ニハ砲甲板ヲ敵ノ縱射砲火ニ曝露シタデアラウ。」ト云ツテヰル。

今ヤ Tennessee 號ハ木材ノ如ク無力トナツタ。Buchanan 提督ハ艦ノ狀態ヲ見テ、居住甲板デ彼ヲ探シ出シタ Johnston ニ「出來ル限リヲツクシテ、萬事休シタ時ニハ降伏セヨ」ト言ツタ。Ossippee 號ガ其ノ時全速力デ攻撃シテ來タ。Hartford 號、Monongahela 號、Lackawanna 號ハ衝撃ノ第二ノ機會ヲネラツテヰタ。最早ヤ Tennessee 號ハ單ニ北軍艦船ノ標的デアルニ過ギナイコトヲサトツテ、Johnston ハ砲廓ノ上ニ出テ旗ヲ卸シ、ヤガテ再ビ現ハレテ白旗ヲ揭ゲタ。Ossippee 艦上ノ Le Roy ハ直ニ艦ヲ停止シヤウトシタガ、行脚デ前進シ右舷後部ニブツツカツタ。併シ損害ハ與ヘナカツタ。

戰ハ間ニ30分間ノ中絶ガアツテ、3時間15分續キ10時ニ終ツタ。北軍艦隊ノ被害モ莫大デ戰死者52名、負傷者 170名ニ達シタ。Hartford 號ハ他ヨリモ損害ガ大キク、戰死者25名即チ全戰死者ノ約半數ヲ出シテヰル。コレハ數分間應戰不能ノママ敵砲艦ノ集中射撃ヲ受ケ、2度モ Tennessee 號ト接戰ヲシタカラデアル。南軍艦隊ノ砲火ハ Morgan 要塞ヨリモ大キナ損害ヲ敵ニ與ヘタ。Tecumseh 號ト共ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

溺死シタ人數ヲ加ヘルト北軍ノ失ツタ總人數ハ 335 名デアル。南軍ノ方ハコレニ比ベテ僅少デ、戰死 10 名、負傷 16 名デアツタ。

同ジ 8 月 5 日ノ午後 Chickasaw 號ハ Powell 要塞ヲ砲撃シ夜ノ中ニ撤兵セシメタ。翌日同艦ハ Gaines 要塞ヲ攻撃シ陸軍ヲ助ケテ 8 月 7 日同堡壘ヲ降伏サセタ。Morgan 要塞ハ頑强ニ降伏ヲ拒ミ、尙數日ヲ持チコタヘタ。併シ重攻城砲ト 3 隻ノ「モニター」艦ト、捕獲シタ Tennessee 號ヲ含ム全艦隊ノ射撃ヲ受ケテヤガテ抵抗スル力ヲ失ヒ、防備軍ハ 1 日ダケソノ攻撃ニ堪ヘタガ翌 8 月 23 日ニ降伏シタ。

Farragut ハ灣ヲ完全ニ制覇シタノデ破封鎖船ニ對シ港ヲ封鎖スル事ガ出來タ。ソシテ計畫ノ全部ヲ完了シタノデアル。Mobile 市ヲ占領スルコトハ彼ノ目的デハナカツタ——占領スレバ有利ナコトハ疑ガナイガ。彼ノ計算ニヨルト 20,000 乃至 30,000 ノ兵ガソノタメニ必要デアリ、又ソレヲ保持スルニモ同數ノ兵ガ必要デアツタ。ソシテ淺水部デ協力シ得ルノハ吃水ノ小サイ「モニター」艦ト砲艦ダケデアツタ。ソノ結果彼ハ灣ノ下部カラ機雷ヲ掃蕩シ數箇月間オトナシク其處ニ留ツテヰル事デ滿足シタ。

我々ガ Mobile 灣ノ戰ノ重要サヲ考ヘル時、要塞ノ占領ト灣ノ占據ニヨツテ達成シタ Gulf States ノ封鎖ノ完成ガ非常ニ重大デアツタ事ハ明カデアル。更ニソレヨリモ Farragut ノ戰勝ハ政治的危機ノ際デアツタ爲ニ、ソシテ其ノ勝利ガ丁度時宜ヲ得タタメニ、合衆國ノ非常ニ重大ナル決意ニ强ク反映シタモノデアツタ。

1864 年ノ夏ノ終リニ近イ頃、Lincoln 側ノ人々ハ 11 月ノ選擧ヲ前

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニシテ非常ニ驚カサレタ。ト云フノハ Illinois, Indiana, Pennsylvania ノ諸州カラノ信ズベキ情報ニヨルト、コレラ諸州ハ政府ノ政策ニ絶對的ニ反對シテヰルトノ事デアツタ。彼等ハ戰爭ニ飽キテヰタ。ソシテ委員會ニ於テ民主黨ノ採用セル政綱——其ノ大要ハ戰爭ヲ失敗ナリト決メテヰタモノデアル——ハ若シ Lincoln ガ再選サレナイ場合ニ、如何ナル政策ガ代リニトラレルカヲ明カニ物語ツテヰタ。併シ Mobile 灣ノ戰ト次ニ間モナク起ツタ Sherman ノ Atlanta 占領ハ加速度的ニ戰ニ新局面ヲ開イタ。Seward ガ Washington ニ於ケル短イ演說中ニ述ベタ如ク、「Sherman ト Farragut ハ「シカゴ」市（民主黨）ノ推薦權ヲ根抵カラ打チコハシタ」ノデアル。9月ニハ Sheridan ガ Winchestes 及 Fisher's Hill ニ於テ華々シイ勝利ヲ收メタ。政爭ハ酣トナツタガ、Lincoln 側ハ議論ヲ戰ハセル必要ガナカツタ。彼等ハ唯最近ノ事實ヲ指示スレバヨカツタ。11月8日ノ選擧日ニ人民ハ相手方ノ21票ニ對シ Lincoln ニ212票ヲ投ジタノデアル。「重稅ト、戰爭ニヨル疲弊ト、各家庭ノ悲ミニモカカハラズ彼等ハ 1864 年ノコノ選擧ノ日ニ、一旦始メタ仕事ヲヤツテシマハウトイフ決心ヲシタ。」

Mobile 灣ノ戰ノ後、Farragut ハ Fisher 要塞攻擊ノ指揮ヲ命ゼラレタ。併シ彼ノ Gulf States ニ於ケル長期ノ奮鬪ハ一通リデハナク、ドンナ若イ者デモ過勞ヲ感ズルモノデアツタ。Farragut ハ既ニ63歲ヲ過ギ、サウ無限ニ續クコトハ出來ナカツタ。ソコデ此ノ攻擊ノ指揮ハ Porter 提督ガスル事ニナツテ、Farragut ハ北上ヲ命ゼラレタ。1864年12月、彼ガ New York ニ歸ツタ時ハ國ヲ擧ゲテノ喜ビデア

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ツタ。同市ノ役人ト市民ノ代表者ノ委員會ハ彼ニ New York ヲ彼ノ家庭トスル様ニ乞ヒ、ソレト共ニ 50,000 弗ヲ提供シタ。同月政府ハ彼ノ功績ヲ認メテ彼ノタメニ海軍中將ノ階級ヲ作ツタ。1866 年 7 月、議會ハ彼ヲ海軍大將トスル法案ヲ通過シタ。コレハ以前ニ 1 度モナク其ノ後モ只 2 回シカ與ヘラレタコトノナイ名譽デアル。翌年歐洲艦隊ヲ指揮シタ時、彼ハ歐洲ノ諸帝王ノ注目ヲ受ケ到ル所デ「海軍將校ナル地位ヲ飾ルニ當代無比ノ行爲ニヨル光輝ヲ以テシタ人物ノ存在ガ捲キ起ス所ノ熱狂ト尊敬トヲ以テ」迎ヘラレタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第21章　Albemarle Sound ノ戰

◎Albemarle Sound ノ重要性

Hatteras 及 Pamlico Sound ニ於ケル勝利ノ後ニ續イタ 1861—62 年ノ冬ノ間、北軍ハ Albemarle Sound ノ制覇ヲ策シテヰタ。コレハ種々ノ理由カラ必要デアツタ。南軍ハコノ海峽ヲ逃避所トシテ沿岸通商ヲ惱マシテヰタ。北軍ハ修理工場及給炭地トシテ南部聯邦領土内ニ港ヲ必要トシタ。聯邦ノ中心ヲ貫ク數多ノ河川ハ此ノ海峽ニ注ギ、其ノ岸ニハ多クノ重要都市ガアル。2本ノ鐵道及4本ノ運河ハ優レタ運輸機關デアル。ソシテ最モ重要ナコトニハ Norfolk ガ後方ノ主ナル供給地カラ切斷サレ、陸軍ガカクテコノ重要都市攻撃ニ協力スルコトガ出來ル。更ニ Albemarle 海峽ノ制覇ハ Norfolk 海軍工廠ヲ脅シ Norfolk ト Richmond トノ切斷及コノ兩都市ト更ニ南ノ州トノ間ノ鐵道交通ノ切斷ヲ急迫セシメルコトニナル。南軍ハ Pamlico Sound ヲ失ツテカラ Albemarle 海峽ノ入口ヲ扼スル Roanoke Island ヲ堅固ニスベク大ニ努メテヰタ。併シ Wise 將軍麾下ノ乏シイ軍勢ト Lynch 大佐ノ小部隊デハ兵力不足デアツタ。

1862 年 1 月初旬 Burnside 將軍麾下ノ 12,000 名ノ部隊ト Goldborough 將軍及 Rowan 中佐麾下ノ主トシテ河川用汽船、渡船及曳船カラ成ル大キイガ特徴ノナイ海軍トハ Albemarle Sound ニ向ツタ。陸海軍ハ非常ニ調和シテ協力シ、2 月 8 日 Roanoke Island ノ南軍要塞及守備隊ヲ征服シタ。彼等ハ次イデ Dismal Swamp Canal ヲ經テ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

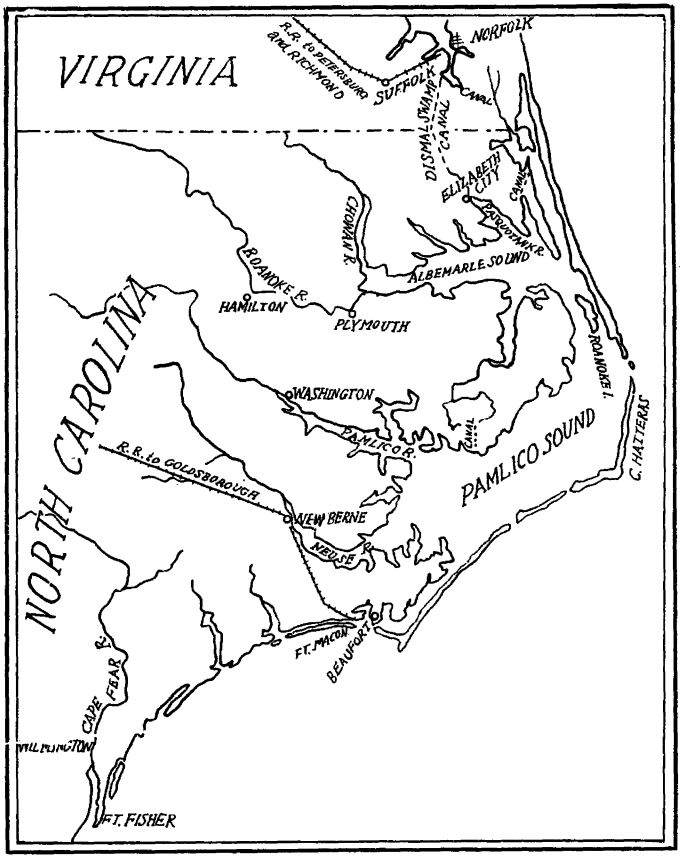
Norfolk ヘノ路ヲ擁シテヰル Elizabeth City ト Pasguotauk River ヲ占領シタ。此ノ海峡ヲ占領シタ北軍ハ Neuse River ヲ溯リ、要塞ヤ沈メタ船ヤ、鐵ノ尖端ノツイタ杭デ作ツタ障碍デ守ツテアツタ New Berne ヲ占領シタ。同市ハ當時 North Carolina 第二ノ商業都市デアツタ。コレハ3月14日ノコトデアル。1箇月半ノ後ニ北軍ガ Macon 要塞ヲ占領シタ時ニ海峡及附近ノ河川ノ占領ガ完全ナモノトナツタ。

◎衝撃艦 Albemarle 號

南軍ハ前記海峡ニ於ケル勢力ノ損失ヲ痛切ニ感ジ 1863年3月14日及翌 1864年1月30日ノ2回、New Berne ノ奪回ヲ企テタガ成功シナカツタ。更ニ南軍當局ハ海峡ニ注グ河川ニ裝甲艦ヲ配置シヤウトスル計畫ヲ立テテヰタノデ、北軍ハ河ヲ溯リ [illegible]ington, Plymouth, Hamilton 諸市ヲ攻撃スルノニ忙シカツタ。此ノ邊ノ海面ニ於テ北軍艦隊トソノ陸軍トガ勢力ヲ張ツテヰタニモカカハラズ Cooke 大佐及 Gilbert Elliott ハ 1863 年早々 Roanoke River ノ Edward's Ferry ニ於テ衝撃艦 Albemarle 號ノ建造ヲ開始シタ。Cooke ハ彼ノ熱心サノタメニ鐵男ノ艦長 "ironmonger captain" ト云フ名ヲ得テヰタガ、附近カラ鐵ヲ掠奪シ、1864 年春マデニ同艦ヲ進水サセ武裝シ、當分ノ間ハ北軍ノ木造艦隊ヲ打チ破ツテ Sounds ヲ南軍ノ手ニ恢復シヤウトイフ脅威ヲ感ゼシメタ。

Albemarle 號ハ長サ 122 呎、幅 45 呎、吃水 8 呎デ其ノ船材ニハ大キナ松材ヲ用ヒ鳩尾形金具デ止メ、其ノ上ヲ4吋ノ甲板デ掩ツテアツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



ALBEMARLE AND PAMLICO SOUNDS

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。甲板ニハ8角形ノ楯即チ砲廓ガアリ、長サ60呎デ表面ヲ彈丸ガカスメル様ニ傾斜サセテアツタ。コノ砲廓モ亦外板ノ張ツテアル非常ニ重イ木材デアツテ2段ノ2吋ノ鐵板デ圍ツテアツタ。Albemarle 號ノ鐵嘴ハ堅質ノ樫ヲ重イ鐵デ張ツタモノデ先ニ至ル程細クナツテヰタ。同裝甲艦ハ5箇ノ螺旋推進器ヲ動カスタメニ各200馬力ノ機械ヲ備ヘテヰタ。兵裝ハ艦首及艦尾ニ1箇宛100听「アームストロング」砲ヲ備ヘ、砲廓ハ之等ノ旋回砲ガ片舷砲トモ又後部砲トモ用ヒラレル様ニ穴ガアケテアツタ。

1864年4月18日朝 Albemarle 號ハ其ノ前日 Plymouth 砲撃ヲ開始シタ Hoke 將軍ト協力スルタメ Roanoke 河ヲ下航シ初メタ。同艦ハ急流デハ操縦出來ナカツタノデ艦首ニ鎖ヲ引キズリ艦尾ヲ先ニシテ流レヲ下ツタ。端ト大鎚ハ砲廓ノ裝甲鈑ヲ仕上ゲルタメニマダ使ハレテヰタ。『相變ラズノ Cooke ハ浮ベル工場ノ狀態デ艦ノ航行ヲ始メタ……龜甲蓋ノ上ニハ澤山ノ足場ガカケテアツテ、大鎚ヲ持ツタ水兵ガ多ク居タ。操舵室ノ上ニ Cooke 大佐ガ立ツテ命令シテヰタ。乘組員ノ若干ガ大砲ノ所デ訓練サレテヰタ。「第10番デ止メ」ト司令官ハ叫ブ。「轉把ニツケ、アハセ、火門、洗桿用意！ 火藥裝塡！」ト次ノ命令ガ出ル。「第11番デ止メ、左舷、ヨシ、轉把ニツケ、彈藥裝塡！」コノ言語ノ混亂ノ內ニ浮ベル怪物ハ試運轉兼實戰ニ向ツタ。』

Albemarle 號ハソノ Plymouth 攻撃ニ協力スル事ヲ防グタメニ、Warren's Neck 附近ノ河川ニ置イテアツタ古イ沈沒船ヤ、杭ヤ機雷ノ障碍ノ上ヲ無事ニ通過シタ。19日ノ早朝 Cooke 大佐ハ遙カ下流ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

2隻ノ北軍軍艦 Miami 號ト Southfield 號ガ溯航シテ來ルノヲ見タ。Flusser 大尉ニ指揮サレタ此等ノ軍艦ハ、萬力デツカマヘル如ク衝撃艦ヲ捕ヘテ次ニ9吋重砲ト100斤旋條砲トニヨツテ粉砕シヨウトイフ計畫デ、兩艦ノ中間ニ長イ圓材ト鎖トヲ張リ渡シテ竝ンデヤツテキタ。併シ Cooke ハ警戒シテ殆ド北軍軍艦ト竝行スルマデ岸ニ接航シ、ソシテ突然中流ニ向テ方向ヲ變ヘ、全速力デ Miami 號ノ艦首ヲ過ギ Southfield 號ノ右舷側ヲ衝撃シテ直ニ同艦ヲ沈メタ。初メ衝撃艦ノ鋭イ鐵嘴ガ突キ込ンダマヽデアツタノデ、ソノ艦首ハ Southfield 號ト共ニ水中ニ沈ンダ。海水ハ Albemarle ノ砲門カラ浸入シテ來タノデ暫クハ同艦ノ運命モ決ツタカノ様ニ見エタ。併シ北軍軍艦ガ淺瀬デ横倒シニナツタ時 Cooke ノ裝甲艦ハ離レタ。同艦ハ前部砲門ヨリ盛ンニ浸水シテキタ。

Miami 號ノ Flusser 大尉ハ直ニ重砲デ砲火ヲ開キ、彼自身モ10秒信管ヲ有スル砲彈ヲ發射シタガ、敵艦ノ傾斜セル舷側カラ彈ネ返ツテ爆發シタ爲彼自身ハ死ンダ。Miami 號ノ乘組員ハ彼等ノ砲彈ガ小石ノ様ニ無駄ニカスツテキルノヲ見テ敵艦乘取リノ計畫ヲ立テタ。併シ Albemarle 號ノ甲板ニハ、コノ計畫ヲ破ル用意ヲシタ兵ガ直チニ集ツテ來タ。ソコデ Miami 號ハ此ノ計畫ヲ棄テソノ快速力ヲ利用シ1彈モ受ケズニ逃ゲ去ツタ。カクテ Albemarle 號ハ終日 Plymouth 防備ノ要塞ニ向ツテ砲撃ヲ續ケ、4月20日ニハ Wassells 將軍ハ 1,500 ノ北軍部隊ヲ率キテ Hoke 將軍麾下ノ南軍ニ降伏シタ。

5月5日 Albemarle 號ハ Plymouth デ捕獲シタ Bombsbell 號及輸

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

送船 Cotton Plant 號ヲ従ヘ首尾同形艦 Mattabesett 號、Sassacus 號 Wyalusing 號及 Miami 號、渡船 Commodore Hull 號、竝ニ砲艦 Whitehead 號、Ceres 號ヨリナル Melancton Smith ノ「擬似艦隊」(paste board fleet) ヲ攻撃スルタメ Roanoke 河カラ出テ來タ。北軍司令官ハ避ケ難イ戰ニ對シテ出來ルダケノ準備ヲシテヰタ。彼ハ Miami 號ニ機雷ト、衝撃艦ノ推進器ヲ搦ム强イ網ヲ備ヘタ。彼ノ作戰ハ首尾同形ノ船ノ操縦シ易イ點ヲ利用シテ舷側外輪ヲ危險ニサラス事ナシニ出來ルダケ敵ニ接近シ、强力ナ大砲ヲ發砲シタ後直チニ同ジ路ヲ引キ返ス事デアツタ。

Albemarle 號ハ開戰先ヅ遠距離カラ Mattabesett 號ニ對シヨク第1彈ヲ放ツタ。ソレハ手摺ト圓材ヲ切リトリ、砲手6名ヲ傷ケタ。併シ Albemarle 號ガ衝撃ヲ試ミタ時北軍艦船ハ巧ミニ避ケタ。鹿ヲ襲フ1隊ノ狼ノ如ク、Smith 大佐ノ艦隊ハ裝甲艦ヲ包圍シタ。北軍軍艦カラノ射撃ハ迅速デアツタガ敵ノ裝甲艦側ニハ何ノ効果モナカツタ。旋回旋條砲ノ100听砲彈デサヘカスメルダケデ効力ガナカツタ。敵艦ノ砲門ニ砲彈ヲ命中サセ、或ハ同艦ノ弱點ヲ見出サウトスル企テモスベテ水泡ニ歸シタ。此ノ危機ニ Roe 大佐ノ Sassacus 號ハ3噸ノ眞鍮ノ衝角ヲ持ツテヰタノデ徐々ニ後退シ、次デ蒸汽ヲ一杯上ゲテ敵艦ニ突進シタ。此ノ脆弱ナ艦ガ敵艦ニ突入シテソレヲ傾ケ、乘組員ヲ倒シタ時ニ「總員伏セ」ノ命令ガ下ツタ。同時ニ Albemarle 號カラノ砲彈ガ Sassacus 號ヲ貫通シ、第2彈ハ汽罐ヲ破裂サセタ。火傷ヲ受ケ狂氣ノ樣ニナツタ者ノ叫喚ニ交ツテ、Sassacus ノ乘組員ガ拳銃ヤ、小銃ヤ手

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

擲彈ヲ以テ敵ノ襲撃隊員ヲ退ケテヰル音ガ聞エタ。此ノ間ニ Miami 號ヲ除イタ他ノ艦ハ、接戰シヤウトモシナカツタシ、又出來ナカツタ。是ハ一ニハ Wyalusing 號ガ沈沒シツツアルト誤ツテ發セラレタ信號ニヨルモノデアツタ。Miami 號ノ機雷使用ノ計畫モソノ拙劣ナ操縱ノタメニ失敗シタ。募ツテ來ル闇ノ中ニ Albemarle 號ハ上流ヘ退イタ。其ノ砲ノ一ハ砲口ヲ粉碎サレ、舵柄ハ用ヲ爲サナクナリ、煙筒ハ蜂巢ノ如ク穿孔サレタ。

カクテ New Berne 攻撃ニ於テ南部陸軍ト協力スルタメニ北軍艦隊ニ挑戰シタ衝撃艦ノ目的ハ失敗シタ。5 月 24 日 Albemarle 號ハ再ビ現レタ。此ノ時ハ同艦ヲ破壞スルタメ敷設サレタ機雷掃海ノタメニ Roanoke 河口ニ現ハレタノデアル。此ノ日カラ 10 月 27 日マデ同艦ハ Plymouth ニ「不名譽ナル靜止」ノ狀態ヲ續ケタ。其ノ間 Cooke 大佐ハ病氣ノタメ Warley 大尉ト交代シタ。其ノ不活動ニモカカハラズ衝撃艦ノ存在ハ北軍艦隊、從ツテ海峽ノ制覇ニ對シテノ脅威タル事ハ變ラナカツタ。

◎Cushing 大尉ノ衝撃艦撃沈計畫

此ノ危機ニ際シ當時マダ 21 歲ノ William B. Cushing 大尉ハ機雷ニヨツテ Albemarle 號ヲ破壞スル事ヲ海軍省ニ提言シタ。此ノ青年ハ前ニ數回大膽ナ冒險ニメザマシイ成功ヲ收メタ事ガアツタガ、1862 年 11 月彼ハ North Carolina ノ New River Inlet デ Ellis 號ヲ襲撃シテ成功シタ。翌年 1 月ニハ 25 名ノ兵ヲ率ヰ Little River ノ土壘ヲ占

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

領シタ。1864年2月ニハ Cape Fear River ニ於テ勇敢ニ南軍戰線ニ突入シ Hebert 將軍ノ參謀官ノ1人ヲ捕ヘタ。6月ニハ15名ヲ率キテ「カッター」デ、Raleigh 裝甲艦ガ擊破サレル以前 North Carolina ノ Wilmington 附近デ偵察ヲ行ヒ要塞公用使カラ郵便ヲ奪ヒ、北軍艦隊攻擊後 Cape Fear River ヲ上流ヘ退却中ノ Raleigh 號ハ門洲デ「龍骨ヲ折ツタ」事ヲ確カメタ。ソシテ Cushing ハ巧ミニ警備艦ヲ逃レテ安全ニ1人モ失ハズニ自分ノ艦ニ歸ツタ。カウイフ青年デアツタノデ、本省モ Albemarle 號ノ擊破ヲ委ネタ。

Cushing 大尉ハ「機雷裝備艇」トシテ適當ナ船ヲ選ブタメ New York ニ派遣サレ、哨戒艇トシテ造ラレタ2隻ヲ選ンダ。『此ノ船ハ長サ約30呎、小サナ機械ヲ有シ、螺旋推進器ノアル無蓋ノ「ランチ」デアツタ。12听榴彈砲ガ各艇ノ船首ニ備ヘテアリ、長サ約14呎ノ「ブーム」ガ張出シテアツテ、蝶番デ船首ノ垂直面ニ旋回スル樣ニナツテヰタ。此ノ「ブーム」ハ船內ノ支柱ニ導イテアル上張索デ上下ニ動カシ、ソシテ機雷ハ其ノ先端ノ鐵ノ滑子ニ取リツケラレタ。コレハ船內ニ至ル Heel-jigger ニヨツテ「ブーム」ヨリ離ス仕掛デアリ、火門座ト彈帽ノ上ニ葡萄彈ヲ支ヘテヰル「ピン」ト連結シテヰル他ノ一ノ線デ爆發スル事ニナツテヰタ。』

◎南北戰爭ト機雷

各種ノ初期ノ水雷即チ敷設水雷ハ獨立戰爭時代 Bushnell ニヨツテ又 1812 年戰爭中 Robert Fulton ニヨツテ發明サレタガ、水中爆發

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ最初ニ成功シタモノハ南北戦争中ニ於テデアツタ。此ノ戦争中約28隻ガ水雷ニヨツテ撃沈サレ、又損傷サレタ。コノ機械ハ初期ノ機雷装備艇、或ハ潜水艦又ハ Goliath ヲ殺シタ者ノ名デ呼バレテヰタ "David" ニトリツケラレタ「フレーム」機雷、浮揚機雷、電氣機雷、外装機雷ノ如キ種類ヲ含ンデヰタ。機雷トイフ一般的ノ名稱ノモトニ火藥ヲツメテアル不同形ノ鑄鐵ノ彈丸ニ石炭ニ似セテ塗料ヲ塗リ、北軍艦船ノ炭庫中ニカクシテオイタ石炭機雷ノ如キモノモ含マレテヰル。又ソノ他、時計仕掛デ外形ハ無害ニ見エ艦上ニ持チコマレテカラ一定ノ時間ニ爆發スルモノモアツタ。數種ノ機雷ガ艦船破壞ノタメ河ヤ海ニ敷設セラレタ。艦船ハコレヲ避ケルタメニ網ヲツケタリ、警備艇ヲ用ヒタリシタ。

此ノ新シイ武器ヲ最初ニ用ヒタノハ南軍デアツタ。餘リニ非人道的ナ戦争ノ方法ニハ反對デアツタ南軍デハアツタガ、其ノ政府ハ 1862年10月海軍省ニ機雷局ヲ設置シタ。1863年「葉巻形ノ機雷装備艇」1隻ハ Charleston 沖デ New Ironside 號攻撃ヲ試ミタ。是ハ失敗ニ終ツタガ、ソレハ敵艦ノ非常ニ厚イ鐵ト木材トノ装甲ノタメデアツタ。之等ノ David 艇ノ他ノ一ハ 1864年2月17日、4分間ニシテ同ジク Charleston 沖デ装甲「スループ」型軍艦 Housatonic 號ヲ沈メタ。同艇ハ潜水艦デアツタガ、潜航中3名ノ乘組員ヲ窒息セシメタカラ、水面航走デ同艇最後ノ唯1回ノ攻撃ニ成功シタノデアツタ。其ノ際乘組員ハ Housatonic 號ト共ニ全員戦死シタ。

外装機雷 (Spar torpedo) ニハ戦争中用ヒラレテ成功ヲ收メタモノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ數種類ガアル。Cushing ノ用ヒタ型ハ海軍ノ Lay 技師ノ發明シタモノデ、雷管ヲイレタ圓錐形狀物ガ底ニツイテヰル銅ノ圓筒デ、其ノ圓筒ノ內部ニ上カラ下マデ管ガアツテ、其ノ端ニ引金「ピン」ニ支ヘラレタ葡萄彈ガ、一寸デモ引ケバ「ピン」ガ拔ケテ、圓錐ノ中ノ雷管ノ上ニ落チ、外側ノ圓筒ト管トノ中間ノ空間ニアル 50 乃至 70 听ノ火藥ヲ爆發サセル樣ニ裝置シテアツタ。上部ノ方ハ機雷ガ離レタ場合ニ直立シタママ浮クヤウニ氣室ガアツタ。カカル複雜ナ機械ヲ扱フニハ最モ周密ナ注意ガ必要デアツタ。機雷裝備艇ハ敵艦ノ張出ノ下デ機雷ノ裝備シテアル圓材ヲ自由ニ卸シ得ル丁度適當ナ場所ニトマラナケレバナラナカツタ。Cushing ハ Albemarle 號ニ對シ機雷ヲ用ヒタ時ニハ自分ノ身體ニ 4 本ノ索ヲツケタ。即チ機雷發射用索、引金索、及艇ヲ操縱スルタメニ舷ト踵トニ夫々 2 本ノ紐ヲツケタ。

◎Albemarle 號ノ擊沈

Cushing 大尉ハ運河ヲ經テ Chesapeake Bay ヘ、ソレカラ Norfolk ヘ南下中哨艇ノ 1 隻ヲ失ツタガ、他ノ 1 隻ヲ以テ多クノ冒險ヲシテ敵地ヲ通過シ、遂ニ Roanoke River ノ河口沖ニ碇泊中ノ北軍艦隊ニ到着シタ。此ノ靑年士官ハ自分ノ計畫ヲ乘組員ニ話シ、此ノ危險ナ仕事ヲ避ケル機會ヲ與ヘタガ、彼等ハ 1 人殘ラズ志願シタ。

Albemarle 號ハ周圍ノ陸地ニ展開シテヰル數千ノ兵ニ守ラレテ、河口 8 浬ノ Plymouth ニ碇泊シテヰタ。同市ノ下流 1 哩ノ所ニ South-field 號ノ殘骸ガアリ、其ノ最上甲板ニハ危險ヲ知ラセル見張兵ガ立

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

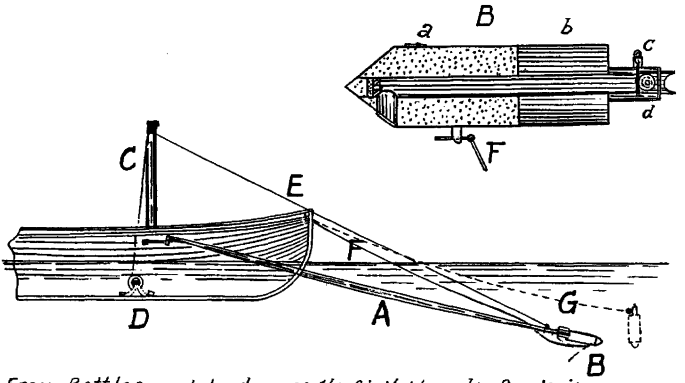
HP『海軍砲術学校』公開史料

ツテ居タ。同艦ハ其ノ指揮官 Warley 大佐ニヨルト、僅カ 60 名ノ乗組員シカナカツタ――「夜間甲板デ武装警備ヲシ、其ノ上哨兵ヲ立テルニハ餘リニ少數デアツタ。」

1864 年 10 月 27 日ノ小雨降ル闇夜、Cushing ハ河ヲ溯航シ、Southfield 號ニハ氣ヅカレズニ ソコヲ通過シタ。ココニ其ノ夜及翌日ノ興味アル彼自身ノ冒險談ヲ引用シヨウ。

我々ハ哨兵カラ 30 呎以内ヲ通過シタガ、見ツケラレズニ敵艦ニ接近シタ。自分ハ 2 隻ノ艇ニ拳銃、短劍、手榴彈等ヲ携ヘル 20 名ヲ率キテヰタノデ、敵艦ヲ襲撃シテ「分捕リスル」方ガヨイト其ノ時考ヘタ。敵ノ兵力ハ我ガ10倍ニアタリ、附近ニハ數千ノ兵ガヰタノデアル。併シ奇襲デ勝テナイモノハナイ。若シ敵艦ヲ襲撃シタ其ノ瞬間、其ノ繋留索ヲ切ツテ了ヘバ我々ハ乘組員ヲヤツツケテ艦ヲ流レニ出シ、敵艦ノ裝甲舷側ヲ利用シテ要塞ニ備ヘル事モ出來ヤウト考ヘタ。地理ヲヨク知ツテヰタノデ自分ハ下ノ棧橋カラ上陸シ、ソツト廻ツテ岸カラ突然船ヲ襲フコトニシタ。併シ丁度自分ガ棧橋ニ近ヅイテヰタ時、敵艦カラ鋭イ叫聲ガ矢繼早ニ聞エタ。自分ハ直チニ「カッター」ヲ離シテ後方ニアル警備艇ヲ捕獲スルタメ下航サセ、自分ノ艇ハ全速力ヲ命ジテ前面ノ黒イ裝甲艦ニ突進シタ。敵艦カラバカリデナク岸ニ配置サレタ兵カラモ猛撃ヲ浴セラレタ。我々ハコレヲ物トモセズ速カニ敵ニ近ヅイタ。岸デハ大キナ火ガ燃エタ。其ノ光ニヨツテ自分ハ Albemarle 號ノ周圍ニハ木材ガ機雷ヲ防グタメニ舷側カラツキ出テヰルトイフ殘念ナ事實ヲ發見シタ。ソレヲモツト仔細ニ調ベルタメニ自

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



From Battles and Leaders of the Civil War, by Permission

CUSHING'S LAUNCH AND TORPEDO

A, Spar. B, Torpedo. C, Stanchion. D, Windlass E, Topping Lift. F, Heel-Tigger G, Trigger Line. a, Powder Chamber. b, Air Chamber. c, Pin holding Grape Shot in place and attached to Trigger Line G. d, Grape Shot.

HP『海軍砲術学校』公開史料

分ハ敵艦ノ中央部ノ舷側マデ行ツタ時、敵ノ砲火ヲ受ケタ。其ノ圓材ハ長ク水中ニアル爲、ヌラヌラシテヰル——其ノ場合ニハ我ガ艇ガマツシグラニ前進シテソレニブツカレバ、船首ヲ以テ防材ヲ乘リ切ルコトガ出來ルデアラウ——ト信ジ、直角ニ眞正面ニ向フタメニ、方向ヲ變ヘテ 100「ヤード」離レタ。

コレガ自分ノ成功ノ唯一ノ機會デアルガ、一度障碍物ヲ越エレバ2度ト外ヘ出ル事ハ出來ナイデアラウ。自分ガ方向ヲ變ヘタ時、脊中ハ敵彈デ切リ裂カレ、靴ノ踵ハ取ラレタ。敵ノ砲撃ハ猛烈ナモノデアツタ。

砲撃ノ絶エ間ニ敵艦長ハ我ガ艇ガ何デアルカヲ再ビ尋ネタ。我々ハ皆オドケタ返事ヲシタ。自分ハ榴彈砲カラ1發ヲ見舞シテ返事トシタ。ソノ次ノ瞬間ニハ我々ハ防材ニブツツカリ乘リ越ヘタ。船足ハ殆ドナクナツテ敵ノ後部甲板下ニ徐々ニ迫ツテ行ク時ニ、敵ノ旋條砲ノ砲口ハ眼前10呎ニ突キ出テオリ、艦上ノ命令ハ一語々々明瞭ニ聞エタ。

落下索ヲ右手ニ、引金索ヲ左手ニ持ツテ私ガ船首ニ立ツテヰル時、小銃彈ハ自分ノ服ニ命中シタ。我々ハ充分ニ敵ニ接近シタ。前進運動ニヨツテ機雷ガ敵艦ノ張出シノ下ニ達スルマデニ「ブーム」ヲ卸ス樣ニ命ジ、ソコデ落下索ヲ強ク引イテ、機雷ガ船體ノ下ニ浮ビ上ルノヲ一瞬間待ツタ上デ左手ヲ引イタガ、ソノ時丁度ソノ手ニ敵彈ヲ受ケタ。

10呎ノ距離デ敵ノ100听葡萄彈ガ發射サレタ瞬時ニ機雷ハスサマ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ジイ音ヲ立テテ爆發シ、吹キ上ゲラレタ海水ハ我々ノ息ヲ止メンバカリニ落チテ來タ。

◎Cushing ノ逃走

自分ハ2度降伏スル事ヲ勸メラレタガ2度共拒絶シタ。併シ部下ニハ命ヲ全フスル樣ニ命ジタ。自分ハ劍モ拳銃モ靴モ服モトツテ、沈ミツツアル艇カラ河ニ躍リ込ンダ。霜ノ後デ寒ク、水ハ血液ヲ凍ラセタ。水面ハ葡萄彈ヤ小銃彈デ波立ツテヰタ。シカモ味方ノ艦隊ハ最モ近イモノデ12浬離レテヰル。併シドンナ事デモ敵ニ捕ヘラレルヨリ惡イ事ハナイノデ、私ハ對岸ニ向ツテ泳イダ。ソコニ近ヅイタ時、我ガ乘組員ノ一人（Samuel Higgins 機關兵）ガ大キナ聲々云フ叫ビ聲ヲ立テテ沈ンデ行ツタ。

敵ハ短艇ヲ漕ギ出シテ我ガ味方ノ兵ヲ拾ヒ上ゲテヰタガ、ソノ1隻ガ今ノ音ヲ聞イテ私ノ方角ニ漕イデ來タ。自分ノ名ガ呼バレテヰルノガ聞エタ。併シ姿ハ見ラレテヰナカツタ。ソコデ私ハ下流ニ泳ギ充分離レタ上、再ビ上陸ヲ企テタ。私ガ陸地ニ向ツテモガキ泳イデヰル時背後ニウナリ聲ヲ聞イタ。非常ニ疲レテヰタガ引キ返シテ、私ト勇敢ニ危險ヲ共ニシテヰル味方ヲ出來ルダケ助ケテヤラウト決心シタ。

眼ヲ水面ノ高サニシテ夜間泳イデヰルト、距離ノ觀念ハナクナツテ、ソシテ誰デモ其ノ時ノ私同樣一向ニ進行シテヰナイトイフ悲觀スベキ考ヘニ捉ハレテ苦シムノデアル。併シタトヘ私ガ此ノ夜溺レテモ、少クトモ他人ヲ救ケル努力ノタメニ死ヌ機會ガ得ラレルノデアル。泳イ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

デキルノハ Master's Mate ノ Woodman デアツタ。彼ハモウ泳ゲナイト云ツタ。私ハ彼ノ帽子ヲトツテ彼ノ右腕ヲ支ヘ、泳グ様ニ言ツタ。少クトモ10分間位ト思ハレル間彼ハ浮ンデヰタガ、彼ノ體力ガスツカリナクナルト石ノ様ニ沈ンダ。

再ビ私1人トナツテ都市ノアル岸ニ方向ヲ向ケタ。併シ私ノ水ヲ切ル手ノ力ハ非常ニ弱リ、服ハ濡レテ動カナクナツタノデ餘リ進マナカツタ。ソシテ私ガ呼吸ノタメ口ヲアケル度ニ小サク躍ル波ガ口ニ入ツテ呼吸ヲ困難ニシタ。併シソレデモ沈ムマイトスル決意、アキラメマイトスル意志ノタメニ、體力ガ實際ツキタ後モ一種ノ機械的ナ動作ヲ續ケテヰタ。遂ニ愈最後ノ瞬間ニ柔カイ泥ニ觸レ、最初ノ喜ビノ興奮ニ身體ヲ半バ擧ゲテ一歩前進シタ。併シ倒レテ、夜ガ明ケルマデ這フ事モ出來ズ、水ト泥トノ中ニヂツトシタママデ、身體ハ殆ド凍リ、腦髄ハ渦巻イテヰタガ、逃レヤウトスル固イ決意ダケハ強ク殘ツテヰタ。

夜ガ明ケテ見ルトソノ場所ハ Plymouth ノ郊外ニ流レル沼澤地デ要塞ノ一カラ 40「ヤード」モ離レテヰナカツタ。太陽ガキラキラト暖カニ昇リ、最モ喜バシイ訪問者トナツテ、私ニ失ツテヰタ力ヲカヘシテ呉レタ。其ノ光デ兵ヤ水兵ノ群ツテヰル町ガ見エタガ、彼等ハ何カ突然ノ衝動ニ腹ヲ立テタ如ク興奮シテ動キ廻ツテヰタ。自分ガソノ原因トナツタ事ヲ知ルノハ滿足デアツタ。併シ私ハ發見サレル事ヲ恐レテ第一ノ目的ハ沼澤地ノ岸ニアル蘆ノ生エテヰル乾イタ場所ニ行ク事デアツタ。併シサウスルニハ胸壁ヲ往來シテヰル見張兵ノ丁度眼ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

下ノ空地ヲ 30—40 呎通過シナケレバナラナカツタ。

彼ガ向キヲ カヘルマデ暫ク待ツテ、私ハ空地ヲ驅ケタ。併シ半分程過ギタ時、彼ハ又コチラヲ向キ、私ハ二ノ道ノ中間ニ、殆ド防禦物ナシニ身ヲ伏セネバナラナカツタ。恐ラク私ハ泥マミレニナツテヰルタメニ目ニツカナカツタノカモ知レヌ。兎ニ角ソノ兵ハ歩キ續ケテヰタ。

一方私ハ仰向ケニナツテ次ノ行動ノ機會ヲ待ツタ。ヤガテ4名ノ一行ガ右ニ當ル道ヲヤツテ來タ。ソノ內2名ハ士官デ私ノ腕ヲ踏ミサウニナル程近クヲ過ギタ。彼等ハ前夜ノ事件ノ事ヲ話シ合ヒ、ドウシテナサレタノカ不思儀ガツテヰタ、ソノ解答ヲ與ヘ得ル人間ノヰルコトニハ全ク氣ガツカズニ。私ハ再ビ沼澤ニ行カナケレバナラヌト思ツタ。踵ト肱トヲ土中ニイレテ、一寸一寸トソノ方ヘ身體ヲ動カシタ。5時間ノ後足モ頭モ手モ出シタママデ、誰モ行ツタ事モナイヤウナ所ヘ進ンデ行ツタ。遂ニ空地ニ着イタ。ソコデ私ハ固イ地面ニ休ム事モ出來タデアラウ……所ガ空地デハ1隊ノ兵ガ作業中デ、彼等ハ水道ノ障碍ヲ作ルタメニ數隻ノ「スクーナー」ヲ河ニ沈メテヰタ。私ハ玉蜀黍ノ畠ヲ通ツテ彼等ノ後方 20「ヤード」ノ所ヲ過ギ、木立ヲ見下ス場所ニ出タ。ココデ私ハ1人ノ黑人ニ出會ツタ。彼ニ綠背紙幣デ 20 弗ト聖書ノ數節（老人ノ黑人ニ對シテハ二ノ有力ナ手段デアル）ヲ與ヘタ後、彼ノ忠實ヲ信ジテ Albemarle 號ノ消息ヲ聞キニ町ヘヤツタ。

彼ガ歸ツテ同艦ハ沈沒シタ事ガモハヤ疑ヒガナクナツタノデ、私ハ再ビ歩キ續ケ、沼澤地ニ入ツタガ、非常ニ深クテ太陽ノ外ハ前方

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

10呎モ滿足ニ見ルコトガ出來ナカツタ。午後2時頃蘆ノ繁ミヲ拔ケテ、此ノ邊ニ多イ、深イ狹イ流ノ岸ニ出タガ、ソレハ此ノ邊リノ唯一ノ道ニ對ヒ合ツテヰタ。コレハ天ノ配劑デアルト思ハレタ。何トナレバ30「ヤード」上流デモ、下流デモ、モウ道ヲ見ツケル事ハ出來ナカツタノデアルシ、歩キ續ケテ遂ニ疲レ果テテ、餓死シテ誰ニモ見ツケテ貰ヘナイ墓場ヲ作ル事ニナツタカモ知レナカツタカラ。運命ノママニ私ノ行キツイタ所ハ、平底デ船首尾ノ四角ナ小船ヲ、黒ズンダ水中ニ蛇ノ樣ニウネツテイル「イトスギ」ノ木ノ根ニ結ビツケテ、7名ノ哨兵ノ立ツテ居ル場所デアツタ。彼等ガ食事ノタメニ數「ヤード」引キカヘスノヲ見テ、私ハ河流ニ入リ、自分ト哨兵トノ間ニハ大キナ木ヲ間ニ置イテ泳ギ渡リ、小舟ノ所ヘ行ツタ。岸ニ登ツテ靜カニ小舟ヲ離シ約30「ヤード」ソノ後ニツカマツテ最初ノ曲リ角ヲマハリ、ソコカラ船ニ乘ツテ、マルデ身ノ自由ヲ堵シテヰル人間デナケレバ出來ナイ樣ニ懸命ニ漕イダ。

1時間、又1時間私ハ一瞬モ休マズ、片舷ヅツデ漕イダ。太陽ノ光ハソノ內ニ薄明ニ變リ、ソレモスツカリ眞暗ニナリ、兩岸ノ沼澤ノ重イ幕ヲ貫ク僅カナ星ノ微光ニ照ラサレテヰルダケデアツタ。遂ニ私ハ Roanoke 河口ニ達シ目前ニ海峽ガ開ケタ。私ノ弱イ船デハソコノ普通ノ波ニハ堪ヘ得ナイデアラウガ、其ノ時ハ丁度非常ニ穩カデ、只小サナウネリガアルバカリデアツタ。ソレデモ私ノ船ニハコタヘテ、自分ハ定メタ方向ニ進ムノニ、イツモ片側デ漕ガネバナラナカツタ。

星ヲ賴リニ、多分2時間程艦隊ノ居ルト思ハレル方向ニ向ツタ時、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

私ハ遂ニ艦隊ノ1隻ヲ發見シ、長イ間カカツテ聲ノ屆ク所マデ進ンダ。「オーイ」ト呼ブ私ノ聲ハ自分ノ最後ノ力デアツタ。ソノママ私ハ水音ヲ立テテ、小舟ノ底ニ溜ツタ水ノ中ニ力ナク倒レテシマツタ。私ハ10時間引續イテ休マズニ漕イダノデアツタ。4時間位私ノ身體ハ腕ト頭ヲ除イテ「眠ツテ」キタ。哨艇 Valley City 號ハ叫聲ヲ聞イテ直チニ航行ヲ始メ、同時ニ短艇ヲ卸シテ機雷ニ對スル警戒ヲシタ。彼等ハ私ガ敵ノ機雷裝備艇ノ操縱者デアリ、Cushing 大尉ハモウ死ンダモノト信ジテキタノデ、私ヲ救助スルマデ可成時間ガカカツタ。遂ニ私ハ「ボート」ニ引キ上ゲラレ水ヲ割ツタ「ブランデー」ヲ少シ飲ミ旗艦ヘ向ツタ。

私ガ歸ツタ事ガ分ルヤ否ヤ火箭ヲ打チ揚ゲ、總員ハ集ツテ萬歳ヲ唱ヘタ。ソシテ私ガ成功ヲ告ゲルト、司令官ハ全艦長ヲ旗艦ニ集メテ作戰ヲコラスコトニナツタ。朝ニナルト手ト足トヲ除イテ私ハスツカリ元氣ニナツタ。ソシテ前日偵察シタ砲臺ト愉快ニ彈丸ヲ打チ合ツタ。私ハ Valley City 號ニ乘ツテ Hampton Roads ノ Porter 提督ニ報告ヲ齎ラサセラレタ。其ノ後間モナク Plymouth ト Albemarle ノ全地域ハ裝甲艦ノ保護ヲ失ツタノデ、Macomb 中佐ト我艦隊ノ好餌トナツタ。」　(以上ガ Cushing 大尉ノ冒險談デアル)

Albemarle 號ハ繫留シタママ一瞬ニシテ沈ンダノデアツタ。Cushing ノ乘組員デハ彼自身ト Houghton ガ逃レ、Higgins ト Woodman ハ溺死シ、他ノ11名ハ捕ヘラレタ。

Wirley 大佐ノ言ツタ如ク、彼ノ勇敢ナ行爲ハ「戰爭中ニ其ノ比ヲ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

見ナカツタ」ノデアル。コレニ依ツテ Cushing ハ眞價ヲ認メラレタ。彼ハ議會ヨリ謝意表決ヲ受ケ、マダ22歳ノ青年デアツタガ少佐ニ昇進シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第22章　外國ノ海上ニ於ケル戰

◎下關ニ於ケル Wyoming 號

北軍艦隊ガ全力ヲツクシテ封鎖線ヲ强固ニシ、Mississippi ヲ掃蕩シ、港灣ノ防備ヲ占領シテヰル一方ニ、南軍ノ通商破壞艦ヲ驅逐スルノニ外國海面ニ數隻ノ巡洋艦ヲ派遣シナケレバナラナカツタ。北軍巡洋艦1隻、螺旋推進式「スループ」艦 Wyoming 號ノ David McDougal 中佐ハ南軍汽船 Alabama 號ヲ追擊スルタメ太平洋ニ出動ノ命ヲ受ケタ。Alabama 號ハ軍艦ト戰フヨリモ寧ロ通商破壞ヲ目的トシテヰタノデ、北軍艦船ニ遭フノヲ避ケテヰタ。

Alabama 號ヲ探シタガ見ツカラズ、McDougal 中佐ハ 1863 年ノ初夏日本ニ到着シタ。其ノ時橫濱ノ「アメリカ」人ノ生命財產ヲ保護スルタメニ同艦ノ砲擊ガ必要デアル旨ノ「アメリカ」公使ヨリノ公文書ヲ受取ツタ。彼ハ直チニ橫濱ニ赴キ、陸上ニ於ケル安全區域ガ出來ルマデ同艦ヲ在留米人ノ避難所トシタ。彼ハ全ク豫期シナイ事態ニ直面シタ。コレハ 1900 年ノ北淸事變同樣、「夷敵」ヲ追ヒ拂ヘトイフ叛徒ノ主張ノ現ハレデアツタ。

此ノ擾亂ハ「ペリー」ノ日本訪問ノ結果デアツタ。1858 年ニ日本ノ將軍ハ合衆國トノ通商外交條約ニ調印シタガ、此ノ親善行爲ハ5年ノ後日本ニ於ケル內亂ヲ促進シタノデアル。250 年間日本ハ平和デアツタガ、叛亂ノ餘燼ハ長ク燻ツテヰタ。外人ノ入國ヲ許シタ行爲ハ却ツテソレヲ焰ニアフリ立テタ。根本的ナ禍因ハ將軍即チ「大君」

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

(Tycoon)—日本ノ太守—ガ全權ヲ握リ、皇帝ハ強制ノ隱退政策ノタメ單ニ名ノミデアラセラレタ事デアル。「アメリカ」トノ條約ハ大君ガ許シタノデ、叛徒ハ皇帝ノ權威ヲ昔日ニカヘサウトスル事ト、外人ヲ驅逐スル事トノ二ノ愛國ノ精神カラ立ツタノデアル。

叛軍ハ國民中最モ好戰的ナ分子、殊ニ薩摩、長州ノ藩士デアツテ、彼等ハ京都ノ天皇ヲ奉ジテ天皇ノ統治權ヲ主張シタ。彼等ハ天皇ヲ說キ奉リ、1863年6月25日ヲ以テ全外人ヲ驅逐スベシトイフ勅令ガ發布サレルコトトナツタ。大君ハ條約ニヨツテ合衆國他諸外國ニ縛ラレテヰタノデ、ドウトモシヤウガナク、天皇ニ辭意ヲ奏上シタガ許サレズ、出來ル限リ危機ヲ脫シナケレバナラナカツタ。

長州藩主ハ直チニ瀨戶內海ノ門戶、下關海峽ヲ固メ、自分ノ利益ノタメニ戰ハントシタ。7月11日 McDougal ハ「アメリカ」汽船 Pembroke 號ガ海峽ニ於テ無警告ニ砲擊サレタトノ報ヲ受ケタ。其ノ報ニヨルト乘組員全部ヲノセタママ沈ンダトノ事デアツタ。當時 McDougal ハ「アメリカ」歸國ノ命令ヲ受ケテヰタガ、事態ハ彼ノ迅速ナル行動ヲ要求シテヰル事ヲ知ツテ、拔錨シテ15日夕刻海峽東端沖ニ到着シタ。

此ノ地點ノ瀨戶內海ハ狹ク、長サ約3浬ノ水道トナリ、幅1浬半乃至1浬デアル。下關ハ水道ヲ見下ス高イ斷崖ノ麓ニ存在スル。難破ノ多イノデ有名ニナツタ暗礁ヤ淺瀨ノ上ヲ潮流ハ溝ノ樣ニ流レテヰル。

此處デ Pembroke 號ガ水先人ト潮ノ變リ目トヲ待ツテヰルト砲擊サレタノデアル。同船ハ當然損害ガ少ナク去ツタガ、他船ハコレ程幸

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

運デナカツタ。「フランス」ノ通報艦ハ Pembroke 號ヨリ稍後デ攻撃サレ、水道ノ眞中デ辛ウジテ沈沒ヲ免レタ。司令官ハ其ノ事ヲ和蘭ノ備砲16門ノ蒸氣「フリゲート」艦 Medusa 號ノ Casembroot 大佐ニ報告シタ。蘭和兩國ノ長イ間ノ好誼ノタメ、Casembroot ハ平和的解決ヲ期待シテ下關ニ行ツタ。併シ Medusa 號ガ水道ニ出ルヤ否ヤ猛撃ヲ受ケ、逃レル暇ノナイ內ニ船體ニ31發ノ砲彈ヲ受ケ、死者4名、負傷者5名ヲ出シタ。1—2 日ノ後「フランス」ノ砲艦ハ砲臺ヲ全速力デ通過中3度砲彈ヲ受ケ、薩摩ノ船ハ外國船ト間違ヘラレテ撃沈サレタ。日本人ガ砲ノ操作ヲ知リ、水道ガ有効射距離內ニアル事ハ明ラカデアツタ。

16日午前5時 Wyoming 號ハ航行ヲ開始シタ。同艦ガ海峽ニ入ルヤ沿岸ノ信號砲ハ直ニ之ヲ知ラセ、其ノ着彈距離內ニ入ルヤ否ヤ砲臺ハ砲撃ヲ開始シタ。併シ同艦ハ海峽ノ最狹部ニ達スルマデ應戰シナカツタ。其ノ地點ニ達スルト海岸ノ大型大砲ガ砲火ヲ集中シタ。遠クノ開ケタ海上デハ充分武裝シ、挑戰ヲ叫ンデヰル3隻ノ商船ガアツタ。コレハ「バーク」Daniel Webster 號、「ブリッグ」船 Laurick 號及蒸氣船 Lancefield 號デ、奇シクモ長州藩士ガ「アメリカ」カラ購入シタモノデアツタ。陸砲臺ニモ最近合衆國ヨリ日本ニ贈ラレタ8吋「ダールグレン」砲ガ5門アツタ。「バーク」ハ北岸ノ町ニ近ク碇泊シ、「ブリッグ」船ハ稍離レテ約 50「ヤード」沖ニアリ、汽船ハ沖ノズツト先方、即チ水道ノ中央部ニ近ク碇泊シテヰタ。McDougal ガ狹水道ニ近ヅクト1列ノ杭ガ見エタ。之ハ彼ノ判斷ガ當ツテヰタ樣ニ照準ノタ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

メニ日本人ガ使用シテヰタモノデアツタ。彼ハ水道ノ中央部ヲ避ケテ砲臺ノ直下ニ向ツタ。此ノ機敏ナ行動ガ多分 Wyoming 號ヲ救フ事ニナツタノデアラウ。何トナレバ、砲臺ハ直チニ水道ノ中央部ノ1打ノ艦船デモ沈メテ仕舞フ樣ナ猛烈ナ砲撃ヲ開始シタカラデアル。併シ同艦ハ索具ヲ切斷サレタノミデアツタ。ヤガテ狹水道ヲ通過シ、同艦ノ砲ガ應射スル事ノ出來ル廣イ海面ヘ出タ。

McDougal 中佐ハ「アノ船舶ノ中間ニ進ミ、汽船ヲ捕ヘヨ」ト命令シタ。横濱ノ水先人ハ聲ヲ立テテ反對シタガ、彼ハ淺瀨ヲ利用シテ3隻ノ方向ニ進ム決心ヲシタ。此ノ時4門ノ砲ヲ有スル新砲臺ガ縱射ヲ開始シタガ、Wyoming 號ハ非常ニ正確ナ1彈ヲ以テ全砲臺ヲ粉碎シタ。前進シテ「バーク」ト「ブリッグ」船トヲ正橫ニ、極メテ接近シテ通過シ、兩船ト片舷齊射ヲ交換シタ。餘リ接近シテヰタノデ Wyoming 號ノ長イ砲身ハ敵ノ砲口ニフレルバカリデアツタ。「アメリカ」側ノ損害ノ大部分ガ起ツタノハコノ接戰ノ數分間デアツタ。前部砲臺分隊ハ曝露サレタ位置ニアツタタメ最モ被害多ク、3名ヲ除イテ其ノ日ノ死傷者ノ全部ヲ出シタ。日本側ハ極メテ迅速ニ砲ヲ扱ヒ「ブリッグ」船ノミデモ Wyoming 號ニ3回ノ片舷齊射ヲ注グ事ガ出來タ。Wyoming 號ニ於テハ各砲ガ極度ニ能力ヲ發揮シ、各砲彈ハ敵ノ船體ニ命中シタ。

前進シテ McDougal ハ汽船ノ船首ヲマハリ戰鬪位置ニツイタ。「ブリッグ」ハ既ニ沈沒中デアツタガ、Daniel Webster 號ハ舷側ニ穴ヲ穿ケラレタニモカヽハラズ、尙モ絕エズ砲撃ヲ續ケ、6箇所ノ陸砲臺モ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

今ヤ Wyoming 號ヲ好標的トシテ砲火ヲ再ビ開イタ。一方汽船ハ抜錨シ對岸ニ進ミ、「アメリカ」艦ニ衝撃ヲ試ミルツモリノ様ニ見エタ。此ノ重大時ニ Wyoming 號ノ艦首ハ潮流ニ押シ流サレテ擱坐シタガ、數分ノ後、後進スル事ガ出來タ。

陸砲臺ト Daniel Webster 號ヲ無視シテ McDougal ハ 11 吋「ダールグレン」旋回砲 2 門ヲ以テ Lancefield 號ニ砲火ヲ注イダ。2 彈共敵船體ニ命中シタ。前部旋回砲カラノ又 1 發ハ汽罐ヲ貫通シ、煙ト蒸氣ノ雲ノ中ニ敵船ヲ沈沒サセタ。一方「バーク」ノ Daninel Webster 號ハ出來ル限リ迅速ニ發砲シタ。6 個ノ陸砲臺モ絶エズ煙ト火焔ニ包マレテヰタ。McDougal ハコレニ應戰スベク砲ヲ旋回シタ。數分ニシテ「バーク」ハ破壞サレ、陸砲臺ハ次々ニ沈默サセラレタ。着彈距離内ニアルアラユルモノヲ破壞シタ事ニ滿足シテ、彼ハ徐々ニ引返シタ。此ノ時何ノ抵抗モ受ケナカツタ。

此ノ交戰ハ 1 時間 10 分續キ、其ノ間 Wyoming 號ハ 10 回ノ敵彈ヲ受ケ索具ハヒドク切レ、煙筒ハ穿孔サレ、死者 5 名、傷者 7 名ノ損害ヲ受ケタ。戰ハ McDougal ノ沈着ト冷靜トニヨツテ勝利トナリ、Wyoming 號ノ乘組員ノ大部分ハ實戰ノ經驗ガナイノニ、艦ガ擱坐シテ水先人ガ恐怖ニ前後ヲ忘レテヰタ時ニモ、從容トシテ砲ニツイテヰタ美談ガアル。當時ハ叛徒ニ捕ヘラレタ白人ハ「拷問箱」デヒドイ死ニ方ヲシタ時代デアツタノデ、乘組員ハ若シ艦ガ擱坐シタリ、戰鬪力ヲ失ツタ場合ニハ、艦員諸共船ヲ爆破セヨト豫メ司令官ニ命ゼラレテヰル事モ知ツテヰタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

McDougal ノ交戦後數日、「フランス」ノ大「フリゲート」ハ砲艦ヲ率キテ海峽ニ入リ、海兵ヲ上陸セシメテ殘ツテヰル砲臺ヲ破壞シタ。併シ數箇月後藩士ハ要塞ヲ再築シ 15 箇月間海峽ヲ閉鎖スルノニ成功シタ。遂ニ一大聯合艦隊ガ編成サレテコレヲ撲滅シ、日本ニ於ケル外國人ノ安全ヲ回復シタ。併シ Wyoming 號ガ單身敵ノ全部ニ對シテ攻撃ヲ試ミタ程、尊敬ノ念ヲ叛徒ニ印象セシメタ事ハナカツタ。

攻撃ヲ受ケタダケデ何ノ報復モシナカツタ和蘭ノ艦長ハ、歸國シテ Knight ニ叙セラレ、全乘組員ハ勳章ヲ貰ツタ。コレニ反シ McDougal ハ昇進モセズ、本國人間ニ一時ノ名聲ヲスラ得ナカツタ。ソレハ 1863 年ハ南北戰爭ヲ勝敗ヅケル年デアリ、遠イ日本ヘノ遠征ハ國內ノ戰爭ノ騒ギノタメ頓着サレナカツタカラデアル。コノ戰ニツイテ Roosevelt ガ嘗テ言ツタ樣ニ、「若シ此ノ交戰ガ南北戰爭中デナク、他ノ時期ニ行ハレテヰタラ、其ノ名聲ハ世界中ニ響イタ事デアラウ。」

◎Alabama 號ト Kearsarge 號

McDougal 中佐ガ太平洋デ遭遇シ得ナカツタ南軍「スループ」艦 Alabama 號ハ、2 箇年ノ內ニ事實「アメリカ」商船ヲ海洋カラ驅逐シタ。Alabama 號ハ Liverpool 造船所デ、ソノ姉妹艦 Florida 號、Georgia 號、Shenandoah 號ト同形ニ作ラレタモノデ、最初カラ南軍軍艦トシテ建造サレルモノト思ハレテヰタ。ソコデ合衆國ノ國務長官 Adams ハ頻ニ Russel 卿ニ同艦ノ建造目的ヲ說イタノデ、英國當局デスラ、南軍聯邦側デハアツタガ、同艦ノ出港ヲ止メル命令ヲ心進マヌ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ナガラモ出シタノデアル。

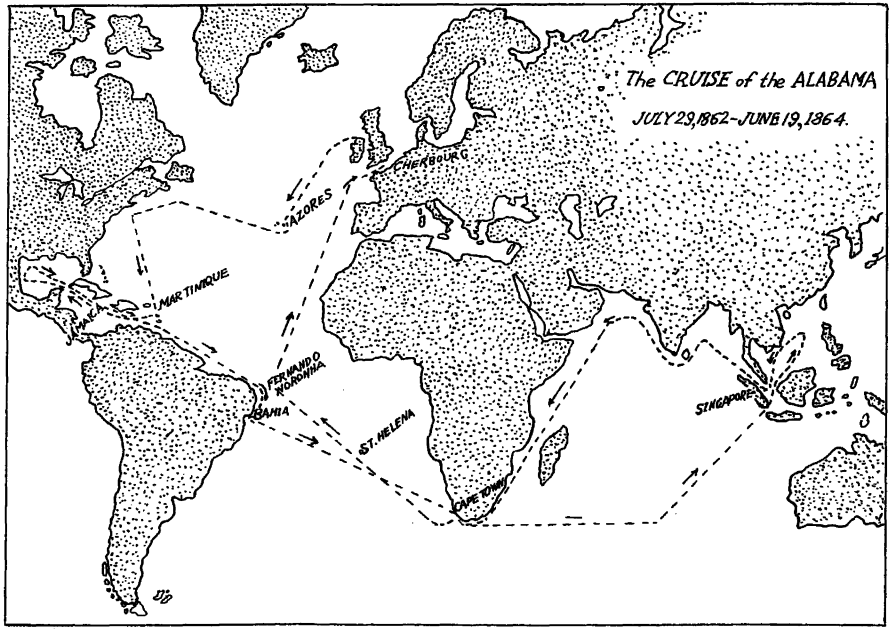
南部聯邦ノ事務官ハ豫メ此ノ事ノアル事ヲ知ツテヰタノデ Alabama 號ハ急據 Mersey 川ヘ試運轉ト稱シテ引キ出サレタガ、併シ再ビ歸ラナカツタ〔1862年7月29日〕。實際同艦ハ Azores 群島中ノ Terceira ノカクレタ港 Praya ニ航海シタ。ココデ同艦ハ彈藥、石炭、其ノ他各種ノ供給品ヲノセタ London カラノ「バーク」Agrippina 號ト會合シ、積荷ヲ Alabama 號ニ積ミカヘタ。是ガ終ルカ終ラヌ内ニ Liverpool カラ來タ汽船 Bahama 號ハ Alabama 號乘組豫定士官ヲノセ、——其ノ中ニハ Semmes 艦長モヰタ——乘組員30名ト 100,000 弗ヲ持ツテ到着シタ。同艦ノ使命ニ副フタメニ Azores デ Alabama 號ヲ艤裝スルニハ非常ナ困難ガ伴ツタ。併シ Portugal ノ官憲ニ對シ種々ノ口實ヲ設ケテ作業ハ迅速ニ進ンダ。8月24日太洋ニ出タ後 Semmes 艦長ハ乘組員ヲ集メ同艦ノ性質ト今後ノ航海ニ就テ告ゲタ。次イデ英國旗ヲ卸シ南軍軍艦旗ヲ揭ゲ、Davis 大統領カラ彼ヘノ任命書ヲ讀ミ上ゲタ。此ノ式ヲ以テ Alabama 號ハ就航シタ。

Liverpool デ Alabama 號ニ乘組ンダ者ノ内85名ハ數分間熟慮ノ後絞盤ノ所ニ進ミ出テ南軍海兵トシテ誓約書ニ署名シタ。彼等ノ中ニハ多クノ英國海兵ガヰテ、同艦ノ中核ヲナシテヰタ。乘組員ノ足リナイ所ハ、Bahama 號ニ乘ツテ來タ南部ノ海岸水先人ヲ除キ、後ニナツテ拿捕船ノ乘組員中ノ志願者デ補充シタ。

士官デハ航海長屬 Fullam, 軍醫中尉 Llewellyn, 四番分隊長 Lon ガ英國人デアツタ。Fullam ト Lon ハ服役契約ノ際、共ニ英國海軍

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料



THE CRUISE OF THE ALABAMA. JULY 29, 1862 TO JUNE 19, 1864

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

豫備員デアツタ。Alabama 號ガ就航シテ間モナク起ツタ颶風ニ沈沒ヲ免レタノハ Lon ノ卓越シタ技術ニヨルモノデアツタ。殘リノ當直將校、艦長及軍醫ハ南部諸州出デアツタ。

Semmes 艦長ハ多クノ南軍海軍士官ト同ジク、"Old navy" デ訓練ヲ受ケタノデアツテ、ソコデ中佐ニ昇ツタ。彼ハ「メキシコ」戰爭中 Somers 號ガ Vera Cruz 沖デ沈ンダ時同艦ノ艦長デアツタガ、軍法會議デハ名譽ヲ重ンジテ譴責ヲ免レタ。南軍デ彼ガ最初ニ指揮シタノハ郵便船ヲ改造シタ Sumter 號デアツタ。併シ同艦ハ短期ノ、併シ成功セル巡航ノ後、Gibraltar デ北軍軍艦ニ封鎖サレテシマツタノデ、放棄セネバナラナカツタ。第二ニ指揮シタノハ、彼ノ名ガ主トシテ聯想サレル Alabama 號デアツタ。同艦ハ螺旋推進式「スループ」艦デ、長サ 220 呎、幅 32 呎、甲板ヨリ內龍骨マデ 18 呎、各 300 馬力ノ横置機械 2 臺ヲ有シ、18 日間ノ航行ニ充分ナ石炭庫ヲ有シテヰタ。石炭ノ節約ノタメ Semmes ハ巡航ヲ殆ド帆走デ行ツタ。Alabama 號ハ「バーカンティーン」型帆式デヨク帆走シタ。推進器ガ直チニ「シャフト」カラ離レ帆走中ハ進行ヲ妨ゲナイ樣ニ引キ上ゲル裝置ガアツタ。

遠クヘ行カナイ內ニ Semmes 艦長ハ最初ノ拿捕船ヲ得タ。Azores 近海デ 9 隻ノ「アメリカ」商船ヲ捕ヘテ燒イタ後、彼ハ大西洋ヲ渡リ石炭ヲ求メテ West Indies ニ向フマデ全部デ 20 隻ヲ捕ヘタ。或ル時ニハ彼ハ New York ヨリ 200 浬以內デ船ヲ捕ヘ、北軍ノ艦船ニ探索サレタガ、ウマク姿ヲカクシタ。Martinique ニ於テ、Agrippina 號ト會合シ同船カラ石炭ノ補給ヲ受ケテヰル間、彼ハ Ronckendorff 大

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

佐ノ San Jacinto 號ニヨツテ封鎖サレタガ、2晩ノ後見ラレナイ内ニ逃走シタ。West Indies カラ Gulf ニ帆走シ、Galveston ニ向フ事ガ分ツテヰタ數隻ノ北軍ノ輸送船ヲ妨害スルタメ、其ノ地點ニ針路ヲ向ケタ。Galveston ノ沖ニアル時、河川用外輪汽船ヲ改造シタ封鎖艦隊ノ1隻ヲ誘キ出シテ コレヲ沈メ、他ノ艦船ガ救助ニ來ナイ内ニ逃レタ。コヽカラ Semmes ハ「ブラジル」海岸ニ沿ヒ喜望峰ヲマハリ、東印度ヘ徐々ト巡航ヲ始メタ。コヽデ7箇月碇泊シ、次イデ Wyoming 號ヲ避ケテ喜望峰ヲ廻ツテ歸ツタ。

1864年6月11日 Alabama 號ハ石炭ノ補給ト修理ノタメ Cherbourg ニ入港シタ。同艦ガ 1862年8月24日ニ就役シテカラズツト航海ヲ續ケ航程約 75,000 浬ニ及ビ、其ノ間57隻ノ商船ヲ燒キ他ニ賠償金契約ヲトツテ釋放シタモノモ多カツタ。コレラノ艦船ノ見積價格ハ大キナ數字ニナルガ、捕獲サレタ船ハ賣ラレタリ、港ニトメラレタリシタカラ、「アメリカ」ノ通商ノ損害ハ更ニ大ナルモノデアツタ。「アメリカ」ノ輸送業ハ英國船ノ手ニ移リ、Alabama 號ガ Cherbourg ニ入港スルマデニ、事實上「アメリカ」ノ全海運ハ北極ノ捕鯨船ヲ除イテ全滅シ、或ハ避難地ニ驅逐サレタ。捕鯨船モ亦ヤガテ Shenandoah 號ニ滅サレタノデアル。

Shenandoah 號ニヨツテ與ヘラレタ損害ノ額ハ Alabama 號ニヨツテ與ヘラレタ50萬弗ヲ越エナイケレドモ、Shenandoah 號ノ捕鯨船掠奪ハ 1865年6月以後—戰爭終了後2箇月—ニ起ツタノデアルカラ、同艦ノ巡航ハ敵對行爲トシテハ、無用デアルヨリモ、モツトヒドカツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。此ノ兩艦ニヨツテ與ヘラレタ損害ハ他ノ10隻ノ南軍巡洋艦ノ與ヘタ損害ノ2倍以上デアルガ、併シコレラノ艦船モ比較的小規模デハアルガ、多カレ少ナカレ成功ヲ收メタ事ヲモ記憶スル事ハ必要デアル。Alabama 號及 Shenandoah 號ト同ジク、此等ノ小通商破壞船ノ成功ヲ收メタモノハ外國ヘ註文シテ造ラレタカ、又ハ Clyde デ購入サレタモノデアツテ、全巡航中1度モ南部海岸ヲ見ナイモノモアツタ。Semmes 艦長ノ異常ノ成功ハ彼ノ Sumter 號デノ短カイ巡航中ニ通商路ヲ熱心ニ研究シタ事ト、彼ノ時間測定ノ妙ヲ得テヰタ事ニヨルモノデアル。是ガタメ彼ハ一ノ場所ニハ北軍軍艦ガ彼ノ居場所ヲ知ツテ追ヒカケテ來ル頃ニハ丁度ソコヲ出テ他ノ巡航地ニ移ルト云フ風デアツタ。

無防禦ノ商船ノ破壞ハ當然 Semmes 艦長ニ對スル北部ノ反感トナツタ。ソシテ彼ハ此ノ感情ニ報イタト云フ事ヲツケ加ヘテモヨイ。御用新聞ニヨツテノミデナク Welles 次官ヤ大統領ニモ彼ハ「海賊」ト云ハレタ。ソシテ若シ彼ガ捕ヘラレタラ、Alabama 號ノ艦長初メ乘組員ヲ帆桁端デ絞殺シヨウトイフ噂ガ頻デアツタ。當然 Semmes ガ若シ海賊デアレバ Paul Jones, David Porter 初メ敵ノ商船ヲ攻擊シタモノハ、ドコノ國ノ士官デアラウト海賊デアル。交戰國ト認メラレテヰタ南軍ハ艦船ヲ、軍艦ノ有ラユル性能ヲ與ヘテ就役セシムル事ガ出來ヨウシ、勿論ソノ中ニハ敵ノ海運破壞モ含マレテヰル。拿捕船ヲ南軍ノ捕獲裁判所ヘ送ラズニ燒イタトイフ變則モ、封鎖ガアツタタメニ、捕獲船ヲ南軍ノ港ニ入レル事ガ出來ナイノデ止ムヲ得ザル處置デ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

アツタ。Semmes ハ海軍士官デアルト同時ニ辨護士デアツタノデ、船舶書類ヲ自分デ調ベテ自ラ捕獲裁判所ヲ構成シタノデアル。彼ハ非常ニ巧ミニ巡航ヲシタ。Semmes ガ Alabama 號ヲ以テ合衆國ニ與ヘタ損害ハ他ノ南軍海軍ノ與ヘタモノノ合計ヨリ大キイト言フテモ過言デハナイ。

Alabama 號ガ Cherbourg ニ到着スルヤ否ヤ、佛國駐劄「アメリカ」公使ハ、其ノ事ヲ當時「オランダ」ノ Flushing ニ碇泊中ノ合衆國ノ「スループ」艦 Kearsarge 號ノ Winslow 中佐ニ打電シタ。Alabama 號ノ到着後3日、Kearsarge 號ハ Cherbourg 港沖ニ現ハレタ。Winslow 艦長ハ「ボート」ヲ陸上ニ派遣シ得ルダケ充分ニ近ヅイタガ、投錨シナカツタ。ソレハ「24時間法」ガ適用サレテ Alabama 號ヲ逃ガスノヲ恐レタカラデアル。次イデ5日間 Kearsarge 號ハ辛棒强ク封鎖ヲツヅケ、防波堤ノスグ外側ヲ往復シテ Alabama 號ノ出ルノヲ待ツテヰタ。Semmes ハ2箇月間 Cherbourg 海軍船渠ノ使用許可ヲ求メ、其ノ間ニ充分ナ修理ヲシヨウトシタ。併シ此ノ要求ハ中立國タル「フランス」ノ地位ト兩立シナイトイフ理由デ拒絶サレタ。コレマデ Semmes ハ San Jacinto 號、Wyoming 號、Vanderbilt 號其ノ他彼ヲ追撃シタ巡洋艦トノ戰ヲ避ケテ來タノデアルガ、Cherbourg ノ「フランス」海軍士官ハ Kearsarge 號ノ行動ハ「名譽ヲ重ンズル人間」ナラバ拒ム事ノ出來ナイ「挑戰」デアル事ヲ强調シタ。カウ云ハレテハ Semmes ノ如キ人ニトツテハ、交戰ニヨリテハ得ル所ヨリモ失フ方ガ多イ事ヲ知ツテヰテモ、交戰ヲ避ケル事ハ出來ナカツタ。北軍ハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Kearsarge 號ノ損失位ハ歐洲海面上ノ多數ノ巡洋艦ノイヅレヲ以テシテモ補フ事ガ出來ルノデアルガ、南軍ハ Alabama 號ノ損失ヲ償フ事ハ出來ナイノデアル。海外ノ海軍關係ヲ司ツテヰタ南軍士官 Samuel Barron 代將ニ許可ヲ求メテ、ソレヲ受ケテカラ Semmes ハ合衆國領事ヲ通ジテ Winslow 中佐ニ、若シ Kearsarge ガ待ツテヰルノナラバ、Alabama 號ハ石炭ノ積込ヲ終ツテ直グ交戰スルトイフ旨ノ書面ヲ送ツタ。土曜日ニ彼ハ其ノ翌日敵ト戰フタメ出港スル事ヲ布告シタ。「フランス」ノ感情ハ南軍艦ニ非常ナ同情ヲ寄セテヰタガ Cherbourg ニ於ケル士官ハ充分注意シテ中立法ヲ守ツテヰタ。

19 日午前 10 時マデニ Alabama 號ハ準備ヲ完了シ、間モナク出港シタ。出港ノ際「フランス」ノ裝甲艦 Couronne 號ニ護衛サレタ。同艦ハ戰ガ領海外デ行ハレルカ否カヲ監視スルタメニ附近ニヰタ。Keursarge 號ノ Winslow 艦長ハ敵ガ戰フタメニ來ルノヲ見テ、乘組員ヲ部署ニツカセ、中立國ノ領海カラ出ルタメニ外海ニ向ツタ。Couronne 號ハ Alabama 號ニ隨ツテ 3 海里線ヲ出ルトヤガテ港ヘ引キ返シタガ、英國ノ蒸氣「ヨツト」Deerhound 號ハ同艦ニ隨ツテ來タノデアツタガ、觀戰ノタメ航行ヲ繼續シタ。

Kearsarge 號ガ沖約 7 浬ニ出タ時、敵ニ向フタメ變針シタ。次ノ實戰記ハ Alabama 號ノ Sinclair 大尉ノ書イタモノデアル。

『Kearsarge 號ハ突然艦首ヲ灣內ニ向ケ我ガ艦ニ向ツテ來タ。岸カラハ約 7, 8 浬離レテヰタ。我ガ艦ヨリ約 1 浬ノ所ニ來タ時、ソノ艦ノ廻シ工合カラ見テ、コノ距離ヲ攻擊ニ選ブモノノヤウニ思ハレタ。我々

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハKearsarge號ガ我ガ艦ト同ジ速度ヲ持ツテヰルトハ思ハナカツタノデ我々ハ右舷ノ大砲全部ヲ以テ砲火ヲ開イタ。左舷ノ筆者ノ32听砲ハ豫備砲門ニ移シテアツタノデ片舷砲ハ6門アツタ。コノ移シカヘノタメ船ハ約2呎右舷ヘ傾斜シタガ、敵ニ見ラレル面ガ小サクナツタダケ有利ナ點モアツタ。併シ速力ハイクラカ鈍ツタ。Kearsarge號モ亦右舷ニ回轉シタ。デ兩艦ハ面舵ヲ取ツテ戰ヒ、同ジ圓ヲ描キツヽ次第ニ接近シタ。敵ハ我ガ砲火ニ間モナク應ジタ。併シコノ距離デハ其ノ旋回榴彈砲ハ我ガ旋回砲程ノ有効射撃距離ヲ持タナカツタノデ不利デアツタ。我ガ旋回砲ハ跳彈デモ容易ニ屆キ、實際無照尺射撃デモ着彈シタ。コノ局面デハ波ガ穩ヤカデアツタシ味方ノ方ガ有利デアツタ。

戰ハ今ヤ酣トナツタ。約15分交戰ノ後、我々ハ敵ノ螺旋推進器ニ近イ後部ニ110听ノ着發彈ヲ命中サセタガ、其ノ命中ノ激動ニヨツテ敵ニ一時ノ興奮ト憂慮ヲ與ヘタケレドモ、ソレハ爆發シナカツタ。敵ハヤガテ接戰ヲ求メテヰルヤウデアツタ。(敵ハ速力ガ優ツテヰル事ヲ知ツタノデ、コレハ充分ナシ得ル事デアツタ)。11吋旋回砲ガ無照尺デモ効力ヲ生ズル様ニ接近スル事ヲ賢明ナリト考ヘタノデアツタ。我々ハ優速ガ敵ニアル事ヲ知ツタ。Semmes ハ距離ヲ縮メテ敵ニ向ヒナガラ、接戰ガ都合ヨキカ否カ敵ノ様子ヲ探ツタ。敵ハ明カニ、コレカラノ交戰ニ必要ナ地點ニ到着シタト見エ、針路ヲ變ヘテ我々ニ平行スル様ニ進ンダ。Semmes ハ敵ノ進航ヲ妨害シタリ、襲撃シタリシテ乘組員ノ力ノ優越ヲ以テ數ニ於ケル優越ニ打勝ツ事ヲ賴リニ桁端相接スル接戰ヲスル事ヲ選ンダデアラウガ、是ハ數度試ミラレタガ我々ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

意圖ガ餘リニ明ラカデアツタノデ成功シナカツタ。其ノ爲其ノマヽノ情況ヲ出來ル丈ケ利用シナケレバナラナクナリ、敵ノ中央部ニ向ツテ、充實彈ト中空彈トヲ、前者ハ出來レバ錨鎖甲板ヲ破ルタメ、後者ハ一般ノ攻撃用トシテ、交互ニ使用シタ。

最初ニトラレタ距離ヲ縮メル頃マデ我ガ艦ハコレト云ツタ損害ハナカツタ。敵モ後部ニ命中シタ我ガ砲彈カラ別ニ損害ハ受ケナカツタノデ、結局マダ損傷サレテヰナイ様子デアツタ。現在ノ距離〔無照尺射撃距離〕デハ11吋砲ノ威力ハ痛切ニ感ゼラレタ。一方交戰當初ニ認メラレタ我ガ裝藥ノ無効ハ敵ニ殆ド損害ヲ與ヘ得ナイ事ニヨツテ明白ニナツタ。

Semmes ノ襲撃計畫ハ挫折シ、砲火ヲ以テ敵ノ船體ヲ貫ク事モ出來ナカツタノデ、何カ思ヒガケナイ幸運ガナイ限リ勝利ハ覺束ナカツタ。此ノ時ニ我ガ「スパンカー・ガーフ」ハ射落サレ、軍艦旗ハ甲板ニ落チタ。併シ敵ノ砲火ハ熄マナカツタカラ Kearsarge 號ニハコレガ見エナカツタノデアラウ。我々ニハ敵ノ裝甲鈑カラ破片ノ飛ビ散ルノガ見エタガ穿孔シタモノハナク、充實彈モ中空彈モ舷側カラ跳返ツタ。敵ハ今ヤ射程内ニアリ、且優速ヲ以テ樂ニ其ノ距離ヲ保チ得ルノデ、全ク我ガ艦ヲ思フマヽニ扱ヒ、其ノ砲火ハ正確デ痛烈デアツタ。我ガ舷檣ハヤガテ散リ散リニ打タレ、後部旋回砲ハ左舷側ガ破壞サレ、駐退機手ヲ除イテ全部死傷シタ。ソノ區域ノ後甲板32听砲ガ繫止サレタノデ、兵員ハ同旋回砲ノ配置ニツイタ。收材甲板ハコノ時マデニ中甲板ニ炸裂スル榴彈ノタメ、ドンドン破ラレテヰタノデ、砲ノ操作ハ妨

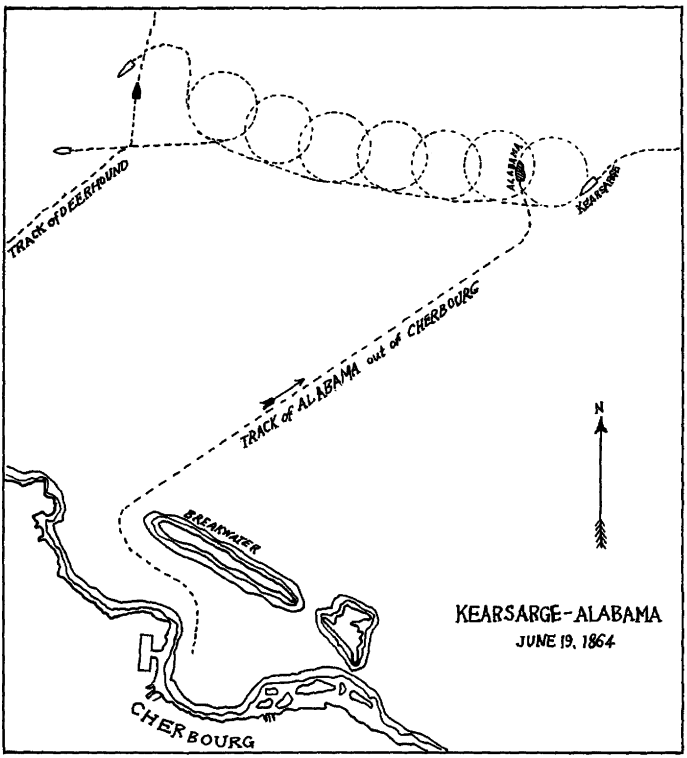
http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ゲラレタ。其ノ下ノ部屋ハ全部一ツニ連ガツテシマツタ。Alabama 號ハ斯クテ猛撃ヲ受ケツヽ浸水シテヰタ。機械室カラノ報告ハ依然トシテ船ガ安全地點ニ達スルニ支障ハナイト云フノデアツタガ、併シ舵ハ次第ニキカナクナリ、艦首ヲ風下ニ落スタメ、帆手ハ艦首ノ縦帆ヲ弛メル事ヲ命ゼラレタ。我々ハ死物狂ヒノ、併シ見捨テラレタ抵抗ヲシテヰタガ、ソレモ遂ニ敵ノ決定打ヲウケテ終ツタ。11吋榴彈ガ水線部ノ、筆者ノ砲ノアツタ跡ニ命中シタ。彈丸ハ機械室ニ入ツテ炸裂シ、貫通スル際艦上ニ多量ノ海水ヲ打チ上ゲ、暫ラクハコノ區域ノ大砲ヲカクシテシマツタ。艦ハ艦首カラ艦尾マデ動搖シタ。Semmes ハ直チニ機關科士官ヲシテ調ベサセタ。火ガ消エタトノ事デアツタ。又水ハ「ポンプ」デハドウスル事モ出來ナカツタ。我々ハ最早ヤ負ケ戰サトナツタコトヲ知ツテヰタノデ、縦帆ヲカケテ海岸ニ着カウトシタ。併シ敵ハ我ガ艦ト海岸トノ間ニ出デ、ソレ以上接近シヨウトセズタダ海岸側ヲ保ツテ待機シテヰタ。

Alabama 號ハモハヤ浮ブ事ガ出來ナイ事ガ明ラカデアツタノデ軍艦旗ヲ卸シ、「總員退艦」ノ號笛ガ鳴ツタ。中部甲板ノ「ボート」ハ破壞サレテ艦尾ノ唯2隻ノ短艇ダケガ殘ツテヰタ。ソノ1隻モ大破シテヰタ。負傷者ハ1隻ニ載セテ士官ノ指揮下ニ敵ニ送ラレ、我々ハ成行ヲ待ツテヰタ。Kearsarge 號ハ我ガ艦ノ降伏ヲスグニハ發見シナカツタ。何トナレバ同艦ハ我ガ艦ノ軍艦旗ガ卸サレテカラモ砲撃ヲヤメナカツタ。多分、白地ノ多イ旗デアツタノデ砲煙ノ中デハソレガナクナツタ事ニ氣ガツキニクカツタノデアラウ。併シコノ理由ガ何デアラ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



DRAWN FROM THE DIAGRAM SUBMITTED TO THE SECRETARY OF THE NAVY BY COMMANDER WINSLOW

HP『海軍砲術学校』公開史料

ウト、海軍士官デ生レモ育チモ紳士デアル者ナラバ、降伏シタ敵ニ砲火ヲ浴セルトイフ罪ヲ犯ス事ハナイデアラウ。ダカラコレハ疑問ノ餘地ノナイ出來事トシテ此ノ問題カラ離レテモヨイ。

此ノ時ニハ Kearsarge 號ハ約 300「ヤード」離レテ居リ、推進器ヲトメテ、負傷者ヲ載セタ我ガ「ボート」ヲ待ツテ停止シテヰタ。觀戰中ノ汽船ハ全速力デ我等兩艦ノ方ヘ走ツテ來タ。Alabama 號ハ微風ヲ縱帆ニ受ケタノデ、ソノ內兩艦ハ次第ニ離レタ。

Deerhound 號ハ Kearsarge 號ニ接近シ Winslow 艦長ハ人命救助ノ援助ヲ乞フタ。ソコデ殆ド停止スル暇モナク、我ガ艦ノ方ニ向キ、同時ニ全部ノ短艇ヲ卸シタ。Kearsarge 號モ同樣「ボート」ヲ卸シタ。我ガ艦ノ乘組員ハ任意ニ艦ヲ去ツタガ、此時ハ訓練モ規律モ行ハレナカツタ。艦ハ收材甲板マデ沈ミ、壞レタ圓材ハ索具ニ支ヘラレテ檣ノ根本ニブラサガツテヰタ。甲板ハ悲慘ナ光景デ無數ノ穴ガアキ、氣泡ガ上ツテハ破レ、艦ガ苦シンデヰルカノ如キ音ヲ立テタ……。Alabama 號ノ最後ノ一沈ミハ變態的デアツタ。水中ヨリ艦首ヲ先ニ出シ、其ノマヽ沈ンデ行キ、2本ノ檣ヲ折リ去リ、大キナ勢ノアル渦卷ヲ作ツタ。』(以上ガ Sinclair 大尉手記ノ一部デアル)

此ノ交戰ニ於ケル Alabama 號ノ損害ハ戰死者溺死者共 26 名、負傷者 20 名、內重傷 3 名デアツタ。負傷者ハ Kearsarge 號ニ移サレタ。又其ノ短艇ハ更ニ 50 名ノ捕虜ヲ引キ上ゲタ。9 名ハ「フランス」ノ水先船デ Cherbourg ニ逃レ、42 名ハ Deerhound 號デ Southampton ヘ運バレタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Semmes 艦長ハ砲彈ノ破片デ腕ニ負傷シテ、一番分隊長 Kell ニ助ケラレテ泳イデヰタガ Deerhound 號ノ短艇ニ2人共助ケラレタ。航海長屬 Fullam ハ負傷者ヲノセタ第一番目ノ「ボート」ヲ Kearsarge 號ニツケタガ、溺レカヽツテヰル兵員ノ救助ヲ手傳フタメ、宣誓ノ下ニ再ビ引キ返シタ。其ノ任務ガ終ラナイ內ニ彼モ Deerhound 號ニ向ツタ。數分ニシテ同艇ハ Winslow ノ期待ヲ裏切ツテ、捕虜ヲノセタマヽ Kearsarge 號ヲ尻目ニ全速力デ Southampton ニ向ツタ。

英國ニ於ケル Semmes 大佐以下士官ノ歡迎ハ熱狂的デアツタ。倫敦ノ Daily News 紙ノ樣ニ反對意見ノ新聞モ 2, 3 アリ、コノ時ノ英雄ヲ「逃亡セル密輸入者」トカ「足ノハヤイ海賊」トカ呼ンダケレドモ、此等ハ稀ナ例外デアツタ。英帝國內ノ諸港ニ於テ Alabama 號ニ與ヘラレタ歡迎ハ常ニ極メテ心ヲコメタモノデ、中立國トシテノ度ヲ越ス位デアツタトイフ事實ヲ考ヘレバ、此ノ英國ノ一般ノ好意ハ不思議デハナイ。其ノ理由ハ同艦ガ英國ノ造船所デ作ラレタモノデアリ主トシテ英國人ヲ乘組員トシ、士官室ニモ數名ノ英國士官ガヰタトイフ事、及2年ト經タヌ內ニ同艦ハ英國ノ最モ恐ルベキ通商ノ競爭相手ヲ海上カラ驅逐シテシマツタカラデアル。

敗軍ノ將ガ英國ノ土ヲ踏ムヤ否ヤ、彼ハ新聞ニ書ヲ寄セテ、非常ナ反對論ヲ呼ビ起シタ議論ノ種ヲ播イタ。即チ先ヅ第一ニ彼ハ北軍艦長ガソノ機械ヲ防護スルタメニ中央部ノ舷側ニ錨鎖ヲカケタ點ノ「武士道精神」ニ反スル事ヲ責メタ。Kearsarge 號ガ單ニ木造艦トサレテヰルノニ、ソレヲ裝甲艦竝ニシヨウトスル、ズルイ「ヤンキー」戰略デアル

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

トシタ。若シモ此ノ事情ヲ知ツテヰタラ、彼ハ決シテ Alabama 號ヲ以テ斯カル不平等ナ戰ヲ行ハナカツタデアラウト斷言シタ。此ノ考ヘハ前年ニ彼ノ有能ナル副長 Thornton 少佐ガ Winslow ニ暗示シタモノデアリ。Thornton ハ、此ノ工夫ガ New Orleans ノ要塞通過ノ際、Farragut ガ用ヒタノヲ見タ事ガアツタノデアル。コノ考ヘヲ Kearsarge 號ガ Alabama 號ト戰ツタ場合ノ樣ニ、石炭庫ガ空ニナツタトキニ機械ノ特別ノ保護トシテ直チニ實行セラレタ。ソレハ歐洲諸港ニ少ナカラヌ注意ヲ喚起シタ。Sinclair 大尉ハ彼ノ艦長ハ反對意見ヲ持ツテヰル事ヲ知ツテヰタニ違ヒナイガ、Kearsarge 號ガ錨鎖ヲ防禦ニ使用シテヰタ事ハ Alabama 號デハ周知ノ事實デアツタト數箇所デ述ベテヰル。彼ハ更ニツケ加ヘテ、『筆者ノ憶測ヲ以テスレバ、Kearsarge 艦長 Winslow ハ進ンデ鎖ヲ使用シタノデハナイダラウ。ソレハ單ニ義務ヲ遂行スルノニ適當ノ注意ヲ拂ツタモノト考ヘラルベキデアル。彼ハ挑戰ヲ與ヘタノデモ、受ケタノデモ、拒ンダノデモナイ。併シ出來レバ戰ツテ、ソシテ勝ツ事ガ彼ノ義務デアツタ。Alabama 艦長 Semmes ハ其ノ事ヲヨク知ツテヰタ筈デアル。ダカラ同ジ策ヲトル事モ出來タノデアル。併シ彼ハサウシタクナカツタノデアル。』

Semmes ガ Winslow ヲ非難シタ最モ重大ナ點ハ、人道的デナイ事デアル。彼ハ Winslow ガ降伏シタ艦ニ發砲シ、Alabama 號ノ乘組員ノ救護ニハ、犯罪ヲ構成スル程度ニマデ怠慢デアツタト主張シテヰル。是等ノ議論ハ Winslow 初メ、他ノ士官カラモ、同樣ニ誹謗的ナ反駁ヲ惹起シタ。彼等ニヨルト、Alabama 號ハ降伏シタ後 Kearsarge

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

號ニ發砲シタ。此ノ休戰旗ヲ無視シタ行爲ニ憤慨シテ Winslow ハ Alabama 號ノ降伏ヲタシカメルマデ發砲シタノデアル。Kearsarge 號ノ Brown 軍醫ハ捕虜ノ言トシテ Alabama 號ノ青年士官ノ2名ハ『何ンナ事ガアツテモ降伏シナイト叫ビ、敵意ニ燃エテ2門ノ左舷砲ニカケヨリ Kearsarge 號ニ發砲シタ』トツケ加ヘテ Winslow ノ言葉ヲ確證シテヰル。併シ Alabama 號ノ Kell 大尉ハコレヲ強ク否定シタ。ダカラ事實ノ點ハイツマデモ疑問ニツヽマレルニ違ヒナイ。

捕虜ノ救助ガ遲レタ事ニツイテハ、Brown 軍醫ガ彼ノ意見トシテ、Winslow ハ、400「ヤード」モ離レテヰズニ沈沒シツツアル Alabama 號ノ舷側ニツケタ方ガヨカツタデアラウト言ツテヰル。併シ Winslow ガ Deerhound 號ニ人命救助ヲ依賴シ、Fullam ニ引返シヲ許シタ事ヲ、彼ノ持ツテヰタ短艇ヲ直チニ救助ニ使用シタ事實ト共ニ、不人道ノ責ハ免レルモノデアル。Kearsarge 號ノ短艇ニトツテ困ツタ事ハ、僅カニ2隻ノミガ無事デ——帆走「ランチ」及第二「カッター」——此等ハ最モ近ヅキニクイ艇デアツタト云フ事デアル。

Kearsarge 號ノ士官達ノミナラズ、北部ニ於テモ、Semmes ガ Kearsarge 號ニ降伏シタ後、英國船ニ逃レタ行爲ヤ、捕虜ヲノセテ Deerhound 號ガ逃レ去ツタ行爲ニ對シテ、憤慨ガ湧キ起ツタ。同船ヲ逃レシメタ事ニ對シテ、Winslow ハ各方面カラキビシイ批判ヲ受ケタ。Semmes ノ行爲デ唯一ツ是認シテモヨイ事ハ、北軍軍艦ガ降伏艦ニ發砲シタ事ニヨツテ既ニ信義ヲ破ツタノデ、其ノ事實ガ彼カラ有ユル義務ヲ除イタト信ジタ事デアル。併シ Alabama 號ノ二番分隊長

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Joseph Wilson ハ Deerhound 號ニ乘ル事ヲ拒ミ、Winslow 中佐ニ降伏シタ唯一ノ士官デアツタ。此ノ爲ニ彼ハ誓約ノ上、彼ニ直チニ報ユル所ノアツタ特別ノ推薦狀ヲ以テ、Winslow ニ釋放サレタ。此ノ行爲ハ Fullam ノソレト對照ヲナシテヰル。Fullam ノ行爲コソハ許スベキデナイ。

Deerhound 號ニ就テハ、北軍ノ艦長ハ一旦彼ノ捕虜ガ同船ニ乘レバソレハ中立領域内ニアル事ニナリ、彼ガ觸レル事モ、其ノ船長ヲ降伏サセル事モ出來ナイトイフ事ヲ知ツテヰタ筈デアル。彼等ヲ暴力デ取戻スヤウナ事ヲスレバ Trent 號ノ失敗ノ二ノ舞ヲ演ズル事ニナル。Deerhound 號ノ事件ノ後、溺死者救助ノ中立國艦船ノ任務ニ關スル國際法ニ特別ノ條文ヲ設ケル事ニナツタ。今日デハ同ジ狀況ノ下デハ、Deerhound 號デ救助シタモノヲ勝ツタ方ノ司令官ニ引渡サナケレバナラナイ。

Kearsarge 號ハ此ノ戰ニ於テ敵ノ 6 門ニ對シ片舷砲 5 門デアツタ。併シ戰ノ大部分ガ行ハレタ無照尺射程デハ北軍砲ガ强力デアツタ。併シ最後ノ勝利ハ Kearsarge 號ノ砲術ノ卓越ニ基クモノデアル。Alabama 號ノ兵員ハ Kearsarge 號ノ 1 回ニ對シテ 3 回ノ片舷齊射ヲ行ツテヰルガ、此ノ迅速ハ南軍砲撃ノ粗雜ヲ助長シタカニ見エル。唯 1 度ダケ危險ナ損害ヲ受ケタ。即チ Kearsarge 號ノ左舷艦尾ニ留マツタ 100 听砲彈デアルガ、之ハ爆發シナカツタ。2 彈ハ舷側ニカケタ鎖デソレタ。併シ北軍士官ノ證明ニヨルト、タトヘ之等ノ砲彈ガ穿孔シタトシテモ機關部ハ外レタデアラウ。他ニ 11 彈船體ニ命中シタガ多ク

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

舷檣ヲ貫イタノミデアツタ。他ノ砲彈ハ高カツタ樣ニ見エル。何トナレバ3隻ノ短艇ガ破壞サレ、煙筒ガヒドク孔ヲアケラレ、索具ガ散々ニ切ラレタカラデアル。之ニ反シテ Kearsarge 號ノ砲ハ愼重ニ操作サレ、非常ニ精密デ Alabama 號ハ文字通リ粉碎サレタノデアル。

此ノ戰ニ就テノ新聞紙ノ論戰ハ最モ重要ナ結果デハナイ。1872年9月「ジェネバ」裁判所ハ英國ニ對スル合衆國ノ抗議ニ對シ、仲裁會議ヲ召集シタガ、被告ガ南軍軍艦ノ建造、購入、艤裝ヲ同國ノ港ニ於テ許シタ點ニ中立違犯ノ罪ヲ認メ、Alabama 號、Shenandoah 號、Florida 號ニヨツテ破壞サレタ船舶、積荷ノ價格トシテ 15,500,000 弗ヲ原告ニ支拂ツタ。此ノ金額ハ利子ヲ加ヘテ 16,000,000 弗ニ增加シタ。

今デモ廣ク抱カレテヰル所ノ、Alabama 號ハ戰後ノ「アメリカ」海運業ノ衰頽ニ責任ガアルトイフ議論ハ、支持スル事ガ出來ナイ。同艦ト其ノ護衞艦ハ事實上全「アメリカ」ノ商船ヲ隱レ場所ニ驅逐シタケレドモ、全體ノ僅カ 5% ヲ捕獲シタニ過ギズ、僅カ 32% ガ中立國ノ手ニ賣ラレタリ、一時的ニ讓渡サレタニ過ギナイ。正常ノ狀態デアレバ「アメリカ」ノ海運業ハ 1812 年戰役後ト同ジク、南北戰爭ノ終結後モ復活スベキ筈デアツタ。ソレガ復活シナカツタ理由ハ、增稅ノ結果、部分的デハアルガ經濟狀態ニ變化ヲ來シ、其ノ爲海運業ノ競爭相手國程ノ安イ費用デ船ヲ建造シタリ、船員ヲ得ル事ガ出來ナカツタトイフ事ト、航海法ニヨツテ「アメリカ」國旗ノ下デハ外國船舶ヲ購入シテ使用スル事ヲ禁止シタ事ニヨツテデアル。此等ノ事ガ海運界ニヒドク災シ、「アメリカ」ノ資本ハ船舶ヨリ鐵道、工場、鑛山ニ移ツタノデアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第23章　封鎖ト南北戰爭ノ終焉

◎封　　鎖

南部海岸ニ對スル封鎖當初ノ情況ハ既ニ第15章ニ述ベタノデアルガ、全般的ノ封鎖ハ、南部ニ屬スル（敵船私掠ノ官許ヲ有スル）船舶ニ向ツテ北部ノ通商破壞ヲ命ジタル 1861年4月17日付ノ Davis 大統領ノ布告ガ出テカラ更ニ幾分促進セラレタ。米國ハ 1856 年ノ巴里議定書ノ署名國デハナカツタガ、封鎖及掠奪官許ノ2件ニ關シテハ相當遠慮シテヰタ。此ノ議定書ニ於テ歐洲列强ハ封鎖ヲ眞ニ其レガ有効ニ爲サレタ場合ニ限ルコト、即チ紙上ノ封鎖ヲ認メザル事ヲ申合ハセ、又私掠船官許ノ手段ニ訴ヘザル事ニ同意シテヰタノデアル。ソコデ北部諸州ハ歐洲列强ヲシテ封鎖ヲ尊重セシメル爲ニ、且ハ南部ノ諸港封鎖ノ實ヲアゲル爲ニ非常ナ努力ヲ拂ハザルヲ得ナカツタ。併シ合衆國ハ巴里議定書ノ署名國デハナカツタノデ、北部諸州ハ南部諸州ガ海軍ヲ有セザル國ノ最後ノ望ナル私掠船官許ノ手段ニ訴ヘテモ、之ニ對シテ抗議スル事ハ出來ナカツタ。加之國家ガ自國ノ港ヲ閉鎖スルコトハナイノデ、南部諸州ニ對抗スル爲ト雖モ斯カル戰法ニ出ヅル事ハ北部同盟側ヲ變則的ナ立場ニ置イタ。其ノ始メ Washington 政府ハ港灣封鎖ヲ單ナル通商停止的又ハ國內的ノモノト見做サント努力シタケレドモ、歐洲列强ハ其ノ樣ニハ考ヘナカツタ。此ノ故ニ封鎖ノ宣言ハ英國ヲシテ南部諸州ヲ交戰國ト認メシメルバカリデアツタ。英國ハ5月13日ノ局外中立宣言ノ際、此ノ事ヲ宣告シタガ、併シ此レ以上ニ及ブ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

氣ハナカツタノデアル。又南部聯邦ヲ獨立國トシテ承認スルコトモ拒絶シタ。ソコデ封鎖ヲ有効ニシテ歐洲ノ干渉ヲ避ケル爲ニ、合衆國ノ小海軍ハ一大仕事ヲ爲シ、遂ニ國際法ノ所謂「有効」即チ「港ニ出入スル事ハ明ニ危險デアル」ニ相違ナイト確認サセルニ至ツタ。封鎖ハ大袈裟ニ行ハレタケレドモ漸ク實施後6箇月目ニ其ノ効果ガアラハレタ。其ノ上次カラ次ヘト南部ノ港ヲ取ツテ行キ、警戒線ハ愈嚴重ニナツテ、漸次本モノノ戰爭トナツテ行ツタ。

大統領 Davis ノ宣言通リニ、私掠船ノ免許狀ガ私有船ノ所有者達ニ渡サレタ。當時北部地方ハ商船ヲ有スルコト世界第二位デアツタノデ、南部聯邦ニ私掠船ヲ許スコトハ北部同盟ヲ其ノ最大弱點ニ於テ打破シヨウトノ手段ニ外ナラナカツタ。之ニ反シ南部聯邦ニハ1隻ノ商船モナカツタノデ北部ハ復讐シヨウニモ出來ナカツタ。後程封鎖ハ愈嚴重ヲ極メ且私掠船免許狀ノ發行ニモ統一ヲ缺イテヰタノデ、此ノ戰法モ自然ト消滅シテ行ツタ。併シソレ迄ニハ北部地方ノ相當ナ商船ニ可成リ被害ヲ與ヘタノデアル。

拿捕サレタ最初ノ私掠船タル Savannah 號ハ南部同盟ノ立場ニ關シテ新シキ問題ヲ惹起シタ。其ノ乘員ハ祖國ニ對シテ弓ヲ引イタト云フ廉デ國事犯トシテ公判ニ附セラレタ。其ノ上北部ハ、暴徒ノ軍艦ハ國際公法上海賊船ナリト主張シタ。Savannah 號ノ乘員ハ數箇月間入獄セシメラレタダケデ放免サレタ。南部デハ手許ニアル略同數ノ陸軍ノ捕虜ヲ取扱フニ當リ、北部同盟政府ガ Savannah 號ノ乘員ニ對シテ取ツタト同一ノ取扱ヲスルト云ツテ脅迫シタ。Lincoln ハ最初カラ自由

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



David D. Porter

HP『海軍砲術学校』公開史料

主義ニ賛成デアリ、又暴動モ全國的トナツテシマヒ、其ノ爲全國各地ヲ叛亂罪ニ問フ事モ不可能デアリ、又如何ニ理窟ヲツケテモ私掠船ノ乘員ヲ海賊ト認定スルコトハ出來ナカツタ。斯クテ Savannah 號ノ乘員ハ 1862 年 2 月 16 日陸軍ノ捕虜ト同一ノ立場ニ置カレタ。

封鎖ハ政府ノ兩中心地ニ最モ近キ Hampton Roads ヨリ着手セラレタ。Merrimac 號ハ此ノ地點ヨリ封鎖ヲ突破セントスル計畫ヲ立テタ他ノ二ノ封鎖線ハ大西洋沿岸ト「メキシコ」灣沿岸ニ張ラレタ。「メキシコ」灣ニアリテハ先ヅ同灣ニ於ケル一流ノ商業都市ナル New Orleans ヲ攻略シタノデ、同灣ノ封鎖作業ハ大西洋沿岸ノ封鎖作業ニ比シ容易トナツタ。此等兩封鎖艦ノ作戰計畫ハ極メテ相似シテヰタノデ、吾人ハ唯大西洋岸封鎖艦隊ノ行動ヲ考究スレバ、自然兩封鎖艦隊ノ行動ニ關スル充分ナル概念ヲ得ルコトガ出來ル。

此ノ艦隊ノ任務ハ非常ニ困難デアルコトガ判ツタノデ、遂ニ之ヲ戰爭ノ初期ニ於テ二分スルコトニナツタ。即チ一ハ Goldsborough (後ニハ Porter) 麾下ノ北大西洋艦隊、一ハ Du Pont (次ニハ Dahlgren) 麾下ノ南大西洋艦隊トデアル。此等ノ艦隊ノ任務遂行ガ困難デアツタ理由ハ、(1) Carolinas ヨリ Florida 迄ノ沿岸ニハ多クノ島ガ散在シ、各所ニ沙洲ガアツテ事實上二重ノ海岸線ヲ有シテヰタコト、(2) Nassau 及 Bermuda ニ散在シテヰル町ノ如ク程遠カラヌ所ニアリ、而モ地理ノヨク判ツタ港ハ、破封鎖船ガ英國製造家ノ非常ニ必要トシテヰタ綿花ヲ取引スルノニ好都合ノ市場デアツタコト、(3) Wilmington, Charleston 及 Savannah 此等三大商業中心地ト Nassau

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

及英本國トノ交通ノ爲ニ特ニ設計セラレタ破封鎖用ノ蒸氣船ガ封鎖艦隊ヲシテ奔命ニ疲ラセタコト、以上大體三デアツタ。

此ノ特殊ナ破封鎖船ハ取立テテ言フ程ノ兵裝ヲ有ツテ居ラズ、又元來敵ニ對シテ抵抗シ得ル樣ニ造ラレタモノデモナク、一見商船ト異ル處ガナカツタ。南部諸州ハ工業地デナカツタノデ、兵器彈藥ヲ輸入セネバナラズ、從ツテ此ノ軍需品ノ代償トシテ其ノ唯一ノ重要產物デアル綿花ヲ海外ニ送ラネバナラナカツタ。此ノ交易ヲ遂行センガ爲ニ、又北部同盟ニ屬スル艦ノ目ヲ遁レンガ爲ニ、戰爭初期ニ於テ旣ニ破封鎖船ガ存在スルニ至ツタ。北軍艦船ノ哨戒ガ益嚴重ニナツテ來タノデ、南軍ハ其ノ船ノ速力及貨物積載量ノ增大竝ニ敵カラ見エナイ樣ニスル此ノ3要點ノ必要ヲ愈痛切ニ感ズル樣ニナツタ。1863 年乃至 1864 年代ノ破封鎖船ノ典型的ノモノハ 400 噸乃至 600 噸位ノ長イ、舷ノ低イ、外輪汽船デ、肋材ノ花車(キヤシヤ)ナ、長サハ幅ノ 9 倍モアル、兩端ノ尖ツタ、細長イ船デアツタ。ソノ船ハ外輪ノ著ケ根ノ處デ折レル樣ニナツタ1本又ハ2本ノ傾斜シタ煙突ヲ有シ、船體ノ高サハ水面上僅ニ 2.3 呎デ暗灰色或ハ鉛色ニ塗ラレテヰタ。其ノ檣ハ2本ノ短イ下檣ノミデ、桁ハ一モナク唯前檣ニ小サイ檣上見張所ガアツタ。前甲板ハ船ヲ大波ノ中ヲモ進マセル事ノ出來ル樣ニ所謂亀甲甲板作リニナツテ居リ、煙ヲ出サヌ樣ニ無煙炭ヲ用ヒ、航行中ハ燈火ヲ全部消シ、盤針儀ヤ罐室入口等凡ソ光ノ洩レ易イ處ハ用心深ク閉デ又蒸氣ハ水中ニ吹キ出サレル仕掛ニナツテヰタ。

封鎖艦隊ハ時ニハ 15 節ヲ出ス此等破封鎖船ヲ捕獲スル爲ニ、晝夜

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

共蒸氣ヲ揚ゲテ絶エズ監視シテヰナケレバナラナカツタ。北軍ニ屬スル軍艦ノ或者ハ Nassau 及 Bermudas 川ノ附近マデモ廣範圍ニ亙ツテ巡航シタ。其ノ方面デハ彼等ハ米國近海ニヰルヨリモ、却ツテヨリ以上好成績デアツタ。即チ破封鎖船ガ最早大丈夫ト警戒ヲ怠ツタ時ヲ見計ツテ襲撃シタノデアル。注意深イ北軍艦隊ヲ欺クタメニ、南部聯邦ノ船ハ金物トイフサハリノナイ名デ貨物ヲ積ミ、其ノ實船艙ニハ武器ヤ彈藥ヲ藏スル等、捕獲ヲ免レル爲ニアラユル詭計ヲ實行シタ。陸岸ノ燈竿ガ消エテヰル時ハ此等ノ船ハ號火ヤ封鎖艦艇ノ燈火デ見當ヲツケテ目的港ニ向ケテ突進シタ。假令封鎖艦隊指揮官ガ一早ク前記ノ事實ヲ知ツテ、單ニ旗艦ニノミ燈火ヲ點ゼシメルカ或ハ毎晩異ツタ封鎖艦ニ燈火ヲ點ゼシメタ所デ、其ノ情報ハ驚クベキ速サデ Nassau ニ達シ、次ノ破封鎖船ハ新對策ヲ考究シテヰタ。或時「暗ニマギレテ脫出中ノ汽船ヲ發見セル艦艇ハ被追跡艦ノ所在ニツイテ手掛リヲ與ヘル爲ニ、被追跡船ノ進ミツツアル方向ニ發砲スベシ」トノ命令ガ發セラレタ。處ガ數日後ニハモウ破封鎖船ハ己ガ豫定航路ト直角ノ方向ニ射出シ得ル樣ニ火箭ヲ裝著シテ居タ。Wilkinson ハ彼ノ面白イ「破封鎖船物語」中ニ被追跡船ガ屢用ヒタ今一ノ仕掛ニ就イテ述ベテヰル。

「見張員ガ望遠鏡ヲ目ニアテテ敵ノ追跡艦ハ只今黃昏ノ中ニ見エナクナリマシタ」ト報告シタ時ニ船長ハ機關部ニ、黑煙ヲ出スコトヲ命ジタ。塞板ハ閉メラレタ。斯クテ破封鎖船ハ影ヲ追フ北軍ノ封鎖艦ヲ殘シテ急イデ變針シタ。破封鎖船ハ、滿潮デアリ而モ月ガ港口ノ方ニ照ツテヰナイ時ニ Nassau 或ハ Bermudas ヲ出港シタ。若シ萬一猛

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

烈ニ攻撃セラレ追ヒツメラレタ時ニハ、破封鎖船ハ故意ニ海岸ニ乗リ上グ、ソコデ船ヲ犠牲ニスルコトハ覺悟ノ上デ、近クノ砲臺ノ掩護ノ下ニ積載貨物ヲ陸揚スルノデアツタ。

破封鎖船ノ多クハ南部ノ地主ヤ英國人ノ經營スル會社ニ屬シテヰタ。中ニハ南部聯邦政府ノ出資スル會社ノ所有船モアリ、又中ニハ英國ヨリ購入シタ立派ナ船デ、南軍士官ノ指揮スルモノモアツタ。政府所有船ノ一ニ「クライド」式ノ外輪ヲ有スル彼ノ有名ナ R. E. Lee 號ガアツタ。同號ハ Wilkinson 船長ノ指揮宜シキヲ得テ、1箇年足ラズノ間ニ實ニ 21 回モ續ケテ封鎖線ヲ突破シタ。實際コノ船ヤ Kate 號ハ大膽ニモ郵便船ノ樣ニ定期的ニ航海シタ。密貿易ガ莫大ナル利益ヲアゲタコトハ、若シ南部ノ一港カラ Nassau マデノ航海ニ成功スルト、其ノ船長ハ 1,000「ポンド」ノ賞與ヲ貰フコトモ少クナカツタ事デモ判ル。ソレデ英國海軍ノ士官マデガ假名ノ下ニ敢テ破封鎖船ノ指揮ニ憂キ身ヲ窶スコトモアツタ。Wilmington デハ 1「ポンド」ニ就キ 4「ペンス」ノ綿花ガ、Liverpool デハ 1「ポンド」ガ 2「シリング」モシタ。此等ノ船長ハ 6 箇月其ノ任務ニ服セバ、モウ退隱シテモヨイ程儲ケタ。又斯カル有利ナ貿易ニ從ツテヰル會社ハ 2 度モ上首尾ノ航海ヲヤレバ、其ノ後ハ 1 隻位ノ船ヲ失ツテモ平氣デアツタ。

併シ南部諸港ノ封鎖ハ愈嚴重トナリ、又次々ト南部ノ都市ガ陷落シタノデ密貿易モ出來ナクナツタ。戰爭中封鎖艦隊ハ總計 1,150 隻ヲ捕獲或ハ擊破シタ。而シテ其レ等ノ積載貨物ハ總計 3 千萬弗ニモ及ンダ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

◎「チャールストン」港頭ノ作戦

Port Royal 占領後 Du Pont ハ封鎖、殊ニ Charleston 港ノ封鎖ニ全勢力ヲ集中シテ、充分ノ成果ヲアゲタ。「モニトール」艦ヲ最モ信頼シテヰタ敏腕ナル海軍次官 Fox ハ、此等ノ特殊ナ艦ヲ出來ルダケ多ク Du Pont ニ隷屬セシメルト共ニ、此等ヲ使用シテ Charleston 港ヲ占領スル樣ニ命ジタ。

此ノ都市ハ Beauregard ノ指揮スル陸軍ノ大部隊ヤ、砂丘ノ天然ノ要害ハ言フニ及バズ、其ノ外數多ノ要塞ヤ甲鐵艦、機雷ニヨリ充分ニ防禦サレテ居タ。其ノ外此等ノ防備ハ、ヨク封鎖艦隊ヲ遠ク港外ニ留マルノ餘儀ナキニ至ラシムルト共ニ、淺吃水ノ破封鎖船ヲシテ島々ヲ縫フテ外洋ニ出ヅルノ機會ヲ與ヘタ。其ノ上 Charleston 港ノ港口ハ狹クテ、其ノ中デ1度捕ヘラレルト如何ナル艦船モ2度ト助ル見込ハ殆ド無カツタ。

南部聯邦ハ南大西洋海岸ノ封鎖ノ突破ヲ屢試ミタノデ、Du Pont ハ多數艦船ノ損害ヲ賭シテマデ Charleston ヲ强襲スルハ考ヘモノト思フニ至ツタ。1863年1月裝甲衝角艦 Chicora 號及 Palmetto State 號ガ Charleston 港カラ朝早ク姿ヲ現シ、散在シ居タ封鎖艦ガ同艦ニ集マラナイ中ニ、木造艦 Mercedita 號ト Keystone State 號トニ著シイ損傷ヲ與ヘタ。此ノ事件ニ依リ北軍側ニハ共同一致ノ精神ヤ、機敏ニ信號ヲナス訓練ガ缺ケテ居ルカノ如ク見エタ。何トナレバ散在シ居タ封鎖艦隊ハ衝角艦ノ頻繁ナル出擊中、之ヲ捕ヘタノハ唯1回ニ過ギナ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

カツタシ、又假令之ヲ發見シ追跡シテモ南軍ノ艦船ハ要塞ノ掩護ノ下ニ退却シテシマツタカラデアル。此ノ攻撃ノ結果、Beauregard ハ「Charleston ノ封鎖ハ解除セラレタリ」ト宣言シタ。併シ之ハ間モナク事實無根ナルコトガ判ツタ。

Du Pont 提督ハ Charleston 攻撃ヲ決行スルニ先立チ、其ノ新シイ「モニトール」艦ノ性能ヲ試シテ見タ。此等ノ船ハ未ダ試驗的域ヲ脫シテ居ナカツタノデ、同提督ハ海軍次官ガ確信シテ居ル程要塞ニ對シテ抵抗ガアルトハ決シテ思ツテ居ナカツタ。提督ハ 1863 年 1 月 Montauk 號ヲ派遣シテ McAllister 要塞ニ對シテ其ノ性能ヲ試驗シタ。當時南軍ノ巡洋艦 Nashville 號ハ要塞ノ背後ノ Great Ogeechee 河上ニアツタ。同艦ハ綿花ヲ滿載シ、折アラバ封鎖ヲ突破センモノト機會ヲ狙ツテ居タノデアル。Montauk 號ノ艦長 Worden ハ、砲臺カラノ射撃ハ何等自艦ニ損害ヲ與ヘ得ヌト同樣ニ、自艦モ亦砲臺ニ少シノ損害ヲモ與ヘ得ナイコトヲ認メタ。其ノ上 Nashville 號ハ河ヲ溯ツテ退却シテ居タノデ、彼ハ攻撃地點マデ接近スルコトガ出來ナカツタ。然シ Worden ハ引續キ見張ヲ嚴重ニシ、斯クテ 2 月 27 日ノ夕方細心ナル偵察ニヨリ Nashville 號ガ擱坐シテヰルノヲ發見シタ。更ニ情況ヲ明ニ知ルタメ、夜ガ明ケルノヲ待ツテ自艦ヲ McAllister 砲臺ノ直下ニ進メ、悠々ト 11 吋砲ト 15 吋砲ノ巨彈ヲ致命的ノ正確サヲ以テ Nashville ニアビセタ。數分ナラデ巡洋艦ハ火焰ヲ吹キ始メ間モナク爆發シタ。Montauk 號ハ要塞ノ集中射撃ヲ浴ビ乍ラモ、僅カ 5 發ノ命中彈ヲ受ケタノミデ無事ニ「射撃演習」ヲ終ツテ引退ツタ。併シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

其ノ途中敷設機雷ニ ブッツ カリ、成可リ大キイ漏水箇所ヲ生ジタノデ、應急修理ノ爲泥洲ニ乗上グルノ止ムナキニ至ツタガ、間モナク艦隊ニ合同スルコトガ出來タ。

其ノ後間モナク同ジ要塞ニ向ツテ性能ヲ試ス爲ニ、更ニ3隻ノ「モニトール」艦ガ增派セラレタ。今回モ要塞ニハ殆ド損害ヲ與ヘ得ナカツタ。ソコデ提督ハ海軍省ヘ「如何程艦ノ裝甲ヲ厚クシタ所デソレニ比例シテ要塞ヲ破壞スル力ガ增ストハ考ヘラレズ」ト報告シタ。

本省ノ嚴命ニヨリ Du Pont 提督ハ 1863年4月7日 New Ironsides 號及7隻ノ「モニトール」艦ヲ率キテ Charleston ヲ攻擊シタ。水道ガ淺クテ Ironsides 級ノ艦ハ侵入出來ズ、其ノ上港口ニハ常ニ機雷ノ危險ガアツタ。1時間此等ノ困難ヲ冒シテ戰ツタ後、Du Pont ハ部下ノ艦長等ト相談シテ見テ、若シ翌日戰鬪ヲ再興スルコトガ無謀デナイト決レバ飽クマデ決行スル目的デ、一先ヅ味方ノ損害ヲ調査スルタメ麾下ノ艦隊ヲ率キテ引返シタ。Sumter 要塞ニ最モ近ク位置シテ居タ Keokuk 號ハ 90 發ノ命中彈ヲ受ケ、其ノウチ 19 發ハ同艦ノ水線下ヲ貫キ、兩砲塔ハ方々破碎セラレテヰタ。遂ニ同艦ハ翌朝沈沒シタ。他艦モ要塞ニ近カツタモノ程多數ノ彈ヲ受ケタ。一方 Charleston ノ守リハ依然堅ク、事實微動ダニシテヰナイ樣ニ見エタ。

Beauregard 將軍ハ更ニ第二回ノ宣言ヲシテ、「Charleston ノ封鎖ハ4月7日ノ戰鬪ノ結果遂ニ解除セラレタリ」ト發表シタガ、Du Pont 提督ハ麾下ノ艦ノ修理ヲ完了スルト共ニ港ノ四圍ノ警戒ヲ愈嚴ニシタ。北軍ノ偉傑、工兵科出身ノ Gilmore 將軍ハ、陸軍ヲ Morris

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

島ニ上陸セシムルニ成功シタ。斯クテ味方ノ艦隊ヲシテ更ニ海岸近クニ行動スル事ヲ得シメ、敵ノ封鎖線突破ヲ以前ヨリモ遙ニ困難ニシタ。

此ノ時「Savannah 在泊ノ衝角艦 Atlanta 號其ノ他ノ諸艦ハ、港口附近ノ封鎖突破ノ目的ヲ以テ Wilmington 河ヲ拔錨シ Wavsaw Sound 方面ニ向ハントス」トノ情報ガ入ツタ。「クライド」式ニ建造セラレタル甲鐵汽船 Atlanta 號（舊名 Fingal）ハ既ニ衝角艦ニ改裝サレ、大キイ材木ヲ使用シ4吋ノ鐵板デ覆ヘル砲廓ハ其ノ甲板上ニ据エラレ、其ノ上ニハ Brook 式ノ速射砲ガ兩舷前後何レヘモ發射出來ル樣ニ裝備サレテヰタ。Du Pont 提督ハ此ノ Atlanta 號ヲ邀撃スル爲ニ2隻ノ「モニトール」艦——John Rodgers ヲ艦長トスル Weehawken 號及 Downes ヲ艦長トスル Nahant 號——ヲ急派シタ。

1863年6月17日ノ朝早ク Rodgers 艦長ハ衝角艦ガ河ヲ下ツテ來ルノヲ發見シタガ、彼獨特ノ冷徹ナル愼重サヲ以テ同艦ノ發砲ニモ答ヘズ、遂ニ自艦ヨリ300碼以內ニ近ヅケテ彼ハ巨大ナル Dahlgren 式滑膛砲ヲ放ツタ。最初ノ4發ハ敵ニ大損害ヲ與ヘタ。就中其ノ最初ノ15吋砲彈ノ如キハ敵艦ノ裝甲ヲ貫イタ。Weehawken 號ガ發砲シテヨリ丁度15分ニシテ敵ノ Atlanta 號ハ軍艦旗ヲ撤去シタ。Nahant 號ハ此ノ戰鬪ニ參加スル機會ヲ逸シテシマツタ。

Rodgers 艦長ハ部下ノ訓練猛烈ヲ極ムルコト部內ニ有名ナル人デ、其ノ部下ノ射手ハ何レモ常ニ優秀デアツタ。然ルニ一方南軍ノ Atlanta 號ノ乘員ハ新ニ移乘シタ者バカリデアリ、且早急ニ戰場ニ來タ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ノデ未ダ訓練モ行届イテ居ナカツタ。同艦ノ發射彈8發ノ中命中セルモノハ一モナカツタ。唯其ノ戰鬪ニ依リ裝甲ト大砲トノ競爭ニ於テハ、初代ノ「モニトール」艦ガ Merrimac 號ヲ完膚ナキ迄ニ擊破シタ當時ニ較ブレバ、大砲ノ穿徹力ノ方ガ幾分進歩シタコトガ判ツタ。

Du Pont 提督ハ陸軍大部隊ノ協力ナクシテハ Charleston 攻擊ヲ再興セズト決心シタ。同提督ハ前モ木造船ヲ以テサヘ Port Royal ノ攻擊ニ失敗シタニモ拘ラズ少シノ良心ノ苛責ヲモ感ジナカツタ事ガアル。當時彼ハ其ノ要塞ノ前ヲ通リ過ギテ背後カラ敵ヲ攻擊スルコトガ出來タノデアツタ。扨テ彼ガ再ビ Charleston ヲ攻擊シナイト決心シタ爲、海軍次官ハ Dahlgren 提督ヲ南大西洋艦隊司令官ニ任命シタ。同提督ハ 1863年7月6日 Du Pont 提督ト交代シタ。

Dahlgren 提督ハ自分ガ天下ノ輿望ヲ擔ツテ居ルコトヲ直グ知ツタ。彼ハ Charleston ヲ是非落ス樣ニ命ゼラレタ。併シ彼ノ考モ前任者ノ考ト全ク同ジデアツタ。當局カラノ壓迫モアリ、又新聞ノ攻擊モウルサクナツタノデ、遂ニ彼ハ10月ニ軍事會議ヲ開イタ。ソシテ彼ノ部下モ彼ト同樣ノ考デアル事ヲ知リ、彼ノ現有勢力ノミヲ以テシテハ Charleston 攻擊ハヤラナイ事ニ決メタ。同市ハソレヨリ16箇月ノ後、Du Pont 提督ガ前ニ主張シタト全ク同樣ノ方法、即チ背面攻擊ニヨル強力ナル陸軍ノ協力ニ依ツテ漸ク陷落シタ。Sherman ガ Savannah 市ヲ占領スル以前ニ同市カラ逃グテ來テヰタ Hardee 將軍ハ、Charleston 市ニ駐屯中ノ南軍ノ指揮ヲ採ツタ。處ガ再ビ Sherman 麾下ノ陸軍ノ爲ニ締出サレ、1865年2月18日止ムナク撤退シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

◎Fisher 要塞ノ占領

前章ニ於テ Goldsborough 提督麾下ノ北大西洋艦隊ガ南軍カヲ North Corolina 灣ノ制海權ヲ奪ヒ取リ、續イテ此ノ方面ニ於ケル封鎖ノ最大ノ脅威デアツタ Albemarle 號ヲ擊破シタコトヲ述ベタ。Goldsborough ガ引退スルヤ、Lee 提督ガ司令官トナリ、艦隊ノ戰鬪力ヲ更ニ强大ニシタ。次イデ 1864 年 10 月 David D. Porter 提督ガ Lee 提督ノ後任トナルニ及ンデ Fisher 要塞攻略ノ準備ハ着々進捗シタ。南部諸州ト米國ノ他ノ部分トノ間ノ門戸ヲ扼スル此ノ最後ノ要塞ノ占領ハ、北軍ニトツテハ此ノ長イ間ノ苦シイ戰爭ヲ終焉ニ導ク意味ニ於テ最モ重要ナ事件デアツタ。衣糧ノ缺乏ニ苦ミ裝備ノ貧弱ナ Lee ノ軍隊ノ食糧、衣服、彈藥等ノ供給元デアル (Nassau 經由ニテ破封鎖船ニ依ツテ運搬シタ) Wilmington—North Carolina 州) ニ通ズル道ヲ守ツテヰルノハ實ニ此ノ要塞デアツタ。Virginia 州ノ麥粉倉庫ハ既ニ缺乏シテヰタ。Richmond デハ一塊ノ「パン」ガ南部相場デ 3 弗モシタ。故ニ Lee ノ軍隊ハ日日糧食半減ノ止ムナキニ至ツタ。牛肉モ亦然リ。兵士等ハ鼠トカ麝香鼠等デ食物ノ缺乏ヲ補ツタ事モ屢ト云フ狀態デアツタ。Lee 將軍ハ Fisher 要塞ノ司令官 Lamb 大佐ニ「若シ Wilmington ガ占領サレタナラバ自分ハ軍隊ヲ率キテ Richmond カラ退却シナケレバナラヌダラウ」ト通報シタ。南部聯邦ニトツテ Wilmington ガ如何ニ重要デアツタカハ、1864 年 10 月 26 日カラ 1865 年 1 月迄ニ 863 萬 2 千「ポンド」ノ肉、150 萬 7 千「ポンド」ノ鉛、193

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

萬3千「ポンド」ノ硝石、靴 54萬6千足、毛布31萬6千枚、珈琲50萬「ポンド」、小銃 6萬9千挺、大砲43門ガ米國各地カラ此ノ港ヲ通ジテ輸入セラレ、此等ノ購求品ニ對シテハ、拂フニ綿花ヲ以テシタ事實カラモ推量スルコトガ出來ル。

1864年12月20日、Porter 提督ノ率キル未曾有ノ大艦隊ガ Butler 將軍ノ麾下ノ陸兵 6,500名ヲ伴ツテ北部同盟ノ旗ヲ掲ゲテ、堂々ト Fisher 要塞ニ到着シタ。同艦隊ハ約60隻ノ艦船ヨリ成リ、內5隻ハ甲鐵艦デ、有力ナル New Ironsides 號ト「モニトール」艦 Monadnock, Canonicus, Saugus 及 Mahopac 號ノ4隻トデアツタ。又同艦隊ニハ Minnesota, Colorado 及 Wabash 號ト言フ蒸氣推進ノ大型「フリゲート」艦モ居タ。

Fisher 要塞ハ Fedral ト呼バレル狹イ岬ノ 南端ニ在ツタ。圍壁ハ直角ニ連リ、其ノ角ノ處ハ東北ヲ指サシテ居タ。此ノ直角ヲナス圍壁ノ一邊ハ大洋ノ方向カラ同岬ヲ橫切ツテ Cape Fear 川ノ方向ヘ西ニ延ビ、他ノ一邊ハ海岸沿ヒニ南方ニ走ツテ居タ。ソレ故コノ要塞ニハ陸地側ト海寄側ノ兩面ガアツタ。同要塞ハ今迄知ラレテキル中デ最モ完全ナモノデ、其ノ構築ニ當ツテハ最新ノ智能ヲ網羅シ、其ノ胸壁ノ厚サノ如キハ實ニ25呎モアツタ。敵ノ砲火ニ對シテ砲員ヲ護ルタメニ堅固ナル防禦物ガ構築サレ、又砲彈ニ耐ヘ得ル數多ノ室モ造ラレテキタ。陸地側ニハ重砲20門、海寄側ニハ24ノ露砲塔ガ覗イテキタ。此ノ24門ノ口徑ハ6吋乃至10吋デ、其ノ中ニハ Columbiads 式、Brooke 式ノモノヤ又 Blakely 式ノ速射砲、Armstrong 會社製ノ 15

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

听砲ガアツタ。尙又陸地側ノ胸壁ノ前方ニハ銃眼ヲ穿ツタ丸太作リノ高イ柵ガ設ケラレ、更ニ其ノ外側ニハ敵ノ歩兵ニ備ヘテ地雷ヲ隈ナク埋沒シテアツタ。併シ此ノ大要塞ヲ防禦スル方ノ側ニモ幾多ノ困難ガアツタ。圍壁ガ餘リニモ厚イノデ、砲廓内ノ兵ハ100呎前方ニ近寄リクル敵ガ直接見エヌ有様デアツタ。此ノ故ニ彼等ハ至近ノ敵情ヲ偵察スルニモ胸壁上ニ自ラ曝露セザルヲ得ナカツタ。此ノ巨大ナ要塞ヲ防禦スルノニ Lamb 大佐ノ手兵ハ僅ニ 1,900 名デ、加之彈藥供給モ意ノ如クナラズ、彼ハ44門ノ大口徑砲竝ニ3門ノ臼砲用トシテ合計3,600發シカ持合ハサズ、Armstrong 會社製ノ15听砲用トシテハ僅カ13發シカナカツタ。

12月23日ノ夜、火藥ヲ搭載セル北軍ノ一舊式砲艦 Louisiana 號ハ要塞近クニ忍ビ寄リ、時計仕掛ヲ以テ圍壁ノ爆破ヲ決行シタガ全ク失敗ニ終ツタ。翌日北軍艦隊ハ4隊ノ單縱陣ニ分レテ之ヲ攻撃シタ。第1陣ハ陸地側ヲ砲撃シ、其ノ別動隊ナル裝甲艦4隻ハ、北端ノ凸角ニアル稜堡ニ砲火ヲ集中スル目的ヲ以テ海岸近ク投錨シタ。第2, 第3, 陣ハ海正面ヲ攻撃シ、第4陣ハ陸兵ノ揚陸、上陸掩護及通報ノ任ニ當ツタ。24日ハ各艦終日砲撃ヲ繼續シタ。翌「クリスマス」當日、陸軍ガ上陸シタ。然シ Butler 將軍ハ偵察ノ後、「此ノ要塞ハ海軍ノ砲火ニヨツテハ何等損害ヲ受ケテヰナイノデアルカラ、今陸軍ガ攻撃シタトテ、トテモ拔キ得ナイデアラウ。」ト宣言シタ。事實 Fisher 要塞ニ對スル第1回攻撃ハ不面目ニモ失敗ニ歸シタ。Porter 提督モ Grant 將軍モ共ニ之ヲ甚ダ遺憾トシタ。艦隊ハ要塞ノ砲火ニヨツテハ餘リ損

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

害ヲ蒙ラナカツタガ、唯北軍ノ5隻ニ命中シタ Parrott 式 100 斤速射砲ノタメニ戰死者16名及多數ノ負傷兵ヲ出シタ。

海軍長官ノ要求ニ依リ Grant 將軍ハ直ニ Butler 將軍ノ後任トシテ極メテ決斷力ニ富ム Terry 將軍ヲ赴任サセタ。1月13日、艦隊ハ前回ト同樣ノ陣形ヲ以テ Fisher 要塞ノ砲撃ヲ再興シタ。第1列ハ陸軍ノ前進通路ヲ開ク爲要塞ノ陸正面ノ圍壁ノ北方ニ當ル森林ヲ砲撃シタ。艦隊ノ砲撃ハ晝夜續行セラレタ。軍艦ハ要塞ノ大砲ヲ目標トシテ愼重ニ照準シタ。此ノ時ノ射撃速度ハ緩徐デハアツタガ、Lamb 大佐ノ調査ニ依レバ600門ノ艦砲ノ發射彈ノ合計ハ1秒間2發ノ割デアツタ。之ニ引換ヘテ要塞デハ彈丸ノ節約ヲ餘儀ナクセラレ、各砲半時間毎ニ1發ト制限セラレタ。砲戰中敵ノ砲員ハ防彈室ニ避難シテ居ツタ。併シ各艦ヨリノ無數ノ砲彈ハ勿論、就中 New Ironsides 號及「モニトール」艦ノ發射シタ11吋及15吋砲彈ハ此ノ要塞ヲ散々ニ破壞シタ。敵將 Lamb 大佐ハ Bragg 將軍ニ援軍ヲ懇請シタガ之モ無駄デアツタ。

此ノ間 Terry 將軍ハ其ノ砲臺ヲ北ニ去ル2哩ノ地點ニ防禦陣地ヲ築イテ待機シテヰタ。14日終日、引續キ其ノ次ノ夜モ艦隊ハ其ノ要塞、殊ニ陸正面ニ對シ味方ノ陸軍ノ進撃ヲ出來ルダケ容易ナラシムル如ク殘忍ナル砲火ヲ浴ビセタ。地雷ハ何レモ海軍ノ砲火ニヨツテ粉碎セラレタ。Porter 提督トTerry 將軍ノ間ニハ前以テ攻撃計畫ノ決定案ガ取決メラレテヰタ。陸軍ヨリ合圖ニヨリ艦隊ハ砲撃目標ヲ變ヘ、陸戰隊ト海兵隊トハ海正面ヲ攻撃シ、其ノ間陸兵ハ陸正面ノ西端ノ胸墻

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

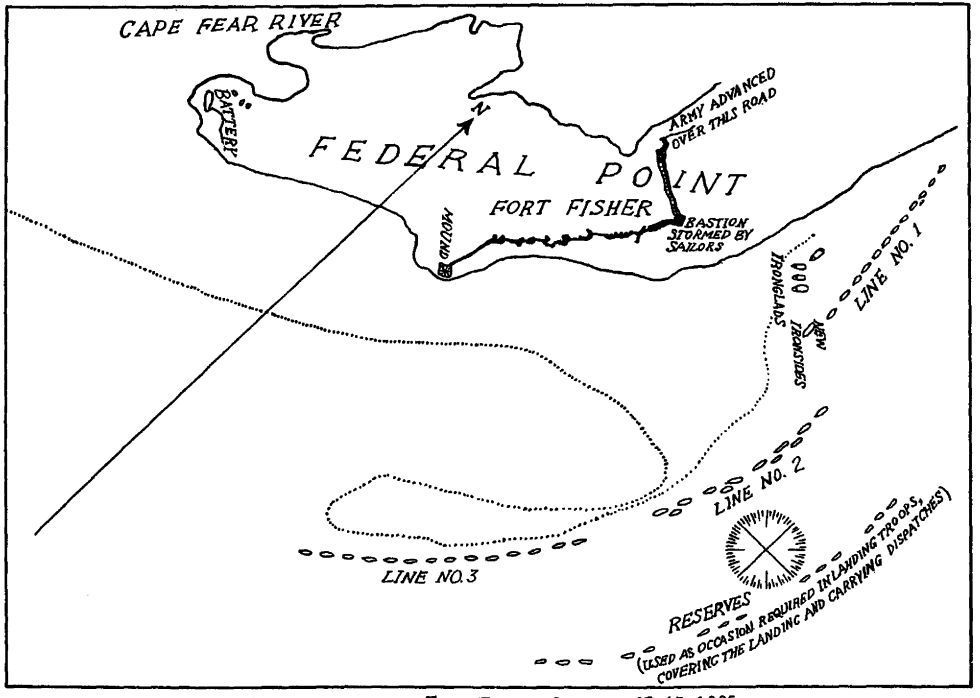
HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ梯子ヲカケテ躍リ込ムコトニナツテヰタ。15日朝、充分ニ演練シ自信溢ルル海軍側ハ再ビ雨霰ト弾丸ヲ打チ始メ、正午迄ニ陸正面ニハ使用ニ堪フル重砲ハ1門ヲ殘スノミトナルマデ砲撃シタ。午後3時 Terry 將軍カラ信號ガアリ、50隻ノ軍艦ガ一齊ニ吹キ鳴ラス汽笛ヲ合圖ニ、各艦射撃目標ヲ圍壁ノ頂點ニ換ヘタ。劍ト拳銃デ身輕ニ武裝シタ陸戰隊員ト海兵隊ノ1隊ハ砂丘ニ沿フテ半哩前進シ、防禦軍ノ速射砲ト大砲ノ縱射ニ曝サレル所ニ出タ。此處デ 2,000 名ノ陸戰隊員ヲ3隊ニ分ケ Breeze 少佐指揮ノモトニ牽制部隊タラシメテ陸軍ヲ援助サセタ。併シ水兵等ハ如何ニ勇敢デモ砲火ニハ曝サレ、壕ヲ堀ツテ身ヲカクス術モナク、ミスミス彼等ノ攻撃ハ失敗ニ終ルバカリデアツタ。海軍ハ此ノ攻撃デ300名ノ死傷者ヲ出シタ。

其ノ間ニ陸軍ハ陸正面ノ塹壕ヲ次々ト攻略シテヰタ。海軍就中 Ironsides 號ノ正確ナル命中彈ハ、東寄リノ新シイ塹壕ニ據ル陸兵ノ前進ヲ掩護シタ。夜ノ帳ガ下リルト、砂丘ノ蔭ニ入亂レテカクレテヰタ陸戰隊及海兵隊ハ、ソロソロ活動ヲ始メ、圍壁ノ北東ノ頂點ヲ廻ツテ進ミ陸兵ト合同シテ攻撃シ始メタ。南軍ハ稜堡ヲ放棄スルコトヲ餘儀ナクサレ、次ニハ海正面ノ塹壕モ次々ト敵ニトラレタ。Lamb 大佐ハ少數ノ手兵ト共ニ最後ノ防禦陣地ニ據ツテ奮戰之レ努メタガ、遂ニ15日ノ夜10時降服シタ。

Fisher 要塞ノ占領ニ、北軍ハ戰死傷及行方不明陸軍691名、海軍309名ヲ出シタ。併シソレ丈ノ犧牲ヲ拂ツタ甲斐ハ充分ニアツタ。Fisher 要塞ノ陷落ハ、新ニ Terry 將軍ニ隷屬シ後ニハ Terry 將軍ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



SECOND ATTACK ON FORT FISHER, JANUARY 13–15, 1865

HP『海軍砲術学校』公開史料

代ツテ指揮ヲ取ツタ Schefield 將軍ヲシテ數週間ノ後比較的容易ニ Wilmington ヲ占領スルニ至ラシメタ。南部聯邦出身ノ歷史家 Scharf ハ此ノ事ニ就テ次ノ如ク述ベテ居ル。『Wilmington ノ陷落ハ南部聯邦ニトツテハ南部ノ何レノ港ヲ失フヨリモ辛イ最大打擊デアツタ。Wilmington ノ陷落ハ Charleston ノ占領ヨリモ遙ニ痛手デアリ、又精神的影響ヲ度外視スレバ Richmond ノ撤退ヨリモ一層不利デアツタ。假令 Wilmington ヲ明渡シタ處デ南軍ハ、陸軍ガ若シ軍需品ノ供給ニ事ヲ缺カナカツタナラバ彼等ハ不利ナ戰爭ヲモ尙數年間繼續スルコトガ出來タデアラウ。然シ Fisher 要塞ノ陷落ニヨツテ、其ノ日迄續イタ軍需品ノ供給ノ道ハ完全ニ遮斷セラレテシマツタ』ト。3月 Schefield 將軍ハ折カラ Coralinas ヲ北上中ノ Sherman ノ軍ト合同シタ。4月 Lee 將軍ハ Appomottox ニ於テ最後ノ運命ヲ決スルタメ Richmond ヲ撤退シタ。

Appomottox ニ於ケル Lee 將軍ノ降服ヲ以テ南北戰爭ハ事實上終ヲ告ゲタ。Mobile 陷落 (Lee 將軍ノ降服ト殆ド同時) ノ直後、Alabama ニ居タ南軍ノ陸軍ト艦隊トハ Tombigbeo 河ノ奥ニ退却シタ。5月4日當時南軍海軍ノ首席指揮官タリシ Farrand 中佐ハ麾下ノ艦船ヲ擧ゲテ降服ノ旨ヲ申入レ、5月10日正式ニ降服ノ手續ヲ終ツテ、叛軍海軍ハ解散シタ。6月2日 Glaveston モ陷落シ、中央政府ノ主權ハ再ビ、北ハ Maine 州ヨリ南ハ Texas 州ニ至ル全海岸ニ隈ナク及ブ事トナツタ。Fisher 要塞及 Wilmington ノ陷落ノ直後、封鎖任務ニ服シテヰル海軍力ヲ漸減スル事トナツタ。Charleston, Mobile 及

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Glaveston ノ治安回復ハ更ニ此ノ機運ヲ促進シタ。上述ノ情勢ニ伴ヒ、愈艦隊ヲ縮少シテ經費ヲ節減スル法策ガ急速ニ講ゼラルル事トナリ、1865年5月22日カラ8月29日迄ニナサレタ數回ニ及ブ大統領 Andrew Johnson ノ宣言ニ基キ、南部諸州ノ港灣封鎖ハ逐次解除セラルルニ至ツタ。

◎海軍ノ功績

制海權ガ如何ニ重要ナルモノデアルカハ、此ノ戰爭ニ於テ明カニ例證セラレタ。北軍ハ制海權ヲ把握シテヰタタメニ事毎ニ有利デアツタ。北部同盟側海軍ノ功績ヲ具ニ研究スレバ、一ハ同海軍自ラ成就シタ處デアリ、一ハ南部聯邦側海軍ヲシテ成就シ得ザラシメタ處ニアル。海軍ノ大手柄ハ南部諸州ノ海岸ヲ封鎖シタ事竝ニ Mississippi 河ヲ制シテ、聯邦側ヲ二分シタコトデアル。コノ二ハ東方ニ作戰中ノ南軍ニ向ケラレル軍需品及糧食ヲオサヘルタメニハ是非共必要ナル軍事行動デアツタ。戰鬪ハ主トシテ陸上デ行ハレタ。此ノ戰鬪ノ內最大ナルモノハ Richmond ノ攻略ヲ目的トスルモノデアツタ。南部聯邦ノ中心ハ Virginia 州デアツタガ、海軍ガ次々ト生命ノ源泉ヲ斷ツテヨリハ、其ノ中心ハ最早生存出來ナクナリ遂ニ戰爭ハ終焉ヲ告グルニ至ツタノデアル。尙又制海權ノ把握ト云フ事ガ如何ニ重要ナルカハ、統一アル海軍ヲ有スル北軍ガ、當初ハ何等統一ノナカツタ南軍海軍ノ軍事的行動ヲ阻止シタ事ニ依ツテモ明カデアル。元々南軍ハ大海軍建設ノ大計畫ヲ有シ其ノ一部トシテ既ニ Merrimac, Albemarle, Mississippi,

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Manassas, Tennessee 號ノ諸艦ヲ揃ヘ、未熟乍ラ屢々北軍ヲ戰慄セシメタ。若シ南軍ガ必要ナル器材ト有能ナル造船技師トヲ持合セテヰタナラバ、上述ノ諸艦及計畫中ノ艦船ハ北軍ノ封鎖計畫ヲ優ニ變更セシメタデアラウ。南軍陸軍ハ非常ニ强ク、且其ノ防禦陣地ノ選定極メテ適切デアツタカラ、若シ北軍ガ封鎖ノ作戰ニ出ナカツタナラ、南北戰爭ハ果シテ何時迄續イタカ、又ソノ結果ハドウナツタカハ一寸見當ガツカナイデアラウ。南北戰爭ガ元來陸軍ノ戰爭デアツタ事ハ言フマデモナイガ、陸軍ガ海軍ヨリ多大ノ援助ヲ受ケタ事モ、又反對ニ海軍ガ陸軍ノ助ケヲ仰イダ事モ、共ニ事實デアル。若シ Farragut 提督ノ援助ガナカツタナラ到底 Mississippi 河ノ交通ノ自由ハ確保セラレナカツタデアラウシ、一方又 Sherman 將軍ノ助力ナクシテハ海軍モ Charleston ヲ陷落セシメルコトハ出來ナカツタデアラウ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第24章　平和時代ノ海軍

◎海軍衰微ノ時代

1850 年以降ノ短期間ニ、米國海軍ハ面目ヲ一新シタ。以前ノ木造「フリゲート」艦ハ此ノ短期間ニ蒸氣推進ノ甲鐵艦ニ取ツテ代ラレタ。南北戰爭最中ニ就役シタ此等新艦型ニ乘組メル 19 世紀中葉ノ「ヘボ」水兵ヨリモ、3 百年モ昔ノ無敵艦隊ノ水兵ヲ連レ來リ、1840 年頃ノ「フリゲート」艦ニ乘セタ方ガ一層上手デアツタダラウトサヘ云ハレタ程ニ、急速ナル改革ガ行ハレタノデアル。換言セバ 1865 年マデノ僅カ 25 年間ニ、過去 3 世紀間ニ於テスラ曾テ見ナカツタ程ノ大改革ガナサレタノデアツタ。

此等革命的大改革ノ主ナルモノハ旋條砲、Dahlgren 製ノ滑膛大口徑砲、魚雷ノ發明、竝ニ裝甲及蒸氣推進法ノ採用トデアツタ。就中最モ劃期的ナルモノハ蓋シ帆ニ代フルニ蒸氣ヲ以テシタ事デアツタダラウ。コレハ橈ヲ使用シタ「ガレー」船ガ帆船ニ取ツテ替ラレタ後、久シク顧ラレナカツタ衝角ノ復活ヲ可能ナラシメタ。蒸氣船モ其ノ最初ノ型デアル外輪船ハ、非常ニ脆弱ナモノデアツタガ、併シ推進器ガ發明サレテ偉大ナル進歩ヲ遂ゲタ。即チ之ニ依リ推進機械ヲ全部水線下ニ納メ得、且舷側ニハ裝甲ヲ張リ得テ防禦力ヲ增大シタ。新防禦法ガ新攻撃法ヲ生ムニ至ルハ天下ノ公理デ、茲ニ最新型甲鐵艦ノ唯一ノ脆弱部タル水線下ニ對シテ使用スルタメニ魚雷ガ發明セラレタ。斯クテ裝甲ト兵裝トノ間ニ競爭ガ起リ、而シテコノ競爭ハ今日ニマデ及ンデ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

キル。

然シ南北戰爭中極メテ目覺シイ發達ヲ遂ゲタ海軍科學モ、戰爭終結ト共ニ米國ニ關スル限リ不意ニ中止ノ形トナツタ。軍備トイフ恐ルベキ重荷ニ疲レ果テタ國民ハ、全體的ノ軍備縮少ヲ要求シタ。國民ノ輿論ハ「歐洲ノ一國ト戰フ機會ハナクナリ、建國以來ノ大內亂（南北戰爭）ヲ誘發スル樣ナ武力ヲモ十分粉碎シ得ル程ニ軍艦モ兵員モ充實シツツアル以上ハ假令次ニ戰爭ガ起ツタトシテモ悠々ト陸海軍ヲ整備シ得ルデアラウ」ト言フノデアツタ。

當時ノ海軍縮少ニハ又特別ノ理由ガアツタノデアル。戰後作ラレタ艦船一覽表ヲ見レバ、其ノ中ノ大部分ガ不良ナル設計ノモトニ生木ノ船材ヲ使用シ、且建造ヲ急イダガ爲ニ、軍艦トシテ役立タナイ事ガ明瞭トナツタ。此等ノ諸艦ヲ芟除スル必要ノアル事ハ常識デモ解ル事デ、議會ハ殘リノ數艦ニ4隻ノ新式「モニトール」ヲ加フレバ平時編制トシテ充分デアルト認メタ。然ルニ此等ノ「モニトール」ハ木製ノ船體ノ上部ニ厚イ裝甲ヲ有スル南北戰爭時代流行シタ型ソノ儘ニ製造セラレタノデ、1874 年迄ニハ腐ツテシマヒ、遂ニ解體シ鐵製ノモノニ作リ直サレル事トナツタ。後ニ至リ議會ハ改裝中止ヲ命ジタガタメ、前後 20 年間米國ハ1隻ノ裝甲艦モ持タヌ有樣デアツタ。Hayes 大統領施政ノ間ハ、我ガ海軍ハ歐洲何レノ國ヨリモ劣勢デアツタ。「チリー」ノ2隻ノ甲鐵艦ニスラ若シ其ノ運用宜シキヲ得タトキハ、我ガ艦隊ノ全部ヲ以テシテモ太刀打出來ナカツタデアラウ。就中困ツタコトニハ當時ノ爲政者ニシテ海軍ニ對シテ好意ヲ寄スルモノハ1人モナ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ク、又國民一般ハ海軍ノ必要ト云フ事ニ就イテハ全然無關心ノ情況デアツタ。議會ノ支出スル海軍費ハ現有艦隊ノ修理費ニ宛テラレ、而モ其ノ大部分ハ艦ノ修理ヨリモ、選擧民ノ人氣取リニ寧日ナキ議員ニ浪費セラレタ。1隻ノ軍艦デモ欲シイ海軍省ハ、他ヘノ遠慮カラ艦名ハ其ノ儘トシテ改裝シナケレバナラナカツタ。而モ其ノ經費ニハ廢艦ノ手續ヲトツタ船體ノ賣上金ト議會支出ノ「修理費」トヲ充當スル有様デアツタ。

議會ガ海軍ニ對シテ熱ヲ缺イテヰタノモ譯ガアル。南北戰爭後造艦術ハ引續キ非常ニ急速ナル改變ヲ見タノデ、次ニハ如何ナル新型艦ヲ建造スベキカ、裝帆ヲ如何ナル程度ニ殘存セシメルカ、推進機械ハ何レトナスカ、鋼鐵ヲ使用スベキカ、普通ノ鐵ヲ用フベキカ、裝甲ハ如何ナル程度トナスベキカ……等、色々ノ點ニ於テ造船官ト兵科將校ノ間ニ甚シキ意見ノ相違ガアツタ。專門家仲間ノ相容レザル此ノ不一致ノタメ、自然議會ハ大金ヲカケテ而モ無駄トナルカモ知レナイ様ナ新造艦ノタメニ、豫算ヲ計上スルコトヲ見合ハス様ニナツタノデアル。

Garfield ガ大統領トナツタ 1881 年コソ米國ガ Algiers ニ償金ヲ拂ツタ當時以來ノ海軍最衰退期デアツタ。1881 年ノ在籍艦船總數 140 隻中、25 隻ハ曳船、殘リノ內實際ニ航海出來ルモノハ極僅カデアツタ。若シ夫レ戰鬪ニ適スルモノトテハ1隻モナカツタ。1881 年發賣ノ版畫ノ內ニ觀艦式ノ圖ガアルガ、當時ノ貧弱極マル艦船ニ就キ出來ルダケヨイ場面ヲ示サントスル健氣ナ努力ノ跡ガ見エテ面白イ。同圖ニハ 12 隻ノ「最優秀艦」ガ竝ンデヰル。何レモ木造艦デ、1840 年代ノ遺

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料



Three Historic Ships Formerly at the Naval Academy

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

物タル外輪艦 Powhatan モアレバ、骨董品ニ屬スベキ Constitution 迄アル。大砲ハ概ネ南北戰爭時代ノ滑膛砲デアル。當時ノ艦長ガ歐洲ニ巡航スルノヲ嫌ツタノモムベナル事トウナヅカレルノデアル。

若シ 1881 年ガ米國海軍ノ最低潮期ナラバ、ソレハ又同時ニ轉潮期デモアツタ。諸外國トノ親善關係ニ依存スル政策ハ漸ク廢レ始メタ。コレヨリズツト以前即チ南北戰爭直後 Alabama 事件ニ基ク對英關係ノ緊迫シタ當時カラ、又 1873 年ノ Virginia 事件ヲメグツテ米西戰爭必然ノ兆ノ見ヘタ當時カラ我ガ海軍ノ劣勢ナル事ハ解ツテヰタ。又 1881 年佛國ガ「モンロー」主義ヲ全然無視シテ「パナマ」地峽ニ手ヲ着ケタ時、時代遲レノ大砲ヲ裝備シタ僅カノ朽チタ木造艦ヲ賴ミニシテヰル樣ナ我ガ國務省ノ要求等ハ歐洲列强ノ鼻ノ先デアシラハレテヰル事位ハ米國民ニモ漸ク解ツテ來タ。

◎新海軍ノ誕生

新海軍建設ノ第一步ハ、海軍擴張ニ必要ナル議案作製ノタメ、Garfield 大統領ノ認可ヲ得テ Hunt 海軍長官ガ海軍顧問會議ヲ組織シタノニ始マル。Arthur 大統領ハ 1881 年、彼ノ最初ノ敎書ニ於テ次ノ樣ナ言葉ヲ以テ已ガ海軍政策ヲ發表シタ。「吾人ガ國家ノ安全、經濟及名譽ヲ祈念スルトキ、海軍ノ徹底的復興コソ焦眉ノ急ナリト云フ本職ノ信念ヲ諸君ニ如何ニ强ク說クモ說キ過ギルコトハアルマイ」ト。彼ハ議會ノ反對ニ會ツテ充分ニ其ノ素志ヲ貫徹シ得ナカツタトハ云ヘ、米國海軍中興ノ先鞭ヲ着ケル事ニ成功シタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

上述ノ海軍顧問會議ハ38隻ノ無裝甲巡洋艦、5隻ノ衝角艦（衝角ニテ敵艦ヲ衝キ沈ムルタメノ軍艦）、5隻ノ水雷砲艦、10隻ノ航洋水雷艇、及10隻ノ港灣防禦用水雷艇ノ建造ヲ議決シタ。其ノ內、小型艦艇ハ總テ鋼鐵製トシ、巡洋艦ニ就イテハ18隻ハ鋼鐵製、20隻ハ木製トスル樣希望シタ。今日ヨリスレバ奇異ニ思ハレルガ、少數ノ議員ハ——此ノ內ニハ3人ノ造船官、南北戰爭ノ勇士タル機關長 Isherwood モ居タ——所要ノ鋼材ヲ製造シ得ル設備ノ無キ事ヲ主ナル理由トシテ鋼材ノ使用ニ反對シ鐵材ヲススメタ。併シ民間ノ會社ハ新シク設備ヲ整ヘテ其ノ要望ニ副フ事トナツタ。今日ノ米國ノ大產業ノ一部門ナル製鋼業ガ急速ナル進步ヲナシタノハ實ニコノ時ノ議會ノ大多數ノ議決ニ基クノデアル。

議會ハ今ヤ海軍擴張ノタメニハ勞ヲ厭ハナクナツタガ、海軍顧問會議ノ勸告シタ大計畫ニ應ズル用意ハナカツタ。議會海軍委員會ハ「鋼鐵ハ軍艦ニ必要ナル唯一ノ適當ナル材料デアル」トノ決定ヲ是認シ、且平均速力15節ヲ出シ得ル2隻ノ巡洋艦ト1隻ノ衝角艦ノ建造ヲ主張シタ。即チ水雷艇ハ之ヲ無視シ唯1隻ノ衝角艦ヲ試驗的ニ建造スベキデアルト報告シタ。

斯ク議會海軍委員會ハ海軍顧問會議ノ要望シタ艦數ニ徹底的ナ大削減ヲ加ヘタガ、議會ハ委員會ノ云フ程ニ大鉞ヲ振フ氣ハ無カツタ。1881年8月5日ノ上程案ニ於テハ「2隻ノ蒸氣推進巡洋艦ヲ自國製ノ鋼鐵ニヨリテ建造スルコト、且該艦ニハ總帆及充分ナル蒸氣力ヲ兼備セシメルコトガ要求サレタガ議會デ否決サレタ。併シ此ノ上程案中採

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

擇セラレタル唯一ノ條項ハ第2回ノ海軍顧問會議ヲ召集スベシトノ條項デアツタ。此ノ顧問會議ハ鋼鐵艦 4,000 噸1隻、同 2,500 噸3隻及 1,500 噸ノ鐵製通報艦1隻、合計5隻ヲ建造スベキ事ヲ報告シタ。

1883年3月3日附ノ上程案ニハ小型巡洋艦ノ1隻ヲ除キ殘リ4隻ノ建造ガ要求セラレタ。白色艦隊 (White-Squadron) 最初ノ此等ノ4隻ハ即チ Chicago, Boston, Atlanta, Dolphin ノ諸艦デアツタ。同年議會ハ修理費ガ新艦建造費ノ 20% 以上ニ達スルトキハ如何ナル木造船ヲモ之ヲ修理スベカラズト規定シタノデ、修理費ヲ流用シテ舊式艦ヲ改裝スルコトハ中止セラレタ。此ノ法令ニヨリ直ニ海軍艦船名簿ヨリ46隻ノ船ガ姿ヲ消シタ。此ノ後更ニ 20% カラ 10% ニ變更セラレタノデ此ノツギハギ政策ハ確實ニ廢棄サレタ。

南北戰爭後ノ海軍ノ衰頽ハ又、我ガ國內ニ於ケル鋼板及近代的兵器製造施設ノ不振ヲ來タス原因トナツタ。例ヘバ Hotchkiss ノ如キ米國ノ砲熕發明家達ハ已ガ特許權ヲ賣ルタメニ外國ニ出掛ケナケレバナラナカツタ。1885 年米國政府ガ其ノ軍艦ニ新式ノ兵器ヲ裝備セントシタトキモ、鍛造物ヤ鑄造物ハ之ヲ海外ニ仰ガネバナラナカツタ。併シ乍ラ5年後ニハ國內ノ造船所ヤ兵器工場ノ創設ヲ見ルニ至リ、近代的戰艦ノ建造ニ必要ナル一般器材ハ云フニ及バズ、大口徑砲ヤ機銃等ノ最高級品ヲモ製作シ得ル程ニ各種ノ製造施設ガ進歩シタ。

1885 年更ニ4隻即チ巡洋艦 Newark 及 Charleston 號、砲艦 Yorktown 及 Petrel 號ノ建造ガ命ゼラレタ。Charleston ハ我ガ國軍艦中始メテ帆ヲ棄テ、檣ハ之ヲ戰鬪專用トシタ艦デアツタ。翌年議會ハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

12年間モ其ノ艤装ヲ見合ハセテ キタ4隻ノ「モニトール」艦ノ完成ト、更ニ同型艦1隻ノ建造ヲ命ジタ。即チ Miantonomoh, Amphitrite, Monadnock, Terror 及 Monterey 號デアツタ。其ノ後ハ年々新艦ガ増シタ。1890 年政府ハ飛躍的ナ海軍擴張ヲ行ツタ。從來巡洋艦以上ノ大艦ハ1隻モナカツタガ、此ノ年政府ハ3隻ノ一等戰艦 Indiana, Massachusetts, Oregon 號ノ建造ヲ認可シタ。8年後ノ米西戰爭ノ戰勝ハ海軍ニ素晴ラシイ刺戟ヲ與ヘ合衆國ヲシテ始メテ世界海軍國ノ上層ニ位置セシメタ。

◎海軍ト極地探險

數年間ノ平和ハ極地探險事業ニ勇名ヲ馳セル素晴ラシイ機會ヲ與ヘタ。而シテ其ノ勇名ハ ヨリ一層名高キ 戰功ト竝稱セラルル價値ガアル。探險記錄ノ第1頁ハ 1837 年ニ始マル。當時探險ハ南大平洋竝ニ南極洋ノ“海洋觀測”ヲ目的トスルモノデアツタ。探險隊ノ編成ニ就テハ輿論紛々トシテ收拾シ難イ形デアツタノデ、隊長ニ擬セラレタ士官ハ次々ト手ヲ引キ、遂ニ次席指揮官合衆國海軍大尉 Charles Wilkes ガ隊長ニ任ゼラレタ。彼ハ其ノ後「Trent 事件」ニ關係シテ有名ニナツタ其ノ人デアル。探險隊ハ 780 噸乃至 960 噸位ノ 5 隻ノ船舶ヨリ成リ、何レモ長イ航海ニハ餘リニモ準備ガ貧弱デアリ、且取分ケ南極洋ヲ行クニハ不適當デアツタ。併シ Wilkes ハ己ガ探險隊ノ缺陷ヲバ大方自分ノ頭ト耐久力ト勇氣トデ補ナツタ。彼ガ殘念乍ラ氷ニ破碎サレタ己ガ探險船隊（1隻ハ乘員諸共沈沒シタ）ヲ率キテ、シホシホ歸國

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ途ニ就イタノハ、探險ノ續行ガ肉體的ニ不可能デアツタカラデアル。3年10箇月ニ亘ル永ノ航海ノ最モ重要ナル功績ハ、當時迄臆測ニ過ギナカツタ南極大陸ノ存在ヲ確認シタ事デアツタ。其ノ次ノ海軍探險隊及其ノ後ノ探險隊ハ總テ北極ニ派遣セラルル樣ニナツタ。

1845 年ノ春、英國海軍大佐 Sir John Franklin ハ北西航路發見ノタメ2隻ノ探險船ヲ率キテ出發シタ。海軍本部宛ノ彼ヨリノ同年7月付ノ報告ヲ最後トシテ杳トシテ便リガナカツタ。糧食ハ3箇月分ヲ搭載シテヰタガ、不安ハ益募リ次々ト救助探險隊ガ派遣セラレタ。1850年米國ハ同情ノ餘リ、合衆國海軍大尉 E. J. De Haven ヲ隊長トスル2隻ノ探險隊ヲ派遣シタ。ソノ費用ハ紐育ノ Grinnell 氏以下ノ寄附金竝ニ國庫ノ支出ニカカルモノデアツタ。米國探險隊ハ英國ノ救助探險隊ト殆ド同時ニ北海ニ入ツタガ、Franklin 一行ノ 2, 3 ノ墓標以外ニハ1名ノ生存者モ發見シ得ナカツタ。8月ニナツテ De Haven 大尉ハ引キ返サウト決心シタガ、船ガ未ダ何ノ邪魔物モナイ大洋ニ達シ得ナイ中、連日酷寒ト暴風ニ惱ンダ。2隻ノ探險船ハ流氷ニ閉込メラレ、詮方ナク潮流ノ儘ニ漂ヒ續ケタ。此ノ狀況ハ8箇月以上續キ、其ノ間之等ノ船ハ毎日今ニモ押シツブサレサウナ目ニ遭ツタ。船內生活ハ不斷ノ危險、單調、缺乏及酷寒ノタメニ殆ド堪ヘ得ベカラザルモノトナツタ。而モ此等ニ對シテハ何等適當ナル對策ハナカツタ。眞夏ノ太陽ノタメニ氷ノ監獄カラ釋放セラレルマデ船ハ既ニ 1,050 浬モ流サレテヰタ。De Haven ハ大流氷ニ乘ツテ北方ニ漂流中、Murdaugh 島及其ノ廣漠タル高原ヲ發見シ後者ヲ “Grinnell Land” ト命名シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

彼ノ2隻ノ船ハ永ノ無理ノタメニ殆ド航海ニ堪ヘヌマデニ ナツタノデ、Franklin 一行ノ探索ヲ 斷念シテ 一路歸港ヲ急ギ、遂ニ 1851年9月30日紐育ニ到着シタ。

次ノ探險隊ハ北極ノ發見ヲ目的トシ 1879年ノ夏、海軍少佐 G. W. De Long 指揮ノ下ニ汽船 Jeannette 號ニテ桑港ヲ出發シタ。同探險隊ハ New York Herald 紙ノ所有者 Tomes Gordon Bennett ガ政府ノ後援ヲ得テ編成シタ モノデアル。日本海流ハ Behring 海峽ニ於テ分岐シ、一ハ北米ノ西部海岸ヲ洗ヒ、一ハ北東ニ流レテ北氷洋ニ入ルコトハ旣ニ知ラレテヰタ。其ノ當時マデ Behring 海峽ヲ通ツテ 北極探險ニ向ツタ者ハ未ダ1人モ無カツタ。Jeannette 一行ノ目的ハ、日本海流ノ北東分流ニ沿ヒテ北極ニ到達ヲ試ムルニアツタ。併シ其ノ第1回ハ直ニ北極ニ一路突進スルト云フヨリモ寧ロ豫備的或ハ實驗的性質ノモノニ過ギナカツタ。

Jeannette 號ハ忽チ 流氷ニ遭遇シ、豫定ノ航路ヲ進ムコトガ出來ナイノデ De Long ハ遂ニ Wrangell Land (當時ハ北極大陸ノ一部ト考ヘラレテヰタ) デ冬ヲ越スコトニシタ。9月6日迄 Jeannette 號ハ流氷ニシツカリト張リ込メラレタ儘 Wrangell Land ノ西北ヘ運バレテヰタ。(茲デ始メテ同地ガ一小島ニ過ギナイコトガ判ツタ。) 一冬中同船ハ今ニモ潰サレサウナ危險ナ目ニ會ヒナガラ、氷ト共ニ漂流シタノデアル。或時ノ如キハ熟練セル機關長 G. W. Melville ガ居ナカツタナラバ屹度沈沒シタニ違イナイト思ハレル樣ナコトモアツタ。夏ガ來テモ探險隊ノアテニシテヰタ如ク此處ヲ脫スルコトモ出來ズ、更ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

1年間氷ニ鎖サレタ儘押シ流サレタ。彼等探險隊員ノ不氣味ナ單調ヲ破ルモノトテハ唯病氣アルノミデアツタ。遂ニ 1881年6月12日久シク恐レテヰタ災難ガ起ツタ。Jeannette 號ハ大洋ノ眞唯中デ大流氷ニ衝突シ、其ノ上ニ乘員ヲ置去リニシタママ沈沒シテシマツタ。尙其ノ上困ツタコトニハ2人ノ士官ト3人ノ水夫ハ病氣トナリ、糧食ハ乏シクナリ、且又隊員ノ衣服、履物ノ類ハ何レモスリ切レテシマヒ、雪ヤ氷ノ上ヲ素足ノママデ進マネバナラヌコトスラ屢アルト云フ有樣デアツタ。

逃ゲ道ハ唯一ツ、ソレハ500哩先ノ Lena 三角洲ノ小屋ニ到達スルコトデアツタ。De Long ト彼ノ部下ハ或處ハ「ボート」ニヨリ、他ノ部ハ橇ヲ利用シテ此ノ目的地ニ向ハント決メタ。イザ出發ト云フトキニ不幸ニモ彼ノ乘ツテヰル浮氷ハ北方ニ動キ始メ、未ダ一歩モ南ニ進マナイウチニ實ニ 28 哩モ反對ノ方向ニ運バレテ、同海上ニ於ケル前人未到ノ最北地點マデ運バレテシマツタ。

9月12日即チ一カ八カノ後退ヲ始メテヨリ丁度3箇月目ニ、探險隊ノ3隻ノ短艇ハ物凄イ强風ノタメニ、今少シデ Lena 河ノ三角洲ト云フトコロデ離レ離レニ ナツテシマツタ。「ボート」ヲ指揮シテヰタ Melville ハ部下ト共ニ烈シイ苦闘ノ後ニ Lena 河ノ河口ニ入リ、辛クモソノ河岸ノ西伯利亞ノ村落ニ辿リツクコトヲ得タ。Chipp 大尉ノ指揮スル第2「カッター」ハ正シク沈沒シテシマツタモノト考ヘラレル。何故ナラ嵐ノ一夜ヲ最後トシテ其ノ短艇ニツイテモ又乘員ニツイテモ何ノ音沙汰モナク殘骸スラモ見エヌカラデアル。De Long ノ指

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

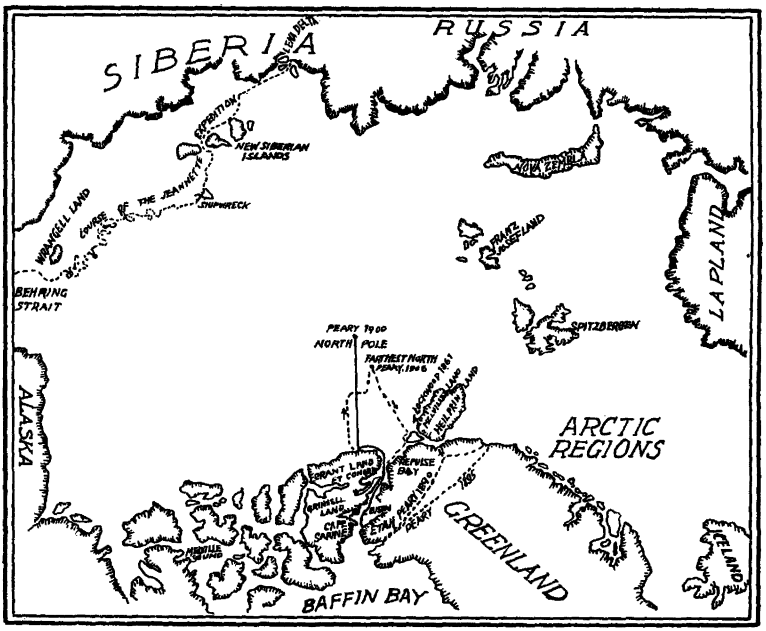
揮スル第1「カッター」ハ軍醫官ト12人ノ乗員トヲ乗セテ Lena 河ノ三角洲ニ入リ、次デ南ヘ南ヘト苦シイ航海ヲ續ケタ。

此ノ第1「カッター」班ハ不運ニモ其ノ地方ノ1人ノ土民ニモ會ハズ、又救助シテ呉レサウナ村ニモ殆ド行キ當ラナカツタ。彼等ハ間モナク飢餓ノタメニ死ニ瀕シタ。De Long ハ病人及瀕死ノ者ト共ニ留ル事ニシ、2人ノ最モ頑丈ナ船乗ヲ Lena 河ノ上流ニ急派シテ、救助ヲ求メサセタ。10月末此ノ2人ハ生キテヰルト云フヨリモ、寧ロ死ンダ様ナ狀態デ漸ク或村落ニ辿リ着イタ。彼等ハ土民ノ1人ニ鉛筆書キヲ渡シ、最寄リノ「ロシヤ」ノ役所ニ大急ギデ持ツテ行キ其處カラ St. Petersburg ニ送達スル様頼ンダ。併シソノ土民ハモウ1人ノ米國人 Melville ガ近クニ居ルコトヲ聞イテヰタノデ、ソノ急書ヲ彼ノ所ニ持ツテ行ツタ。

此レコソ Melville ガ一行ノ者カラ聞イタ最初ノ便リデアツタ。既ニ初冬ノ候デ凍傷ノタメ足モ立タヌ有様デアツタガ、橇ヲ準備シテ2人ノ生存者ノヰル村ニ向ツタ。其處カラ又此ノ2人ノ生存者ト共ニ數名ノ土人ヲ案内ニ立テテ De Long トノ一行ヲ探シニ北上シタ。川沿ヒノ至ル處ニ De Long ノ書キ殘シタ記錄ヲ發見シタガ、De Long ハ終リ頃ニハ氷ヲ越エテ向フ岸ニ渡ツタノデ、遂ニ手懸モナクナツタ。折カラ11月14日ノ大吹雪デ捜索ハ一頓挫スルハ勿論、Melville 自身ノ命モ危イ位デアツタ。

彼ハ翌春出來ルダケ早目ニ捜索ヲ再興シ、斯クテ1882年3月23日 De Long 及其ノ部下ノ遺骸ニ行キ當ツタ。指揮者タル De Long ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



THE ARCTIC REGIONS

HP『海軍砲術学校』公開史料

日記ノ最後ノ頁ノ日付ハ 1881 年 10 月 30 日デ、2 人ノ死ト 3 人目ノ死モ近イ事ガ簡單ニ記サレテアツタ。多分 11 月 1 日迄ニ最後ノ生殘者マデガ餓死シタノデアラウ。

其ノ間 1881 年ヨリ 1884 年ニ至ル間、米國陸軍中尉 A. W. Greely ヲ隊長トスル 1 隊ガ、Greenland ノ科學的探險ニ從事シタ。1882 年ト 1883 年トニ 1 隻ヅツノ船ガ必需品ヲ積ンデ探險隊ノ所在地ニ行ク事ニナツテヰタ。第 1 船ハ氷ニ妨ゲラレ、Fort Conger ニモ Lady Franklin 灣ニモ到達シ得ナイノデ其ノ儘スゴスゴ本國ニ引返シ、第 2 船ハ氷山ニ衝突シテ沈沒シ、乘員ハ其ノ附屬船 Yantic 號ニ乘ツテ歸ツテ來タ。此等 2 度ノ失敗デ Greely 一行ノ運命ハ危機ニ瀕シタ。議會ガ救援ノ爲ニ必要ナ金ヲ出ス出サヌト議論バカリシテ貴重ナル時間ヲ空費シテ居ル間ニ、海軍長官 Chandler ハ自ラ責任ヲ持ツテ、2 隻ノ「スコットランド」ノ捕鯨船 Bear 號及 Thetis 號ヲ購入シ、之ニ若干ノ手ヲ入レテ、1884 年ノ初夏ヲ利用シテ向ハセル事ニシタ。Victoria 女帝ハ Franklin 一行ヲ救助シタ米國ノ功ヲ嘉セラレ、極地探險用ニ建造セラレ未曾有ノ堅牢サヲ誇ル、Albert 號ヲ寄贈セラレタ。以上 3 隻ヨリ成ル 1 隊ハ W. S. Schley 中佐指揮ノモトニ救援ニ赴イタ。指揮者ノ腕ト機敏サノオ蔭デ、遂ニ 1884 年 6 月 2 日 Greely 及其ノ一行ノ生存者ヲ Sabine 岬ノ「テント」ノ中ニ發見シ、暴風ヲ冒シテ辛クモ之ヲ船ニ運ンダ。生存者ハ何レモ飢餓ノ爲ニ死ニ瀕シテヰタ。併シ 1 人ヲ殘シテ他ハ全部歸航ノ途上デ回復シタ。不屈ノ英雄 Melville ハ曩ニ西伯利亞ヨリ歸ルヤ、直ニ此ノ一行ニ加ツテ北上シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。彼モ亦 Sabine 岬ノ「テント」ノ中デ Greely 中尉ト最初ニ握手シタ1人デアル。

極地ノ征服ハ23年ニ亘ル攻圍ノ後、遂ニ合衆國海軍ノ1員ニ依ツテ成シ遂ゲラレタ。1886年合衆國海軍技師 R. E. Peary ハ Greenland ノ萬年雪 (ice cap) ヲ踏査シ、1891年ヨリ2年ニカケテ Greenland ノ北方ニ2箇ノ島ヲ發見シ、之ヲ Melville 島、Heilprin 島ト命名シ、且其ノ探險ニ於テ Greenland ガ島デアル事ヲ確認シタ。彼ノ探險ハ1892年ヨリ1902年マデ10年間續ケラレタ。1898年乃至1902年ノ探險ニ於テ Peary ハ西半球ニ於ケル「最北端」ニ到達シタ。Roosevelt 號ニ乘ツテ行ツタ彼ノ1905乃至1909年ノ探險ハ大成功デ、1909年4月6日遂ニ米國旗ヲ北極ニ打立テタ。從來北極大陸ガアルカノ如ク想像セラレテヰタガ、此ノ探險ニヨリ事實斯カル大陸ハ存在セズ、北極ハ氷ニ覆ハレタ北氷洋ノ一點デアル事ガ判明シタ。

Peary ノ成功ハ彼ノ永年ノ準備ノ理論的產物デ、從來ノ探險ハ其ノ計畫ト携行品ノ重要部分ニ缺陷ガアツタ。Peary ハ自他ノ經驗ヲ極度ニ利用スルト共ニ極地ニ至ル最モ實際的ナル道順ヲ決定シタ。彼ハ又其ノ地ノ情況ニ適合スル樣ナ特殊ノ橇ヲ發明シタ。一言ニシテ云ヘバ彼ハ北極探險ノ諸問題ヲ一步一步科學的ニ解決シテ行ツタノデアル。

◎海軍士官ノ外交的功績

日本ノ門戶ヲ世界ニ開放シ、斯クテ此ノ「隱遁國」ヲ世界ノ仲間ニ入レタ1858年ノ Perry 提督ノ遠征ハ、世界史上此ノ種ノ業績ノ內

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

蓋シ歴巻デアラウ。併シソレノミガ決シテ海軍ガ發揮シタ外交的能力ノ例デハナイ。Paul Jones ガ海事委員會（Marine Committee）ニ送ツタ有名ナ文書（1775年）ノ内ニ海軍士官ノ任務ヲ定義シテ次ノ様ニ書イテアル、『海軍士官タルモノハ國際法ニ通曉セザルベカラズ。……又士官ハ外交上ノ慣例ニ精通シ居ルト共ニ、必要アルトキハ、威嚴アル正シキ外交文書ヲ起草シ得ザルベカラズ。何故ナラ外國ノ海上ニ於テ何カ急ニ事ガ起キタ場合、自國軍部ノ代表タルト同時ニ外交上ノ代表タラザルヲ得ザル場合アリ。斯カル場合内地ノ外務當事者ニ請訓スル機會モナクシテ決行セザル可カラザル場合モアルベシ。而モ斯カル行爲ハママ列强間ニ和戰何レカノ重要結果ヲ惹起シ勝チナレバナリ。』海底電信ヤ無線電信ノ用ヒラルル今日ニ於テモ、上述ノ任務ハ決シテ輕減セズ。何トナラバ最モ微妙且重要ナル性質ヲ有スル出來事ニ對スル措置ヲ、現地ニ臨メル首席指揮官ノ所信及判斷ニマカスガ如キ訓令ノ出ヅル事ハ我國建國當初ト同様今日モ屢起ルモノデアル。海軍關係ノ文献（Naval blue book）ヲ讀メバ、士官ガ平時屢遭遇スル重任ヲ立派ニ遂行スルニ當リテ必要缺クベカラザル精神上ノ素養ト範圍トガ自然ニワカル。例ヘバ外國ノ港灣ニ於テ米國ノ外交官又ハ領事ノ居ナイ場合ニハ司令長官ハ次ノ權限ヲ有ス。

（イ）米國ノ海員ニ關スル問題ニ就キテハ領事ノ權限ヲ其ノ儘施行シ得ル事。

（ロ）要スレバ外國ノ文官官吏ト交渉シ又ハ之ニ抗議シ得ル事。

（ハ）中立法ヲ侵サザル如ク又政治上ノ論議ニ關與セザル如ク米國

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

民ニ強要シ得ル事。

『國際法或ハ條約上ノ權利ニ反シテ米國又ハ米國民ニ危害ノ及ブ時ハ、海軍將校ハ情況ニ應ジテ斷乎タル手段ヲ取ラザルベカラズ。然レドモ將校ノ採ル措置ハ其ノ如何ヲ問ハズ、總ベテ當地ノ首席海軍指導官其ノ責ニ任ズルモノトス。』

『合衆國ノ領事外交官ノ意見及助言ハ、當然相當之ヲ重ンズベキハ勿論ナリト雖モ、海軍首席指揮官ハ其ノ權限內ニ於ケル公務上ノ行爲ニ就テハ、其ノ直屬上官ニ對シテ全責任ヲ一身ニ負ハザルベカラズ。』

『外國又ハ其ノ領土ニ對シ武力ヲ行使スルコトハ不法ナリ。サレド個人ニ於ケルト同樣、國家ニ屬スル自衞權ハ正當ナリ。但シ、國家ノ場合ニ於テハ國家及國民ガ、償ヒ得ザル損害ヲ受クルガ如キ現行或ハ將ニ來ラントスル暴虐行爲ニ對シテ、國土及國家ノ名譽、領土及國民ノ生命財產ヲ守ル場合ニ限ル。自衞權ノ發動ヲ要スルガ如キ情況ハ豫想シ得ズ。唯現地ニアル責任アル將校ノ正當ナル判斷ニ待ツノ外ナシ。若シ當該將校ニシテ其ノ發動ヲ必要ト認ムルトキハ最大ナル注意ト忍耐力トヲ以テ任務ヲ遂行セザルベカラズ。』

『此ノ際、當該將校ハ己ガ部下ガ米國ト修交關係アル外國文明國ノ官憲ヲ、果シテ充分ニ尊敬シ細心ノ注意ヲ以テ之ニ對シ居ルヤ否ヤニ最モ留意スベキモノトス。』

『海軍首席指揮官ハ其ノ權限內ニ於テ、國際法及條約上ノ義務ニ從ヒテ、合法的ナル職業ニ從事シ居ル合衆國ノ商船ヲ保護シ、國家ノ商

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

業上ノ利益ヲ増進セザルベカラズ。』

上述ノ諸項ノ中、注意ヲ要スル點ガ二アル。第一ハ『國際法ヤ種々ノ條約ニ關シ完全ナル知識ヲ必要トスル』點。第二ハ『外交官ノ忠言ニヨリテモ輕減サレズ、又中央政府ノ一般的ナル訓令ニヨツテモ變更サレザル海軍士官ノ責務ヲ强調シアル』點デアル。

將校タルモノハ戰爭カ平和カヲ決スル重大問題ヲ敏速ニ解決セネバナラヌ。

海軍省竝ニ國務省ガ將校ノ能力ヲ信賴シタ事ガ見當違デナカツタコトハ、從來海軍將校ガ世界ノ各方面デナシタ幾多ノ立派ナ仕事ガ、ヨク之ヲ例證シテ居ル。大統領 Cleveland ハ例年ノ敎書中ニ『「ブラジル」革命ノ初期ニ於テ、當政府ハソノ成行ニ就キ異常ナル警戒ヲ要スルモノト認メ、Rio de Janeiro 港內ノ我ガ海軍力ヲ增大スルト共ニ、我ガ國ハ確乎タル中立態度ヲ最後迄維持セリ。サレバ叛徒モ我ガ艦船ヲ臨時ノ亡命場所ト賴ムガ如キ事ハ更ニナカリキ』ト述ベテヰル。又同敎書中ニ『Nicaragua ノ Bluefields ニ叛亂ノアリシ時、現地ノ我ガ海軍指揮官ガ常ニ强固ナ態度ヲ持シ、公正ナル判斷ヲナシタルヲ以テ、自然事態ハ重大化セザリシノミカ、靜穩ト秩序ノ回復ハ爲ニ大イニ促進セラレタリ。一時亡命民ヲ收容シタルコトハ同國政府ノ喜バザル所ナリシモ、彼等ニ今ニモ及バントスル切迫シタル危害ヲ顧慮シ、單ニ人道上ノ見地ヨリ我ガ海軍指揮官ハ進ンデ彼等ニ亡命場所ヲ供シタルニスギズ。』ト。

危機ヲ胎ム狀態ヲ容易ニ收拾シ得ル樣ニ準備ガアツタ事ヲ證明スル

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

事件ガ勃發シタ。ソレハ 1894 年ノ「ブラジル」革命ノ際ノ事デアル。「ブラジル」海軍ハ Rio de Janeiro 灣ヲ確保シテ居タ革命黨ノ手ニ歸シ、同灣内デハ商船モ自由ニ行動ガ出來ナクナッタ。叛軍ノ首領 Saldanha de Gama ハ荷役ノタメニ棧橋ニ向フ船ハ、如何ナルモノト雖モ之ヲ砲撃スルト威嚇シタノデ、船内ニ黄熱病ガ蔓延シ、多數ノ乘組員ガ斃レツツアッタ船サヘモ、灣内ニ其ノ儘碇泊シテ、内亂ノ終ルノヲ待ツヨリ外ハナイ有樣デアッタ。

米國海軍少將 A. E. K. Benham ガ到着シタ時ノ事態ハ上述ノ如クデアッタ。彼ハ直ニ自國船ノ船長等ニ命ジテ棧橋ニ向ハセ、且自信ヲ持ツテ保護スベシト傳達シタ。此ノ約束ニ鼓舞セラレ帆船 Amy 號ノ船長 Blackford ノ外2名ノ船長ハ 1894年1月29日(日曜日)「明朝ヲ期シ船ハ棧橋ニ横着ケノ豫定デアル」ト發表シタ。之ヲ聞イタ Da Gama ハ「敢テカカル冒險ヲナサントスル艦船ニ對シテハ、其ノ國籍ノ如何ヲ問ハズ發砲スベシ」ト宣シタノデ事態ハ愈急迫シタ。他國軍艦ノ指揮官ハ此ノ米國提督ガ、果シテ其ノ行懸リヲ固執スルヤ否ヤヲ見屆ケント、一心ニ注意シテヰルカニ見受ケラレタ。夜ガ漸ク明ケルヤ米國ノ小艦隊ガ着々準備ヲ進メテヰルノガヨク見ヘタ。米艦 Detroit ハ直ニ合戰準備ヲモ終リ Da Gama 麾下ノ2艦、Guanabara 及 Trazidno ヲ射撃スルノニ恰好ノ位置ヲ占メタ。

Detroit 號ガ占位スルヤ商船 Amy ハ目指ス棧橋ニ向ケテ動キ出シタ、ト思フト Guanabara 號カラ小銃ノ警告彈ガ飛ンデ來タ。忽チ Detroit 號ノ1彈ガ Guanabara 號ノ前方ニ落下シ、續ク1彈ハ同號

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ舷側ニ命中シタ。一方2隻ノ曳船ガ衝撃ノ目的デ Amy 號目懸ケテ猛進シ來ルノヲ見テトツタ Detroit 號ハ、2隻ノ「ブラジル」軍艦ノ中ニ割ツテ入リ、左右ノ敵艦及曳船2隻諸共撃沈シ得ル様ナ位置ヲ占メタ。

此ノ斷乎タル處置ニ依リ事件モ片付イタ。「ブラジル」側カラハ最早1彈モ來ナクナリ、Amy 號及之ニ續ク2隻ノ船ハ安全ニ棧橋ニ到シ着タ。

1898 年 11 月大統領 MacKinley ノ教書ニ次ノ如ク述ベテアル。『Costa Rica, Nicaragua 間ノ風雲急ヲ告ゲタルモ、折カラ中部「アメリカ」近海ニ碇泊中ノ米艦 Alert 號上ノ交渉ト調印トニヨリ、兩國間ノ協定ハ圓滿ニ成立セリ。此ノ艦ノ指揮官ノ適切ナル斡旋ガ此ノ喜バシキ結果ヲ致スニ與ツテ力アリタルモノト信ズ。』ト。海軍ノ關與シタ今一ツノ事件ガ、其ノ教書ノ中ニ引合ニ出サレテ居ル。『將來「ハワイ」諸島併合ノ場合ニ處スル條約締結問題ガ未ダ決定シテ居ラザリシタメ、予ハ Miller 海軍少將ヲ Philadelphia 艦ニテ「ホノルル」ニ遣ハシ、同島ヲ合衆國ニ併合ノタメニ、適切ナル手配ヲナス全權ヲ委任セラレタル彼及公使ト折衝スル任ニアル「ハワイ」共和國ノ大統領ニ手交スベキ重要ナル訓令ヲ彼ニ授ケタリ。』ト。

Dewey 提督ノ大功績ハ、單ニ「マニラ」灣戰役ニ限ラヌ事ハ 1899 年 10 月 3 日國民カラ彼ニ劍ヲ贈ツタ時ニ、海軍長官ガ述ベタ次ノ言葉ニヨツテモ證明セラレル。『「マニラ」戰役後貴官ノ指導宜シキヲ得タタメ、又貴官ノ平靜ト愼重サトニヨリ、又貴官ノ判斷ノ正シカリシ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タメ、貴官ハ單ニ行爲上ニ於ケルノミナラズ、又言葉上ニ於テモ貴官ガ既ニ米國ノ英雄的大提督デアルト同時ニ米國ノ代表的偉人タル事ヲ自ラ示サレタリ。』ト。

MacKinley 大統領ハ 1899 年次ノ如ク書イテヰル。『海軍ガ不時ノ事變ニ備ヘテ習慣的ニ常ニ整備シテヰル事ハ、全國民ノ非常ナル稱讃ト信賴トヲ得ル所以ナリ。又我ガ海軍士官ハ先般ノ戰役ガ海軍ニ課シタル新シキ且微妙ナル任務ノ遂行ニ當リテモ、其ノ手際ハ實ニ見事ナリキ。』ト。上述ノ如ク 外交官モ 各長官モ大統領モ、國家ノ難問題解決及其ノ名譽及秩序ノ保持等ニ關シテハ常ニ海軍將校ノ勞ニ俟ツ處大ナル事ヲ確認シテヰル。

戰備及戰爭ニ 直接關係スル 事項以外ノ將校ノ 一般的任務ノ 概觀ハ Mahan ガ之ヲ明示シテヰル。Mahan ハ海軍士官ノ 專門的知識ト學者及歷史家トシテノ才能トヲ兼備シテ、天下獨自ノ大家トナリ、米國ニ於ケルヨリモ、寧ロ獨英ニ於テ海軍ノ權威者トシテノ名聲ヲ擅ニシテヰル。英國海軍ノ 某大家ハ『Mahan 大佐ガ東西ノ熱心ナル 海軍ノ研究家ニ、海軍ノ色々ナ問題ノ正シキ考ヘ方ヲ敎ヘタト云フハ、單ニ陳腐ナル評デアル。彼ノ所謂 "海權" (seapower) ナル語ハ彼ノ創始シタ言葉デハナイガ、人間ノ活動ノ全部門ニ、哲學的光明ヲ投ゲル目出度キ天才的着想ノ一デアル。』ト。

科學的分野ニ 於テ「四海ノ道祖神」(Pathfinder of the seas) ト云ハレル M. F. Maury 大佐程世界的ニ貢獻シタ士官ハ 19 世紀ニハ居ナイ。Maury ハ 1940 年代 (海軍水路部ノ前身ナル) 海圖及航海兵

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

器部ノ部長ニ任ゼラルルヤ、海軍省ニ藏メテアル無數ノ古イ航海日誌中ニアル、利用シ得ル諸資料ヲ對照研究セント志シタ。コレ等ノ資料ニナホ彼ノ要望ニヨリ、米國ノミナラズ又外國ノ海軍艦船ノ連日數回ニ亘ル觀測ノ結果ヲモ加ヘ、以上ヲ材料トシテ彼ハ氣象、海流、暴風ノ通路（其ノ發生季節及位置）主要港間ノ最短航路ニツキテ定說ヲ編ミ出シタ。其ノ業績ハ出版セラレ普通無料ニテ頒布セラレタ。1853年彼ノ提唱ニヨリ Brussels ニ於テ國際會議ガ開カレ、10箇國ノ代表ガ集ツタ。其ノ結果世界ヲ擧ゲテ彼ニ協力スル事トナツタ。Maury ノ海圖ハ最新ノモノタラシムル爲ニ改訂ヲ加ヘツツ今日ニ及ビ、航海ノ安全ノ爲、又航海ヲ迅速ニスル爲ニハ必要缺クベカラザルモノトナツテヰル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第25章　米西戰爭、「マニラ」灣ノ戰鬪

◎戰爭ノ原因

Cuba ニ味方シ其ノ本國西班牙ニ對シ、米國ガナシタ干渉ハ同島ニ於ケル多年ノ惡政當然ノ歸結デアツタ。島民ニ同情シタ米國人ニ惡逆ノ限リヲ盡シ、又我ガ國ト西班牙トノ間斷常ナキ不和ノ原因トナツタ。反亂革命ガ次々ト起ツタノハ、盲昧時ニハ暴君的ナル歷代總督ノ責任デアツタ。1854 年、關稅規則違反ノ廉ニ依リ米國船 Black Warrior 號ノ拿捕セラルルヤ、平和ハ非常ニ脅カサレタ。次イデ 1869 年、暴徒ノ爲ニ武器ヲ荷揚セリトノ事實無根ノ科ニ依リ、米國汽船 Colonel Lloyd Aspinwall 號ヲ捕拿シ、長ク之ヲ抑留スルニ及ンデ、米國ノ輿論ハ更ニ激昂シタ。又 1873 年、西班牙人ガ海賊船 Virginius 號（米國船籍申請中）ヲ捕獲シ、有無ヲ云ハサズ乘員中ノ米國人數名ヲ射殺シタノデ、全米國民ノ憤怒ハ遂ニ爆發シタ。西班牙ガ不承不承夫々賠償金ヲ支拂ツタノデ、兩事件共戰爭ニハ至ラナカツタガ、此ノ解決モ單ニ米西最後ノ衝突ヲ幾分遲ラセルニ役立ツタニ過ギナカツタ。

1876 年、西班牙ハ Campos 將軍ヲ Cuba 總督ニ任命シタ。彼ハ終始和解的方針ヲ採ツタノデ、1878 年ヨリ 1895 年マデハコノ島モ平和ニ治マツタ。1895 年ニ至リ暴動ガ起リ、此ノ度ハ彼ノ力デハ如何トモ出來ズ遂ニ辭職シ、1896 年 2 月、Weyler 將軍ガソノ後ヲ襲ツタ。此ノ總督ハ嚴政ヲ以テ望ミ、微罪ニ對シテモ死刑ヲ執行スル方針

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ執ツタ。又彼ノ都會集中政策ニ依ツテ、田園ハ荒廢スルバカリデアツタ。斯クテ Cuba ハ正ニ飢饉ト荒廢ノ恐怖時代ニ入ツタ。Cleveland 大統領ハ Olney 長官ニ命ジテ同島ノ平和ノタメニ援助センコトヲ西班牙ニ申入レサセタガ、折角ノ好意モ拒絶サレタ。シカシ我ガ政府及救護團體ハ、構ハズ糧食ヤ必需品ヲ Cuba ニ送ツテ島民ノ救濟ニ努メタ。1897 年 10 月 Weyler ノ召還セラルルヤ、Sagasta ヲ首班トスル西班牙ノ新內閣ハ、正直デ小心ナル Blanco 將軍ヲ送ツテ秩序ノ回復ニ當ラセタ。將軍ハ Cuba ノ住民ニ自治權ヲ與ヘ様トシタガ、暴動ノ首謀者達ハ更ニ問題ニシナカツタ。折角ノ良イ思付キモ遲キニ失シタノデアル。

島內ノ災厄ハ愈深刻ヲ極メタ。1897 年 5 月、我ガ Lee 領事ハ本國政府ニ「窮民ノ中ニハ 600 乃至 800 人ノ米國人アリ」ト報告シタ。ソコデ McKinley 大統領ハ義捐金ヲ公募シ、其ノ額 20 萬弗ニモ達シタ。米國赤十字社ガ此ノ救濟事業ヲ監督スル事ニナツタ。

一方米國ノ議會ハ Cuba ヲ交戰國ト見做スベキカ或ハ獨立國ト認ムベキカト議論バカリシテ居タ。

「アメリカ」合衆國內ニ於ケル Cuba 島民ノ代表者ヤ、同情者ノ活動ハ我ガ或ル新聞ノ煽動的ナル社說ト相俟ツテ、米國民一般ノ反西班牙熱ヲ愈高メタ。其ノ上 Havana 事件ハ益險惡ノ兆ヲ示シテ來タノデ、Lee 領事ハ同市ニ於ケル米國民ノ安全ヲ氣遣ヒ出シタ。ソコデ政府ハ臨戰準備ヲ整ヘテ Key West ニ暫ク待機中ノ戰艦 Maine 號ヲ Havana ニ急派シタ。同艦ハ 1898 年 1 月 25 日 Havana 沖ニ到着シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。

其ノ事件ニ續イテ起ツタ種々ノ出來事ハ、今迄燻ツテキタ戰火ヲ煽ツテ、愈烈シク燃エ上ラス所以トナツタ。1898年2月9日駐米西班牙公使ヨリ Madrid ノ一新聞社ノ主筆ニ宛テタ私信ガ Havana 郵便局ニ於テ盜マレ、之ガ叛徒ノ手ニ入ツタ。此ノ手紙ニハ「Sagasta ノ和解政策ハ時間ノ空費デアリ且無駄デアル」ト書テアツタ。

彼ハ又 McKinley 大統領ノ教書ヲ論評シテ、大統領ヲ稱シテ「弱腰ニシテ徒ニ民衆ニ迎合スル者」ト言フ等、各處ニ怪シカラヌ辭ヲ弄シテキタ。爲ニ一度此ノ私信ガ發表セラレルヤ、「アメリカ」國民ハ激怒シタ。西班牙ハ同公使ヲ斷乎招還スルコトナク、其ノ儘辭職ヲ許可シ、其ノ代人ヲ送ツタ。併シカノ重大ナル無禮ニ對シ、斯ルヨイ加減ノ事位デハ、事態ガ圓ク收マラウ筈モナカツタ。

其ノ 2, 3 日後、Cuba 近海ニ於テ米國ノ最モ優秀ナル一戰艦ノ爆沈シタ報ガ一度傳ハルヤ、米國民ハ戰慄シ風雲愈々險惡トナリ、今ヤ其ノ最高潮ニ達シタ。

1898年2月15日ノ事、Havana 港ニ到着以來何等事件モナク3週間ヲ過シタ Maine 號ハ、造兵廠ヨリ 500 碼離レタ浮標ニ安全ニ繫泊シテ居タ。Maine 號ヨリ 200 碼離レテ、Ward 航路ノ汽船 City of Washington 號、更ニ一寸隔ツタ所ニ西班牙ノ巡洋艦 Alphonso 12 世號ガ碇泊シテ居タ。當夜9時45分、突如トシテ Maine 號ノ龍骨ノ下ニ一大爆發起リ、其ノ猛烈ナル事ハ港中ノ海水ガ爲ニ振蕩シ、近傍ノ電燈ハ消エ、多數ノ電柱ガ倒レタ程デアツタ。此ノ不幸ナル軍艦ハ瞬

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



George Dewey

HP『海軍砲術学校』公開史料

時ニシテ破壊セラレ、火藥庫ヨリ噴キ上グル大火焔ハ港域全體ヲ照シ海岸目懸ケテ走リ來ル人々ニ災害ノ位置ヲ示シツツ忽ニシテ沈沒シタ。

2名ヲ除キ士官ハ全部救助セラレタガ、乘組下士官兵353名ノ中、負傷セズニ脫出シ得タ者ハ僅ニ48名デ、結局死者246名ヲ算シタ。海軍査問委員會ハ Havana 港ノ泥中ニ喰ヒ込ンデ居ル Maine 號ノ船體ヲ檢スルタメニ潛水夫ヲ入レル等、該事件ノ徹底的調査ニ着手シタ。此等ノ潛水夫ハ爆發ノ原因ハ外部的ノモノデ、船底ガ砲塔甲板ノ高サマデ吹キアゲラレテ居ルコトヲ確認シタ。査問委員會ノ決議報告ニハ「Maine 號ハ敷設機雷ニ依リテ破壞セラレ、之ガ同艦ノ二三火藥庫ノ爆發ヲ誘致シタモノト認ム」トアツタ。事件直後西班牙側ガ爲シタル火急ノ調査ノ結果ハ「事件ノ原因ハ內部的ニシテ、爆發ハ Maine 號自身ノ火藥庫ノ爆發ニ原因ス」トアツテ、米國側ノ調査トハ反對ノ結論ニ達シテヰタ。併シ此ノ調査報告モ「アメリカ」國民ノ輿論ニハ最早何ノ影響モ及ボサナカツタ。

戰爭ノ眞因ハ Cuba 島ノ情勢ト、我ガ貿易及米國民ニ對スル積年ノ壓迫トニアツタ。凡ソ戰爭ノ起ル場合ノ通例デアルガ、戰爭ノ大キナ原因ナドト云フモノハ永ク潛伏シテヰテ、或ル非常ナル危機（此ノ場合ニ於テハ Maine 號ノ爆發ノ如キ）ガ國民ノ隱忍ヲ爆發點ニ達セシメルニ及ンデ始メテ表面化スルモノデアル。西班牙駐箚米國公使 Woodford 將軍ハ、將ニ勃發セントシテヰル戰爭ノ爲ニ、我ガ軍部就中陸軍ニ或ル準備期間ヲ與ヘル爲ニ、暫クソノ不祥事ニ對シ最後的行

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

動ヲ執ル事ヲ見合スヤウニトノ訓令ヲ受ケタ。

◎開戦前ノ準備

3月9日兩院共滿場一致デ5千萬弗ノ國防費ヲ可決シ、其ノ使途ハ擧ゲテ大統領ニ一任スルコトニ決シタ。我ガ國ノ沿岸ハ事實無防備ニ等シク、西班牙海軍ノ急襲ヲ防グ爲ニハ我ガ海軍ハ彈藥、糧食及艦船ノ大補充ヲ必要トシタ。Maine 號ノ爆發スルヤ、當時太平洋岸ニヰタ戰艦 Oregon 號ハ直ニ入渠サセラレタ。同艦ハ太平洋岸ニ於テハソレ程マデモナイガ、戰爭トモナラバ大西洋岸ノ海軍力ニ一大勢力ヲ加ヘルモノト考ヘラレテヰタ。Horn 岬迂廻ノ 5,000 浬ニ亘ル有名ナ同艦ノ回航ハ、(3月6日出航) 政府當局ヲ勘カラズ驚カセタ。同艦ハ4月30日、恰モ Rio de Janeiro 入港中戰爭勃發ヲ知ッタ。Cervera 提督麾下ノ西班牙艦隊ノ行先ガ全然不明デアッタ關係上、Oregon 艦長 C. E. Clark 大佐ハ、Oregon 號ガ大西洋岸ニ於ケル一大勢力ト目セラレテヰル關係上、若シ途中西班牙艦隊ニ拿捕セラレル樣ナ事ハアルマイカト非常ニ憂慮シタ。併シ5月25日、同艦ハ上乘ノ狀態デ Florida 沿岸ニ到着シタ。以上デ戰爭勃發直前ノ事件ヲ全部述ベタ譯デハナイ。

自治權ノ付與或ハ救濟法ノ考究等、Cuba 民衆ニ對スル西班牙ノ各種ノ提議ハ Cuba 民衆ノ一蹴スル所トナリ、暴動ハ依然續イタ。

ソコデ米國大統領 McKinley ハ情勢ノ進展シナイノヲ見越シテ、1898年4月11日、議會ニ特ニ敎書ヲ送ッテ『Cuba ニ於ケル戰爭ハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

徹底的ニ征服又ハ全滅セラルベキ性質ノモノデハナイカラ、假令最後ニ何レガ勝ツタ處デ何ニモナラナイ。結局一方カ、他方カ、或ハ敵味方兩方共カガ、物質的ニ消耗スルノミデアル。此ノ戰爭ガ長引クカ、何時終局ヲ告ゲルカハ、此ノ戰爭ノ深刻ナ影響ヲ受ケテ居ル現代ノ文明國人、就中損害ヲ受ケテヰル合衆國民ト雖モ其ノ平靜ナ心ヲ以テシテハ殆ド見當ヲツケ兼ネル所デアル。

Cuba 民衆ヲ救濟シ、又最早コレ以上堪ヘ得ナイ此ノ狀態ヲ一時中止セシメルニハ、唯 Cuba ニ平和ヲ强制スルヨリ外ニ途ガナイ。

人道ノ名ニ於テ、文明ノ名ニ於テ、又主張ト行動トノ權利ト義務トヲ吾人ニ與フル所ノ合衆國ノ權益ノ爲ニ、Cuba ニ於ケル戰爭ハ是非共中止サセナケレバナラヌ。

西班牙政府ト Cuba 民衆トノ爭ヲ完全ニ終熄セシメ、又秩序ヲ維持シ、國際間ノ義務ヲ尊重シ、平和ト安寧ヲ保證シ得ル確乎タル Cuba 政府建設ニ必要ナル手段ヲ講ジ、又上述ノ目的達成上、要スレバ我ガ兵力ヲ發動セシメ得ル如ク、本大統領ニ權威ト權限トヲ與ヘラレン事ヲ要請ス。』ト述ベタ。

此ノ敎書ニ對スル議會ノ回答ハ上院ニ於テハ 42 對 35, 下院ニ於テハ 311 對 6 ノ多數デ 4 月 19 日可決セラレタ。其ノ兩院聯合決議條項ハ次ノ通リデアツタ。

第 1　Cuba 島ノ民衆ハ當然自由ニシテ獨立的ナルコト。

第 2　西班牙政府ニ直ニ Cuba 島ニ於ケル權力ト統治權ノ放棄及同島駐屯ノ陸軍ト其ノ近海ニアル海軍ノ撤去ヲ要求スルハ合衆國ノ義務

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ナリ。依ツテ合衆國政府ハ斯ク要求ス。

第 3　サレバ合衆國大統領ハ此等ノ目的遂行ニ必要ナル範圍内ニ於テ、合衆國ノ陸海軍及數州ノ民兵ヲ發動セシメ得ル權限ヲ與ヘラル可キナリ。故ニソノ權限ヲ有ス。

第 4　統治、裁判及同島ノ平和ニ關スル事項以外ニハ、同島ノ支配ニ關シ合衆國ハ如何ナル意向ヲモ放棄スルコト。尚上述ノ施設ガ完備シタル曉ニ於テハ、同島ノ統治權及支配權ヲ其ノ住民ニ讓渡スル決心ナリ。

此ノ共同決議案ニ從ヒ MacKinley 大統領ハ 4 月 20 日、Woofard 將軍ヲ經テ西班牙政府ニ最後通牒ヲ送リ、且來ル 23 日正午ヲ限ツテ「完全ニシテ滿足ナル返答」ヲ要求シタ。華府駐箚西班牙公使ハ此ノ決議案ト Woodfard 將軍ヨリ提示シタ最後通牒ノ事ヲ聞キ、直ニ旅券ヲ要求シタ。Madrid 駐箚ノ我ガ公使ガ最後通牒ヲ手交スルニ先立チ既ニ 4 月 21 日西班牙公使ハ兩國ノ外交關係斷絶ノ指令ヲ本國政府カラ受ケテヰタノデアル。

其ノ間北大西洋艦隊司令長官 Sicard 少將ハ、戰爭ヲ豫期シテ 2 箇月間射撃訓練ヲ續ケ、其ノ効果ヲ最高限度迄高メタ。彼ハ宣戰布告ノ場合 Cuba 島ノ近クニ位置スル爲、Key West ノ沖デ訓練ニ從事シタ。5 月 21 日病氣ノ故ヲ以テ、Williams T. Sampson 大佐（後ノ海軍少將心得）ト交代シタ。同大佐ハ直ニ Cuba ニ赴キ Habana 市ノ西方 40 哩ノ地點カラ同市ノ東方 50 哩ノ地點ニ至ル廣範圍ニ亘ツテ Cuba 島北岸ノ封鎖ニ任ジタ。彼ハ又首府トノ間ニ鐵道運輸ノ便ヲ有

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

スル Cuba 島南岸ノ Cienfuegos 港ノ封鎖ヲモ命ゼラレテヰタ。此ノ封鎖ハ大統領 MacKinley ノ名ニ於テ翌4月22日世界一般ニ布告セラレタ。4月25日、議會ハ「米西戰爭ハ4月21日（同日ヲ含ム）ヲ以テ始マツタ」事ヲ發表シタ。Cervera 提督ノ下ニ Cape Verde 島デ臨戰準備中デアツタ西班牙艦隊ハ、4月29日目的港ヲ秘シテ此ノ會合地ヲ發航シタ。ソレヨリ2日ノ後 Dewey 提督ハ東洋ニ於テ西班牙軍ヲ擊滅シテ、大西洋岸ノ軍事的緊張ヲ幾分和ゲタ。

斯ク矢繼ギ早ニ事件ノ續イタ米西戰爭ノ初期ニ於テ、米國ハ非常ニ愼重ニ戰爭ヲ進メテ行ツタ。米國ハ既ニ數箇月前カラ今ニモ勃發シサウニナツテヰタ此ノ戰爭ニ對シ、西班牙側ハ充分ナ準備ヲナシテヰルモノト信ジテヰタ。併シ戰爭ガ始マルト忽チ西班牙政府ハ馬脚ヲ現ハシ、其ノ無能ト軍備ノ貧弱ナル事ガ明瞭ニナツタ。

數字上デハ西班牙ノ海軍力ハ合衆國ノソレヨリモ優勢デアツタ。戰爭ノ初期ニ於テ「アメリカ」海軍ノ就役艦船總數 86 隻ニ對シ西班牙側ハ 137 ニ達スルト言ハレテヰタ。然シ左樣ナ數字ハ當ニナラナカツタ。合衆國ハ小型艦船ノ外ニ尙 8,000 噸或ハソレ以上ニ達スル6隻ノ裝甲艦ヲ有シ、此ノ內ニハ 10,000 噸又ハソレ以上ノ Iowa, Indiana, Massachusetts, Oregon, 等4隻ノ1等戰艦ガアツタ。西班牙ニハ此等ノ諸艦ニ匹敵スルモノハ1隻モナカツタ。6,840 噸乃至 9,900 噸ノ裝甲艦9隻ガ西班牙海軍ノ精銳デ、其ノ外ハ概ネ古イ鐵製又ハ木製艦デアツタ。併シ數字ト實際トガ一致シナイ事ハ西班牙當局ノ首腦部サヘモ知ツテ居ナカツタ。Santiago 州ノ海軍次席指揮官タル Tose Hullery

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Tejeiro 大尉ハ『Cervera 艦隊ガ唯一ノ西班牙ノ派遣部隊デアルトハ誰モ信ジヨウトハシナカツタ。何トナレバ同艦隊ハ第1艦隊ト呼バレテ居リ、少ナクトモ第2艦隊以下ガ期待サレテ居タカラデアル』ト述ベテ居ル。正直ノ所將來ノ見通シモツケ、且艦隊ノ眞相ヲ知ツテヰタモノハ唯實際此ノ艦隊ノ乘員ノミデアツタ。上ハ提督ヨリ下ハ候補生ニ至ルマデ、彼等ハコレ以上最早ヤ艦隊モ戰隊モ艦船モナク、僅ニ此ノ6隻ノ軍艦ガ米國ノ艦隊ニ對抗スル唯一ノ部隊デアルトイフコトヲヨク知ツテヰタ。

併シ西班牙海軍ノ眞相ハ充分ニ知ラレテヰナカツタカラ、合衆國海軍ハ此ノ强大ナル敵ニ對抗スル爲ニ着々戰備ヲ整ヘタ。合衆國ガ不時即應ノ戰備ヲ立派ニ整ヘ、一方西班牙ガ之ヲ怠ツタト云フ事ハ、益米國ノ威信ヲ向上セシムルト共ニ、反對ニ西班牙ノ威信ヲ失墜セシメタ。サテ宣戰ガ布告サレルヤ、Key West 在泊艦船ノ將校ハ部下ヲ日夜訓練シ、就中射撃演習ニ全力ヲ集中シタ。之ニ對シ西班牙海軍ハ2月カラ4月ニカケテノ貴重ナル時日ヲ漫然ト過シタ。

サレバ「西班牙ハ强敵ト戰ハネバナラナカツタ」等トノ說ヲナス者ガ居タナラバ、吾人ハ「合衆國ガ强ケレバ尙更戰備ヲ整ヘルベキデ、不覺ノ原因ハ西班牙ノ不心得ニアツタ」ト云ヒ度イ。ソレバカリデナク合衆國側ノ將校ハ戰ノ初メニ於テハ、西班牙海軍ハ無力ナリト云フ樣ナ考ヘハ毛頭モ抱カズ、假令實際ニ左樣感ジテモ敵海軍力ハソノ紙上ノ數字通リデアルト考ヘテ、決シテ油斷ヲシナカツタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

◎「フィリッピン」作戦

4月27日 Cuba 島ノ Matanzas ニ於テ 彼我ノ衝突ガアリ、封鎖艦隊ノ1隊ハ港ノ要塞ヲ砲撃シタ。併シ重要ナ第1回ノ戦闘ハソレヨリ4日後、Magellan 時代以來西班牙ノ植民地デアル「フィリッピン」ニ起ツタ。Cuba ニ於ケルト同様、東洋ニ於ケル西班牙ノ統治モ失政ト暴動ノ長イ物語デアツタ。遂ニ1896年、恐ルベキ革命ガ勃發シタガ、「マニラ」ニ居タ Blanco 將軍ハ之ヲ如何トモナシ得ナカツタ。Blanco 將軍ニ代ツテ其ノ任ニ就イタ將軍連モ次次ト失敗シ、遂ニ 1898 年ノ春、Basilis Augustin 將軍ガ「フィリッピン」駐屯軍ノ總指揮官ニ任ゼラレタ。兎角スル內「フィリッピン」人ノ首謀者 Aguinaldo ハ「シンガポール」ノ米國領事ヲ介シテ、合衆國ト交渉ヲ開始シタ。然シナガラ此等ノ島々ニ於ケル暴動ハ結局問題ヲ複雜ニセシメルノニ役立ツタバカリデ米國ハ迷惑シタ。

Dewey 代將ハ旗艦 Olympia ヲ初メトシ Baltimore, Boston, Raleigh, Concord, Petrel 及 McCulloch ノ諸艦ヨリ成ル艦隊ヲ率キテ國際港香港ニ碇泊シテヰタ。折シモ4月24日彼ハ海軍省ヨリ、開戰ノ通知ト共ニ敵艦捕獲若クハ撃破ノ目的ヲ以テ直ニ「フィリッピン」群島ニ向ケ出動セヨトノ命ヲ受ケタ。

Dewey ハ此ノ中立國ノ港ニ碇泊中モ無意味ニ過サナイデ、此ノ1週間ノ間彼ハ將ニ起ラントスル兩軍ノ衝突ニ備ヘテ着々臨戰準備ヲ整ヘタ。役ニ立タヌ木造艦 Monocacy 號ノ武裝ヲ解除シ、其ノ乘員ヲ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

他艦ニ移乗セシメタ。彼ハ直ニ可ナリ大キナ船2隻（Zapiro 號及 Nanshan 號）ヲ買ツテ、此等ニ石炭、糧食ヲ滿載スルト共ニ、他ノ總艦艇ニモ石炭ヲ補給シ、且白色ノ艦體ヲ褐色ニ塗變ヘサセタ。

國際法ノ示ス所ニ依レバ、軍艦ハ宣戰布告後ハ中立國ノ港灣ニハ僅ニ24時間シカ滯留ヲ許サレヌノデ、英國政府ハ Dewey ニ香港出港ヲ要求シタ。ソコデ彼ハ約30浬距ル Mirs 灣ニ退去シタ。

同灣ハ支那領ニ屬シ、且同國ハ當時未ダ中立ヲ宣言シテヰナカツタノデ、Dewey 提督ハ臨戰準備ヲ完成スル迄此處ニ留マルコトガ出來タ。斯クテ4月27日、彼ハ西班牙艦隊偵察ノ爲同港ヲ拔錨シタ。

「フィリッピン」群島ニ到達スルヤ、Dewey ハ敵ノ占據シサウナアラユル港灣ニ偵察艦艇ヲ派遣シタ。ソノ結果敵將ガ居ルカモ知レヌト半バ期待シテヰタ Sabig 灣ニハ1隻ノ軍艦モ居ナカツタ。ソコデ「ルソン」島ノ海岸沿ヒニ北上ヲ續ケ、遂ニ4月30日ノ眞夜中ニ「マニラ」灣口ノ沖ニ到着シタ。

同灣ハ支那海ニ向ツテ西ノ方ニ口ガ開イテ居テ、大體大型ノ氣球形ヲナシテヰル。ソノ灣口ニハ宛モ西班牙ノ東洋植民地中最モ富饒ナ此ノ地ニ近寄ル夷狄ヲ見張ルカノ樣ナ、理想的ナ位置ニ Corregidor, Caballo ノ2島ガ聳立シテヰル。ソシテ其ノ北東26浬ノ地點ニハ廣漠タル「フィリッピン」群島ノ商業ノ中心地「マニラ」ノ市街ガ存在スル。「マニラ」市ノ南方10哩デ其ノ西ノ所、陸地ガ外洋ニ突出シテ廣イ海面ヲ完全ニ圍ンデヰル處ニ Cavite 港ガアル。其處ニ敵將 Montojo 提督麾下ノ艦隊ガ碇泊シテヰタ。同港ハ西班牙海軍ノ東洋ニ於

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ケル根據地デ、船渠、工廠及海軍用ノ鐵道等相當整備シテヰタ。

「マニラ」ノ防備ハ完成シ、ソノ警戒モ亦嚴重デアルト、當時東洋方面一般ニ信ジラレテヰタ事ヲ思ヒ合セバ、暗夜ニ乘ジテ敵國海面ニ入ツタ Dewey ノ大膽サハ自然充分ニ了解出來ルデアラウ。Dewey ハ自ラノ經驗、愼重サ及科學的知識ニ依ツテ、豫メ危險デアルトハ知リツツモ己ガ任務ノ遂行ニ赴イタ。此ノ事實コソハ、彼ノ英雄的素質ヲ證スル何ヨリノ證據デアル。彼ハ東洋ニアル西班牙ノ領土ノ主ナ都市ハ彼ノ計畫シタ樣ナ襲擊ニ對シテハ旣ニ充分反擊ノ用意ガ出來テヰルモノト考ヘテ居タ。若シ敵味方立場ガ反對デアツタナラバ、彼自身必ズヤ採用シタラウト思ハレル防禦計畫ヲ、敵ハ完成シテ居ルモノト信ジテ居タ。「マニラ」灣ニ入ル前ニ彼ハ各船長ヲ集メテ彼ノ作戰計畫ヲ示達シタ。其レハ各艦暗夜ヲ利用シテ島ノ間ヲ縫ツテ灣內ニ侵入シ敵ヲ發見次第之ト交戰スル計畫デアツタ。

◎「マニラ」灣ノ海戰

霧ガカリノ暗夜ニ スベテノ燈火ヲ消シテ、Dewey 提督ハ麾下ノ艦隊ヲ率ヰテ前進シタ。Corregidor 燈臺ノ光ガ仄カニ見ヘ初メ、ヤガテ其ノ砲臺ノ直前ニ達シタ時、「總員集合」ガ命ゼラレ 1 杯宛ノ珈琲ガ渡ツタ。艦隊ハ唯默々トシテ前進ヲ續ケテヰタガ、丁度 McCulloch 號ノ煙突ヨリ火ノ粉ガパツト立チ上ツタト思フト、敵ノ砲臺ヨリ砲聲ガ轟イタ。續イテ第 2 聲又第 3。此ノ第 3 聲ニ應ジテ Boston 號、McCulloch 號モ發放シタ。同島ノ砲臺ノ閃光ト砲聲トハ數分間續イタ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ガ、ヤガテ又全ク靜ニナツタ。

先ヅ一難ハ去ツタガ、暗夜ヲ猛進スル艦隊ニトツテハ、コレカラハ魚雷ヤ機雷ノ危險ガアリ、又敵艦ノ衝撃ヲ受ケルカモ知レヌトハ、皆ニ共通ナ不安デアツタガ、艦隊ハ構ハズ前進ヲ續ケタ。後程ソノ當時ノ氣持ヲ分解シテ一士官ハ次ノ如ク述ベテヰル。『此ノ目ニ見エヌ行手ニ居ル敵ハ吾人ノ膽ヲ試スモノデ、ソレカラ解放セラレルト誰デモホツトスル。凡ソ號令ヲカケルト云フ事ハ難シイ事デアル故ニ、口カラ口ニ必要ナ號令ヲ傳ヘルトキニ、聲ガ途切レタリ震ヘタリシテモ敢テ不思議トスルニ足リナイ。我々乘員ハ皆硬クナツテヰタガ、併シ間モナク戰鬪精神ハ張切ツタ弓ノ如ク高鳴リシダシタ。』

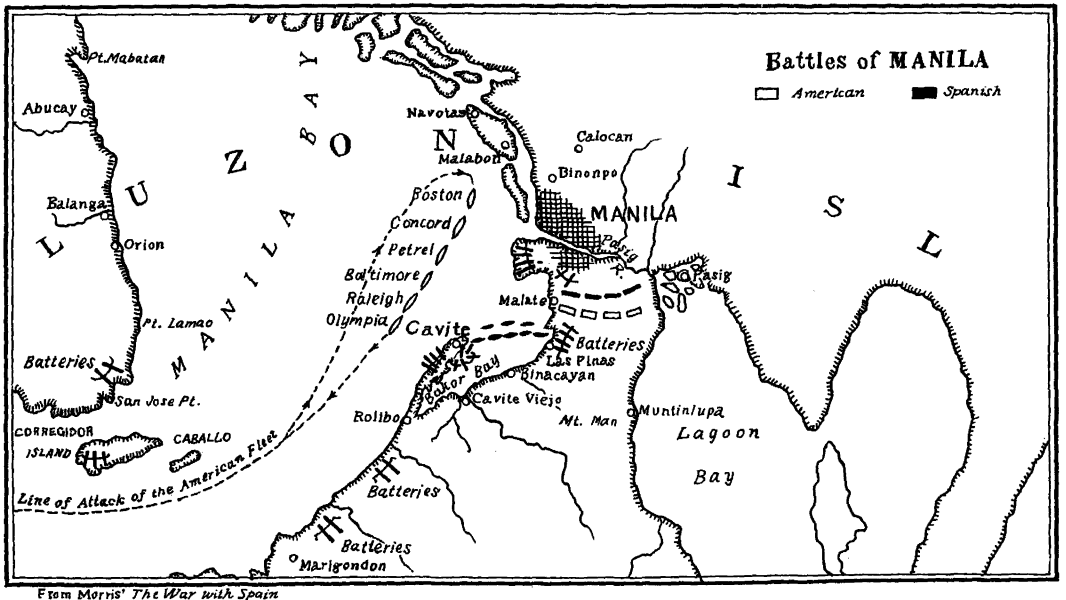
先ヅ補給部隊ヲ射距離外ノ安全ナ所ニ投錨サセタ後、Dewey 提督ハ東方ニ回轉シテ西班牙艦隊ニ向ツタ。同隊ハ現場ニ於テ Dewey 艦隊ヲ迎ヘ撃ツツモリデ Cayite 岬ニ横陣ヲ張ツテ待構ヘテヰタ。

Dewey 提督發 1898 年 5 月 4 日附ノ報告ニ曰ク、『我ガ艦隊ハ余ノ直率スル旗艦 Olympia 號ヲ一番艦トシ Baltimore, Raleigh, Petrel, Concord, Boston 號ノ順序ニテ前進シ、戰鬪中モ此ノ陣形ヲ保持シタ。我ガ艦隊ハ午前 5 時 41 分砲火ヲ開イタ』ト。

敵ハ Dewey 提督ガ未ダ艦隊ヲ所期ノ陣形ニ整形セザルニ先立ツコト半時間ニシテ既ニ砲撃ヲ開始シタガ、何等ノ成果ヲモ收メ得ナカツタ。30 分モ撃タセテオイテ、提督ハ Olympia 號ノ艦長ヲ振返リ、「Gridly 大佐、用意ガヨカツタラ射撃開始！」ト命ジタ。敵ニ反撃ヲ加ヘテヨロシイト徐ロニ許可セラレタ旗艦ハ、ソノ舷側ヲ敵ノ戰列ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料



From Morris' The War with Spain

BATTLES OF MANILA

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

向ケタト思フト既ニ、ソノ大砲ノ轟音ガ轟キ渡ツタ。續イテ各艦ハ次々ト旗艦ニ倣ヒタ。Dewey ノ計畫ハ敵艦隊ノ前ヲ通過スル時ハ 5,000 碼ノ距離デ砲撃ヲ開始シ、漸次 2,000 碼ニ距離ヲ縮メ、ソレカラ反轉シテ敵ノ隊列ト並行スル如クスルニアツタ。斯クスレバ麾下ノ各艦ハ兩舷ノ砲ヲ片舷宛交互ニ使用スルコトガ出來、ソノ結果又交互ニ休養セシメ得ル。斯ノ如キ計畫ハ艦ト艦ノ一騎討勝負ヲ豫想シテヰタ敵將ノ考ヘ及バザル處デアツタ。此ノ Dewey ノ作戰ハ又流石ニ Dewey ノ傑物ナル事ヲ證スルモノデアル。

再ビ同提督ノ戰闘詳報ヲ引用シヤウ。『敵ノ射撃ハ猛烈デハアツタガ、概ネ命中シナカツタ。交戰後間モナク敵方カラ 2 隻ノ「ランチ」ガ Olympia 號ヲ魚雷攻撃スルカノ如ク出テ來タガ、我ガ射撃ニヨリ 1 隻ハ沈沒シ、6 隻ハ操縱不能トナリ、乘上ゲテ魚雷發射ノ機會ヲ失ツタ。午前 7 時敵ノ旗艦 Reina Cristina 號ハ思ヒ切ツテ隊列ヲ離レ、近距離戰ヲ試ミント出撃ニ及ンダガ、Olympia 號ノ猛烈ナル集中射撃ヲ受ケテ、辛ウジテ岬ノ陰ニ引返ス始末デアツタ。此ノ時偶我ガ命中彈ニ依ツテ發シタ火災ハ同艦ノ沈沒スル迄消エナカツタ。』

「マニラ」ノ三ノ砲臺カラハ、戰闘ノ初メカラ砲聲鳴リモ止マズニ續イテヰタガ、當隊カラハ別ニ反撃ヲ加ヘル事モナカツタ。是等ノ第 1 砲臺ハ Pasig 川ノ河口ニアル突堤ノ南端ニ在リ、第 2 砲臺ハ「マニラ」城壁ノ稜堡ノ南、又第 3 ハ此レヨリ更ニ南方 1.5 哩ノ Malate ニ在ツタ。余ハ「マニラ」總督ニ一書ヲ送ツテ「若シ砲臺ガ砲撃ヲ中止シナイ場合ニハ都市ヲ砲撃スル」旨ヲ傳ヘタ。此レガ利イテカ砲臺ハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

沈默シテシマツタ。

Montojo 提督ノ戰鬪報告ヲ見レバ、西班牙側ノ狀況ガワカル。『我々ハ米國艦隊ト戰フハ不利デアルト覺悟シテハ居タモノノ、終始應戰ニ之努メタ。Reina Cristina 號ハ盛ニ命中彈ヲ受ケタ。6時半過幾何モナク、本艦ノ前部ニ火災ヲ發シ、操舵機ハ損傷シテ操縱困難トナリ、我々ハ雨霰ノ如ク注グ恐ルベキ彈丸ノ中ニ身ヲ曝シテ居タ。其ノ內機械ニモ命中シタ。我々ハ船體及上部構造物ノ命中彈合計 70 發ト推定シタ。罐ニハ命中シナカツタガ、其ノ復水器ニ至ル管ガ破壞サレタ。暫クシテ余ハ又後部ニ火災ガ起キタノヲ知ツタ。敵ノ1彈ハ貫通シテ致命的効果ヲ以テ炸裂シ、多數ノ乘員ヲ殺傷シタ。大尉參謀ノ曰ク「艦ハ火焰ニ包マレマシタ。最早本艦ニ止マル事ハ出來ナクナリマシタ。」ト。彼ハ砲艦 Isla de Cuba 號ニ信號シテ之ヲ近附ケ、次デ余ト幕僚ハ之ニ移乘シテ、將旗ヲ其ノ檣頭ニ揭ゲタ。旗艦ハ旣ニ一塊ノ火焰トナツテヰタノデ乘員救助ノ爲ニ總員退去ヲ命ジタ。』

Dewey 提督ノ報告ヲ再ビ引用スレバ『7時35分砲擊中止、朝食ノタメ艦隊ヲ擧ゲテ後退シタ。午前11時16分攻擊再興、此ノ時迄ニ西班牙艦隊ハ旗艦ヲ始メトシ殆ド全艦隊火災ヲ起シテ居タ。敵ノ砲臺ハ沈默シ、敵艦ハ或ハ沈ミ或ハ燒ケ或ハ遁走シタノデ、午後2時30分我ガ艦隊ハ砲擊ヲ中止シタ。午後12時40分我ガ艦隊ハ元ノ錨地ニ引返シ、「マニラ」沖ニ碇泊シタ。但シ Petrel 號ノミハ Cavite 岬ノ背後ニ隱レテヰタ小艦艇ヲ徹底的ニ擊滅スル爲ニ殘留シタ。而シテ此ノ任務ハ最モ迅速且完全ニ E. P. Wood 中佐ニヨツテ遂行セラレ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。』ト。

其ノ戰鬪ノ目撃者ノ言ニ依ルト『敵艦隊ハ1艦ノ例外ヲ除イテハ何レモ勇マシク戰ツタ。就中乗員全部ヲ戰死セシメル程ノ猛烈ナ勇氣ト精神力ヲ發揮シタ Don Antonio de Ulloa 號ト、其ノ艦長 Robion ノ活躍ハ當然榮冠ニ價スルモノデアツタ。米國ノ旗艦ト Boston 號トハ死刑執行者デアツタ。ソレ等ノ撃出ス彈ニヨツテ Ulloa 號ハ忽チ6箇所ニ火災ヲ起シタガ、戰鬪員ニハ何等降伏ノ色ハ見エナカツタ。命中又命中、艦體ハ篩ノ様ニ孔ダラケトナツタ。雨霰ノ砲彈ハ上甲板ノ構造物ニ絶ヘ間ナシニ命中シタガ、ソレデモ降服シサウニハ見エナカツタ。中甲板ノ兵員ハ遂ニ其ノ配置ヲ離レタガ、艦長ト士官等ハ未ダ其ノ艦ヲ見捨テナカツタ。下甲板デハ砲員ハ恰モ英雄ノ如クニ各自ノ配置ヲ死守シタ。艦長ハ己ガ軍旗艦ヲ破損シタ檣ニ揚ゲ直サセタ。斯クテ軍艦旗ヲ掲ゲタママ、又下甲板ノ大砲ヲ撃チツツ Don Antonio de Ulloa 號ハ沈ンデ行ツタ。』

攻撃ノ目的ヲ達成スルヤ Dewey ハ忽チ救助作業ニ掛ツタ。即チ傷者ノ手當デアル。海岸ニ病院ヲ建テ Montojo 提督ノ下ニ使者ヲ遣ハシ「余ハ貴下ト握手スルコトヲ快ク思ヒ、且貴下ノ戰鬪ニ於ケル豪勇ナル態度ニ對シ敬意ヲ表スルモノデアル」ト傳ヘサセタ。

壞滅シタ敵艦隊ノ中、1886 年 建造、3,500 噸ノ鋼鐵巡洋艦 Reina Cristina 號ハ唯一ノ優秀艦デ、Isla de Cuba 號及 Isla de Luzon 號ハ共ニ 1,030 噸ノ小型巡洋艦デ、又 Don Antonio de Ulloa 號及 Don Juan de Austaia 號ハ修理ヲ要スル程ノ舊式甲鐵艦デアツタ。3,742 噸

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ木造ノ Castilla 號ハ一昔前ノ遺物デ、「アメリカ」艦隊ノ砲火ノ下ニ忽ニシテ燃エル屠殺場ト化シテシマヒ、Montojo 號ハ武裝ヲ解除シ、大砲ヲ陸揚スルノ止ムナキ有様トナツタ。上述ノ諸艦ノ外、尙西班牙側ニハ General Lezo 號及 Marques del Duero 號何レモ 500 噸ノ 2 砲艦及 Manila 號ト Isla de Mindanao 號ノ 2 隻ノ運送艦ト 4 隻ノ小型水雷艇トガアツタ。西班牙艦隊ハ攻防力ニ於テハ Dewey ノ率キル堂々タル 4 隻 1 組ノ巡洋戰隊ニハ及ビモツカナカツタガ、地ノ利ヲ得テヰタ。即チ射距離ノ判ツテヰル母港デハアルシ、又陸上砲臺ノ援護ヲモ期待出來タノデアル。

Montojo 提督ノ報告ニヨレバ、西班牙側ハ死傷 381 人、之ニ對シ「アメリカ」側ノ損害ハ極メテ輕微デアツタ。成程敵ノ命中彈ヲ受ケタ艦モ數隻ハアリ、其ノ內ニハ貫通シタモノモアツタガ、何レモ損傷ハ輕微デ、應急修理デ充分間ニ合フ程度デアツタノデ、戰鬪後モ戰鬪前ト同樣良好ナル狀態ヲ保ツタ。戰死者ハ 1 人モナク、タダ輕傷者 7 名ヲ出シタノミデアツタ。

米國艦隊ハ西班牙側ヨリモ大ナル實力ヲ擁シテヰタガ、豫期シテヰタトハ云ヘ魚雷ヤ機雷ノ危險アル未知ノ港灣ニ進入スルノ不利ガアツタ。其ノ上敵ハ海岸ニ要塞ヲ持ツテヰタ。當時ノ新聞ニモ『西班牙ノ提督ハ米國艦隊ガ近クノ何レカニ居ルトハ知ツテヰタガ、ヨモヤ米國ノ提督ガ、待チ構ヘテ居リ、兩側ニ砲臺ガアリ、機雷ノ敷設シテアル港灣ニ夜間進擊ヲ試ムル程大膽デアルトハ考ヘモシナカツタ。Dewey ノ勝利ノ半分ハ、彼ガ敵ノ意表ニ出タ事ニアル。イザ戰鬪トナレバ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

彼ニ劣ラズ勇敢ナル人モ、先ヅ偵察ニ時ヲ費スノガ普通デ、カクテ敵ニ戰備ノ時間ヲ與ヘル事ニナツタデアラウ。』ト出テキタ。

戰後間モナク、Dewey ノ人物ヲ良ク知ツテキル人ガ、彼ノ勝利ノ素因ヲナシタル彼ノ特性ノ二、三ヲ裏書シテ、『Dewey ハ海ニ關スル凡百ノ事項ハ之ヲ生涯研究シテ止マナカツタ。彼ハ非常ナ讀書家デアツタガ、併シ彼ノ勉學ハ海洋科學又ハ是ニ關聯スル部門（例ヘバ海軍史ノ如キ）以外ニハ滅多ニ出ナカツタ。彼ハ又港灣學ヲモ研究シ、又一廉ノ地理學者デモアツタ。私ハ彼ノ「マニラ」ニ於ケル成功ハ、幾分カ彼ノ港灣學ニ負フ處ガアルト思フ。彼ノ人トナリヲ知ラヌ人々ニハ寧ロ驚異トサレル樣ナ、例ノ深夜ノ突擊ヲ決行シタ時モ、彼ハ自ラ今何ヲシテキルカ、又今何處ヲ進ミツツアルカヲ確知シテキタノデアル。』ト述ベタコトガアル。

Dewey ハ「フィリッピン」諸島ト島外トヲ連絡スル水底電線ヲ押ヘタケレドモ、香港ノ電信會社ト西班牙トノ契約ノ手前、使用スルコトガ出來ナカツタ。ソコデ彼ハ「ワシントン」ト通信スル爲ニハ香港マデ通信艇ヲ往復サセナケレバナラナカツタ。戰爭最中西班牙ノ Augustin 將軍ハ本國政府ニ急信ヲ送ツテ、「勝利ハ我ニ在リ」ト報ジタ。此ノ通信ハ5月7日香港發信ノ Dewey ノ水底電信ガ、丸デ反對ノ事實ヲ通報スルマデニ米國民ニ達シタ唯一ノモノデアツタ。此ノ Dewey ノ通信ハ、合衆國内デ非常ナ歡喜ヲ以テ迎ヘラレタ。海軍長官ハ直ニ Dewey 提督ノ壓倒的勝利ニ對シテ祝電ヲ打ツタ。同時ニ大統領ハ彼ヲ海軍少將心得ニ任命スル趣ヲ通達シタ。議會ハ間モナク、彼

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ對シ感謝ノ言葉ト劍ヲ贈ル決議案ヲ可決シタ。

戰爭ノ結果トシテ、Dewey ハ Cavite 岬ノ造兵廠ト Corregidor ノ砲臺ヲ領有シタガ、陸軍ニ之ヲ完全ニ引繼グ迄ハ市街附近ノ防禦陣地ヲ砲撃セヌ事ニシタ。ソレハ一ニハ彈藥ノ缺乏ヲ來シテ居タカラデモアル。軍需品及陸軍ノ急送ヲ要求シタノニ對シ、中央政府當局ハ直ニ彈藥ヲ積ンダ巡洋艦 Charleston 號ヲ急派スルト共ニ、5月11日陸軍省ハ新ニ編成サレル Philipine 軍團ノ指揮官トシテ Merritt 將軍ヲ任命シタ。

Charleston 號ハ途中西班牙領「グアム」島ノ占領ヲ命ゼラレ、容易ニ之ヲ果シタ。6月30日第1回ノ陸軍派遣隊ガ「マニラ」ニ到着シ、同日 Charleston 號モ入港シタ。「モニトール」艦 Montery 及 Monadnock ノ兩艦ハ太平洋ヲ越エテ長途ノ遠征ニ上ツタ。Montery 號ハ後章ニ述ブル「フィリッピン」首都ノ砲撃ニ間ニ合フ事ガ出來タ。5月1日ノ Dewey ノ勝利ハ東洋ニ於ケル西班牙ノ勢力ヲ一掃シタ。戰勝ハ到ル所ニ非常ナ影響ヲ與ヘ、自國內ニ於テ大海軍熱ヲ起シタノミナラズ、歐洲一般ニ米國海軍力勃興ノ强キ印象ヲ與ヘタ。又此ノ勝利ニヨツテ戰爭終焉ノ早カラン見込ガツイタノデアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第26章　西印度作戦

◎Cuba ノ 封 鎖

4月21日附ノ Sampson 宛ノ命令ニハ、彼ノ麾下ノ艦長達ガ計畫シテヰタ Havana 攻撃ヲ當分ノ間嚴ニ見合ハスベシト アツタ。假令海軍ガ占領シタ所デ、之ガ守備ニ任ズル陸軍ノ準備ガナカツタカラデアル。又西班牙海軍撃滅ト云フ更ニ重要ナ任務ニ備ヘテ、Sampson 麾下ノ諸艦ヲ1艦モ損耗シナイ樣ニスベキ最モ重要ナ時機デアツタカラデモアル。而シテ其ノ當時彼ノ爲スベキ最大任務ハ、此等ノ命令ニ牴觸シナイ範圍ニ於テ封鎖ヲ決行スルコトデアツタ。此ノ擧ハ直ニ Cuba 島ニ於ケル西班牙陸軍ヲ無援孤立ノ狀態ニ陷レ、其ノ結果西班牙ガ西印度諸島中最モ重要ナル此ノ島ヲ快ク放棄セザル限リハ、其ノ艦隊ヲシテ反撃ノ作戰ニ出デザルヲ得ナイ樣ニシタ。元々 Cuba ノ保有ガ戰爭ノ原因トナツタノデアルカラ、自然西班牙ハ Cuba 島駐屯軍隊ノ爲凡ユル努力ヲ拂フコトハ必定デアツタ。

合衆國ハ賢明ニモ、眞先ニ海軍力ヲ Cuba ノ封鎖ニ向ケタ。說ヲナス者ハ、「海上ニ於ケル私有財產ノ奪略ハ野蠻時代ノ遺物ナリ、而シテ陸上ニ於ケル軍隊ヲ以テスル奪略ト同樣ニ、共ニ默認セラルベキモノニ非ズ」ト主張スル。然シ若シ流血ノ慘ヲ見ルコトナク目的ヲ達成スルコトガ出來、又若シ例ヘバ陸上ノ包圍攻撃ニヨツテ守備兵ヲ飢餓降服セシメ得ルナラバ、何ヲ苦シンデ人命ヲ濫費スル必要ガアラウカ。Mahan 曰ク、『封鎖ハ最モ科學的ナル戰鬪ナリ。何トナレバ封鎖

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ血ヲ見ルコト最モ少ク、又最高級ノ戰略ト同様ニ敵ノ個人個人ニ對スルモノニ非ズシテ、外部トノ交通即チ資材ヲ斷タンガタメノモノナレバナリ。血ヲ流サシムル代リニ、資材ニ不自由セシメテ遂ニ己ガ目的ヲ達セシハ、實ニ海軍力ノ功績ナリキ。』ト。

封鎖ハ最初カラ有効デアツタ。米國海軍ハ戰役中敵船約56隻ヲ拿捕シタルニ對シ、西班牙ノ捕獲シタノハ唯1隻ノ Saravac 號デ、ソレモ後デ不法行爲ナリト宣言サレタト言ハレテヰル。Cuba 島ノ諸港封鎖ニ關聯シ、兎角中立國政府トノ間ニ起リ勝ナル諸問題ヲ回避スル爲、合衆國ハ封鎖範圍ヲ決定スルニ當リ島ノ封鎖ノ實績ニ影響ノナイ樣ニ考慮シタ。

戰端勃發ノ直前即チ兩國ノ關係愈險惡狀態ニアル時ニモ、又戰爭ノ初期ニ於テモ、悠々ト大西洋岸ニ於ラ艦隊ヲ動員スルコトガ出來タ。海軍少將 Sampson 麾下ノ艦隊ハ二ノ戰隊ヨリ成リ、一ハ彼ノ直率ノモノニシテ、Cuba ニ容易ニ達シ得ル地點ナル Key West ヲ前進根據地トスルモノ、他ハ代將 Schley ノ遊擊艦隊ニシテ、Cape Verde 諸島ノ St. Vincent ニ碇泊中ノ Cervera ノ率ヰル西班牙艦隊ノ如何ナル行動ニ對シテモ即應シ得ル如ク整備シテ Newport News ニ集結シテヰタ。又 Delaware 以北ノ沿岸防禦ノタメ、Howel 代將麾下ノ北方哨戒部隊ガ大急ギデ編成サレタ。西班牙陸軍力ノ弱サト Cervera 艦隊ノ行先地ガ明瞭トナルニツレテ、漸次沿岸都市ノ恐怖ガ解消シタノデ、Howel 戰隊ノ諸艦ハ1隻又1隻ト Cuba ノ封鎖ノ應援ニ向ツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

◎Cervera 艦隊ノ捜索

前章ニ於テ述ベタル如ク、Cervera 提督ハ Cape Verde 諸島ヲ4月29日其ノ行先地ヲ秘シテ出港シタ。同提督ハ既ニ 1898年2月12日本國ノ海軍大臣ニ一書ヲ送ツテ「アメリカ」艦隊ノ配置、行動及其ノ補給基地ニ關スル情報、豫想戰場ノ海圖及參考圖書ノ送致竝ニ對敵行動ヲ起シタル場合ニ於ケル自艦隊ノ目的等ニ關スル命令ヲ求メタ。尙『余ハ米國トノ一戰ヲ豫想セザルヲ得ズ。若シ有効ナル情報ヲ網羅スルヲ得バ有利ナラント信ズ。』ト書キ、次ニ其ノ當時彼ガ究明セント努力シテヰタ事項ヲ列擧シ、更ニ『若シ之等ノ事項ニ關スル情報ヲ得バ、余ハ先ヅ其ノ地ニ至ツテ研究ヲ始メ、ソレニ對スル最善ノ對策ヲ究メン。而シテ若シ愈戰爭開始ノ日到來セバ、吾人ハ何等迷フコトナク吾人ノ執ルベキ道ヲ進ムコトヲ得ン』ト書續ケテアツタ。此ノ條理アル切々タル要求ニ對スル回答ハ餘リニモ曖昧ニシテ非實際的ノモノデアツタ。Cervera 提督ハ何回トナク情報及訓令ヲ求メタケレドモ、無能無智ナル海軍大臣ノタメニ其ノ都度要領ヲ得ナカツタ。遂ニ前述ノ出港命令ガ發セラレタノデアル。

ソコデ Cervera 提督ハ、旗艦 Maria Teresa, Cristobal, Colon, Vizcaya 及 Almirante Oquendo 號ヨリナル巡洋艦戰隊ノ1隊ト、Furor, Platon 及 Terror ノ3驅逐艦ヲ率キテ西方ニ向ツタ。

Long 海軍長官ハ Cervera 艦隊出港ノ情報ニ接スルヤ、直ニ之ヲ Sampson 提督ニ通報スルト共ニ、ソノ行先ハ西印度諸島ナラント暗

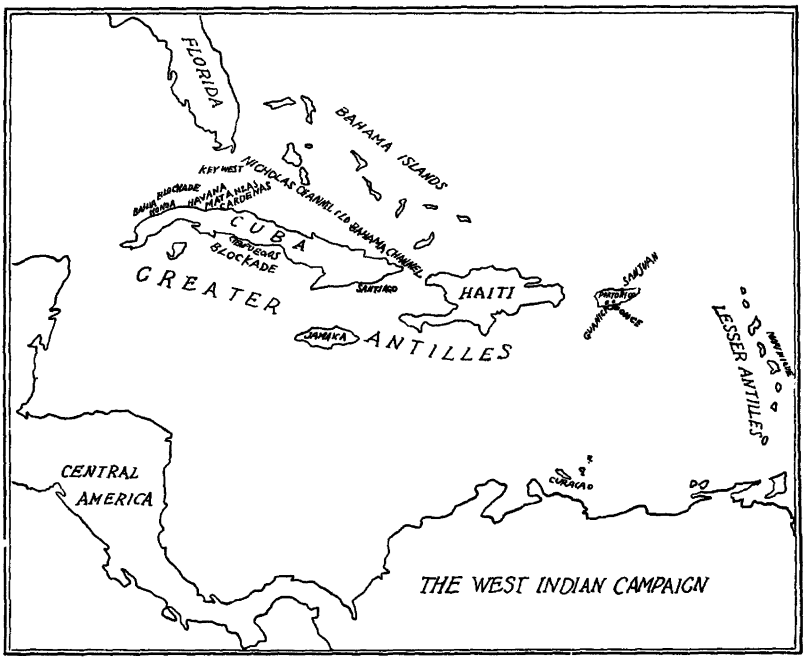
http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

示シタ。同時ニ前以テ海軍ニ徴傭シ置キタル特設巡洋艦 Harvest, St. Louis 及 Yale 號ヲ派遣シテ、Martinigul, Guadeloupe, Porto Rico 沖ニ索敵ヲ命ジタ。中央ニ居ル戰略家連ガ Cervera 艦隊ノ目的港ハ Porto Rico ナラントシタノモ全ク自然デ、西班牙軍ノ補給基地ニ最モ近キコノ西班牙屬領ハ、給炭港トシテノミナラズ、Cuba ニ於ケル、又米國西海岸ニ對スル、爾後ノ作戰基地トシテ優秀ナル足溜デアツタノデアル。Cervera 提督ノ率キル諸艦隊ハ何レモ高速デアツタノデ、大體5月8日ニハ西印度諸島近海ニ到達スルモノト考ヘラレテヰタ。同艦隊邀撃ノタメ Sampson 提督ハ5月4日 Key West 軍港ヲ發進シタ。然シ Terror 號、Suphitrite 號ノ如キ低速ノ「モニトール」艦ノ爲ニ遲レ、漸ク5月12日未明ニ Porto Rico ノ San Juan ニ到達シ、直ニ其ノ地ノ要塞ヲ砲撃シ始メタ。併シ夜ガ明ケテ見ルト Cervera 艦隊ハ碇泊シテ居ラナカツタ。San Juan ガ無防備デアル事モ之デ判ツタノデ、米國ノ艦隊ハ其ノ儘他ノ任務、即チ Cuba ノ封鎖ニ向ツタ。勿論 Sampson ハ San Juan ヲ無理ニモ陷落セシメヤウト思ヘバ出來ヌコトハナカツタガ、併シ陷落セシメタ所デ之ヲ守備スベキ軍隊モナカツタシ、又若シ此ノ攻撃ノ爲艦隊ヲ Porto Rico ニ集結シテ敵艦隊ヲ逃ガシ其ノ結果 Cuba ノ封鎖ヲ無意味ニスル樣ナコトガアツテハ大變ナノデ、敢テ陷落セシメル樣ナコトハシナカツタ。

敵艦隊ノ行動ヲ注進シタ最初ノ米艦ハ Harvard 號デ、同艦ハ5月11日ニ敵ノ Furor 號ガ Fort de France ニ寄港シタコトヲ知ツタ。併シ Harvard 號ハ敵ガ港外ニ待伏シテ居ルト言フ噂ヲ聞イタノデ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



The West Indian Campaign

HP『海軍砲術学校』公開史料

St. Pierre ニ止マラザルヲ得ナカツタ。併シ實ハ Cervera 艦隊ハ當時 Curacao ニ向ケ航進中デアツタノデアル。兎ニ角西班牙ノ艦隊ガ「カリブ」海ノ東南部ニアルコトガ明瞭トナルヤ否ヤ、Long 海軍長官ハ其ノ眞ノ目的港ハ Cuba ニ相違ナシトシテ、Schley ニ Key West ニ進出スル樣ニ命ジ、同日（5月15日）高速偵察艦 Minneapolis, St. Paul 及 Harvard 號ヲ Cervera 艦隊ノ追跡ニ向ハシメタ。其ノ間ニ Sampson ハ艦隊ヲ Cuba ノ北岸沖ニ在ラシメ自ラハ New York 號ニ坐乘シテ Key West ニ急行シ、5月18日同地ニ於テ Schley ト會合シタ。19日朝 Schley ハ麾下ノ艦隊ヲ率キ Cienfuego ニ向ケ出港シタ。之ハ Cervera ガ Santiago ニ入港シタノト丁度同時刻デアツタ。Schley ガ段々目的港 Cienfuego ニ接近スルヤ、港口ヲ遮蔽シテキル高イ要塞ノ彼方カラ數條ノ煤煙ガ立上ルノヲ認メ、サテハ敵艦隊ハ此處ニ居ルニ違ヒナイト判斷シタ。ヤガテ陸上カラ信號ガアリ Cervera ノ Santiago 到着ヲ報ジテ來タガ、サテ果シテ二港ノ內何レニ敵ガ隱レテ居ルヤ最モ肝腎ナル點ニ疑問ガアツタ。此ノ疑問ノ爲ニ可成リ手間取ツタ。Santiago ニキルトノ情報ガ正確ト分リ、且 Cienfuego ヲ偵察シタ後始メテ Schley 代將ハ Santiago ヘ向ケテ出發シタ。ソレハ實ニ5月24日ノコトデアツタ。當時 Cervera 艦隊ハ Havana 入港ヲ試ミルナラント考ヘラレテキタノデ、Sampson 提督ハ Cervera ガ Santiago ニ封ゼラレテ居ルコトガ明確トナル迄ハ敢テ Cuba ノ北岸ヲ離レヤウトシナカツタノデアル。5月29日麾下ノ諸艦ガ給炭ヲ完了スルヤ、Havana 封鎖中ナル艦隊ノ中ヨリ主要部隊

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ抜イテ Santiago ニ急行シタ。

以上ノ事柄ニ依リ、Cervera 艦隊ガ其ノ劣勢デ以テ能ク「アメリカ」側ノ集結ヲ阻止シタコトハ西班牙ニトリ非常ニ有利デアツタコトガ證明セラレル。是ハ海軍戰略家ノ所謂 "Fleet in being" ノ利益ヲ例證セル歷史上ノ多數ノ實例ノ一ツデアル。即チ凡テ艦隊ノ意義ハ其レ自身ガ制海權ヲ握ルコトニアルノデハナクテ、敵ノ制海權ヲ阻止スルニ足ル丈ノ强サヲ有スルニ在ルノデアル。西班牙艦隊ガ存在シテ居リ、特ニ其ノ目的ガ不明デアツタ以上、單ニ Cuba ノミナラズ又「アメリカ」合衆國ノ沿岸全部ニ於テ軍事行動ヲ起ス虞レガアツタ。

Schley 代將ハ到著スルヤ先ヅ敵ガ灣內ニ在ルコトヲ確認シタ後、Santiago ノ封鎖ヲ開始シタ。5 月 31 日彼ハ灣口ニ屹立スル要塞ヲ攻撃シタガ、具體的ニハ何等取リ上ゲテ云フ程ノコトモナカツタ。此ノ事ハ海軍ガ取得シタ所ノモノヲ確保スルニハ、整然タル陸上ノ行動ガ之ニ伴ハナケレバナラヌコトヲ證明シテヰル。

Sampson 提督ハ 6 月上旬到着スルヤ間モナク、細心ニシテ完全ナル Santiago 封鎖計畫ヲ發表シタ。Morro カラ 1 浬離レタ所ニ 3 隻ノ汽艇ヲ配シ、海岸カラ 3～4 浬離レタ所ニ麾下ノ戰艦及巡洋艦ヲ半圓形ニ排列シタ。夜ニナルト戰艦ハ封鎖線ノ中央附近ニ接近シテ、ジツト港口ニ探照燈ヲ照射シ、一方傍艦ハ敵ノ如何ナル砲火ニ對シテモ直ニ之ニ反撃ヲ加ヘ得ル如ク其ノ隣ニ位置シタ。

6 月 6 日 Sampson ハ Morro, Agnadors 及 Socapa ヲ砲撃シ發射彈數實ニ總計 2,000 發ヲ算シタ。砲臺ハ屢命中彈ヲ受ケテ死者 3 名、負

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

傷者40名ヲ出シタ。要塞ハ海面ヨリ非常ニ高所ニアツタノデ、多クノ砲彈ハ彼等ノ頭上ヲ飛ビ越エ、Smith Key ニアル村落ニ可成リノ損害ヲ與ヘタ。港内ニ碇泊中デアツタ Reina Mercedes 號ガ損害ヲ被ツタノハ、之等ノ飛高彈ニヨルモノデアツタ。同艦ハ命中彈實ニ35發ヲ受ケ2回モ火災ヲ起シタ。西班牙砲臺ノ反撃ハ頗ル貧弱デ、我ガ Massachusetts 號ガ唯1彈ヲ蒙ツタノミデ、Sampson 麾下ノ他ノ諸艦ニハ少シノ損害モナカツタ。

一方6月3日ノ夜半、海軍造船官 Hobson ハ7名ノ義勇兵ト共ニ沿岸砲臺ヨリノ猛射ヲ冒シテ Santiago 港ノ出口ノ狹水道ニ給炭船 Merrimac 號ヲ沈沒セシメテ之ガ閉塞ヲ試ミタ。決行後總員ハ奇蹟的ニモ命カラガラ逃ゲ去ルコトガ出來タガ、不幸ニモ西班牙人ニ捕ハルル所トナツタ。此ノ勇士一行ノ剛勇ハ西班牙提督ノ衷心ヨリ賞讃スル所トナリ、同提督ハ彼等ノ安全ナルコトヲ Sampson 提督ニ通報スルタメ、且ツ彼等ノ勇敢ナル行爲ニ對スル儀禮トシテ休戰旗ヲ送ツタコトヲ此處ニ記述スルハ實ニ感激ノ至デアル。彼等ハ後程6月7日ニ行ハレタル捕虜ノ交換ニヨツテ生還シタ。

6月7日ニ Cuba ノ水底電線ノ最後ノ1本ガ切斷サレテカラハ、同島ハ完全ニ孤立スルニ至ツタ。此處ニ於テ攻撃モ愈活潑ニ續行セラレ、3日ノ後ニハ猛烈ナル掩護射撃ノ下ニ Oregon, Marblehead 及 Yankee 號ヨリ揚陸シタル 600 ノ海兵隊ハ海軍根據地ノ建設豫定地ナル Guantanamo 灣ニ上陸シタ。海兵隊ハ惡戰苦闘ノ後、此ノ重要ニシテ必要ナル港ヲ占領シタ。(海兵隊ハ米國ニ於テ Cuba 上陸ノ爲

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ初メテ編成サレタモノデアル)。

此處ニ於テ敵ハ我ヲ擊攘セント必死ノ攻擊ヲ試ミタガ、我ガ海軍ハ能ク之ヲ死守シタ。6月16日迄ニハ援隊ノ海兵隊ハ上陸ヲ完了シ、堅固ナル堡壘ヲ構築シタ。6月22日陸軍少將 Shafter ノ率キル陸軍ハ Santiago ノ東方約15哩ノ Daiquiri ニ迫リ、不利ナル情況ノ下ニ在リ乍ラモ、迅速ニ上陸ヲ完了シタ。6月23日ヲ以テ Santiago ニ對スル軍事行動ガ開始セラレタ。24日第1回ノ激戰ガアリ、夜戰ニ入ル迄ニハ既ニ Santiago ヨリ5哩足ラズノ地ヲ占據シ、引續キ着々進軍シタ。7月1日惡戰苦鬪ノ後我ガ軍ハ Santiago ノ外堡ヲ占領シタ。同2日突擊又突擊、遂ニ El Caney 及 San Juan ヲ拔クニ至リ、斯クテ Santiago 市ヲ完全ニ包圍シタ。此ノ間我ガ海軍ハ終始都市及海岸堡壘ヲ砲擊シ能ク協同作戰ノ實ヲ擧ゲタ。

◎Santiago ノ海戰

7月3日即チ我ガ陸上部隊殊勳ノ翌日ニ彼我艦隊ノ決戰ガ行ハレタ。此ノ時我ガ封鎖艦隊ハ距岸1.5浬乃至2浬ヲ保ツテ港口附近ニ長キ半圓形ヲ爲シテ碇泊シ、東カラ Indiana, New York, Oregon, Iowa, Texas 及 Brooklyn 號ノ順序デアツタ。3日朝9時直前 Sampson 提督ハ親シク Shafter 將軍ト協議スルタメ旗艦 New York ヲ Indiana 號ト Oregon 號ノ間ヨリ4浬東方ニ轉錨セシメタ。改裝快遊船 Hist 及水雷艇 Ericsson ハ之ニ隨伴シタ。補助艦 Gloucester (元ノ快遊船 Corsair ハ Indiana 號ノ稍東寄リニシテ、港ニ更ニ近イ箇所ニ投

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

錨シ、其ノ間 Brooklyn 號ノ西方ニハ砲艦 Vixen ガ位置シタ。

New York 號ガ轉錨ヲ開始シテヨリ約 40 分ノ後、港外ニ突進シテ來ル西班牙ノ 1 巡洋艦ノ艏ガ見エタ。同時ニ數隻ノ我ガ艦ハ「敵艦脫出中」ノ信號ヲ揚ゲタ。「戰鬪配置」ノ喇叭ハ各艦ニ鳴リ渡リ、兵員ハ砲側ニ飛ビ、一方西班牙艦隊ガ逃ゲナイ中ニ之ニ肉迫シ得ル如ク充分ノ蒸氣ヲ揚ゲルタメニ、罐室ヲ强壓通風トシタ。西班牙軍ノ縱陣ハ旗艦ヲ先頭ニ舳艫相銜ミ Infanta, Maria Teresa, Vizcaya, Cristobal Colon, Almirante Oquendo 號ノ順序ヲ以テ港口ヲ出テ來タ。Maria Teresa 號ハ港口ヲ出ルヤ直ニ西ニ急角度ノ回頭ヲナシ、爾餘ノ諸艦之ニ倣ヒ總艦全速力ヲ以テ遁走ヲ始メタ。

遙カ東寄リニ碇泊シテ居タ旗艦 New York ハ彈着距離內ニ到達セント全力運轉ヲシタガ、戰鬪ノ初期ニハ間ニ合ハナカツタ。敵ガ見エルト直グ旗艦ハ「港口ニ接近シテ敵艦隊ヲ攻擊セヨ」ト信號シタケレドモ、戰鬪準備ヲ完成シ一觸即發ノ狀態ニアツタ各艦ハ、其ノ命令ヲ待ツコトナク旣ニ戰鬪ヲ開始シテヰタ。數分後西班牙ノ巡洋艦ハ封鎖線ヲ斜ニ突破シタノデ、戰鬪ハ自然追擊戰トナツタ。追擊戰ニナルト Texas 及 Brooklyn 號ノ位置ハ恰好ノモノトナツタ。

彼此スル中ニ Gloucester 號艦長 Wainwright 少佐ハ敵艦隊ノ西航スルノヲ見テ取リ、直ニ之ニ向ヒ輕砲ヲ以テ攻擊シタ。併シ次ニ敵驅逐艦 Platon, Furor ノ 2 隻ガ隊ノ後尾ヨリ出現スルコトヲ豫想シ、蒸氣壓力ヲ依然其ノ儘ニ保ツテ速力ヲ落シタ。斯クテ此等ノ驅逐艦ガ縱陣ノ後ニ從ツテ現ハレタ時、彼ハ全速力ヲ以テ之ニ突進シ近距離ヨ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

リ砲火ヲ浴セカケタ。此ノ Gloucester 號ハ全ク無防禦デ而モ其ノ備砲ハ兩驅逐艦ノ何レヨリモ貧弱デアツタ。數分ノ後一番艦 Platon 號回頭ト見ルヤ、海岸ニ乘上ゲ自爆ニヨリ一瞬ニシテ眞二ツトナツタ。Furor 號ハ Gloucester 號ノ主砲ト Indiana 號ノ副砲ニ追ヒマクラレ最早遁レ難シトハ知リツツモ更ニ數分間前進ヲ繼續シタガ、遂ニ近接中ノ New York 號ノ1彈ニヨリ海底深ク擊沈セラレタ。此ノ近距離ノ混戰中ニ在ツテ Gloucester 號ハ驅逐艦ノ砲撃ヲ受クルト共ニ、一方 Scapa ノ海岸砲臺ノ亂射ニ暴露セラレテヰタニモ拘ラズ、其ノ何レヨリモ1發ノ命中彈モ受ケナカツタト云フ事實ハ特筆ニ價スル事柄デアラウ。

巡洋艦隊ハ西方ニ方向變換ヲナスト見ルヤ、既ニ米國海軍砲術ノ實力ヲ發揮シ始メタ。約15分ニシテ Maria Teresa ハ火災ヲ起シタ。同艦ノ艦影ガ港口ニ現ハレテヨリ 45 分モ經過セザルニ、早ヤ同艦ハ回頭シ火焰ヲ吹イテ海岸ニ乘セ上ゲタ。其レヨリ5分後 Oquendo モ亦同樣ナ狀態デ海岸ニ乘セ上ゲタ。敵味方兩艦隊中デ快速ヲ誇ル Colon 號ハ Vizcaya 號ヲ追越シ、「アメリカ」艦隊ノ嚮導艦ノ射程外遠ク逃ゲ去ツタ。Maria Teresa 號ハ乘上ゲル直前 Brooklyn ヲ衝撃シヤウト死物狂ニナツタ。近寄リ來ル Teresa 號ニ向ツテ己モ亦突進シツツアツタ Brooklyn 號ハ突然面舵ヲトツテ遠距離乍ラモ敵ノ縱陣ト同航スル如ク海岸ト反對側ナル南ニ思ヒ切ツテ大回頭ヲナシタ。斯クテ同艦ハ敵ノ衝撃ハ免レタガ、元來取舵ヲ取ルベキ時ニ面舵ヲ取ツタノデ、前續艦トノ距離ヲ失ヒ Texas 號ト衝突シサウニナツタ。此ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

無理ナ回頭ヲナシタ理由ハ、元老院査問會議ニ於ケル Schley 代將ノ口述書ニ依レバ、味方ノ諸艦ノ砲火ヲ邪魔セザランガ爲デアツタトノコトデアル。

11 時頃 Vizcaya 號亦火災ヲ起シ、方向變換ヲ爲シテ海岸ニ乘上グルノ餘儀ナキニ至ツタ。此ノ時西班牙艦隊唯一ノ殘存艦ニシテ快速ヲ誇ル Colon 號ハ Brooklyn 號ト Oregon 號ノ前方 6 浬ノ箇所ニ居タ。追撃ニ際シ後者ハ Iowa 號ト Texas 號トヲ追越シテ第二ノ位置ニ就イタガ、何シロ Colon 號ハ速力 20 節ト想像セラレテヰタノデ遁走ニハ絶好ノ機會デアルカノ如ク思ハレタ。

斯クテ Sampson ハ捕虜救助ノ爲ニ比較的低速ノ艦ヲ後方ニ留ラセ、自ラハ New York 號ヲ率ヰテ、追撃中ノ Brooklyn, Vixen, Oregon 及 Texas 號ト合同シタ。1 時間モ經ツト、Colon 號ハ何故カ高速ヲ保持シ得ザルニ至ツタ。一方米艦ハ刻々之ニ追付キツツアルコトガ明瞭ニナツタ。殆ド 1 時頃 Oregon 號ハ Colon 號ノ丁度前方ニ 13 吋砲彈 1 發ヲ落シタ。Colon 號ハ其ヨリ 15 分ノ後風下ニ 1 發ヲ放ツタノミデ、軍艦旗ヲ撤シテ海岸ニ乘上ゲタ。故意ニ擱坐シタ後、其ノ乘員ハ怪シカラヌコトニモ海水弁ヲ開イテ其ノ船ヲ沈メタ。之ヲ以テ Cervera 艦隊ハ完全ニ敗滅シテシマツタノデアル。

次ニ記スル Sampson 提督ノ戰鬪詳報ノ一節ハ、救助作業ニ從事シタ米國將校下士官兵ノ努力ヲ遺憾ナク證明シテ居ル。

Indiana 號ハ Santiago ノ西方約 10 浬ニ於テ「港口ニ歸還スベシ」トノ信號ヲ受ケ、又 Iowa 號ハ Acervanderos ニ於テ「再ビ封鎖位置

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ着ケ」ノ信號ヲ接受シタ。Iowa 號ハ Ericsson 號及 Hist 號ト共ニ Vizcaya 號ノ乘員ヲ救出シタ。其ノ間 Harvard 號及 Gloucester 號ハ Infanta Maria Teresa 號及 Almirante Oquendo 號ノ乘員ヲ救出シタ。火災ヲ起セル西班牙ノ軍艦ヨリ捕虜及傷兵ヲ救出シタノハ戰鬪中ノ最モ大膽且勇敢ナ行爲ノ一デアツタ。艦ハ前後部共ニ火ヲ發シ、砲臺ヤ豫備彈藥ハ爆發シ、今ニモ中央火藥庫ニ火ガツクカト思ハレタ。加之大キナ寄セ波ガ、ドンドン艦內ニ打チ込ンデ居タ。併シ如何ナル危險ヲモ我ガ將士ハ之ヲ意トセズ、着々救助作業ヲ繼續シタ。

捕虜ノ總數ハ司令長官以下實ニ 1,300 名ニ達シ、同長官ノ推測ニ依レバ敵ノ戰死約 600 名デアツタニ對シ、米國側ハ戰死 1 名 (Brooklyn 號) 重傷 1 名デアツタ。我ガ艦ノ中ニハ相當命中彈ヲ受ケタルモノガアツタガ損害甚シキモノハ 1 隻モナク、而モ Oregon, Indiana, Gloucester, Vixen 及 New York 號ノ各艦ハ 1 發ノ敵彈モ受ケナカツタ。

Santiago ノ戰鬪ニ於ケル兩軍ノ勢力ヲ比較スレバ米國側ガ優勢デアツタコトガ判ル。西班牙側ノ 4 隻ノ巡洋艦ハ最新式裝甲艦デ、其ノ中 3 隻ハ 7,000 噸、他ハ 6,840 噸デアツタ。以上ノ外ニ驅逐艦 2 隻ヲ有シテヰタ。一方米國側ニ於テハ 10,000 噸以上ノ戰艦 4 隻、8,000 噸以下ノ裝甲巡洋艦 2 隻ト 1 隻ノ改裝快遊船ガアツタ。

◎ Santiago 海戰ノ評論

獨逸海軍中佐 Jacobson ハ Cervera 艦隊ノ不幸ナル企圖ニ關シ、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

頗ル暗示的ナル評論ヲ下シテ曰ク、『出撃ニ成功スル機會ハ唯一ツシカナカツタ。即チ夜間ニ分散隊形ヲ以テナスベキデアツタ。夜間ニ艦隊ガ Santiago 港ヲ脱出スルコトガ實行容易ナコトハ、余ガ親シク同地ヲ踏査研究シタ後ノ所見デアル。Merrimac 號ヲ沈メテ港口ヲ閉塞シアルモ、之ハ障害トハナラナカツタ。7月半バ頃ノ新月ノ暗夜ハ此ノ企圖ニ誂向キデアツタト思ハレル。至近ノ距離ニアル敵艦ヨリ戰闘ヲ餘儀ナクサレタル場合、及暗闇ノ中ニ在ツテ敵カラ逸脱シ得ル見込ミ皆無ナルトキノ外ハ交戰セザル様嚴命シタル後、各艦豫定ノ別航路ヲ取ツテ脱出セシメ、且此ノ脱出ニ成功セシ諸艦ガ集合スベキ翌日ノ會合地ヲ決定シ置クベキデアツタ。

若シ艦隊ニハ夜間脱出ヲナス意志ガナカツタニモ拘ラズ、命ニヨリ敢テ脱出ヲ餘儀ナクセラレタル場合ニハ、各艦敵ニ突撃シ大砲ハ固ヨリ魚雷衝角凡ユル兵器ヲ使用スベキデアツタ。此ノ際緊密隊形ヲ以テスル大膽不敵ノ攻撃コソハ、優勢ナル敵ノ兵力ヲ壓倒スル唯一ノ機會デ、此ノ場合ニハ敵ハ殆ド陣形ヲ整ヘル暇モナカツタデアラウ。』

5月26日及6月8日 Santiago 在泊ノ西班牙艦隊旗艦上ニ開カレタル脱出法研究會議ノ席上、參謀長 Bustamente 大佐及 Maria Teresa 艦長 Cancas 大佐ガ、暗夜ヲ利用スル積極的脱出ノ有利ナルヲ說キ、且 Jacobson 中佐ガ暗示シタルト全ク同ジヤリ方、即チ各艦分散隊形ヲトリ、爲シ得ル限リ封鎖艦隊ヲ混亂ニ陷ラシムベキヲ主張セシヲ玆ニ記ス事ハ、獨逸海軍中佐ノ所見ト併セ考ヘ實ニ興味深々タルモノガアル。然ルニ他ノ將校ハ——實ニ司令長官迄揃ツテ此ノ擧ニ反對シタノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

デアル。

此ノ海戰ノ教フル諸教訓ノ内、Jacobson 中佐ハ次ノ事項ヲ擧ゲテヰル。(1) 木造構造物及無防禦魚雷發射管ヲ全廢スベキコト、(2) 砲員ニ對スル防禦裝置ヲ改善スルコト、(3) 命中彈ノ起ス火災ニ對スル防火裝置ヲ改善スルコト、(4) 大砲ノ發射速度ヲ極力速ムルコト、(5) 常備狀態ニ於ケル艦ノ速力ヲ高ムルコト、(6) 各科ノ兵員ノ訓練ヲ徹底セシムルコト等デアル。

西班牙艦隊ガ潰滅スルヤ、Santiago ハ忽ニシテ陷落シタ。同市ハ陸上ヨリ嚴重ニ攻圍サレ、且我ガ艦隊ガ入港シテヨリハ海上ヨリノ援助ハ完全ニ遮斷セラレテヰタ。17日 Shafter 將軍ガ同市ヲ占領スルヤ、市域ノミナラズ Cuba ノ東端ニ及ブ全般ガ一時ニ降服シタ。投降シタル西班牙兵ノ總數實ニ2萬2千名、是等ハ後程何レモ米國ノ保護ノ下ニ全部本國ニ送還セラレタ。

◎ Porto Rico ノ占領

Santiago ノ陷落スルヤ、次ニハ Porto Rico ノ占領ガ戰略上必定ノ要件トナツタ。其ノ爲ニ Miles 將軍ハ豫メ遠征隊ノ編成ヲ命ゼラレテヰタ。幸ニモ彼ハ Shafter 將軍ノ率ヰル部隊ヘノ援兵ト共ニ6月11日 Santiago ニ到着シテヰタ。Miles 將軍ハ步兵、砲兵併セテ3,415名、工兵2箇中隊、信號兵1箇中隊ヨリ成ル此等ノ援兵ヲ6隻ノ運送船ニ分乘セシメ、Higginson 大佐ノ率ヰル護衞艦隊ニ護ラレテ6月21日 Guantanamo ヲ出港シタ。遠征隊ハ殆ド抵抗ヲ受クルコトナク、

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

7月25日 Porto Rico 島ノ Guanica ニ上陸シタ。此處ヨリ遠征隊中2隻ハ San Jaun ニ行キ、更ニ Fajado 及 Ponce ヘト進ンダ。7月27日陸軍少將ノ率キル1隊ハ島中デ最モ重要ナ港ノ一ナル Ponce ニ入港シ、北ノ地ヲ根據地ト定メテ爾來本島占領ノ指揮ヲ執ツタ。

戰闘ハ別ニ大ナル抵抗ヲ受クルコトナク士氣愈高ラカニ續行セラレタ。8月12日迄ニハ Porto Rico 島ノ大部分ハ我ガ有ニ歸シ、殘リノ占領モ唯時間ノ問題タルニ過ギナカツタ。且我ガ派遣軍ハ島内各地ニ於テ熱狂的ナ歡迎ヲ受ケタ。

◎戰　　果

Santiago ノ大敗ヲ以テ西班牙ノ海洋政策ハ事實上行詰リヲ來シ、Camera 提督麾下ノ地中海艦隊ヲ「マニラ」救援ノタメニ派遣スルト言フ6月末ニ懸ケテノ天晴レナル試ミモ立消エトナリ、同遠征隊ハ「スエズ」運河通過後、ミスミス召還セラルルニ至ツタ。

戰爭ノ最後ノ場面ハソノ發生地ナル「マニラ」ニ於テ演ゼラレタ。海陸協同シテ陸上建築物ヲ强襲シタカト思フト、既ニ首府「マニラ」ハ無條件ニテ降服シタ。時ニ8月13日デアツタ。損害ハ比較的少カツタ。Philippine 諸島ノ征服ハ西班牙ノ抵抗能力ガ5月1日ニ於ケル Dewey 提督ノ勝利ニ依ツテ擊滅セラレタ時ニ、事實上成功シタノデアルガ、形式上ハ「マニラ」ノ陷落ヲ以テ終末ヲ告ゲタノデアル。

戰爭中ノ米國海軍ノ死傷者總數ノ内譯ハ、戰死17名、負傷67名、負傷後死亡1名、癈兵トナレルモノ6名、總計91名デアツタ。戰死

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

者中ニ Worth Bagley 海軍少尉ガアツタガ、同少尉ハ Cuba ノ Cardenas ニ在ル或ル砲臺ニ對スル5月11日ノ攻撃ニ於テ、水雷艇 Winslow 號上デ戰死シタモノデアル。一方西班牙側ハ死傷合計 1,000 名ニ及ンダ。Cervera 提督ハ Cuba ニ於ケル死傷600名ト報告シ、Montojo 提督ハ Philippine 方面ニ於ケル死傷381名ト報告シテキルガ、何レモ內輪ノ見積リト思ハレル。

兩國死傷者數ノ大懸隔ハ要スルニ Dewey 竝ニ Sampson 提督ノ砲術ガ正確無比デアツタコトニ原因シテキル。假令米國ノ發射彈數ハ西班牙ノソレヨリモ內輪ニ見積リ 5% モ多カツタトスルモ、命中彈數ハ砲數及發射彈數ニハ全然比例スルモノデナイコトハ依然トシテ眞理デアル。例ヘバ Santiago ニ於テ米國艦隊ノ命中彈數ハ敵艦隊ノ35發ニ對シ約123發デアツタ。而モ西班牙ノ命中彈ハ概ネ何レモ小口徑砲ニ依ルモノデ、殆ド否全ク損害ヲ與ヘナカツタ。斯クモ差異ガアツテハ、縱シ敵ガ如何ニ多數ノ艦船、砲熕ヲ揃ヘヤウトモ、勝利ハ矢張米國側ニ歸シタデアラウ。

尙又米國海軍ハ困難ナル封鎖戰、危險極マリナキ砲戰ト2度モ大戰鬪ヲ交フル一方、戰地ヘハ合計5萬以上ノ軍隊ヲ輸送シナガラ、而モ1門ノ砲モ1隻ノ艦モ失フコトナク、唯 Merrimac 號ノ乘員ガ西班牙ニ捕ハレタ以外ニハ、戰爭ヲ通ジテ1名ノ捕虜モ出サナカツタコトハ、特筆大書スベキコトデアル。

◎講和條約

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Cervera 艦隊ノ潰滅ニ次グ Santiago ノ陥落ニ依リ、西班牙政府ハ今ヤ全ク太刀打出來ヌ戰爭ヲ繼續スルコトハ無駄ダト悟ルニ至ッタ。斯クテ講和條約豫備交涉ハ米西戰爭中、常ニ西班牙ノ利害ノ好意的代表者デアルカノ如ク振舞ッテヰタ佛國大使ヲ通ジテ行ハレタ。8月12日午後西班牙全權大使 M. Combon 及米國全權大使タル國務長官ハ休戰條約ニ署名シタ。

是ニ引續イテ 1898年12月10日巴里ニ於テ講和條約ノ署名ヲ見、翌年4月11日 Washington ニテ批准公布セラレタ。內容ヲ要約スレバ次ノ如クデアル。

第1條　西班牙ハ Cuba 島ノ主權及名目ニ對スル凡テノ要求ヲ放棄スルコト。

第2條　西班牙ハ西印度ニ在ル西班牙領 Porto Rico 以下ノ島嶼及 Mariana 諸島（Ladrone 諸島）中ノ Guam 島ヲ合衆國ニ割讓スルコト。

第3條　西班牙ハ Philippine 諸島ト稱セラルル群島ヲ合衆國ニ割讓スルコト、但シ合衆國ハ此ノ條約ノ批准交換3箇月以內ニ 2千萬弗ノ金額ヲ西班牙ニ支拂フコト。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第27章　合衆國ノ世界ノ一強國トシテノ登場

◎「フィリッピン」ノ暴動

西班牙ノ敗北ト屈從トハ豫想モシ得ヌ事デアツタダケニ、米國人ヨリモ更ニ保守的ナ歐洲人ノ驚キ方ハ格別デアツタ。一方米國ハ國力ノ急激ナル伸張ニ伴ヒ、其ノ責任モ急ニ增大シタノデ大ニ困ツタ。外デモナイ、西班牙ヨリ 讓受ケタル 植民地ヲ 如何ニスルカト 云フ事デアル。是ハ實ニ大問題デアツタ。米國海軍ガ戰爭シタノハ、領土ガ欲シイカラデハナイ事位ハ、現ニ多クノ有識市民ガ「吾人ハ漸次建國ノ精神ヲ忘レテ帝國主義的ナル傾向ヲ有シツツアリ」等ト憂國的ナ意見ヲ述ベテヰタ事デモ解ル。殊ニ「フィリッピン」ノ領有ニ關シテハ反對意見ガ盛デ、輿論ハ決シテ賛成デハナカツタガ、大統領ト議會トハ、今更其ノ島々ヲ還付スル事モ、又賣却スル事モ、又獨立サセル事モ出來ナイカラ、尠クトモ或ル期間預ツテオキ、第一階梯トシテ先ヅ法規及秩序ヲ確立スル事ガ急務デアルト腹ヲ決メタ。

「マニラ」灣デ西班牙艦隊ガ 壞滅スルヤ、列强ハ此ノ島ニ 就キ非常ナ關心ヲ持チ始メタ。此ノ事ハ獨、英、佛ノ軍艦ガ「マニラ」ニ派遣セラレタ コトニ 依ツテモ、又日本ガ 覺書ヲ發表シタ事ニ 依ツテモ判ル。若シ Dewey 提督ガ國際公法ノ認ムル戰勝國ノ權利ヲ斷乎トシテ主張シナカツタナラバ、彼ハ己ガ艦隊ヨリモ更ニ優勢ナ程ニ着々集結ヲ續ケテヰタ獨逸ノ海軍力ニ惱マサレタカモ知レナイ。獨逸海軍ハ單

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ集結シテヰタノミデナク、其ノ士官ノ如キハ Dewey 提督ノ封鎖ノ宣言ヲ無視シテ、西班牙軍ニ對シテ糧食ヲ陸揚スル迄ニ立至ツテ居タノデアル。終ニ Dewey ハ默シ難ク、大尉參謀 T. M. Brumby ヲ Von Diedrich 海軍少將ノ下ニ遣ハシテ、『海軍間ノ禮儀ヲ無視スルモ又甚シキ事』ヲ難詰スルト共ニ、『若シ一戰ヲ交ヘントナラバ唯今オ相手仕リ度キ』旨ヲ傳達サセタ。

其ノ後獨逸提督ハ英國海軍首席指揮官 Chichester 大佐ヲ捜出シ、共ニ Dewey ニ反對セン事ヲ提議シタ處、Chichester 大佐ハ「Dewey ノ措置ニ不正ノ點更ニナキ」事ヲ理由トシテ、其ノ申込ミヲ峻拒シタトノコトデアル。

戰鬪後 3, 4 週間經ツテ、5 月 26 日 Long 長官ハ George Dewey 提督ニ打電シテ、『叛徒ト結ブ政治的同盟ニハ其ノ系統ノ如何ヲ問ハズ決シテ加盟ス可カラズ』ト誓告シタ。又 Merritt 將軍ガ海軍ノ工作ヲ完成スル爲ニ陸軍ヲ率キテ桑港ヨリ來着シタ時、彼ハ『Aguinaldo ヲ承認スルコトナク、假政府ヲ建設スベシ』トノ訓令ヲ持參シタ。既ニ叛徒ヨリナル軍隊ハ「マニラ」ノ周圍ニ頑丈ニ塹壕ヲ掘ツテ之ニ據リ、自ラ大火災ヲ誘發スル「マッチ」ヲ以テ任ジ、兩軍ノ間ニ小衝突(1899 年 2 月 4 日)ヲ引起ス如ク構ヘテヰタ。

「フィリッピン」島ノ人口ハ、獨立戰爭當時ノ米國ノ人口ノ大體 2 倍位アツタ。併シ總數既ニ 5 萬 4 千人以上ニモ達シテヰタ米國陸軍ニ向ツテ挑戰シタ處デ、問題ニハナラナカツタ。

問題ハ寧ロ土地ノ狀況ニアツタ。「フィリッピン」諸島ノ廣サハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

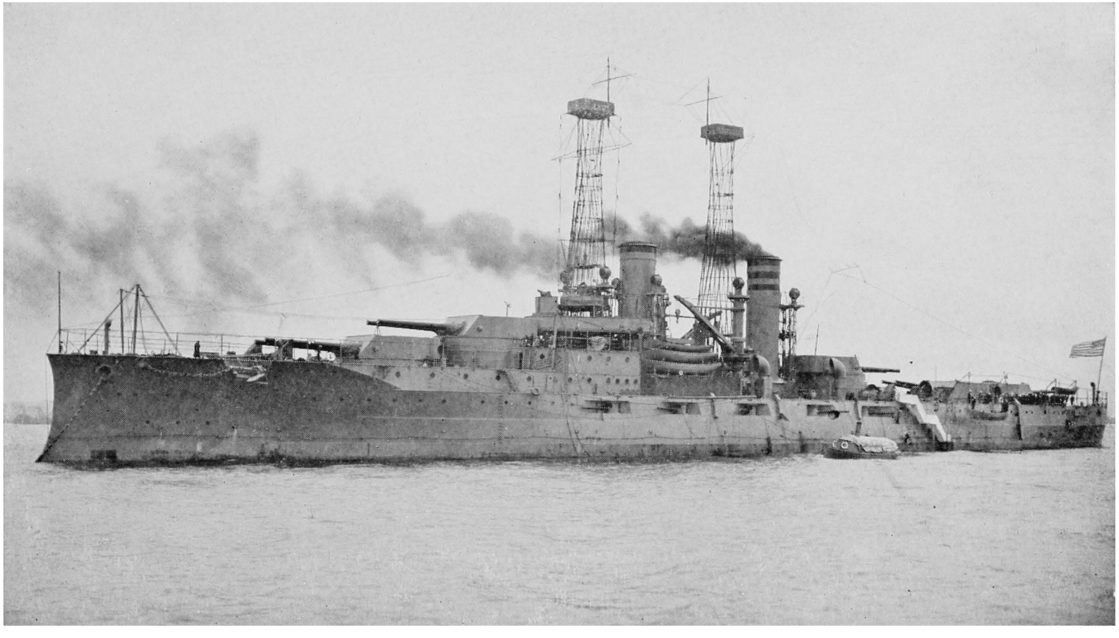
HP『海軍砲術学校』公開史料

New England 州ト New York 州トヲ合セタ位シカナイガ、若シ其ノ北カラ南迄ヲ東部合衆國ノ上ニ重ネルコトガ出來タナラバ、「フィリッピン」ハ Narragansett 灣カラ Key West ニモ及ブデアラウ。又其ノ海岸線ハ1萬1千哩デ、「アラスカ」ヲ除イタ合衆國ノソレヨリモ遙ニ長イノデアル。米國陸軍ニトツテ土地柄ヤ山脈ヤ沼澤ヤ稠密ナル熱帶森林等ノ障害ハサシテ問題デハナイトシテモ、暴動ヲ鎭定スル事ハ難事デ、海軍ノ協力ナクシテハ出來ナイ事デアツタ。併シ是ニ對シテハ、此ノ前ノ戰爭ノ勝利ノ原因デアツタ例ノ決斷ト迅速トヲ以テ當ツタ。

「マニラ」市及其ノ附近ニ於テ兩軍ノ間ニ戰鬪ガ始ツタ時ニ、軍艦ハ海岸近ク迄突進シ「マニラ」市ノ南部及北部ニアル叛徒ノ塹壕ヲ砲撃シタ。1週間ノ後海軍ハ Panay ノ Iloilo 港ニ陸戰隊ヲ揚陸シ、陸軍ニ引繼グ迄其ノ重要ナル海港ヲ占領シタ。

Subig 灣ノ Olongapo ニ上陸中ノ陸戰隊ヤ海兵隊ハ叛徒ノ重砲ヲ破壞シタ。1899 年 12 月 Newark 號ノ艦長 B. H. McCalla 大佐ハ Luzon, Cagayan 及 Isabela ノ北部地方ヲ無理强ヒニ降伏サセテ、之等ヲ陸軍ニ引渡シタ。1901 年2月 Funston 將軍ハ Isabela ニ遠征シ、Aguinaldo ヲ占領シタ。其ノ折砲艦 Vicksburg 號（艦長海軍中佐 E. B. Barrg）ハ之ニ重要ナル援助ヲ與ヘタ。其ノ間海軍ハ特ニ紛擾ノ火元トナツタ島々ヲ絕エズ警戒シ、兼ネテ香港及支那ノ諸港ヨリ來ル軍需品ヲ遮斷シタ。軍艦モ亦測量ヤ海圖ノ修正ニ從事シタ。海圖ハ軍艦ノミナラズ商船ニモ必要缺クベカラザルモノデアツタ。巡洋艦 Char-

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



U. S. S. Delaware

HP『海軍砲術学校』公開史料

leston ガ海圖ニ記載シテナイ暗礁ニ乗セ上ゲテ沈沒シタ事ニ依テモ、海圖ガ如何ニ必要デアルカ、又不正確ナル海圖ガ如何ニ危險デアルカガ解ルデアラウ。河川ヤ入江ハ淺クテ海洋ヲ航海スル艦船ハ入レナイノデ、之ガ爲ニ17隻ノ小型砲艦——中4隻ハ Manila 灣デ Dewey ガ捕獲シタモノ、13隻ハ西班牙人カラ購入シタモノ——ヨリ成ル1艇隊ガ編成セラレタ。ソレ等ノ艇長ハ大部分少尉ヤ少尉候補生デアツタガ、夫々立派ナ働キヲシタ。

米國ノ軍隊ニ對スル公然ノ抵抗ハ暴動勃發以來9箇月ニシテ鎭壓セラレタガ、併シ次デ叛軍ハ「ゲリラ」戰術ニ出タノデ、之ガ平定ニハ更ニ2箇年ヲ要シタ。遂ニ斷乎タル努力ガ功ヲ奏スル日ガ來タ。暴動ノ主謀者ノ大部分ハ逮捕サレ、島々ハ次々ト抵抗ヲ斷念シテ行ツタ。其ノ結果ハヤガテ未曾有ノ開發ヲ見ル樣ニナツタノデアル。

◎Samoa 島事件

極東ニ於ケル Dewey ノ戰捷ハ忽チ吾人ノ興味ヲ新ニ太平洋ニ向ケシムル樣ニナツタ。太平洋ノ十字路ニ在ツテ戰略上重要ナル位置ヲ占ムル布哇諸島ハ、既ニ5年前合衆國ニ併合ヲ申出タ。斯クテ 1898 年7月7日、議會ノ協贊ヲ經テ併合ヲ見ルニ至ツタ。Guam 島及 Wake, Midway ノ兩小島ハ戰爭中ニ占領サレテ米國領トナツタ。

9年間英、獨、米管理ノ下ニ土人ガ統治シテ來タ Samoa 島ハ、1898 年新王擁立ヲ繞ル黨派爭ヒノ舞臺トナツタ。法規ニハ『斯ル問題ニ就キ土人間ノ意見一致セザル時ハ、該島ノ裁判所長ニ附託ス』トアル。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

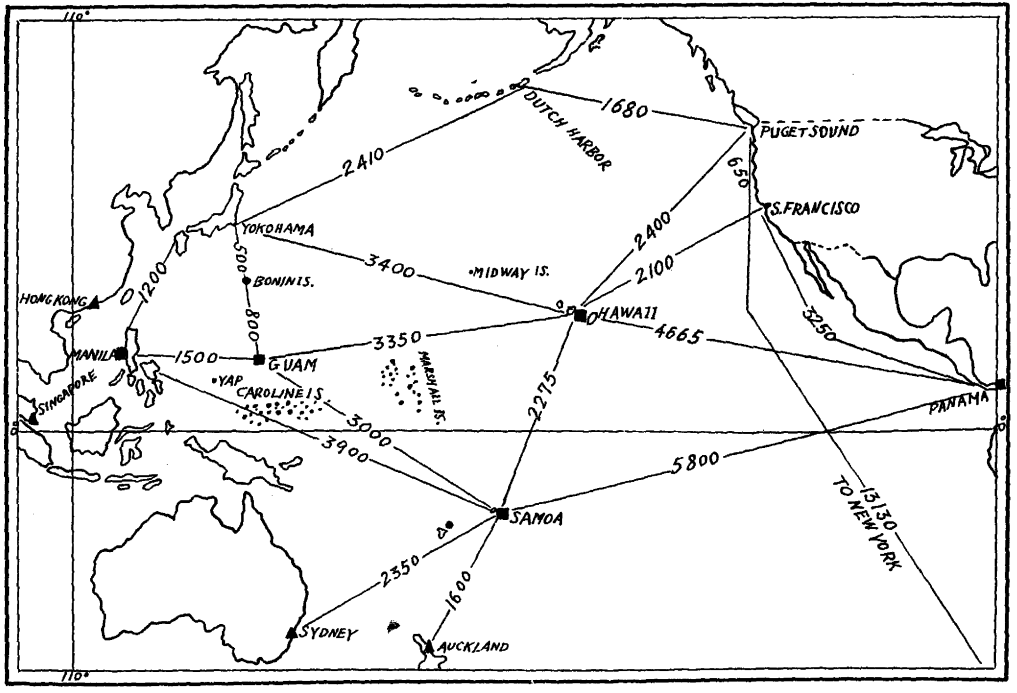
裁判所長米人 W. L. Chambers 氏ハ訴ヲ聞キ公平無私ナル判決ヲ下シタ。若シ獨逸領事ガ負ケタ一黨ヲ秘ニ煽動シナカツタナラ、紛擾ハ多分其ノ儘鎭ツタデアラウガ、事實ハ Samoa 島ノ首邑 Apia ニ在ル米英領事館保護ノ爲ニ守備兵ヲ必要トスル樣ナ事ニナツタ。

合衆國海軍大尉 P. V. Lansdale 指揮下ノ米兵 61 名ト、英國海軍大尉 A. H. Freeman 指揮下ノ英兵 63 名ヨリ成ル遠征隊ガ編成セラレタ。是ニ就テ英雄的ナ挿話ガアル。彼等ハ彈藥及軍需品ヲ格納シテアル Apia 近クノ Vailele ニ向ツテ進擊シタ。彼等ハ敵ニ遭遇スル事モナク土人ノ陣營ヲ破壞シタ。併シ歸路ニ於テ潛伏シテ居タ强大ナル土人軍ニ襲擊セラレ、Lansdale ハ膝ノ下ヲ擊タレ步行不可能トナツタ。一等水兵 N. E. Edsall ハ彼ヲ助ケニ飛ンデ行ツタガ、之又致命傷ヲ負ツタ。米英勢ハ有効ナル反擊ヲモナシ得ズ、ソロソロ崩レ初メタ。併シ海軍少尉 Monaghan ハ全力ヲ盡シテ海軍大尉 Lansdale ヲ安全地帶ニ移シタ後、負傷者ヨリ銃ヲ取リ負傷セル上官ニシテ戰友——多數ノ野蠻人ニ對シテ戰ヒタル一勇士——ニ飽ク迄附添ツタ。彼ハ遂ニ英雄的ナル任務ノ遂行ニ殪レタノデアル。Lansdale 大尉モ、Freeman 大尉モ亦部下ト共ニ戰死シタ。

此ノ問題ヲ解決スル爲ニ英、獨、米ノ代表者ヨリ成ル委員會ノ一行ガ我ガ一艦ニ乘ツテ此ノ島ニ赴イタ。詮議ノ結果、結局該島ヲ 3 國協同ニテ統治スルコトハ取止メトナリ、獨逸ハ西方ノ最モ大ナル島ヲ保有シ、英國ハ他ニ於テ利權ヲ認メラレタノデ領土權ヲ放棄シ、米國ハ東方ニアル Tutuila 及他ノ 5 小島ヲ領有スル事トナツタ。此ノ協定

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料



America's Strategic Position in the Pacific

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ其ノ後トモ有効ニ實施セラレタガ、大戰當時 New Zealand ハ獨逸領ヲ占領シ、「ヴェルサイユ」條約ニ依リ委任統治トシテ之ヲ保有スルコトニナツタ。

此等ノ小島（其ノ內米國ノ所屬總面積約 58 平方哩）ニ於ケル米國ノ利益ハ、太平洋上隨一ノ良港ニシテ且戰略上非常ニ重要ナ給炭港ヲ Pago Pago (Tutuila) ニ有スル事デアル。該給炭港ハ桑港ヨリ約 4,200 浬「ハワイ」カラ 2,275 浬、Auckland カラ 1,600 浬、Sydney カラ 2,350 浬ノ地點ニ在ル。

1900 年我ガ國ハ此等諸島ノ主權ヲ掌握スルヤ、酋長達ノ承諾書ヲ取ツタ後、海軍士官ヲ其ノ島々ノ統治者ニ任ジタ。此ノ統治法ハ今日モ Guam 島ニ於ケル如ク施行セラレテヰル。

◎義和團事變

前述ノ如ク「マニラ」ニ於ケル暴動事件ガ一段落ヲ告ゲツツアル時、一方支那ニ於テハ紛擾ヲ釀シ出サレツツアツタ。支那ハ西洋列强ノ蠶食ニ非常ニ苦ンデ居リ、又支那ノ分割モ間近デアルト信ズル向ニモ實ニ無理カラヌ根據ガアツタ。此ノ時 1899 年 Hay 國務長官ガ英國ニ覺書ヲ送ツテ、假令特定國ノ勢力範圍內又ハ利益圈內ニ於テモ各國共同ジ條件デ通商ヲ續行スル樣ニ、門戶開放主義ノ保持ニ加擔スル事ヲ要求シタノハ實ニ時機ヲ得タモノデアツタ。英國ハ若シ他ノ關係諸國ガ之ニ同意ナラバ可ナリト承諾ヲ與ヘタ。獨、露モ同樣ナ返事ヲナシ、日、佛、伊モ結局之ニ倣ツタ。Hay 長官ハ引續キ各國ニ覺書

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ送リ其ノ概要ヲ述ベ且『支那ニ於ケル外國貿易ニ關シ、米國ガ提議シタル處ヲ各國共容認シタル上ハ、本職ハソノ同意ハ最早一時的ノモノニ非ズ、最後的ニシテ且確定的ナモノト認ム』ト結ンダ。

併シナガラ既ニ目覺メタル支那ハ、反動主義ノ西太后ノ保護ノ下ニ扶清滅洋ノ機運ヲ胎ミツツアツタ。此ノ目的遂行ノ爲ニ彼等ハ義和團（一般的ニハ拳匪）ト稱スル結社ヲ組織シタ。1900 年ニハ騒擾暴行至ラザルナク、支那各地ノ教會ハ或ハ襲撃セラレ或ハ破壞セラレタ。5 月下旬、北京駐箚米國公使 E. H. Conger ハ拳匪ノ排外運動ガ天下公認ノ暴動トナル虞アリト信ジ、太沽在泊中ノ旗艦 Newark 號ニ坐乘セル Kempff 提督ニ宛テ、公使館警備ノタメニ有力ナル部隊ノ派遣ヲ要請シタ。早速海兵隊ガ急派サレ、丁度北京ニ到着スルヤ、數日ナラズシテ 鐵道交通ハ總ベテ 遮斷サレ、外國公使館ハ包圍狀態ニ陷ツタ。天津駐在ノ各國領事ヤ海軍武官ガ相會シ、北京ノ各國公使館救出案ヲ議シタ時、何等纏ラヌノニ憤激シタ米國海軍大佐 B. H. McCalla ハ、『部下ノ 士官及下士官兵 112 名ヲ指揮シ、假令自分ノ 軍隊ダケデアツテモ直ニ北京ニ向ケ出發スル』ト申出タ程形勢ハ非常ニ切迫シテ居ツタ。此ノ決然タル發言ハ好結果ヲ 招來シ、英國、日本、「オーストリヤ」及伊太利ノ武官ハ McCalla ノ案ニ贊成シタ。遂ニ獨、佛、露、各々其ノ 1 部隊ヲ參加セシムル コトニナツタ。全軍ノ將兵 7,066 名、英國海軍中將 Neymour ガ其ノ指揮ニ任ジタ。彼等ハ大ナル抵抗ヲ受クルコトナク、6 月 13 日北京ヲ去ル 40 哩ノ地點ニアル 欒州ニ到達シタ。話變ツテ支那官軍ハ拳匪ト合同シ、前進部隊ハ鐵道ヲ破壞シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

テ救援隊ノ後方連絡ヲ遮斷シタ。北京行ノ鐵道モ亦破壞サレタ。糧食ト彈藥ガ缺乏シ、加之兇惡ナル拳匪ノ大軍ト官軍トニ脅威セラレタノデ、聯合軍ハ最高幹部會議ヲ開キ、其ノ結果一旦天津ニ退却スルコトニ決シ、途中相當猛烈ナ戰鬪ヲ交ヘツツ行軍ヲ續ケタ。其ノ最モ危險ナル前衞ノ任務ハ米國ノ陸戰隊ニ課セラレタ。McCalla 大佐ハ3度負傷シタガ、部隊ガ天津ニ歸着スル迄ハ其ノ任ヲ去ラナカツタ。約 600 ノ聯合軍ハ其ノ儘同地ニ殘留シタガ、間モナク數千ノ拳匪ニ包圍セラレタ。

援軍ト糧食トヲ塘沽ヨリ天津ニ輸送スル事ガ急務トナツタ。此ノ兩地間ノ鐵道ハ放棄ノ狀態ニアツタノデ、拳匪ヤ土匪ノタメニ掠奪セラレ、又至ル所破壞サレタ。ソコデ米國ノ一將校ガ1隊ノ水兵ヲ指揮シテ此ノ不完全極ル單線鐵道ヲ修覆シ、之ヲ運轉スルコトトナツタ。我ガ水兵ニトツテ其ノ仕事ハ初メテデハアツタガ、2, 3 週間ノ間ニ 13, 000 ノ軍隊ノ外ニ、軍馬、彈藥、糧食及飮料水迄完全ニ輸送シタ。彼此スル中、歐洲人ハ何レモ其ノ支那居留民ノ安否ニ就キ非常ナ不安ヲ持チ始メ、一般ニハ各國ノ北京駐箚公使ハ何レモ殺サレタモノト信ズルニ至ツタ。救援軍ノ大部隊ト軍艦トガ支那ニ派遣セラレ、支那分割ノ虞ハ以前ヨリモ一層濃厚トナツタ。併シ Hay 國務長官ハ此ノ危機ニ備ヘ歐洲ノ列國ニ覺書ヲ送ツテ、『米國ハ權益擁護ノ外他意ナキコト及友邦領土及主權ノ尊重及既存條約ノ遵守、門戶開放主義ノ維持』ヲ繰返シ述ベタ。各國共米國ノ確乎タル信念ニ合流シ、遂ニ支那ハ瓦解ヲ免レタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

充分ナ増援隊ガ到着シタノデ、新ニ1隊ノ國際遠征軍ガ組織サレ、8月14日北京ニ入城シタ。獨逸公使 Von Kettler 男爵ガ暗殺サレタ6月19日以來、籠城軍ハ連日猛烈ナル戰闘ヲツヅケテヰタノデアルカラ、此ノ入城モ遅キ憾コソアレ、何等早過ギハシナカツタ。我ガ海兵隊ハ米國公使館附近ノ城壁上ニ陣取ツテ勇敢ニ防戰シテヰタ。海兵隊ハ2度モ撃退サレタガ、2度共之ガ奪回ニ成功シタノデアル。

事變中 McKinley 大統領ハ華府駐箚吳公使ニモ又南支那ノ太守ニモ『米國ハ清朝政府ト戰フノデハナク、煽動ニ乘リ反逆ヲ事トスル狂熱家ヨリナル義和團ト戰フノデアル』事ヲ聲明シタ。此ノ故事變終熄後慶親王ガ我ガ駐支公使ニ書ヲ寄セテ『米國政府ノ正義ト絶大ナル友情トハ余ノ深ク肝銘スル處ニシテ、深甚ナル謝意ヲ表ス』ト述ベタノモ實ニ尤ナ事デアル。

歐洲ノ關係諸國ハ多額ノ償金ヲ支那ニ要求シタ。併シ米國ハ 1908年5月清國ニ對シ1千2百萬弗、即チ全償金ノ半分ニ當ル殘額ノ免除ヲ申渡シタ。支那ハ米國ノ提案ニ從ヒ、選拔學生ヲ米國ニ留學セシメルタメニ其ノ金ヲ使用スルコトヲ發表シタ。支那ガ米國ヲ永ク其ノ最良ノ友國ト見做ス理由ヲ持ツトイフ事ハ望マシイ事デアツタ。

◎外國ノ事件ニ及ボセル米國ノ力

Roosevelt ハ大統領ニ再選セラレテカラハ、外國ノ諸問題ニ非常ナ關心ヲ持ツ樣ニナツタ。其ノ最初ノ現レハ日露戰爭（1904～1905）ニ就テデアツタ。露國ノ支那領土侵略ハ最モ惡辣デアツタ。日露戰爭前

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Roosevelt ハ豫メ米國ハ日露何レノ國ニ同情シテヰルカヲ日本ニ知ラシメテ置イタ。戰爭ガ始ツタ時、彼ハ自己ノ威信ヲ利用シテ列强ニ次ノ覺書ヲ發シテ、(1)獨逸竝ニ佛蘭西ハ此ノ戰爭ニ干與シナイコト(其レハ世界戰爭トナラセナイタメ)、(2)戰場ヲ限定スルコト(其レハ支那全土ニ戰禍ヲ及ボサセヌタメ)ヲ宣言シタ。日本ガ日本海海戰デ決定的勝利ヲ收メタ時、一大中立國ノ元首トシテ仲介ノ勞ヲ取ル事ヲ欲シタノハ Roosevelt デアツタ。New Hampshire 州ノ Portsmouth ニ於ケル日露講和會議ハ、ウマク纏リサウニモ見エナカツタ。事實會議ハ決裂ニ瀕シタノデアル。丁度其ノ時 Roosevelt ハ乘出シテ自ラ正當ト考ヘル解決案ノ概要ヲ示シタ。此ノ案ヲ中心ニ兩國ハ更ニ討議ヲ重ネ、遂ニ彼ノ提案ヲ承諾シタ。疑モナク Roosevelt ハ兩國ノ危機ヲ救ヒ、又其ノ上戰爭ヲ續ケルトナレバ、永ノ月日必ズヤ甚大ナル犧牲ヲ忍バネバナルマイガ、彼ハヨク交戰兩國ノタメニ之ヲ防止シテヤツタノデアル。彼ノ此ノ盡力ハ全歐洲カラ非常ナ賞讃ヲ受ケタ。

Roosevelt ハ又全ク別ノ方面ニ於テモ米國ノ國威ヲ發揚シタ。日露戰爭ノ最中ニ獨逸ハ露國ガ戰爭ニ熱中シテヰルノニ乘ジテ、露國ノ同盟國デアル佛國ヘ手ヲ延バシタ。其ノヤリ方タルヤ實ニ卑劣ナモノデ、關係諸國ノ憤激ヲ買ツタ。此ノ事件ハ、是ヨリ 1, 2 年前、佛國ガ或ル國々ノ諒解ヲ得テ己ガ保護國トナシタル Morocco ニ起ツタ事件ニ獨逸皇帝ガ野心ヲ抱イタ事ニ始マル。獨逸皇帝ハ關係諸國ノ「極メテ無作法」ナル反對ニ會ツタ。引續キ開カレタ外交交涉ニ於テ、Roosevelt ハ主人役ヲ勤メ、各國ト共同シテ獨逸皇帝ヲシテ其ノ要求

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ變更スルノヤムナキニ立チ至ラシメタ。斯クテ 1914 年ノ衝突ト殆ド同ジ大サニ迄達シタカモ知レナイ事件モ未然ニ避ケラレタノデアル。

此等二ノ Roosevelt 大統領ノ偉業ハ主トシテ外交史ニ屬スルモノデハアルガ、又米國海軍ノ發達ニ密接ナル關係ヲ有スルモノデアル。Roosevelt ガ斯ル世界的ノ大事件ニ關係シテ大役ヲ演ズル最初ノ大統領トナツタト云フ事ハ、單ニ遇然ノ出來事デモナケレバ、又彼ガ有餘ル程ノ勇氣ヲ有ツテヰタガ爲デモナイ。米國ガ既ニ世界的强國トナリ、世界的ニ强イ海軍ヲ持ツテヰタカラデアル。Roosevelt ハ强イ海軍ノ眞價ヲ信ジ、又必要トアラバ何時デモ之ヲ用フルニ躊躇シナイ人トシテ知ラレテヰタ。

◎戰艦艦隊ノ巡航

日露戰爭ノ結末ガ未ダツカナイ時、煽情主義的傾向ヲ有スル或ル新聞ノ如キハ黃禍論ヲ唱ヘ始メタ。事實日米間ニハ商業上ノ競爭ガ始リ、又後ニハ日本國民ハ他國民ト同等ノ待遇ヲ受ク可キデアルト云フ考サヘモ持ツ樣ニナツタ。コレ丈ケノ事デ戰爭ニナラウト思フ者ハナカツタニシテモ、日米相互ニ認識ガ足リナイ爲カ、兎ニ角ソノ空氣ニハ何カ暗示的ナモノガアツタ。保守主義者デスラモ、馬鹿ゲテ不合理デアルトハ知リツツモ、尙脅威ヲ構成スル暗雲ニ蔽ハレツツアル事ヲ認メタ。

1907 年 12 月、大統領 Roosevelt ハ Hampton Roads ニ於テ米西戰

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

爭以來ノ16隻ノ戰艦及6隻ノ驅逐艦ヨリ成ル「戰艦艦隊」ヲ檢閲シタ。次デ艦隊ハ Horn 岬ヲ迂回スル巡航ヲ決行スルタメ、桑港ニ向ツテ出發シタ。其ノ巡航ハ航路ガ長カツタノデ、多クノ人々ハ實行不可能デアリ、又愚カナル計畫デアルト考ヘテ居タ。Roosevelt ハ Washington ニ歸ルヤ否ヤ、『桑港迄ノ巡航ハソノ一部分ニ過ギズ、艦隊ハ California カラ更ニ我ガ領土タル太平洋上ノ諸島ヲ巡リ、「スエズ」運河ヲ通ツテ歸國スル豫定デアル』ト發表シタ。素晴シク大規模デハアツタガ、元來練習航海ノ積リデアツタ。Roosevelt ガ自叙傳ニ述ベテ居ル如ク『斯クノ如キ航海ハ大ニ海軍ソノモノヲ利シ、又民衆ノ海軍ニ對スル關心ト熱意トヲ喚起セシメ、又他國民ニ我ガ艦隊ガ終始大西洋ニ集中シ居ルト同樣、又太平洋ニ集中スルノモ當然ノ事デアルト思ハセル事ハ明瞭デ』アツタ。

公ニ發表サレタノデハナイガ、是ニハ又別ノ理由ガアツタ。Roosevelt ガ Root 長官ニ送ツタ手紙ニモ『余ハ他ノ何レノ國ヨリモ日本ノ情勢ニ最モ關心ヲ有シテ居ル。幸ニモ吾人ハ我ガ優秀ナル海軍ヲ有シテ居ル。ソロソロ世界一週航海ニ出掛ケテモ好イ時分デアル。先ヅ第一ニソレガ實行出來ルコトヲ示スノモ平和ニ貢獻スル所以デアル。次ニ余ハ海軍當局ト共ニ其ノ情勢ヲ具ニ研究シタ結果、吾人ハ戰時ヨリモ寧ロ平時ニ於テ大艦隊ヲ太平洋ニ移ス時ニ如何ナル方法ヲ構ズ可キカヲ試ミテオク事ハ、絕對的ニ必要デアルト確信ヲ得ルニ至ツタ。』ト書イテヰル。

其ノ後獨逸及伊太利ノ海軍高級武官ガ Roosevelt ニ打明ケテ『艦

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

隊ノ Magellan 海峡通過ヲ期トシテ日米戰爭ガ始マルモノト期待シテヰタ』ト語ツタ事ガアル。當時ノ情勢ノ一班ハ之デモ判ラウ。併シソレ處カ、新西蘭、濠洲ハ元ヨリ實ニ日本及支那カラモ交歡ノタメ是非共寄港スル樣ニ招待ヲ受ケタ。事實以上ノ諸國ハ盛大ナル歡迎準備ヲ既ニ始メテヰタノデアル。

航程實ニ 46,000 浬ニ亘ル戰艦艦隊ノ 巡航モ具體的ニハ何等ノ出來事モ伴ハナカツタ。併シ 14 箇月振リニ 歸港シタ時、參加員ハ何レモ巡航ノ收獲ノ大デアツタ事ヲ 沁々感ジタ。艦隊トシテモ得ル處ガアリ、又乘員ハ海上生活ヲ體得シ、又艦隊ト言フ一大團體ガ其レ迄トハ別ノ意味ニ於ケル一ノ「結合體」トナツテヰタ。巡航中修理ハ總テ艦隊自ラ之ヲ爲シ、永ク海軍工廠ト緣ヲ絕ツテヰタニモ拘ラズ、非常ニ良好ナル狀態デ歸港シタ。燃料ノ經濟竝ニ行動半徑ニ關スル機關術上ノ新シイ標準ガ確立セラレタ。士官及兵員ハ日日各種ノ敎練ニ從事シ、航海ニ就テハ絕好ノ機會ヲ惠マレ、又砲術モ非常ニ進步シタ。又巡航ノ結果、海軍ノ缺陷就中石炭船ノ不足ガ充分ニ會得ガ出來タ。

訪問シタ國々トノ關係ハ勿論、就中對日 關係ハ非常ニ 好轉シタ。Roosevelt ハ其ノ自叙傳中ニモ『巡航中ノ最モ注意スベキ出來事ハ日本ノ歡迎デアル。禮儀ニ於テ躾ニ於テ日本國民ハ西洋諸國民ノ師表タルニ足ル』ト感激シテ述ベテヰル。

◎「キューバ」及「カリビアン」諸國

米西戰爭ノ結果生ジタル新勢力範圍ハ、支那ノ領土保全ニ關スル國

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

際問題程國際間ノ注意ヲ引カナカツタガ、併シ非常ナ意味ヲモツテヰタ。18 世紀ヨリ 19 世紀ニカケテ英國ハ西印度ノ海軍根據地ニ普通小艦隊ヲ派遣シテヰタガ、獨逸ニ對抗スル必要上其レヲ本國ニ招還シテ、內國艦隊ヲ編成スルニ當リ、英國ハ極メテ手輕ニ「カリブ」海ノ哨戒ノ責任ヲ米國ニ讓渡シタ。

西班牙ガ Cuba ヲ手放シタニ就キ、米國ノ第一番ノ任務ハ Cuba ヲ確固タル獨立國ニスル事デアツタ。Cuba ヲ外國ノ侵略ヨリ免レシメンガタメニ、普通ニハ Platt 修正案トシテ知ラレテヰル條約ガ締結サレタ。之ハ 1901 年 4 月 2 日米國ノ兩院ヲ通過シ、又 Cuba ハ自國ノ憲法ニ此ノ箇條ヲ取入レタ。其ノ大略ヲ示セバ

(1) Cuba 政府ハ他ノ如何ナル國家トモ、自國ノ獨立ヲ傷フ又傷フ虞アル如何ナル條約モ契約モ締結セザルコト。

(2) Cuba 政府ハ自國ノ獨立維持ニ對シ又生命、財產、個人ノ自由ヲ保護スルニ足ル政府ノ維持ニ關シ、又巴里條約ニ依ツテ米國ニ課セラレタル Cuba ニ關スル Cuba 政府承認濟ミノ義務ヲ果スタメ、米國ニ干涉權ヲ與フル事ニ同意スルコト。

1901 年 12 月選擧ガ行ハレタノデ、米國軍隊ハ翌年 5 月全部引揚ゲタ。併シ 1906 年、選擧ノ後暴動ガ起リ、且 Cuba ノ議會ハ之ヲ鎭定シ得ズ又シヨウトモシナカツタノデ、米國政府ハ Cuba 島ヲ無政府狀態カラ救フタメニ仲介ノ勞ヲトツタ。併シソレモ決シテ多數ノ人々ガ成行ヲ懸念シタ樣ナ併合ノタメデハナカツタノデアル。其ノ證據ニハ 1909 年 1 月我ガ軍隊ハ再ビ引揚ゲタノデアル。ソレヨリ後 2 年又

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

動亂ガ勃發シ、再ビ調停シナケレバナラヌヤニ見ヘタ。1916 年ノ選擧ハ又々問題ヲ引起シタノデ、米國ハ米國人ノ生命財產ヲ保護スルタメニ、Santiago ニ海兵隊ヲ上陸セシメタ。然シ當時 Cuba 大統領ハ我等ノ援助ヲ仰グコトナクシテ秩序ヲ回復スルコトニ成功シタ。斯ク常ニ國務省ト共ニ働ク我ガ海軍ハ新共和國ノ平和ト秩序ノ維持ニ與ツテ力ガアツタノデアル。

Cuba ニ對シテナサレタル援助ト、Carib 海ニ面スル他ノ諸國ニ對シテナサレタル援助ト異ル所ハ、唯ソノ程度ノ差デアル。1903 年合衆國ガ Isthmian 運河開鑿ヲ決定シテヨリ後ハ、合衆國ハ實際上ノ必要ヨリ援助ヲ惜マナカツタ。其ノ時以降合衆國ハ密接ナル利害關係ヲ有スル樣ニナツタノデアル。其ノ運河ニ隣接シテヰル國々ニ於ケル暴動ハ、關係諸外國ノ市民ノ財產ハ勿論、生命ヲモ危險ナラシメタ。生命財產ノ損害ニ對シテハ諸外國ハ一樣ニ確實ナル補償ヲ要求スルノヲ常トシタ。此ノ補償ヲ確實ナラシメル爲ニ、彼等ハ實力ニ訴ヘテ一時的ニ或ハ永久ニソノ厄介ナ國內ニ足場ヲ獲得スルカモ知レナイ。斯ル事ニナルト、Isthmian 運河ニ對シ一層ノ保護ガ必要トナルデアラウシ、又西半球ニ於ケル合衆國ノ無比ノ地位ヲ失墜セシメル樣ナ事ニナラヌトモ限ラヌ。

此ノ樣ナ理由デ合衆國ハ Carib 海ニ面スル國々ノ幾ツカヲ政略的乃至ハ經濟的保護國ト云ツタ樣ナモノニシタ、——尙此ノ事ニ就テハ後デ述ベル。斯クテ實力ノ行使ヲ必要ナラシムル如ク平素我ガ軍艦ガ關係諸國ヲ定時訪問スルコトハ得策ト思ハレタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

◎世界大戰ニ至ル迄ノ米國海軍ノ進歩

凡ソ大戰爭ガ濟ンダ後ニハ、軍備縮小ノ叫ビガ付キモノデアル。獨立戰爭ヲ初メトシ、何レノ戰爭ニ於テモ對敵行動ノ中止セラルルヤ、上述ノ法則通リニ海軍艦船及兵員ノ數ハ縮小セラレタノデアル。併シ米西戰爭ハ特別ノ除外例デアツタ。軍備縮小處カ新海軍ハ愈躍進ヲ續ケタ。米國民ガ最小限度ノ海軍力ヲ保有スルトイフ傳統的ノ政策カラ轉向シタノニハ、次ノ如キ理由ガアツタ。(1)米國ハ廣範圍ニ散在スル島々ヲ新ニ領有シ、而モ其ノ或ルモノハ遠隔ノ地ニ在リ、其レ等ヲ保護スルニハ海軍力ヲ必要トシタ。(2)海軍通ナル Roosevelt 大統領ハ熱心ナル海軍ノ支持者デ、彼ノ政策ヲ遂行スル爲及各國並ニ米國ヲ強國トスルタメニハ、充分ナル海軍力ノ必要ガアツタノデアル。彼ノ2度目ノ大統領任期中、全世界ニハ不安ト恐怖トガ漲ツテヰタ。各國共準備ヲ急ギ——何ノタメニ準備スルノカ自ラモ知ラナイデ——而モ其ノ空氣ハ傳染性デアツタ。

米西戰爭ヨリ世界大戰迄ノ間ニ最モ顯著ナル進歩ヲナシタモノハ戰艦デアツタ。Mahan モ「主力艦ハ戰鬪力ノ根源デアル」ト敎ヘテヰルガ、米國海軍ガ一生懸命ニナツタノモ此ノ艦種ニ對シテデアツタ。1898 年當時ノ米國海軍最強部隊ハ Indiana, Oregon 及 Massachusetts 號（何レモ 1890 年協贊濟ミ 1893 年進水）ヨリナルモノデ、何レモ排水量 10,250 噸、適當ナル速力ヲ有シ（計畫速力 16 節）、乾舷ハ低ク、石炭搭載量少ク（常備炭庫 400 噸）、大口徑砲ヲ搭載シ、裝甲ハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

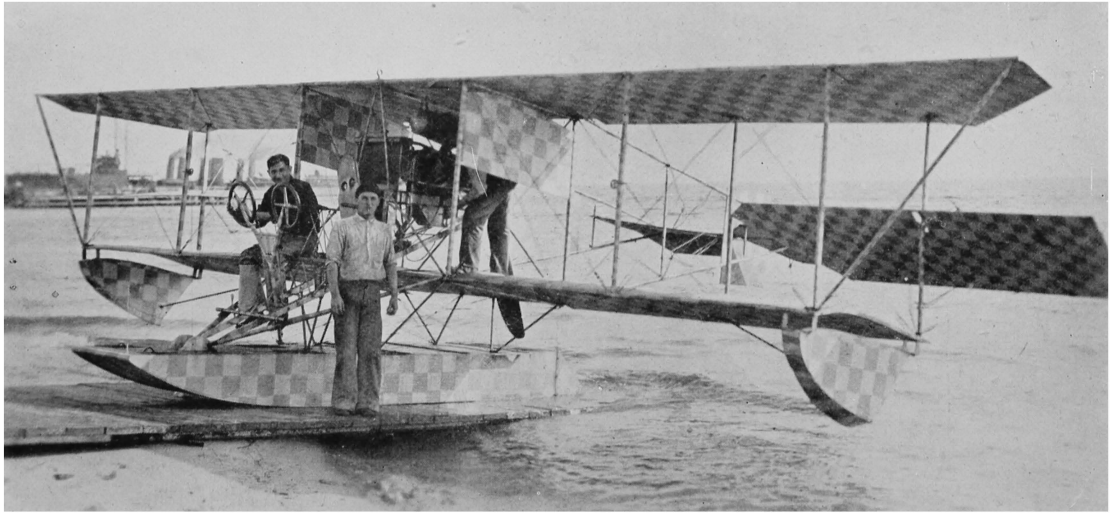
充分ノ強度ヲモツテヰタ。併シ以上ノ諸艦ハ「海軍ノ最大任務ハ我ガ沿岸防備ニアリ」ト云フ思想ガ專ラ行ハレテヰタ時代ノ產物デ、航洋性ハ不充分デ、乾舷低キタメニ全艦ズブ濡トナリ、前部ノ大中口徑砲ノ操作能率ハ爲ニ低下スル有樣デアツタ。米西戰爭ノ結果廣範圍ニ亘ル新領土ガ加ハリ、我ガ軍艦ハ普通母港ヲ遠ク離レテ任務ニ服スルコトニナツタ。斯クテ海軍ノ任務ヲ沿岸防禦用ニ限ル事ハ最早妥當デナクナリ、米國ノ海軍政策モ歐洲先進國ノ海軍政策ニ準ジナケレバナラヌ事トナツタ。仍テ更ニ大ナル速力ヲ有シ、長サヲ增シ、高キ乾舷ヲ有スル Virginia 級（1899 年協賛、1904 年進水）ガ出現シタ。同級ハ 4 基ノ水中發射管ヲ有シ、電氣裝置ニ於テ急速ナル進歩ノ跡ヲ示シタ。

1906 年英國ハ Dreadnought 號ヲ建造シタ。同艦ハ從來ノ戰艦ヲ全ク凌駕シ、ソレ等ヲ實質的ニ舊式ノモノタラシメタ。

此ノ型ハ單純ト威力ノ集中トヲ其ノ特徵トシ、單一口徑ノ巨砲ト小口徑ノ副砲トヲ有シ、其ノ中間ノモノハ搭載セズ、又其ノ高速ナルコトハ砲火ノ集中ヲ容易ナラシメ、戰略及戰術上ノ要求ニ叶ツテヰタ。又其ノ並々ナラヌ巨砲ハ能ク敵艦ノ厚キ裝甲ヲ貫イテ其ノ致命部ニ到達シ得タ。而シテ此等巨砲ノ効力ハ、彈道學ノ進歩ト射擊術ノ進歩ト相俟ツテ（之ハ英海軍ニ於テハ Percy Scott 大佐ノ功績ニ外ナラヌガ）、當時大ニ增進セラレタノデアル。併シ此ノ時代ノ彈着觀測ハ未ダ搖籃時代ニ屬スルモノデアツタ。

合衆國モ直ニ之ニ倣ヒ、中間口徑砲ヲ有セザル Michigan 及 South

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



Naval Hydroplane, AH-3.

HP『海軍砲術学校』公開史料

Carolina ノ2艦、次ニ Utah 及 Florida （排水量 21,800 噸、速力 21 節）ノ2艦ヲ建造シ、斯クテ米國モ新式ノ軍艦ヲ有スルニ至ツタ。Nevada 號（1914 年建造）ハ重油專燒ノ便益ヲ證明シタ。1916 年建造、排水量 32,000 噸、速力 21 節、14 吋砲 12 門ヲ有スル New Mexico 號ニハ新シキ試ミトシテ主推進用トシテ電氣推進ガ初メテ採用サレタ。而シテ之ニ成功シ、向後米海軍戰艦ノ標準トシテ採用セラルルニ至ツタ。

南北戰爭時代ノ鑄鐵彈ハ既ニ跡ヲ斷ツテ久シク、今ヤ長クシテ先尖リ、內ニ高爆藥ヲ藏シテ能ク敵ノ裝甲ヲ貫ク鍛鋼製ノモノニ代ツタ。黑色火藥ハ最早顧ラレズ代ツテ無煙火藥ノ採用ヲ見ルニ至ツタ。實ニ後者ハ舊式火藥ノ4倍乃至5倍ノ力ヲ有シ、而モ其ノ比較的緩徐ナル燃燒「ガス」ノ發生ハ、膛壓ヲ更ニ均整ニシ、且彈丸ニ更ニ大ナル速度ヲ與ヘ、而モ其ノ上從來常ニ照準手及射擊指揮官ノ惱ミノ種デアツタ發煙ヲ非常ニ少クシタ。

合衆國ノ諸艦艇中他ノ列强ト比肩シ得ルモノハ、以上ノ外ハ實ニ驅逐艦ノミデアツタ。我ガ海軍ハ 1898 年頃ハ水雷艇 18 隻ヲ持ツテヰタ。何レモ港灣防禦用トシテハ大ニ力アルコトヲ暗示シテハヰタケレドモ、未ダ其ノ眞價ヲ發揮スル機會ハナカツタ。是ヨリ先、既ニ水雷艇ノ强敵トシテ凌波性、速力、及兵裝ニ於テ遙ニ之ヲ凌駕スル驅逐艦ノ建造ヲ見タ。其ノ排水量ノ增大ノ結果ハ、行動半徑（燃料容量ニ比例ス）ハ著シク大トナリ、能ク艦隊ニ隨伴シテ演習ニモ參加シ得ル樣ニナツタ。1914 年、大戰當初ニ於テハ、我ガ海軍ハ約 50 隻ノ驅逐艦

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ有シテヰタ。數ニ於テハ英國又ハ獨逸海軍ノ半數ニモ及バナカツタケレドモ、事實一大勢力デアリ、其ノ建造中ノモノト相俟ツテ新ニ我ガ海軍ニ一大勢力ヲ加フル所以トナツタノデアル。潜水艦ト飛行機トハ此ノ時代ニ發達シタ全ク新シイモノデアツタ。

合衆國ニ於ケル現代潜水艦發達ノ先驅ヲナシタノハ John P. Holland 氏デ、「イギリス」ヤ「フランス」ノ技師達モ着々實績ヲ擧ゲテ居タケレドモ、何レモ Holland 氏ニ負フ處大デアツタ。1877 年ニ造ラレタ彼ノ最初ノ潜水艦ハ、石油發動機ヲ裝備セル粗末ナ 1 人乘リノ船デアツタ。引キ續キ造ラレタルモノモ亦不滿足デハアツタガ何レモ若干改良セラレタモノデ、遂ニ 1899 年ニ到ツテ彼ハ初メテ海軍ニ採用サレタ最初ノ艦ヲ建造シタ。之ハ水上デハ「ガソリン」機械ニテ推進シ、潜航中ハ電動機ニ依ルモノデアツタ。内燃機關ト蓄電池及電動機トヲ初メテ併用シタノハ、實ニ Holland 氏デアル。此ノ特徴コソ彼ノ成功ノ主ナル原因デアツタ。然シ日露戰爭 (1904～1905) 當時ニ於テスラ、未ダ其ノ一國ヲシテ進ンデ之ヲ實戰ニ使ハシメル程ニハ進歩シテ居ナカツタ。其ノ眞價ヲ發揮シ得ル樣ニナツタノハ、重油ヲ焚ク「ディゼル」機關ヲ採用シテカラノ事、即チ 1907 年乃至 1912 年頃デアツタ。其ノ後ノ發達ニ就テハ、米國海軍ハ暫ク沈滯ノ形デ、僅ニ英國ヤ獨逸ノ後塵ヲ拜スルノミデ、既ニ我ガ合衆國ガ世界大戰ニ參加シタ頃ハ、是等ノ國々ヨリ著シク立後レノ形デアツタ。

飛行機及其ノ發達ニ就テモ殆ド同ジ話ガアル。Ohio 州 Dayton ノ Wright 兄弟ハ、如何ナル國ノ誰ヨリモ眞先ニ飛行機ニヨツテ飛ブ事

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ成功シタ。1903年12月、彼等ハソレヲ完成スルヤ、飛行スル事能ク59秒間、實ニ約1哩ニ及ンダ。ソレヨリ後2箇年、不斷ノ苦心ハ愈報イラレ、飛行時間18分間、10哩モ飛ベル樣ニナツタ。ケレドモ之ヲ初メテ軍用トシテ大規模ニ採用シタノハ、實ニ數年來氣球ヤ飛行船ノ利用價値ノ研究ニ沒頭シテ居タ「フランス」ニ外ナラナカツタ。

最初ノ實用的水上機(1911年)ハ今1人ノ米國人 Glenn H. Curtiss ノ發明ニカカルモノデアル。1914年彼ハ從來ノ2倍大ノ水上機ヲ作製シ、「アメリカ」號ト命名シタ。其ノ水上機ハ時速約50哩ヲ以テ13時間飛行シタ、而モ此ノ速力ハ當時ノ最優秀陸上機ニヨツテ作ラレタ記錄ト同ジデアツタ。此ノ水上機ハ元來大西洋橫斷用ニ計畫セラレ乍ラ、1度モ其ノ目的ニハ使用セラレナカツタケレドモ、北海哨戒用トシテ英國ニ採用サレタノハ則チ此ノ「アメリカ」號型デアツタ。

世界大戰ハ1914年7月下旬ニ勃發シタ。忽チ潛水艦、飛行機其ノ他早急ニ建造セラレ得ル各種ノ艦船ハ、其ノ構造上ノ特色ニ於テモ、又其ノ性能ニ於テモ非常ニ速カナル發達ヲ遂ゲタルガ爲、合衆國ハ其ノ數箇月間ハ不甲斐ナクモ競走圈外ニアルカノ如ク思ハレタ。實戰ニ供スルタメニハマダマダ發達ノ餘地ガアリ、我ガ士官モ未ダ各方面共研究ヲ要スル事ヲ痛感シテヰタ。併シ間モナク大禍亂中ニ捲キ込マレルト云フ見込ガツクト共ニ、我ガ海軍ハ猛然トシテ大規模ニ諸準備ヲ始メタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第28章　世界大戦（其ノ1）

◎無視セラレタル中立國ノ權利

1917年4月6日米國ハ獨逸ニ對シ宣戰ヲ布告シタ。米國ヲシテ斯ク決定セシメタ原因ハ、ソレヨリ2年餘リノ昔ニ溯ル。英獨兩國共中立國ノ權利ヲ無視シ、新情勢ノ展開ト共ニ國際法ハ無視セラレ、或ハ變更セラレテ常ニ此ノ新情勢ニ適應スル樣ニ曲ゲラレテ來タ。米國ノ海上運輸ハ此等兩交戰國ノタメニ非常ニ妨害セラレ、英國ハ不當ニモ單ニ獨逸宛ノ貨物ノミナラズ、又獨逸ニ近隣スル諸國宛ノ貨物モ、其處カラ獨逸ニ轉送セラレル虞ガアル貨物ハ之ヲ途中デ差押ヘタ。加之戰時禁制品ノ種目ヲ大ニ擴メタ。獨逸ハ又英佛トノ通商ニ從事シテヰル我ガ商船ニ對シ、臨檢捜索ノ權利ヲ行使スルコト無ク、一般ニハ無警告ニテ、又屢船客及乘員救助ニ何等努メズシテ擊沈スルノ不當ヲ敢テシタノデアツタ。英國ノ爲セル此ノ種ノ不法ハ米國民ノ怒ヲ買ツタガ、併シソレトテモ要スルニ金錢デ濟マシ得ル問題デ、或ル事件ノ如キハ直ニ賠償金ヲ取ツテ事濟ミトナリ、又或ル事件ハ戰後ニ要求スル辨償金ニヨリ片付ク見込ガ充分ニアツタ。獨逸ノヤツタ種種ノ不法ハ米國民ノ實ニ深刻ナル憤怒ヲ買ツタ。死ンダ人々ノ中ニハ米國民ガ居タ。男子ハ元ヨリ女子供モ混ツテ居タ。此等犧牲者ノ生命ニ對シテハ如何ナル賠償モ及ブ筈モナク、「獨逸ハ人類ニ戰ヲ挑ムモノ」トサヘ謂ハレタ。

此ノ種ノ不法行爲ニ成功シタ事ガ結局獨逸ニ取ツテハ不幸トナツタ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

顯著ナル一例ハ Lusitania 號ノ撃沈デアツタ。同號ハ 1915 年 5 月 7 日、愛蘭沖ニ於テ無警告ニテ雷撃セラレタ。僅カ 18 分デ 1,153 人ノ男女及子供（其ノ内 114 人ハ米國人）ガ船ト運命ヲ共ニシタ。米國民ノ内ニハ直ニ宣戰スベシトスル者モ多カツタガ、偶將來ハ巡洋艦ヲ以テスル通商破壞戰ノ法則ヲ尊重スルト言フ獨逸ノ誓約モアツタ事トテ大統領 Wilson ハ戰爭ヲ回避スル樣ニ努メタ。併シ其ノ後モ獨逸ハ嚴重ナル始末書ヲ 2 度モ取ラルルガ如キ不法行爲ヲ敢ヘテシ乍ラモ、兎ニ角 1917 年 2 月 1 日迄ハ無制限潜水艦戰ヲ差控ヘテ居タ。然シ米獨間ノ外交關係ハ險惡トナル一方デ丁度其ノ時米國ノ商船ガ 3 隻モ沈メラレタト言フ知ラセガアリ、臨時議會ノ召集ヲ見、宣戰布告トナツタノデアル。

◎戰爭ノ一般的特徵

海軍ノ見地ヨリスレバ、世界大戰ハ二ノ封鎖ノ爭デアツタ。英國ハ獨逸ノ諸港ニ出入スル船舶ヲ西方ヨリ阻止スルタメ長距離ニ亙ツテ封鎖ヲ强行シ得ル程、水上艦艇ニツイテハ戰爭勃發當初カラ優勢デアツタ。成程獨逸ノ軍艦ハ折々脫出シタガ、ソレモ極近距離ニ出ルカ、或ハ一寸襲撃ヲ試ミル位デ、假令脫出シテモ 2, 3 時間ノ後ニハ歸港シタ。獨逸ハ神出鬼沒ノ潜水隊ヲ有シ、英國諸島ノ周邊ヲ脅カシタリ、或ハ「フランス」ノ沿岸ニ迄遠征シタ。彼等ハ多數ノ商船ヲ沈メ、聯合國ヘノ貨物輸送ヲ危險ナラシメタ。運ヨク彼等ノ襲撃ヲ免レタ汽船モ多カツタガ、犧牲トナツタモノモ亦夥シイ數ニノボリ、遂ニハ聯合

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

軍側ヲシテ戰爭ノ繼續ヲ極メテ困難ナラシムルニ至ツタ。而シテ 1917 年ニ至リ其ノ脅威ハ益募ツタ。

米國ガ聯合國ニ加擔シタ以上、若シ對獨海上封鎖モ完全ニ行ハレ、而モ米國ト聯合國ヲ通ズル航路ノ安全ガ確保セラレタナラバ、我ガ國ハ人員ト各種ノ軍需品トニ於テ無限デアルカラ、勝利ハ確實デアツタデアラウ。是ニ反シ若シ有効且威力ノ頓ミニ增加セル獨逸潛水艦ガ英佛ニ至ル陸軍竝ニ軍需品ノ輸送ヲ防ゲルコトガ出來タナラバ、最後ノ勝利ハ自分等ノモノデアルト獨逸側ハ確信シテヰタノデアル。

◎1917年4月ニ於ケル海軍ノ情況

獨逸トノ國交斷絶ガ避ケラレナイヤウニナツタ時、英國海軍本部ト連絡ヲトリ、又米國海軍省ノ諜報機關トシテ英國ニ派遣セラレタ米國海軍代表海軍少將 W. S. Sims 氏ハ、宣戰布告後3日目ニ英國ニ到着シタ。彼ハ戰爭中ズツト此ノ任務ニ服シテヰタ。彼ノ仕事ノ大部分ハ英國ノ海軍本部ノ近クニアル事務所ニ居ル事デアツタ。米國ガ海軍ヲ派遣シ英、佛、伊ノ海軍ト合同セシメタ時、彼ハ米國遣歐海軍部隊司令長官ニ任ゼラレタ。

米國ハ唯勝ツ方ニ味方シタノデハナイトイフ事位ハ、彼モヨク承知シテヰタガ、1917年4月頃ニハ聯合國側ニハ勝算ガナカツタ。獨逸ハ無制限潛水艦作戰ヲ愈有効ニ發揮シ、此ノ月1箇月デ獨逸潛水艦ハ90萬噸ヲ沈メタ。此ノ數字ハ全力運轉中ノ英國造船所ガ建造シテソノ損失ヲ補フ數字トハ全然比較ニナラナカツタ。此ノ割合デハ英國ハ

HP『海軍砲術学校』公開史料

孤立ニ陥リ、初秋ノ頃トモナラバ飢餓ニ瀕スルデアラウト云フ事ハ、隠スコトノ出來ヌ事實トナツタ。

非常ニ多數ノ獨逸潜水艦ガ撃沈セラレタト言觸ラサレタガ、其ノ多クハ海面ニ浮上ル油ヤ種々ノ漂流物ヲ目撃シタ者ノ話ノ請賣ニ過ギナカツタ。然シ英國海軍當局ノ發表ニヨリ、開戰以來獨逸潜水艦ノ沈沒數ハ合計54隻ニ過ギズ、尚又同國造船所ハ1週間3隻ノ割デ新潜水艦ヲ建造シテヰル事ガ明瞭トナツタ。

敵潜水艦ニ對スル處置ニツキ、英國ハ Sims 提督ニ相談ニ來タ。ソコデ Sims 提督ハ駐英大使 Walter Hines Page トノ連名デ英國ノ危機ヲ華府政府ニ報告シ、『率直ニ云ヘバ目下ノ情況ニテハ味方ハ敗戰ノ外ナシト思考ス』トノ結ンダ。

我ガ陸軍ハ動員ヲ終リ、既ニ遣歐部隊ノ訓練ニ着手シテヰタ。併シ何分多大ノ時間ヲ要スル事デアリ、且又問題ハ佛國マデ輸送スル事ニアツタ。併シ差當リ米國ノ參戰ヲ有効ニスル爲ニハ二ノ途、即チ驅逐隊ノ派遣ト糧食、軍需品等ヲ彼ノ地ニ供給スル事ガ急務トナツタ。此ノ爲ニ合衆國ハ全力ヲ傾倒スル事トナツタ。

◎驅逐艦ノ初登場

1914 年以來英國ハ續々ト軍隊輸送船及軍需品輸送船ヲ佛國ニ送ツテヰタガ、未ダ獨逸潜水艦ノ犠牲トナルモノハ1隻モナカツタ。是ハ明ニ終始其レ等ノ護衛ニ任ジタ驅逐隊ノ偉力ヲ證スルモノデアル。併シ潜水艦ハ Dover 附近コソ注意深ク敬遠シテ居レ、英國海峽、St.

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

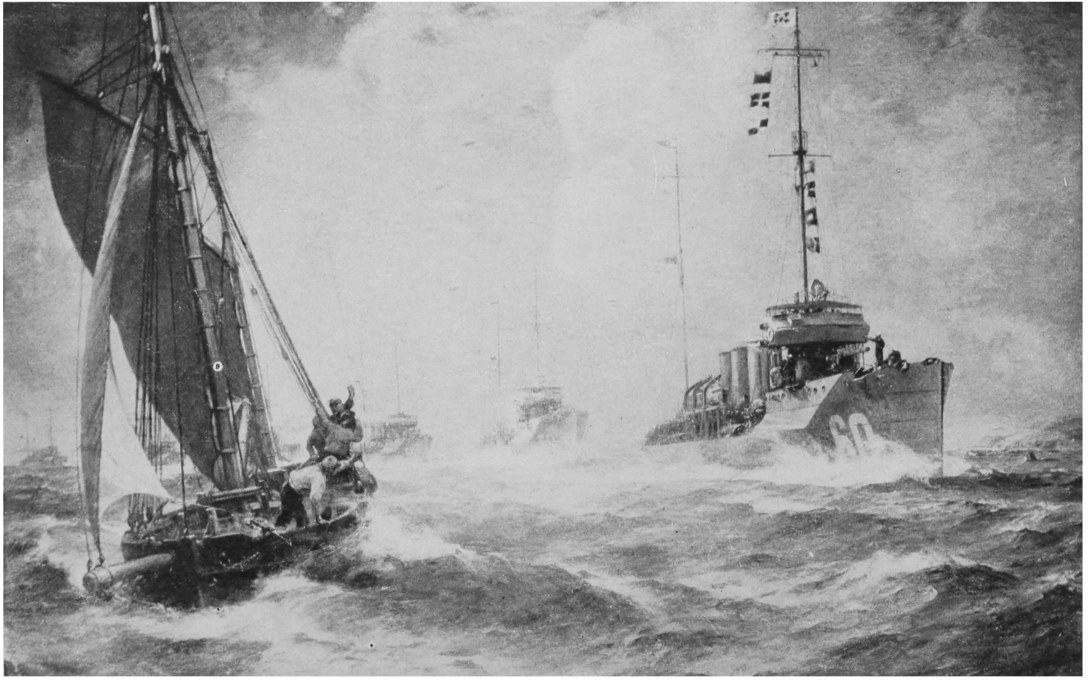
George 海峡、Bristol 海峡等ノ入口附近デハ殆ド意ノ儘ニ暴威ヲ逞シウシタ。英國海軍ニハ此等ノ海峡ノ哨戒ニ當ル程ノ餘裕モナク、時タマ驅逐隊ガ見廻ル位ノモノデアツタ。獨逸潜水艦ヲ制壓スルタメニハ、米國ノ驅逐艦ガ必要トナツタ。尤モ米國海軍省デハ Sims 提督ノ急書ガ到着スル前既ニ此ノ事ヲ豫想シテ居ツタノデアル。ソコデ臨戰準備ノ完了ト共ニ1驅逐隊ガ派遣サレタ。斯クテ5月4日、宣戰布告以來1箇月モ經タヌウチニ、6隻ノ米國驅逐艦ガ T. K. Taussig 中佐ノ司令旗ヲ掲ゲテ Queenstown ニ入港シタ。新聞紙ハ其ノ事ニ就テハ一言モ報道シナカツタケレドモ、市民ハ全部飛出シテ彼等ヲ歡迎シタ。彼等ノ來援ガ如何程聯合軍ノ士氣ヲ奮ヒ立タセタ事デアラウ。合衆國ノ來援其ノ事ヨリモ、聯合國側ハ寧ロ米國ガ參戰ノ實ヲ擧ゲテヰル事ヲ非常ニ喜ンダノデアル。其ノ當時撮影セラレタ活動寫眞ハ、直ニ全英國デ映寫セラレタ。其ノ寫眞ニハ初メニ正義ト自由ノ國ヲ發見スルタメ、1620 年北米ニ渡ツタ英國人ノ物語ヲ取リ入レ、驅逐隊ノ來援ヲ『「メイフラワー」號ノ歸』ト呼ンデ正義ト自由ノ聖戰ノタメニ3 世紀ノ後ニ歸ツテ來タコトヲ强調シテヰタ。

Taussig 艦長及乘組將校等ハ Queenstown ノ英國首席指揮官 Bayly 提督ニ報告ノタメニ伺候シタ。Bayly 提督ハ寡言ノ士トシテ知ラレテヰタガ、此ノ報告ニ對シテ彼ノナシタ應答ハ米國ニ於テハ勿論英國ニ於テモ有名ニナツタ。

紹介ガ終ツテ、Bayly 提督ハ開口第一ニ『Taussig 大佐ヨ、貴隊ノ出港準備ハ何時完了シマスカ。』Taussig ハ答ヘテ『燃料搭載終ラバ何

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料



The Return of the Mayflower

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

時デモ出港出來マス。』提督ハ『貴隊ハ修理ノ要ハアリマセンカ。』(工廠關係ノ仕事ヲ意味ス)、Taussig ハ答ヘテ『アリマセン。』ソコデ提督ハ最後ニ『需品ハ？』(乾燥食料品ヲ意味ス)、『否提督、各艦共現在70日間分ノ食料品ヲ搭載シテ居リマス。』ト。提督ハ次ノ如ク命令シテ其ノ引見ヲ終ツタ。『貴官ニ4日間ノ休養ヲ許シマス、サヤウナラ。』

容貌魁偉デ戰爭デハ獅子ノ如ク勇猛ナ Bayly 提督ハ、新ニ麾下ニ加ハツタ部隊ガ、口先バカリデナク眞ニ勇敢且有能ナルコトヲ知ツテ、其ノ部隊ヲ衷心信賴スルト共ニ、其ノ關係モ非常ニ親密トナツタ。

5月17日、更ニ6隻ノ驅逐艦ヨリナル第2驅逐隊ガ到着シタ。其レ以來6月5日マデ驅逐隊ガ殆ド毎週新ニ來着シ、既ニ34隻ヲ算シタ。此ノ34隻ハ戰爭ノ終ルマデ Queenstown ヲ根據地トシテ居タ。

一哨戒區域ガ割當テラレ、日割ガ決定シタ。即チ6日間哨戒ニ從事シタ後2日間ノ碇泊ガアリ、且1箇月1回ノ割デ5日間ヲ罐手入ト機械ノ分解手入ニ當テラレタ。

其ノ任務タルヤ實ニ苦シイ且單調極マルモノデ、終始注意ヲ集中シテ見張ルコトガ彼等自身ノ安全及彼等ノ管理下ニアル船舶ノ安全ヲ期スル所以デアツタ。又獨逸潛水艦ニ襲撃セラレタル船舶ノ發スルSOSノ反覆ヲ聞クヤ、驅逐隊ハ其ノ救助ニ急行シナケレバナラヌ事モアツタ。時ニハ收容乃至送致シナケレバナラヌ生存者ガ優ニ短艇1隻分モ居ル事モ、又危險區域ノ果迄終始商船隊ヲ護衛シナケレバナラ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヌ事モアツタ。

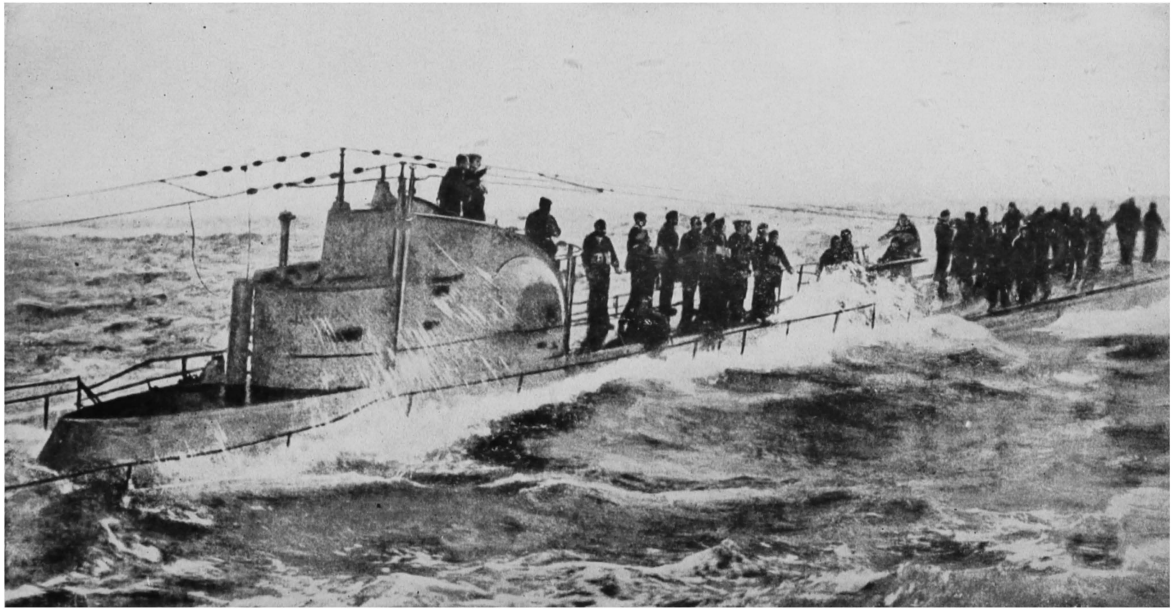
時々彼等ハ潜望鏡ヲ見付ケタ。其ノ時ハスカサズ急射撃、衝撃又ハ爆雷デ之ヲ強襲シタ。以上ノ三ノ中、爆雷ハ最新型ノ一種ノ機雷デ、米國參戰當時ノ發明ニカカリ、非常ニ有力ナモノデアツタ。潜水艦ガ愚圖愚圖シテ居ル間ニ、若シ其ノ凡ノ位置デモ發見セラレタル場合ニハ、色々深度デ爆發スル樣ニ調整サレタ此ノ爆雷ガ、驅逐艦カラ海中ニ投ゼラレ（又ハY砲ニヨリ投射セラレ）テ潜水艦ニ恐シイ激動ヲ與ヘルカ、多クノ場合致命的損傷ヲ與ヘルノデアル。

10月ノ或ル朝、數隻ノ驅逐艦ガ英國ノ輸送船隊ヲ英國ノ東海岸ニ護送シテ居タ時ノコト、彼等ハ米國汽船 Luckuback 號カラ潜水艦ニ砲撃セラレテヰル由ノ遭難信號ヲ受信シタ。

汽船ノ示ス其ノ位置ハ90浬ノ遠方デアツタガ、Nicholson 號ハ直ニ救助ニ向ツタ。武裝商船デアツタ Luckuback 號ハ、其ノ備砲ニヨリ潜水艦ヲ一定距離以內ニ寄セ着ケナカツタガ、併シ潜水艦ノ射距離ノ方ガ勝レテ居リ、敵ハ同船ヲナブリモノニシテ居ル有樣デアツタ。然シ Nicholson 號ガ『決シテ降參スルナ』ト送信スルト、直ニ『誓ツテ降參セズ』トノ勇シイ應信ガアツタ。Nicholson 號ガ現レタトキ同船ハ既ニ散々ニ打破ラレ、且火災ニ惱ンデ居乍ラモ尙戰ヒ續ケテ居タ。驅逐艦ハ機敏ニ應戰シテ同船ヲ救ヒ、護衞艦ヲ附シテ英國ニ送リ屆ケタ。

時ニハ驅逐艦モサウ旨クハ行カヌ事モアツタ。Cassin 號ガ哨戒中ノコト、自ラ魚雷ヲ喰ヒ艇ニ命中シタ。併シ辛クモ沈沒ヲ免レ、潜水

http://navgunschl.sakura.ne.jp/



Capture of the U-58 by the Fanning

HP『海軍砲術学校』公開史料

艦ガ止メヲサス爲ニ海面ニ現レルヤ、備砲デ之ヲ追拂ツタ。續イテ暴風雨ガヤツテ來タガ、ドウヤラ之モ旨ク切抜ケタ時救援艦ガ來、之ニ曳航セラレテ漸ク港ニ歸着スル事ガ出來タ。

我ガ驅逐艦ガ演ジタ最モ痛快ナ戰闘ハ、A. S. Carpender 大尉ヲ艦長トスル Fanning 號ト U-53 號トノ 1917 年 11 月 11 日午後ノ一戰デアツタ。

ソレハ Queenstown カラ 10 浬離レタ所ヘ 8 隻ノ英國ノ輸送船隊ヲ Nicholson 號ト共ニ護衞中ノ事デアツタ。注意深キ見張員ハ前方僅カ 400 碼ノ個處ニ潜望鏡ノ先端ヲ發見シタ。其ノ潜望鏡ハ輸送船隊ノ航路ニ徐々ニ近ヅキ、發射ニ最モ好都合ノ處ヲ占ムルカニ見エタ。併シ潜水艦ハ發射シナカツタ。ト云フノハ潜望鏡ヲ引込メル直前ニ Fanning 號ガ 20 節ニ增速シテ突進シテ來ルノヲ見タカラデアル。Fanning 號ハ潜望鏡ノ引込ンダ地點ニ到達シ、尙潜水艦ノ推定位置ノ稍前方迄進出シテ爆雷ヲ投射シツツ旋回ヲ續ケタ。潜水艦ヲ中心ニ更ニ大キク旋回シツツアツタ Nicholson 號ハ、Fanning 號ト共ニ爆雷幕ヲ作ル爲ニ獲物ニ接近シツツアツタ。

Nicholson 號ガ爆雷投射地點ニ近ヅイタ時、其ノ乘組ハ潜水艦ノ艦首ト司令塔ガ水上ニ浮上スルノヲ見タノデ、之ヲ航過シツツ爆雷ヲ落シ、續イテ艦尾砲ヲ以テ 3 發ヲ見舞ツタ。1 分ノ後司令塔ガ開キ士官ヤ兵員ガ夫々降服ノ意ヲ示スタメニ『友ヨ！友ヨ！』ト叫ビナガラ兩手ヲ擧ゲテ次々ト這ヒ出シテ來タ。其ノ時潜水艦ノ艦首ハ其ノ儘デアツタガ艦尾ハ上ツテ居タ。驅逐艦ハ 1 水兵ヲ除ク全員、即チ 4 名ノ士

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

官ト35名ノ兵員ヲ救上ゲル事ニ成功シタ。捕虜ヲ驅逐艦ニ移乘セシメテ居ル間、Fanning 號乘組ノ看護兵曹ト操舵員ハ氷ノ樣ナ水中ニ飛ビ込ミ、溺ルル獨逸兵ヲ助ケ上ゲタ。彼等ハ其ノ水兵ヲ首尾ヨク艦上ニ引上ゲタガ、彼等ノ努力モ空シク遂ニ蘇生シナカツタ。U-58 號艦長ノ話ニヨレバ Fanning 號ガ投ジタ最初ノ爆雷ガ潛水艦ノ電動機ヲ破壞シ、潛舵ヲ破損サセ、又油導管ヲ損傷シタ事ガ後ニナツテ判ツタ。全ク操縱不能トナツテ200呎迄沈降シタ時艦長ハ「メインタンク」內ノ海水ヲ排除シテ艦ヲ浮上サセタ。即チ彼等ハ海底ニ於ケル恐シイ死カ降服カ何レカノ破目ニ立到ツタ時、後者ヲ選ンダノデアル。

潛水艦狩リ用ノ小船艇ヲ增ス爲海軍省ハ持主ノ獻納シタ若干ノ大型快走船ヲ受納シタ。又新型ノモノガ出現シタ。コレハ長サ110呎、排水量60噸ノ驅潛艇デアル。18箇月後ニハ此ノ種ノ驅潛艇約400隻ガ整備シタ。其ノ內170隻ハ Queenstown, Brest, Gibraltar 及 Corfu ニ派遣セラレタ。其ノ上ニ海防艦、砲艦竝ニ Philippines ヨリ回航シタ舊式水雷艇迄モ使用シタ。是等小型艦艇ノ居住ハ非常ニ惡イモノガ多カツタガ、乘員ハ天候等ハ問題ニセズ任務ニ精勵シタ。

其ノ士官ヤ乘員ノ大部分ハ大學生デ、何レモ初メテ海軍ニ入ツタ者バカリデ、今迄曾テ大洋ヲ航海シタ經驗ノアルモノハ1名モナカツタガ、其レニモ拘ラズ彼等ハ赫々タル記錄ヲ作ツタ。

小型快遊船 Christibel 號ハ大手柄ヲ立テタ。輸送船隊ヨリ落伍シタ英國ノ商船ヲ護衞シナガラ、南佛沖合ニカカツタ時、同船ヲ襲擊セントシテヰタ潛航中ノ敵潛水艦ト交戰シタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

潜望鏡ガ潜没シタ箇所ニ投射シタ爆雷ノタメニ、色々ナ破片ト多量ノ黒色ノ重油ガ浮イテキタ。一兩日ノ後 UC-56 號ハ散々ナ姿デ西班牙ノ Santandar 港ニ辿リ着イタ。併シ損傷甚大デアツタタメ戰爭ノ終ル迄、其ノ港ニ止ラザルヲ得ナカツタ。

遙々 New London カラ「ギリシャ」迄6千浬ヲ航海シテ來タ36隻ノ驅潜艇ハ、Corfu ヲ根據地トシ、C. P. Nelson 大佐指揮ノ下ニ「アドリヤ」海カラ 40 浬下ツタ所ノ Oranto 海峽ノ哨戒ニ從事シテ、大功績ヲ樹テタ。水中聽音機ノ爲ニ潜水艦ノ追跡ハ非常ニ上手トナリ、爆雷ヲ投ジテハ潜水艦ノ乘員ヲハラハラサセタ。1918年10月ノ初メ Nelson 大佐ノ率キル12隻ノ驅潜艇ハ、英伊ノ輕巡洋艦ト協同シテ、Durazzo ノ「オーストリヤ」海軍根據地ヲ攻撃スルコトトナツタ。

Nelson 大佐ハ英國海軍ノ W. A. H. Kelly 代將ト協議ヲ終ツテ出テ來ルヤ、『水兵達ヨ、愈本物ノ戰爭トナル樣ダ』ト云ツタ。此ノ言ハ我ガ海軍ガ此ノ大戰ニ參加スル百年前、地中海戰ニ於ケル Decatur 提督ノ功績ノ原因トナツタ攻撃精神ト同一精神ノアラハレデアル。此ノ行動ニ於ケル驅潜艇ノ任務ハ、市ノ砲撃、船舶ヤ軍用倉庫ノ破壞ニ任ズル巡洋艦ヲ保護スルタメ對潜警戒幕ヲ張ル事デアツタ。壕軍ノ砲臺ハ此ノ小サナ驅潜艇ニ砲火ヲ集中シ、無數ノ彈丸ガ驅潜艇ノ周圍ニ落下シタガ、彼等ハ飽迄自己ノ任務ヲ固守シタ。

英國ノ巡洋艦目懸ケテ接近中ノ1獨逸潜水艦ノ居ル事ヲ探知シタ驅潜艇ノ1隻ハ、之ニ向ツテ猛進シタ。2番隊ノ驅潜艇ノ艇長ハ潜望鏡ヲ瞥見シタ。1發デウマク其ノ潜望鏡ヲ撃チ壞シ、之ニ突撃シテ爆雷

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

攻撃ヲナシタ。鋼板ノ斷片其ノ他ガ空中高ク飛散シタ事ヨリスレバ、確ニ命中シタモノト思ハレル。第1ノ驅潜艇ハ敵ニ機械室ヲ打抜カレタガ、コレヨリ先8箇ノ爆雷ヲ投ジテ油ヲ浮揚ラセ、7片ノ鐵板ヲ跳上ラセタカラニハ理合セハツク。

Durazzo ハ軍港トシテハ最早用ヲ爲サナクナツタ。此ノ戰闘デハ米軍ハ損傷皆無デアツタ。

◎輸送任務

短期間ニ2百萬ノ陸軍ヲ思フ通リニ動員整備シタノハ一大成功デアツタ。併シ是ハ一編ノ陸軍史デアル。海軍ニ關スルコトハ之等ヲ「フランス」ヘ輸送シタ事デアル。

「ドーヴァー」海峽ヲ渡ル軍隊輸送船及貨物船ノ護衛計畫ガ非常ニ旨ク イツタノデ、我ガ國モ本國カラ或ハ「アフリカ」、「ヂブラルタル」カラ英國ヤ西歐羅巴ヘ向フ船舶ヲ護衛スルニ當リ、英國ノ計畫ヲ其ノ儘採用スル事ニシタ。其ノ爲輸送船隊ノ速力ハ 20% 減ズル事トナツタガ、ソレデ安全ガ確保サレルトセバ、ソレモ安イ事デアツタ。——而モ非常ナ好成績デアツタ。

合衆國ニ派遣サレタ英國代表 Balfour 卿及佛國代表 Joffre 元帥ノ一行ハ、大統領ニ多數ノ小型船舶ノ斡旋ヲ依賴シタ。仍テ合衆國政府ハ船舶院及臨時船舶協會ヲ創設シ、アラユル途ヲ講ジテ船舶ヲ狩リ集メタ。米國ノ港灣ニ抑留中ノ獨逸商船及假裝軍艦ハ、早速分解檢査ヲ加ヘ或ハ修理シテ使用シタ。沿岸通ヒノ米國船ハ何レモ歐洲ニ持

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

チ行カレ、古イ造船所ハ擴張セラレ、新シイ造船所ハ晝夜兼行デ作業ヲ續ケテ各種ノ艦種ヲ作リ出シタ。海軍ノ運送艦ニ就テ云ヘバ、初メハ僅2隻シカナカツタガ、戰爭中48隻ニ達シ、又大西洋ヲ横斷スル輸送船隊ノ護衞用トシテ大西洋艦隊、特設部隊及豫備艦中カラ各若干宛ヲ拔イテ都合24隻ノ巡洋艦ヲ揃ヘタ。

大型快速ノ巡洋艦ハ軍隊輸送船隊ノ護衞用ニ、小型船ハ貨物輸送船隊ノ護衞用トセラレタ。巡航中ノ獨逸潛水艦ハ勿論、獨逸艦艇ノ攻撃ニ備フル遠洋護衞艦ノ任務ハ實ニ困難極ルモノデアツタ。彼等ノ任務ハ夏ノ日モ冬ノ日モ變化ナキ不斷ノ苦勞デ、7日間ノ入港休暇ノ後ハ又貴重ナル貨物ヲ滿載シタ定期船ヤ、太鼓腹ノ商船ヲ護衞スルタメニ出カケテ行ツタ。ソノ上辛イコトハ、歐洲ニ達シテモ滅多ニ陸岸ハ見ルコトモナク、遙カ沖合デ護衞驅逐艦ト出遭ヒ、其處カラ强イ北西風ニ送ラレテ引キ返シ、石炭ヲ補給シ、一寸ノ散歩ト活動寫眞ノ一覗キトガ終ルト直グニ次ノ輸送ヲ始メナケレバナラナカツタコトデアル。

併シ彼等ノ作ツタ記錄ハ素張ラシイモノデ、1隻ノ運送船モ、將又米國輸送船隊ニヨツテ輸送サレタ陸兵ハ1人モ、遠征ノ途中デ失フ樣ナコトハナカツタガ、歸路ニアル船舶ニ就テハサウウマクハ行カナカツタ。5隻雷擊セラレ、內3隻ハ沈沒シ、2隻ハ損傷ヲ受ケテ辛クモ歸港シタ。空船ノ護衞トテモ總ユル努力ハシタガ、併シ限リアル驅逐艦ニトツテハ、往航ノ滿載輸送船ト歸航ノ空船ト何レカヲ選ブ事ガ必要トナツタ時ニハ、前者ニ重キヲ置クコトハ亦當然ノ處置デアツタ。

戰爭中、亞米利加ノ演ズル端役位ハ充分妨害シ得ルモノトシテ獨逸

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

ガ當ニシテヰタ潜水艦ニ依ル封鎖ハ、2 段構ヘノ對策ニ依ツテ敗ラレテシマツタ。第1ハ前述ノ如ク護衛ノ爲ニ凡ユル有効手段ヲ盡シタコトデアリ、第2ハ護送商船隊ヲシテ見張ヲ嚴重ニサセタ事デアツタ。何度航海シテモ潜水艦ノ姿ヲ認メタコトハ1度モナカツタ。總テ商船ハ敵ノ居ナイ航路ヲ撰ンダカラ、敵潜水艦ヲ發見スル筈モナカツタノデアル。是ハ Brest 若ハ London ノ運輸部事務室ニヰル1人カ2人ノ士官ノ手際デアツタ。

係員以外ハ絶對ニ入室ヲ許サズ、從ツテ秘密ノ洩レル虞ノナイ此ノ室ノ片面ノ壁ニハ、大西洋ノ大海圖ガ一杯ニ張ツテアリ、其レニハ輸送船隊ノ居ル地點ガ刻明ニ記入セラレテアツタ。同樣ニ又獨逸潜水艦ノ位置ガ當時或ハ最近發見時以降ノ推定行動半徑ヲ附シテ記入シテアツタ。是等ノ圓ハ即チ回避スベキ危險界デアル。此ノ部屋ノヤツテヰル事ニ通ジテ居ナイ者ニハ、士官ガ如何ニシテ獨逸潜水艦ニ關スル確カナ情報ヲ入手出來タカト不思議ガルデアラウ。先ヅ第一ニ獨逸潜水艦ヲ發見シタリ或ハ其ノ襲撃ヲ受ケタ船舶ハ、經緯度ヲ附シテ其ノ次第ヲ此處ニ通報スル。第二ニ獨逸潜水艦ガ發信ヲ始メタ時ハ、何時デモ別ノ無線電信所デ之ヲ傍受シ、方向探知器デ其ノ位置ヲ決定スル。聯合國側ノ潜水艦、驅逐艦、輸送船等ハ緊急止ムヲ得ザル場合ノ外ハ一切發信ヲ禁ジラレテ居タガ、獨逸潜水艦ハ盛ニ無電ヲ飛バシ、普通ハ毎夕一定時ニ交信シ、時ニハ屢其ノ他ノ時ニモ交信シタ。熱心ナル注意ト、英國ノ諜報係ノ士官ノ通報トニヨリ、遠方ノ獨逸潜水艦ノ所在モ行動モ手ニ取ルガ如クデアツタ。彼等ノ中或ル潜水艦ハ機雷敷設

HP『海軍砲術学校』公開史料

ヲ主要任務トシ、又或ルモノハ魚雷以外ハ用ヒズ、又或ルモノハ魚雷ヲ豫備トシ主トシテ大砲ヲ使用シテ比較的長ク外洋ニ留ツテ居タ。彼等ガ普通持ツテ居ル魚雷ノ數ハ判ツテ居タ故、若シ或特定潜水艦ニ就テソレガ魚雷ヲ發射シタト云フ様ナ資料ガ次々ト集ルト、同潜水艦ハ必ズヤ、ヤガテ根據地ニ引返スダラウト云フ見當ヲツケルコトガ出來タ。運輸部事務室ニ居ル諜報係ノ士官ハ、英國ニ近ヅキツツアル輸送船隊ガ危險デアルト思フコトガ屢アツタ。ト云フノハ若シ同輸送船隊ガ其ノ儘針路ヲ保持シテ進ムナラ、翌日或ハ翌夜ニ獨逸潜水艦ガ出沒シテ居ル範圍ニ入ルニ決ツテ居タカラデアル。其ノ様ナ場合、同士官ハ輸送船隊ニ無電ヲ飛バシテ迂回セシムルカ、又ハ他ノ港ニ差向ケルコトニシタ。輸送船隊ハ敵ヲ見ズシテ又實際ニ危險地帶ニ入ルコトモナク目的港ニ到着シタノハ以上ノ苦心ノ結果デアル。

休戰當時歐洲ニ居タ數百萬ノ合衆國陸軍ノ 46 1/4 % ハ、合衆國ノ船舶ニ依ツテ彼ノ地ニ運バレタノデアル。又海軍長官ノ發表ニヨレバ、歐洲ニアル我ガ陸軍ノ中 924,578 名（1918 年 11 月 1 日調査）ハ合衆國ノ巡洋艦及驅逐艦ノ護衛ノ下ニ合衆國海軍ニ屬スル運送船ニ依ツテ渡航シタモノデアル。1918 年ノ春ノ初、西部戰線ノ陸軍ヲ至急增員スル必要ノアツタ時等ハ、1 日 1 萬名ノ割デ輸送セラレタ。其ノ上軍需品糧食ハ勿論一般各國民用ノ糧食モ共ニ輸送セラレタ。海軍長官ノ發表ニ依レバ、輸送機關整備後 10 箇月以內ニ遣歐部隊用ノ軍需品ヲ滿載セル船舶ハ平均 5 時間毎ニ 1 隻ノ割デ出港シツツアツタ。輸送指揮官トシテ部下ヲ督勵シテ倦マズ撓マズ働イタノハ Albert Gle-

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

aves 海軍中將デアツタ。輸送ノ成功ハ彼及在佛ノ我ガ海軍代表トシテ Brest 海軍根據地ノ指揮官デアツタ Henry B. Wilson 中將ニ負フ所ガ大デアツタ。

Biscay 灣ニ作戰中ノ獨逸潛水艦ヲ欺イテ佛蘭西ニ送ル 200 萬ノ軍隊ガ危險界ニ逢着シタ時、之ヲ保護スル難問題解決ノ衝ニ當ツタノハ Wilson 提督デアツタ。彼ハ Brest ノ運輸事務室ヲ通ジテ、又彼ノ麾下ノ驅逐艦、快遊船其ノ他補助艦船ヲ自由ニ使ツテ、此ノ任務ヲ果シタ。軍隊輸送船ヤ貨物輸送船ヲ迎ヘテ之ヲ揚陸スル事モ彼ノ責任デアツタ。其等ノ船舶ガ速ニ歸航ノ途ニ就ク事ガ出來タノモ、彼ノ不斷ノ監督ト撓マザル努力ノ御蔭ト云ツテモ過言デハナイ。

◎米國戰艦ノ海上封鎖參加

大戰勃發以來2箇年間（米國參戰以前）獨逸海軍大臣 von Tirpitz 提督ハ既ニ 1914年8月19日ニ獨逸帝國宰相ニ『戰勝ハ當ニ獨逸カ英國カ長續キスル方ニアル』ト言ツタコトヲ記シテヰル。又彼ハ軍令部長ニ『英國海軍ト英國トハ獨逸ノ最モ恐ルベキ敵デアル』ト云ツタ。

吾人ガ Tirpitz 提督ノ戰爭中ノ行爲ヲ如何ニ考ヘ樣ト、彼ノ時局ニ對スル判斷ハ正當デアツタ。封鎖部隊ノ主力ハ實ニ英國海軍、就中其ノ大艦隊ニ屬スル戰艦及巡洋戰艦デアツタ。此ノ封鎖コソ獨逸ヲ敗退サセタ二若ハ三ノ大原動力ノ一デアツタ。

獨逸ノ大海艦隊ハ一大海戰ヲ欲セズ、英國海軍ガ自國海軍ト同等以

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

下トナル迄其ノ枝隊ヲ奇襲シ、次々ト之ヲ壊滅サセタ上、一擧ニ勝ヲ收メントスルガ如キ愼重且着實ナル作戰ニ出タ事カラ考ヘテモ、如何ニ英國大艦隊ガ優勢デアツタカガ解ル。其ノ故ニ大海艦隊ノ活躍ハ(獨逸ガ圖ラズモ英國艦隊ニ遭遇シ、遂ニ大海戰トナツタ Jutland 沖ノ海戰ハ別トシテ)、何時デモ安全ニ母港ヘ引返シ得ル近海ヘノ出擊程度ノモノニ限ラレテヰタ。故ニ若シ英國大艦隊ガ一寸デモ其ノ嚴重ナル看視ヲ怠ツタナラ、獨逸ノ出擊部隊ガ次々ト飛ビ出シ、「フランス」行キノ軍隊輸送船ヤ貨物輸送船隊ヲ攻擊シタリ、或ハ獨逸ノ潛水艦封鎖ヲ制壓スル爲ニ聯合國側ガ採ツテ居タ色々ノ作戰ヲ打破ツタデアラウ。米國ガ歐洲ニ向ケテ大輸送船隊ヲ送リ始メルト、獨逸ガ棄鉢トナツテ巡洋戰艦迄モ出動サセテ全輸送船隊ヲ破壞シテ獨國內ヲ歡喜セシメル一方、米國ヲ震駭スルヤモ知レザル恐レガアツタ。ソコデ T. S. Rodgers 少將麾下ノ Nevada, Oklahoma 及 Utah 等ノ最モ快速ニシテ堅牢ナル戰艦ガ、愛蘭南西ノ Bantry 灣ニ派遣サレタノハ斯樣ナル災害ヲ未然ニ防止スルタメデアツタ。該灣ニ於テ、同隊ハ如何ナル敵ニ對シテモ之ヲ出擊シ得ル如ク待機シテヰタ。敵ノ襲擊ヲ防止シ得タノハ斯ル對策ノオ蔭デアツタト思ハレル。

愛蘭ニ此等ノ部隊ヲ配置スルニ先立チ、米國ハ大西洋艦隊ノ第9戰艦戰隊ヲ派遣シテ英國大艦隊ト合同サセルコトニナツタ。英國艦隊ハ終始海上勤務ニ服シテ居ル關係上、修理ノ爲大艦ヲ交互ニ歸港セシムル必要ガアツタノデアル。茲ニ於テ、英國ノ數的優位ヲ其ノ儘維持スルタメ、一方又米國參戰ノ實證ヲ示シテ士氣ヲ鼓舞スル爲ニ、Hugh

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

Rodman 少將麾下ノ New York (艦長 C. H. Hughes)、Wyoming (艦長 H. A. Wiley)、Texas (艦長 Victor Blue)、Florida (艦長 T. Washington) 及 Delaware (艦長 A. H. Scales) ノ 5 戰艦ヨリ成ル前述ノ戰隊ハ、1917 年 12 月 6 日 Scapa Flow ニ於テ英國艦隊ニ合同シタノデアル。同日ヨリ戰爭ノ終ル日迄此ノ戰隊ハ大艦隊ニ隷屬シ、第 6 戰艦戰隊トナツテヰタ。

何處ノ海軍ニモ獨特ノ信號書、信號法及特有ノ運動法ガアルモノデアル。第 6 戰艦戰隊ハ直ニ英國ノ流儀ヲ研究採用シタ。其ノ狀況ヲ略述スルト、米國ノ軍艦ハ英國ノ弩級艦ト對艦トナツテ各種ノ演習ニ參加シ、其ノ指導ヲ仰イダ。非常ニ早ク同化シタノデ、僅カ 4 日ノ後ニハ此ノ新參ノ戰隊ハ他ノ部隊ト共ニ出動シテ、其ノ任務ヲ遂行シタノデアル。

辛カツタノハ敵ト交戰スルコトデハナクテ、絕エズ敵ニ對シテ警戒ヲ嚴ニスルコトデアツタ。敵ニ對シ其ノ行動ヲ不明ニスル樣ニ意ヲ用ヒテ、艦隊ハ概ネ Orkney 島ノ Scapa Flow カ、或ハ Firth of Forth ノ Rosyth カニ在泊シテ居タ。乘員ノ休養ノ爲ニハ幾分途モ講ゼラレタガ、各艦共假令哨戒直後ト雖モ 4 時間ノ猶豫デ出港準備ヲ完了シナケレバナラナイ時ノ如キハ、休養モ必然的ニ制限セラレタ。緯度ノ高イ北部地方ノ冬ノ夜ハ長ク、海上ハ寒ク、而モ荒レ勝チデアツタ。併シ一般ノ氣分ハ快活デ樂天的デアツタ。唯一ノ本當ノ不平ハ敵モ現レズ、戰艦戰隊殊勳ノ機會ガ無ササウナ事デアツタ。併シ我ガ米國派遣部隊ハ一種ノ武者振ヒナシニハ任務ニ服シ得ナカツタ。ソノ戰

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

慄ハ半バ演習カラデアリ、半バ敵潜水艦ノ襲撃カラデアツタ。

或日ノ午後、艦隊ハ Rosyth ヲ出港シ、見通シノキカナイ吹雪ノ中ヘト進ンデ行ツタ。丁度其ノ日、縦陣ノ殿艦デアツタ Delaware ハ前續艦ノ霧中標的ヲ見失ヒ、他艦トノ聯絡ガトレナクナツタ。ソノ後ハ嚴ニ所定ノ如ク行動スルヨリ他ニ方法ガナカツタ。ソノ命令ハ針路ヲ指定シ且 90° ノ方向變換ヲ2回モ含ンデヰタ。艦長以下ノ士官ニトツテ、焦慮ノ夜ハ次第ニ過ギテ行ツタ。幸ニモ他艦トノ衝突ハ免レタガ、遂ニ何物ヲモ見ナカツタ。曉トナリ東天漸ク晴レ渡ルト、一艦ガ居ル事ガ判ツタ。コレハ David Beaty 提督ノ坐乘セル旗艦デアツタ。同提督ハ1軍艦ノ急ニ姿ヲ現ハシタノヲ見、諸砲ヲ之ニ向ケテ味方識別信號ヲ要求シタ。夜ノ間ニ同艦ハ全艦隊ノ間ヲ通リ拔ケテ、縦陣ノ嚮導艦ト目セラルル旗艦近クノ地點迄進ンデヰタノデアル。

獨逸側ハ米國ノ弩級艦ノ中ノ1隻ヲ沈メテ、獨逸側ノ士氣ヲ鼓舞シヤウト云フ望ヲ抱イテヰタ。故ニ終始米艦ヲ攻撃目標トシタ。1918年2月、Florida ト Delaware ガ輸送船隊ヲ護送シテ諾威海岸沖ニ差掛ツタ時、1隻ノ獨逸潜水艦ハ Florida ニ4發、Delaware ニ2發ノ魚雷ヲ發射シタ。併シ兩艦ハ巧ニ急回頭ヲ以テ之等ヲ避ケ、驅逐隊ガ潜水艦ヲ追ヒ拂ツタ。後日 New York ノ艦長ハ Pentland Firth ニ於テ怪シイ物ヲ發見シ、直ニ變針シタ。見レバ獨逸潜水艦デアルノデ、ソレニ向ケテ全速力デ突進シタ。士官達ハ右舷後部ニ爆發ヲ感ジ、續イテ2回モ感ジタ。調査ニ依リ推進器翼ガ2枚モ飛バサレテヰルコトガ判ツタ。其レキリ潜水艦ノ姿ハ見エナカツタノデ、沈沒シタモノト認

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

メラレテ居タ。此ノ直後修理ノ爲根據地ニ航行中ニ同艦ハ又獨逸潜水艦ニ襲撃セラレ、續ケ様ニ3本ノ魚雷ヲ見舞ハレタガ、何レモ前方ヲ通過シタ。當時同艦ハ推進器ノ損傷ノ爲12節シカ出ナカツタガ、是レガ潜水艦ヲシテ的速ノ測定ヲ誤ラセテ、ミスミス敵ヲ逃ガス様ナコトニナツタノデアル。

一方合衆國デハ各部隊ヲ集メテ、Henry T. Mayo 提督ヲ司令長官トスル大西洋艦隊ヲ編成シタ（同提督ハ大戰ノ初メ歐洲ノ狀勢ヲ具ニ視察スルタメニ同方面ニ出張シタ事ガアル）。大西洋艦隊ハ猛訓練ヲ積ムト共ニ、臨戰準備ニ完璧ヲ期シテヰタ。1918 年ニハ獨逸ノ潜水艦ハ事實米國ノ近海迄モ來リ、我ガ巡洋艦 San Diego ヲ機雷ニテ沈メ、多數ノ商船ヲ或ハ砲撃シ、或ハ雷撃シタ。萬一英國大艦隊ニ迄モ斯ル災害ノ及ブ時ニハ、米國ハ直ニ出動セシメ得ル如ク其ノ强力ナル豫備隊ヲ整備シタ。

作戰部長 Bensen 提督ハ人員及需品ノ補充關係ヲ擔當スルト共ニ、派遣部隊ト殘留部隊トノ連絡統一ノ任ニ當ツテヰタ。作戰部ハ最モ重要デアツタ。何トナレバ大小ヲ問ハズ、作戰ハ總ベテ其ノ指揮ニ待ツコトニナツテ居タカラデアル。彼ハ最モ有効ニ戰鬪ヲ繼續スル如ク、各國ノ海軍首腦部トノ聯絡ヲ密ニスルタメニ戰爭當初及結末期歐洲ニ出張シタ。

華府ニハ海軍ノ中樞トシテ海軍長官 Gosephus Danielo ガ居タ。彼ハ海軍ノ各方面ト密接ナル聯絡ヲ保ツテ、議會ニ對シ海軍ヲ代表シテ頑强ニ其ノ要求ヲ主張シ、尨大ナル軍事費ノ獲得ニ努メタ。自ラ海軍

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ノ繁忙ナル事務ヲ掌鞅シツツモ、又一方彼ニハ一水兵ノ希望モスラ喜ンデ聽ク用意ガアツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

第29章　世界大戰（其ノ2）

◎米國潜水艦及航空機

吾人ハ前章ニ於テ、對獨海上封鎖戰竝ニ之ニ對抗スル獨逸ノ水中封鎖ヲ擊破スル爲ノ戰鬪ヲ檢討シタガ、本章ニ於テハ、米國ノ潜水艦及航空機ノ演ジタ戰鬪ニ就テ述ベヤウ。

潜水艦、航空機何レニ就テ見テモ、我ガ海軍ハ劣勢デアツタ。合衆國海軍ノ潜水艦ハ皆小型デ、米西戰爭時代ノ戰艦ヤ水雷艇ノ如ク、主トシテ港灣防禦用ノモノデアツタ。又居住設備モ惡ク、歐洲諸國ノモノニ較ブレバ、數年モ立後レノ形デアツタ。其ノ上海軍一般ガ潜水艦等ハ殆ド眼中ニ置イテ居ナカツタ。航空機トテモ殆ド持合サズ、又搭乘員モ極メテ少數デアツタ。

併シ聯合國側ノ經驗ニ依リ、偵察用トシテ又攻擊用トシテ、其ノ利用價値ノ素晴シイ事ガ解リ、參戰後ハ海軍省ハ苟モ役ニ立ツモノハ擧ゲテ之ヲ送ルト共ニ、大規模ニ其ノ建造ニ着手スル事ニ決シタ。

潜水戰隊ノ1隊ガ Azores ニ向ケテ出港シタノハ 1917年10月ノコトデアツタ。其レヨリ2箇月後、又1隊ガ英國諸島ニ派遣セラレタ。後者ハ丁度極メテ惡イ季節ニ渡洋ヲ餘儀ナクセラレ、引續キ時化ニ遭ヒ、時ニハ颶風ニモ準ズル樣ナ大風ニ惱ンダ。併シ7隻ノ潜水艦ハ遂ニ愛蘭ノ Bantry 灣ニ到着シタ。此處デ英國海軍ノ選拔專門將校ニ就テ速成講習ヲ受ケ、直ニ一般ノ哨戒作業ニ從事シタ。斯クテ多數ノ艦船ガ輻輳シ、獨逸潜水艦ノ好狩獵場ノ感ノアツタ St. George 海

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

峡、Bristol 海峡及愛蘭ノ西部及南部等ノ海面ノ内、一定ノ範圍ヲ受持ツコトニナツタ。

獨逸潜水艦ハ己ガ注意ヲ通商破壊戰ニ集中スル一方、同時ニ敵ノ潜水艦ト戰フコトノ至難ノ業タルコトニ氣付イタ。何トナレバ遠ク外洋ニ出テヰル間ハ、蓄電池ヲ節約シナケレバナラナカツタカラデアル。故ニ大概ハ「ディーゼル」機械ヲ用ヒテ水上ヲ航行シタノデアル。其レ故、若シ聯合國側ノ潜水艦ガ潜航シ乍ラ之ニ接近シタ場合、水上ノ潜水艦ハ吃水ガ大デアルカラ、宛モ獨逸潜水艦ニ襲撃セラレタ商船ト同樣ニ、不意打セラルル危險ガアツタ。斯ル危險ニ直面シテ、彼等ハ商船ト同ジ樣ナ作戰ニ出タ。即チ彼等ハ敵潜水艦ヲ敬遠スルコトニシタノデアル。其ノ結果獨逸潜水艦ハ、獲物ノ少イ事ハ覺悟ノ上デ、漸次遠ク外洋ニ出テ作戰スル樣ニナツタノデアル。

獨逸ヲシテ斯ル作戰ニ出ヅルノ止ムナキニ立至ラシメタノモ、實ニ我ガ AL 型潜水艦ノ功績デアツタトスレバ、當然滿足ス可キデアツタラウ。併シ彼等ハ是ヲ以テ足レリトセズ、敵潜水艦ヲ1隻デモ擊沈セント探索之レ努メタ。Paul F. Foster 大尉ノ AL-2 號ノ功績ハ其ノ最モ注目ニ價スルモノノ一ツデアル。

AL-2 號ハ8日間ニ亘ル哨戒任務ヲ終ラントシテ Bantry 灣ニ向ケ浸洗狀態ニテ航行中、偶遠ク幽ニ見エタ怪シキモノヲ取調ベルタメニ變針シタ。次第ニ近寄ル中、僅カ20呎ノ近クデ魚雷ガ爆發シ、續イテ潜望鏡ノ先端ガチラツト見エタ。其ノ魚雷ハ AL-2 號ヲ損傷スルコトナク、却ツテ獨逸潜水艦ヲ損傷シタ。恐ラク魚雷ハ大圓ヲ描イテ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

發射シタ艦ニ當ツタモノト思ハレル。コレヨリ外ニ考ヘ様ガナイ。AL-2 號艦長ハ直ニ其ノ情況ヲ察知シ、急速潜航ヲ命ジ、獨逸潜水艦ヲ衝撃セントグルグル廻ツタ。敵潜水艦ノ推進器ノ音ガ船殻越シニ聞エル程近接シナガラモ、遂ニ衝突シ得ナカツタ。

急ニ推進器ノ音ガ聞エナクナツタ。AL-2 號ハ數時間捜シ廻ツタガ其ノ後ハ遂ニ何等得ル處ガナカツタ。敵潜水艦ガ AL-2 號ヲ避ケル爲ニ潜沒シタノハ極メテ當然ノコトデハアルガ、若シ潜沒シナイデヰタラ、却ツテ助カツタカモ知レナイ。其レヨリ3箇月後、英國海軍本部ハ獨逸潜入ノ諜報係士官ノ入手シタ秘密報告ヲ發表シタ。ソレニ依レバ事件當日、獨逸潜水艦 UB-65 號ハ愛蘭ノ Fastnet 沖ニ行動中ナリトノ報告ヲ最後ニ、以後杳トシテ消息ナシトノ事デアツタ。此ノ情報ヲ聞クヤ英國海軍本部ハ、直接手ヲ下スコトナク UB-65 號ヲ沈沒セシメタルハ AL-2 號ノ殊勲ナリトシタ。

次ニ航空隊ノ活躍ニ就テ考フルトキ、吾人ハ航空隊ガ初メハ如何ニ貧弱デ、而モソレガ如何ニ急速ニ發達シタカニ驚クノデアル。參戰ノ前年 Yale 大學航空研究團ハ Trubee Davison ノ指導ノ下ニ訓練ヲ始メテヰタガ、實ニ此ノ義勇隊ガ米國航空隊ノ發祥デ、航空隊ハ之ヲ中心トシテ發達シタノデアル。1917年6月5日、7名ノ士官ト122名ノ兵員ヨリナル飛行隊員ガ St. Nazaire ニ到着シタ。彼等コソ佛國ニ上陸シタ我ガ派遣軍ノ先驅ヲナシタノデアル。

間モナク米國海軍飛行隊ハ佛蘭西ノ西海岸至ル處ニ設置セラレ、受持管區ヲ定メテ1隊1管區ノ割デ哨戒ニ任ジタ。斯クテ大戰ノ末期ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ、繋留氣球隊4、水上飛行隊18、飛行船隊3、爆撃飛行隊5 ヲ數フルニ至ツタ。

併シコレトテ Pauillac 其ノ他ニ建設中デアツタ尨大ナ施設ニ比スレバ、物ノ數デハナカツタ。米國派遣軍ハ器材ニ不自由シ乍ラモ克ク戰ヒ、他ニ心強サヲ感ゼシメタ。海軍大佐 D. C. Hanrahan ヲ司令トスル北部爆撃隊ハ士官305名、兵員 2,000 名及飛行機112機ニテ編成セラレテ居タ。彼等ハ Zeebruge 及 Ostend ノ潜水艦根據地ヲ爆撃シヤウト懸命ニナツテヰタガ、飛行隊唯一ノ任務ハ、佛國ノ諸港ニ出入スル輸送船隊ノ護衛ニ任ズル事デアツタ。其ノ高度ヲ利用シテ遠方ノ船舶ヲ見出ス方法ハ段々巧妙ニナツタ。假令潜航中ノ潜水艦デモ屢之ヲ發見シタ。敵ト戰ツテ不利ト知レバ、爆雷攻撃ヲナシ得ル箇所ニ驅逐艦ヲ指向ケテ其ノ目的ヲ達シタ。

我ガ派遣軍中、飛行隊ガ如何ニ活動シタカハ數字ガ雄辯ニ物語ツテヰル。H. I. Cone 大佐及 T. T. Craven 大佐指揮ノ下ニ戰地ニ活躍シタ米國海軍航空隊ハ、總數 44、實戰ニ參加スルコト實ニ 5,600 回以上ニ達シタ。

◎北 海 機 雷 堰

米國ハ參戰當初ヨリ獨逸潜水艦ヲ撃攘スルノニ、苟クモ役立ツ機械力ハ全幅的ニ利用セント決心シテヰタ。對敵行動ヲ起シテヨリ9日目ニ兵器局ハ頗ル大規模ナ計畫ヲ進メタ。此ノ計畫ハ諾威ヨリ Orkeneys 間 230 浬（紐育ヨリ華府ニ至ル距離ニ略等シ）ニ亘リ、水深 1,100

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

呎ニ及ブ箇處ニ機雷堰ヲ構成シ、以テ獨逸艦船ヲ北海ニ封鎖スルコトデアツタ。

英國ハ既ニ英吉利海峽ノ南入口ヲ封鎖シ、2箇年半ノ間ニ Heligoland 灣内ニ3萬箇ノ機雷ヲ敷設シタ。1917 年ニハ英國ハ1箇月平均7,000箇ノ機雷ヲ使用シタノデアルガ、是ハ英國ノ機雷製造能力ノ概ネ最大限度デアツタ。

機雷ノ要望ハ斯クノ如クデアツタ。是ニ對シ兵器局ハ全力ヲ集中シタ。局長 Ralph Earle 少將ハ間モナク、海軍省ト英國海軍本部ヘ新型ノ機雷ヲ送ツテ其ノ批判ヲ求メタ。之ハ S. P. Fullinwider 中佐、T. S. Wilkinson 少佐及 Ralph Browne 氏ノ共同研究ニカカル非常ニ改良セラレタモノデ、調節繫維裝置ニ依リ如何ナル水深ニ對シテモ敷設シ得、又水面下數呎ノ處ニアル浮子ニ取付ケテアル細イ銅索製ノ長イ「アンテナ」ハ其ノ機構頗ル微妙デ、一度金屬質（例ヘバ船殻ノ如キモノ）ニ觸ルルヤ、能ク電流ヲ通ジ炸藥ヲ爆發セシムルニ至ル式ノモノデアツタ。故ニ敷設原ヲ通過スル潜水艦ハ、240 呎以上ノ深度ニテ航過セザル限リ、水上航行モ潜航モ共ニ危險デアツタ。

研究、調査實驗、改造ノ時代ヲ經テ、其ノ製造ノ爲ニ大規模ノ組織ヲ必要トスル時期トナツタガ、米國ニ於テハ所要數ノ機雷ヲ製造シ得ル機械又ハ能力ヲ持ツテヰル工場ハ一モ無カツタ。且又機密保持ノ都合上仕事ヲ配分スル必要ガアツタ。540 人ノ請負人ト下請負人ガ此ノ大業ニカカルコトニナツタ。機雷敷設隊ノ一根據地ガ英國ノ「テームス」河畔ニ建設セラレ、續イテ Scotland ノ西海岸ニモ二ツ增設セラ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

レ、同方面ノ首席指揮官タル米國海軍少將 Joseph Strauss ニ屬セシメラレタ。

R. R. Belknap 大佐ノ指揮スル10隻ノ米國敷設隊ガ驅逐艦ニ護衛セラレテ出動シ、同敷設隊ト獨逸沿岸トノ間ニ警戒幕ヲ構成スル戰艦ニ護ラレテ 47 浬ニ亘ツテ機雷敷設作業ヲ決行シタノハ實ニ 1918年6月8日デアツタ。此ノ計畫ヲ遂行スル爲ニ、以上ノ外ニ夏ヨリ初秋ニカケテ更ニ次々ト12隻ノ敷設艦ガ增派セラレタ。機雷堰ノ構成ハ英米2國ノ協同作業デ、總數 70,263 箇ノ機雷ガ敷設セラレタ。其ノ內、米國ノ敷設艦艇ニ依ルモノハ 56,611 箇デアツタ。機雷堰ノ幅ハ15浬乃至35浬デアツタ。ソレデ此ノ危險地帶ヲ通過スルニ、潛水艦ハ水上航行ニテハ 1時間～3時間ヲ要シ、潛航デハ 3時間～6時間ヲ要シタ。

6月ノコト、第1回敷設ノ直後1隻ノ獨逸潛水艦ハ運惡クモ機雷ノ爲ニ非常ナル損傷ヲ蒙リ、漸ク諾威ノ港ニ辿リ着イタガ、大戰ノ終ル迄其處ニ抑留セラレタ。此ノ外次々ト災難ガ續イタ。盛ニ無電ヲ飛バシテヰタ1隻ノ獨逸潛水艦ハ、機雷堰ニ達スルヤ、突如トシテ沈默シタ。何事カアツタニ違ヒナイ。戰後獨逸側ノ報道ニ依レバ、此ノ機雷堰ニカカツテ沈沒若ハ最早就役出來ザル程度ニ損傷シタ獨逸潛水艦ハ、實ニ17隻ニ及ブ事ガ判ツタ。

思フニ其ノ間接的ナ効果ハ更ニ大デアツタデアラウ。敷設原ヲ通過スルニ 1～6 時間ヲ要シタ事ハ、精神的ナ苦痛此ノ上モナカツタ事デアリ、且乘員ノ士氣ヲ沮喪セシメタニ違ヒナイ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

若シ大戰ガ今1年モ續イタナラ、米國ノ機雷敷設ハ更ニ大規模トナリ、地中海ハ勿論廣ク他ノ海面ニモ及ンダ事デアラウ。米國ノ莫大ナル資源ト、米國ガ其ノ企業ノ爲ニ其ノ資源ヲ惜ミナク使フ事ヲ充分ニ認識シタ獨逸ハ、己ノ敗北ニ瀕シテヰル事ヲ遂ニ自覺スルニ至ツタ。

◎陸上ニ於ケル海軍ノ戰鬪

合衆國海軍ノ本領ハ元來海洋ニ在ルハ勿論デアルガ、必要アルトキハ常ニ躊躇スルコトナク陸上ノ戰鬪ニモ參加シタ。

兵器局第2番目ノ大計畫（之モ海軍少將 Ralph Earle ノ考案）ハ今迄試ミラレタル何レヲモ凌駕スル大列車砲ヲ造ツテ佛國ニ送リ、西部戰線デ之ヲ使用スルコトデアツタ。

議會ノ協贊ヲ經乍ラ戰爭勃發ノタメニ未起工ノ儘ニナツテヰタ巡洋戰艦用ノ數門ノ14吋砲ガアツタ。兵器局ノ計畫ハ構築ニ手間ヲ食ヒ、且又イザ戰鬪トイフ時ニハ其レ等ガ最モ必要ナ所ニ存在シナイト云フヤウナ「コンクリート」ヤ鋼製ノ永久的ナ砲臺基礎工事ノ上デハナクシテ、移動性ヲ有シ、且獨立的ナル砲架、即チ特別ニ設計セラレタル列車ノ上ニ之ヲ据着ケルコトデアツタ。

機雷堰構成ノ場合ト同樣ニ、仕事ハ急速ニ進捗シタ。1918年8月中旬頃ニハ海軍少將 C. P. Plunkett ノ指揮スル5臺ノ怪物ガ既ニ「フランス」ノ鐵道上ヲ運轉シテ居タ。其ノ搭乘員ハ皆海軍ノ兵員デ、常ニ戰鬪準備ヲ完成シテヰタ。又此ノ怪物ノ裝備ト運用トヲ完全ナラシムル爲ニ、14輛連結ノ列車ガ之ニ附屬シテヰタ。其ノ中 2, 3 輛ハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

裝甲火藥庫、機械工場、「クレーン」、無線室、烹炊室、寢室用ニ充テラレテ居タ。是等ノ車輛ノ設計モ製作モ砲架同樣、總テ兵器局ニヨルモノデアツタ。

此等ノ列車砲ガ初メテ戰爭ニ參加シタノハ、9月16日ノ Laon 附近ノ戰鬪デアル。其ノ威力ハ直ニ認メラレタ。實ニ30哩ノ射程ヲ有シ、敵ノ戰線ノ背後ニ砲火ヲ集中スルコトガ出來タ。其レ迄聯合軍ノ砲彈ガ達シ得ナカツタ處ニ落下シタノデアル。其ノ後ノ戰鬪ニモ、常ニ我ガ陸軍ト協同シタ。Earle 少將ハ列車砲ノ偉力ヲ評シテ、『列車砲ノ砲火ニ依ツテ獨逸ノ鐵道ハ粉碎セラレタ。就中 Montmédy, Longuyon 及 Conflans 等ノ重要分岐點ニ於テ特ニ猛烈デアツタ。又戰線ヨリ遙カ後方ノ地帶ニ在ツテ安全ト思ハレテ居タ彈藥置場サヘモ擊破セラレタ。』ト述ベテキル。

海兵隊ハ海軍省ノ創設ト殆ド時ヲ同ジウシ、實ニ 1798 年ノ創立ニカカリ、以來其ノ歷史ヲ誇ツテキルガ、同隊始ツテ以來ノ最モ輝シイ殊勳ヲ樹テタノハ、世界大戰ノ最後ノ5箇月ニ於テデアツタ。Belleau ノ森ノ Thierry 城ニ於ケル Soissons 附近ノ攻擊ニ於テ、又 St. Mihiel 凸角附近ノ戰鬪ニ於テ、又 Rheims 附近ノ Blane Mont ノ攻略ニ於テ、海兵隊ハ無双ノ豪勇ト必勝ノ信念ト忍耐トヲ以テ奮戰シタ。彼等ガ最初ニ戰爭ニ參加シタノハ、時恰モ從來攻勢ニ出テ居タ獨逸軍ガ退却ヲ始メルト云フ轉換期ニシテ、實ニ大戰中最モ重要ナル時期デアツタノデ、自然彼等ノ任務ハ初陣トシテハ餘程重大デアツタ。彼等ノ戰鬪ガ如何ニ猛烈ヲ極メタカハ、戰鬪參加人員8千名中、戰死 1,600

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

名、負傷 2,513 名、即チ死傷併セテ半バ以上ニ及ンデヰルコトニ依ツテモ判ル。彼等ノ戰闘ヲ概説スルコトハ本書ノ範圍ヲ越エルカト思ハレル。彼等ハ Pershing 將軍麾下ノ陸軍ト協同シテ居タ關係上、普通ニハ陸軍史ニ詳述セラレテ居ル。

◎降　　服

Firth of Forth ノ入口ニ在ル May Island ノ東方 40 浬ノ會合地ニ到着シタ英國大艦隊ハ、1918 年 11 月 21 日ノ未明、獨逸大海艦隊ヲ迎ヘルタメ間隔 6 浬ノ長イ竝陣列ヲナシテヰタ。米國ノ第 6 戰艦戰隊ハ其ノ北側ノ縱陣ノ中間ニ在ツテ、此ノ大芝居ノ終幕ニ參加シテヰタ。英國ノ一輕巡洋艦ハ獨逸艦隊ノ嚮導ニ任ジ、Queen Elizabeth ニ坐乘スル Sir David Beatty 大將ガ其ノ降伏ヲ待受ケテヰル會合點ニ近付イテ來タ。斯クテ Queen Elizabeth ハ輕巡ニ代ツテ獨逸大海艦隊ノ長イ縱陣ヲ誘導シタ。見レバ初メノ 5 隻ノ巡洋戰艦ハ距離 3 鏈ノ單縱陣ヲ制リ、次ニ 9 隻ノ弩級艦ガ之ニ續イタ。更ニ其ノ殿艦ヨリ 3 浬置イテ 6 隻ノ輕巡洋艦ガ前ト同樣ニ各 3 鏈ノ距離ヲ保ツテ續キ、其ノ殿艦ノ後方 3 浬ニ 50 隻ノ驅逐艦ガ 5 群ニ分レテ之ニ續航シテヰタ。

獨逸艦隊ガ竝陣列ノ包圍スル地點ニ到着スルヤ、英國艦隊ハ外方ニ變針シテ之ト反航シ、獨逸艦隊ヲ其ノ指定錨地ニ護送シタ。獨逸旗ハ未ダ斜桁ニ飜ツテヰタ。日沒近クナツタ頃、Beatty ハ カノ有名ナ信號ヲナシテ『獨逸軍艦旗ハ本日午後 3 時 57 分ヲ期シテ降下セラルルモノトス、而シテ許可ナクシテ再ビ之ヲ揭揚スベカラズ。』ト申渡シ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

タ。

既ニ勝ツタノデアル。米國ハ過去1箇年乃至1箇年半ニ亘ツテ、アリト凡ユル戰鬪ニ參加シタ。我ガ軍ノ功績ヲ云々スルコトハ愚デアリ、且又戰爭ニ莫大ナル犧牲ヲ拂ヒ、我ガ國ヨリモ更ニ長年月ニ亘ツテ戰鬪維レ努メタル我ガ聯合諸國ニ深ク感謝セザルモ亦愚デアラウ。併シ乍ラ一方、我ガ國ヨリ此ノ戰爭ニ參加シタ者ハ凡ユルモノヲ犧牲トシタノデアルカラ、若シ彼等ノ驚ク可キ適應性ト協同一致ノ精神ト綿密サト熱誠トヲ買ツテヤラナカツタナラバ、彼等ニ申譯ガナイデアラウ。

Jutland 沖ノ海戰ノ獨逸大海艦隊ノ恐ル可キ指揮官デアリ、又大戰末期ノ獨逸海軍ノ柱石タリシ Scheer 提督ハ、戰後1年ニシテ公ニシタル著書ニ、英米海軍ガ勝利ヲ收メタ原因ニ就キ妙ナ偏見ヲ述ベテヰルガ、併シ一方獨逸海軍ノ士氣ノ頽廢ニ就テハ之ヲ自ラ認メテヰル。彼ハ又獨逸ガ潛水艦戰ニ熱中シタ餘リ、獨逸大海艦隊ノ實力ガ低下シタ事ヲ述ベテヰル。又獨逸潛水艦ハ經驗アル潛水艦長ガ次々ト戰死シタタメ、且又聯合國側ノ對潛防禦法ガ改良セラレタタメ、次第ニ其ノ實力ヲ失ツテ來タ事ヲ述ベテヰル。敗戰ヲ既ニ覺悟シタ獨逸政府ガ、講和ノ豫備交涉ヲ開始シタ時ニ、獨逸海軍首腦部ノ間ニハ挑戰ノタメ其ノ大海艦隊ヲ出動セシメル計畫ガアツタ事ヲ述ベテヰル。併シ獨逸海軍首腦部ノ此ノ計畫モ無謀ナ自棄的ナモノデ、一般ニモ名譽ノ戰死ヲ遂ゲル程ノ意氣込ミモ見エナカツタノデアル。果セル哉、1918年10月29日出動命令ノ下ツタ時ニ艦隊ニ叛亂ガ起リ、次デ北部獨逸一

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

帶ニ急速ニ擴ガツテ行ツタ。

獨逸軍ノ士氣潰滅シ、忽ニシテ戰ハ終熄シタ。疲勞ヲ知ラザル多數ノ米國海軍ノ驅逐隊、快遊船隊、驅潜艇隊、航空隊、敷設隊及無數ノ陸軍部隊竝ニ增加スルモ決シテ減少シナイ盡クルコトナキ各種ノ軍需品、此等ガ勝敗ヲ決定スル原因トナツタ事モ亦勿論デアル。

HP『海軍砲術学校』公開史料

第30章　米國海軍ト對外政策

◎孤立ノ終焉

若シモ合衆國ガ大戰ニ於テモツト重要ナル役割ヲ演ジテ居タナラ、敗戰國タル中歐強國ニ對シテ提供サルベキ條約文起草ノ爲ニ 1919 年 1 月巴里ニ開會セラレタル平和會議ニ於テ、更ニ大ナル權威ヲ示シタ事デアラウ。大統領 Wilson ハ自ラ前例ヲ破ツテ米國首席全權トシテ赴キ、直接會議ヲ支配スル樣ナ事ハシナカツタガ、條約文中ニ、世界的ニ名高キ國際聯盟ノ項ヲ挿入スル事ニ成功シタ。合衆國ハ例ヘバ社會的經濟的改善ヲ目的トスルガ如キ國際聯盟ノ活動ニハ協同ノ勞ヲ惜マヌガ、數多ノ理由ニ因リ國際聯盟ニ加盟シナカツタ。平和會議ニ關シテ殊ニ意味深長ナル點ハ、一世紀以上ニ亘ツテ固執シテ來タ米國孤立政策ガ終ヲ告ゲタ事デ、我ガ國ハ歐洲ノ政治ニハ干渉ハセヌガ、大戰以來アラユル方面ニ於テ實證セラレル如ク、世界ガ米國ニ就キ非常ナル關心ヲ持チ始メタ事デアル。

米國ハ「常態ニ復スル」ノニモ（大統領 Harding 得意ノ一句ヲ引用スレバ）、全ク昔ノ樣ナ物事ノ觀察方法ヲ採リ得ナカツタ。大戰中米國ノ經濟的地位ハ變化シ、世界ノ金融市場ノ中心ハ倫敦カラ紐育ヘ移ツタ。總軍事費ハ米國ノ參戰期間 18 箇月 1 時間 100 萬弗以上ノ割トナリ、尙 2 億 5 千萬弗ニ達スル國債ヲ殘シタ。然ルニ全體トシテノ國富ハ著シク增大シ、貯蓄銀行ノ預金高ヲ見テモ如何ニ個人的繁榮ガ一般的デアツタカガ判ルノデアル。合衆國ハ今迄英獨及伊太利ガ特ニ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

關心ヲ持ツテヰタ國々ニ自國ノ市場ヲ開發シタ。且又我ガ國ノ製産業ハ軍需工業ノ爲ニ極度ニ發達シタノデ、戰後ハ海外ノ新市場ヲ探シ出サネバ立チ行カヌ程ニナツテヰタ。ソレ故正純ナル人道的本能ハ別トシテモ、我々ハ戰爭ニ依リ疲弊シタ國々ノ復興及其ノ他諸外國ノ安寧ニモ關心ヲ持ツベキ充分ノ理由ガアツタノデアル。

我ガ海軍モ同樣ニ、人道ト商業此ノ二方面ノ爲ニ大ニ奉公ヲ勵ンダノデアル。

地中海ガ靜穩トナル迄ニハ、兎角風波ノ絕エ間ナキ時代モアツタ。Constantinople ヲ根據地トスル我ガ艦隊ノ司令長官 Mark L. Bristol 海軍中將ハ戰爭ガ大體終ツタ 1919 年 8 月、合衆國代表最高委員ニ任命セラレタ。提督ハ各方面ノ氣受ケヨク、其ノ任ニ在ルコト今ヤ 8 箇年ニ及ンデヰル。彼ノ任務ハ主トシテ外交的性質ノモノデアツタ。彼ハ 2 隻ノ巡洋艦ト 1 隊ノ驅逐隊ヲ有シ、就任當初專ラ赤十字社、近東救濟會、飢餓ニ惱メル「ロシヤ」農民救濟ヲ目的トスル食糧管理協會竝ニ米國ノ貿易事業ヲ後援シタ。又彼ハ南「ロシヤ」ニ於テ Wrangel ノ勢力ガ瓦解シタ際、過激派ニ追ハレタ數萬ノ逃亡者ヲ救濟シタ。又「トルコ」軍ニ敗レタ「ギリシャ」軍ガ Smyrna ニ退却シ、其ノ地方ノ「キリスト」敎徒ガ全ク慄ヒ上ツテ居タ時モ、26 萬 2 千人以上ノ「ギリシャ」人ヤ、「アルメリヤ」人ヲ救濟シタ。事件ガ起ル度ニ此ノ海軍外交家ノ措置ガ非常ニ當ヲ得且有効デアツタノデ、彼ハ「トルコ」人ノ間ニ大ナル勢力ヲ得タ。1923 年ノ Lausanne 條約會議ニハ同提督ハ米國代表ノ一員トシテ出席シタ。土耳古ト西方諸國トノ談判

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ガ破裂ニ瀕シタ時モ、空シク會議ノ解散サレルノヲ救ツタノハ實ニ彼デアツタ。

Dawes 案（1924年）ハ米國ガ佛獨兩國ノ和解ニ關心ヲ持ツテヰル證據デアリ、其ノ目的ハ是等ノ國ヲ經濟的危機カラ救濟スル事デアツタ。併シ歐洲ノ海洋ニ我ガ海軍ヲ派遣シ置ク事ハ其ノ當時モ又ソレ以後モ意味ノ無イ事デハナカツタ。艦隊ハ其ノ夏ニハ英、佛、丁抹等北海ニ面スル國々ノ諸港ヲ訪問シ、冬ニハ地中海ニ面スル西班牙、「ギリシャ」、「アルヂェリヤ」、埃及等ノ諸港ヲ訪レタ。此ノ艦隊（現在ハ1隻ノ輕巡洋艦ト驅逐艦數隻ヨリ編成サル）ヲ指揮スル海軍中將ノ任務ハ、事故ガ起キタ時ハ別トシテ、他ハ概ネ外交デアツタ。彼ハ單ニ海港ヲ訪レタノミナラズ、屢旗艦ヲ出テ陸行シ、合衆國ヲ代表シテ宮廷又ハ他ノ場所ヲ訪問シタ。米國ノ士官竝ニ艦船ノ存在ガ米國人ノ生命財產ノ保護ニ貢獻シタ例モ多々アリ、又ドノ位我ガ國ノ貿易ヲ助長シタカ知レナイ。

◎大戰後ノ我ガ海軍

休戰及講和會議後ハ最早大海軍ノ必要ハナクナツタ。1918年10月現在ノ海軍總人員ハ50萬人ニ達シ、1913年ノ約10倍デアツタ。間モ無ク人員ノ復員ガ始マリ、1922年迄ニハ兵員ノ總數ハ僅カ8萬6千人トナリ（議會協贊濟ミノ數）、士官ハ 5,700 名ノ 20% ニ減ゼラレタ。海軍ガ斯ノ如ク急速ニ擴張出來、而モ非常ナル働キヲナシ得タコト、又圓滑ニ常態ニ復スル事ノ出來タノハ、一ニ米國人ノ異常ナル

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

適應性ヲ物語ルモノデアル

我ガ海軍ハ戰爭ト云フ最高ノ試錬ヲ經テ益自信ヲ高メタ。自信ガツイタノハ單ニ海外ヤ國內ニ於テ賞讃セラレタカラデハナク、寧ロ危急ノ際ニハ之ニ善處シテ、物質ガ不足シテ居ル處ニ於テモ前進シ、裝備ニ缺ケテ居ル點ハ我ガ海軍ガ其ノ創意ト信念トヲ以テ概ネ之ヲ補ヒ得タト云フ自覺ノ結果デアツタ。

潛水艦及飛行船ノ發達ニ就テハ、米國ハ特ニ關心ヲ持チ力ヲ入レタ。

Azores ヤ英國諸島附近ニ作戰シタ我ガ潛水艦ノ經驗ニ依リ、非常ニ辛クハアルガ、如何ナル天候ニモ活動シ得ルコトガ判ツタ。又其ノ經驗ニ依リ、大型ノ新式潛水艦ノ必要ナコトガ痛感セラレタ。3隻ノ艦隊隨伴用潛水艦ガ戰爭ノ初期ニ協賛濟ミトナリ、又其ノ末期ニハ更ニ3隻以上認可サレタ。1925 年、此等ノ潛水艦ノ內最後ノ1隻ガ完成シタ時、戰時中ニ認可濟ミトナツタ 93 隻ノ沿岸防禦用ノ潛水艦ト共ニ、他國ノ潛水部隊ニ勝ルトモ劣ラザル潛水戰隊ガ編成セラレタ。1918 年 Bantry 灣ニ派遣セラレタ AL 型潛水艦ハ、水上排水量約 450 噸、最大速力 14 節デアツタガ、V 級ノ艦隊隨伴用潛水艦ハ 2,164 噸、水上速力 21 節デアリ、又其ノ行動半徑ハ 11 節ニテ 10,000 浬デアル。名前ノ如ク此等潛水艦ハ艦隊ニ隨伴スル樣ニ計畫セラレテ居リ、其ノ高速力ノ爲、高速ノ戰艦ニモ後レズニツイテ行クコトガ出來ルノデアル。

潛水艦ノ目的ハ主トシテ奇襲ニアル關係上、ソノ性能ニ關シテハ嚴

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

秘ニ附セラレテキル。併シ飛行機ノ價値ハ空中ヲ飛ブ以外ニハ殆ド何物モナイ。1917 年以後 10 年間、此ノ方面ニ於ケル海軍ノ進歩ヲ詳述スレバ、ソレ自體 1 巻ノ書トナルデアラウ。次ニ取分ケ素晴ラシイ其ノ勳功ノ 2, 3 ヲ述ベヨウ。

最初ニ大西洋横斷飛行ニ成功シタノハ米國海軍デアル。1918 年頃ノ飛行機ノ中ニ佛蘭西海岸沖デ使用スルタメニ設計サレタ大型ノ強イ數臺ノ Navy-Curtis (N.C.) 型飛行艇ガアツタ。最初ノ 1 艇ガ完成シタ時、丁度休戰トナツタ。併シ 1919 年 5 月 3 臺ノ N. C. 型飛行艇ハ英國ノ Plymouth ニ向ケテ Long Island ノ Far Rockway ヲ出發シタ。此等飛行艇ハ先ヅ最初ニ Newfoundland, 次ニ Azores, 次ニ葡萄牙、最後ニ英國ニ到ル豫定デアツタ。60 隻ノ驅逐艦ガ飛行艇ニ針路ヲ示シ、要スレバ援助ヲ與ヘルタメ、兩大陸間ニ所々配置セラレタ。此等ノ中 2 臺ノ飛行艇ハ Azores ニ近ヅクウチ霧ノタメニ針路ヲ誤リ、遂ニ怒濤ノ上ニ着水シタ。搭乘者ハ無事デアツタケレドモ、機體ハ非常ナ損傷ヲ蒙リ、飛行ヲ斷念スルノ止ムナキニ至ツタ。A. C. Read 中佐ノ搭乘スル NC–4 號艇ハ霧ヲ冒シテ Horta 港ニ着水シタ。更ニ其ノ後 2 週間タツテ事故モ無ク次ノ航程ヲ飛ビ、遂ニ飛行時間 71 時間以內デ紐育カラ英國ニ至ル横斷飛行ニ成功シタ。

1922 年ヨリ 1923 年ニカケテ、タダナラヌ情勢（註、軍縮會議）ノタメニ數多ノ軍艦ガ廢棄セラレタ。ソノ中ニハ獨逸ノ弩級艦 1 隻、合衆國ノ弩級前艦數隻及進水後未完成ノ儘ノ超弩級艦 1 隻ガアツタ。當局ハ此等ノ軍艦ヲ爆彈投下及爆彈ノ舊式及新式軍艦ニ對スル破壞力ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

實驗ニ供シタ。其ノ結果ハ餘程參考ニナツタガ、左程好成績デハナカツタ。成ル程或ル爆彈ハ非常ナ破壞力ヲ示シタガ、艦ハ概ネ靜止シテ居タニモ拘ラズ、極少數ノ爆彈シカ命中シナカツタ。若シ艦ガ航行中デアリ、飛行船ガ高角砲彈ノトドカヌ安全ナル高度ヲ保ツテヰル場合ニハ、果シテ如何ナル結果ヲ生ズルカハ全然見當ガツカナカツタ。

1924 年合衆國陸軍ノ飛行機 2 臺ハ飛行時間 365 時間デ 2 萬 6 千哩ノ世界一週飛行ニ成功シテ NC-4 號ノ記錄ヲ破ツタ。當時我ガ海軍モ巡洋艦、驅逐艦ヲ所々ニ派遣シ、或ハ着陸場ヲ建設シ、或ハ氣象通報ニ任ジ、或ハ不時降着ノ場合ニハ之ヲ保護スル等積極的ニ援助シタ。

我ガ海軍モ亦飛行船ニ就テ關心ヲ持ツ樣ニナツタ。1923 年 5 月、Shenandoah 號（長サ 680 呎）ハ完成間モナク北東ノ主要都市ヲ訪問シタ。其ノ翌年 10 月太平洋岸ニ至ル往復飛行ヲ試ミ、2 度 Rockies 山脈ヲ橫斷シ、無事 8,100 哩ノ飛行ニ成功シタ。獨逸ニ於テ合衆國ノ爲ニ造ラレタ ZR 3 號（長サ 658 呎）ハ同月獨逸カラ紐育ヘ飛行シ、Los Angeles 號ト改名ノ上我ガ海軍ニ採用セラレタ。1925 年 9 月 Shenandoah 號ハ 3 萬哩飛行シテ後悲慘ナ最後ヲ遂ゲタ。同飛行船ハ猛烈ナ疾風ニ遭遇シ、船體ハ捩レ遂ニ空中デ分解シテシマツタ。船長 Zachary Lausdowne 少佐竝ニ後部ニ居ツタ 13 名ノ搭乘員ハ墜死シタ。併シ前部ハ空中ニ浮揚シテ居タノデ操縱長ハ巧ニ之ヲ無事着陸サセ、彼ト 25 名ノ搭乘員及陸軍ノ視察員 1 名ガ助カツタ。

Shenandoah 號ガ最後ノ壯途ニ上ツテ居タ頃 John Rodgers 中佐ノ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

搭乗スル PN-9 第1號飛行機ノ捜索ガ廣茫タル太平洋上ニ續ケラレテ居タ。該機ハ布哇ニ至ル2千浬ノ飛行ヲ決行スルタメ桑港ヲ出發シタ。再ビ驅逐艦及航空母艦ガソノ針路上ノ所々ニ配置サレタ。1,700浬迄ハ凡テ順調ニ運ンダガ「ガソリン」ヲ使ヒ盡シタ時、搭乗員ハ給油用ノ母艦ヲ見失ヒ、急ニ意氣沮喪シ、爲ニ自分達ノ位置竝ニ情況ヲ無電デ監視者ニ通報スル機會ヲ失ツテシマツタ。

彼等ハ間ニ合ハセニ造ツタ一種ノ筏ノ上ニ腹這ヒニナツテ、9日間漂流シタ。斯ノ如クシテ400浬モ流サレ、漸ク Kauai 島ヲ認メタ。此ノ島ノ嶮岸ヲ去ル10浬ノ地點デ捜索中ノ潜水艦ニ發見セラレ曳航サレタ。

最後ニ述ベル飛行ハ、1926年米國海軍少佐 Richard E. Byrd（退役）ガ飛ンダ Spitzbergen ノ Kings 灣カラ北極ニ至ルモノデアル。其ノ年ノ春、外ニ2組ノ飛行遠征隊ガ同ジ決勝點ニ向ツテ榮冠ヲ狙ヒ、而モ老練ナ諾威ノ探險家 Amundsen 氏ガ此等ノ1組ノ指揮者デアリ、同ジク Kings 灣ヲ根據トシテ キルト言フ事ガ、イヤガ上ニモ競爭的興味ヲソソツタ。Byrd 少佐ガ1人ノ同乘者ト共ニ極地ニ向ツタノハ5月9日午前0時30分デアツタ。萬事順調デアツタガ、彼ガ飛ビ出シテ1時間目ニ彼ハ右ノ發動機用ノ油槽ガ漏ツテ居ルノヲ見付ケタ。飛行機ハ車輪ノ代リニ「スキー」ヲ履イテキタノデ、之ヲ利用シテ着陸セントシタガ、若シ凹凸ノ多イ氷上ニ着陸シタナラバ再起不可能トナルト考ヘ思ヒ止ツタ。ソレデハ引キ返サンカトモ考ヘテ見タガ、少佐ハイツソ此ノ際極地ヘ突進セント決心シタ。遂ニ綠威時ノ午

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

前9時2分目的地ノ上空ニ到達シタ。更ニ數哩飛行ノ後、各方面ニ畝ヲナシテ延ビテヰル氷ノ非常ニ廣大ナル原野ヲ見下シツツ北極ノ上空ヲ旋回シタ。北極ノ光景ヲ寫眞ヤ活動寫眞ニ撮ツテカラ再ビ機首ヲ Kings 灣ニ向ケタ。幸ヒ油ハ重イ質ノモノデアツタカラ徐々ニ流レ、漏口ノアル油槽ニツヅク發動機モ、彼等ガ根據地ニ歸ツタ時尙相變ラズ圓滑ニ回轉シテヰタ。彼等ハ總計 1,545 哩ノ飛行ニ成功シタ。國際地理協會ノ總裁 Grosvenov 博士ノ述ベタ如ク、『Peary ハ極地征服ニ 400 日ヲ要シタガ、Byrd 少佐ハ朝方友達ト別レテ北極ニ到リ、夕方ニハ歸ツテ來タ』ノデアル。

我ガ海軍政策ノ大戰以來ノ最大變化ハ、大西洋、太平洋兩側ニ艦隊ヲ配置スル樣ニナツタコトデアル。太平洋ニ部隊ヲ置ク必要ノアルコトハ Roosevelt ノ旣ニ認メタ處デ、彼ハ所謂戰鬪艦隊ヲ California ニ派遣シ、ソコヨリ全世界ニ巡航サセタ。併シ海軍ノ戰略家ハ一向ニ其ノ當時ノ派遣部隊ヲ重要視シナカツタ。其ノ理由ハ兩方ニ分レテ居ツテハ速ニ互ニ助ケ合フコトガ出來ヌト云フ弱味ガアルカラデアル。兩艦隊ガ一體トナツテ外敵ニ當ル爲ニモ、又通商貿易ノ擴張ノ爲ニモ是非「パナマ」運河ヲ開鑿シナケレバナラヌト云フ Mahan ノ主張通リニ運河モ開通シタノデ、愈兩岸ニ夫々艦隊ヲ分置スルコトトナツタ。今日大演習ヲ行フ時ナドニハ兩艦隊ハ屢合同シテヰル。

海軍政策ニ密接ナル關係ヲ持ツ此ノ時代ノ特筆スベキ業績ハ、士官及下士官兵ノ敎育ニ力瘤ヲ入レタコトデアル。海軍大學、海軍選科大學、海軍兵學校ノ敎程及他ノ特殊學校竝ニ指定セラレタル大學ニ居ル

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

豫備將校用ノ教程及海上部隊、陸上部隊ニ於ケル下士官兵ノ教育ガ、何レモ皆新ニ重要性ヲ持ツテ來タコトデアル。

◎米國商船

世界大戰カラ我ガ國ノ得タ教訓ノ一ハ、商船ガ海軍ノ非常ニ重要ナル補助部隊デアルト イフコトデアル。19世紀ノ末期ヨリ20世紀ノ初期ニ於ケル我ガ海運界ハ非常ナ衰微狀態ニ陷ツテヰタ。我ガ國ノ海外貿易ハ 1880 年ヨリ 1914 年ニカケテ著シク膨脹シタケレドモ、此ニ從事スル船舶ハ實際ハ減少シテヰタ。1880 年ニ於ケル外國貿易用ノ船舶ハ125萬噸デアツタガ、1914 年ニハ僅ニ 200 萬噸ヲ越エル程度トナツテヰタ。世界大戰ニ於テ若シ米國ガ參戰國タル役割ヲ遂行スル積リナラバ、多數ノ船舶ヲ有シテ居ラネバナラナカツタ。剩ヘ當時海運界ノ收益ハ莫大デアツタノデアル。臨時船舶協會ノ大建造案ニ依リ1919 年ニハ 350 萬噸以上進水シタ。此ノ非常ナル努力ニ依リ、我ガ國ノ船舶ノ數ハ其ノ年ニハ大英帝國ノ次位トナリ、獨逸ガカツテ保有シテヰタ數ヲ可成凌駕シテヰタ。斯クテ合衆國ガ外國貿易用トシテ登錄シタル噸數ハ、1914年6月30日ニ登錄サレタモノノ殆ド 10 倍デアツタ。

斯クテ合衆國ハ充分ニ商船ヲ揃ヘル樣ニナツタガ、平和トナリ各國共漸ク往時ノ運輸業ヲ回復セント試ミタ際、我ガ國ノ經濟家達ハ生產ガ永ラク低下シテ以來輸送貨物ハ $^2/_3$ 以下トナツテヰル事及運輸ニ要スル諸經費ハ噸當リ3倍トナツタコトヲ發見シタ。是ハ船舶ガ積荷ヲ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

滿載セズニ航海シテヰル事ヲ示スモノデアル。其ノ結果次第ニ高率トナツテ來テヰタ運賃率モ忽チ崩壞スルニ至ツタ。船舶院ハ國內ノ希望スル向ニ船舶ヲ拂下ゲントシタ。併シ當時汽船ノ仲買又ハ建造ノ爲ニ作ラレタ多クノ會社ハ何レモ缺損續キデアツタノデ、話ハ纏ラナカツタ。政府當局ハ機會アラバ此等船舶ヲ民間ニ拂下ゲル方針デアツタガ、結局船舶院ハ驚クベキ數ニノボル所有船ヲ其ノ儘使用スルコトヲ餘儀ナクセラレタ。

我ガ國ノ海運ニ關スル國策ノ最善ノ聲明書ハ 1920 年ノ船舶條例デアル。

『國防的見地ヨリスルモ、又內外貿易ノ妥當ナル發展ヲ期スル上カラモ、又自國ノ輸出入品ノ大部分ヲ輸送シ、戰時又ハ國家非常時ニ際シ陸海軍ノ補助部隊トシテ利用シ、其ノ後ハ又合衆國ノ市民ニ所有サセ活用セシメル樣ニ裝備ノ完全ナ最モ理想的ナ型ノ商船ノ必要ナル事ハ改メテ述ベルマデモナイコトデアル。仍テ斯ノ如キ商船ヲ所有スルコトヲ奬勵シ、又ソノ發達ヲ期スルニ當リ必要ナル政策ヲ斷行スルハ、合衆國ノ國策ナリト茲ニ宣言ス。』

我ガ國ハ今日モ尙多數ノ商船ヲ有シテ居ル。併シ外國貿易ニ從事スル一部ノ船舶ハ此ノ世紀ノ初期ニ於テ困ツタ樣ナ好マシカラヌ經濟狀態ニ餘儀ナク甘ンジテヰル。外國ニ於テハ船舶建造費ハ低廉デアリ、且其ノ運航經費ハ更ニ低率デアル。斯ル有利ナル條件ヲ有スル外國ノ會社ト競爭シテハ、米國ノ貿易會社ハ自分等ノ投資ニ對スル利益ノ回收ハ難事タルコトヲ知ツタ。但シ米國ノ沿岸貿易及大湖ニ於ケル貿易

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ハ、法律ニ依リ米國ノ船舶ノ外ハ之ニ從事スルコトガ出來ナイノデ、其處バカリハ何等競爭モナイ。

然ラバ遠キ國々トノ貿易ヲ發展セシムル爲、又海軍ノ豫備隊トシテ益有効ナラシムル爲ニ必要ナル我ガ國ノ對外海運界ノ發達ヲ助長スルニハ如何ニスレバヨイカ、——此ノ問題ハ今日尚未解決ノ儘デアル。

◎華府會議

若シ米國ガ世界大戰中ニ手續ヲ終リ、既ニ一部着手シテヰタ建艦計畫ヲ實施シタナラバ、1925 年迄ニハ世界最強ノ海軍ヲ有シテ居ツタデアラウ。併シ此ノ建艦競爭ハ歐洲諸國ニハ堪ヘ難イ大キナ重荷デアリ、且又軍備擴張競爭ノ愚ナ事ハ既ニ世界大戰ガ之ヲ證明シテヰルノデアル。一方又太平洋ニ於ケル日米ノ利權ノ軋轢ト共ニ將來兩國間ニ戰爭ガ起リ、此ノ戰爭ニハ英國マデガ捲込マレルカモ知レナイト云フ懸念モアツタ。又平素穩健ナ人々ノ內ニモ、聯合國側ト同盟國側トノ間ニ衝突ヲ引起シタ樣ナ同種類ノ競爭ニ米國モ仲間入リスルノカト憤慨スル向モ多カツタ。米國ガ「ワシントン」會議ニ參加スル樣ニ英吉利、佛蘭西、伊太利、日本、白耳義、和蘭、葡萄牙、支那ノ諸國ヲ招イタノハ以上ノ如キ事實デモアリ、又想像デモアル禍ヲ未然ニ防止スル爲デアツタ。

會議ハ 1921 年ノ休戰記念日ニ開カレタ。司會者ノ Hughes 長官ハ「アメリカ」人獨得ノ卒直サデ諸代表ノ前ニ自國案ヲ提出シタ。其ノ案ハ 5 大強國ノ海軍ガ既ニ完成或ハ建造中ノ 66 隻ヲ下ラザル主力

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

艦ヲ廢棄スル事及10年間ノ海軍休暇ヲ設クベシト云フ案デアツタ。同長官ハ彼ノ提案ヲ特徴アラシメルタメ、各國海軍ガ犧牲ニスベキ艦名ヲ指定シタ。若シ決定的ニ精密ニ其ノ様ニ實施セラレルト、合衆國ト英國ノ噸數ハ各 525,000 噸以下トナリ、日本ハ 315,000噸、佛、伊ハ各175,000 噸以下トナリ、5箇國ノ勢力ハ約 5：5：3：1¾：1¾ ノ比ニ縮減セラレル。或ル記者ガ Hughes ノ此ノ 提案ヲ評シタ如ク、彼ハ『大戰ノ或戰闘ニ於テ、獨逸海軍ガ撃沈シタヨリモ、モツト多クノ英國軍艦ヲ5分間デ破壞シタ』ノデアル。

併シ米國ハ他國ニ破棄ヲ要求シタ合計噸數ヨリ以上ニ己モ破棄スル事ヲ申出タ。日本ハソノ與ヘラレタ割合ガ下位ナル爲、暫ク反對シタケレドモ、米國ガ東洋ニ於ケル自國ノ領土ノ何レニモ現在以上ノ防備ヲ施サヌコトニ 同意スルニ及ビ、遂ニ之ヲ 容認シタ。「マニラ」ノ防備ハ元來不充分デアリ、Guam 及 Aleutian 群島ニハ少シノ防備モナカツタノデ、此ノ協定ノ結果、此等ノ島々ハ戰時トモナラバ實際上日本ノ爲スガ儘ノ狀態ニ置カレル事トナルノデアル。斯ク日本ヲ信賴スル態度ハ 自然好印象ヲ 日本ニ與ヘタ。主力艦ハ排水量 35,000 噸、備砲16 吋以下ト制限セラレ、他艦種ノ 備砲ハ 8 吋以下ト 決ツタ。巡洋戰艦ハ主力艦ノ部類ニ入レラレ、合衆國ガ既ニ建造ニ着手セル巡洋戰艦ハ航空母艦ニ改裝セラルル2隻ヲ除イテ廢棄セラルル事トナツタ。主力艦以外ノ軍艦就中、潜水艦ノ制限ニツイテモ又議論セラレタ。併シ如何ナル巡洋艦モ 10,000 噸ヲ超エザル 事及航空母艦ノ大キサガ制限セラレタ外ハ殆ド纏ラナカツタ。

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

海軍軍備縮小條約トシテ知ラレル此ノ協定ハ、關係5強國間ニ締結セラレ、1936年ノ末迄効力ヲ有スルガ、若シ何レカノ國（5強國ノ中）ガ其ノ2年前廢棄ヲ豫告スル時ハ、其ノ年ト共ニ空文トナル筈デアル。

更ニ合衆國、英國、佛國、日本間ニ軍縮條約ニ劣ラヌ程重要ナ平和助長ニ關スル第2ノ協定、即チ「4箇國條約」ガ締結サレタ。此ノ協定ハ各國互ニ太平洋ニ於ケル領土權ヲ尊重シ、更ニ進ンデ若シ外交折衝ニ依ツテ解決不能ノ問題ガ起キタ場合ニハ、4箇國會議ヲ召集シテ該問題ノ考究調停ニ當ラセル事ヲ約シタモノデアル。

米國ニトツテ非常ニ重要ナ今一ノ事項ハ、支那ニ關スル9箇國條約デアル。同條約ハ華府會議中大體豫備交渉ヲ終リ、後程締結サレタモノデアル。コノ條約ニ於テ列強ハ『支那ノ主權、獨立、領土ノ保全及行政權ノ維持ヲ尊重スル事』ヲ約シ、且又『列國ノ貿易及產業ニ對シ支那ニ於ケル門戶開放及機會均等主義ヲ更ニ有効ニ適用スル事』ヲ約シタ。斯クテ英國ハ威海衞ヲ放棄シ、日本ハ同國ガ鐵道ニ投資シタ全額ヲ支那ガ辨濟スル事ヲ條件トシテ山東（靑島）ヲ還附スルコトニ同意シタ。

米國ハ卒直ニ苦モナクアノ樣ナ大キナ讓步ヲ爲シタガタメニ、此ノ會議ニ成功シタノデアル。併シ多數ノ人々ハ米國ガ主力艦ヲ斯ノ如ク淡々トシテ斷念シタ事ヲ悲ミ、又或ル者ハ米國ガ自ラ東洋ニ於ケル領土ノ防禦ヲ放棄シタ事ヲ遺憾トシタ。併シ斯カル人々トハ異ツタ意見ヲ有スル者ニ言ハスレバ、此ノ會議ニ依ツテ多年ノ日英同盟ハ遂ニ解

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

消シ、又日米兩國間ノ暗雲ハ少クトモ此ノ時カラ大イニ緩和セラレ、同時ニ支那ノ門戸開放主義及機會均等主義ガ9强國ニ依ツテ支持サレル事トナツタノデアル。成程犧牲ハ大キカツタガ、併シ我々ガ望ム其ノ結果ハ犧牲ヲ補ツテ餘リガアルト思ハレルノデアル。

◎東洋ニ於ケル海軍

此處40年間、支那ハ西洋列强ノ政治的侵略ト支那自體ノ急激ナル進歩ノ爲ニ益複雜化シツツアル。支那ガ今ヤ現代式國家ノ仲間入シテヰルコトハ、露西亞ヲ中心トスル熱烈ニシテ、而モ不安定ナル情勢ガ漸次歐洲全土ニ擴ガリ合衆國ニモ及ビ、又日本ヤ「フィリッピン」ニモ地盤ヲ得テ、遂ニハ東部支那ヲ伺ハントシテヰルト云フ事實ニ依ツテモ判ル。何十萬モノ支那學生ガ政治ニ非常ニ關心ヲ持チ始メ、歐米事情ノ研究ニ沒頭シテヰル。商人ハ協同一致ノ精神ニ覺メ、商業會議所ニ於テ互ニ聯係ヲ密ニシテヰル。新聞雜誌其ノ他ノ定期刊行物ノ數ハ非常ナ勢デ增加シ、其ノ中ニハ穩健ニシテ建設的ナル指導精神ヲ有シ、着々成果ヲ收メテヰルモノモアル。言葉ハ勿論、文字迄全國ノ各小學校デ敎ヘラレテ居ル。

靑年達ノ間ニハ婚姻ニ就キ彼等ノ兩親ニ一任スルヲ肯ゼズ、彼等ノ愛ヲ基トシテ自分ノ結婚ハ自分デ決定スル傾向ガ段々著シクナツテ來テヰル。此ノ合理的ナ傾向モ、昔乍ラノ因襲ヨリスレバ非常ナ進歩デ、昔氣質ノ兩親達ニ大ナル衝動ヲ與ヘタ。國家主義ニ心醉セル數百萬ノ支那人ハ、列强ノ關稅率改革ニ對スル態度ノ遲々タルコトヲ憤ツ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

テ居ル。(其ノ件ハ華府會議ニ於テ締結セラレタル條約ニ於テ解決濟ミトナツテ居ル)。彼等ハ孜々トシテ其ノ周圍ニ暗躍セル「ソ」聯邦ノ間諜ニ醱弄セラレ、公然ト日本及歐米列强ノ支那開發ヲ攻撃非難シテ居ル。

此ノ先何ウナルカハ豫測出來ナイシ、又其ノ魔手ガドノ程度中部支那ニ伸ビテヰルカモ一寸見當ツケカネル。併シ乍ラ其ノ影響ヲ受ケテヰル民衆ニトツテハ、革命ト選ブ處ハナイ樣ニ見エル。其ノ結果共匪ガ横行シ、時ニハ內亂程度ノ大規模ナ暴動トナリ、樞要ナル各省ハ共ニ非常ニ惱マサレテヰル。

米國ガ若シ支那カラ手ヲ引クト、支那國民ハ一層深刻ナル苦ミヲ嘗メルデアラウシ、又米國ガ手ヲ引イテモ他ノ列强ガ之ニ倣ハヌ以上、支那ハ實際列强ノ餌食トナツテシマフデアラウ。支那ハ豊饒ナル大地域ヲ有シテ居ルカラ、支那ニ於テハ如何ナル大事業デモ出來ルノデアル。

米國ガ支那ヨリ手ヲ引カナイ以上、米國海軍トシテハ9箇國條約ニ於テ更ニ確實ニセラレタル我ガ傳統的政策ノ遂行ヲ援助シナケレバナラヌ。

我ガ海軍ハ古來積極的ニ人道ニ貢獻シテ來タ。1923年ニ日本ニ大震災ガアツタ時、我ガ驅逐隊ハ東京、横濱、神戸ニ急行シテ醫療器具ヲ供給スルト共ニ、出來ル限リ援助シタ。馬鹿ゲタ戰爭ヲ事トシテ居ル支那ガ大都會ヲ攻撃シヨウトシタ時、揚子江ニヰル我ガ砲艦ノ艦長ガ兩軍ノ指揮官ノ間ニ停戰ヲ協定セシメテ災厄ヲ免レシメタコトモア

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ル。又飢饉ヤ洪水ノアツタ時モ屢海軍ハ援助ヲ與ヘテ來タ。

揚子江警備隊ハ最近大ニ重ンゼラレ、1921 年以降其ノ隊ニ司令官ヲ置カルルコトトナツタ。コノ警備隊ノ本部ハ江口ヨリ 700 浬上流ノ漢口ニアル。コノ大河ノ可航區域實ニ 1,750 浬、支那商船ノ約 59% ガ浮ンデヰル。揚子江流域地方ノ人口ヲ合スレバ、支那ノ全人口 1 億 5 千 9 百萬人ノ半分以上ニ達スル。1920 年ニ於ケル合衆國ノ對支輸出ハ 1 億 1 千 9 百萬弗、輸入 2 億 2 千 7 百萬弗ニ達シ、而モコノ半分ガ揚子江ヲ經テ行ハレタコトヲ考ヘタトキニ、何人モコノ長イ航程ヲ遊弋シテヰル合衆國ノ小砲艦ガ如何ニ重要ナル役割ヲ演ジテヰルカヲ納得スルデアラウ。

前章ヲ書キ上ゲテカラ間モナク、即チ 1927 年ニ蜂起シ忽チ全國ヲ風靡シタ例ノ國民黨ニ就テハ如何。昨日ノ事件ヲ評價スルスラ困難デアル。況ンヤ明日ノ事件ヲ豫測スルコトハ尚更困難デアル。揚子江流域ノ各省又ハ地方ニ住ンデヰル商人ヤ宣教師ハ、或ハ北ヘ、或ハ南ヘ避難セネバナラナカツタ。併シ一度米國砲艦ヤ驅逐艦ノ行動圈内ニ到達スルヤ、生命財產ノ安全ガ保證セラレタト言フコトハ注目スベキコトデアル。支那ニ於ケル米國ノ利權ノ狀勢ハ明確デハナイガ、併シ我ガ警備隊及海兵隊ガ歐洲列强ノ海軍力ト共ニ支那ニ在ツテ常ニ平和ニ貢獻シ、又之迄ニ數千ノ人命ヲ救ツテ來タト言フコトハ明カナコトデアル。

◎海軍ト「ラテン」亞米利加

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

植民時代ノ昔ニハ、西印度諸島ハ米國商人ノ「ラム」酒、糖蜜、奴隷等ノ好仕入地デアツタガ、既ニ米西戰爭以前ニ「ラテン」亞米利加ガ富國デアルコトヲ知ツテヰル米國民モ尠クナカツタ。西班牙ガ Cuba ヤ Porto Rico カラ撤退スルト、之ヲ一期ニ米國ノ投資家達ハ此等ノ島々ニ流レ込ンダ。近年ハ比較的少クナツタガ、尙其ノ近クノ島々ニ手ヲ伸シツツアル。米國ガ其ノ方面ヲ一時保證占領シタリ、條約ヲ締結シタリシタ結果秩序モ確立シ、其ノ方面ニ於ケル米國ノ信用ハ愈增シテ來タ。

此ノ國々ノ面積ハ合衆國ノ 2/5 乃至 3/5 位デ、人口ハ 2/5 以下デアル。大部分熱帶ニ屬シ、且素晴ラシク地味ガ肥エテヰルノデ、遠カラズ世界最大ノ穀倉ノ一ニ數ヘラレルデアラウ。米國トノ貿易額ハ驚クベキ增加ヲ示シ、米國 1 箇年ノ總輸出額ノ 18.5％ ガ此ノ方面ニ向ケラレテヰル。最近 20 年間ニ合衆國人ハ少クトモ 42 億 1 千萬弗以上投資シテヰル。

我ガ國ト「ラテン」亞米利加トノ國際關係ハ次ノ三ノ政策ニ基クモノデ、國務省ハ元ヨリ 海軍省ノ 政策モ常ニ 其ノ支配下ニ アルノデアル。

1. 「モンロー」主義——亞米利加諸國民ハ 亞米利加諸國民ニ ヨリテノミ統治セラル——但シ亞米利加諸國トハ廣ク南北亞米利加ヲ指ス。
2. 「カリブ」政策——同地方ノ 治安維持、平和ノ 確立、秩序保持ノ奬勵及國民ノ生活ヲシテ價値アラシムル如ク更ニ生活標準ヲ高

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ムルコト。

3. 汎米主義——Cape Horn ヨリ北極ニ至ル總テノ亞米利加諸國民ハ兄弟ノ如キ關係ヲ有スルコト。

此等ノ條項ハ「パナマ」運河ノ開鑿ニ依ツテ益其ノ重要性ヲ加ヘタ。實際此ノ事業程合衆國ト「ラテン」亞米利加トノ關係ヲ密接ナラシムルニ與ツテ力ノアツタモノハナイ。此ノ運河ハ西班牙帝國ノ全盛時代以後ノ如何ナル時代ニ於ケルヨリモ更ニ重要トナツテ來タ處ノ「カリブ」海ヲ過ギル重要ナ貿易航路ヲ開發シタノデアル。「カリブ」海ハ、ヨシ地中海程ニハナイマデモ、其ノ地理的重要性ハ之ト伯仲ノ間ニアル。

「パナマ」運河ハ熱帶ニ屬スル南北亞米利加大陸交通ノ中心ニシテ、コノ運河ヲ安全ニ守ラネバナラヌ關係カラ、米國ハ中米及南米北部ノ諸國竝ニ諸島ノ安寧ニ就テハ非常ニ關心ヲ持ツテヰル。サレバ該地方ノ保健モ衞生モ今日ノ米國ニトツテハ重要ナル事項デアリ、又外國ノ侵略ヲ招來スルカモ知レヌ樣ナ問題ヲ未然ニ防グコトモ肝要デアル。歐洲列强ハ尙モ此ノ地方ニ力瘤ヲ入レテ居リ、彼等ノ市場獲得戰ハ益烈シクナツテヰルガ如ク見受ケラレル。愈米國ノ中央政府モ貿易路ニ沿ツテコノ地方ニ延ビテ行ツタ米國ノ商業施設ヲ保護セネバナラヌト、或程度責任ヲ感ジテ來タ。

20世紀ニ於テ上述ノ3政策ガ如何ニ適用サレタカヲ檢討シテ見ヨウ。「モンロー」主義——唯1度デハアツタガ非常ナル危機ニ瀕シタコトガアツタ。ソレハ1902年、一債務者ガ其ノ義務ヲ果シカネタル

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

ニ乗ジテ、獨逸ガ Venezuela ヲ保證占領シヨウトシタ時デアツタ。Roosevelt 大統領ハ手早ク駐米獨逸大使ヲ通ジテ『其ノ債務ニ關スル論爭ヲ曩ニ我ガ國務省ガ慫慂セル如ク 仲裁ニ附スルコトニ 48 時間以內ニ同意シナケレバ、Dewey 提督麾下ノ全米大西洋艦隊ハ、獨逸軍隊ノ上陸ヲ妨害スルタメ Venezuela ニ向フデアラウ』ト獨逸皇帝ニ通告シタ。ソコデ「カイゼル」ハ已ムナク 仲裁ヲ申出タ。Roosevelt 大統領ハ言葉巧ニ皇帝ノ平和的ナル態度ヲ稱讃シタ。

「カリブ」政策ハ我々ヲ非常ナ錯綜ノ渦中ニ投ジタ。此ノ方面ノ國國ノ或徒黨ハ『自國ノ獨立權ハ尊重サレテヰナイ』ト感ジ、又或ル黨ハ米國ヲ疑ノ眼ヲ以テ見タ。Dominica 共和國ハ財政的ニ窮乏シ愈歐洲先進諸國ノ壓迫ヲ感ズルニ至リ、終ニ 1905 年我ガ國ニ援助ヲ乞フニ至ツタ。Roosevelt 大統領ハ直ニ『同國ノ關稅ヲ監督スル爲ニ一官吏ヲ派遣スベシ』ト云フ教書ヲ起草シタ。同國ノ關稅監督ノ任ニアル此ノ米國官吏ハ、關稅收入 55% ヲ國債借換ノ爲準備金トナシ、殘リノ 45% ヲ政府ノ經常費トスルコトトシタ。米國上院ガ此ノ案ヲ一種ノ條約ト看做シテ之ヲ否認シタ時、決斷力ニ富ム大統領ハ其ノ案ヲ「假契約」ナリト主張シテ尙希望ヲ捨テナカツタ。2 年トタタヌ中ニ國債ハ相當減少シ、漸ク財政ノ確立ト信用トヲ取返シタ Dominica 政府ハ、社會施設ノ爲以前ヨリ多クノ金ヲ注ギ込ンダ。

ソコデ上院ハ其ノ案ノ實行可能ナルヲ見テ、同案ヲ正式ニ認可シタ。總テハ革命ノ起ル直前迄順調ニ行ツタ。革命ノ起ラントスルヤ、米國ハ稅關ノ奪掠サルルコトト、財政ノ破綻ヲ防止スル爲ニ陸戰隊及

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

海兵隊ヲ上陸サセタ。Dominica 政府ハ嫌々乍ラモ、米國海軍大佐 Harry S. Knapp ノ軍政ニ從ツタ。斯クテ此ノ政治ハ8年間繼續シタ。其ノ間ニ Dominica 國ハ未曾有ノ進歩ヲ爲シタ。500 哩ニ及ブ鋪裝國道ヲ作リ、Santo Domingo 港ヲ現代式トナシ、他ノ港灣モ夫々改築シ、衞生思想ノ普及ヲハカリ、病院學校ヲ建テ、師範教育ヲ確立シ（學童ノ數ハ4年間ニ1萬8千ヨリ10萬以上トナツタ）、各種ノ工業ヲ奬勵シ、遂ニハ選擧法ヲ布キ、土民ノ自治政府樹立ノ途ヲ開イタ。政府ノ出來ル迄ニハ既ニ米國ノ軍隊ハ撤退シテヰタ（1924）。併シ財政方面ノ監督ハ今日モ尙續ケラレテヰル。

Dominica 共和國ノ革命ト時ヲ同ジクシテ、其ノ島ノ西端ナル Haiti ニモ革命ガ勃發シタ。1915 年ニ於ケル同國ノ內紛ハ餘程ニ惡性デ、歐洲ノ干涉ガ暫ク續クカト思ハレル程デアツタ。大統領ハ100人餘リノ政治犯ヲ死刑ニ處シタガ、彼モ亦其ノ後隱レテヰタ「フランス」公使館前ニ於テ慘殺サレタ。此ノ國ヲ混亂カラ救ハント Caperton 海軍少將ハ陸戰隊及海兵隊ヨリ成レル1隊ヲ率ヰテ Port au Prince ニ上陸シタ。選バレタバカリノ新大統領ハ平和克復ノ爲ニ合衆國ト協力シタ。彼ハ其ノ國ヲ20年間合衆國ノ政治的財政的保護國トスル條約ノ締結ニ奔走シ、遂ニ 1916 年之ヲ批准シタ。大統領ハ軍政府ヲ組織シタガ、彼ハ素早ク文治派政府トモ協力シタ。其ノ方ガ各方面上首尾ナル事ガ判明スルヤ、益文治派的傾向ヲ帶ビ、遂ニ今日デハ海兵隊ハ Port au Prince ト Cape Haytieu ノ2箇所ニ集結セラレテヰル。同地ハ首府ヲ守ルニモ便利デアリ又引續キ財政ノ監督ヲ嚴ニスルニモ便

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

利デアル。

同様ニ Nicaragua ヘモ合衆國ハ革命當時海兵隊ヲ上陸サセテ重要ナ「アメリカ」ノ權益ヲ擁護シタ。1916 年ニハ Bryan-Chamorro 條約ガ締結セラレタ。其ノ條約ノ示ス處ニ依ツテ Nicaragua ハ合衆國ニ運河航路トシテ San Juan 河ノ權利ト、運河完成ノ曉ニハ其ノ西端方面ヲ防禦スル爲ニ Fonseca 灣ニ海軍根據地ヲ構築スル許可トヲ米國ニ與ヘ、其ノ代償トシテ 300 萬弗ヲ受取ツタ。Nicaragua ノ形勢ハ穩デナカツタノデ、1912 年以後海兵ノ 1 隊ハ其ノ首都 Managua ニ又軍艦ハ Covinto ニ在ツテ守備ニ任ジテヰル。

合衆國ハ其ノ第 3 政策タル汎米主義ノ遂行ニ就テハ色々ノ障碍ニ遭遇シタ。我ガ國ハ中米同盟（中央「アメリカ」5 共和國ヨリ成ル）ノ益强固ナル發達ヲ期シ、常ニ或ル種ノ覺悟ヲ以テ臨ンデ來タガ、兎角革命ガ續キ同盟國相互ノ仲ヲ離間スルガ如キ事ガ屢起ツタ。今日尙中央「アメリカ」ヲ縱貫スル鐵道モ無ケレバ、又其ノ他ノ交通機關モ殆ド普及シテ居ナイ有樣デアル。

諸外國ノ間ニハ合衆國ガ「カリブ」海方面ノ平和維持ニ關シ責ニ任ジテ居ル動機ニ就キ疑問ヲ抱ク向ガアツタ。責任アレバコソ進ンデ其ノ任ニ當ツテヰルノデアル。米國ヲ措イテ、他ニ西半球ノ何處ニ「カリブ」海方面ノ小國間ニ波亂ガ起キタ時、或ハ歐洲列强トノ間ニ問題ガ起キタ場合、進ンデ世話ヲシテクレル國ガアラウカ。

時ニハ或ハ他ニ良イ方法ガ見出サレルカモ知レナイガ、併シ勘クトモ現在ハ合衆國コソ「カリブ」海ノ平和ヲ維持スベキデアル樣ニ思ハ

http://navgunschl.sakura.ne.jp/

HP『海軍砲術学校』公開史料

レル。サモナクバ「モンロー」主義ハ有名無實トナリ、「カリブ」海ノ諸國及中央「アメリカ」ノ共和國ハ他ノ强國ノ好餌トナルデアラウ。

再ビ話ハ汎米主義ニ歸ルガ、合衆國ハ一生懸命ニナツテソノ主義ヲ擁護シ、中央政府モ一般モ是ガ爲ニハ努力ヲ惜マナイノデアル。近年我ガ國ハ「ブラジル」、「ペルー」ト互ニ海軍使節ヲ交換シテ協力ノ實ヲ擧ゲテヰル。其ノ目的ハ此等ノ國ヲシテ更ニ多クノ軍艦ヲ造ル樣ニスル爲デハナクテ、實ニ海軍力ノ最高標準ヲ示シテ彼等ヲ向上セシムルニアル。我ガ艦隊ハ今後多分一層頻繁ニ「アルゼンチン」、「ブラジル」、「チリー」、「ペルー」ノ港ヲ訪問スル事デアラウ。古來我ガ軍艦旗ノ行ク所、我ガ政府ニ對スル尊敬ハ隨ツテ起リ、「アメリカ」ノ通商ハ刺激サレ、友誼ノ新羈絆ハ愈固メラレテ來タ。我ガ海軍士官ハ海軍ノ傳統ニ導カレ、彼等自身ガ「アメリカ」政策ヲ論ズルワケデハナイガ、良ク判ル樣ニ米國ノ政策ヲ他國ニ說明スル事ニ於テ、又人道的ニソレヲ遂行スル上ニ於テ必要缺クベカラザル貢獻ヲナシテ來テヰルノデアル。

（終）

http://navgunschl.sakura.ne.jp/